令和3年度 授業評価実施結果の概要について

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該担当教員にフィードバックし学生の記述内容を確認いただいた後、各教員から調査結果に対する授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、所属の学科長等に直接提出することとしております。
各学科長等はこれを受けて「考察」をまとめ「学部長等会議」で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

⑴ 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」を尋ねる記述式の質問項目を設けております。
⑵ 授業評価結果の各質問項目の集計結果については、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
自由記述は「授業に対する肯定的評価」「授業に対する要望等」「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
⑶ さらに、「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

＜医療保健学部・助産学専攻科＞

	令和3年度	令和2年度
あなた自身について	87.6%	88.1%
授業内容について	86.0%	86.2%
教員の考え方・姿勢について	82.7%	79.8%

＜東が丘看護学部＞

	令和3年度	令和2年度
あなた自身について	89.5%	90.1%
授業内容について	89.5%	90.2%
教員の考え方・姿勢について	86.4%	83.4%

＜立川看護学部＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	91.6%	89.3%
授業内容について	89.5%	87.2%
教員の考え方・姿勢について	85.7%	79.5%

＜千葉看護学部＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	94.5%	92.7%
授業内容について	93.8%	91.0%
教員の考え方・姿勢について	91.8%	85.3%

＜和歌山看護学部＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	96.3%	94.9%
授業内容について	95.6%	93.2%
教員の考え方・姿勢について	92.4%	87.0%

＜大学院医療保健学研究科＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	91.5%	84.2%
授業内容について	94.2%	92.6%
教員の考え方・姿勢について	93.9%	85.3%

＜大学院看護学研究科＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	87.2%	83.2%
授業内容について	86.6%	77.9%
教員の考え方・姿勢について	84.6%	72.7%

＜大学院和歌山看護学研究科＞

	令和 3 年度	令和 2 年度
あなた自身について	80.9%	93.6%
授業内容について	89.3%	93.9%
教員の考え方・姿勢について	95.1%	96.9%

＜大学院千葉看護学研究科＞
※令和 3 年度より設置

	令和 3 年度
あなた自身について	83.5%
授業内容について	95.0%
教員の考え方・姿勢について	97.9%

(4) 授業評価結果の経年比較では、各項目によってポイントに多少の増減が見られますが、これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。
本学においては、これらの集計結果を公表し、教員の授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう、今後も努めてまいります。

令和３年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本　すが

看護学科での 4 年間は「いのち」に携わる医療人として、その基盤をつくる期間です。変化する社会で多様な人々のニーズに対応するために、知識・技術の向上に努めることはもちろん、自分と違う考え方も認めることができ、仲間と協力しながらあらゆる困難にも立ち向かい、心あるケア提供ができる力の育成を目指しています。

2022 年度から新しいカリキュラムがスタートしました。科目間のつながり、学年進行に伴う学習目標の積み上げについて教員間でディスカッションを進めています。学生が看護の魅力を理解し、主体的に学びを積み上げられる授業提供を目指していきたいと思います。

１．授業評価の結果について

○ コロナ禍ではありつつ、ほぼ通常の臨地実習で運営できたことが評価されていた。演習・実習は対面授業が望まれていた。また、オンデマンド形式の学生が自分のペースで学習を進められるという利点も指摘されていた。

○ 「授業教材の閲覧期間」「基本知識の試験（反復式・難易度差をもたせる)」など自己学習を支援する取り組みが評価された。取り組みやすい教材の工夫、学生へのフィードバック等をさらに検討していきたい。

○ 学生の自己評価が低い科目もあった。また、学生への学習フォロー以上に精神的なフォローが必要になっていることも把握された。対面授業が減ってきているため、学生のコミュニケーション経験が乏しくなっていることが考えられる。グループワークの実施や学習フォローをより一層検討していきたい。

２．授業において工夫した点について

○ 資料配付や順序性等の改善、質問を予測し事前説明の実施、WebClass 資料掲載方法の統一などにより、わかりやすい授業進行が取り組まれていた。

○ 導入講義のコマを増やすことによる専門分野の学習の緩やかな開始、学生の取り組み状況と成果を評価・測定し学生個人にフィードバック、後半 3 回の授業で Zoom 開設による質問・交流の場設定（希望者対象）など、学生の学びをサポートする取り組みがなされていた。

○ リモート（ZOOM）でのグループワーク実施や、Teams を活用し学生同士の意見交換や教員からのコメントを投稿し合う方法の取り入れなど、ICT を利用した双方向の授業運営が取り組まれた。

３．今後の授業への生かし方について

〇 対面、オンライン、オンデマンドの 3 種類の授業提供方法をうまく組み合わせていきたい。オンライン環境は改善してきているが、通信障害も指摘されていたため、受講を保障できるよう録画対応などを検討していきたい。

〇 授業内容および授業スケジュールを再検討し、学生が無理なく取り組むことができる内容に修正・工夫していきたい。

〇 学生への連絡方法、指導方法については、引き続き改善を行い、評価・フィードバックなど学びを支援する取り組みを確実に実施していきたい。

〇 他者と関わりながら、対話しながら学ぶ経験を増やすため、グループワークを効果的に取り入れていきたい。同じグループメンバーと深くかかわることを難しく感じる学生がいることも把握されており、グループ分けの工夫も積み重ねていきたい。

〇 学生により理解の差が大きい科目もあった。科目間の連携をとりながら、全ての学生が卒業時到達目標に達するよう支援していきたい。授業から実習へ学びを積み上げながらより発展的に学べるよう、科目間の連携を深め、つながりのある学習内容にしていきたい。

令和３年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長
小西　敏郎

医療栄養学科では、学生の皆さんが、４年間で医療に関連の深い栄養学を学び、リーダーシップを発揮して栄養サポートチーム(NST : nutrition support team)を支えることができるなど、管理栄養士として社会で活躍できるように、カリキュラムを編成し授業を行っています。そのために学科の教員全員は、毎年学生の皆さんから頂く授業評価を参考にして、授業を改善する努力を続けています。

令和３年度の授業は、コロナ禍の影響で、講義授業の多くは前年から引き続き遠隔授業を続けましたが、実習・実験授業については、感染対策を十分に取り入れて、できるだけ対面授業あるいはハイブリッド形式で行いました。

２年前のコロナ禍を契機に始まった遠隔授業は、ほとんどの教員にとって初めての経験でしたので、当初は学生の皆さんから不満・意見も多くいただきましたが、さまざまな改善の努力を続けながら授業を行ってきましたので、今年度は評価していただく授業も多くみられたように思います。

１．授業評価に関しての感想

遠隔授業では教員と学生や学生同士のコミュニケーションの機会が減少します。とくにオンデマンドの動画配信授業では学生の反応を直接確認することは不可能です。また遠隔授業になってからは、学生にとって課題レポート提出の負担が大きく増えることになりました。しかし、本年度はいただいた評価が前年に比べ高くなったと感じた教員が多くみられました。これは教員がいろいろと改善の努力を重ねたことによると考えます。しかし、遠隔授業になってから評価に答える回答学生者数が少なくなりました。また回答したのは熱心な学生が多かったことによるかもしれませんので、今後は学生全員から回答をいただけるように努力していきたいと考えます。

２．授業において工夫した点について

それぞれの教員が、オンデマンドまたはオンラインの遠隔授業を行いながら、また対面授業においても、さまざまに工夫して、改善の努力を重ねてきました。改善の内容の具体例を大きく下記の４項に分けて、各教員からの感想を列挙しました。

① 授業方法や内容をわかりやすくし、学生が学修しやすい授業とする

＊学生は講義と実習共に難しさを感じることなく学びが続いた様子が伺えました。これは、講義と実習の進行を同調させ、授業前後で確認や復習をできるようにしたことが効果的であったのではないかと感じます。

＊昨年度の授業評価結果を踏まえ、配布資料の内容を充実させ配布した。しかし、一部の学生より、授業スライドをすべて配布して欲しいなどの要望があった。

＊統計に関しては、意味内容が難しく短時間では伝え切れない部分が多く理解できないことが多くあるようなので、説明を丁寧にするように注意した。
＊統計処理については、統計の説明よりエクセルの使い方の説明を中心にしたため反応は良かった。
＊毎回、授業の重要なポイントを含んだ試験を出して次回に正解を伝えた。
＊授業の中で最も重要な部分を覚えて欲しいために、強調して伝えた。
＊質問が自由にできるよう記載できる場所を設けた
＊資料の字を大きくしたり、書き込む部分が大きくなるように配布資料の大きさを大きくする、メールでないツールで質問ができるようにするなどの改善や工夫を行った。
＊授業時間が 60-70 分程度でも「長い」と感じる学生が多かったことから、小テストの解説動画を授業動画とは別に実施し、学生が学習しやすいように改善した。
＊デモンストレーション動画の説明の声が聴きにくいところがあったという指摘がありました。ビデオで調理風景を撮影しており、調理作業の音が入ってしまうのが原因なので、改善策として聞き取りにくい部分は動画を一時停止して補足説明をすることにした。
＊遠隔授業では学生の理解度を肌では感じられないので、動画を複数回に区切り、その後、確認テストを実施し、合格しないと次に進めないようにした。
＊オンデマンドであっても、できるだけ理解しやすい授業になるよう、動画内では毎回語りかけや質問を導入し、課題作成の工夫も行った。
＊授業資料も教科書にプラスして分かりやすい資料を配布し、対面でなくてもできるだけ学習に困らないような工夫をした。
＊遠隔授業の資料作成の際には、なるべく丁寧に分かりやすい講義になるよう意識して作成した。
＊学生と同じ条件で自分が試験を受けている様子を動画で撮影し、説明しました。後期に前期課題と同じ内容で条件は厳しくして実技試験を行ったが、この動画視聴は効果があったと考え、次年度以降も継続したいです。

② 対面授業でも遠隔授業（オンライン授業、リアルタイム授業）でも、学生にとってアクティブな姿勢で学修できる授業とする
＊対面授業が少なく、自宅での調理が多かったので、強引かとは思いましたが実技試験を実施しました。例年に比べると技術レベルは低いのですが、やはり学生教員共に状況を把握できたのはよかったです。
＊講義科目ではアクティブラーニングになるように授業の最初に授業内容に関するクイズ（質問）やネットで話題になっているテーマを提示し、授業を聴いていくうちに答えが導き出せるように工夫した。講義中もなるべく問いかけを増やすようにした。
＊班別協議会でも発表内容を全体に問い、そこから課題を見つけ、その課題是正のために発表聞いて終わりでなく、聴講する中で課題を見つけさせる「尋ね訊く」授業の改善を図ってきた。

③ 学生と教員のコミュニケーションができるだけ増える授業とする
＊毎回の出席確認用の小テストに質問を記入できる欄を設けました。しかしながら、学生の利用はほとんどなかった。
＊授業に対する質問は、対面時は大勢のためなかなかしづらい状況もあるようだが、昨年度はメールの他に小テストの解答時に直接質問ができるように設定したため、気軽に質問ができ、高評価につながったと考える。
＊毎回授業で質問や意見などを受付けるようにし、資料の改善点や質問にはすぐに対応できるようにした。
＊学生個々の学修に対する進捗状況を把握するため、シャトルカードの実施を行い、学生と教員とのコミュニケーションの一つとした。

④ 学生自らが主体的に学ぶ授業をこころがける
＊オンデマンド授業だったが、履修者は他科目で登校する機会があったため、予習にあたる課題を提出させ、授業前までに個別にフィードバックしました。
＊学び作成した自分のプランを充分に表現が出来るような発表が出来るよう個別指導した。
＊学生が主体となり進めている実習に、前々年度よりもなるべくグループの人数を少数にして全員参加で進められるようにすることで、対面授業の少なさをカバーできたと考える
＊調理科学実験は実験動画を見てレポートを作成するだけでなく、自宅で実験ができるように内容を変更し、使用材料もできるだけ配布するようにしました。
＊いつでも復習できるように WebClass 上で各回の授業終了後に、復習用として授業動画の掲載を継続して行うようにした。
＊科目の到達目標を提示し、学生に自己評価をさせ個々の課題について自らが主体的に今後の学ぶ方向を見出せるようにした。

３．学生からの評価を今後の授業にどのように生かすか
教員からの個別の意見を以下に列挙します。
＊評価の低い項目に関しては、可能な限り改善し、今後の授業に反映したい。特に、臨床栄養学Ⅰについては、配布資料やスライドについてより一層工夫をし、学生が復習しやすい授業を組み立てていきたい。また、臨床栄養学実習Ⅱについては、個人により課題への負担があるとの意見があり、課題内容を見直し、今後の授業に反映したい。
＊プランニングに関しては、思いつかない学生もいたので辛い思いをされたと思う。早口である事と聞こえにくかったことは、本当に申し訳なかったと思います。対面授業でしたので確認すべきでした。また、D クラスは、教室の関係から声が通りにくかった。配慮に欠けてしまい申し訳ございませんでした。改善いたします。
＊いずれの授業形態にしろ、学生の主体的な学びになるよう、授業方針の説明を丁寧に、機会あるごとに行うこと、その上で、その学びをサポートできるよう、考えてい

きたいと思います。
引き続き、①授業方法や内容がわかりやすく、学生が学修しやすい授業、②学生がアクティブな姿勢で学修できる授業、③学生と教員のコミュニケーションができるだけ増える授業、④学生自らが主体的に学ぶ授業、となるようにこころがけてゆきます。

４．学生に対して

多くの教員は学生の皆さんからの意見を待っています。残念ながら、授業評価アンケートに回答する学生数は、遠隔授業になってから全科目で大きく減少しています。学生の皆さんは授業評価アンケートを提出するようにしてください。また自由記載の意見は大変参考になりますので、
積極的に記入してください。
また、遠隔授業に限ったことではありませんが、当学科では、従来のアドバイザー制度に加えて、２年前から学生問題相談委員会を立ち上げて、教員間で連絡を取りながら、学生生活、進路、学業等に悩みを持つ学生を早期に見出し、より適切に対応できる体制としました。学生の皆さんはオフィスアワーをもっと利用して、担当の主・副アドバイザーに相談してください。また授業に対する意見・希望などを教員に伝えて頂きたいと思います。

令和３年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長
石原　照夫

１．授業評価結果アンケート結果の感想

○ 令和３年度もコロナ禍による対面授業制限が継続したため、対面授業、遠隔授業、対面授業と遠隔授業が混合したハイブリッド型授業が行なわれました。今後、どのような時間経過でコロナ禍が収束していくのか分りませんが、当学科では教育改善のためにICTを十分に活用して教育DXを推進していく基本的姿勢で今後の学修形態の確立に取り組んで行く考えです。アンケートで科目によっては対面授業の方が学修する側にはよいという率直な意見を寄せていただきました。現在のところは対面授業制限の枠組みが強いため、対面授業の枠が十分に確保できず、その意味では学修者本位の授業になっていない面があると思います。理想的な授業形態にはほど遠い状況ですが、この対面授業制限のもとでも、学生のみなさんの意見を反映しながら改善していきたいと思います。ただ、私たちの目標は、この教育手法のリデザインという新たな課題に取り組んで、対面授業のみとは異なる学修成果をあげるような授業形態を確立していくことにあります。その意味では、この授業評価アンケートの回答率が低いのが残念です。もっとも、アンケートに回答したくなるような授業、学修成果を実感させるような授業がおこなわれていないことの反映かもしれません。少なくとも回答された学生の多様な意見を真摯に受け止め、個々の教員が授業を点検し、改善に務めるように指導する所存です。

○ 依然として、シラバスの学修上での有用性の評価が低い科目がみられます。対面授業制限レベルの変更による授業形態の変更、授業形態の多様化等により、学生が学修に戸惑うことも起こりえる状況では、シラバスのもつ意義は重要と考えています。科目によっては、コマシラバスのような詳細な授業概要を提示することも有用と考えています。単なる授業計画ではなく、より実質化したシラバスになるように改善していきます。

○ レポート課題、試験についてのその施行方法、公平性についての意見がありました。コミュニケーション不足の面もあると思いますので、改善したいと思います。ただ、科目によって課題提出や試験を行なう目的が異なりますので、学科として統一することは難しいです。いずれにしても、その目的を明示し、結果に対するフィードバックが重要ですので、この２点について徹底して行なうようにします。

○ ２クラス編成で行なわれた科目で、評価の異なる結果がみられるものがありました。原因について精査し、次年度の授業に反映させたいと思います。また、前年度から習熟度別のクラス編成を取り入れた授業科目については、概ねその効果が表れていると受け止めています。

○ 昨年度の考察でも記載しましたが、1～2年次の臨床医学総論・各論等の医学的な内容に関する科目は、依然としてと低めの評価になっています。専門性の高い内容、一方向的な座学中心の授業内容、網羅的な知識の教授などがその要因の一つと考えられます。また、この授業科目は自らが関心をもって、授業外学修で理解を深める必要のある科目でもあります。この学年での臨床医学の学修は難しいとも思われますが、一方でその後の学年で学修する応用臨床医学、診療情報論演習、医療管理総論等では違った観点から同様の内容の授業が行われます。これらの授業とのコラボレーションを早

い段階からクループワーク等を通して行なうのがよいのかもしれません。抜本的な授業の再編成を視野にいれて、検討していきたいと考えています。

２．授業において工夫した点について

各授業科目の特性を考慮に入れ、担当教員によって以下のような工夫を行いました。十分な成果のみられていないものについては、改善あるいは変更を行っていく考えです。また、評価の高かった取り組みについては、導入が可能な他科目にも広めていきたいと思います。

〇遠隔授業の方法について

・オンデマンド方式では、基本、講義資料と動画コンテンツを配信、科目によってはユニット学習を導入。一部授業では、テスト実施毎に意見、感想を求めた。

・オンデマンド方式の動画コンテンツについては集中力が途切れないようにテーマ毎に 15～20 分程度に分割して配信。

・Slack を活用して、インタラクティブなサポートを実施。

・実験科目では学生の居宅から大学実験室へ VPN 接続を可能にし、自宅、大学いずれでも受講可能。

〇授業内容の工夫

・授業形態は基本的には遠隔・対面いずれも LMS 活用、遠隔では LMS の機能を用いて双方向性の維持に努めた。

・授業形態の特徴、メリットを活かしたハイブリッド型授業（オンデマンド、対面を交互に行なうなど）の実施。

・キャリア教育では卒業生、病院管理者を交えたワークショップを開催。

・教育用電子カルテおよび診療現場で用いられる医療機器の体験。

・演習、再履修対応科目では、時間の制約がなければ個々の学生の質問に丁寧に対応することを心掛けました。

３．今後の授業にどう生かすか

〇今回も受講の仕方、授業の進め方について資料等で記載しても十分に理解されていないようです。口頭での説明も加えて内容がしっかり伝わるようにします。

〇演習については、対面を希望する声が強いように思いました。対面中心が適切だとは思いますが、そこに ICT を活用しながら、対面のみとは違ったやり方で対面以上の学習効果が得られるように改善していきたいと考えています。

〇LMS の活用がまだ十分ではありません。FD 活動の一環として教員のスキルの向上に努めます。また、これまでは、緊急的に対面授業を ICT ツールで代替するということに重点が置かれた面がありますが、今後は ICT ツールを活用して対面とは異なる環境においても対面と同等、あるいはそれ以上の学修成果を上げることができないか、チャレンジしていきたいと考えています。

〇本学科は、医学・医療の分野で情報学、データサイエンスを活用して貢献する人材の育成をめざしています。この分野でも、AI、IoT、VR などの新しい情報通信技術が展開されており、また医療ビッグデータの解析を行うデータサイエンティストの育成が喫緊の課題となっています。新カリキュラムが導入されて 6 年が経過し、時代遅れのものになりつつあります。このような社会、医学・医療界の新しい動きを反映したカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーが必要と考え、現在、その作業に取り組んでいます。在学に皆さんには、現在のカリキュラムの中で、授業内容を改定していきた

いと考えています。幸い、大学での情報学関連領域の授業が数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの認定制度で認定され、今後は内容の充実に努めて参ります。

４．その他

〇授業の改善は、教員のみの努力では達成できません。学生自身も授業に能動的に参加し、授業に対する意見、授業内容に対する質問等を積極的に出して頂きたいと思います。授業改善にあたっての重要な手がかりになります。冒頭で述べたように、アンケートの回答率が低いことが懸念されます。教員もアンケートに回答したくなるような授業をめざす所存ですが、回答率をあげる施策も必要にかんじます。

〇LMS を用いた新しい授業評価アンケートになりましたので、結果の教員へのフィードバックを、次年度の授業に生かせるように、セメスター毎に集計して頂くことを検討して頂きたいと思います。また、時間をかけての取り組みで結構ですので、その分析法についても新しい視点（たとえばレーダーチャートを用いた表示など）を加えて検討頂きたいと思います。

令和３年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

副学長・助産学専攻科長
坂本　すが

１.授業評価アンケートについて

１）助産学専攻科の科目全体の授業評価集計結果は、概ね 4.0 以上の評価を頂きました。 学生が自身の授業に対する意欲や出席等の取り組みを評価する項目では、特に、助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱや助産学実習など、全体の科目の中でも単位数が多く、より学生の主体的な参画が求められる科目で高い評価が見られていました。これらの科目は、個人課題はあるが課題の難解さから、グループ課題として周産期各期の症例検討に取り組み、分娩介助演習等もグループメンバー相互で学修を重ねることで学生に求められる学修レベルは高いものの達成感を得ることにつながったと考えます。令和３年度は、コロナ禍による ICT 教育と対面のハイブリッドでの授業でしたが、昨年からの開講で教員側も質の向上もあり、対面同様のレベルの達成につなげることができました。

助産学実習は、コロナ禍でも従来の実習開始時期と同時期の開始となりました。実習を断られる施設もありましたが、施設との調整を重ね、全学生が臨地実習を経験できました。総合評価では、技術演習を伴う診断・技術学Ⅱや実習科目において点数が低い傾向がみられるのは、臨地実習でケアを実践することで自身の未熟さを認識することで評価は低下するものの、対象者の実在する臨地実習での臨場感や体験を通して学習達成度や満足度に繋がったと考えます。

２）教員の姿勢については、講義内容や授業展開などに関する指摘はありませんでしたが、演習方法の見直し、実習施設での調整や教員間の引継ぎ、指導方法に関する課題がみえてきました。コロナ禍による演習や実習期間の短縮等、それに伴う臨地調整や指導の煩雑さ、過密スケジュール等があり、教員も学生も負荷は高かったと思われます。1 年課程の助産学専攻科は、多重課題となりますので、学生の状況を丁寧に把握した上での学生のメンタルヘルスへの支援、適切な教育や指導を目指してまいります。

２.授業において工夫した点

授業等では授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせた具体的な教育方法、演習形式の授業は、個々の学生の理解が図れるように、複数の教員でデモンストレーションや質問対応を継続しています。助産診断能力の強化を図るため、臨床推論を用いた症例検討、それを基に臨床実習での対象者の経過診断ができるように教育・指導してきました。

コロナ禍による遠隔授業が導入は、リアルタイムでの双方向型講義を取り入

れることができ、遠隔でのグループワークにおいても、随時教員も質疑応答に応じながら進行でき、対面での実施と同様の学習効果を得ることができたと考えます。健康教育に関する学習では、産後の母子を対象とした集団支援クラスを遠隔で実施しています。ポストコロナにおける集団指導を企画運営する能力の向上にも繋がったと考えます。母子保健法の改正等から産後１年までのケアの重要性が謳われ、本学の産後ケア研究センターにおける臨地実習の学生からの評価は高いことから、今後も地域の母子支援の学習強化に努めて参ります。

３．授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

課題やグループワーク、研究などの学生の多重課題への取り組みや、それらに伴うメンタルヘルスの問題に関して、教員間で教育目標や指導方針を共有し、引き続きよりよい授業や教育・実習が行えるように発展させていきます。

４．その他

今後も助産師として学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求していきたいと考えます。

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数　541科目　　○調査対象者数 24,981人（延人数）
○総回答数　　15,234件（回答率 (61.0%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果

〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	(41.8)	(41.4)	(12.7)	(2.6)	(1.4)	0.0	(100)
	44.0	38.8	13.2	2.7	1.3	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(63.9)	(27.8)	(6.3)	(1.3)	(0.7)	0.0	(100)
	66.1	25.2	6.5	1.2	0.9	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(53.5)	(35.8)	(8.2)	(1.7)	(0.9)	0.0	(100)
	55.6	33.0	8.8	1.6	1.0	0.0	100
計	(53.1)	(35.0)	(9.1)	(1.9)	(1.0)	0.0	(100)
	55.2	32.4	9.5	1.9	1.1	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(39.9)	(43.8)	(11.8)	(3.4)	(1.1)	0.0	(100)
	42.6	41.0	12.0	3.0	1.5	0.0	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(51.3)	(37.4)	(8.7)	(1.7)	(1.0)	0.0	(100)
	54.3	34.0	9.0	1.7	1.0	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(47.8)	(36.6)	(12.2)	(2.3)	(1.1)	0.0	(100)
	51.0	33.1	12.3	2.3	1.2	0.0	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(53.4)	(34.8)	(9.4)	(1.5)	(0.9)	0.0	(100)
	57.0	30.9	9.6	1.5	1.0	0.0	100
計	(48.1)	(38.1)	(10.5)	(2.2)	(1.0)	0.0	(100)
	51.2	34.8	10.7	2.2	1.2	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(41.0)	(33.1)	(20.8)	(3.2)	(1.9)	0.0	(100)
	44.1	31.3	19.7	3.3	1.6	0.0	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(52.6)	(32.8)	(11.6)	(1.9)	(1.2)	0.0	(100)
	60.2	28.2	9.4	1.4	0.8	0.0	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(50.7)	(30.8)	(12.6)	(3.8)	(2.1)	0.0	(100)
	58.3	27.7	9.8	2.6	1.6	0.0	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(41.5)	(31.3)	(20.0)	(4.3)	(2.8)	0.0	(100)
	46.5	30.7	17.2	3.8	1.9	0.0	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(51.8)	(33.0)	(10.7)	(2.9)	(1.7)	0.0	(100)
	57.0	29.1	10.4	2.3	1.2	0.0	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(56.6)	(31.2)	(9.7)	(1.5)	(1.0)	0.0	(100)
	62.0	27.1	9.0	1.1	0.8	0.0	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(40.0)	(32.7)	(19.8)	(4.5)	(2.9)	0.0	(100)
	45.4	30.8	17.7	4.1	2.0	0.0	100
計	(47.7)	(32.1)	(15.0)	(3.2)	(1.9)	0.0	(100)
	53.4	29.3	13.3	2.7	1.4	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(42.9)	(30.8)	(15.4)	(6.9)	(4.0)	0.0	(100)
	52.8	26.1	13.7	4.4	3.0	0.0	100
17(16) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(44.6)	(38.3)	(12.1)	(3.4)	(1.7)	0.0	(100)
	51.5	33.9	11.1	2.2	1.3	0.0	100
計	(43.7)	(34.5)	(13.7)	(5.1)	(2.8)	0.0	(100)
	52.1	30.0	12.4	3.3	2.2	0.0	100
全質問項目の平均	(48.2)	(34.9)	(12.1)	(3.1)	(1.7)	0.0	(100.0)
	53.0	31.6	11.5	2.5	1.5	0.0	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

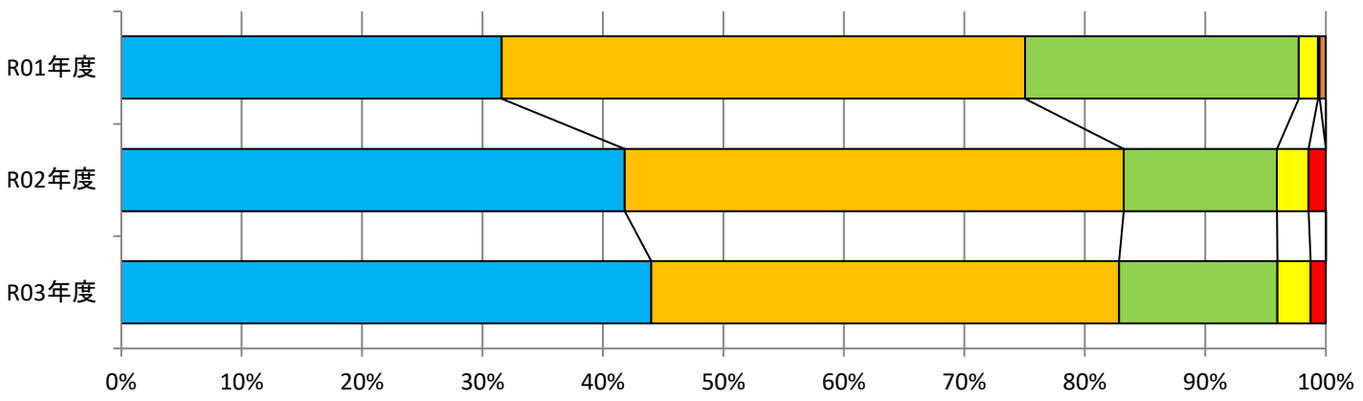
	29年度	30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	348科目	363科目	360科目	391科目	541科目
調査対象者数	23,367人	22,616人	22,689人	24,074人	24,981人
総回答数（回答率）	19,759枚（84.6%）	19,799枚（87.5%）	19,212枚（84.8%）	15,667件(65.1%)	15,234件(61.0%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

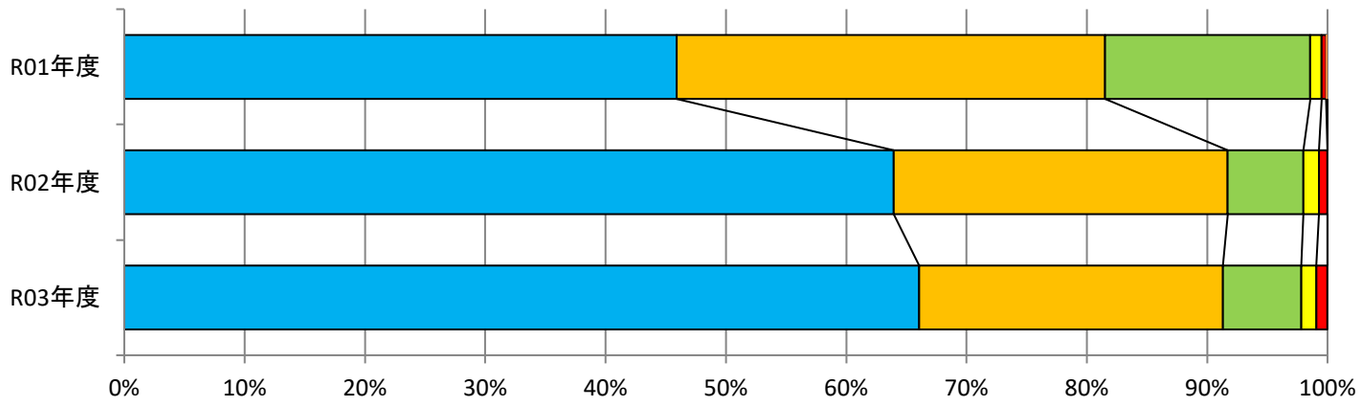
Ⅰ　あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



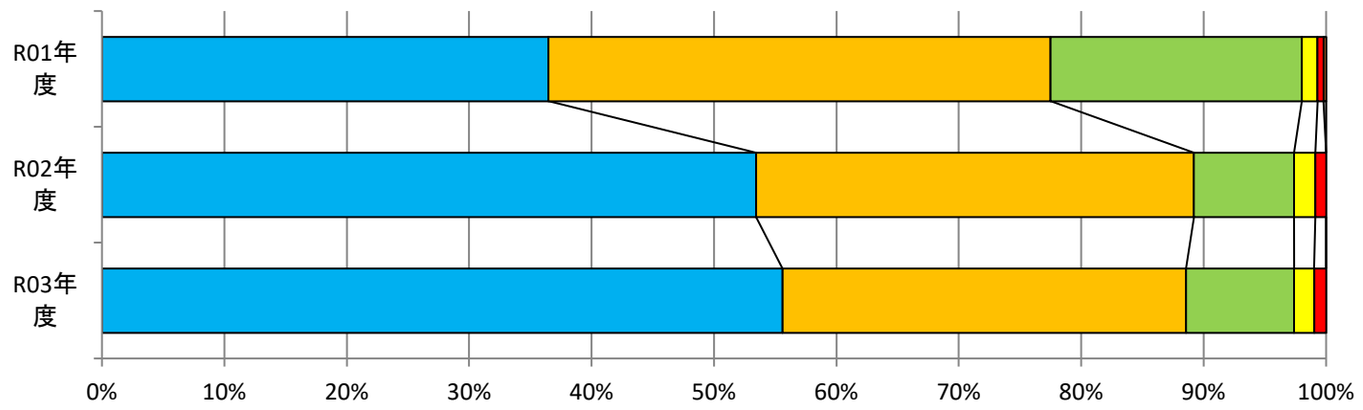
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.6	43.5	75.0	－
41.8	41.4	83.2	＋ 8.2
44.0	38.8	82.8	△ 0.4

2(2) 積極的に出席したと思うか。



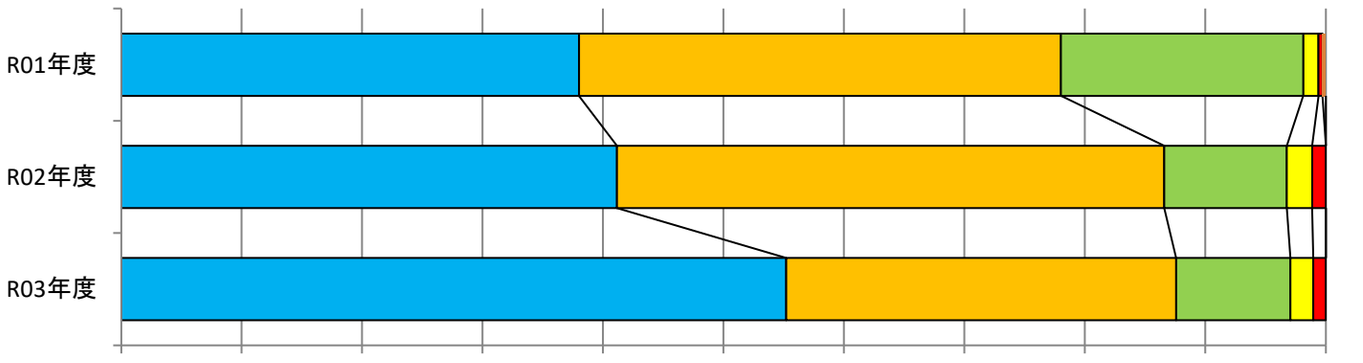
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.9	35.6	81.5	－
63.9	27.8	91.7	＋ 10.2
66.1	25.2	91.3	△ 0.4

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.5	41.0	77.5	－
53.5	35.8	89.2	＋ 11.7
55.6	33.0	88.6	△ 0.6

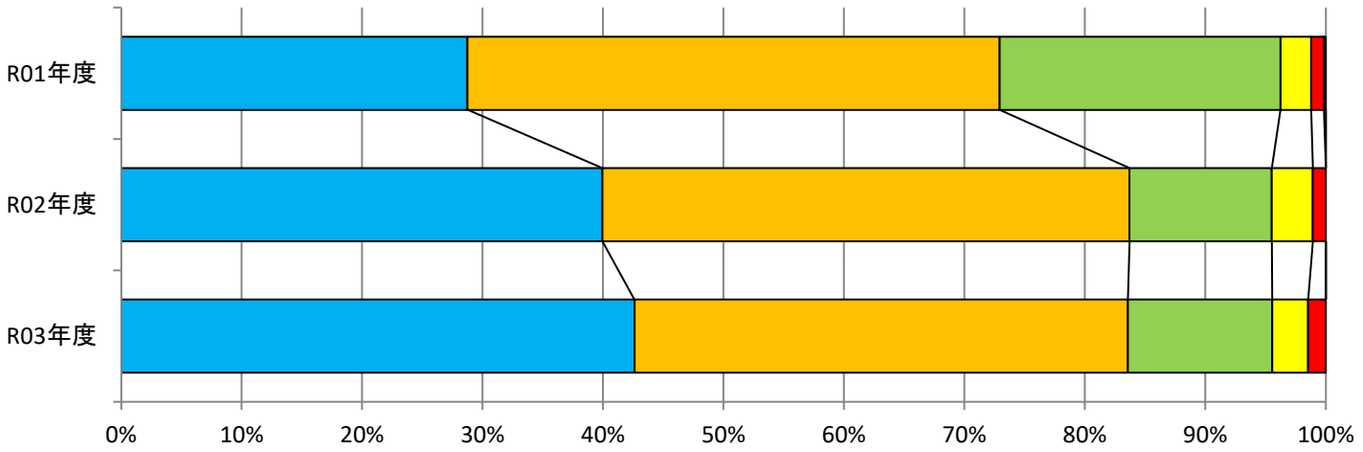
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.0	40.0	78.0	－
36.6	40.4	77.0	△ 1.0
55.2	32.4	87.6	＋ 10.6

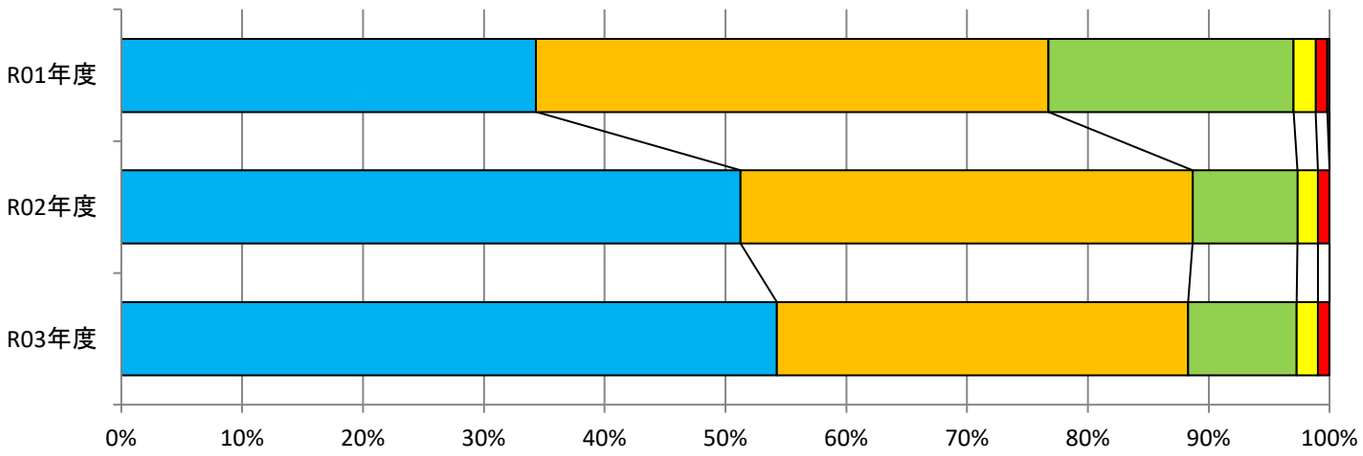
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



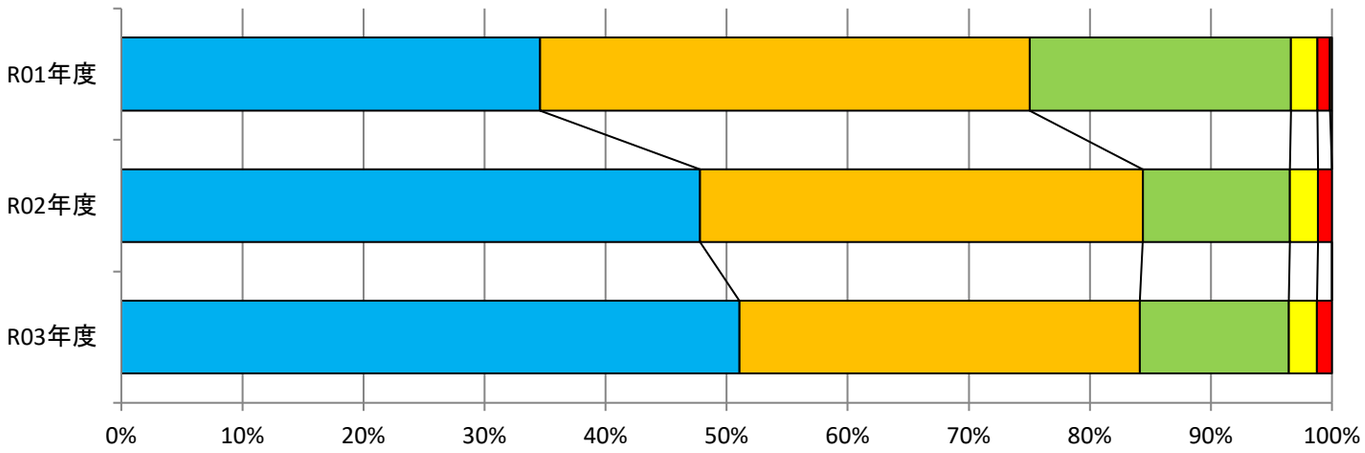
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
28.7	44.1	72.9	－
39.9	43.8	83.7	0
42.6	41.0	83.6	△ 0.1

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



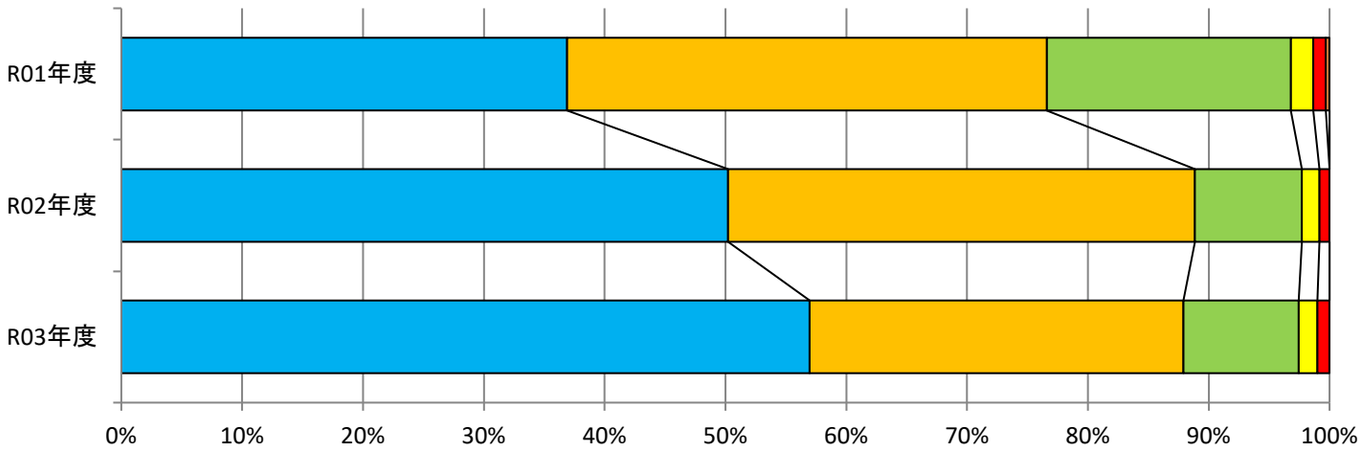
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.3	42.4	76.7	－
51.3	37.4	88.7	＋ 11.9
54.3	34.0	88.3	△ 0.4

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



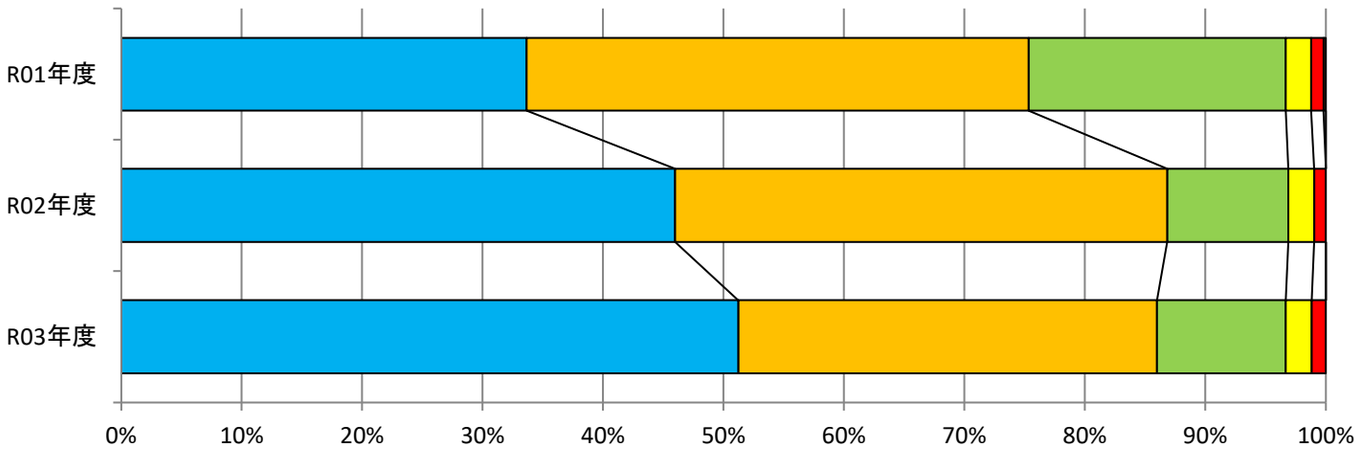
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.6	40.4	75.0	－
47.8	36.6	84.4	＋ 9.3
51.0	33.1	84.1	△ 0.2

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.9	39.7	76.6	－
53.4	41.1	94.5	＋ 17.9
57.0	30.9	87.9	△ 6.6

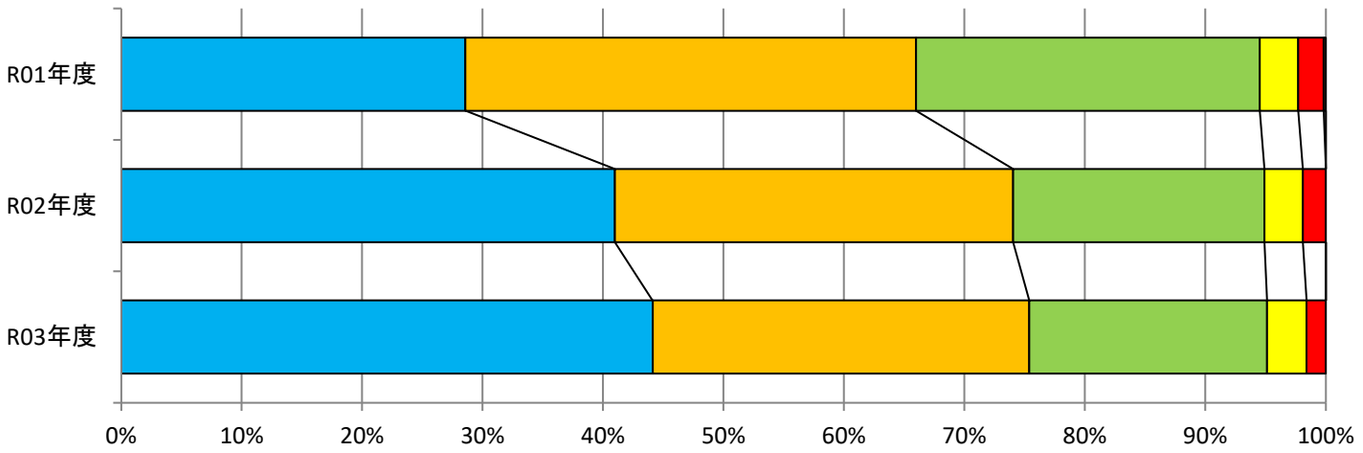
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.6	41.7	75.3	－
48.1	42.7	90.8	＋ 15.5
51.2	34.8	86.0	△ 4.8

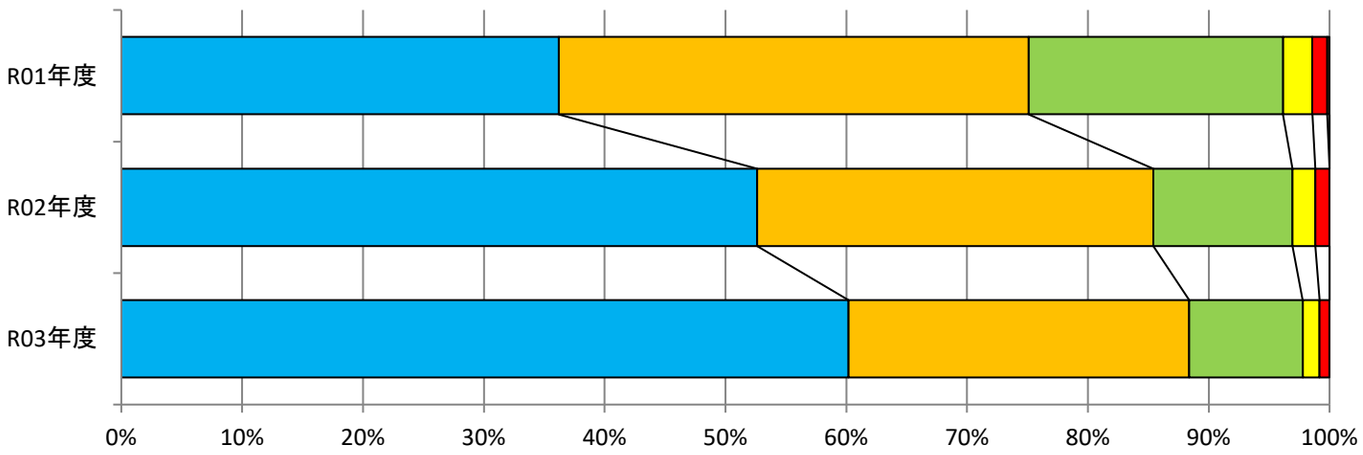
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



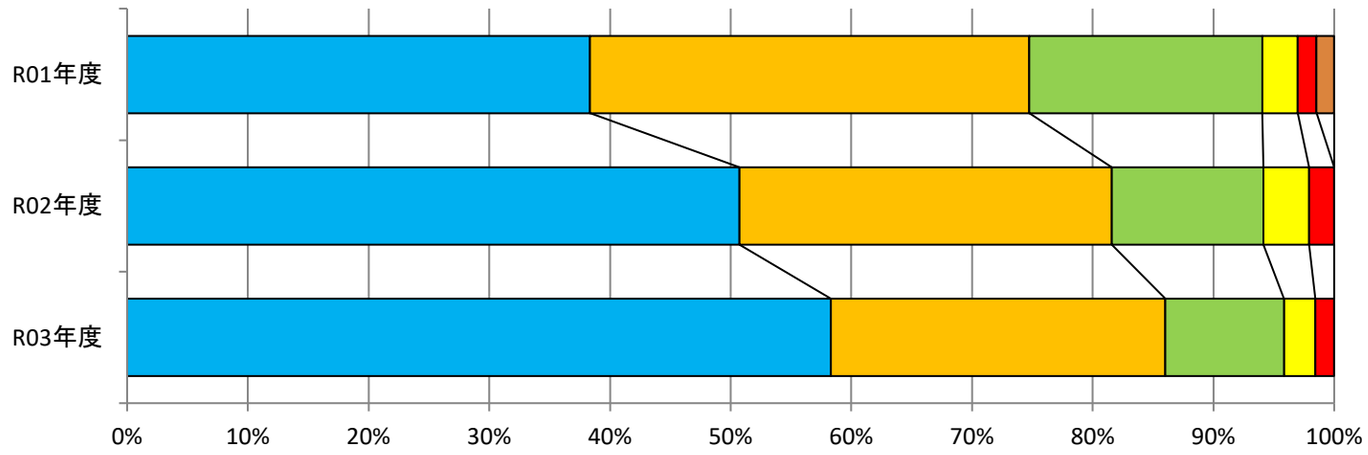
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
28.6	37.4	66.0	－
41.0	33.1	74.1	＋ 8.1
44.1	31.3	75.4	＋ 1.3

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



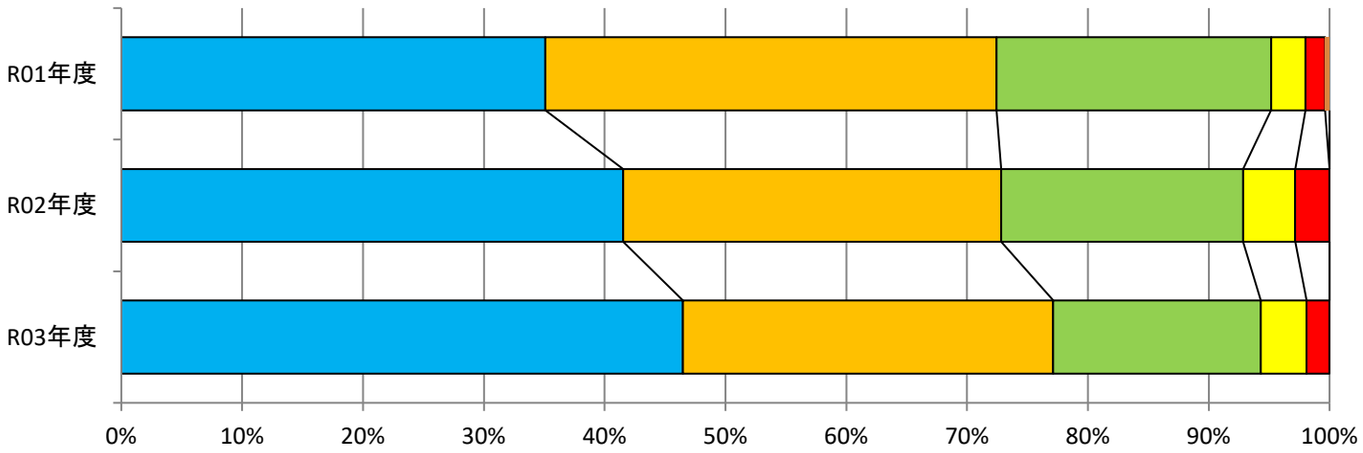
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.2	38.9	75.1	－
52.6	32.8	85.4	＋ 10.3
60.2	28.2	88.4	＋ 3.0

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



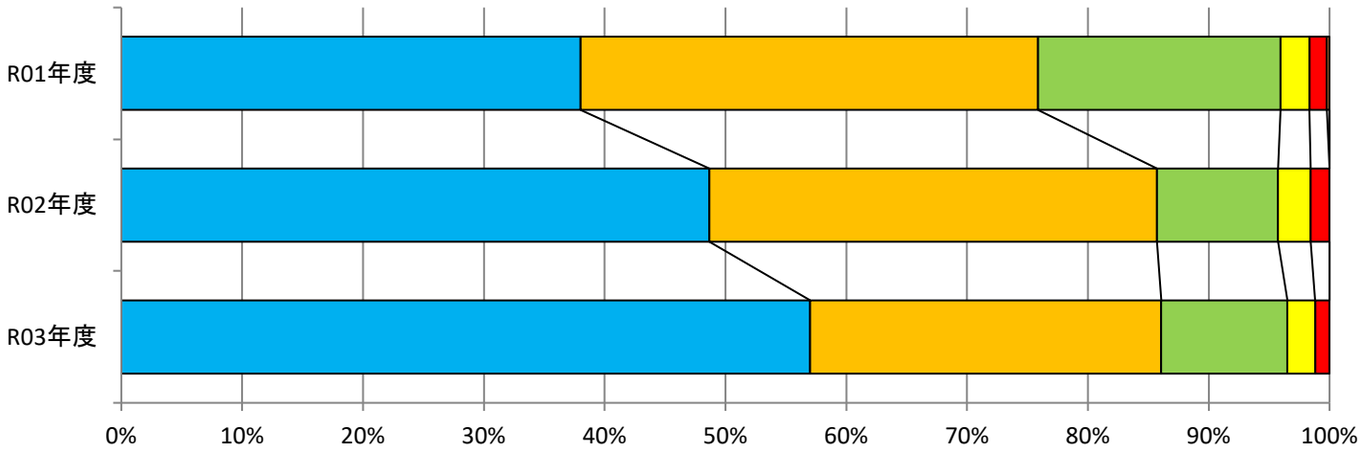
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	36.4	74.7	－
50.7	30.8	81.6	＋ 6.8
58.3	27.7	86.0	＋ 4.5

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



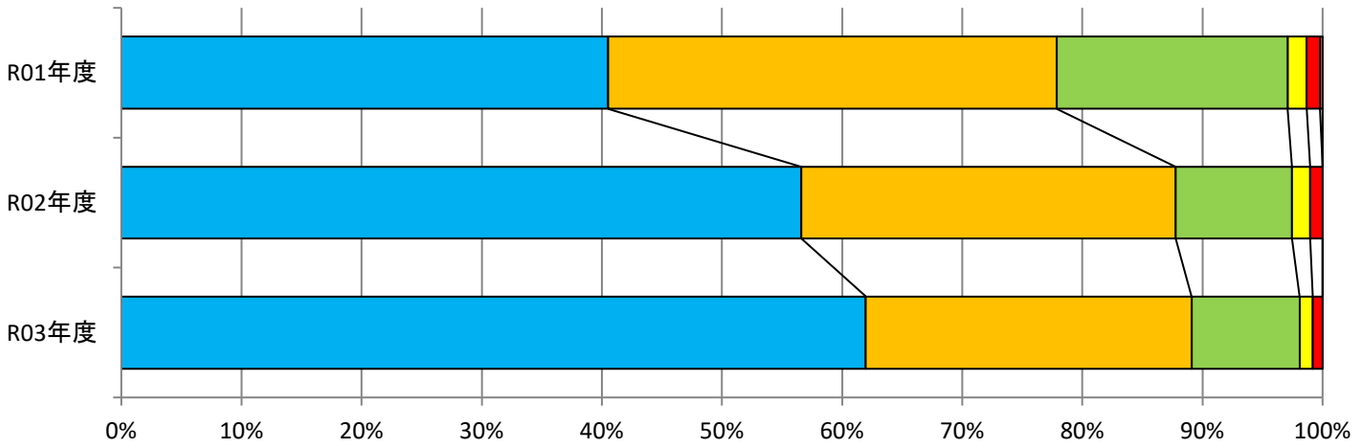
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.1	37.3	72.4	－
41.5	31.3	72.8	＋ 0.4
46.5	30.7	77.1	＋ 4.3

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



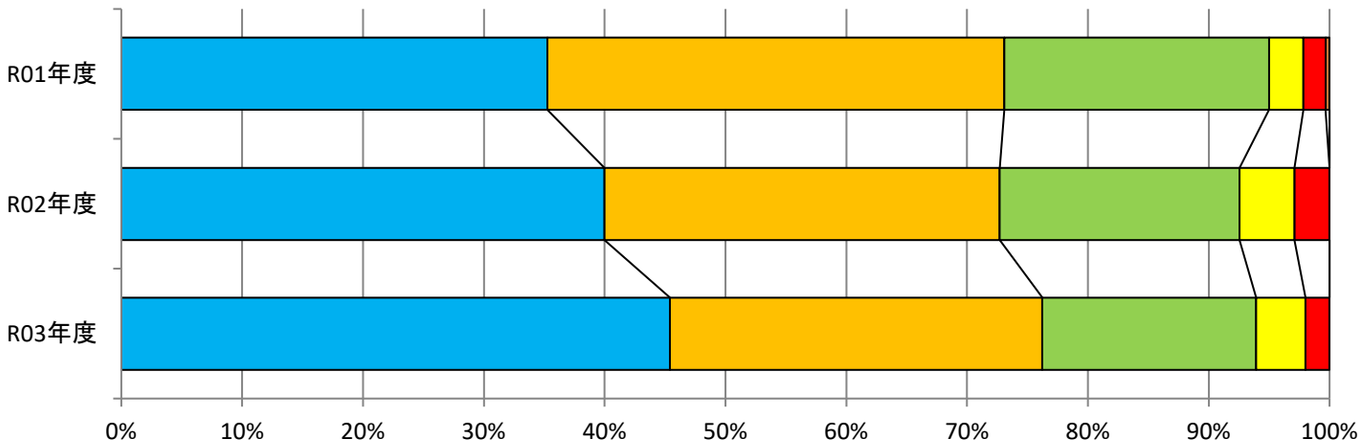
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.0	37.9	75.9	－
51.8	39.4	91.2	＋ 15.3
57.0	29.1	86.1	△ 5.1

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



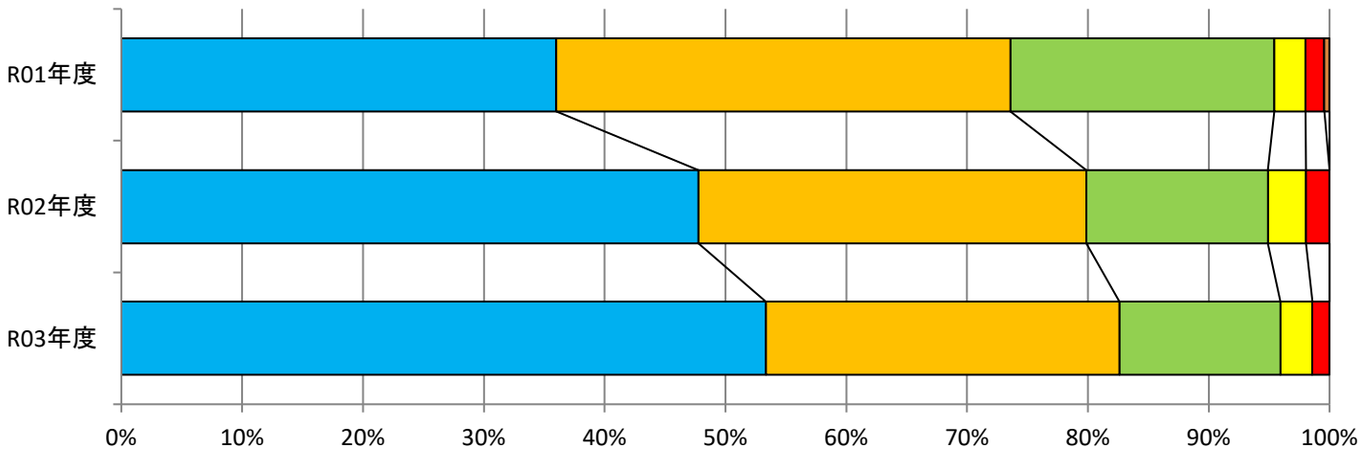
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.5	37.4	77.9	－
56.6	31.2	87.8	＋ 9.9
62.0	27.1	89.1	＋ 1.3

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.3	37.8	73.1	－
40.0	32.7	72.7	△ 0.4
45.4	30.8	76.2	＋ 3.5

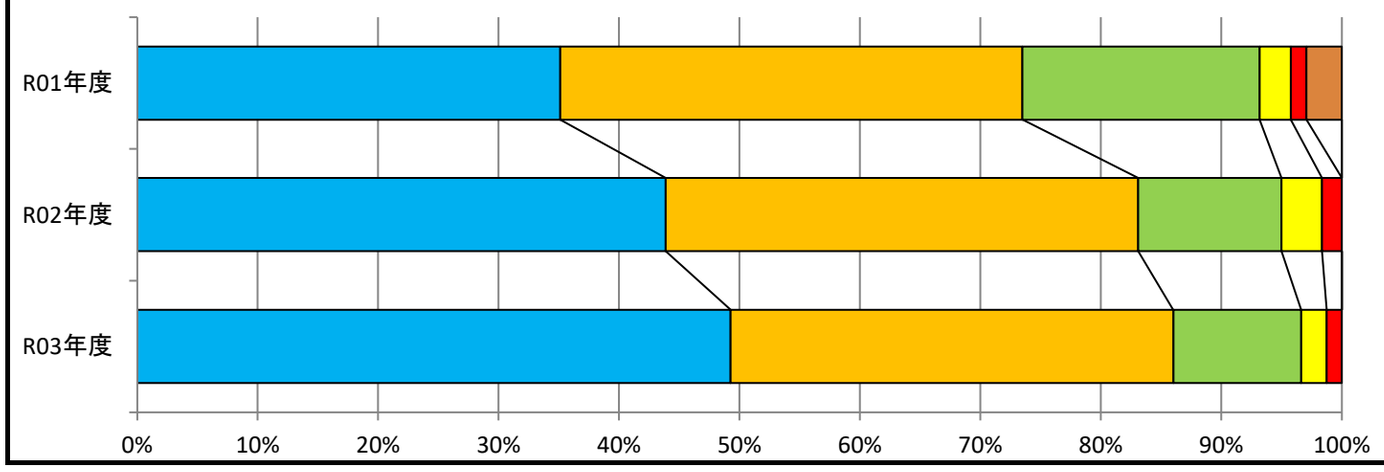
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.0	37.6	73.6	－
47.7	32.1	79.9	＋ 6.3
53.4	29.3	82.6	＋ 2.7

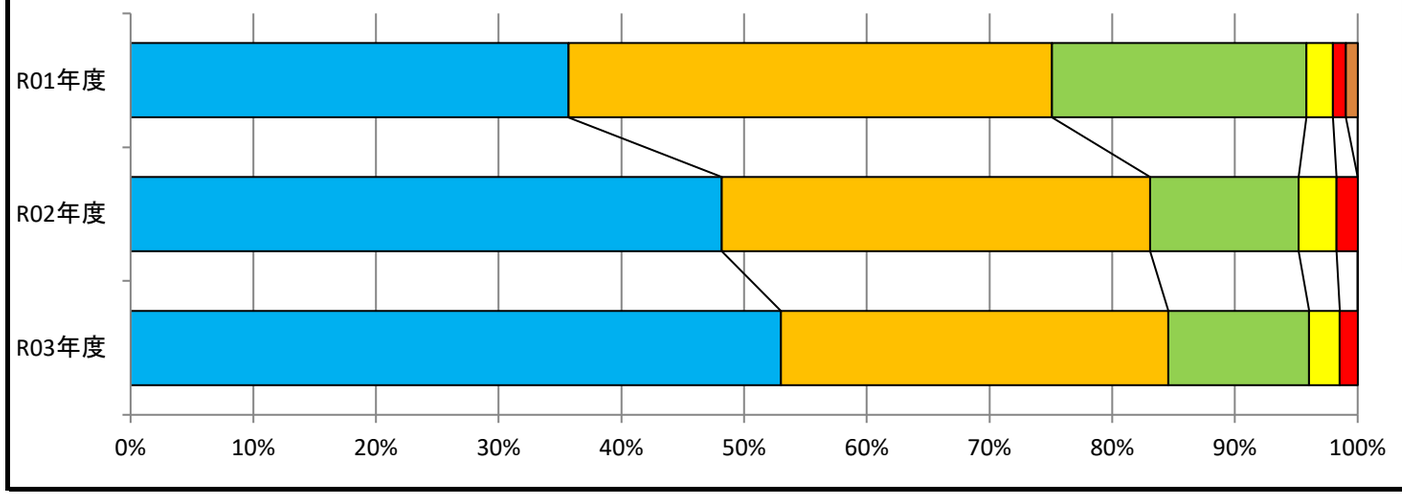
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.1	38.4	73.5	－
44.6	39.9	84.5	＋ 11.0
51.5	38.4	89.9	＋ 5.4

全質問項目の平均

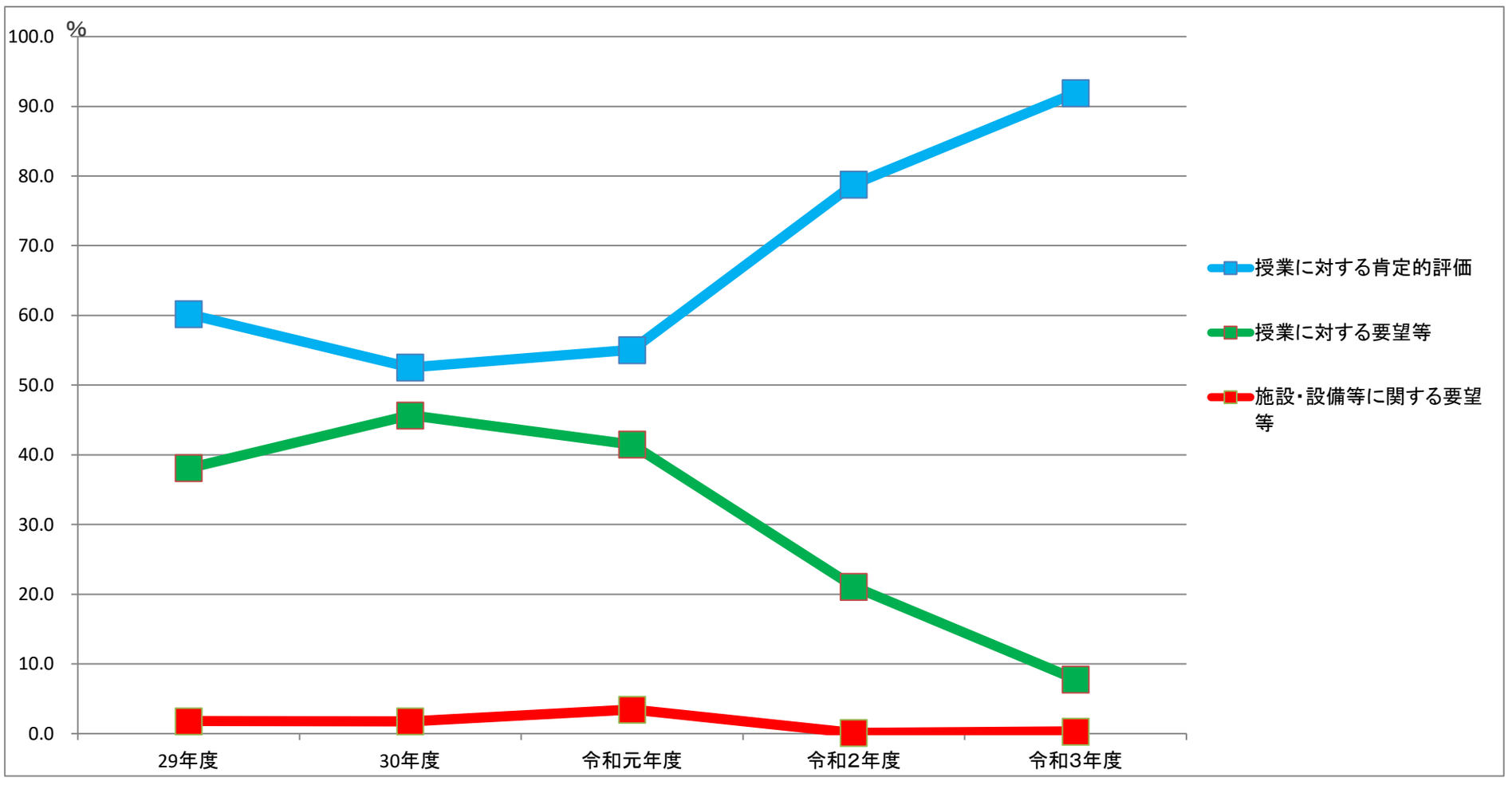


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.7	39.4	75.1	－
48.2	34.9	83.1	＋ 8.0
53.0	31.6	84.6	＋ 1.5

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和３年度	
授業に対する肯定的評価	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(78.8%)	583	(91.9%)	1,478
授業に対する要望等	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(21.1%)	156	(7.8%)	125
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.1%)	1	(0.3%)	5
総件数	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	740	(100.0%)	1,608

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	1,478	・先生方が学生のことを第一に考え、授業内容を教えていただき、質問しやすい環境も作っていただけたので、とても理解しやすかったです。 ・クイズ文や論証は難しかったですが、実際に書いてみることは良い経験になりました ・毎回の授業で前回の授業の質問について触れてくださったことで、対面での授業のように自分の疑問点を解決することができました。 ・ピア評価を行うことによって、自分がグループワークの中でどんな役割を担っているのか知ることができた。 ・小グループから大グループに移行することでグループワークを円滑に実施することができました。 ・授業動画が分割されていてやりやすかったです。 ・いろんなボランティアについてしれてよかったです。
授業に対する要望等	125	・外部講師の方が来てくださることはありがたいが、度々内容が重なる部分があり、授業全体として内容を精査していただきたい。 ・授業の感想を求めてくる割には解答やリアクションがない。 ・グループによって技量の偏りがあり、グループ編成の仕方や、学生に対しての対応が必要。 ・ホワイトボードを使用しているとき反射で文字が見にくいときがあった ・内容が難しく、理解するのが大変だった。対面でぜひ行ってほしかった。 ・授業時間が長い ・教員によって記録の書き方や教え方が異なると感じたので統一してほしい。 ・レジュメの文字が小さくて読みづらい
施設・設備等に関する要望等	5	・対面なのにパソコンを使うから電波状況が悪くなり授業に集中できないことが多くあった。
計	1,608	

令和３年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数　432科目　　○調査対象者数　21,910人（延人数）
○総回答数　　13,313件（回答率 60.8%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(41.5) 43.2	(41.3) 38.9	(13.0) 13.7	(2.6) 2.9	(1.5) 1.4	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(63.0) 64.9	(28.6) 26.0	(6.4) 6.8	(1.3) 1.3	(0.7) 1.0	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(52.2) 53.9	(36.6) 34.0	(8.5) 9.3	(1.8) 1.7	(0.9) 1.0	0.0	(100) 100
計	(52.2) 54.0	(35.5) 33.0	(9.3) 9.9	(1.9) 2.0	(1.0) 1.1	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(39.0) 41.3	(44.2) 41.5	(12.1) 12.5	(3.6) 3.2	(1.1) 1.6	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(50.6) 53.4	(37.8) 34.4	(8.9) 9.4	(1.8) 1.8	(1.0) 1.0	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(46.9) 49.7	(37.0) 33.6	(12.5) 12.9	(2.4) 2.5	(1.2) 1.3	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(52.4) 55.7	(35.3) 31.7	(9.8) 10.0	(1.6) 1.6	(0.9) 1.0	0.0	(100) 100
計	(47.2) 50.0	(38.6) 35.3	(10.8) 11.2	(2.4) 2.3	(1.0) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(40.4) 43.5	(33.1) 31.8	(21.2) 19.8	(3.4) 3.3	(1.9) 1.6	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(52.7) 60.1	(32.5) 28.2	(11.7) 9.5	(1.9) 1.4	(1.2) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(49.9) 57.5	(30.9) 27.9	(12.8) 10.2	(4.1) 2.7	(2.3) 1.6	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(48.4) 52.7	(29.0) 25.7	(16.4) 16.6	(3.6) 2.9	(2.7) 2.1	0.0 0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(55.9) 59.9	(30.6) 26.8	(9.1) 9.7	(3.2) 2.4	(1.2) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(40.2) 44.7	(31.7) 31.2	(20.6) 18.2	(4.6) 3.9	(3.0) 2.0	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(51.2) 56.2	(33.1) 29.6	(11.0) 10.7	(3.0) 2.3	(1.7) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(55.8) 61.3	(31.5) 27.5	(10.0) 9.3	(1.7) 1.1	(1.1) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(38.7) 43.8	(32.9) 31.2	(20.6) 18.6	(4.7) 4.4	(3.0) 2.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(48.1) 53.3	(31.7) 28.9	(14.8) 13.6	(3.3) 2.7	(2.0) 1.5	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(44.2) 54.3	(31.3) 26.5	(14.7) 13.0	(6.2) 3.8	(3.6) 2.4	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(44.2) 50.7	(38.5) 34.4	(12.2) 11.4	(3.4) 2.3	(1.7) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(44.2) 52.5	(34.9) 30.5	(13.4) 12.2	(4.8) 3.0	(2.6) 1.8	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(47.9) 52.5	(35.2) 31.9	(12.1) 11.7	(3.1) 2.5	(1.7) 1.4	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

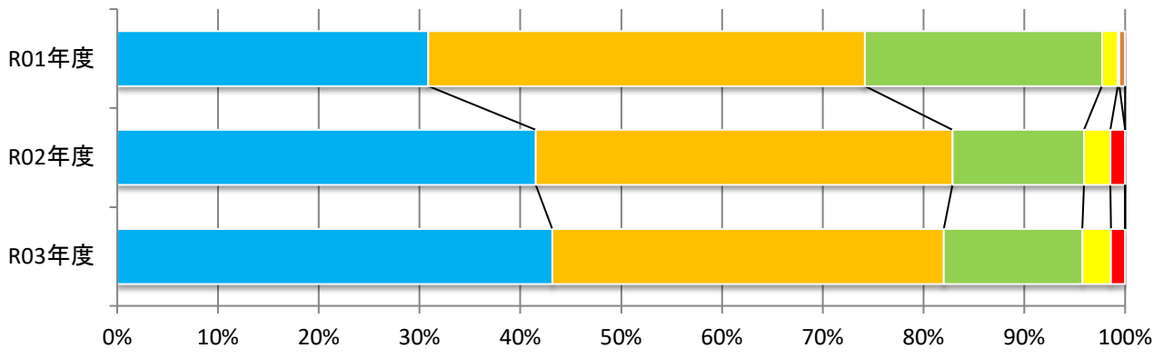
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	315科目	340科目	432科目
調査対象者数	19,577人	20,844人	21,910人
総回答数（回答率）	16,913枚（86.0%）	13,606件（65.3%）	13,313件（60.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

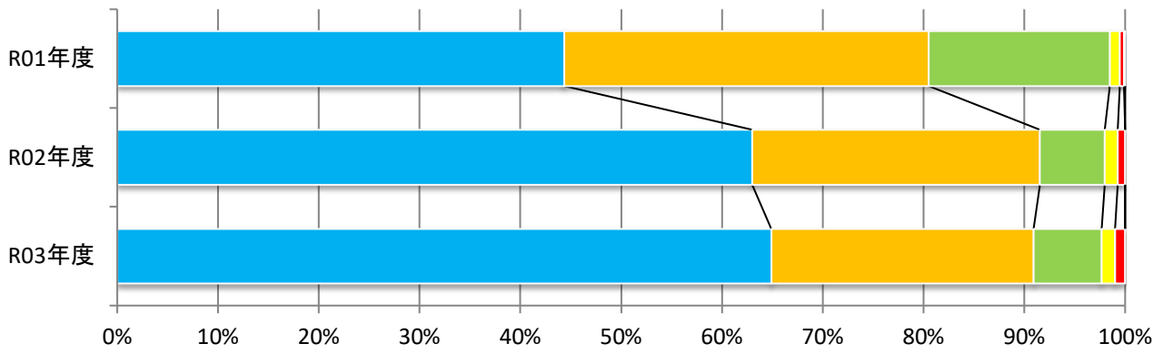
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



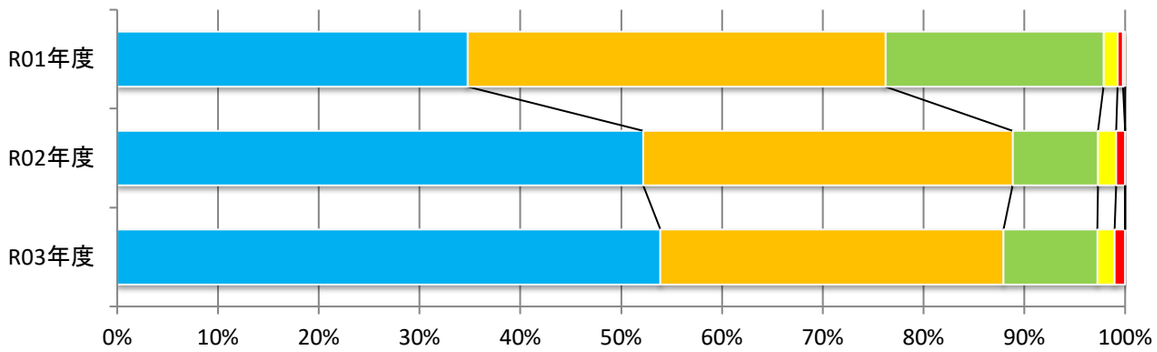
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.8	43.3	74.2	—
41.5	41.3	82.9	＋ 8.7
43.2	38.9	82.0	△ 0.9

2. 積極的に出席したと思うか。



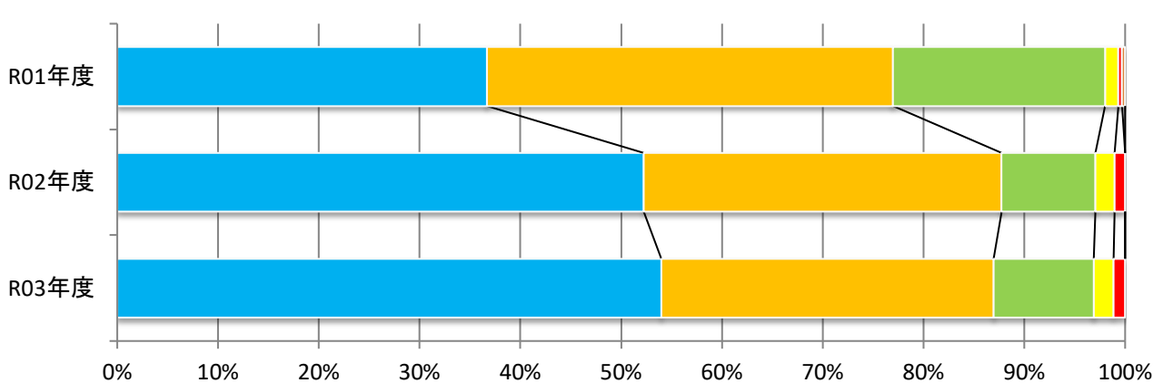
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.4	36.1	80.5	—
63.0	28.6	91.5	＋ 11.0
64.9	26.0	90.9	△ 0.6

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.8	41.5	76.2	—
52.2	36.6	88.8	＋ 12.6
53.9	34.0	87.9	△ 0.9

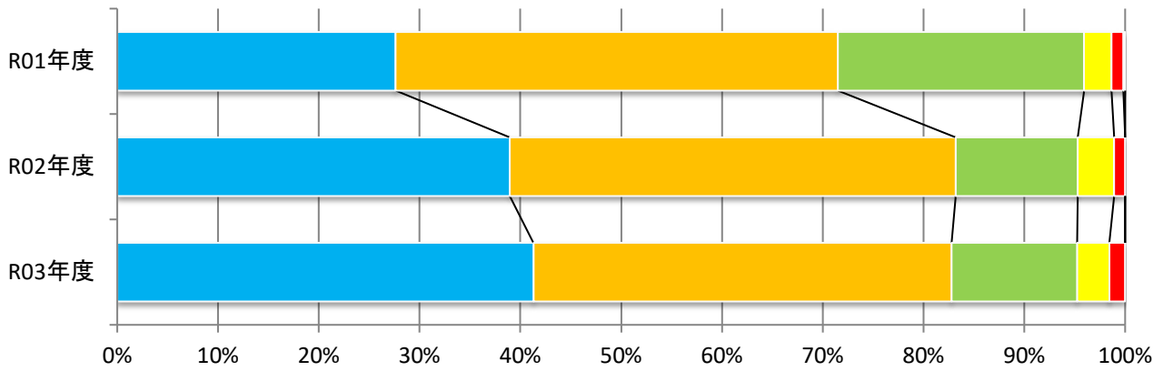
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.7	40.3	77.0	—
52.2	35.5	87.8	＋ 10.8
54.0	33.0	87.0	△ 0.8

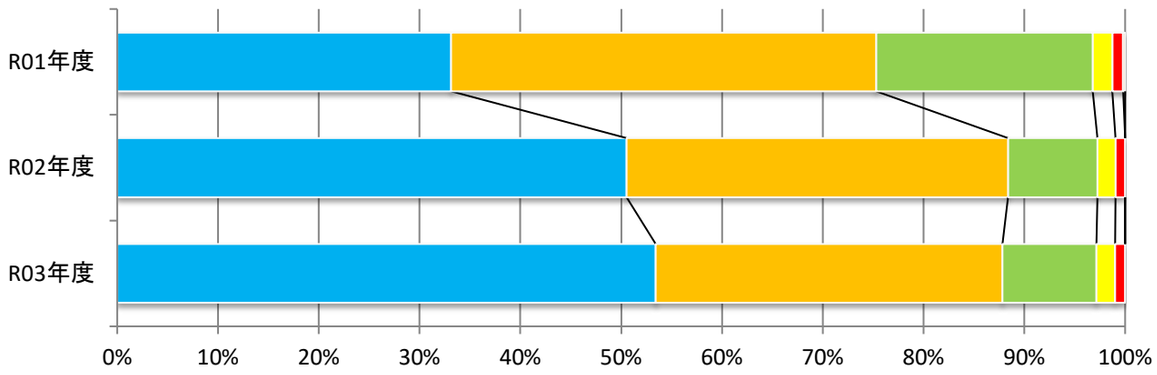
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



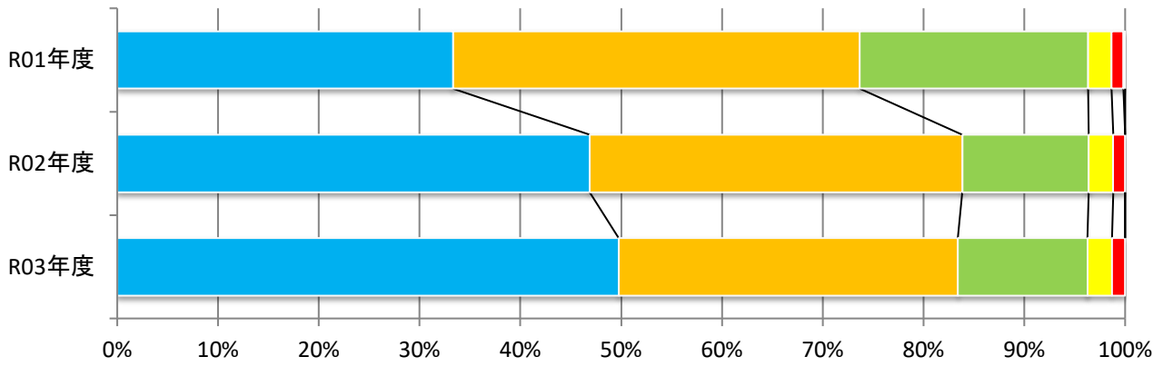
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
27.6	43.9	71.5	―
39.0	44.2	83.2	＋ 11.7
41.3	41.5	82.8	△ 0.4

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



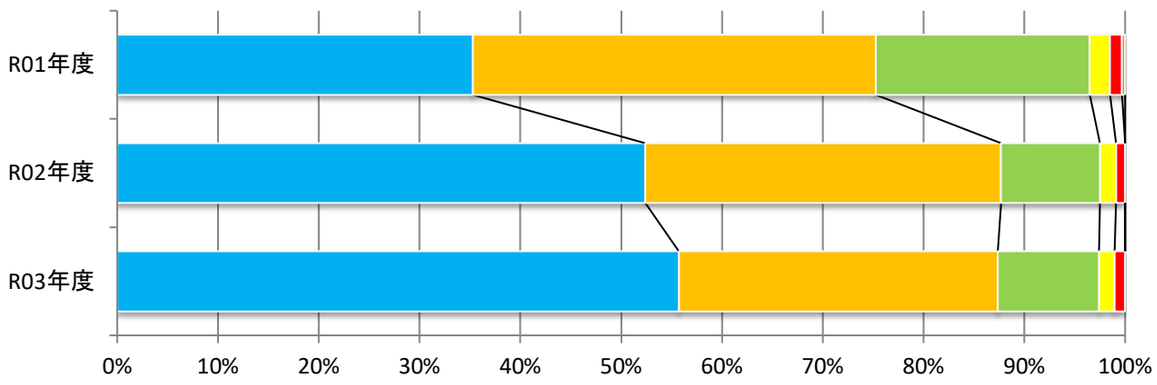
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.1	42.2	75.3	―
50.6	37.8	88.4	＋ 13.0
53.4	34.4	87.8	△ 0.6

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



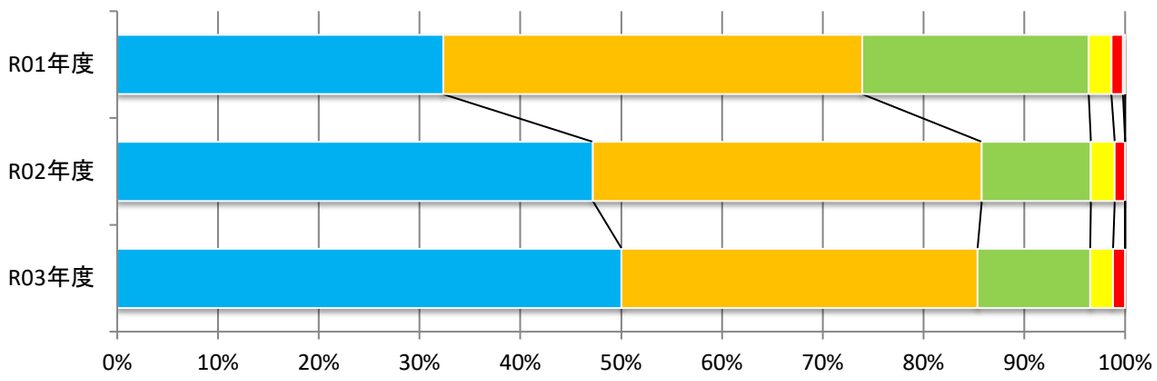
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.3	40.4	73.7	―
46.9	37.0	83.8	＋ 10.2
49.7	33.6	83.4	△ 0.4

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.3	40.0	75.3	―
52.4	35.3	87.7	＋ 12.4
55.7	31.7	87.4	△ 0.3

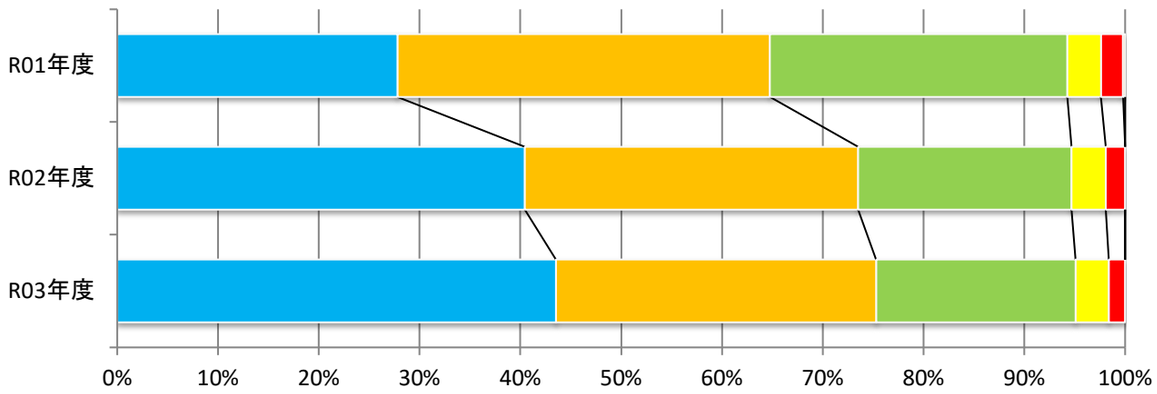
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.4	41.6	74.0	―
47.2	38.6	85.8	＋ 11.8
50.0	35.3	85.3	△ 0.4

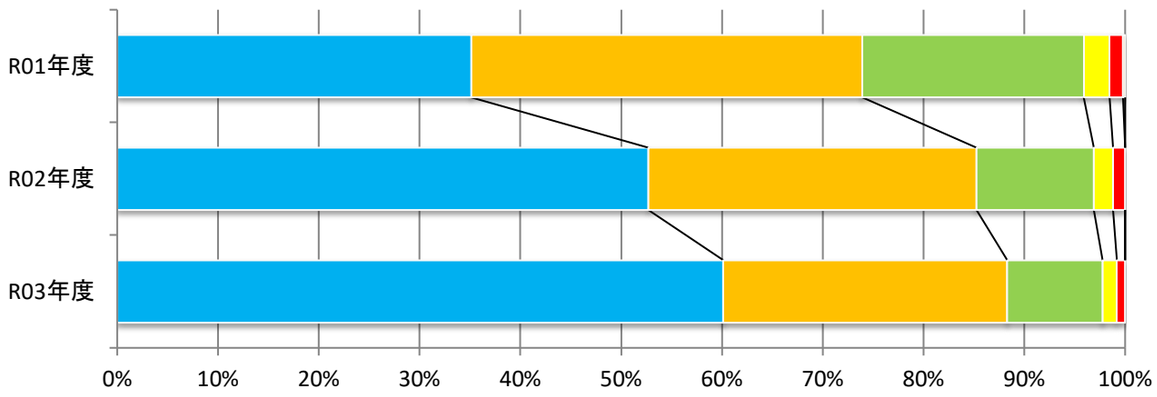
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



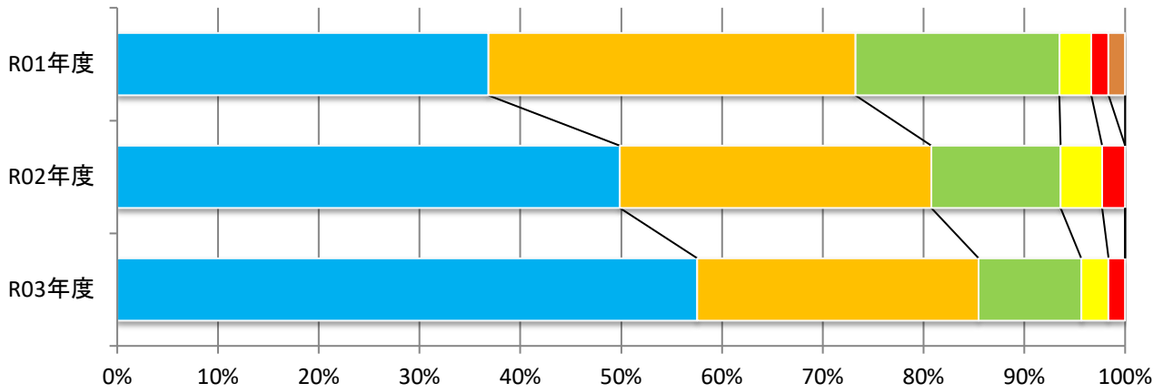
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
27.8	37.0	64.8	—
40.4	33.1	73.5	＋ 8.8
43.5	31.8	75.3	＋ 1.8

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



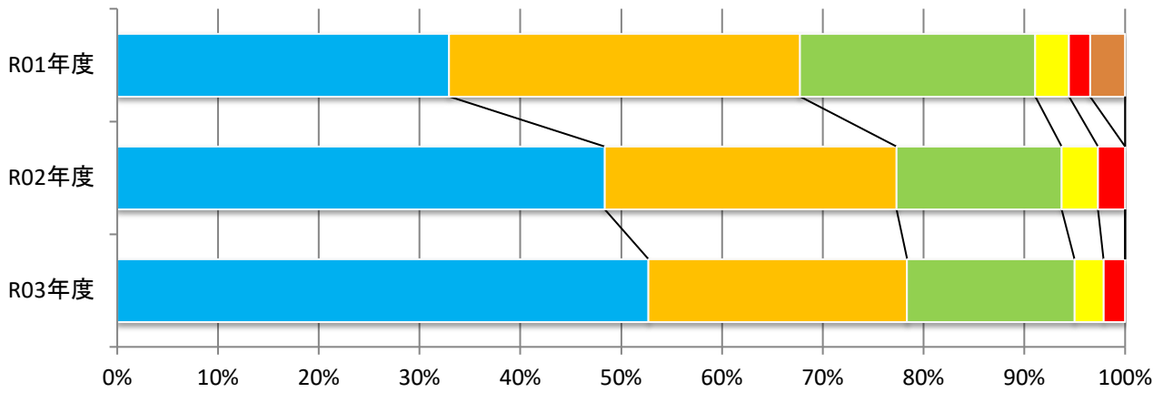
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.1	38.8	73.9	—
52.7	32.5	85.2	＋ 11.3
60.1	28.2	88.3	＋ 3.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



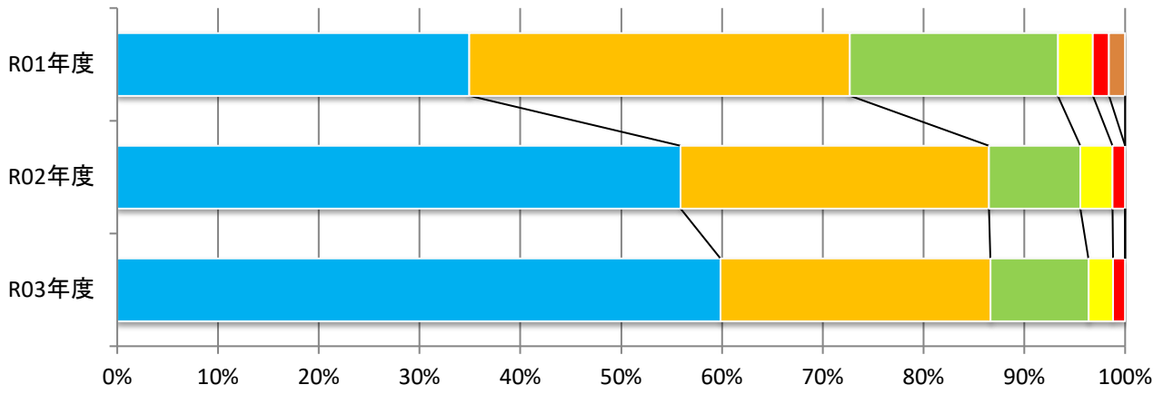
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.9	36.4	73.3	—
49.9	30.9	80.8	＋ 7.5
57.5	27.9	85.5	＋ 4.7

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい −1　板書であったと思うか。



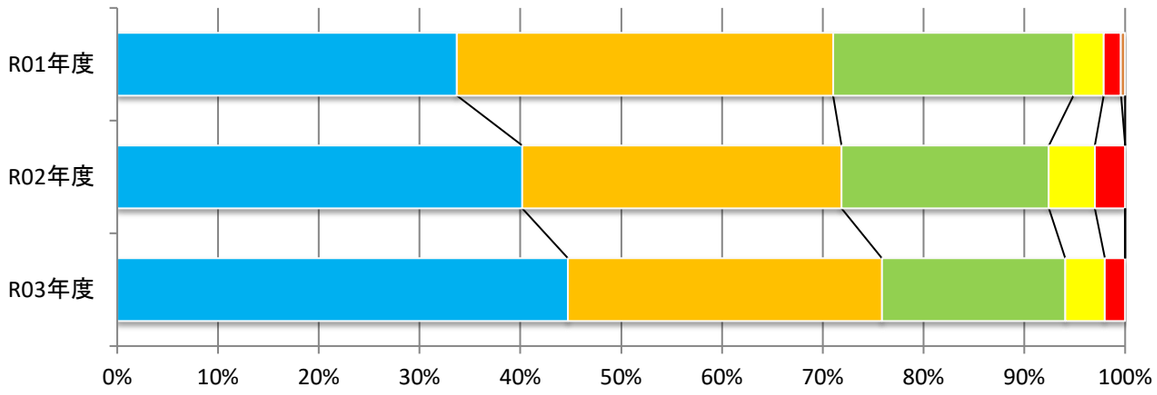
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.9	34.8	67.7	—
48.4	29.0	77.3	＋ 9.6
52.7	25.7	78.4	＋ 1.0

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は −2　わかりやすかったと思うか。



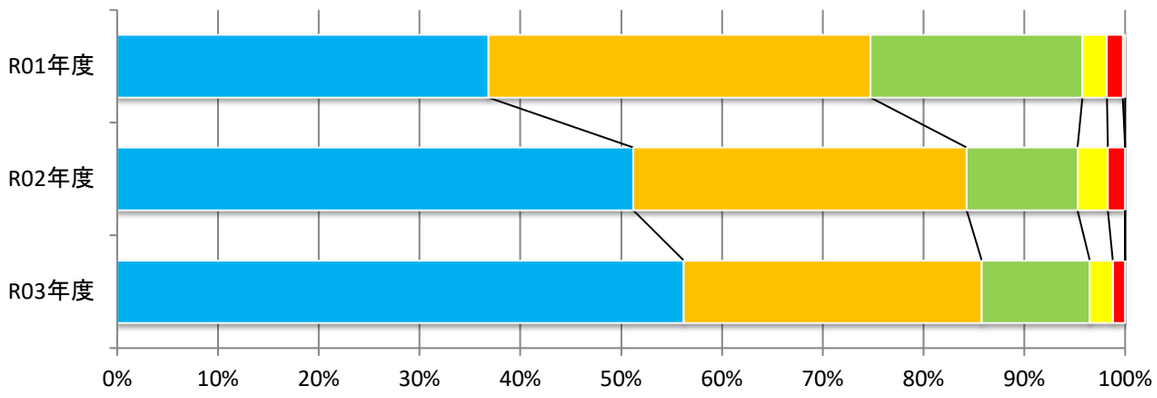
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.9	37.8	72.7	—
55.9	30.6	86.5	＋ 13.8
59.9	26.8	86.6	＋ 0.1

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



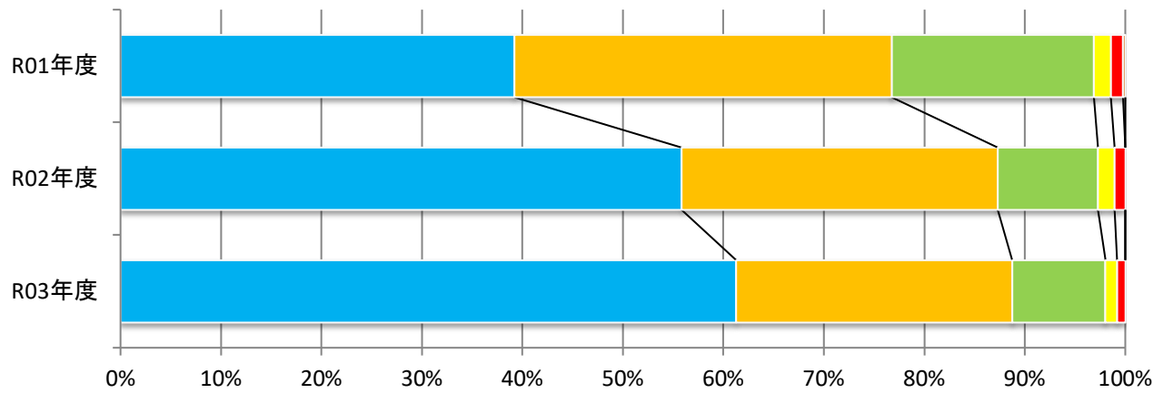
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.7	37.3	71.0	—
40.2	31.7	71.9	＋ 0.8
44.7	31.2	75.9	＋ 4.0

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



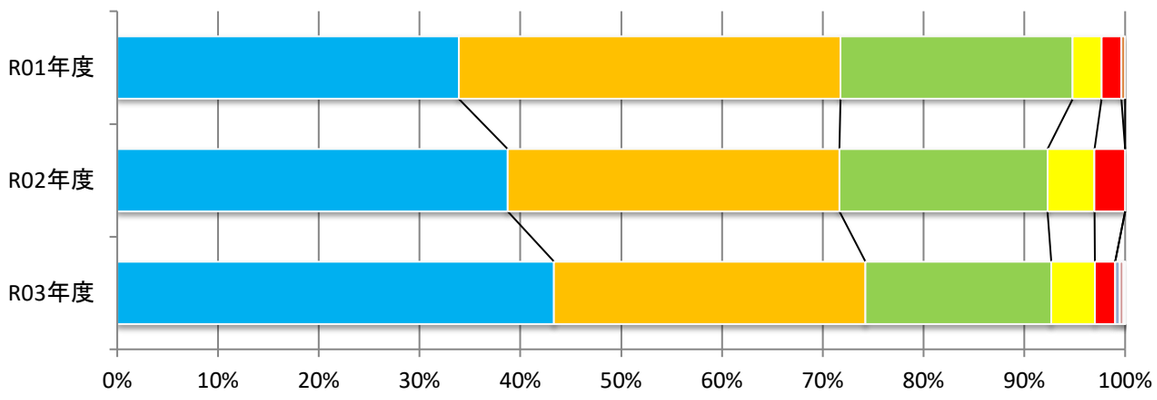
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.8	37.9	74.7	—
51.2	33.1	84.3	＋ 9.5
56.2	29.6	85.8	＋ 1.5

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



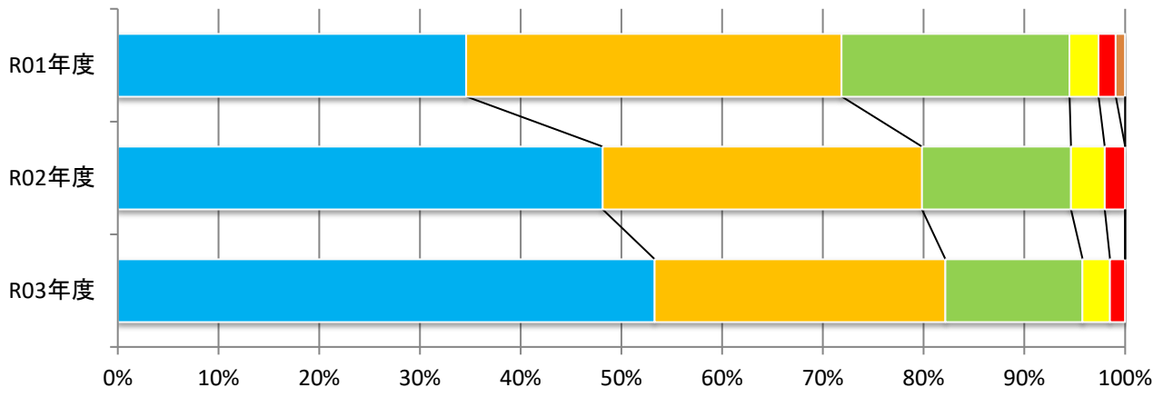
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.2	37.6	76.8	—
55.8	31.5	87.3	＋ 10.6
61.3	27.5	88.7	＋ 1.4

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	37.8	71.7	—
38.7	32.9	71.7	△ 0.0
43.8	31.2	75.0	＋ 3.3

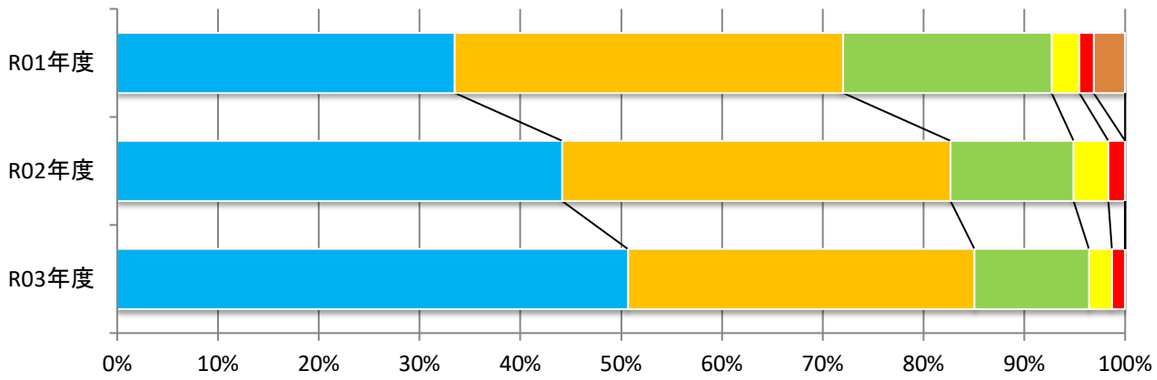
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.6	37.3	71.8	—
48.1	31.7	79.8	＋ 8.0
53.3	28.9	82.2	＋ 2.3

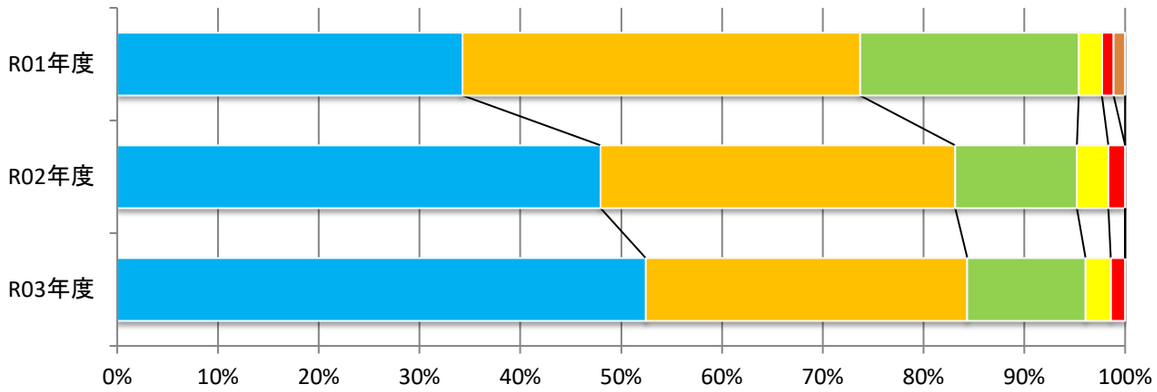
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



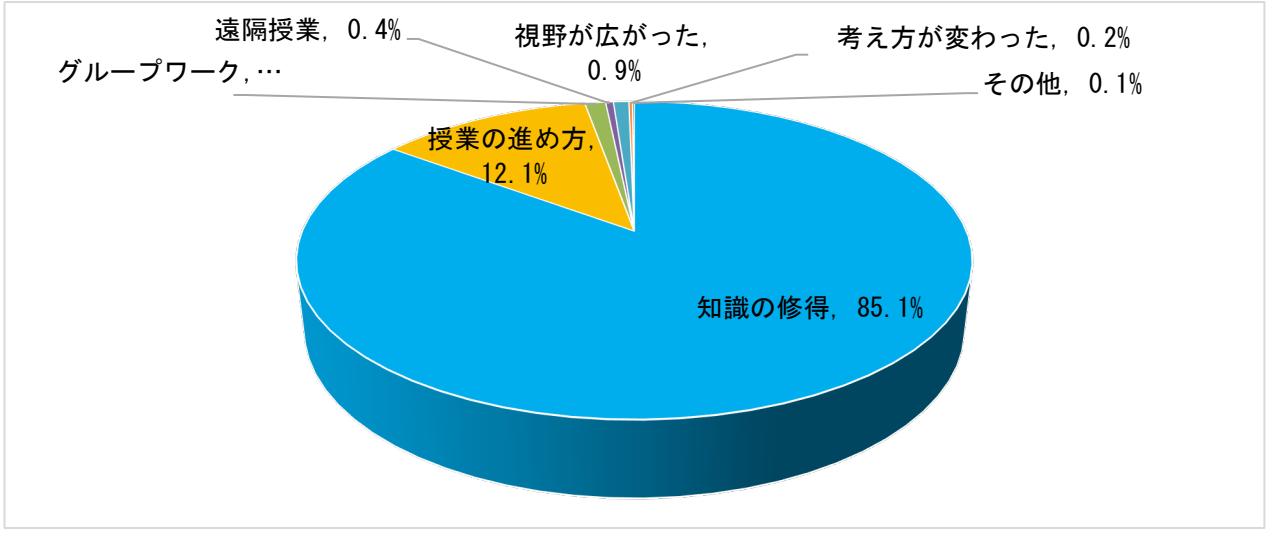
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.5	38.5	72.0	—
44.2	38.5	82.7	＋ 10.7
50.7	34.4	85.1	＋ 2.4

全質問項目の平均



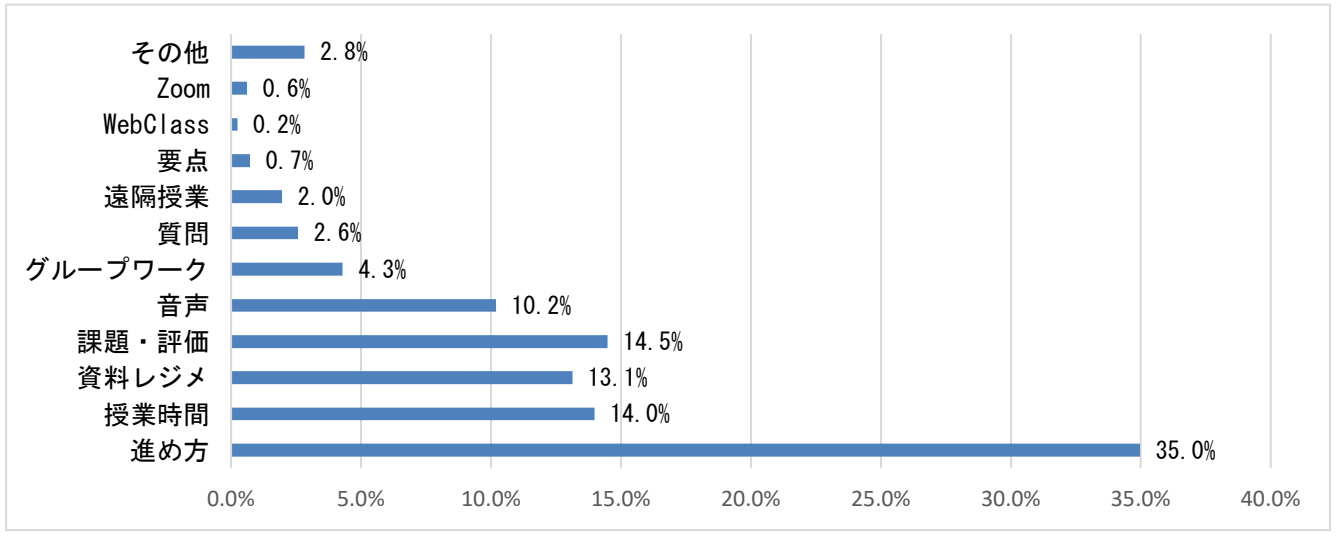
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.3	39.4	73.7	—
47.9	35.2	83.1	＋ 9.4
52.5	31.9	84.4	＋ 1.2

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　2,942】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	キャリア教育Ⅰ	66	看護だけでなく、栄養学科のことや医療情報学科のことについても学ぶことが出来た点が良かったと思いました。また、グループワークを通して4年間でどのようなことを学んでいくかについての理解を深めることが出来てよかったです。
			看護師を目指す者として将来チーム医療で協働する他の専門職の仕事を知ることができてよかったと思う。文章を作ることが苦手なので文章をつくるための知識を学ぶことができてよかったと思う。
	クリティカル・シンキングⅠ	63	グループワークが多々あったため、コミュニケーション力が高まり、ほかの人の意見を聞くことで考え方の幅を広げることができた。また、文章構成を学んで、ほかの科目のレポートにも役立てることができた。
			クイズ文の書き方を学んでから、他の授業のレポートでも使えて文章の書き方が理解できた。
	ボランティア論	60	ボランティアそのものに対する見方が良い方向に変化した点がよかったと思います。 また、ボランティア活動へのハードルのようなものがなくなり、身近に感じられるようになりました。
			授業が終わった後にリアクションペーパーを記載することで、授業の理解を深めることが出来た。さらに、リアクションペーパーに先生がコメントをしてくださることで反省点や改善点を見るけることが出来た。
	看護学概論	59	看護とはなにかということを深く考えるきっかけになりました。また、各分野についても少し知れて自己の将来を考えることができて良かったです。
医療栄養学科	栄養学演習	19	一番管理栄養士の仕事に近い授業だったので、緊張感があり、将来に役立ちそうな知識をたくさんつけられたので良かったなと感じています。
	体の仕組みと働きⅠ	19	体の仕組みや働きは生物に似た教科であったが図や写真が多くイラストをイメージしながら勉強するのがいいかと思いました。自分は少し不得意な内容の授業であったからとても苦労した。
			毎回の授業が問題に合格しないと進まないタイプだったので理解せざるをえなくて、ありがたかったです。
	健康管理概論	17	憲法のこと、人間にはなにが必要で大切なのかがよく分かった。日常生活を送る上で役立つ知識がたくさん学べたしこれからもっと深く学んで生かしていこうと思えた。
			健康を推進するための日本の政策や取り組み、疾病の症状などについて知ることができました。
医療情報学科	IT入門Ⅰ	20	先生がとても熱心だった。難しい仕組みを他のものに例えて説明していてわかりやすかった。
			専門用語を知ることができ、インターネットに載っている情報に関するサイトが大分読みやすくなった。
	IT入門Ⅱ	7	今の段階では、将来どの部分でこの講義内容を使うときが来るのかわかりませんが、人間として知れてよかったなと感じます。人間力が上がった気がします。
			ITの専門的な用語を学ぶことができ、ITに関するホームページの内容を理解しやすくなった。
	コンピュータシステムⅠ	6	高校の頃に勉強していたことでわからなかったところがあったけど、この授業で分かるようになった。そして今まで聞いたことのない用語をたくさん知ることが出来ました。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　815】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	体の仕組みと働きⅠ	36	授業時間が長かったため工夫してほしいと思いました。また、対面授業の方が理解を深められるのでいいのかなと感じました。
			授業資料の枚数がとても多くなって嵩張ってしまう為、出来ればもう少し字を小さくしたり行間を詰めたりして枚数を減らして欲しいです。
	ボランティア論	32	授業動画の音声が小さく、イヤホンがないと聞き取れなかったので改善した方がよいと思いました。
			スライドの資料が授業を受ける前に手元にあると振り返りや、後で気になったことも調べやすいです。まとめた資料ではなくすべての資料が印刷できるような形があるとさらにやりやすいです。
	クリティカル・シンキングⅠ	22	最終課題のレポートの内容がよく分かりませんでした。後から、メールで付け加えて説明されていたと思うのですが、はじめから詳しく説明してくださると助かります。
			論文探しに苦労する学生が多かったので改善できると良いと思った。
	疾病治療論Ⅰ	19	授業資料が提示されていなかったり、PPTのみであったり、動画のみであったり、ばらばらで勉強しづらかった。統一してほしい。
			授業更新が多くまとめて授業を受けることが多かったので、早めの段階から少しずつ動画をアップしていってほしいと感じた
医療栄養学科	公衆衛生学	8	ワークシートの解説は授業ごとに出した方が良いと思う。また、解説と言って掲載されたワークシートも解説と呼べるものではなかった。
			全体的に課題の量が多く、他の教科の授業受講や勉強に支障が出る程でした。その課題に関しても授業内での説明不足でほとんど自力で調べなければならないものも多く、もう少し授業内で説明していただきたかったです。
	給食経営管理論Ⅰ	5	資料を印刷して書き込みを行っていたのですが枠が小さいため文字が書きにくく見にくくなってしまいます。なので、もう少し大きい枠で作成していただけるととてもありがたいです。
			学ぶことが多くて難しい授業なのでできれば動画を何本かに分けていただいて、もう少しゆっくり進めていただけるとオンデマンドでも授業を受けやすいと感じました。
	化学Ⅰ	4	資料が授業時に手元にあれば、もっと理解が深まると思った。
			パワーポイントの板書しかなかったので、先生の動画による説明があればよりわかりやすかったと思います。
	運動栄養学	3	決まった時間に講義動画がアップデートされていないことが多々あった。急に講義がなくなることが多々あった。1コマ1時間30分で構成されているはずなのにも関わらず、2時間程度の講義動画がアップデートされていることがあった。
医療情報学科	IT入門Ⅰ	4	いくつかに動画を分割してほしい。図を描くのが大変だったので、改善できるのであればよろしくお願いします。
	情報ワークショップⅡ	4	提出課題の採点の仕方がシビアすぎると思いました。1ヵ所間違えると1?2点引かれるのはわかりますが、どんなに些細なミスでも2ヵ所間違えたら0点というのは、やり過ぎだと考えます。
	医学・医療概論	4	小テストを一回しかできないのは少ないかもしれない。もう少しアクセス回数制限を増やしていいと思う。
	臨床データ分析Ⅰ	3	先生の声で動画を作っていただけると幸いです。どんな先生でどんな声の先生なのか分かった方がいいと思ったからです

令和３年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数　109科目　　○調査対象者数　3,071人（延人数）
○総回答数　　1,921 件（回答率 62.6%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	(43.5) 49.8	(42.0) 38.7	(10.6) 9.2	(2.7) 1.8	(1.2) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(70.2) 74.2	(22.7) 19.7	(5.5) 4.9	(1.1) 0.7	(0.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	(61.8) 67.3	(29.9) 25.7	(6.5) 5.4	(0.9) 1.0	(1.0) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(58.5) 63.8	(31.5) 28.0	(7.5) 6.5	(1.6) 1.2	(0.9) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	(46.4) 51.6	(40.7) 37.6	(10.0) 8.4	(1.9) 1.6	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(55.8) 60.1	(34.7) 31.5	(7.4) 6.5	(1.0) 1.2	(1.0) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(53.9) 60.0	(34.0) 29.2	(9.6) 8.4	(1.6) 1.5	(1.0) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(59.7) 65.6	(31.5) 25.9	(6.8) 6.4	(1.2) 1.4	(0.8) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
計	(54.0) 59.3	(35.2) 31.1	(8.5) 7.4	(1.4) 1.4	(0.9) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(44.6) 48.0	(32.9) 27.9	(18.6) 19.4	(2.1) 3.2	(1.8) 1.5	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(52.2) 60.5	(34.3) 28.4	(10.9) 8.9	(1.7) 1.3	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(56.4) 63.6	(30.3) 26.2	(10.8) 7.3	(1.6) 1.8	(0.9) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(50.5) 58.7	(28.7) 27.2	(16.4) 10.2	(2.8) 2.8	(1.7) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(55.7) 62.7	(32.4) 25.5	(8.7) 8.5	(1.8) 2.3	(1.5) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(61.7) 66.9	(29.0) 24.6	(7.8) 6.9	(0.7) 0.7	(0.8) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	(48.2) 56.7	(31.4) 28.2	(14.6) 11.1	(3.7) 2.3	(2.0) 1.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(52.8) 59.6	(31.3) 26.9	(12.5) 10.3	(2.1) 2.1	(1.4) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(34.3) 42.1	(27.4) 23.2	(20.2) 18.1	(11.2) 9.0	(6.9) 7.7	0.0 0.0	(100) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(47.2) 57.4	(36.5) 30.1	(11.2) 9.4	(3.5) 1.8	(1.6) 1.4	0.0 0.0	(100) 100
計	(40.7) 49.7	(32.0) 26.7	(15.7) 13.7	(7.4) 5.4	(4.3) 4.5	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(51.5) 58.1	(32.5) 28.1	(11.0) 9.5	(3.1) 2.5	(1.9) 1.7	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

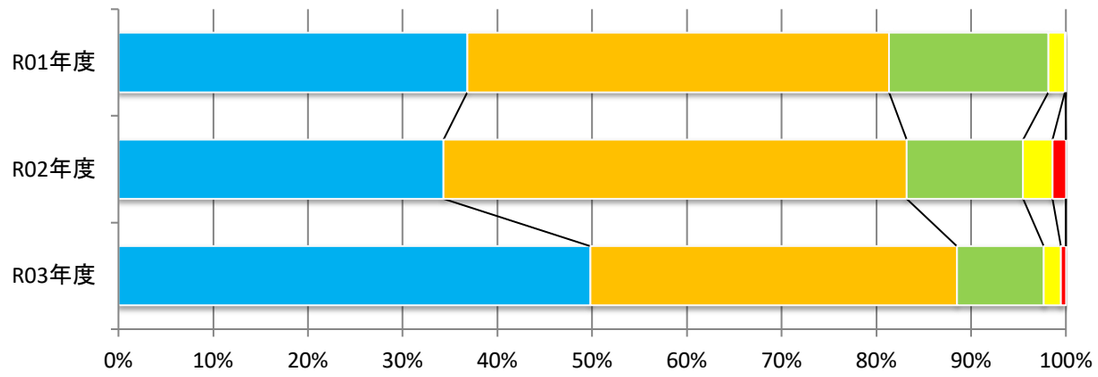
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	50科目	51科目	109科目
調査対象者数	2,712人	3,230人	3,071人
総回答数（回答率）	2,299枚（85.0%）	2,061件(63.8%)	1,921件(62.6%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

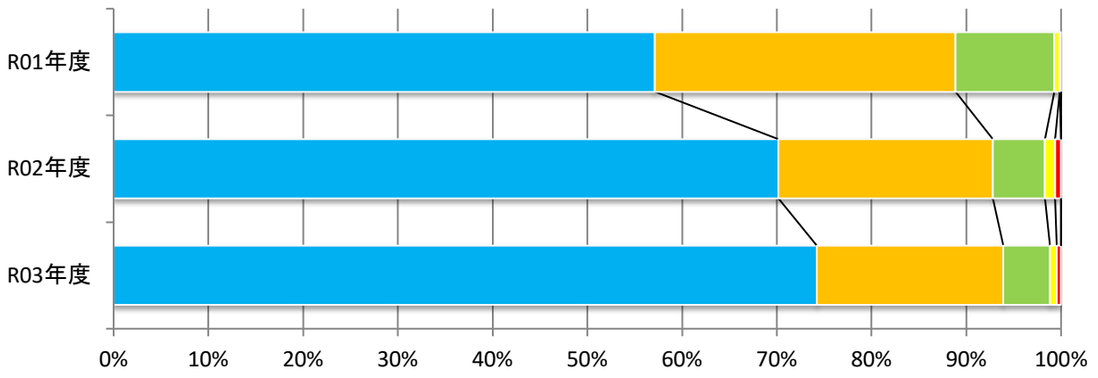
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



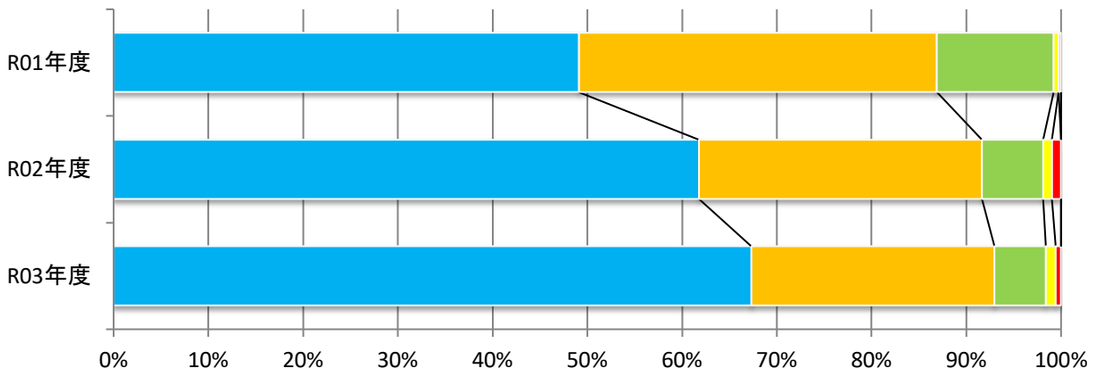
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.8	44.5	81.3	—
29.5	42.0	71.5	△ 9.8
49.8	38.7	88.5	＋ 17.0

2. 積極的に出席したと思うか。



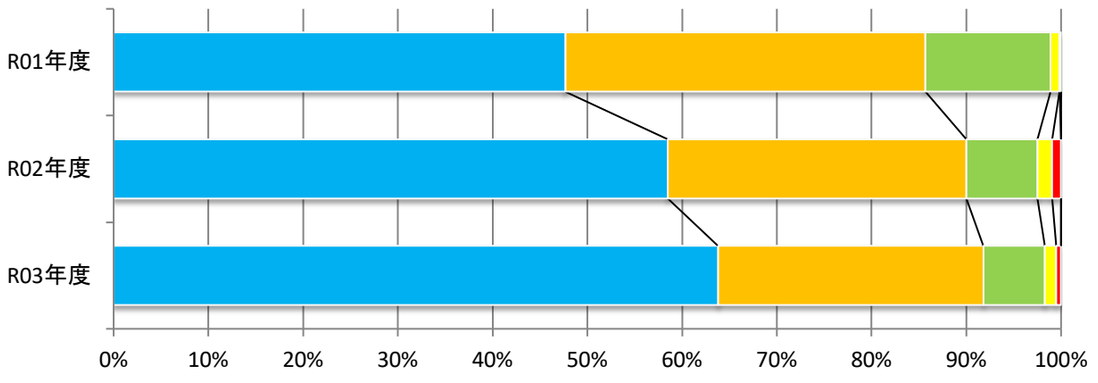
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.1	31.8	88.9	—
70.2	22.7	92.8	＋ 3.9
74.2	19.7	93.9	＋ 1.1

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.1	37.8	86.9	—
61.8	29.9	91.7	＋ 4.7
67.3	25.7	93.0	＋ 1.3

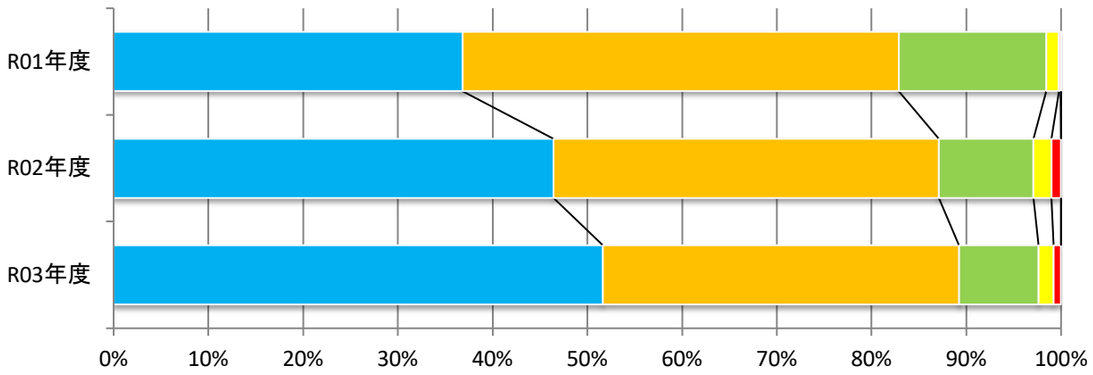
「計」（質問項目 １ ～ ３ ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
47.7	38.0	85.7	—
58.5	31.5	90.0	＋ 4.3
63.8	28.0	91.8	＋ 1.8

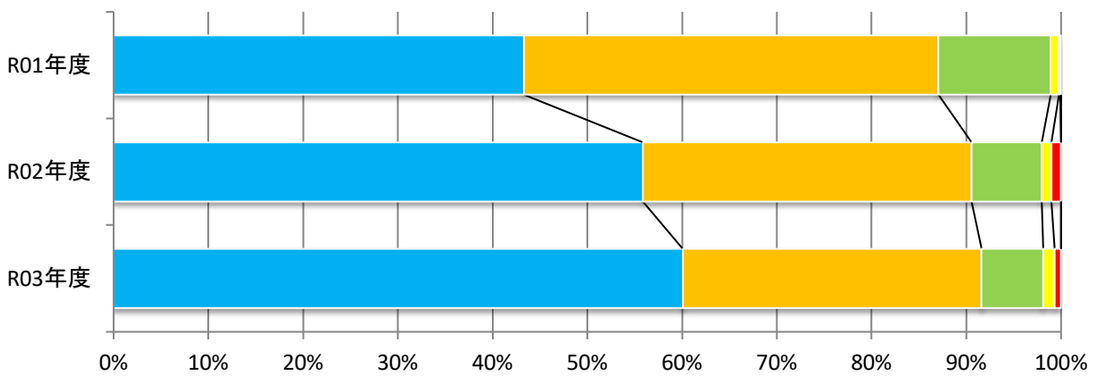
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



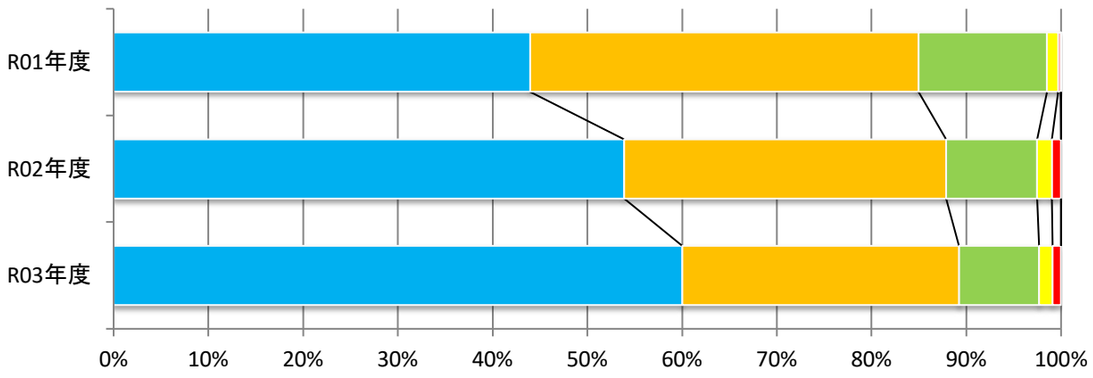
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.8	46.1	82.9	—
46.4	40.7	87.1	＋ 4.2
51.6	37.6	89.2	＋ 2.1

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



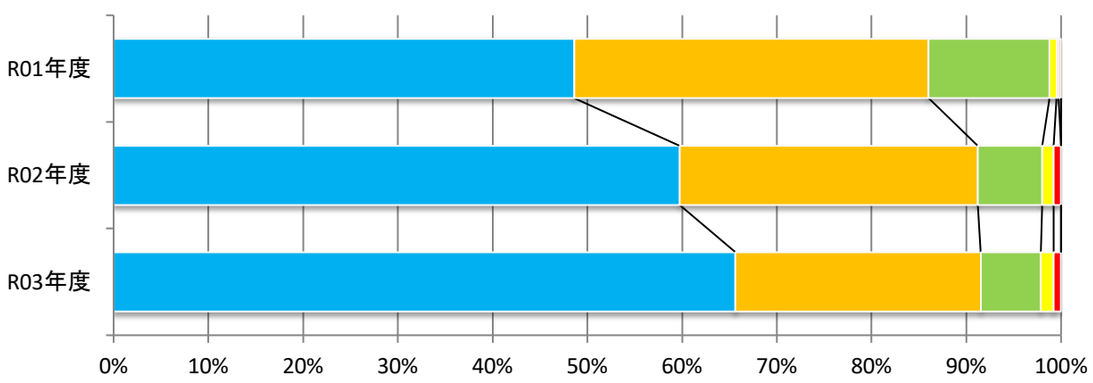
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.3	43.8	87.1	—
55.8	34.7	90.5	＋ 3.4
60.1	31.5	91.6	＋ 1.1

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



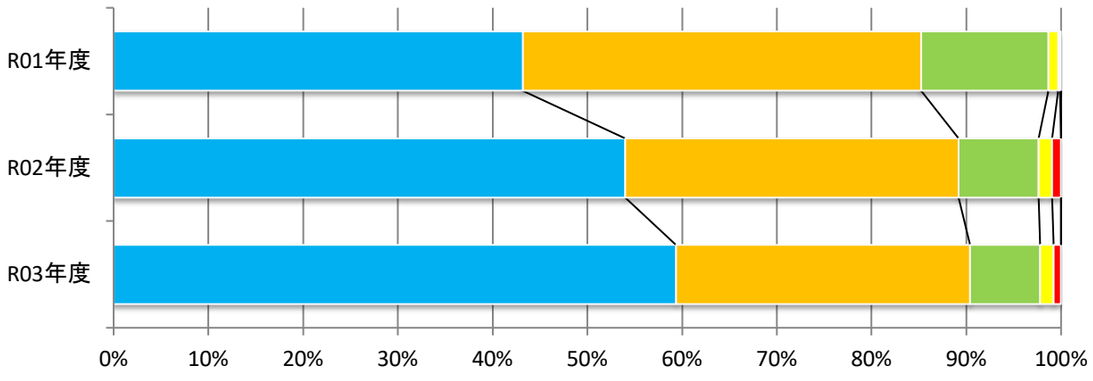
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.9	41.0	85.0	—
53.9	34.0	87.9	＋ 2.9
60.0	29.2	89.2	＋ 1.4

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.6	37.4	86.0	—
59.7	31.5	91.2	＋ 5.2
65.6	25.9	91.5	＋ 0.3

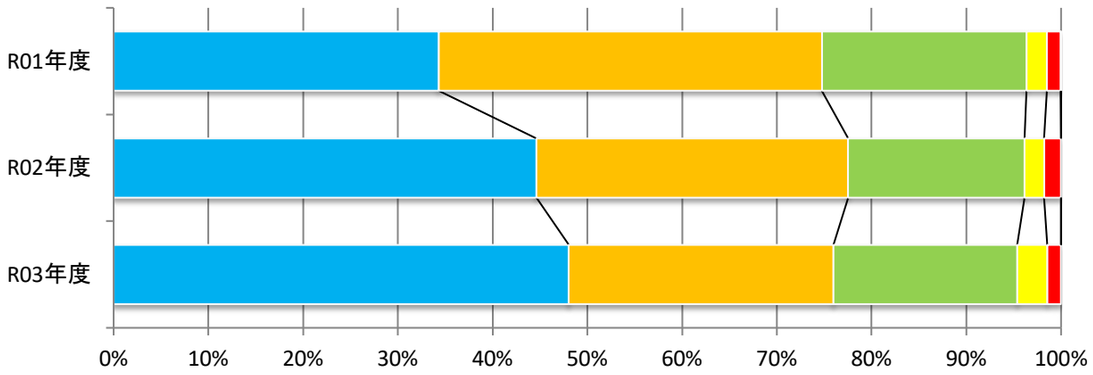
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.2	42.1	85.3	—
54.0	35.2	89.2	＋ 3.9
59.3	31.1	90.4	＋ 1.2

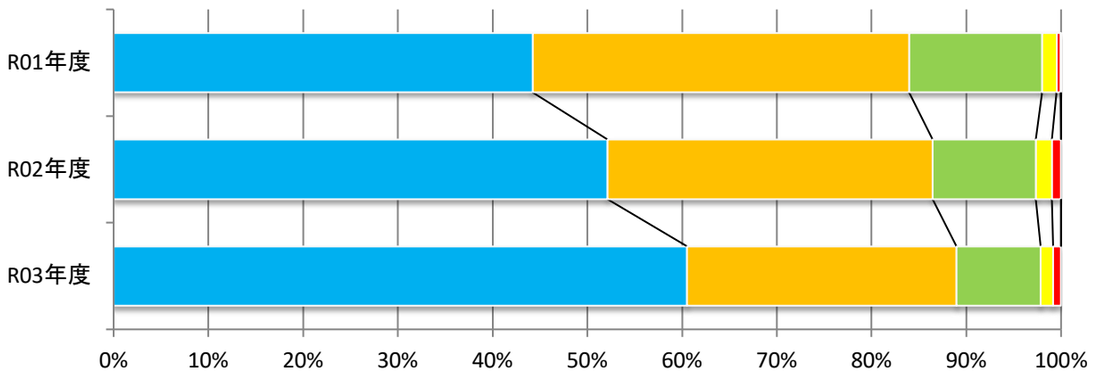
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



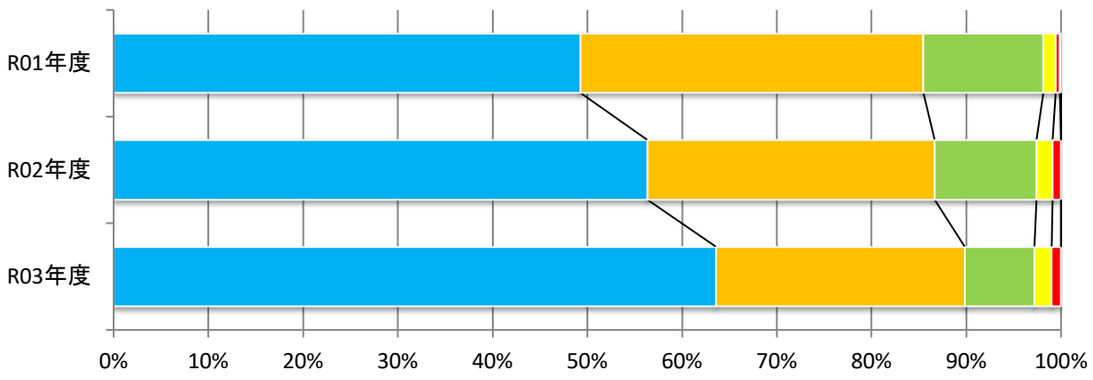
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.3	40.5	74.8	—
44.6	32.9	77.5	＋ 2.7
48.0	27.9	76.0	△ 1.6

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



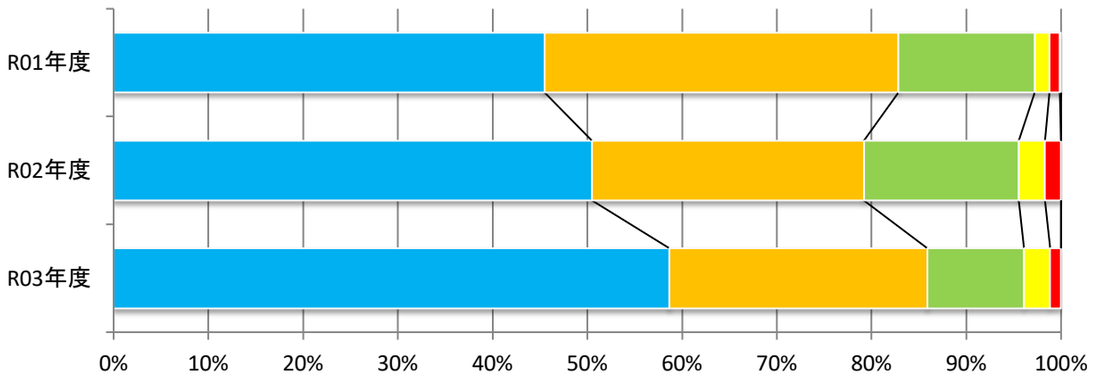
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.2	39.8	84.0	—
52.2	34.3	86.5	＋ 2.5
60.5	28.4	89.0	＋ 2.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



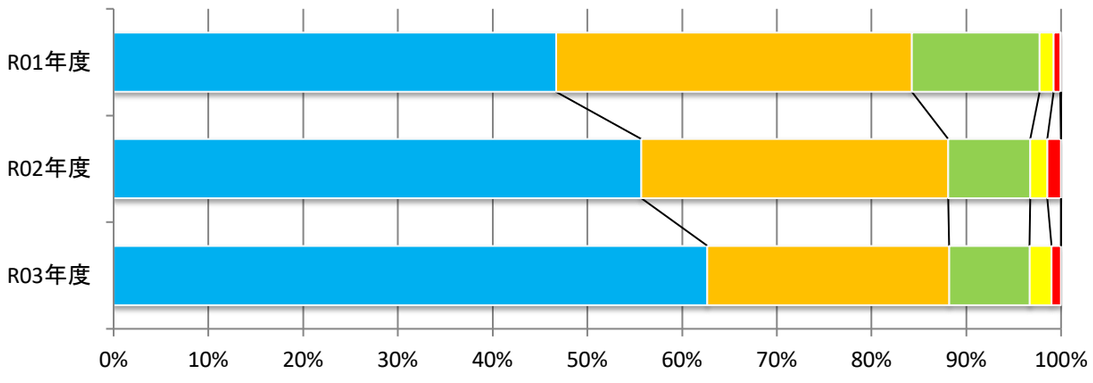
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.3	36.2	85.5	—
56.4	30.3	86.7	＋ 1.2
63.6	26.2	89.8	＋ 3.2

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



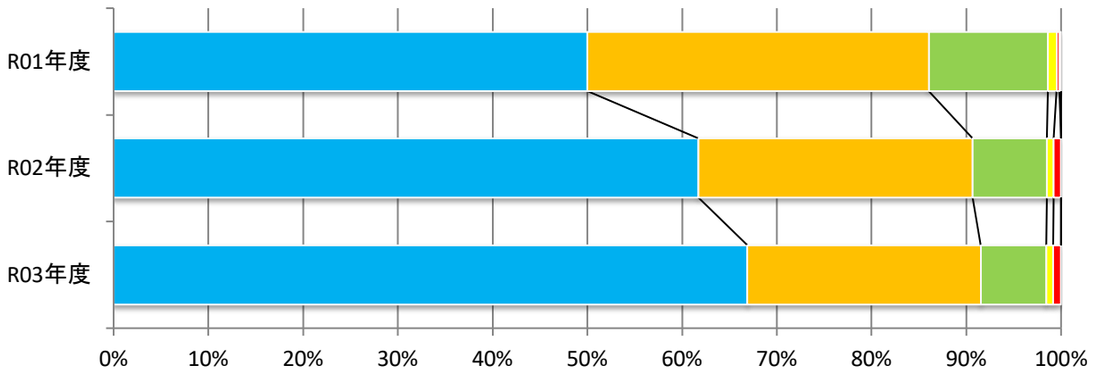
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.5	37.3	82.8	—
50.5	28.7	79.2	△ 3.6
58.7	27.2	85.9	＋ 6.7

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



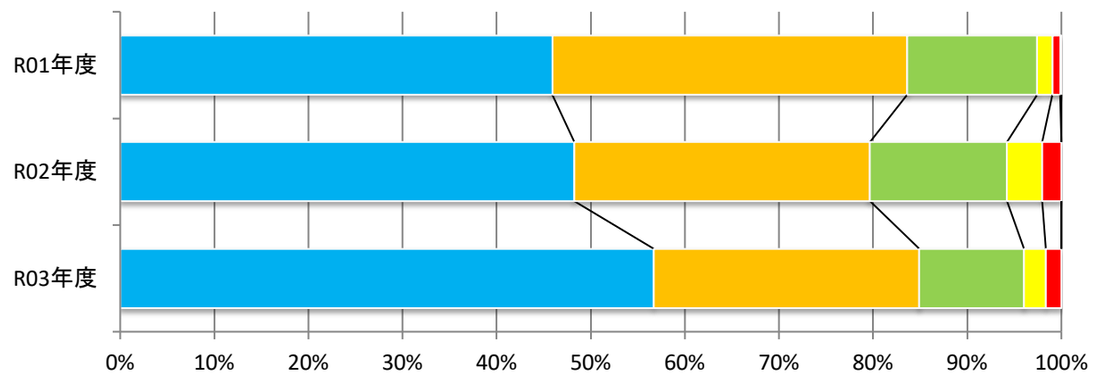
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.7	37.5	84.2	—
55.7	32.4	88.1	＋ 3.8
62.7	25.5	88.2	＋ 0.1

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



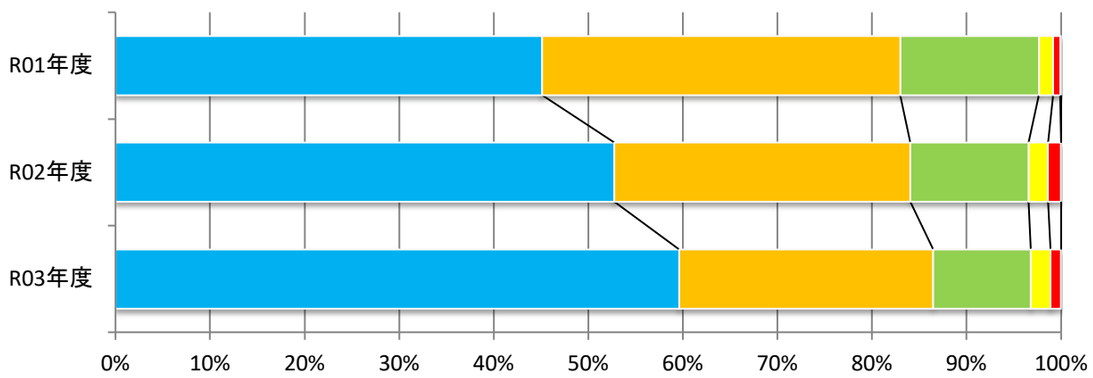
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.0	36.0	86.0	—
61.7	29.0	90.7	＋ 4.6
66.9	24.6	91.5	＋ 0.8

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.9	37.7	83.7	—
48.2	31.4	79.7	△ 4.0
56.7	28.2	84.9	＋ 5.2

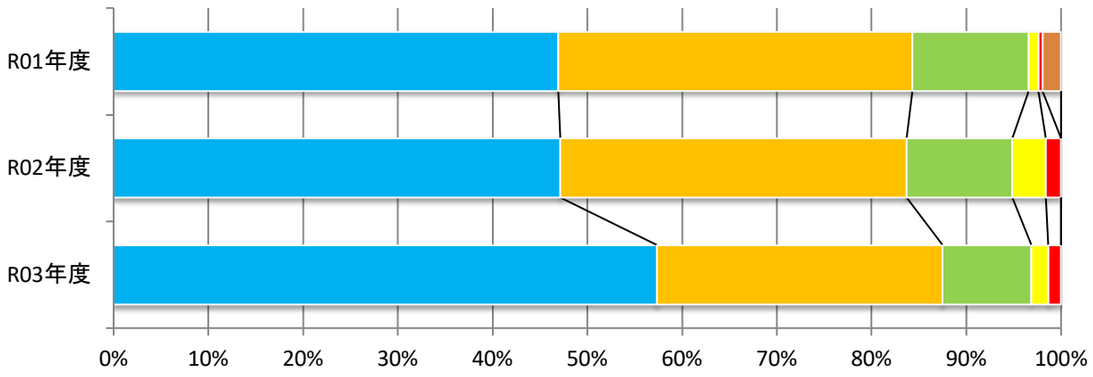
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.1	37.9	83.0	—
52.8	31.3	84.0	＋ 1.0
59.6	26.9	86.5	＋ 2.4

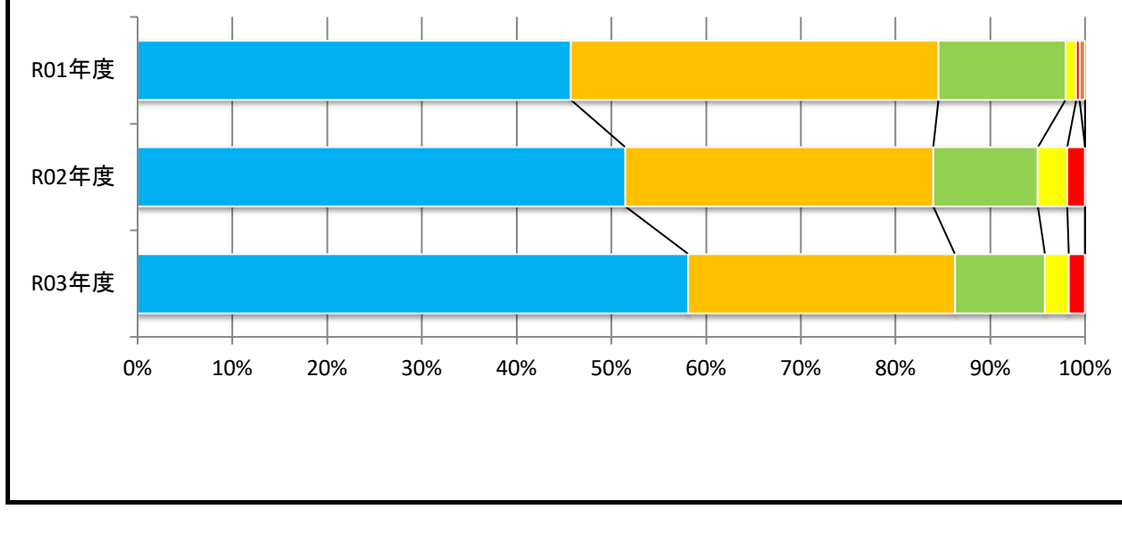
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



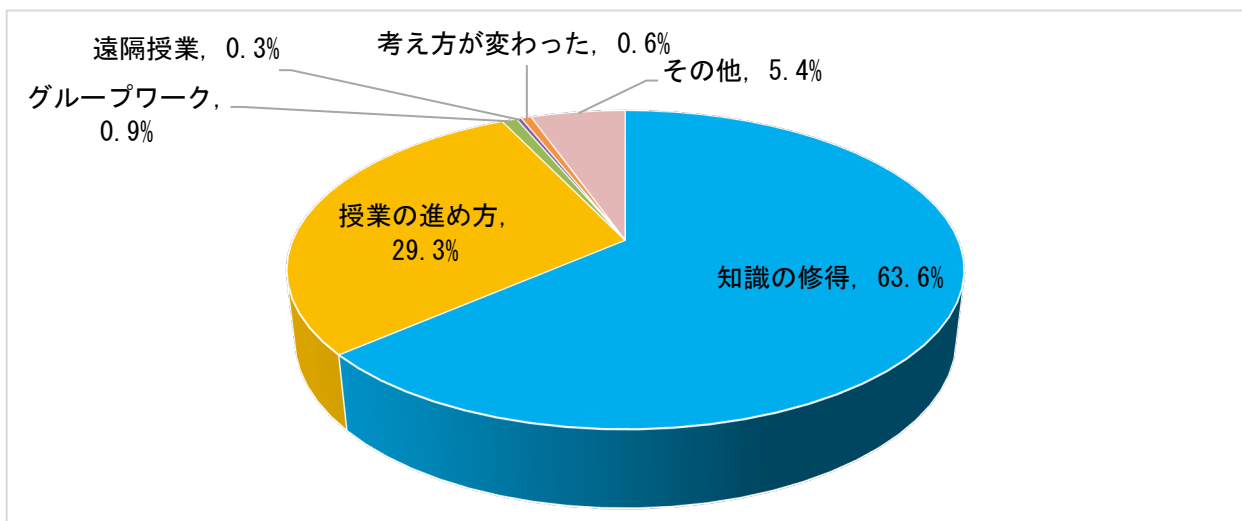
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.9	37.4	84.3	—
47.2	36.5	83.7	△ 0.6
57.4	30.1	87.5	＋ 3.8

全質問項目の平均



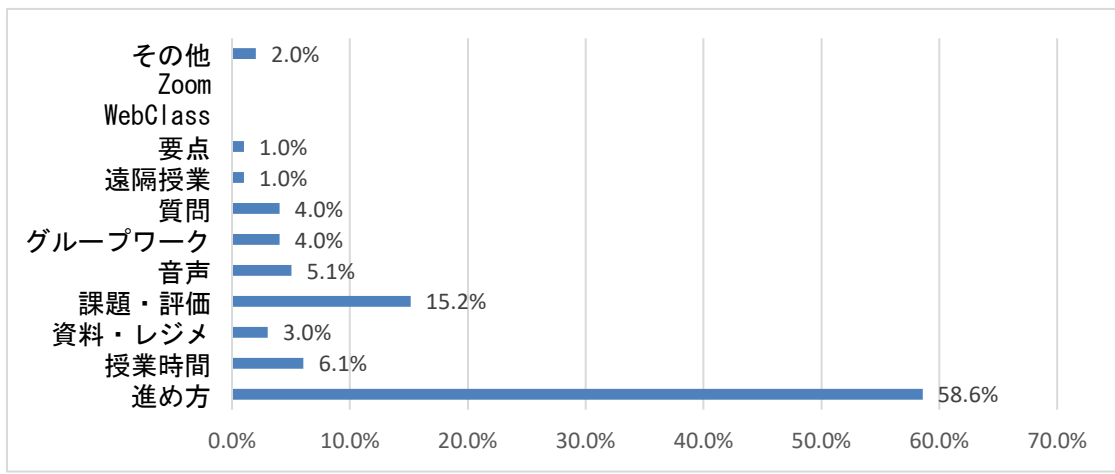
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.7	38.8	84.6	—
51.5	32.5	84.0	△ 0.6
58.1	28.1	86.3	＋ 2.3

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　352】



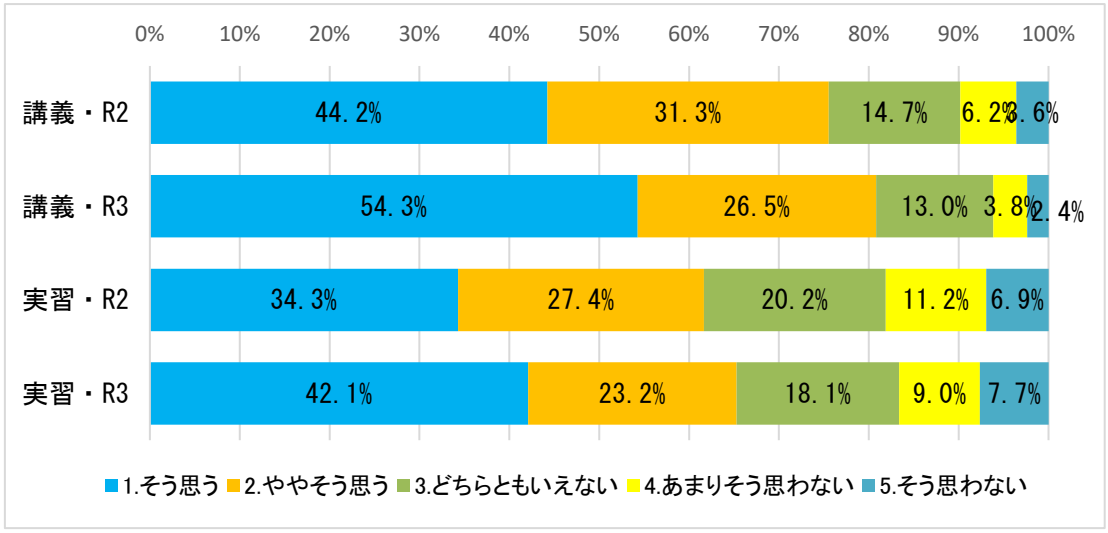
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ	44	実際に、看護が行われている現場に身を置くことで、普段の演習では学ぶことのできないような貴重な経験をすることができた。はじめての臨地実習だったので、不安や緊張で一杯だったが、担当教員の先生が親身になって相談に乗ってくださり、問題なく実習を終えることができた。
			大学で看護を学ぶ上でとても大切な臨床での経験を1年の段階でできたことがとてもよかった。全ての教科の統合に加えて新しい知識や考えを得られて自分の中でとても大事な経験になった
			患者さんと実際に関わることの難しさや自分の知識の足りなさなどに気づくことができてよかった。短い期間で多くの新しいことを学べたためよかった。
	看護の統合実習	15	学生主体の学びだからと、意見を聞いてくださる時間を1番最初に作って、私たち学生が自主的に学べるような環境を作ってくださったことです。困っているときはいつも助けてくださり、決して貶さず褒めてくださり、学習しやすかったです。
			自分でテーマを決めて計画を立てていくため他の実習とは違い患者に対してや疾患などに対してより真剣に向き合えた。
医療栄養学科	調理学実習Ⅱ	9	前期の授業とは比べて対面授業が多くできたので班の人たちと協力して料理を作るのは楽しかったです
			基本的な料理の操作や様々な国の料理の作り方を知る事が出来たので良かったです。それから、実践してみて自分が苦手な作業、練習しなければいけない事が分かったので良かったです。
	食品化学実験	7	自分で実験内容に関連する文献を調べたり、実験を他人と協力的に行える環境があったりしたことは、この講義を受けて良かったと思う。また、実験における注意事項も実習で学ぶことができた。
			考察する力が身についたと思います。事前に仮説をたてて実験に取り組むこともできました。
	食品学実験	7	実際に実験をおこなうことで知識と結び付けることができたような気がします。
医療情報学科	情報基礎実験Ⅰ	1	先生が生徒の進行状況を把握し、理解度をしっかりと確認していたことで遅れることなく質の高い学習ができた。使いやすさや見た目など他の人の視点から考えることを実践的に行うことができ、見直せたことがよかったです。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数 99】

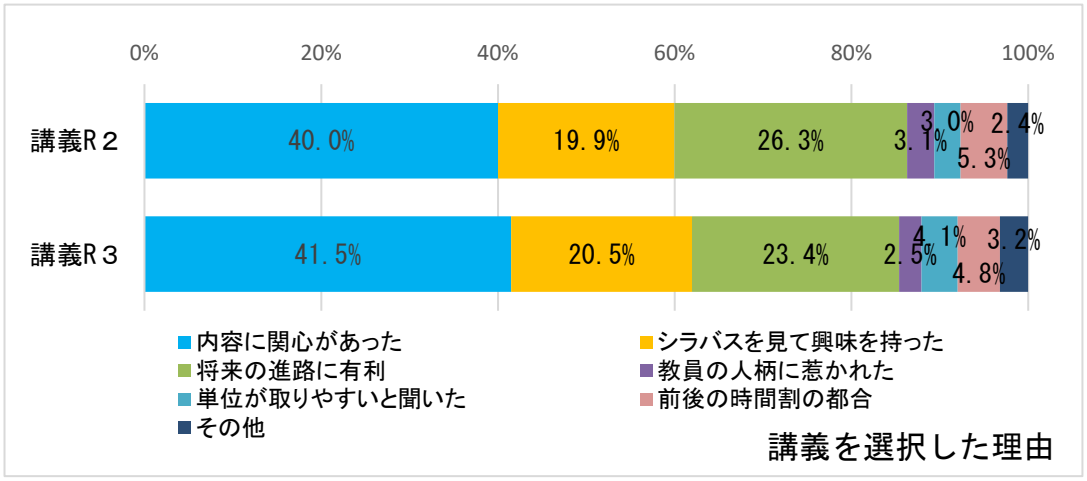


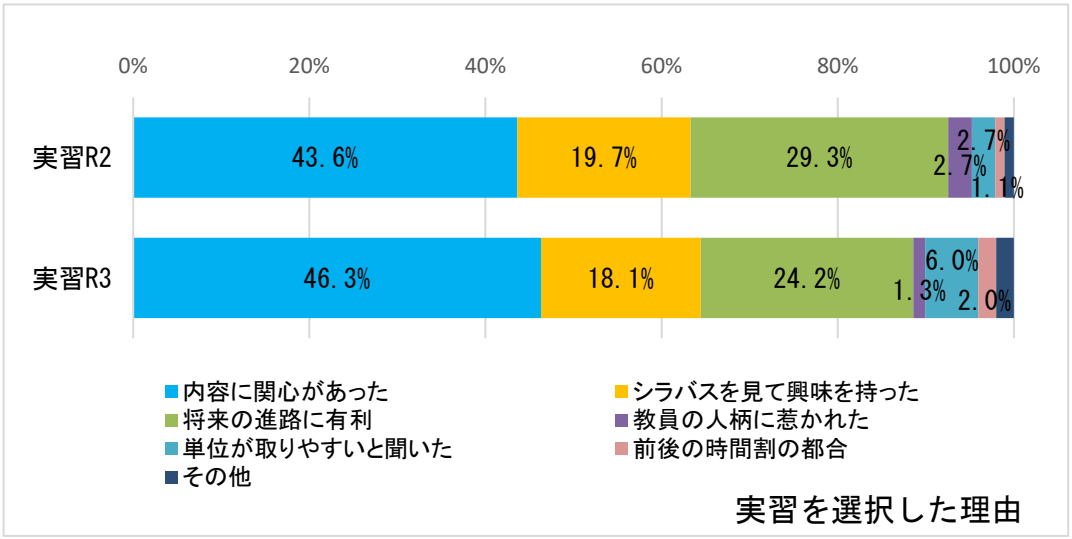
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ	9	初めに教師によるデモンストレーションの時間があるととてもありがたいです 他の科目と連携をとり、実習期間中の課題を減らしたり、提出期間を延ばすなどの配慮をしてほしかった。
	母性・小児看護学実習	10	全体的に小児の先生の指導方法は、指摘ばかりで、だんだん自分が分からなくなってくる。やる気を引き出す指導方法を検討してみたらどうか。
			使用する様式について、いつ何を記載すればよいかをもう少し具体的に実習要項に記載して欲しいです。
	老年・在宅看護学実習	6	在宅看護に関して、実習施設によって1日の受け持ち患者数が異なるのは仕方ないと思います。1日何件訪問しても2件記載するとありますが、実習施設によっては1日4件など訪問する日もあり、記録が追いつきません。上限などを設け、情報収集できる時間を担保してほしいと思いました。
医療栄養学科	食品衛生学実験	4	遠隔授業の際は配布資料のみの時があり、説明がなかったのでよくわからなかった。自分の解釈が正しいかもわからないまま授業が終わった。せめて説明の動画を出してほしかった。
	調理学実習Ⅱ	5	定期試験の1つ1つの試験時間がとても短いと思いました。あじの三枚おろしの試験時間が８分なのは短すぎると感じました。自分の友達に調理師の学校に通っている友達がいますが、試験内容は私たちと全く同じ内容（廃棄率計算なし）であじの三枚おろしのテストがあり、25分の試験時間があったと言っていました。他の学校と比べるのはよろしくないかもしれませんが、せめて10分、15分は廃棄率計算を入れるなら必要だと感じました。
	調理学実習Ⅰ	3	調理のレシピ動画で、焼く音などで聞き取りずらい部分がありました。聞き取りずらく何回も再生しなくてはいけなかったり、レシピに書けなかったりということがあったので、聞きとりやすいように改善していただきたいです。
医療情報学科	インターンシップ（企業型）	3	前半に発表した人と後半に発表した人とでは、課題の提出方法や、提出期限も違かった為、平等に思えなく悲しかったです。
	情報基礎実験Ⅰ	4	質問したい人が多く感じたため、できるだけ生徒一人に対して短い時間で質問対応をしてもらいたいです。

この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か





令和３年度 東が丘看護学部および東が丘・立川看護学部臨床看護学コースの授業評価結果に対する考察

副学長・東が丘看護学部長
山西　文子

１．授業評価の結果について

○　授業評価の対象になった科目数は、東が丘看護学部及び臨床看護学コース 120 科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は、東が丘及び臨床看護学コース延べ 10,161 人（回答率:71.8%）であった。回答率は前年と比し 5 ポイント下がっています。コロナ禍にあっても授業評価に対する学生の関心・意識は比較的高いことを示しています。

自由記述の内容も含めて授業評価の結果を各教員に配布し、導入可能な科目に於いてはコロナ禍２年目に入り、臨地、オンラインに関わらず、学生のニーズに併せ、リアクションシートの活用、ルーブリック評価の活用による学生へのフィードバックを重ね丁寧に実施してきています。また科目によってはアクティブ・ラーニングによる方法の導入実施率を看護学領域毎に定めた年度の目標値に近づくように実施しています。より学生の学びやすさ、満足度を上げるための追及・工夫の必要性を教員が認識し、努力をしている教員が多くなっています。ICT 活用については相手の反応を確認しながら展開可能になるように領域教員間で繰り返し試行し、工夫を重ねながら授業のあり方の改善に鋭意取り組んできた結果と前向きに受け止めます。更に今後も謙虚に教員一同で努力して参りたいと思っております。

○　学生自身の授業態度（事前の十分な準備、積極的な出席、意欲的取り組み）については、3 つの質問項目平均は 89.6%の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。内訳は積極的な出席は 93.8%ですが、事前の十分な準備の質問項目は 84.4%とやや低くなっています。昨年と比較すると、否定的な回答(「どちらともいえない」を含む)をした学生は約 10.5%であり、前年度より消極的な回答は低くなっています。さらに「授業に対して積極的に取り組んだ」は、93.7%と全ての項目の中で高い結果となっており、コロナ禍で ICT 活用の授業形態も影響しているかも知れません。約 10%の否定的な意見の学生のモチベーション、授業前の十分な準備をいかに高めていくかが今後の課題と受け止めています。

本学部学生は、全体的にコロナ禍でアルバイト時間が短くなり生活費の困窮による支援を望んでいる学生が前々年度から三割近く出ていました。コロナ禍においては、アルバイト時間が短くなり、生活時間の調査は実施しておりませんが、学生自身の学修に対する姿勢が向上している結果から、学修に時間を当てた可能性があります。授業に対する肯定的評価がさらに前年度に比し約 3 ポイント高く評価されました。意欲的に取り組むことができたという事です。この結果に満足せず、更に指導・支援を検討していく必要があると考えております。

○ 授業内容（４項目）に関する評価については、92.4%の学生が肯定的な回答をしています。その内容の内訳は、「授業の内容をよく理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」「自分にとって新しい考え方や発想が得られたか」「発展的な学びにつながる内容であったか」の質問項目です。講義・演習科目(106 科目)では約 7.7%、実習・実験科目（14 科目）では 3.5%弱の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」とネガティブな回答をした学生が僅かに存在しています。授業内容については、前年度より減少傾向でありましたが、学部としては新入生よりカリキュラム改定もあり、各教員の教育力の向上を図るよう FD 活動に積極的に参加するよう推進したいと考えております。

○ 教員の考え方・姿勢に関する質問項目評価（8 項目）に関しては、講義・演習科目において肯定的回答は約 86.1%、前々年度は 7 ポイント、前年度は 3 ポイント向上。実習・実験科目では約 91.1%の学生が肯定的な回答をしており、前前年度は約 5 ポイント、前年度より 5 ポイント向上しています。今回はどの項目もプラス評価となっております。

しかし、「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、講義・演習科目(106 科目)において 71.2%であり、前年度より 5 ポイント向上しており、実習・実験科目(14 科目)においては 73.1%となり、前年度より 5 ポイント低下しています。前年度より弱低下していたため教員に最初の講義のガイダンス時に必ずシラバスについて説明をして進めていくように指導したため講義・演習は向上したものと思います。現在、シラバスは全科目電子化され学生自身でデスクネッツに入り確認するようになっています。自らデーターを確認している学生は少なく、印刷して配布してほしいと希望しております。授業の開始時にガイダンスを実施する時間にシラバス・詳細な授業計画の印刷したものを配布している場合もありますが、アンケートにも 3 割程度の学生が反応しております。

他の項目に関しては、講義・演習科目について 80%以上の学生が肯定的な評価をしており前年度より向上している結果です。

今後は授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があります。また、チャット機能や手を挙げる機能を使用することなど、途中で質問を確認すること、自由に発言できるように工夫が必要と考えます。

○ 自由記述に関する結果については、授業に対する肯定的評価は 572(91.2%)件、授業に対する要望等は 55(8.8%)件、施設・設備等に関する要望等は 1 件でした。

肯定的評価の例は、「学内と臨地実習で学習しやすい環境を整えてくれた」「担当した教員は何が出来て何が出来ない・不足しているかを明確にして頂いたため、次回の課題として自分で明確になり学びを深めやすかった」「疾病と治療で学生にあてるということが今までなかったが、あったお陰で危機感を持つことが出来良かったです」「わかり易い有意義な講義・演習でした」「教員が一対一で指導を行ってくれたことが素晴らしかった」などであります。

要望等についての例は、「コロナの影響で病棟に行くことが困難であること

は理解していますが、なるべく全ての人が平等になるようにして欲しい」「卒業研究を行うにあたり積極的に参加する学生がいる反面、まったく意見を言わずに人任せの人もいた」「グループワークの時間が足りないと思った」「学籍番号順でグループを作るのは毎度同じメンバーになるので、もっとばらしてグループ構成して欲しい」「リアクションペーパーの回答をして欲しかった」「ズームでやや聞き取りにくかった場合もあった」などでした。これらの要望は出来るだけ解決の方向に向くようにしたいと考えております。

２．授業において工夫した点について

○ 講義の際に配布する資料については、学生からの要望が毎年繰返し出されていますが、資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員の個別対応で徐々に改善でき、要望は減少しました。自由記載の中にありました「臨床のことを踏まえて教えて貰えてよかった」「授業のレジュメがどれも全部わかり易く、実習や今後の学習にずっと使えると思いました」とあるように肯定的な評価が増えました。しかし、オムニバス方式で外部講師と授業を計画している場合の非常勤講師へのサポートを、学生のニーズを知って授業資料や映像の確認等の支援がもっと必要だということが学生の評価から受け取れるので、サポート体制を取れるよう検討・工夫していきたいと考えております。

○ 「実習・実験」科目に対しては、すべての評価項目の結果が高く出ています。本学部は、基本的には臨床看護学コースの全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や東京医療センターとの間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。「実習で目標とする看護師さんに出会えました」との記述は、毎年見られ指導者側の励みになっています。また、コロナ禍であっても、教員と実習指導者との信頼関係が深まっていることから、実習施設に入院中の患者事例を患者さんの許可を得て、情報提供され、かつ学内に実習指導者も来られ直接カンファレンスに参加、指導を行って下さるという非常にリアルな状況での指導が行われたことも評価結果が高く出た原因と考えられます。

○ 本学部のカリキュラムの特徴である、1 年次前期セメスターから基礎看護学実習を計画、さらに 1～4 年次全ての学年に「実習」を計画していることに対して学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会が中心となって進めている「卒業生と語る会」「オープンキャンパスでの在校生の説明」においても、卒業生や入学希望者から高く評価されています。実習指導の差が少なくなるように常に臨地実習施設の担当者等と意見交換し教員や実習指導者の指導力アップに繋がる努力も検討しております。

３．今後の授業への生かし方について

○ 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」を目標に掲げております。「卒業時の看護技術到達度」(173 項目)に関して、臨床看護学コースとし

ては、コロナ禍ではあったが目標レベルをほぼ達成しており、講義、演習・実習の連携等が効果的・効率的に進められています。最近就職した3施設の看護部長さんから問題意識が高く、根拠について的を射た質問をされる卒業生が多いと言われていることも、後輩・教員の励みになっています。

また「看護師国家試験の合格率」(臨床看護学コース・災害看護学コース：97.4%)に関しては目標の100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率(95.4%)を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。本学部が目標としている「tomorrow's Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。

○ 卒業研究について、本学部ではグループによる「英語論文のクリティーク 1単位」4年間最後の知識・技術・態度を踏襲する科目である「統合実習」「卒業研究3単位」の指導を行ってきております。そこでは看護研究のプロセスを学びます。また必要な研究倫理・倫理申請、利益相反、ガバナンスなどの考え方の基礎を修得します。科学的・論理的思考はもとよりグループダイナミックス、論文の書き方、研究発表の仕方も踏襲され看護職としての基礎的な総合力、キャリア開発能力が身につきます。各領域の教員が全員で係わります。そのために大学として、FDマップを作成し、定期的に研修会を持ち、教員の教育・研究に対する指導力を身に付けていくように尽力いたしております。

○ 学習環境とくに講義室の整備に対して、コロナ禍で学年を2グループに分け、講義する場合の環境において、講師がいない教室の学生からは声が聴きにくい、迫力が伝わらない、映像が明確ではない等の意見はあるが、マスク下、アクリルボードを通しての講義であるので個々に教員は努力しているが、席の間隔も空けており、望ましい教育環境ではないとは思っている。学生が集中できるよう、教育環境の整備・充実を図ってまいります。

４．その他

○ 体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあります。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として支援を強化しております。就職施設の病院幹部から優秀な卒業生が欲しいと明確に言われるようになり、採用試験においても一度で内定結果が貰えるような指導を重ねて参ります。

以上

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○全科目数　120科目　　○調査対象者数　10,161 人（延人数）
○総回答数　　7,293 件（回答率71.8%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果

〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	(47.1)	(37.4)	(12.0)	(2.9)	(0.6)	0.0	(100)
	49.2	35.2	11.6	3.4	0.6	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(68.0)	(26.1)	(4.8)	(0.9)	(0.2)	0.0	(100)
	68.9	24.8	4.9	1.1	0.3	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(57.6)	(33.9)	(6.8)	(1.5)	(0.3)	0.0	(100)
	59.6	30.7	6.9	2.4	0.4	0.0	100
計	(57.6)	(32.5)	(7.9)	(1.7)	(0.3)	0.0	(100)
	59.2	30.3	7.8	2.3	0.4	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(47.2)	(41.1)	(9.3)	(1.9)	(0.4)	0.0	(100)
	52.0	35.8	8.7	2.8	0.8	0.0	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(57.6)	(34.1)	(6.7)	(1.3)	(0.3)	0.0	(100)
	60.3	30.8	6.8	1.7	0.5	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(55.3)	(34.0)	(8.8)	(1.5)	(0.5)	0.0	(100)
	56.7	31.3	8.6	2.7	0.6	0.0	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(60.9)	(30.7)	(6.7)	(1.2)	(0.4)	0.0	(100)
	61.6	29.8	6.6	1.5	0.5	0.0	100
計	(55.2)	(35.0)	(7.9)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	57.6	31.9	7.7	2.2	0.6	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(38.3)	(28.6)	(23.4)	(6.3)	(3.4)	0.0	(100)
	44.5	26.3	21.5	4.8	3.0	0.0	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(62.0)	(28.3)	(7.4)	(1.7)	(0.6)	0.0	(100)
	67.2	25.6	5.5	1.3	0.5	0.0	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(60.2)	(27.7)	(8.8)	(2.3)	(1.1)	0.0	(100)
	66.5	25.0	6.1	1.8	0.6	0.0	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(51.6)	(27.8)	(14.6)	(3.9)	(2.0)	0.0	(100)
	56.0	26.7	12.0	3.4	1.9	0.0	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(63.3)	(26.3)	(7.5)	(2.0)	(0.9)	0.0	(100)
	65.9	25.0	6.2	1.8	1.1	0.0	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(66.5)	(24.6)	(6.3)	(1.6)	(1.0)	0.0	(100)
	69.5	23.4	5.2	1.3	0.6	0.0	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(50.1)	(28.7)	(15.1)	(4.0)	(2.1)	0.0	(100)
	56.4	26.3	11.0	4.3	2.0	0.0	100
計	(56.0)	(27.4)	(11.9)	(3.1)	(1.6)	0.0	(100)
	60.9	25.5	9.6	2.7	1.4	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(49.9)	(28.7)	(12.3)	(6.2)	(2.8)	0.0	(100)
	58.0	24.2	10.8	4.3	2.8	0.0	100
17(16) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(52.6)	(34.9)	(9.3)	(2.3)	(0.9)	0.0	(100)
	61.1	28.8	7.3	2.1	0.8	0.0	100
計	(51.2)	(31.8)	(10.8)	(4.3)	(1.9)	0.0	(100)
	59.5	26.5	9.0	3.2	1.8	0.0	100
全質問項目の平均	(55.0)	(31.7)	(9.6)	(2.7)	(1.0)	0.0	(100.0)
	59.3	28.5	8.5	2.6	1.0	0.0	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

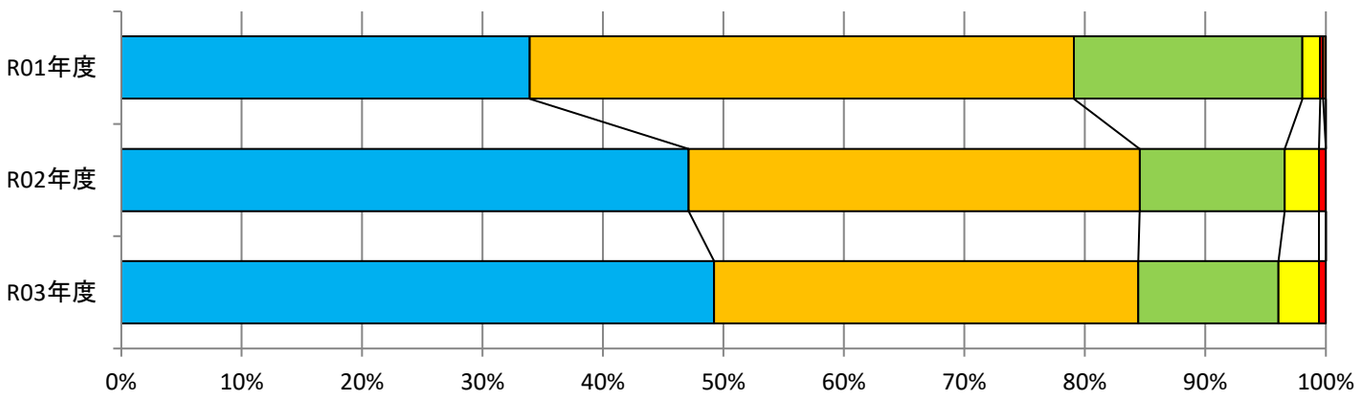
	29年度	30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	211科目	195科目	192科目	107科目	120科目
調査対象者数	20,005人	18,794人	18,211人	9,497人	10,161人
総回答数（回答率）	17,180枚（85.9%）	17,185枚（91.4%）	17,510枚（96.2%）	7,400件(77.9%)	7,293件(71.8%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

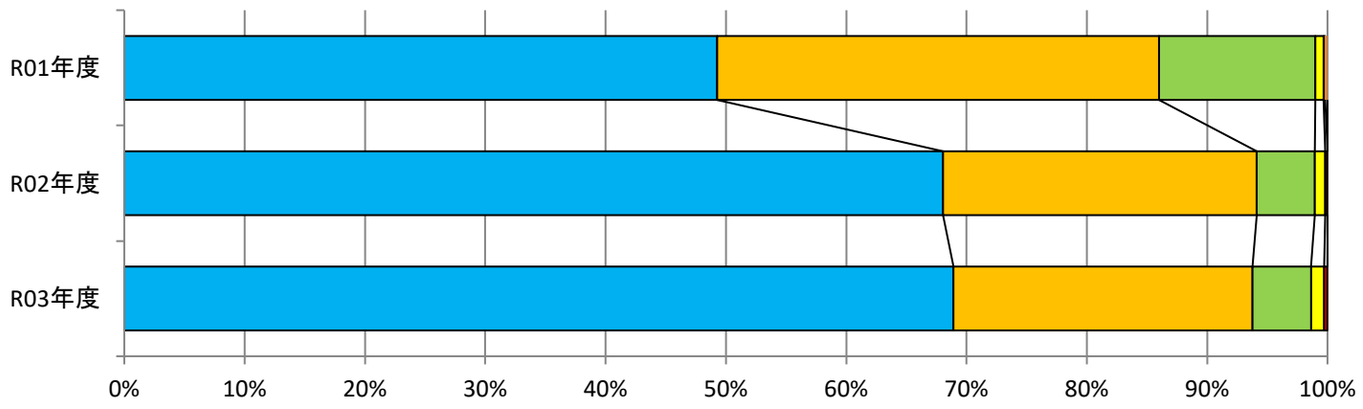
Ⅰ　あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



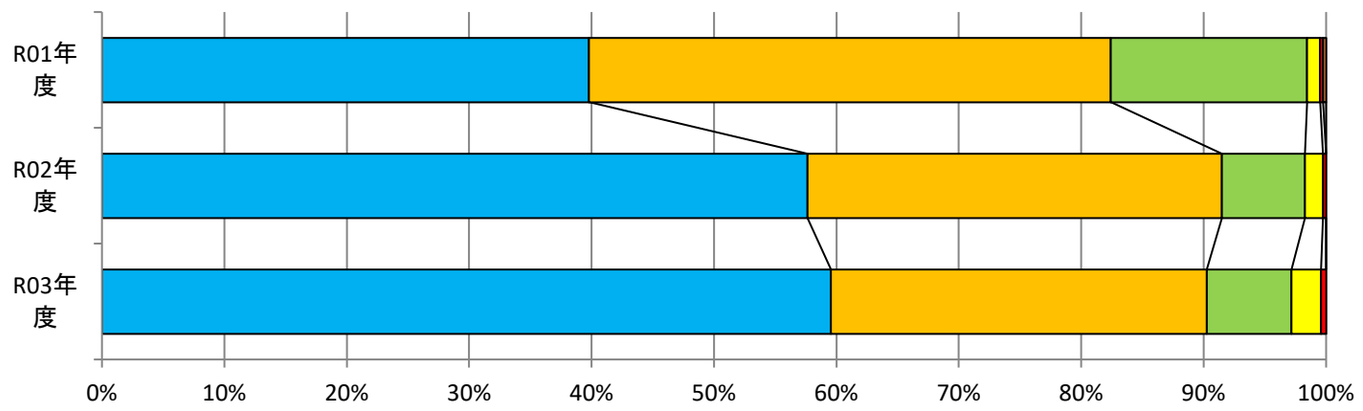
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.9	45.2	79.1	－
47.1	37.4	84.5	＋ 5.4
49.2	35.2	84.4	△ 0.1

2(2) 積極的に出席したと思うか。



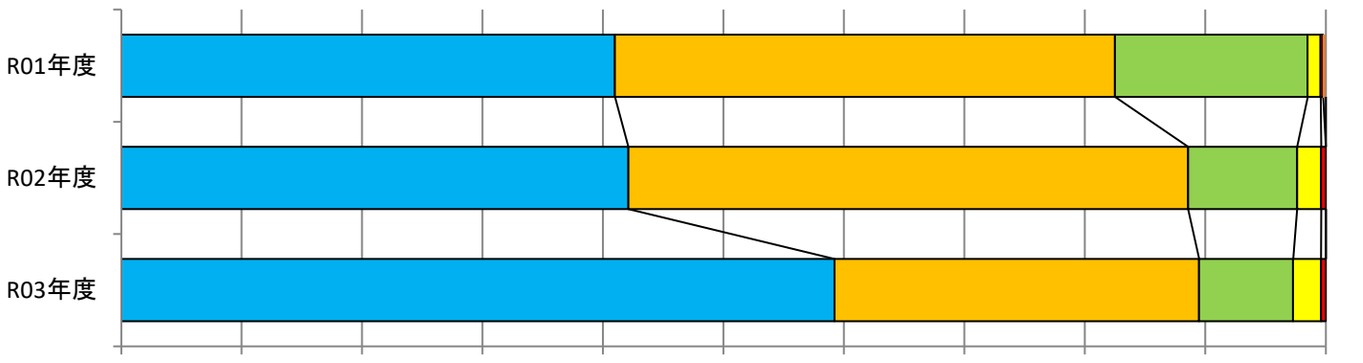
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.3	36.7	86.0	－
68.0	26.1	94.1	＋ 8.1
68.9	24.8	93.8	△ 0.4

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.8	42.6	82.4	－
57.6	33.9	91.5	＋ 9.1
59.6	30.7	90.3	△ 1.2

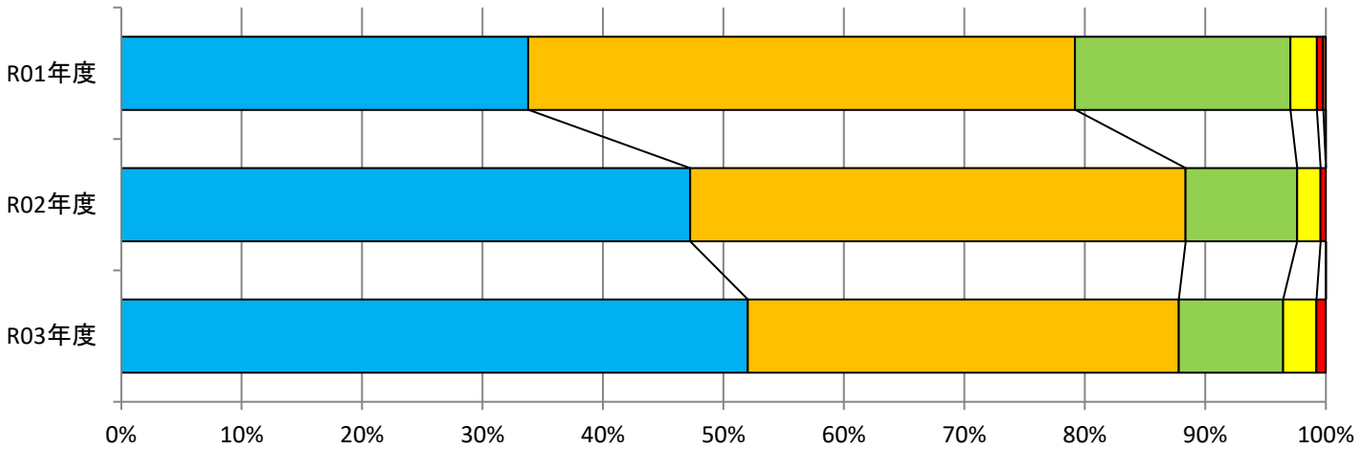
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	41.5	82.5	－
36.6	40.4	77.0	△ 5.5
59.2	30.3	89.5	＋ 12.5

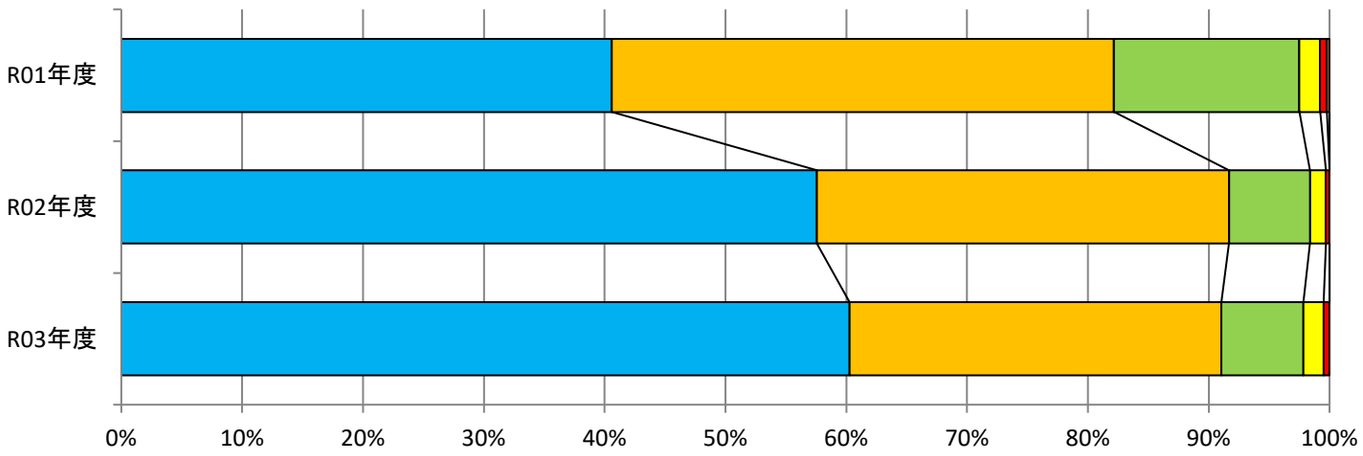
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



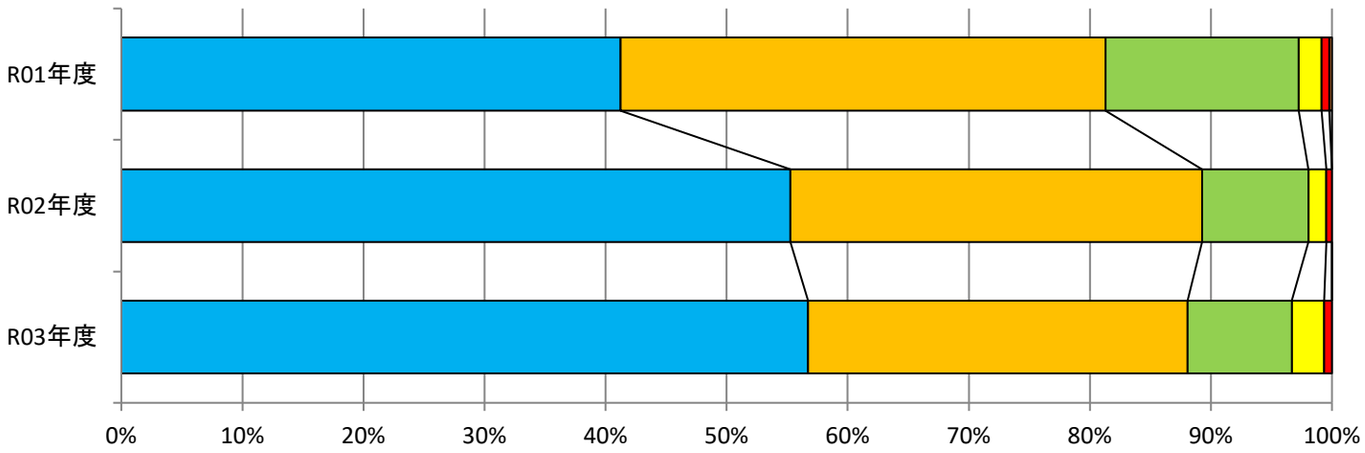
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	45.4	79.2	－
47.2	41.1	88.4	＋ 9.2
52.0	35.8	87.8	△ 0.6

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



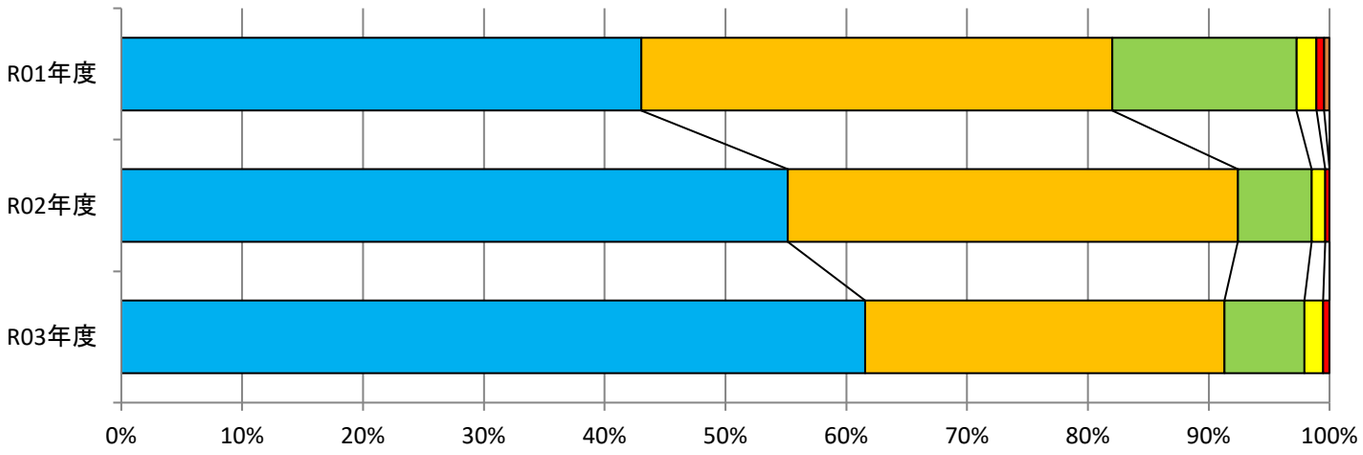
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.6	41.6	82.2	－
57.6	34.1	91.7	＋ 9.5
60.3	30.8	91.0	△ 0.6

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



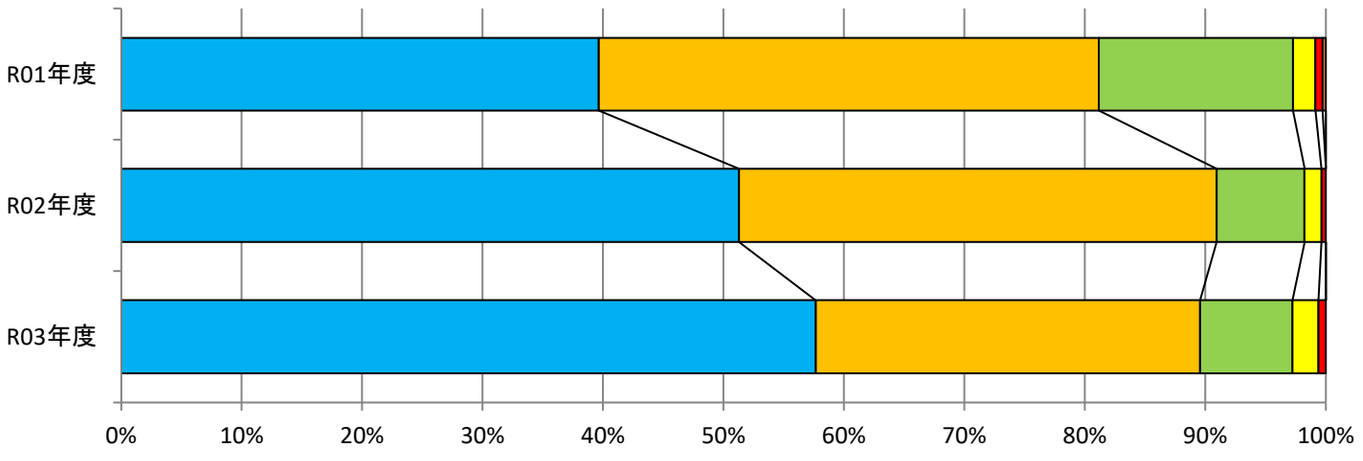
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.2	40.1	81.3	－
55.3	34.0	89.3	＋ 8.0
56.7	31.3	88.1	△ 1.2

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.0	39.0	82.0	－
60.9	41.1	102.0	＋ 20.0
61.6	29.8	91.3	△ 10.7

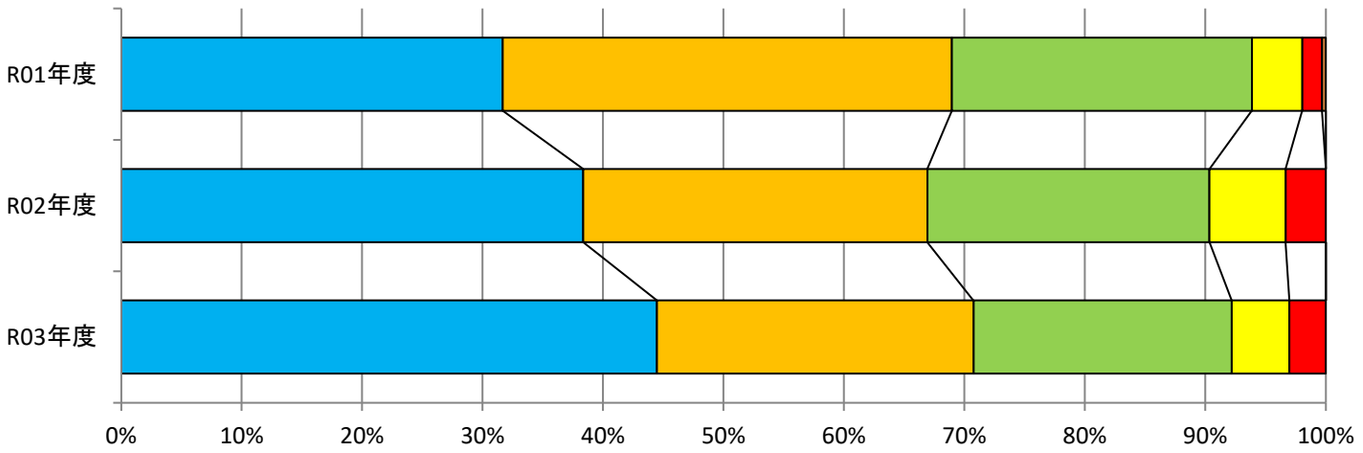
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.7	41.5	81.2	－
55.2	42.7	97.9	＋ 16.8
57.6	31.9	89.6	△ 8.4

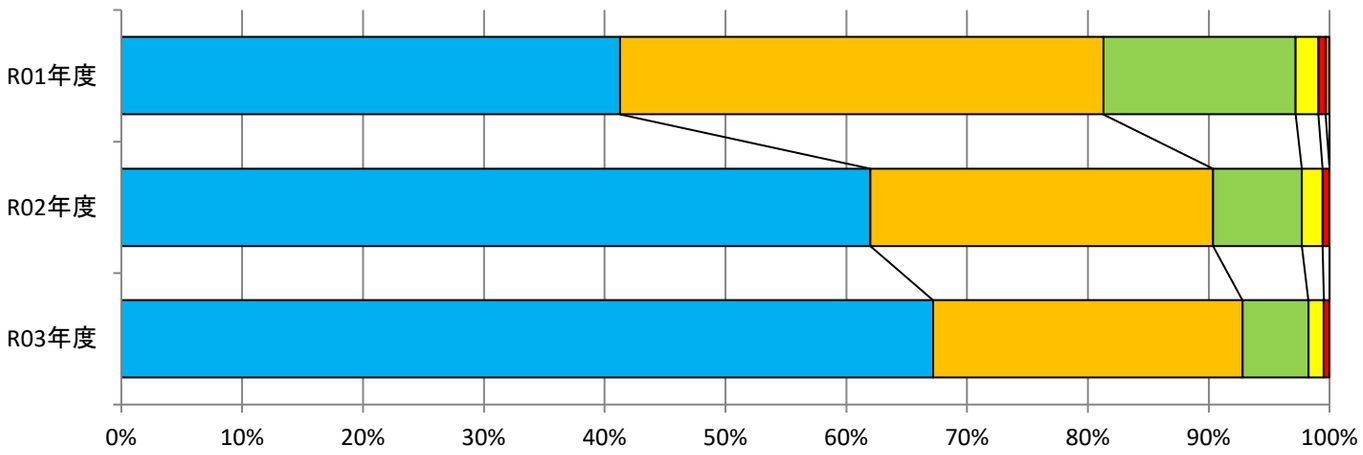
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



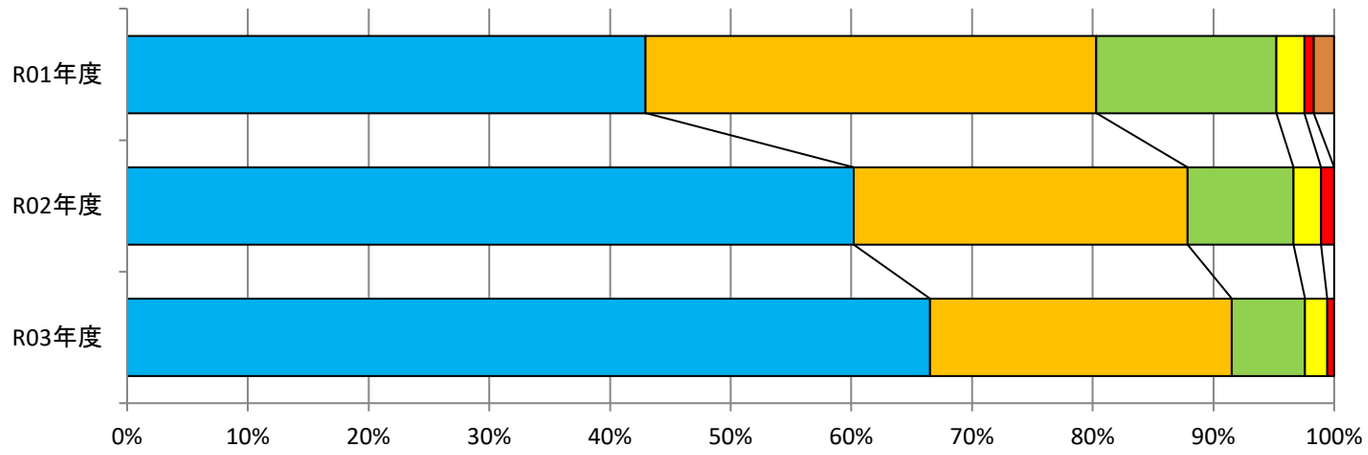
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.7	37.3	69.0	－
38.3	28.6	66.9	△ 2.1
44.5	26.3	70.7	＋ 3.8

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



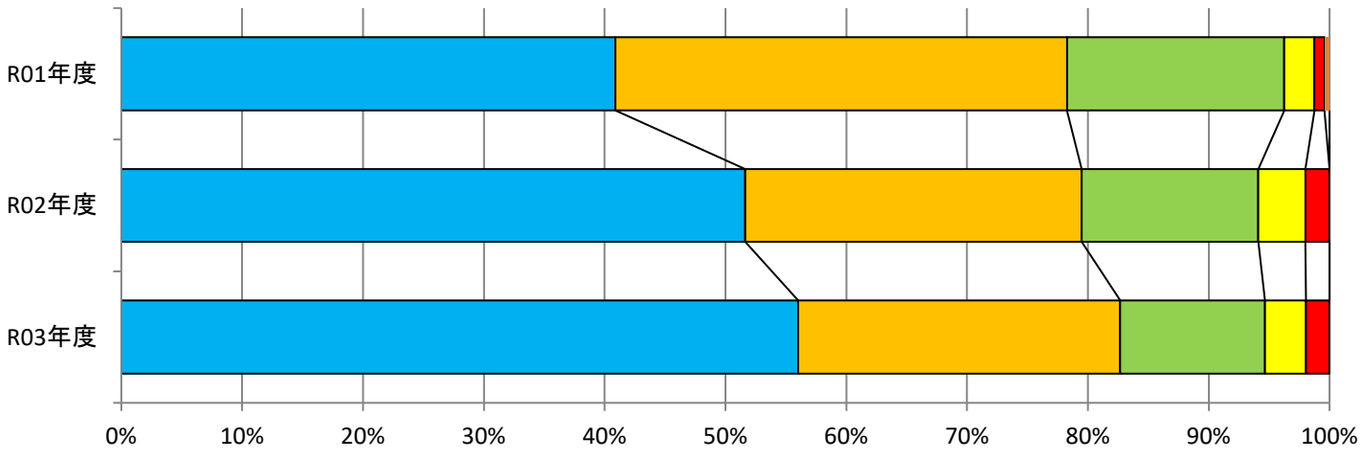
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.3	40.0	81.3	－
62.0	28.3	90.3	＋ 9.1
67.2	25.6	92.8	＋ 2.4

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



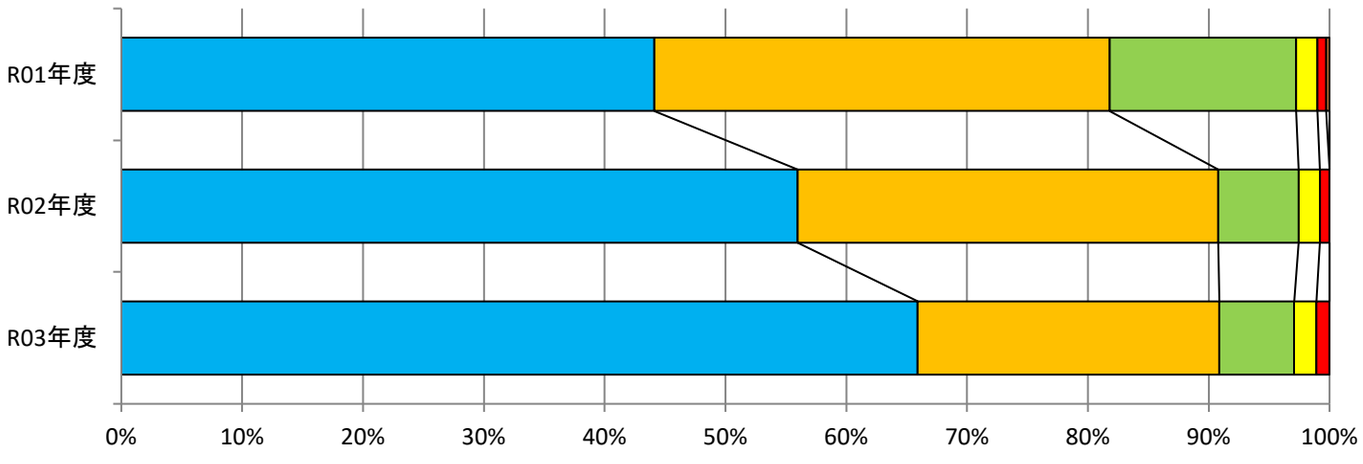
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.0	37.3	80.3	－
60.2	27.7	87.9	＋ 7.6
66.5	25.0	91.5	＋ 3.7

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



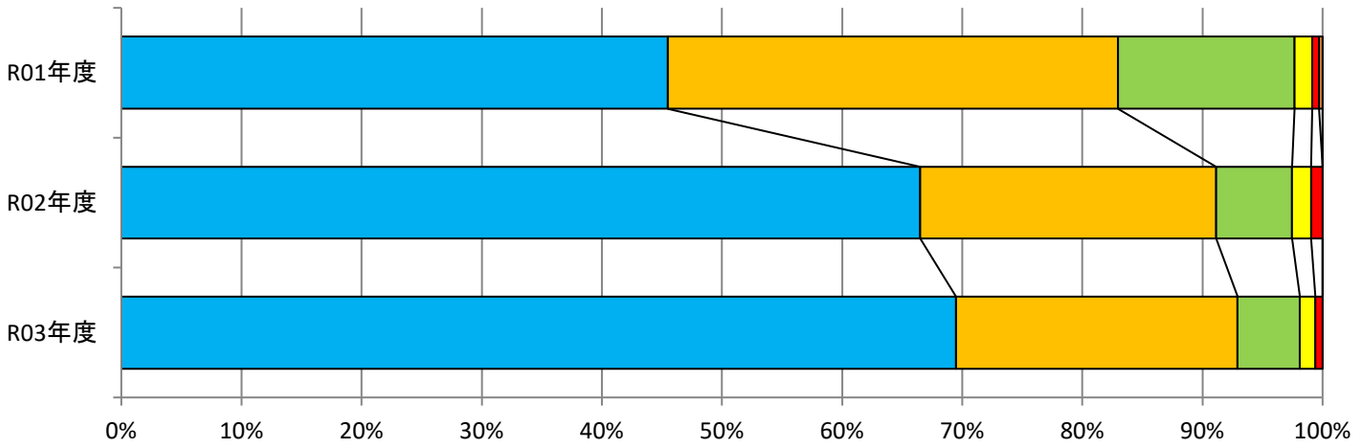
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.9	37.4	78.3	－
51.6	27.8	79.5	＋ 1.2
56.0	26.7	82.7	＋ 3.2

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



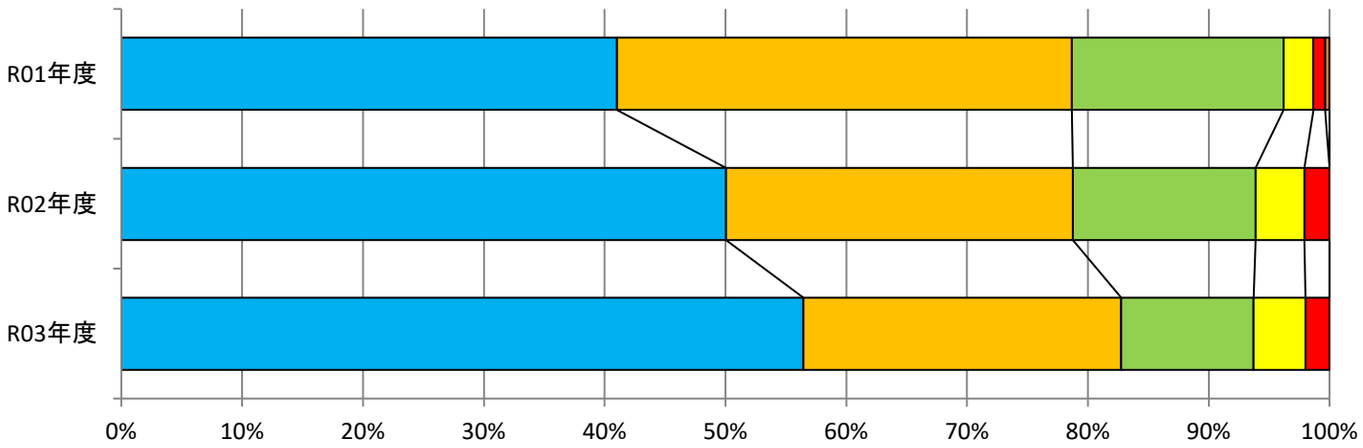
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.1	37.7	81.8	－
63.3	39.4	102.7	＋ 20.9
65.9	25.0	90.9	△ 11.8

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



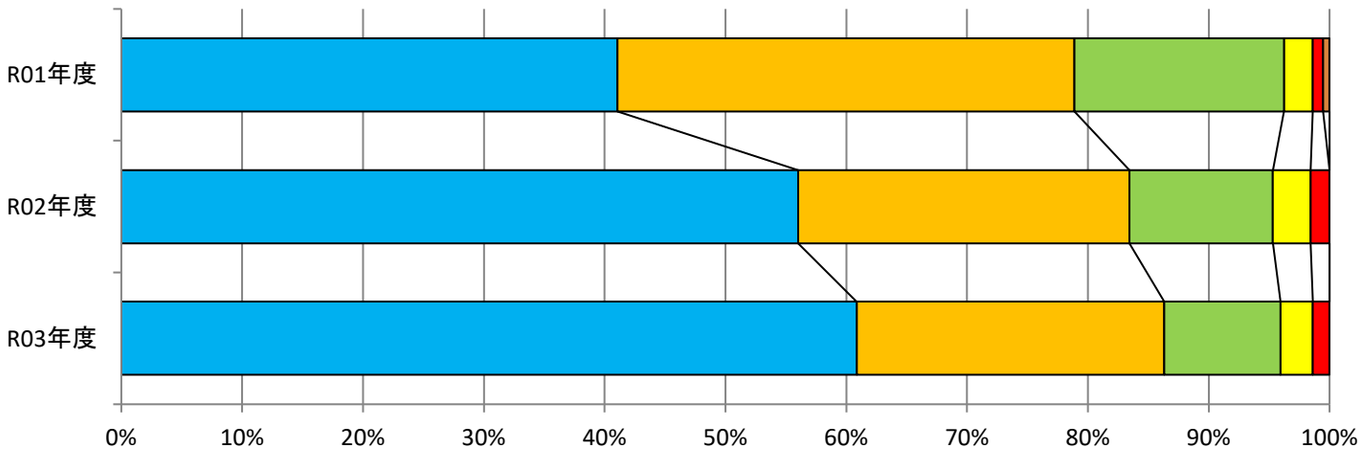
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.5	37.5	83.0	－
66.5	24.6	91.1	＋ 8.1
69.5	23.4	92.9	＋ 1.8

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	37.6	78.6	－
50.1	28.7	78.7	＋ 0.2
56.4	26.3	82.8	＋ 4.0

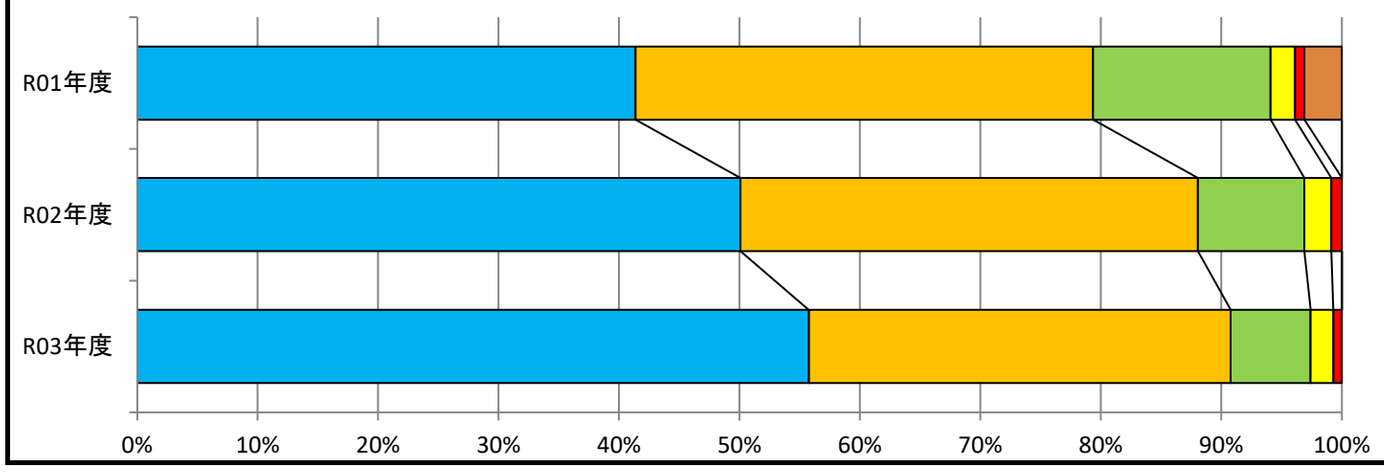
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.1	37.8	78.9	－
56.0	27.4	83.4	＋ 4.5
60.9	25.5	86.3	＋ 2.9

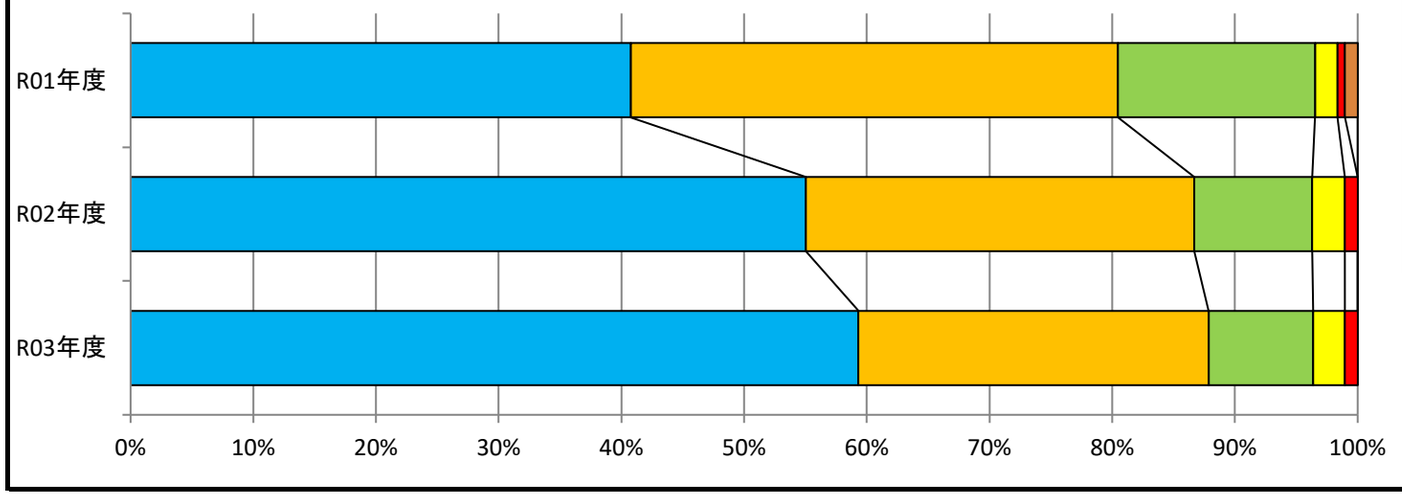
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	38.0	79.3	－
52.6	39.9	92.5	＋ 13.1
61.1	38.4	99.5	＋ 7.0

全質問項目の平均

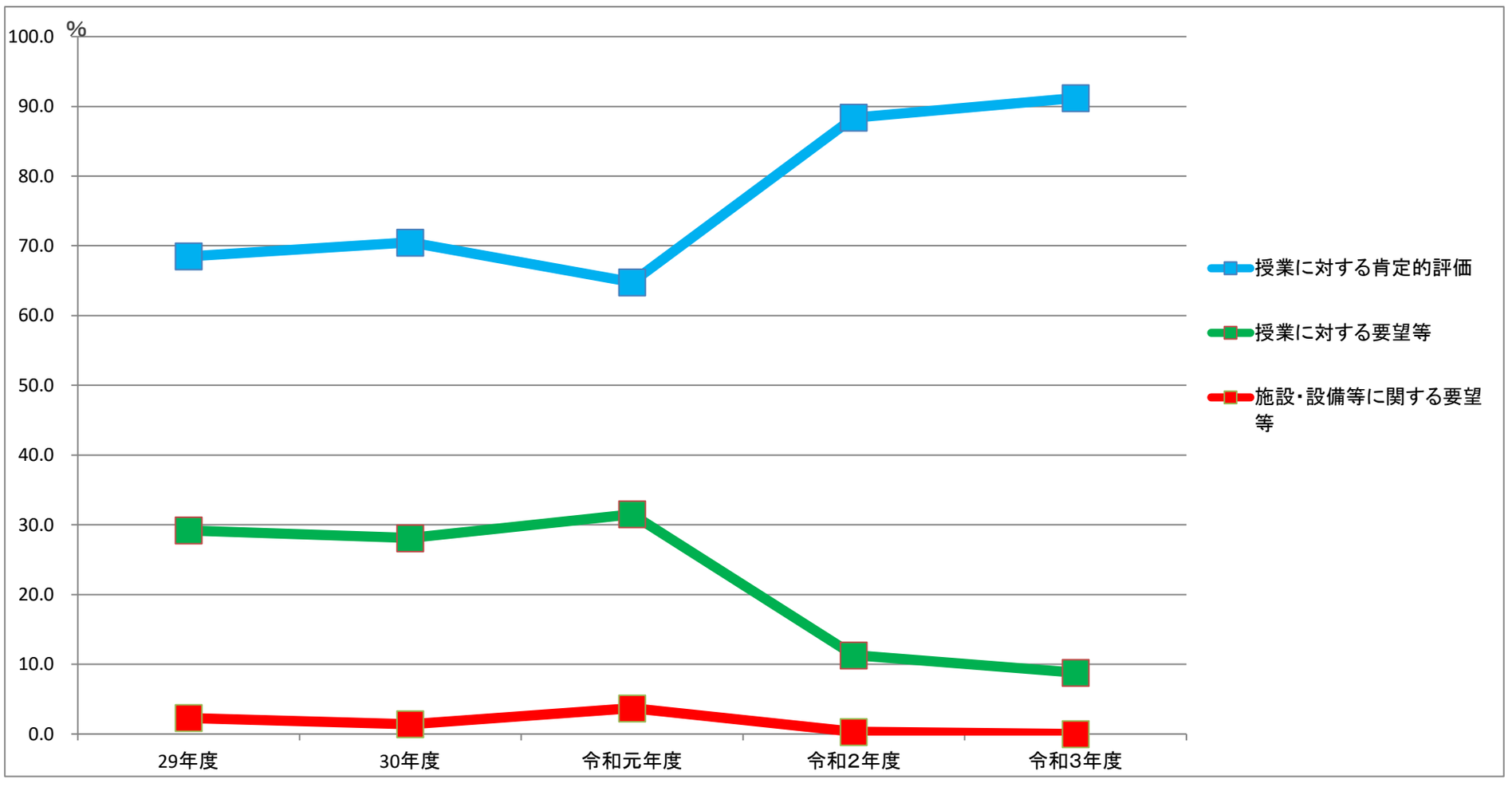


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.8	39.7	80.5	－
55.0	31.7	86.7	＋ 6.2
59.3	28.5	87.8	＋ 1.2

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(68.5%)	268	(70.5%)	246	(64.8%)	243	(88.4%)	313	(91.2%)	572
授業に対する要望等	(29.2%)	114	(28.1%)	98	(31.5%)	118	(11.3%)	40	(8.8%)	55
施設・設備等に関する要望等	(2.3%)	9	(1.4%)	5	(3.7%)	14	(0.3%)	1	(0.0%)	0
総件数	(100.0%)	391	(100.0%)	349	(100.0%)	375	(100.0%)	354	(100.0%)	627

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	572	・学内と臨地実習でしたが、学習しやすい環境を整えて下さりありがとうございました。 ・担当してくださった先生は、何ができていて何が足りないのかを明確にして次回の課題としてくれたので自分でも整理したり学びを深めやすかった。 ・薬剤名などはカタカナばかりで覚えるのに苦戦しましたが、作用機序やその他の知識について深く理解できたので良かったです。 ・疾病と治療で学生にあてるということが今までなかったのですが、あったおかげで危機感を持つことができ、良かったです。 ・わかりやすく有意義な講義・演習でした。自分の中の課題が明確化されたので講義が終了してから今後ももっと学びを続けていかなければならないと感じた科目でした。 ・教員と一対一で指導を行ってくれたことが素晴らしかった。
授業に対する要望等	55	・コロナの影響で病棟にいくことが困難であることは理解していますが、なるべく全ての人が平等になるようにいてほしいです。 ・卒業研究を行うにあたり積極的に参加する学生がいる反面、まったく意見を言わずに人任せな人もいた。 ・グループワークの時間が足りないと思った ・学籍番号順でグループを作るのは毎度同じメンバーになるので、もっとばらしてグループ構成して欲しい。 ・リアクションペーパーの回答をしてほしかった。 ・ZOOMでやや聞き取りにくかったりしていた
施設・設備等に関する要望等	0	
計	627	

令和３年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部　看護学科

○講義・演習科目数　106科目　　○調査対象者数 8,730 人（延人数）
○総回答数　　6,295 件（回答率 72.1%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(45.0) 47.2	(38.2) 35.9	(12.9) 12.5	(3.2) 3.7	(0.6) 0.7	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(66.1) 66.4	(27.6) 26.6	(5.1) 5.4	(1.0) 1.2	(0.2) 0.3	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(55.0) 56.3	(35.8) 33.0	(7.3) 7.7	(1.6) 2.7	(0.3) 0.4	0.0	(100) 100
計	(55.4) 56.6	(33.9) 31.8	(8.4) 8.5	(1.9) 2.5	(0.4) 0.5	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(44.6) 48.5	(42.9) 37.9	(9.9) 9.5	(2.1) 3.1	(0.5) 0.9	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(55.6) 66.3	(35.5) 28.4	(7.1) 4.2	(1.4) 0.9	(0.3) 0.2	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(52.8) 64.7	(35.7) 28.6	(9.3) 5.2	(1.6) 1.1	(0.5) 0.3	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(59.0) 68.8	(32.2) 26.1	(7.1) 4.2	(1.3) 0.7	(0.4) 0.2	0.0	(100) 100
計	(53.0) 62.1	(36.6) 30.3	(8.4) 5.8	(1.6) 1.5	(0.4) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(36.8) 44.0	(29.3) 27.2	(23.8) 21.2	(6.5) 5.0	(3.6) 2.7	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(60.9) 65.9	(29.2) 26.6	(7.5) 5.8	(1.8) 1.3	(0.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(58.3) 69.8	(28.7) 23.9	(9.4) 4.7	(2.4) 1.2	(1.1) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(60.6) 61.2	(21.5) 22.8	(12.7) 11.6	(3.4) 3.0	(1.9) 1.4	0.0 0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(63.7) 65.1	(26.5) 24.0	(7.1) 7.4	(2.1) 2.7	(0.7) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(48.7) 52.6	(29.0) 28.1	(16.0) 13.3	(4.2) 3.8	(2.1) 2.1	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(61.6) 63.8	(27.3) 26.4	(8.0) 6.6	(2.1) 2.0	(1.0) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(65.0) 67.9	(25.7) 24.7	(6.7) 5.5	(1.6) 1.3	(1.0) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(47.0) 53.5	(29.8) 27.5	(16.5) 12.2	(4.4) 4.7	(2.2) 2.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(55.8) 60.4	(27.5) 25.7	(12.0) 9.8	(3.2) 2.8	(1.6) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(50.3) 59.5	(29.7) 25.3	(11.9) 10.0	(5.7) 3.4	(2.4) 1.9	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(51.0) 59.1	(36.3) 30.2	(9.4) 7.6	(2.3) 2.3	(0.9) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
計	(50.7) 59.3	(33.0) 27.8	(10.7) 8.8	(4.0) 2.8	(1.7) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(53.7) 59.6	(32.7) 28.9	(9.9) 8.2	(2.7) 2.4	(1.0) 0.9	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

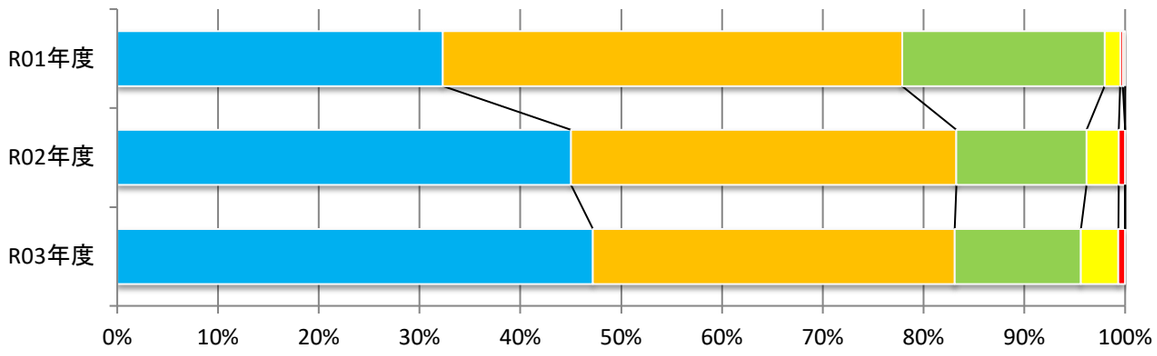
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	165科目	95科目	106科目
調査対象者数	15.492人	8,286人	8,730人
総回答数（回答率）	15,092枚（97.4%）	6,547件（79.0%）	6,295件（72.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

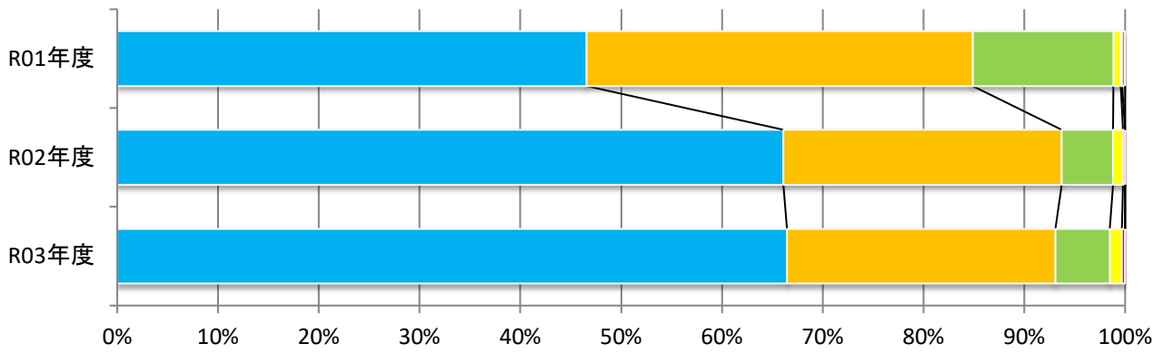
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



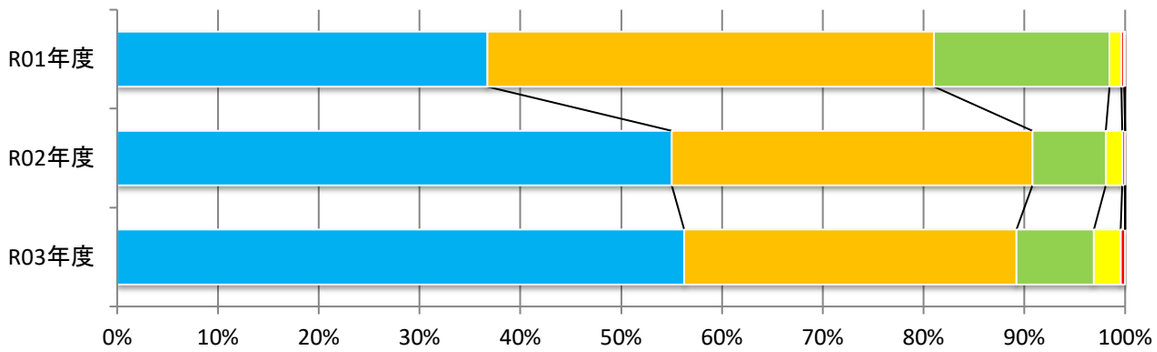
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	45.6	77.9	—
45.0	38.2	83.3	＋ 5.4
47.2	35.9	83.1	△ 0.2

2. 積極的に出席したと思うか。



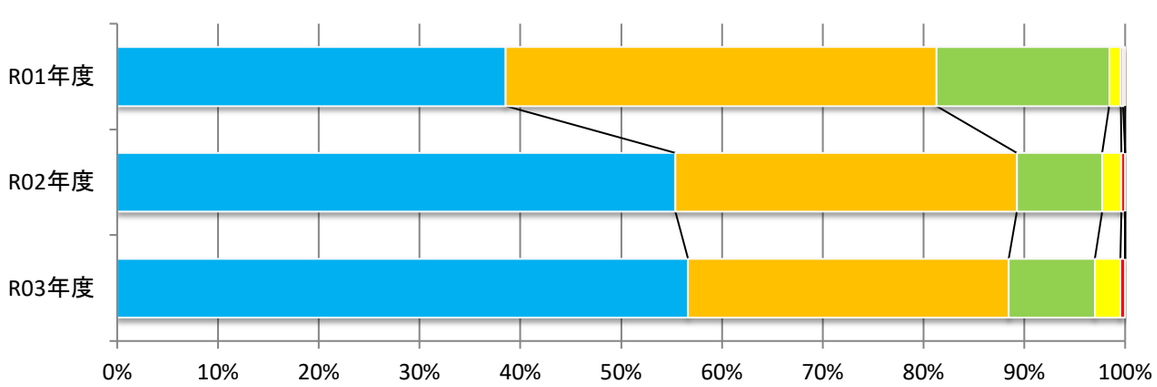
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.6	38.3	85.0	—
66.1	27.6	93.7	＋ 8.7
66.4	26.6	93.1	△ 0.6

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.7	44.3	80.9	—
55.0	35.8	90.8	＋ 9.9
56.3	33.0	89.2	△ 1.6

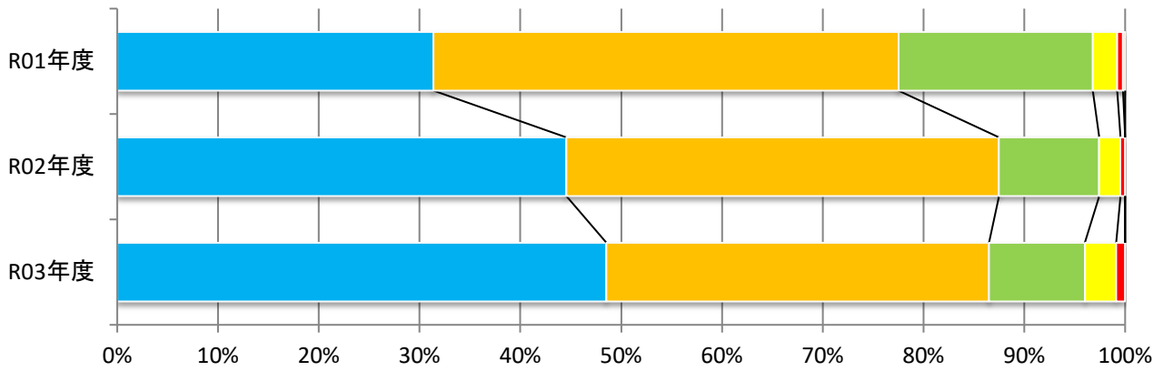
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.5	42.7	81.3	—
55.4	33.9	89.3	＋ 8.0
56.6	31.8	88.5	△ 0.8

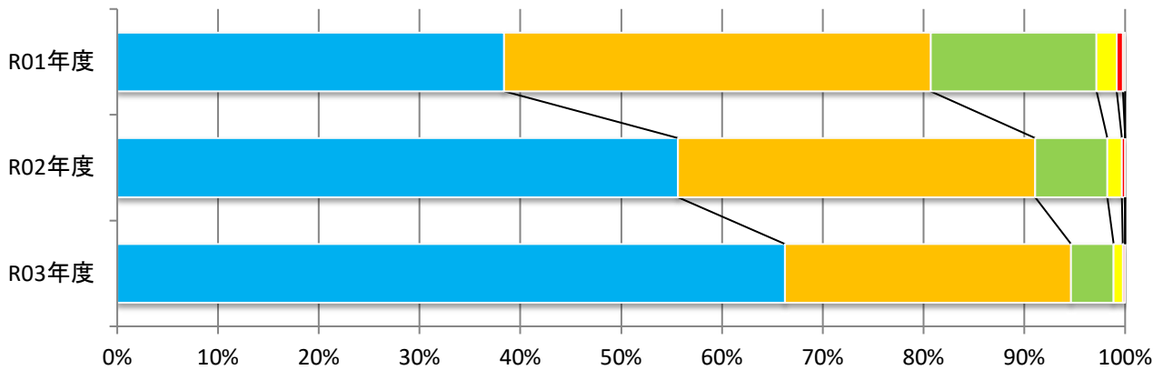
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



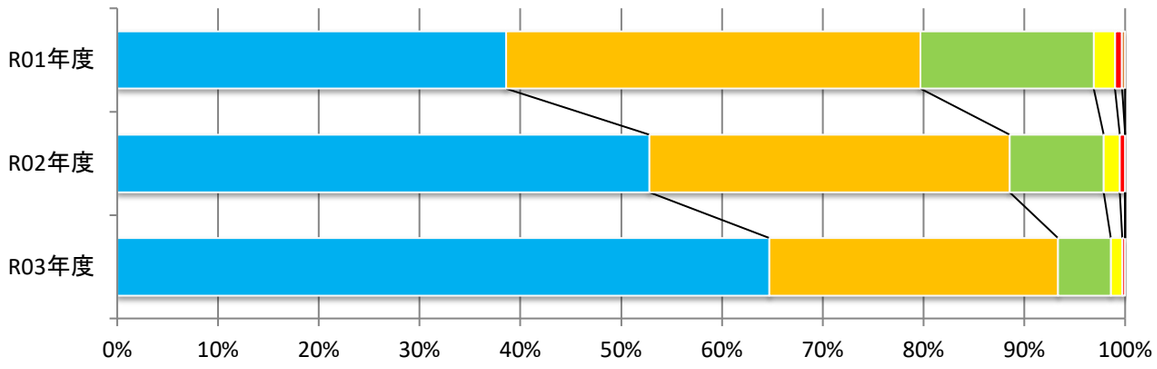
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.4	46.1	77.5	―
44.6	42.9	87.5	＋ 10.0
48.5	37.9	86.5	△ 1.0

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



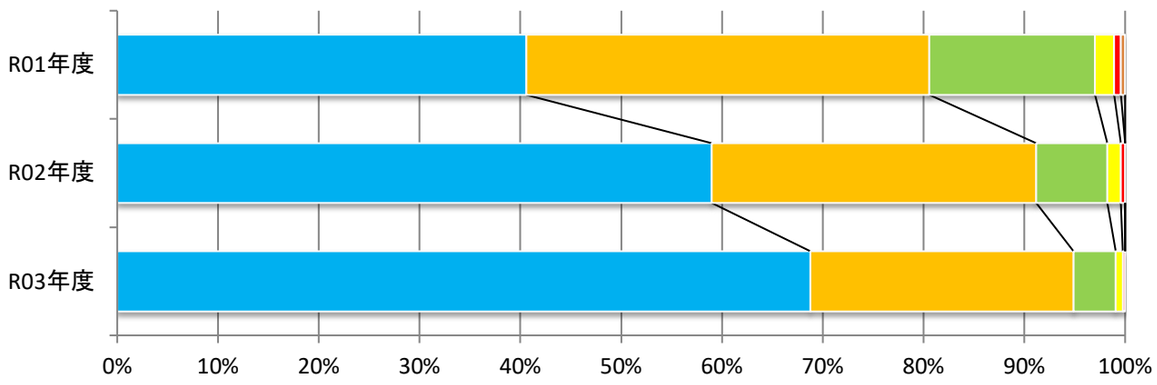
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.4	42.3	80.8	―
55.6	35.5	91.1	＋ 10.3
66.3	28.4	94.6	＋ 3.5

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



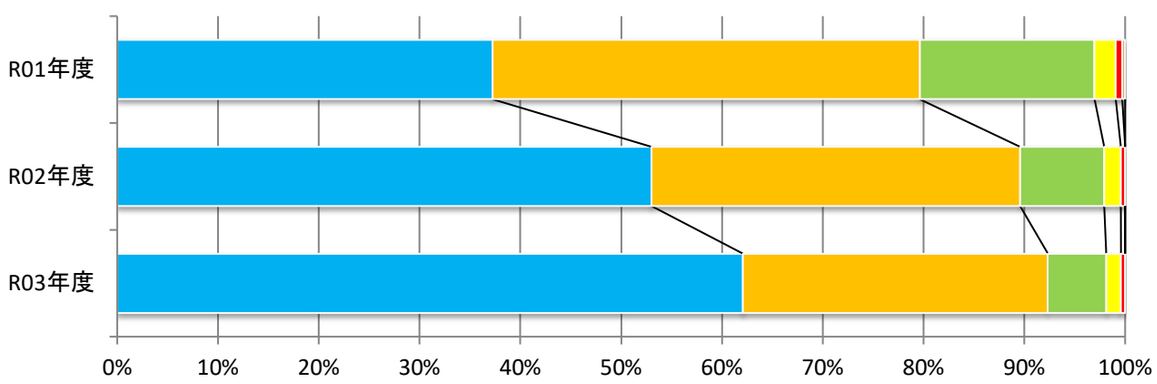
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.6	41.1	79.8	―
52.8	35.7	88.5	＋ 8.8
64.7	28.6	93.3	＋ 4.8

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.6	40.0	80.6	―
59.0	32.2	91.2	＋ 10.6
68.8	26.1	94.9	＋ 3.7

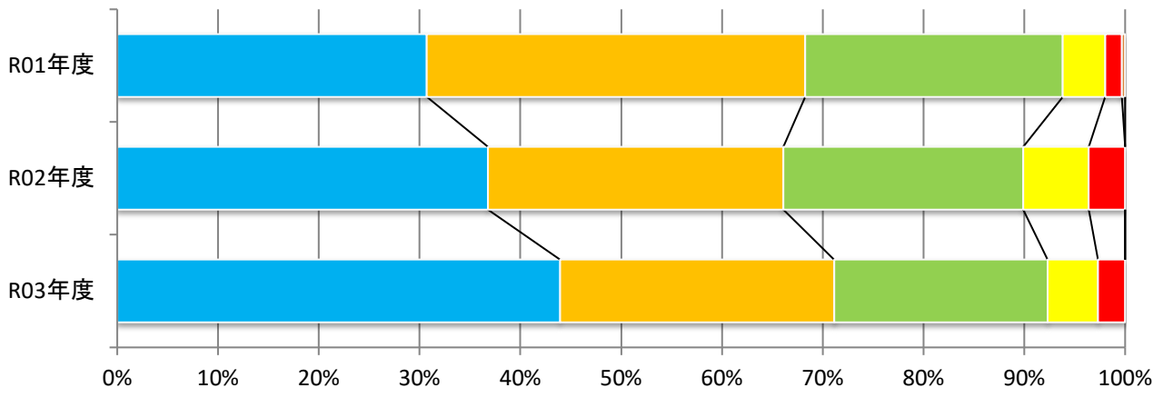
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.3	42.4	79.7	―
53.0	36.6	89.6	＋ 9.9
62.1	30.3	92.3	＋ 2.8

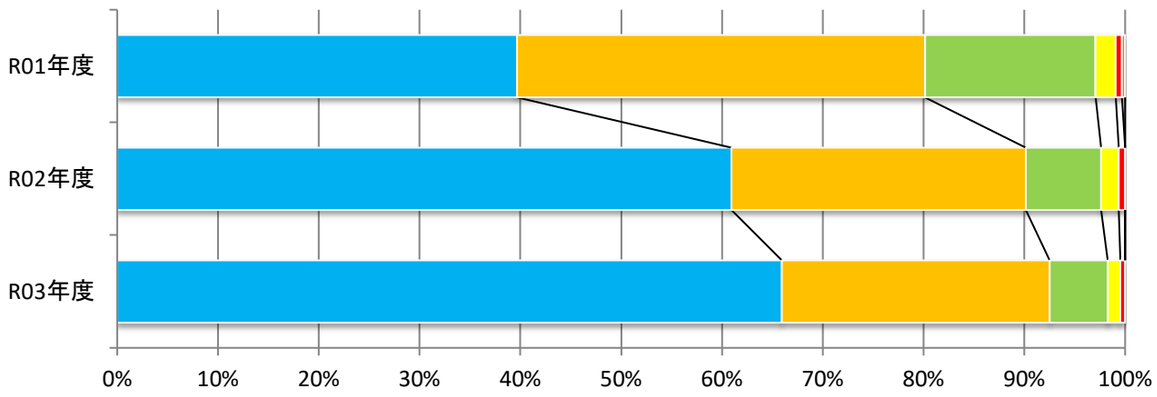
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



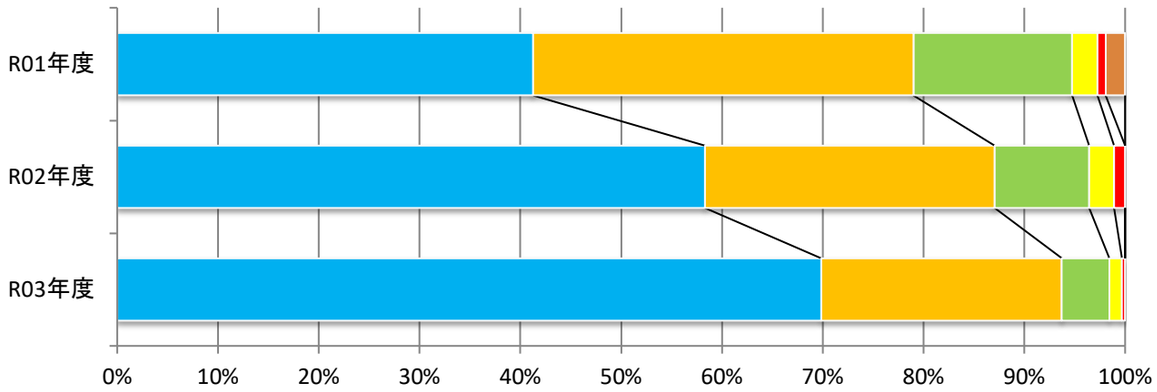
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	37.5	68.2	―
36.8	29.3	66.1	△ 2.1
44.0	27.2	71.1	＋ 5.0

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



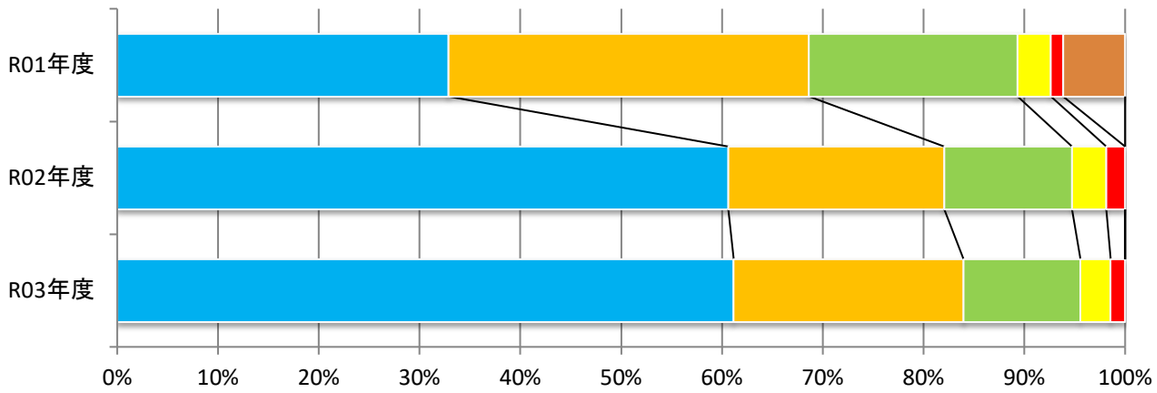
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.7	40.5	80.2	―
60.9	29.2	90.1	＋ 9.9
65.9	26.6	92.5	＋ 2.4

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



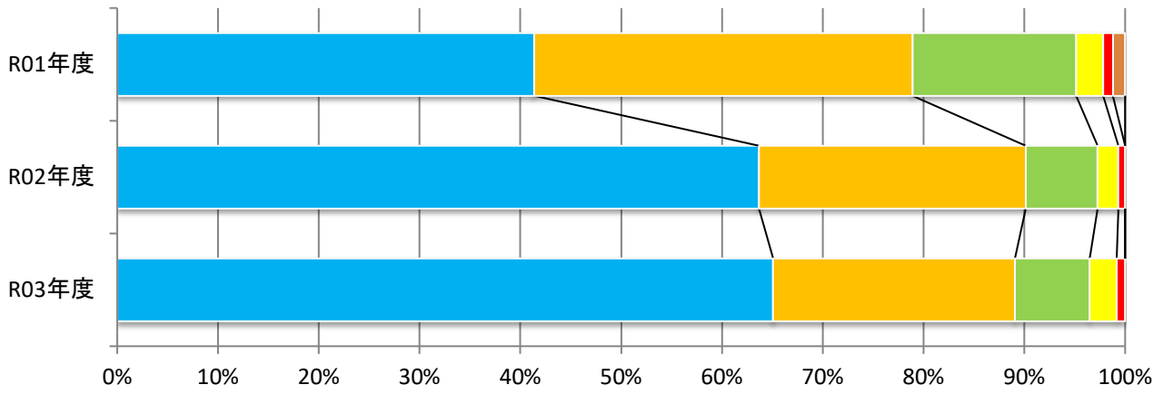
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.3	37.7	79.0	―
58.3	28.7	87.1	＋ 8.1
69.8	23.9	93.7	＋ 6.7

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1　板書であったと思うか。



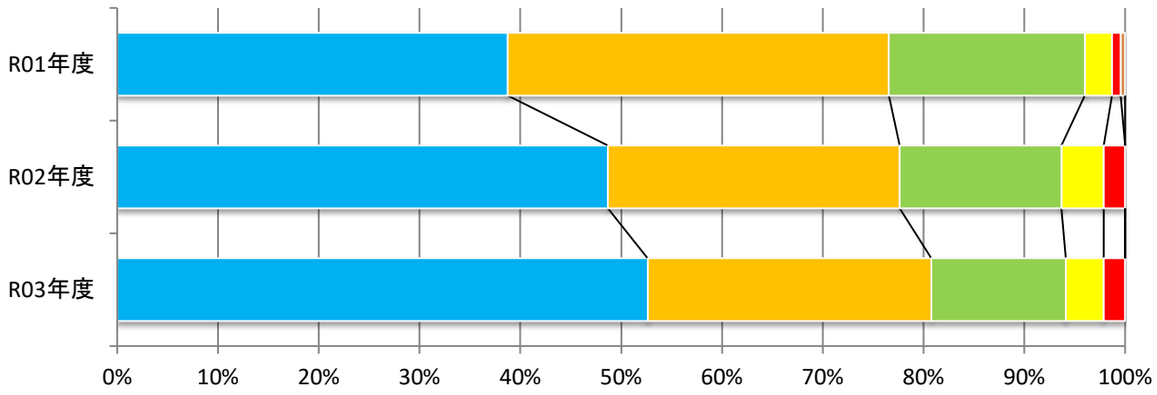
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.8	35.8	68.6	―
60.6	21.5	82.1	＋ 13.5
61.2	22.8	84.0	＋ 1.9

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は -2　わかりやすかったと思うか。



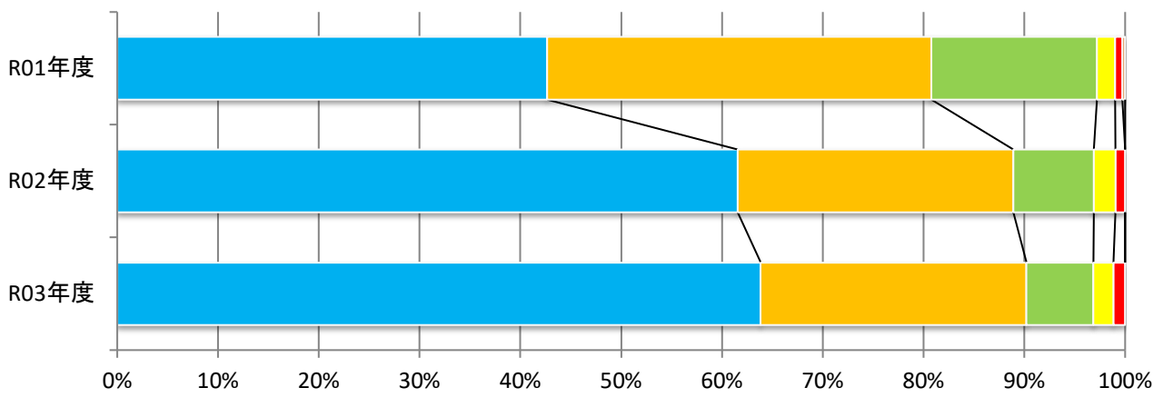
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	37.5	78.9	―
63.7	26.5	90.1	＋ 11.2
65.1	24.0	89.1	△ 1.1

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



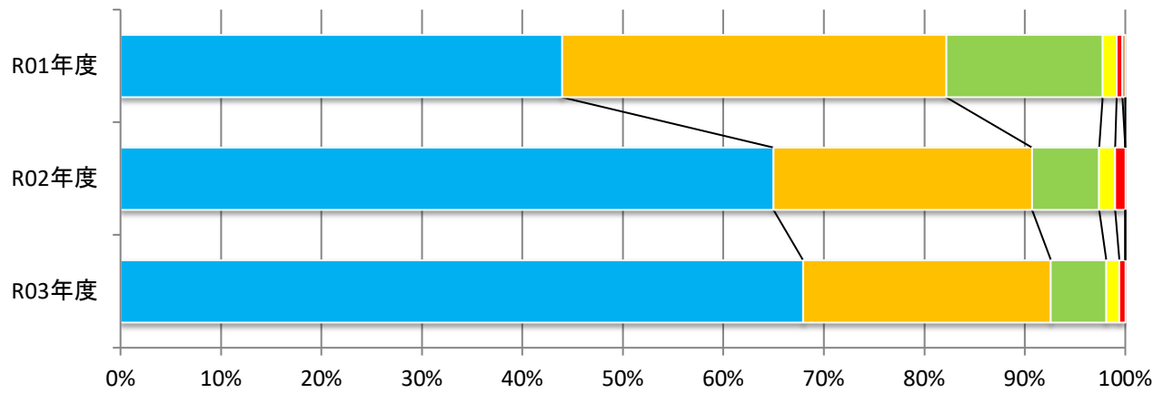
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	37.8	76.6	—
48.7	29.0	77.6	＋ 1.0
52.6	28.1	80.8	＋ 3.1

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



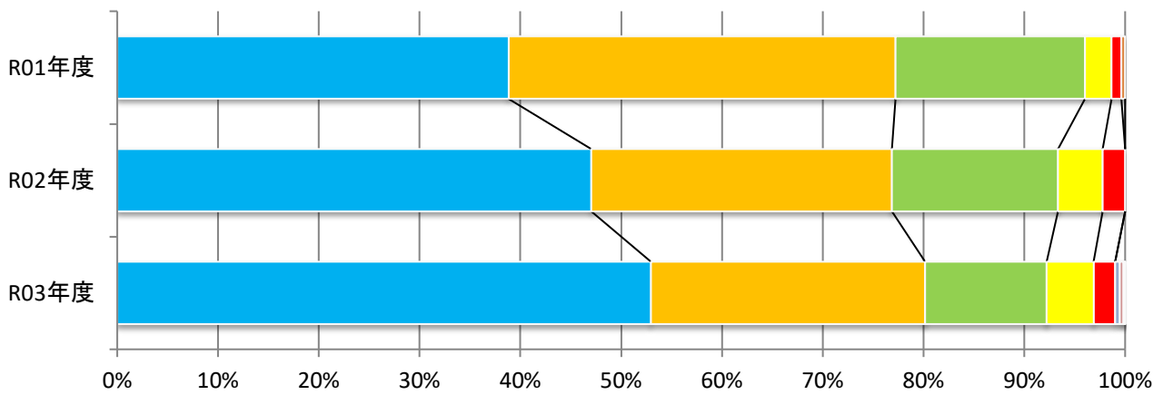
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.7	38.1	80.8	—
61.6	27.3	88.9	＋ 8.1
63.8	26.4	90.2	＋ 1.3

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



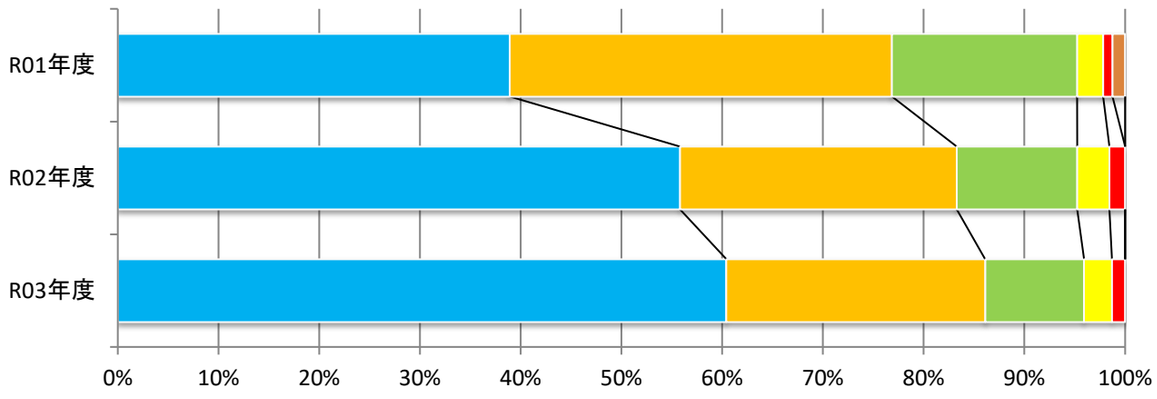
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.9	38.2	82.1	—
65.0	25.7	90.7	＋ 8.7
67.9	24.7	92.6	＋ 1.9

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	38.4	77.2	—
47.0	29.8	76.9	△ 0.3
53.5	27.5	81.0	＋ 4.1

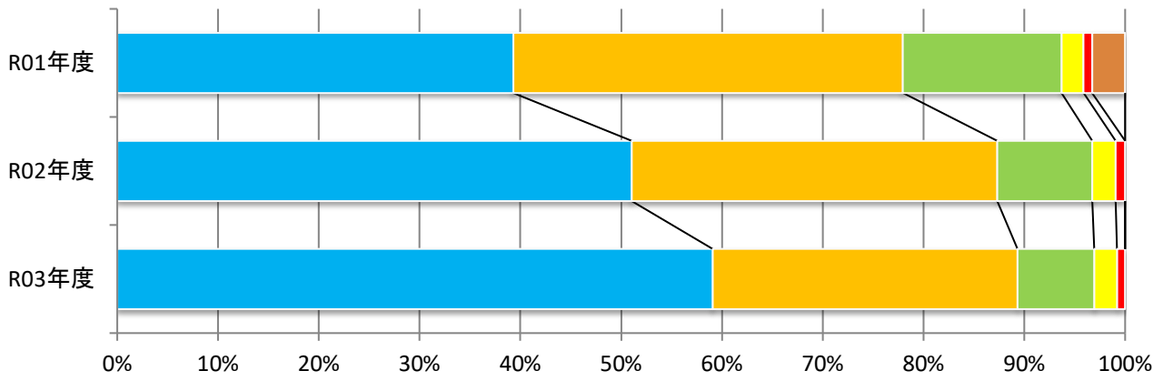
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.9	37.9	76.8	—
55.8	27.5	83.3	＋ 6.5
60.4	25.7	86.1	＋ 2.8

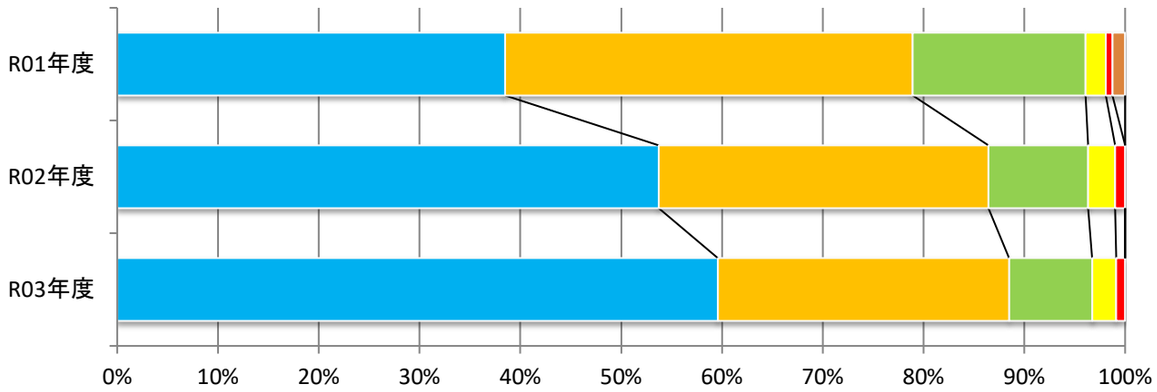
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



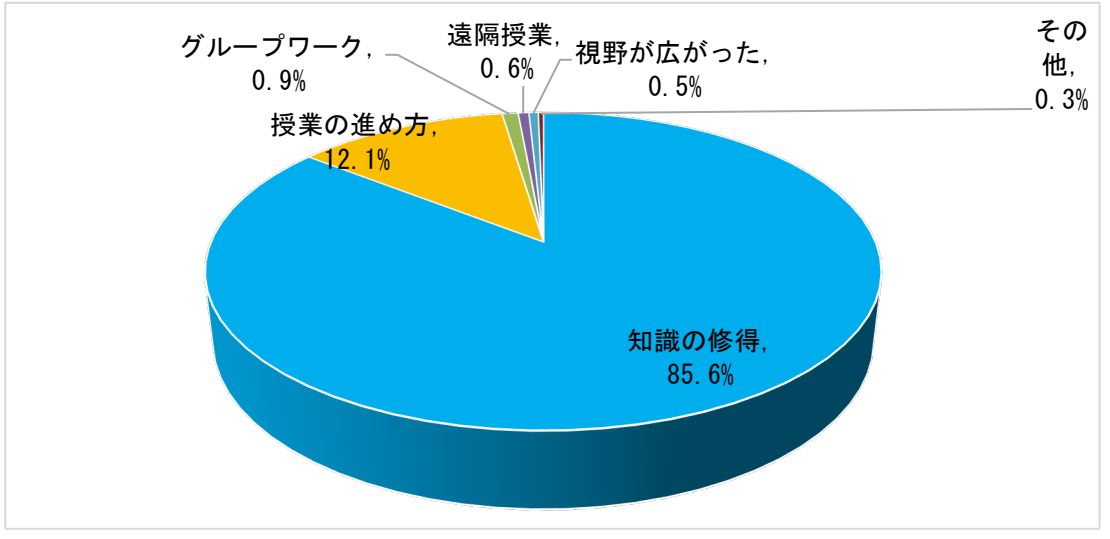
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.3	38.7	78.1	—
51.0	36.3	87.3	＋ 9.3
59.1	30.2	89.3	＋ 2.0

全質問項目の平均



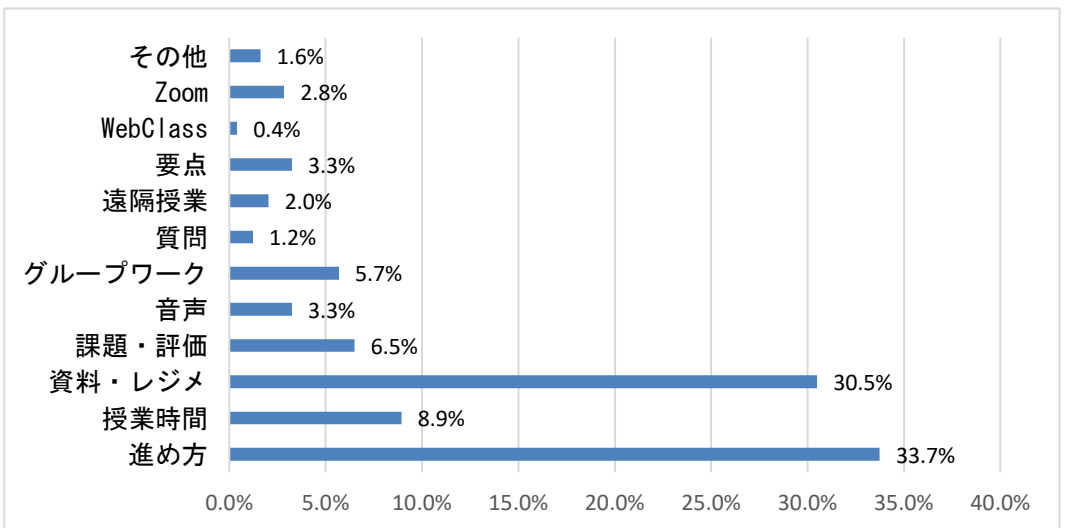
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.5	40.4	79.0	—
53.7	32.7	86.4	＋ 7.5
59.6	28.9	88.5	＋ 2.0

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　1,311】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	ヘルスアセスメント	51	丁寧な指導によって基本的な技術を身につけることができたこと、新しい濃い知識が増えたことなどが良かったと思う。
			アセスメントの視点であったり、アセスメントにおいて基礎となる知識や技術を学ぶことができ、有意義な時間となった。
	論理学	43	グループなどを作って意見交換をする機会がありみんなの意見を多く聞けたのがよかった。 3コマ連続だった時集中力などを考えて早めに切り上げてくれたのがよかった。
			これまで関わったことの無い人とも意見交換などを通して、知り合えたこと。論理的な考え方を学ぶことが出来たこと。
	人間関係論	39	看護に関係する人の心理についてさまざまな例が紹介されていて面白かった。なかには看護学概論と繋がるものもあり、復習するような気持ちで授業を聞いていた。
			患者さんとのコミュニケーションで気を付けるポイントや、接し方を学ぶことができ日常生活に応用することができたので良かった。
	心理学	37	心理学について興味はありましたが、今回受講してみて身近な現象にも心理学が使われていることを学ぶことができ、心理学についてさらに興味がわき、もっと学びたいと感じました。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　246】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	解剖生理学Ⅱ	20	先生によりますが、声が聞こえにくいことがあったので、はきはき話していただけると嬉しいです。
			資料をもらえない授業もあったのてすべてもらえるようにしてほしい。
	解剖生理学Ⅰ	18	レジュメは事前に欲しかった。レジュメがない先生とある先生がいて統一して欲しかった。
			授業時間が足りず、残りの１０分ぐらい駆け足で授業を終わらせてしまったことがあったので時間配分を考えてほしいと思いました。
	情報リテラシー	13	オンデマンドの動画の授業であったが、その動画が授業時間を大幅にオーバーする長さであり、もっと授業時間内におわらせるようにしてほしい。
			授業外にやらなくてはいけないことが多く、もう少しゆっくり進めてほしいと感じた
	人間工学	11	パワーポイントの進みが早く、メモが大変だったので資料の配布か、パワーポイントを進めるスピードがもう少しゆっくりだと嬉しいなと思いました。
			講義内容が抽象的であったため、その要点があまりわからなかった。人間工学の範囲は広いためこの少ない講義時間で網羅することは困難だと思うが、もう少しきちんと学びたかった。

令和３年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○実習・実験科目数　14科目　　○調査対象者数 1,431 人（延人数）
○総回答数　998件（回答率69.7%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	(63.2) 61.9	(31.2) 30.9	(5.0) 6.1	(0.5) 1.1	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(82.9) 84.5	(14.4) 13.6	(2.6) 1.5	(0.1) 0.3	0.0 0.1	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	(77.6) 80.4	(19.1) 16.4	(2.8) 2.1	(0.5) 0.9	0.0 0.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(74.6) 75.6	(21.6) 20.3	(3.5) 3.2	(0.4) 0.8	(0.0) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	(67.4) 73.9	(27.7) 22.1	(4.0) 3.2	(0.7) 0.6	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(72.7) 78.2	(23.4) 18.8	(3.3) 2.6	(0.6) 0.3	0.0 0.1	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(74.1) 79.0	(20.9) 17.6	(4.5) 2.8	(0.6) 0.4	0.0 0.2	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(75.3) 80.0	(19.7) 16.5	(4.3) 2.8	(0.7) 0.6	0.0 0.1	0.0 0.0	(100) 100
計	(72.4) 77.8	(22.9) 18.8	(4.0) 2.9	(0.6) 0.5	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(50.3) 47.8	(22.9) 20.4	(20.6) 23.2	(4.8) 3.6	(1.4) 4.9	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(70.1) 75.1	(21.8) 19.5	(6.3) 3.5	(1.3) 1.5	(0.5) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(74.4) 78.5	(19.5) 17.1	(4.1) 2.7	(1.2) 1.0	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(74.4) 77.5	(19.1) 17.2	(3.9) 3.3	(1.5) 1.1	(1.1) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(76.8) 79.1	(18.1) 16.0	(3.9) 3.4	(0.8) 0.9	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(78.1) 79.3	(16.2) 15.7	(3.6) 3.1	(1.5) 1.2	(0.6) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	(73.4) 75.2	(19.8) 18.9	(4.7) 3.3	(1.3) 1.8	(0.8) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
計	(71.1) 73.2	(19.6) 17.9	(6.7) 6.1	(1.8) 1.6	(0.8) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(47.2) 48.2	(21.1) 17.3	(15.2) 15.9	(10.6) 10.1	(5.9) 8.4	0.0 0.0	(100.0) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(64.2) 73.6	(24.2) 19.8	(8.1) 5.1	(2.5) 0.8	(1.1) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(55.7) 60.9	(22.6) 18.6	(11.7) 10.5	(6.5) 5.5	(3.5) 4.5	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(68.4) 71.9	(21.7) 18.9	(6.5) 5.7	(2.3) 2.1	(1.1) 1.5	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

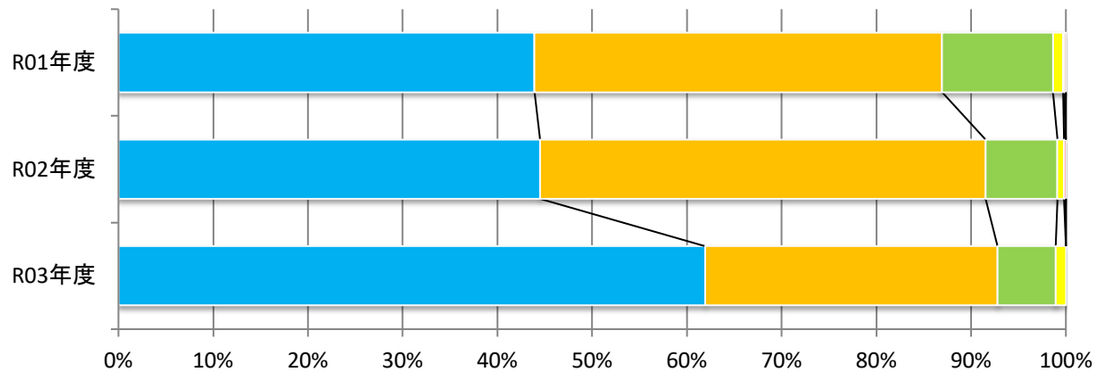
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	27科目	12科目	14科目
調査対象者数	2.719人	1,211人	1,431人
総回答数（回答率）	2,418枚（ 88.9%）	853件(70.4%)	998件(69.7%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

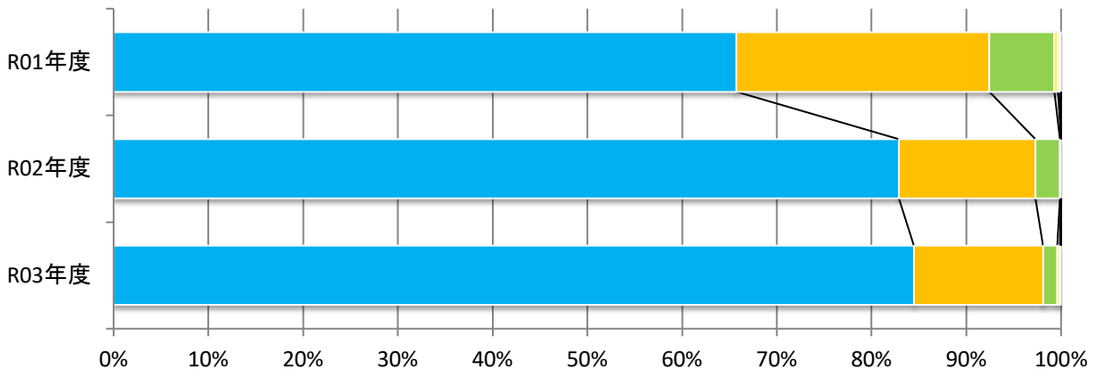
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



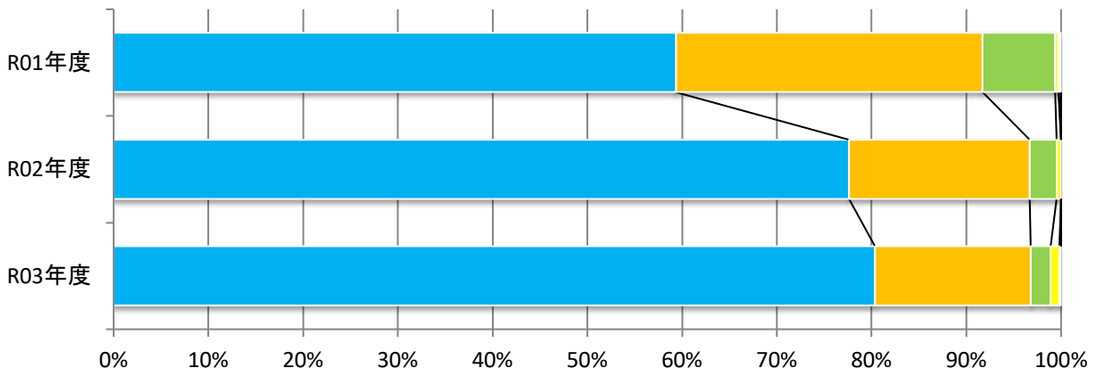
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.9	43.0	86.9	—
29.5	31.2	60.7	△ 26.2
61.9	30.9	92.8	＋ 32.1

2. 積極的に出席したと思うか。



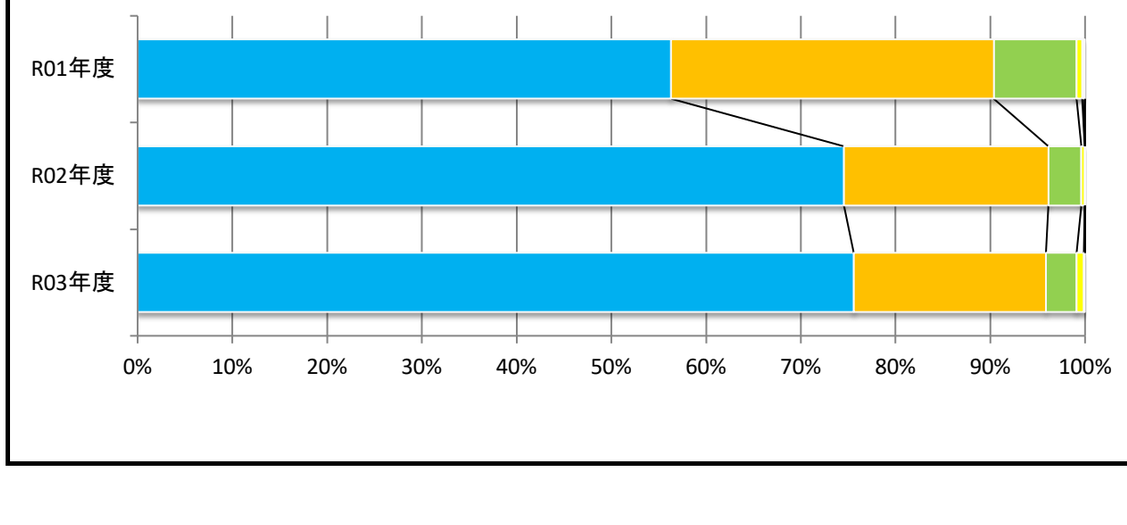
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.7	26.7	92.4	—
82.9	14.4	97.3	＋ 4.9
84.5	13.6	98.1	＋ 0.8

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.3	32.4	91.7	—
77.6	19.1	96.7	＋ 5.0
80.4	16.4	96.8	＋ 0.1

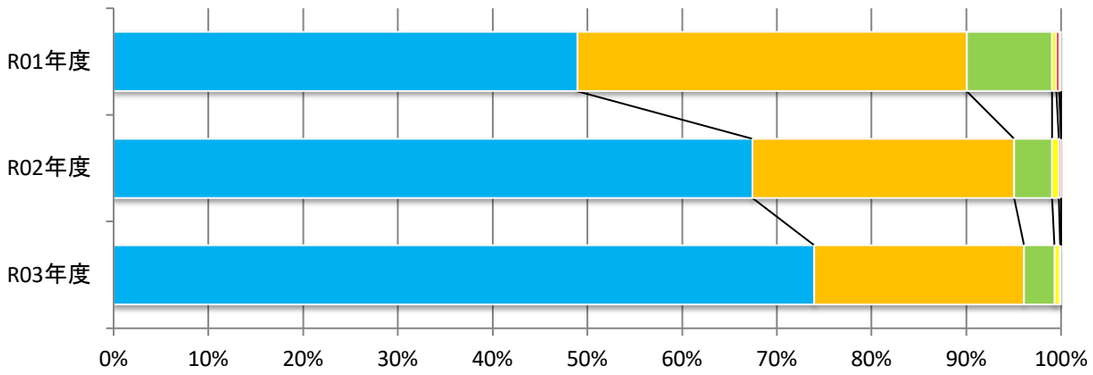
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.3	34.0	90.4	—
74.6	21.6	96.1	＋ 5.8
75.6	20.3	95.9	△ 0.2

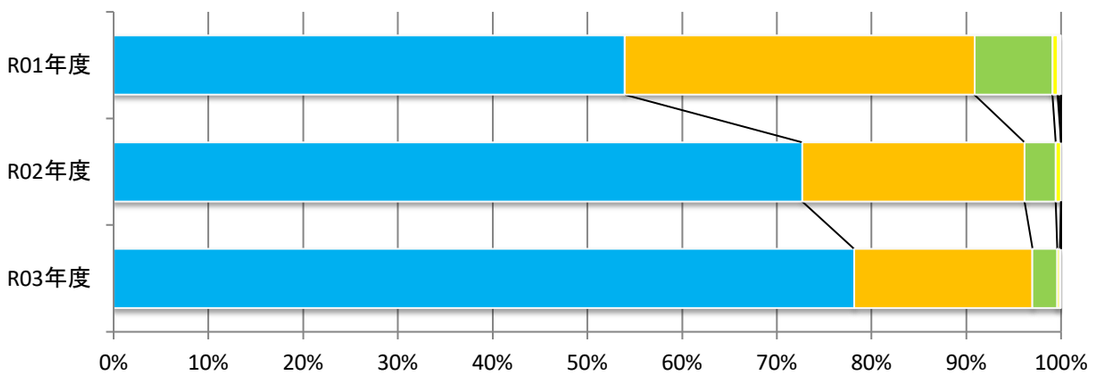
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



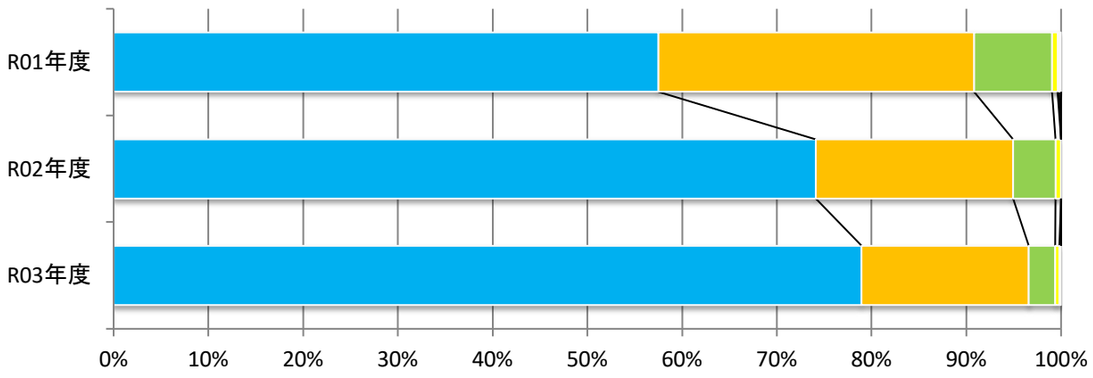
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.9	41.1	90.0	—
67.4	27.7	95.1	＋ 5.1
73.9	22.1	96.1	＋ 1.0

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



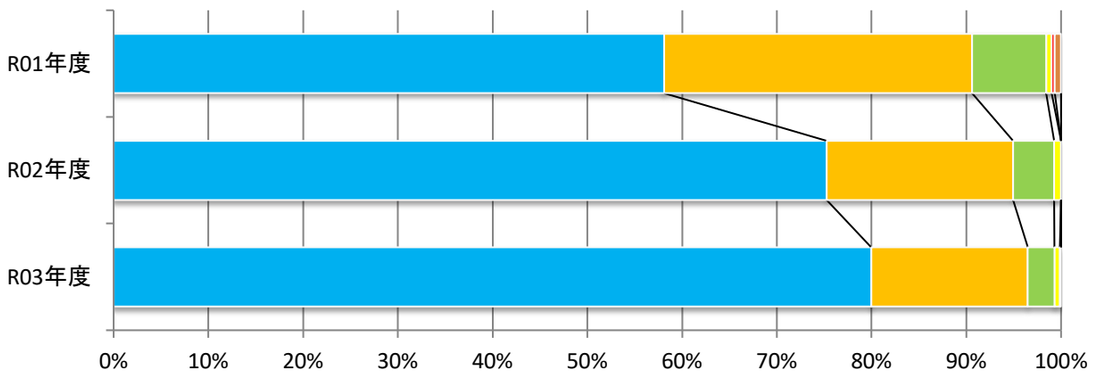
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	36.9	90.9	—
72.7	23.4	96.1	＋ 5.3
78.2	18.8	97.0	＋ 0.9

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



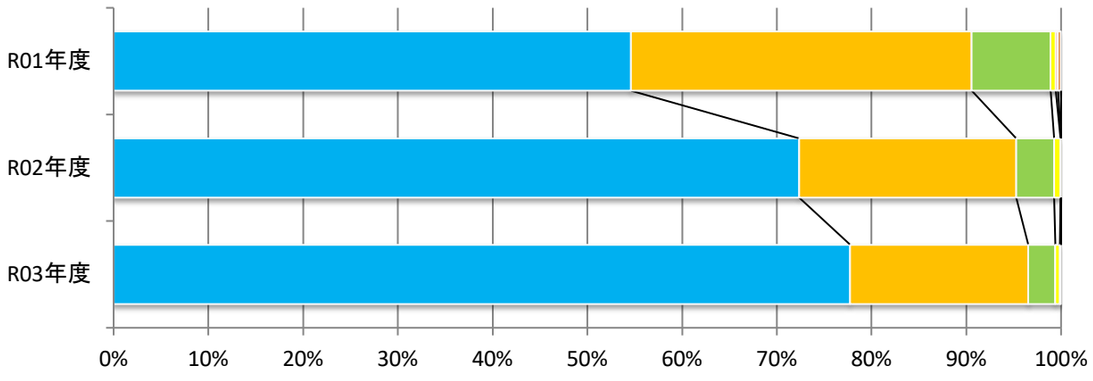
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.5	33.3	90.8	—
74.1	20.9	95.0	＋ 4.1
79.0	17.6	96.6	＋ 1.6

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.1	32.5	90.6	—
75.3	19.7	95.0	＋ 4.3
80.0	16.5	96.5	＋ 1.5

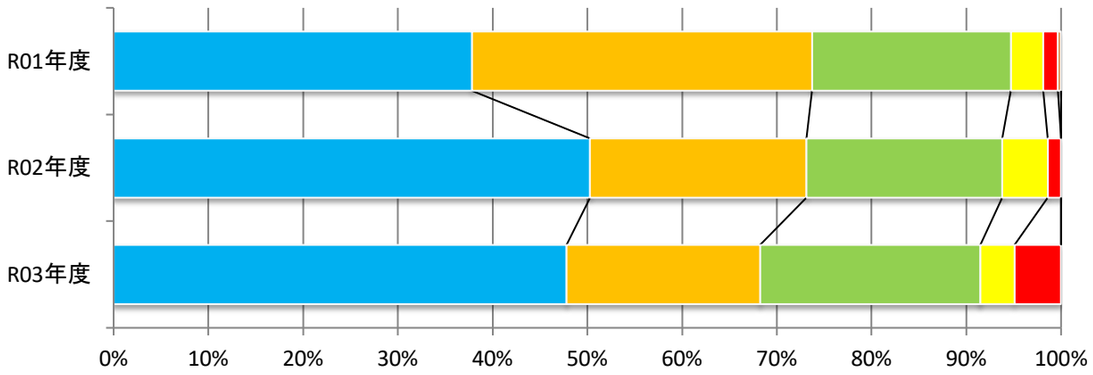
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.6	35.9	90.6	—
72.4	22.9	95.3	＋ 4.7
77.8	18.8	96.5	＋ 1.3

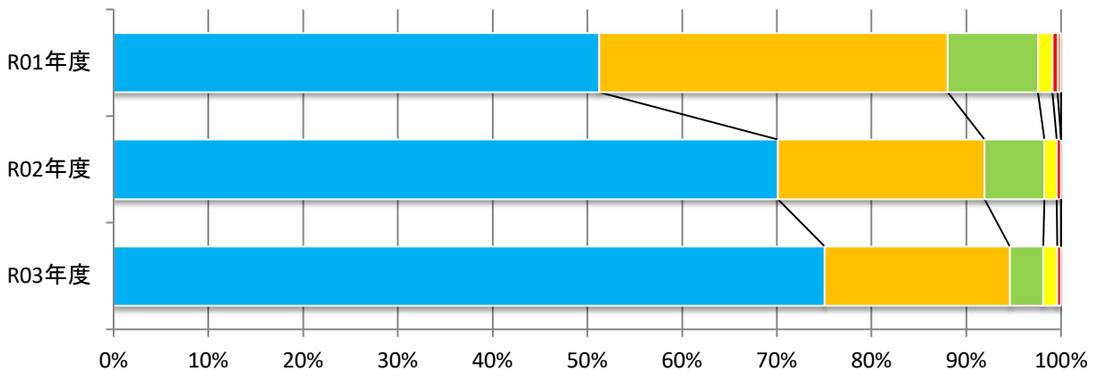
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



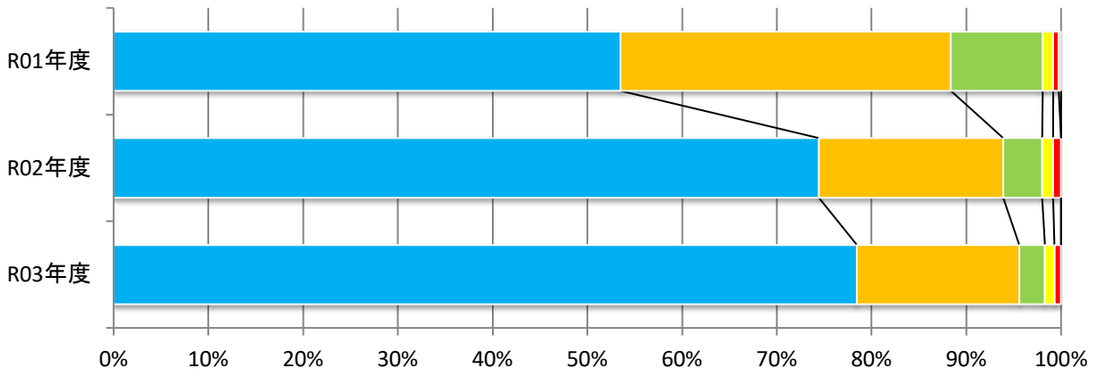
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	35.9	73.7	―
50.3	22.9	73.2	△ 0.5
47.8	20.4	68.2	△ 4.9

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



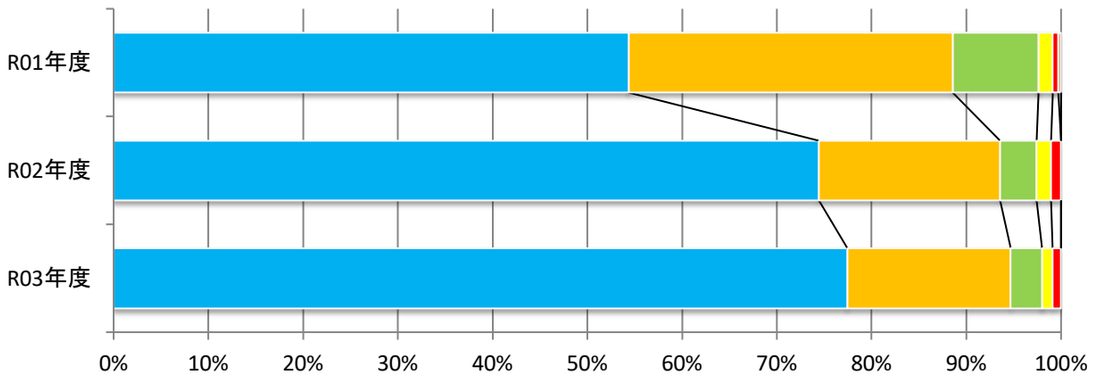
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.3	36.8	88.0	―
70.1	21.8	91.9	＋ 3.9
75.1	19.5	94.6	＋ 2.7

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



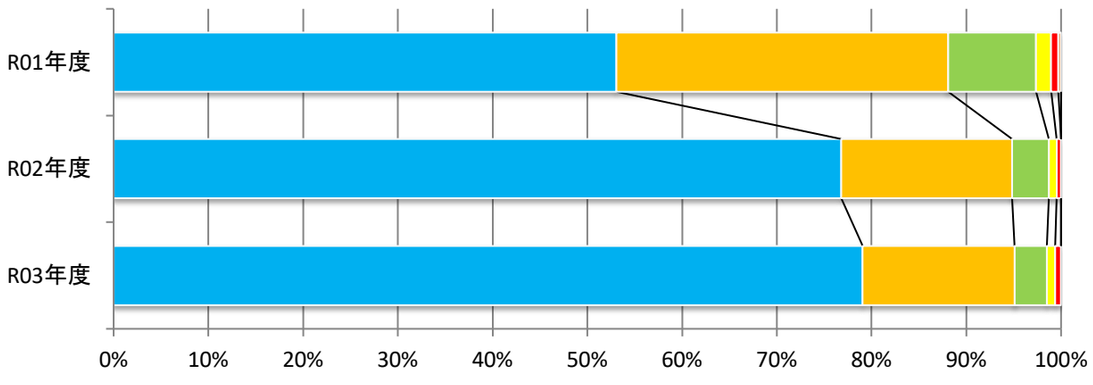
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.5	34.9	88.4	―
74.4	19.5	93.9	＋ 5.5
78.5	17.1	95.6	＋ 1.7

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



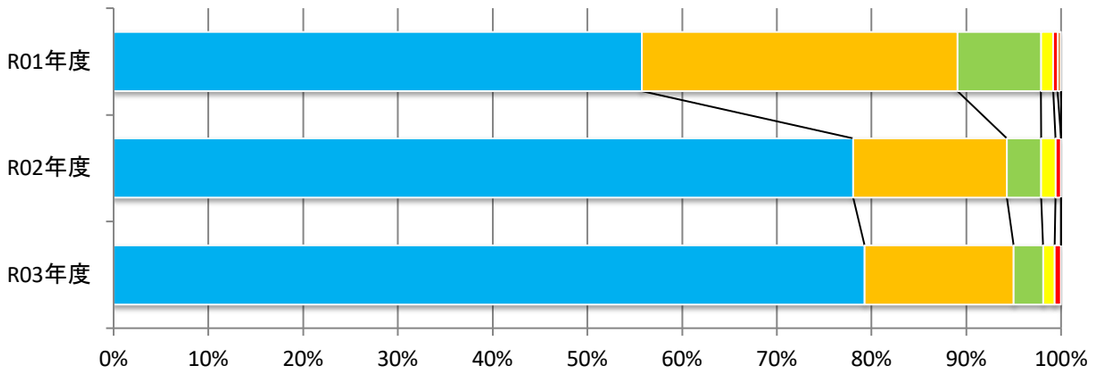
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.3	34.2	88.5	―
74.4	19.1	93.6	＋ 5.1
77.5	17.2	94.7	＋ 1.1

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



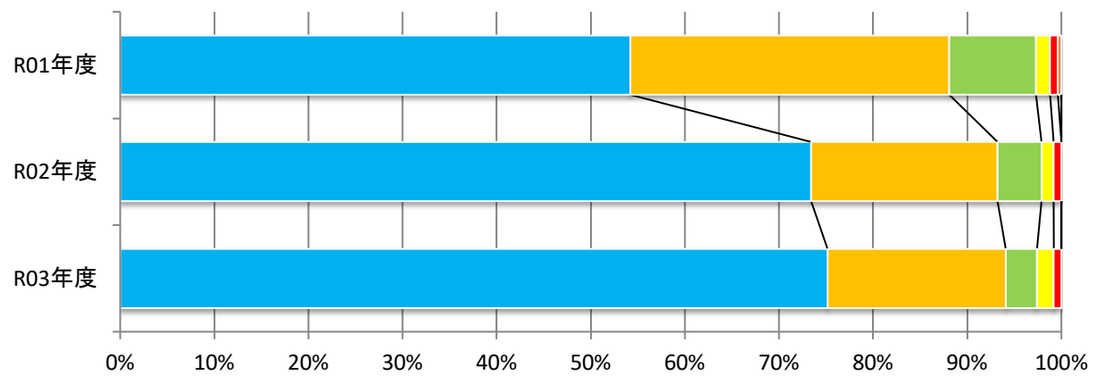
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.1	35.0	88.0	―
76.8	18.1	94.8	＋ 6.8
79.1	16.0	95.1	＋ 0.2

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



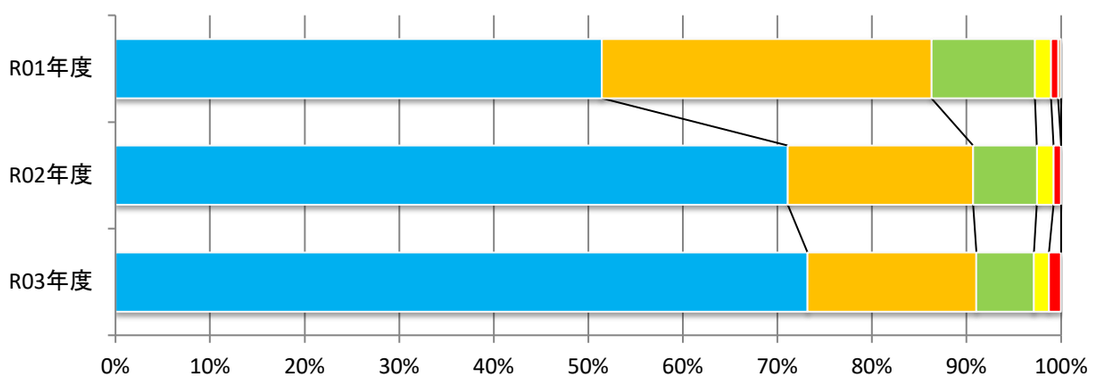
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.7	33.3	89.0	—
78.1	16.2	94.3	＋ 5.2
79.3	15.7	95.0	＋ 0.7

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.2	33.9	88.1	—
73.4	19.8	93.2	＋ 5.1
75.2	18.9	94.1	＋ 0.9

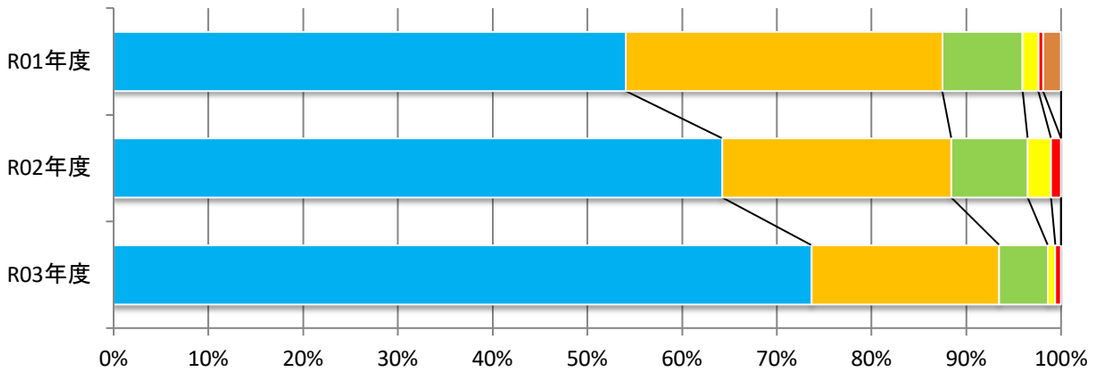
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.4	34.8	86.3	—
71.1	19.6	90.7	＋ 4.4
73.2	17.9	91.0	＋ 0.4

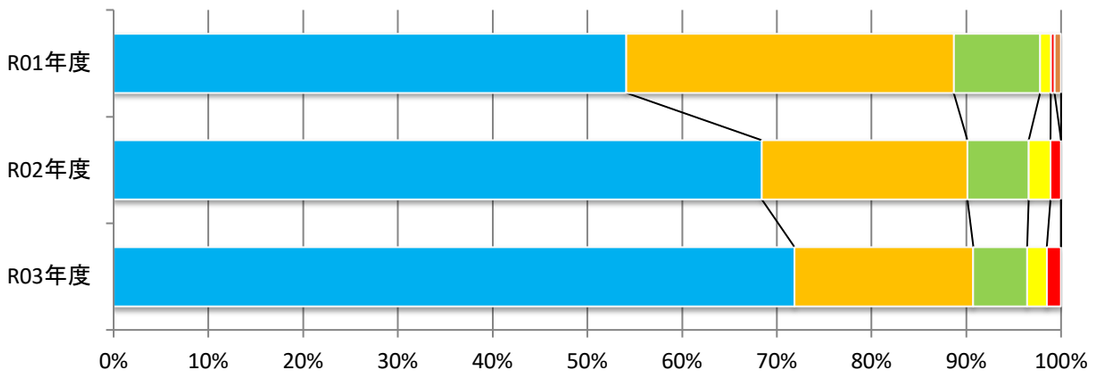
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



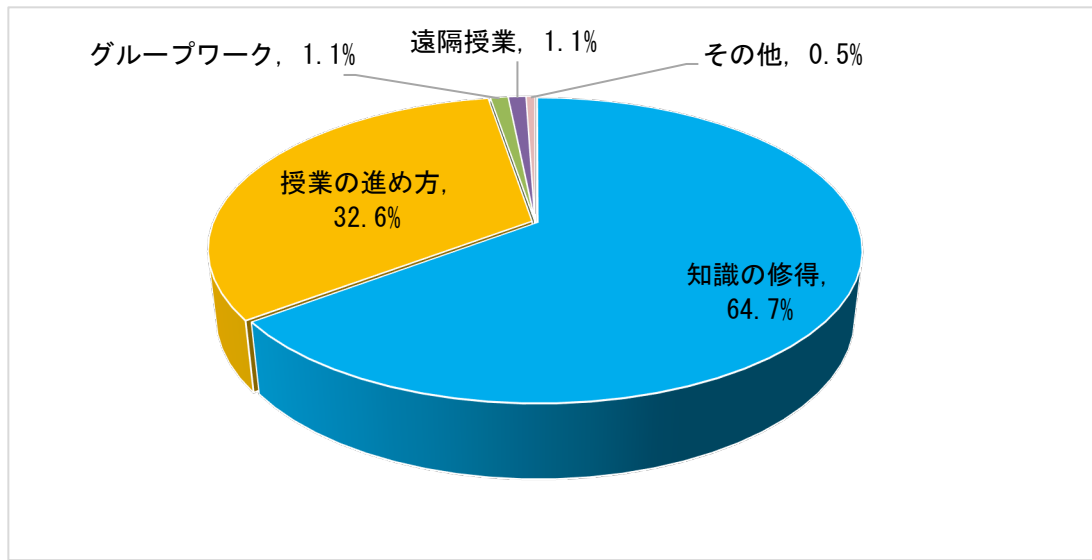
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	33.4	87.4	—
64.2	24.2	88.4	＋ 1.0
73.6	19.8	93.5	＋ 5.1

全質問項目の平均



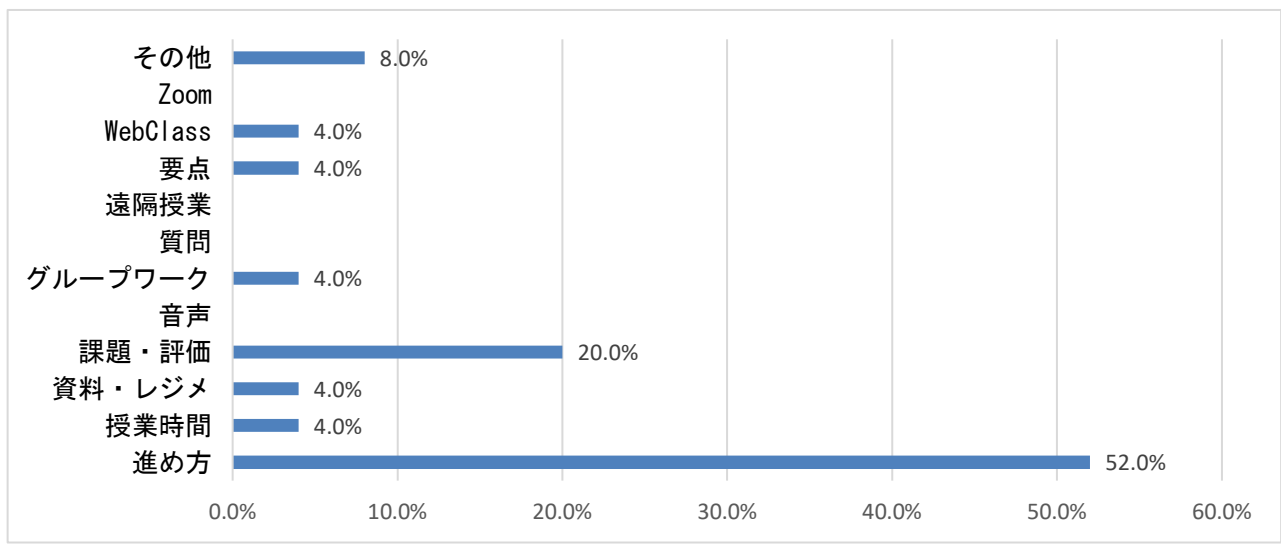
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.1	34.5	88.6	—
68.4	21.7	90.1	＋ 1.5
71.9	18.9	90.7	＋ 0.6

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　190】



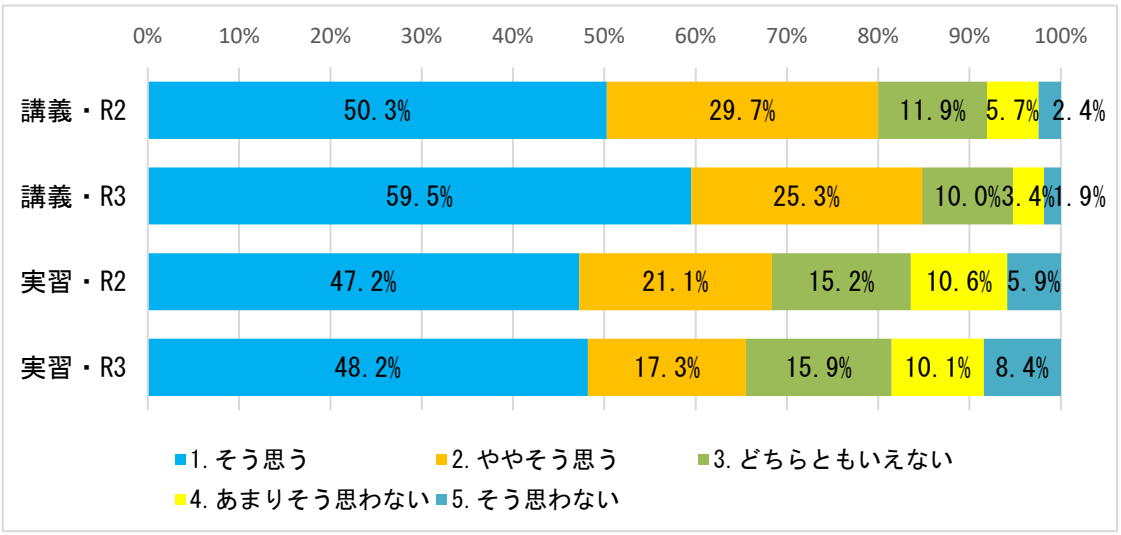
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	44	学校で学ぶ技術や知識だけでは得られない、実際に見て得られる知識がとても多くありました。この経験がこれからの学びにとても役立つと思いました。
			実際の看護を経験できて、自分がこれからどんなことに目を向けていくのかを考えるきっかけになりました。資料をよく読み、自分の体験先の病棟について知識を少しでも入れていくことが大切だと思いました。
	看護過程展開実習	21	実際に病院に行くことはかなわなかったが、計画へのアドバイスなどを経て成長できたこと。
			患者の個性や性格、疾病、服薬状況、家族、心理状態と関わりを結びつけて考える必要性や日々のアセスメントの必要性を学ぶことができた。また、看護過程の必要性を学ぶことができた。
			先生が、生徒同士で考える時間や取り組む時間を与えてくださり、必要な時に助言してくださったことで主体的に取り組むことができたこと。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数 25】

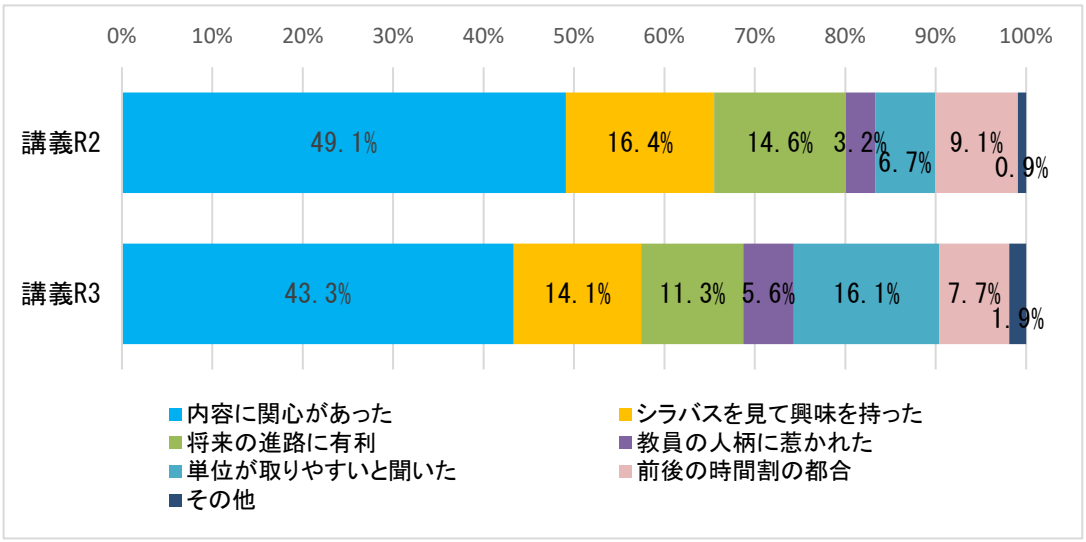


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	小児看護学実習	5	重症心身障害者との関わりから、小児に関する学びは一部得られなかったように感じるため、小児看護とは別で実習をさせていただきたかったです。
	老年看護学実習Ⅱ	3	2週間のほとんどが在宅での実習となり、自分自身の成果や改善点が明確にならないため不安になりました。
	看護学統合実習	3	ゼミ単位でやってるので、せめてそのゼミ内では課題の範囲ややり方など様々な事を統一した方がいいと思いました。

この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目の講義を履修した理由は何か



令和3年度 立川看護学部および東が丘・立川看護学部災害看護学コースの授業評価結果に対する考察

副学長・立川看護学部長
山西　文子

１．授業評価の結果について

○ 授業評価の対象になった科目数は、立川看護学部及び災害看護学コース137科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は、立川看護学部及び災害看護学コース延べ10,769人中総回答数9,372件(回答率87.0%)であった。回答率は前年より約6ポイント高かった。コロナ禍にあっても授業評価に対する学生の関心・意識は高いことを示しています。

自由記述の内容は、授業に対する肯定的評価は過去最高の475件(82.8%)でした。これら授業評価の結果を各教員に配布し、導入可能な科目に於いてはリアクションシートの活用による学生へのフィードバックを重ね丁寧に実施してきています。またより学生の学びやすさ、満足度を上げるための追及・工夫の必要性を教員が認識し、努力をしている教員が多くなっております。ＩＣＴ活用については相手の反応を確認しながら展開可能になるように領域教員間で繰り返し試行し、工夫を重ねながら授業のあり方の改善に鋭意取り組んできた結果と前向きに受け止めます。更に今後も謙虚な姿勢で教員一同努力して参りたいと思っています。

○ 学生自身の授業態度（事前の十分な準備、積極的な出席、意欲的取り組み）については、3つの質問項目平均は91.6%の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。内訳は積極的な出席は93.5%であり、授業に対して意欲的に取り組めた91.7%、事前の十分な準備の質問項目は89.4%とやや低くなっています。昨年と比較すると、否定的な回答(「どちらともいえない」を含む)をした学生は約8.4%であり、前年度より消極的な回答は低くなっています。授業に対して積極的に取り組んだ項目は、89.6%と前年より高い結果となっており、コロナ禍でICT活用の授業形態も影響しているかも知れません。約8.4%の否定的な意見の学生のモチベーションや授業前の十分な準備を、どのように高めていくかが今後の課題と受け止めています。

本学部学生は、全体的にコロナ禍でアルバイト時間が短くなり生活費の困窮による支援を望んでいる学生が三割近く出ていました。1日当たりの自主学修時間（シラバス上に明示されている事前学修・事後学修も含む）が、全国の文系・理系を合わせた大学生を対象にした調査の結果と比べて短い、深夜にわたるアルバイトをしている学生がかなりの割合いたという結果が前々年度得られています。コロナ禍においては、アルバイト時間が短くなり、生活時間の調査は実施していませんが、学生自身の学修に対する姿勢が向上している結果から、学修に時間が使用された可能性があります。授業に意欲的に取り組むことができる学生生活のあり方について、更に学生・保護者ともに指導・支援を検討していくことも重要と思っております。

○ 授業内容(4 項目）に関する評価については、89.5%の学生が肯定的な回答をしています。その内容の内訳は、「授業の内容をよく理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」「自分にとって新しい考え方や発想が得られたか」「発展的な学びにつながる内容であったか」の質問項目である。講義・演習科目(122 科目)では約 11.7%、実習・実験科目（15 科目）では 3.7%弱の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」とネガティブな回答をした学生が僅かに存在しています。授業内容については、学部としてカリキュラム改定もあることから、各教員の教育力の向上を図るよう FD 活動に積極的に参加するよう推進したいと考えております。

○ 教員の考え方・姿勢に関する質問項目評価（8 項目）に関しては、講義・演習科目において肯定的回答は約 85%であり、昨年と比較すると 6 ポイント向上しています。実習・実験科目では約 84.5%の学生が肯定的な回答をしており、昨年より約 5.5 ポイント向上しています。今回はどの項目の評価も少しずつ向上傾向となっております。

　中でも「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、講義・演習科目(122 科目)において 74.3%であり、実習・実験科目(15 科目)においては 73.3%となり、どちらも前年度より 12～13 ポイント向上しておりますが、他の項目と比べると今後検討の余地があると思っています。現在、シラバスは全科目電子化され学生自身でデスクネッツに入り確認するようになっています。自らデーターを確認していく学生に丁寧に指導していくように教員への周知徹底を再度したいと思います。印刷して配布してほしいと希望もありますが、ICT に慣れていくように指導を重ねたいと思います。また、授業の開始時、ガイダンスを実施する最初の講義時間にシラバスのことも念を押していくことを試みるようにしたいと考えます。印刷物を希望する学生が 3 割弱いますが話し合ってみたいと思います。

　他の項目に関しては、講義・演習科目について「学生が質問や意見を述べられるように配慮したか」83.3%、「学生の理解度を確認しながら授業を行ったか」82.9%の 2 項目は前前年度約 2～3 ポイント評価が低く回答されていましたが、ネガティブ回答は少なく、今回はどの項目(シラバスに関する項目以外)も 8 割以上の高得点評価でした。

　今後は授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があると考えております。

○ 自由記述に関する結果については、授業に対する肯定的評価は 475 件(82.8%)、授業に対する要望等は 97 件(16.9%)、施設・設備等に関する要望等は 2 件(0.2%)でした。

　肯定的評価の例は、「グループワークを通し、グループで協力することや全体で纏めることができ良かった」「トリアージをしている場面をドラマなどで良く見ていましたが、どのような基準で判断しているかが解り、興味を持ちました」「患者さんを今までより具体的に想像しながら援助を行えるようになった」「吸収出来ることが多いので、これからも沢山のことを自分の知識として取り

込めるようにしていきたい」などが挙げられてありました。
　要望等についての例は、「二つの教室に分ける場合、先生がいない教室は自宅でのズーム講義にした方が良いと感じた」「記録のフィードバックをして欲しかった。記録をちゃんと書けてないのかが解らなかった」「試験のボリュームと時間が見合っていないと感じた。記述問題は試験ではなくレポート提出として欲しかった」「レポートの書き方がちゃんと解っていなかったので、どう書けば良いか分からなかった」「仕方のない事だとは思いますが、やはりグループワークで関連図などを作成する場合は直接会って話しながら進める方が捗ると感じました」などでした。施設・設備等に関する要望としては、「登校日の授業になるとパワーポイントが動かなかったり、マイクが聞こえにくかったりしてシステムトラブルが起きること等をもう少し見直して欲しい」「片方の授業は Zoom を繋げられていたけど、Zoom の方の教室は先生の声が聞こえにくかったり、画面が良く止まったりしていて、授業に集中しづらい環境だった」これらの要望は出来るだけ解決の方向に向くように事務の協力を得ながら教員でも共有して改善をしたいと思っております。

２．授業において工夫した点について

○ 講義の際に配布する資料については、24.0%の学生からの要望があり、毎年繰返し出されていますが、資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員の個別対応で徐々に改善でき、要望は減少しました。自由記載の中にありました「臨床場での実践に役立つ内容を具体的に教えて貰えて良かった」「授業で使用するプリント、レジュメを配布して頂きたい」「看護師になるうえで必要な身体の仕組みなど、多くの事を学ぶことができて良かった」とあるように肯定的な評価が増えました。しかし、オムニバス方式で外部講師と授業を計画している場合の非常勤講師へのサポートを、学生のニーズを知って授業資料や映像の確認等の支援がもっと必要だということが学生の評価から受け取れるので、サポート体制を取れるよう検討・工夫していきたいと考えております。

○ 「実習・実験」科目に対しては、すべての評価項目の結果が高く出ています。本学部は、基本的には災害看護学コースの全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や災害医療センター・村山医療センター・共済立川病院との間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。また、コロナ禍であっても、教員と実習指導者との信頼関係が深まっていることから、実習施設に入院中の患者事例を患者さんの許可を得て、情報提供され、かつ学内に実習指導者も来られ直接カンファレンスに参加、指導を行って下さるという非常にリアルな状況での指導が行われたことも評価結果が高く出た原因と考えられます。学生は知識の獲得については 72.3%の学生が良かったと評価している。半面それぞれの進め方については改善を図るべき事項があるという意見を持っている。上がっている改善点については早急に改善していきたいと思っています。

○ 本学部のカリキュラムの特徴である、1 年次前期セメスターから基礎看護学実習を計画、さらに 1～4 年次全ての学年に「実習」を計画していることに対して学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会が中心となって進めている「卒業生と語る会」「オープンキャンパスでの在校生の説明」においても、卒業生や入学希望者から高く評価されています。
実習指導の差が少なくなるように教員や実習指導者の指導力アップに繋がる努力も検討したいと思っています。

３．今後の授業への生かし方について

○ 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」をあげることを目標に掲げております。「卒業時の看護技術到達度」(173 項目)に関して、災害看護学コースとしては、目標レベルをほぼ 100%達成しており、講義、演習・実習の連携等が効果的・効率的に進められています。最近就職した 3 施設の看護部長さんから問題意識が高く、根拠について的をえた質問をされる卒業生が多いと言われていることも、後輩・教員の励みになっています。
　また「看護師国家試験の合格率」(臨床看護学コース・災害看護学コース：97.5%)に関しては目標の 100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率(95.4%)を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。本学部が目標としている「看護の実践力、災害対応能力、看護を探求する能力を兼ね備えた地域から信頼される Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。

○ 卒業研究について、本学部ではグループによる「英語論文のクリティーク 1 単位」「卒業研究 3 単位」の指導を行ってきております。そこでは看護研究のプロセスを学びます。また必要な研究倫理・倫理申請、利益相反、ガバナンスなどの考え方の基礎を修得します。科学的・論理的思考はもとよりグループダイナミックス、論文の書き方、研究発表の仕方も踏襲され看護職としての基礎的な総合力、キャリア開発能力が身につきます。そのために大学として、FD マップを作成し、定期的に研修会を持ち、教員の教育・研究に対する指導力を身に付けていくように尽力いたしております。

○ 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されているので大学経営側に働きかけていきます。コロナ禍で学年を 2 グループに分け、講義する場合の環境において、講師がいない教室の学生からは声が聴きにくい、迫力が伝わらない、映像が明確ではない等の意見はあるが、マスク下、アクリルボードを通しての講義であるので個々に教員は努力しているが、席の間隔も空けており、望ましい教育環境ではないとは思っているが、学生が集中できるよう、教育環境の整備・充実を図ってまいります。教室の固定カメラ、音声の調整を可能にした整備を少しずつ実現しています。

○　本学部の副専攻については、災害看護学に焦点を当てています。①「災害看護学Ⅰ」、②「災害看護学Ⅱ」、③「災害看護学実習」、④「卒業研究―災害看護に関するテーマ選択する一」の科目です。４年間で科目単位を修得した場合は学位記とは別に、副専攻修了書が授与されます。本学の特徴の一つでもあります。教員全員で取り組んでおります。

４．その他

○　最近、体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあり、対応するたびに胸が痛みます。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として支援を強化しております。就職施設の病院幹部から優秀な卒業生が欲しいと明確に言われるようになり、採用試験においても一度で内定結果が得られるような指導を重ねて参ります。

以上

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○全科目数　137科目　　○調査対象者数 10,769人（延人数）
○総回答数　　9,372 件（回答率87.0%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果

〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段( )は令２元年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	(45.8)	(40.2)	(11.0)	(2.2)	(0.8)	0.0	(100)
	56.9	32.5	8.2	1.9	0.5	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(67.8)	(24.7)	(6.1)	(1.0)	(0.5)	0.0	(100)
	71.9	21.6	5.2	0.9	0.4	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(55.7)	(33.9)	(8.4)	(1.6)	(0.5)	0.0	(100)
	63.1	28.6	6.6	1.4	0.4	0.0	100
計	(56.4)	(32.9)	(8.5)	(1.6)	(0.6)	0.0	(100)
	64.0	27.6	6.6	1.4	0.4	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(41.7)	(43.4)	(11.0)	(2.8)	(1.2)	0.0	(100)
	53.5	34.8	8.8	2.2	0.7	0.0	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(53.6)	(34.9)	(8.7)	(1.8)	(1.0)	0.0	(100)
	63.1	28.3	6.3	1.7	0.6	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(52.0)	(34.7)	(10.3)	(1.9)	(1.0)	0.0	(100)
	60.3	28.2	8.6	2.0	0.8	0.0	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(55.6)	(32.9)	(8.9)	(1.9)	(0.8)	0.0	(100)
	63.5	26.5	7.4	2.1	0.6	0.0	100
計	(50.7)	(36.5)	(9.7)	(2.1)	(1.0)	0.0	(100)
	60.1	29.4	7.8	2.0	0.7	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(33.8)	(27.7)	(27.6)	(6.3)	(4.6)	0.0	(100)
	47.4	26.9	18.8	4.3	2.6	0.0	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(53.5)	(31.7)	(10.9)	(2.5)	(1.4)	0.0	(100)
	62.5	28.1	6.6	2.0	0.8	0.0	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(53.7)	(30.9)	(11.2)	(2.6)	(1.6)	0.0	(100)
	62.5	26.0	7.8	2.6	1.1	0.0	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(46.4)	(30.8)	(15.6)	(3.8)	(3.4)	0.0	(100)
	54.6	28.7	11.7	3.2	1.7	0.0	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(52.3)	(31.2)	(11.5)	(3.0)	(2.1)	0.0	(100)
	61.1	27.0	8.2	2.3	1.3	0.0	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(58.7)	(28.9)	(9.3)	(1.9)	(1.3)	0.0	(100)
	66.5	25.4	5.9	1.4	0.8	0.0	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(45.2)	(31.6)	(15.9)	(4.2)	(3.2)	0.0	(100)
	53.8	29.1	11.4	4.0	1.8	0.0	100
計	(49.1)	(30.4)	(14.6)	(3.5)	(2.5)	0.0	(100)
	58.4	27.3	10.1	2.8	1.4	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(42.9)	(28.6)	(17.9)	(6.3)	(4.3)	0.0	(100)
	53.5	25.6	12.1	4.9	3.9	0.0	100
17(16) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(44.8)	(36.4)	(13.2)	(3.6)	(2.1)	0.0	(100)
	56.5	31.2	8.3	2.7	1.3	0.0	100
計	(43.9)	(32.5)	(15.5)	(4.9)	(3.2)	0.0	(100)
	55.0	28.4	10.2	3.8	2.6	0.0	100
全質問項目の平均	(50.0)	(33.1)	(12.1)	(3.0)	(1.8)	0.0	(100.0)
	59.4	28.2	8.7	2.5	1.3	0.0	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

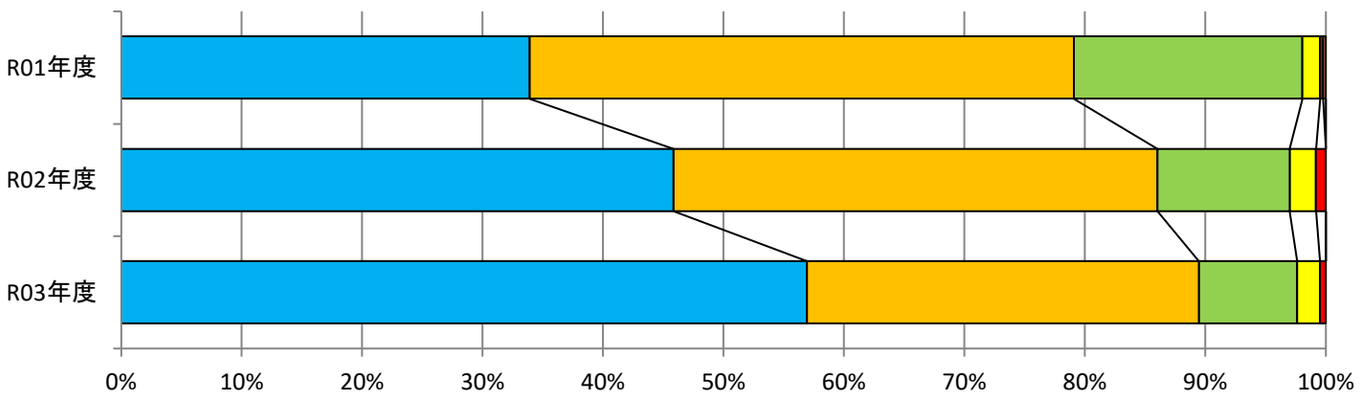
	29年度	30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	211科目	195科目	192科目	83科目	137科目
調査対象者数	20,005人	18,794人	18,211人	8,332人	10,769
総回答数（回答率）	17,180枚（85.9%）	17,185枚（91.4%）	17,510枚（96.2%）	6,778件(81.3%)	9,372件(87.0%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

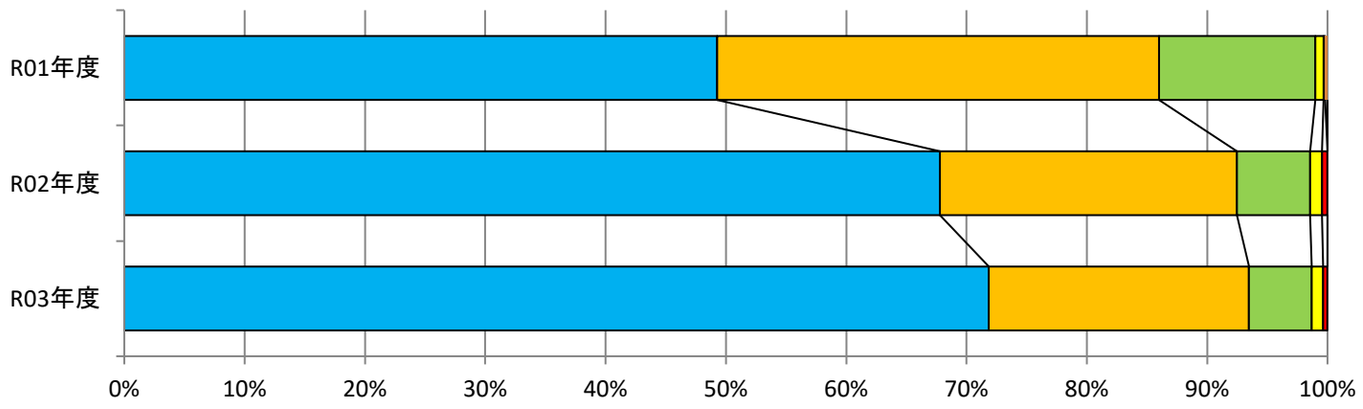
Ⅰ　あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



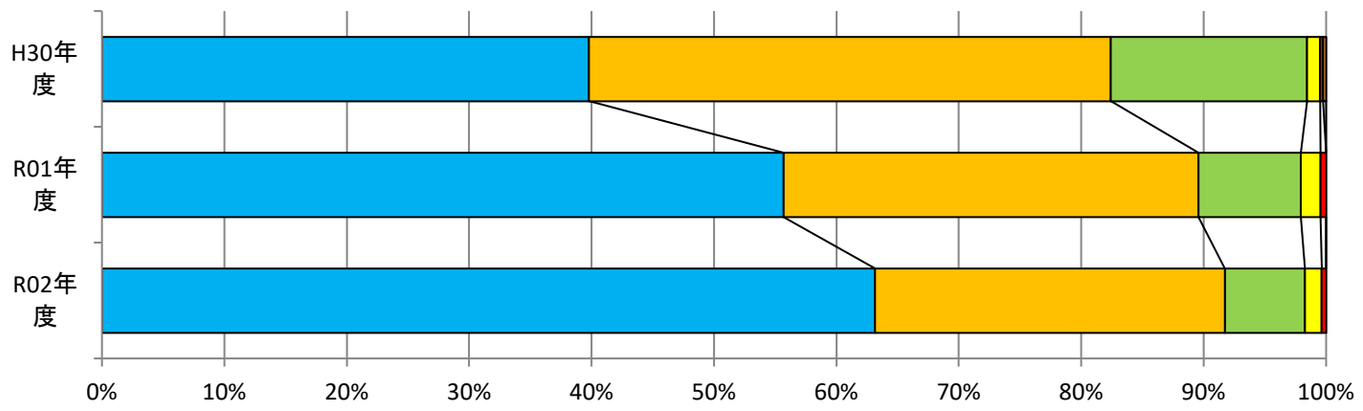
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.9	45.2	79.1	－
45.8	40.2	86.0	＋ 6.9
56.9	32.5	89.4	＋ 3.4

2(2) 積極的に出席したと思うか。



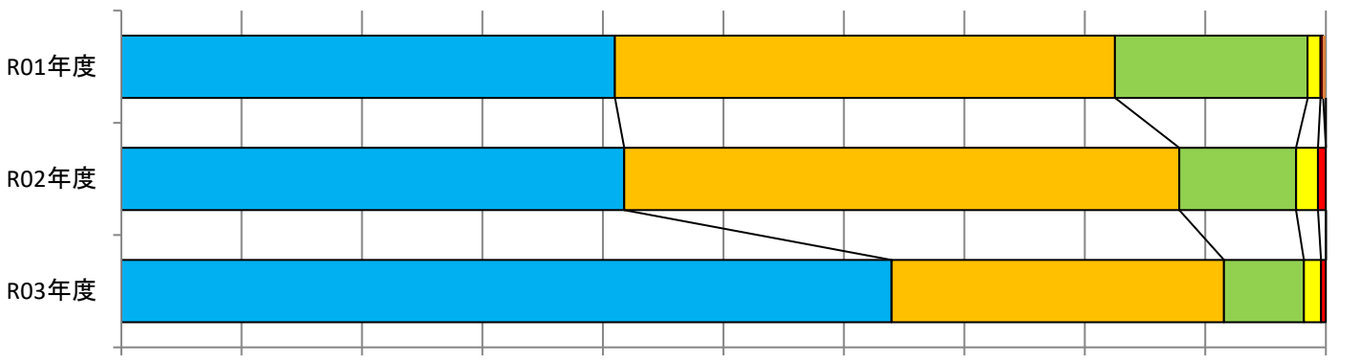
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.3	36.7	86.0	－
67.8	24.7	92.5	＋ 6.5
71.9	21.6	93.5	＋ 1.0

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.8	42.6	82.4	－
55.7	33.9	89.6	＋ 7.1
63.1	28.6	91.7	＋ 2.2

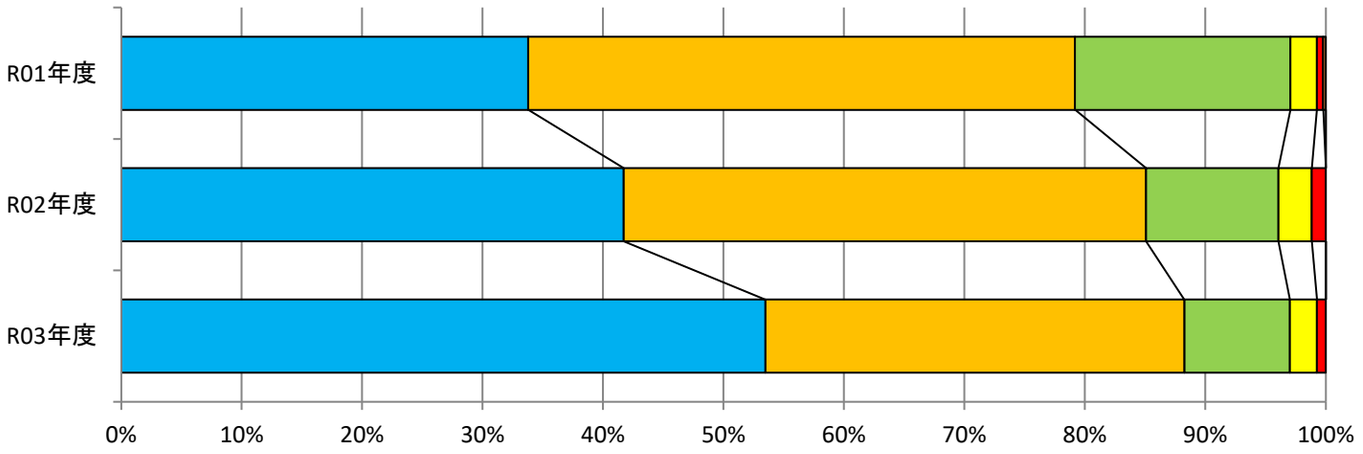
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3)）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	41.5	82.5	－
36.6	40.4	77.0	△ 5.5
64.0	27.6	91.5	＋ 14.5

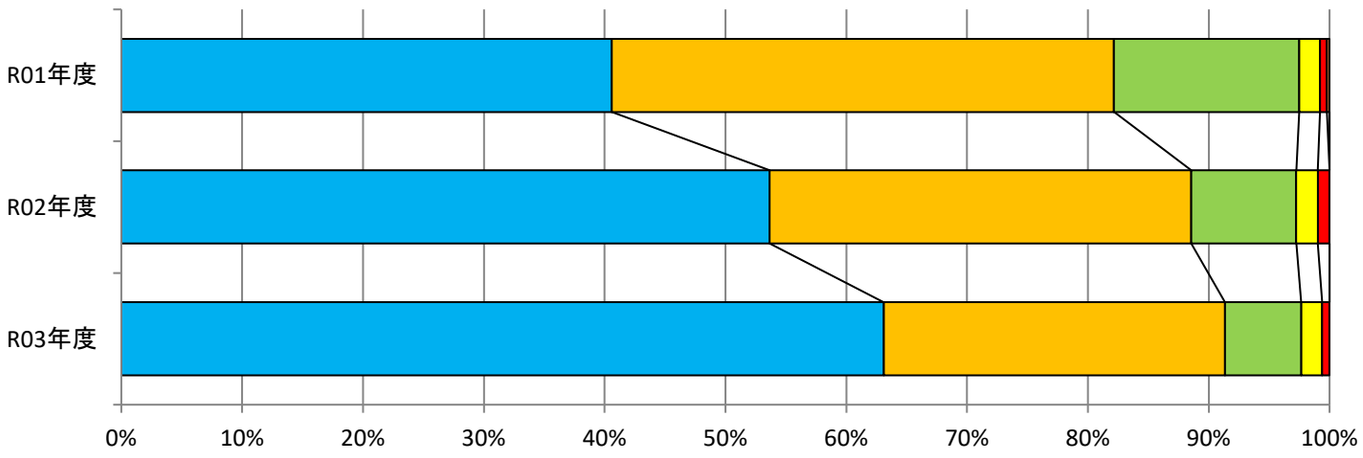
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



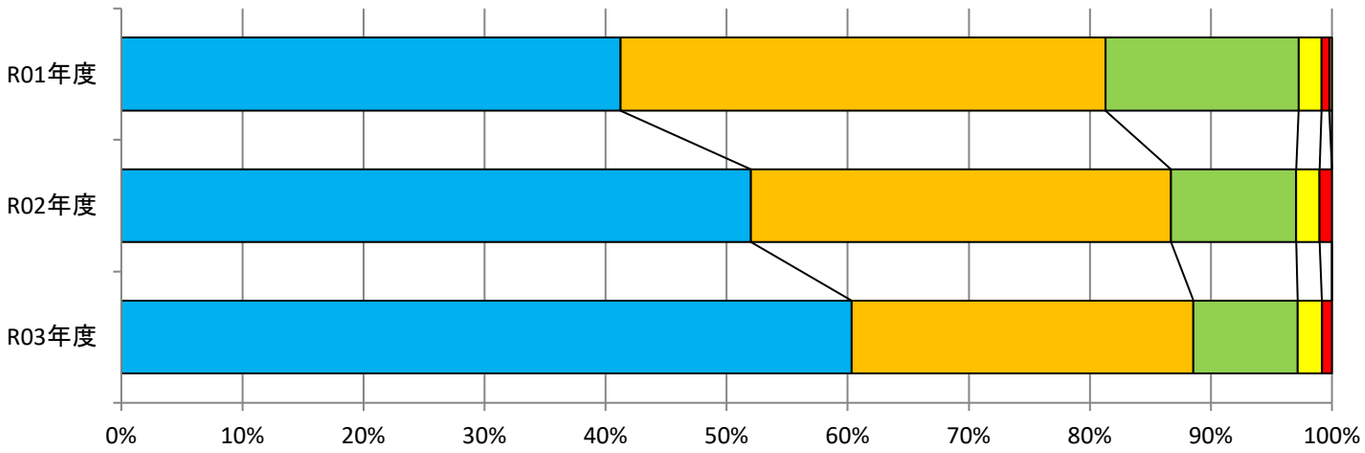
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	45.4	79.2	－
41.7	43.4	85.1	＋ 5.9
53.5	34.8	88.2	＋ 3.2

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



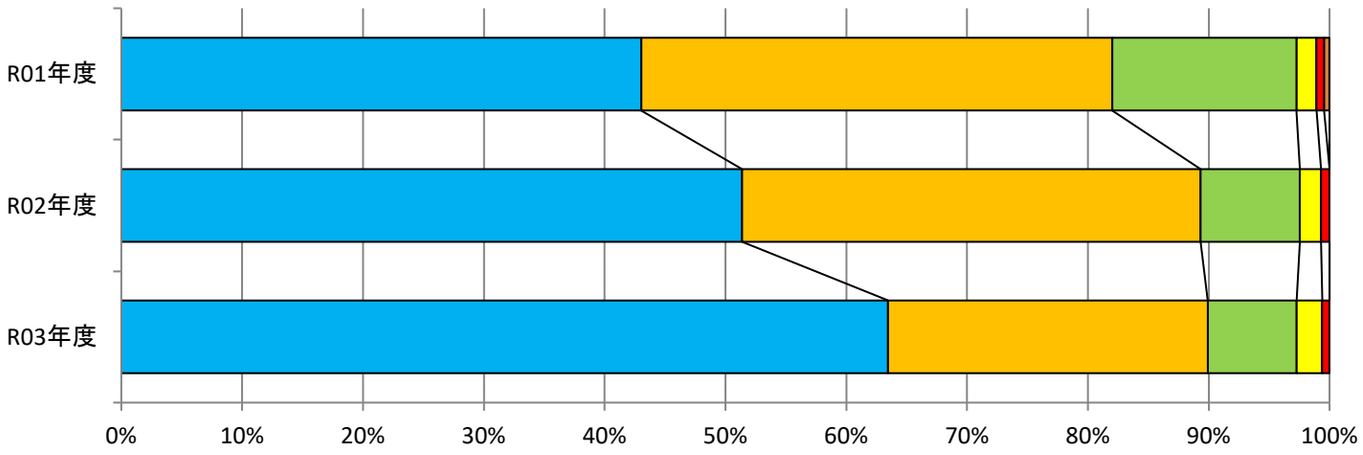
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.6	41.6	82.2	－
53.6	34.9	88.6	＋ 6.4
63.1	28.3	91.3	＋ 2.8

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



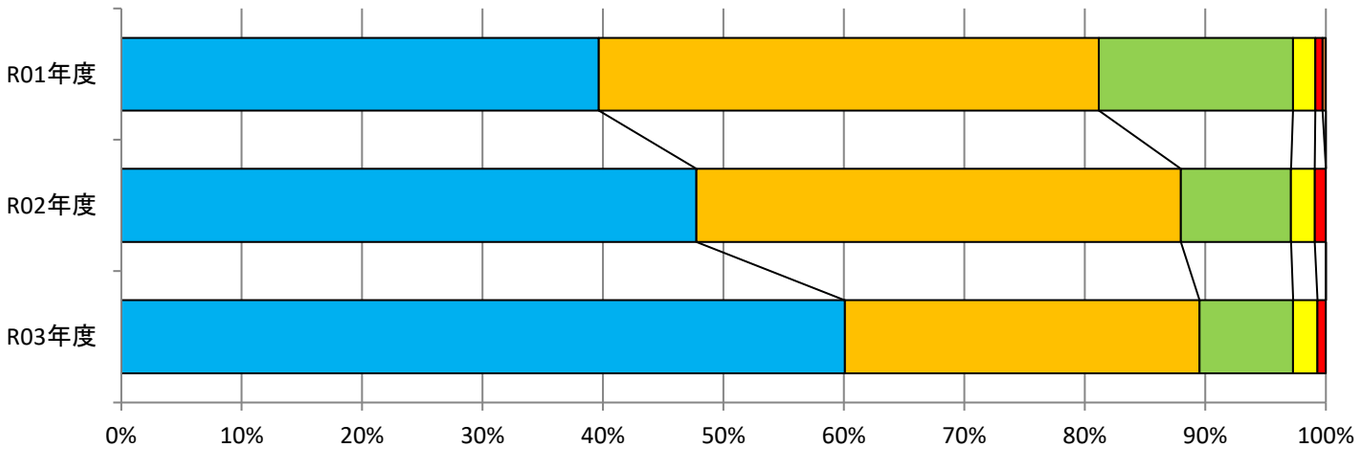
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.2	40.1	81.3	－
52.0	34.7	86.7	＋ 5.4
60.3	28.2	88.6	＋ 1.8

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.0	39.0	82.0	－
55.6	41.1	96.7	＋ 14.7
63.5	26.5	89.9	△ 6.8

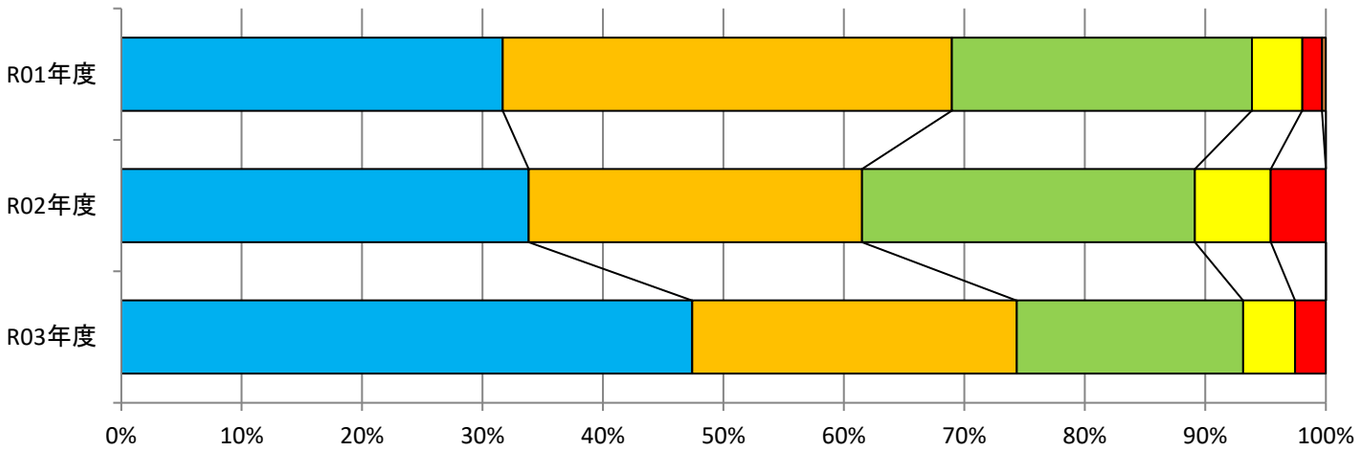
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.7	41.5	81.2	－
50.7	42.7	93.4	＋ 12.3
60.1	29.4	89.5	△ 3.9

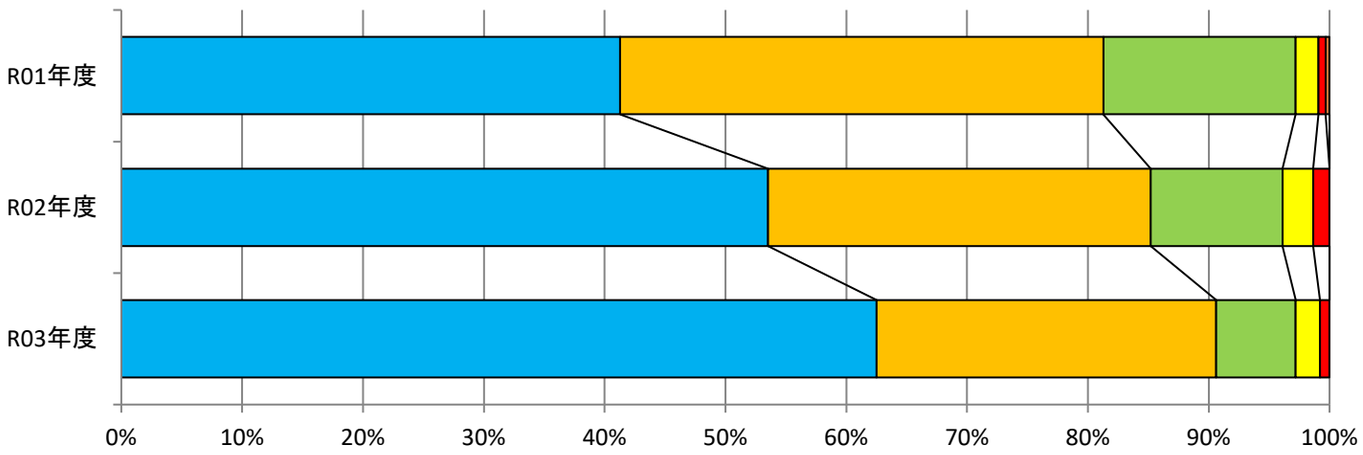
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



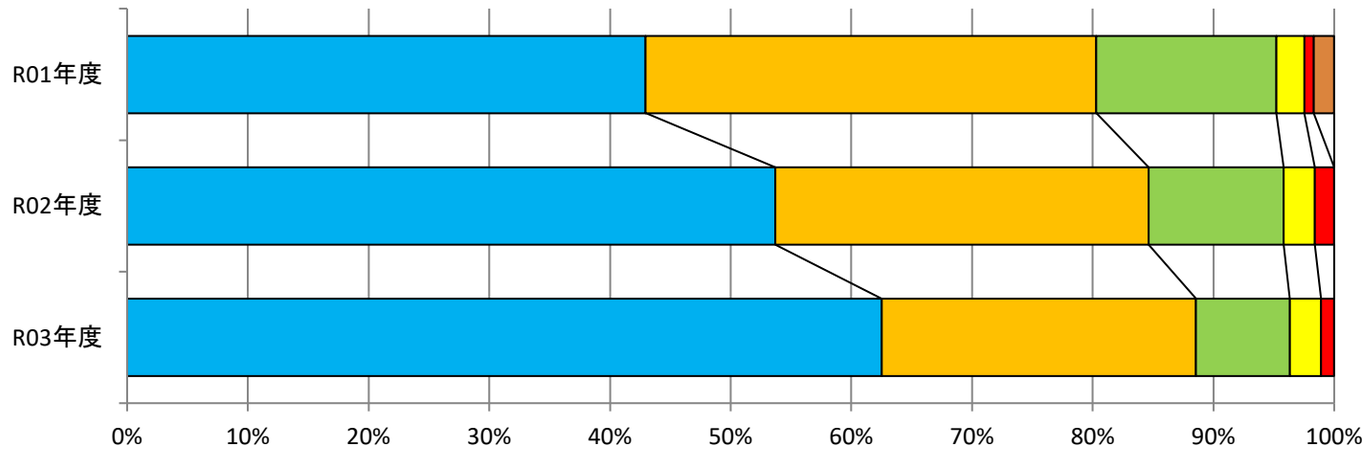
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.7	37.3	69.0	－
33.8	27.7	61.5	△ 7.5
47.4	26.9	74.3	＋ 12.8

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



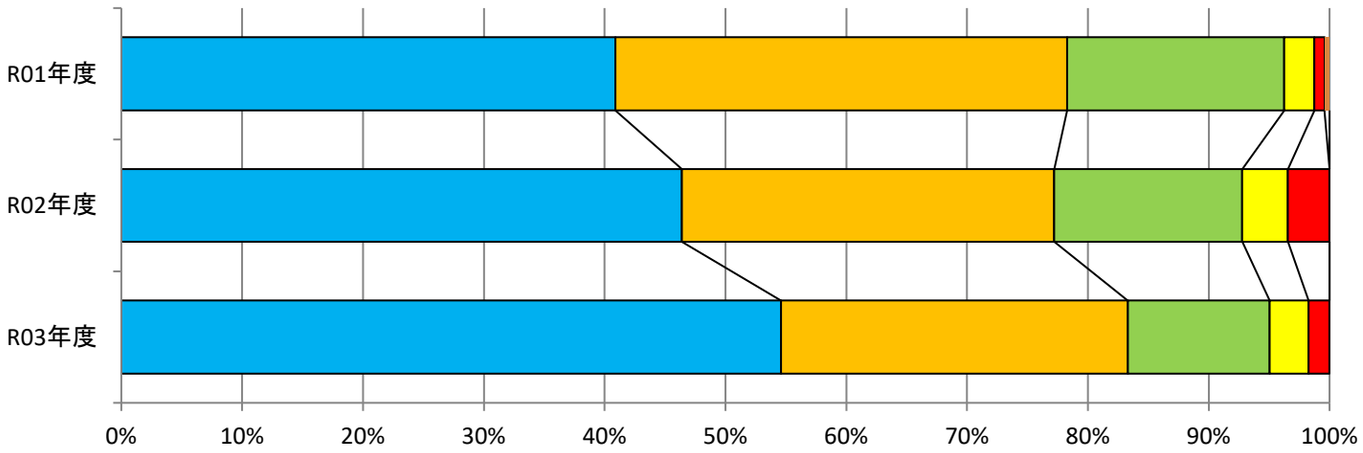
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.3	40.0	81.3	－
53.5	31.7	85.2	＋ 3.9
62.5	28.1	90.6	＋ 5.4

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



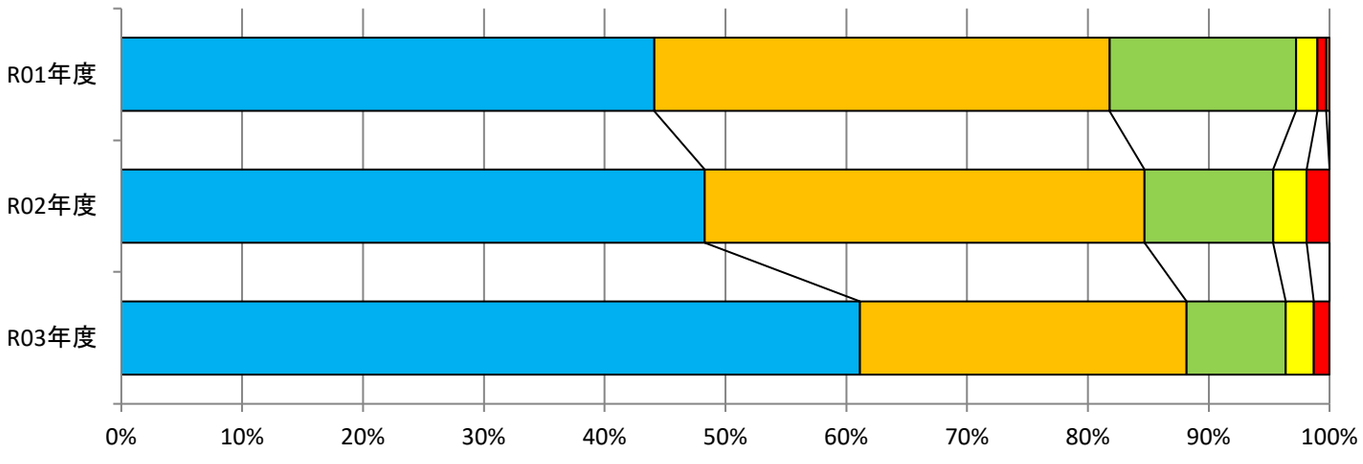
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.0	37.3	80.3	－
53.7	30.9	84.6	＋ 4.3
62.5	26.0	88.6	＋ 3.9

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



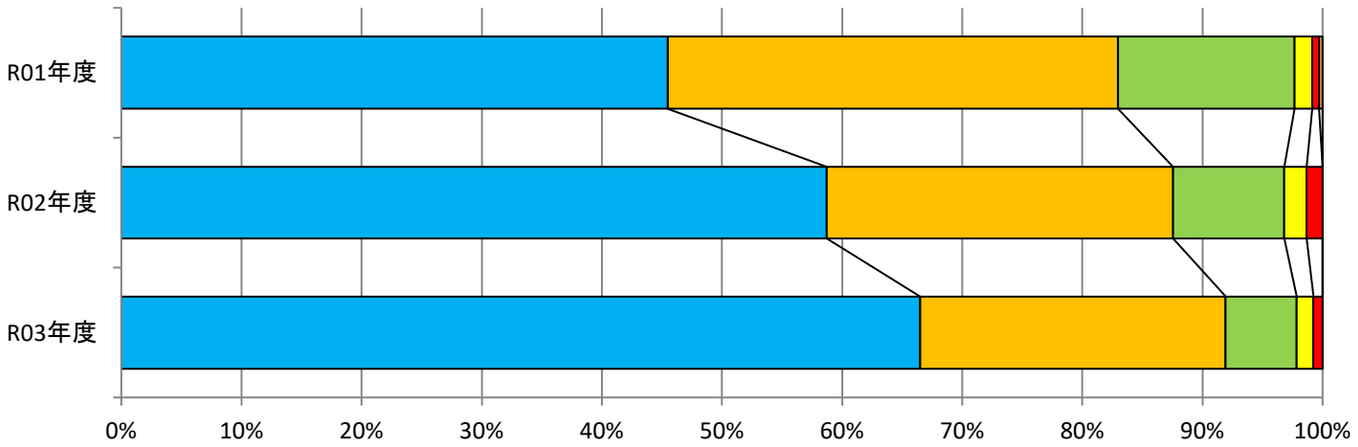
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.9	37.4	78.3	－
46.4	30.8	77.2	△ 1.1
54.6	28.7	83.3	＋ 6.1

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



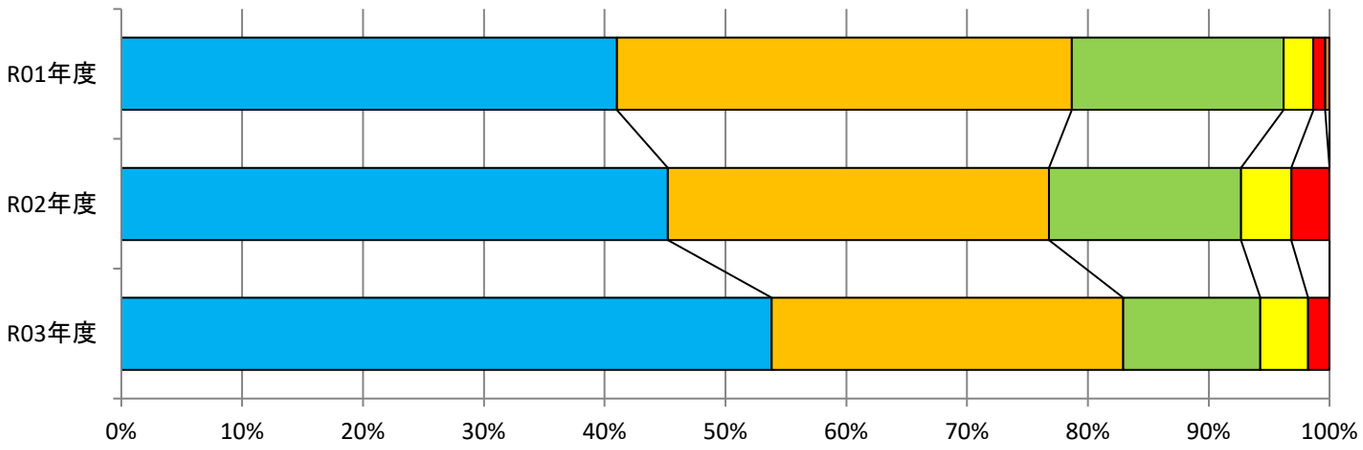
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.1	37.7	81.8	－
52.3	39.4	91.7	＋ 9.9
61.1	27.0	88.2	△ 3.5

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



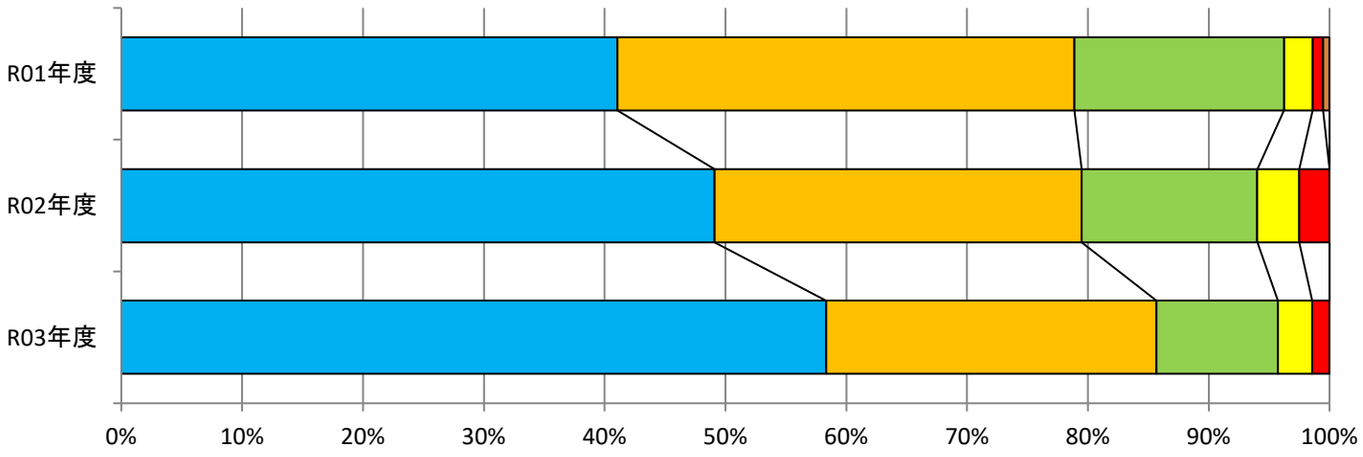
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.5	37.5	83.0	－
58.7	28.9	87.6	＋ 4.5
66.5	25.4	91.9	＋ 4.4

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	37.6	78.6	－
45.2	31.6	76.8	△ 1.8
53.8	29.1	82.9	＋ 6.1

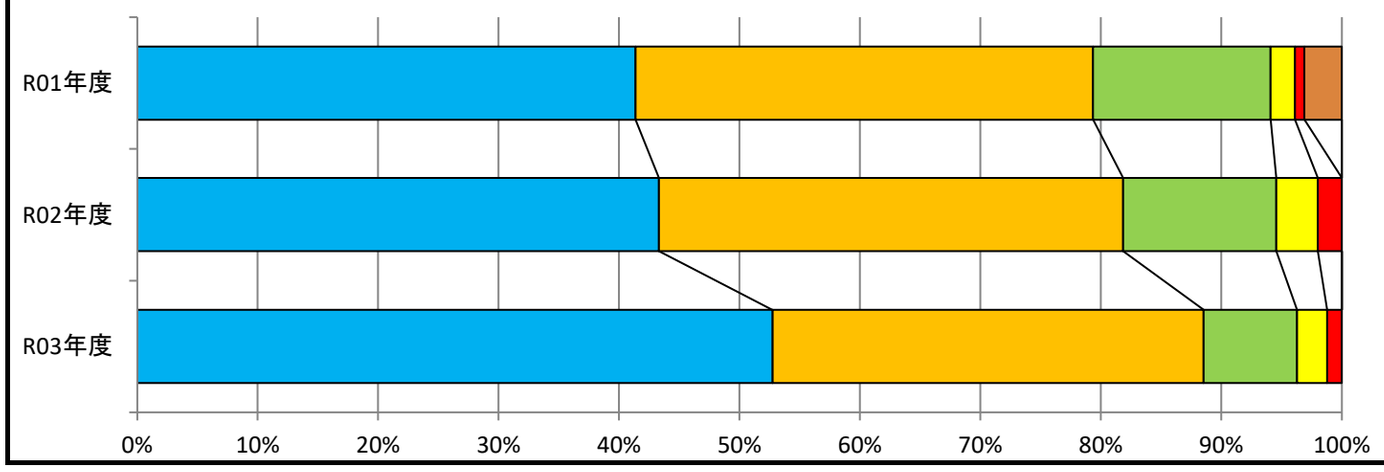
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.1	37.8	78.9	－
49.1	30.4	79.5	＋ 0.6
58.4	27.3	85.7	＋ 6.2

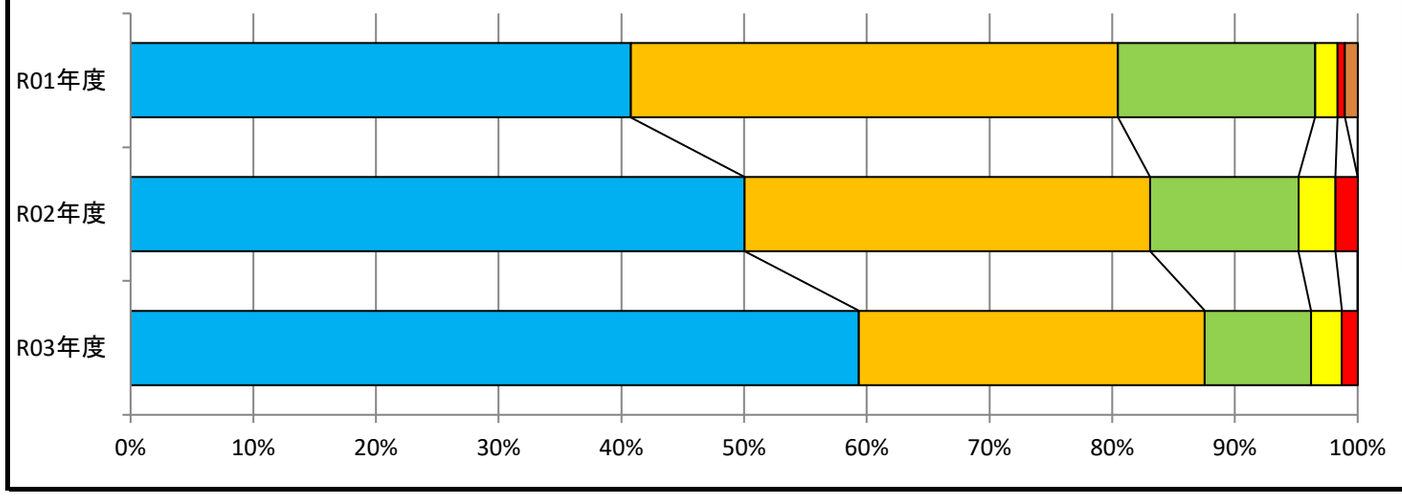
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	38.0	79.3	－
44.8	39.9	84.7	＋ 5.4
56.5	38.4	94.9	＋ 10.2

全質問項目の平均

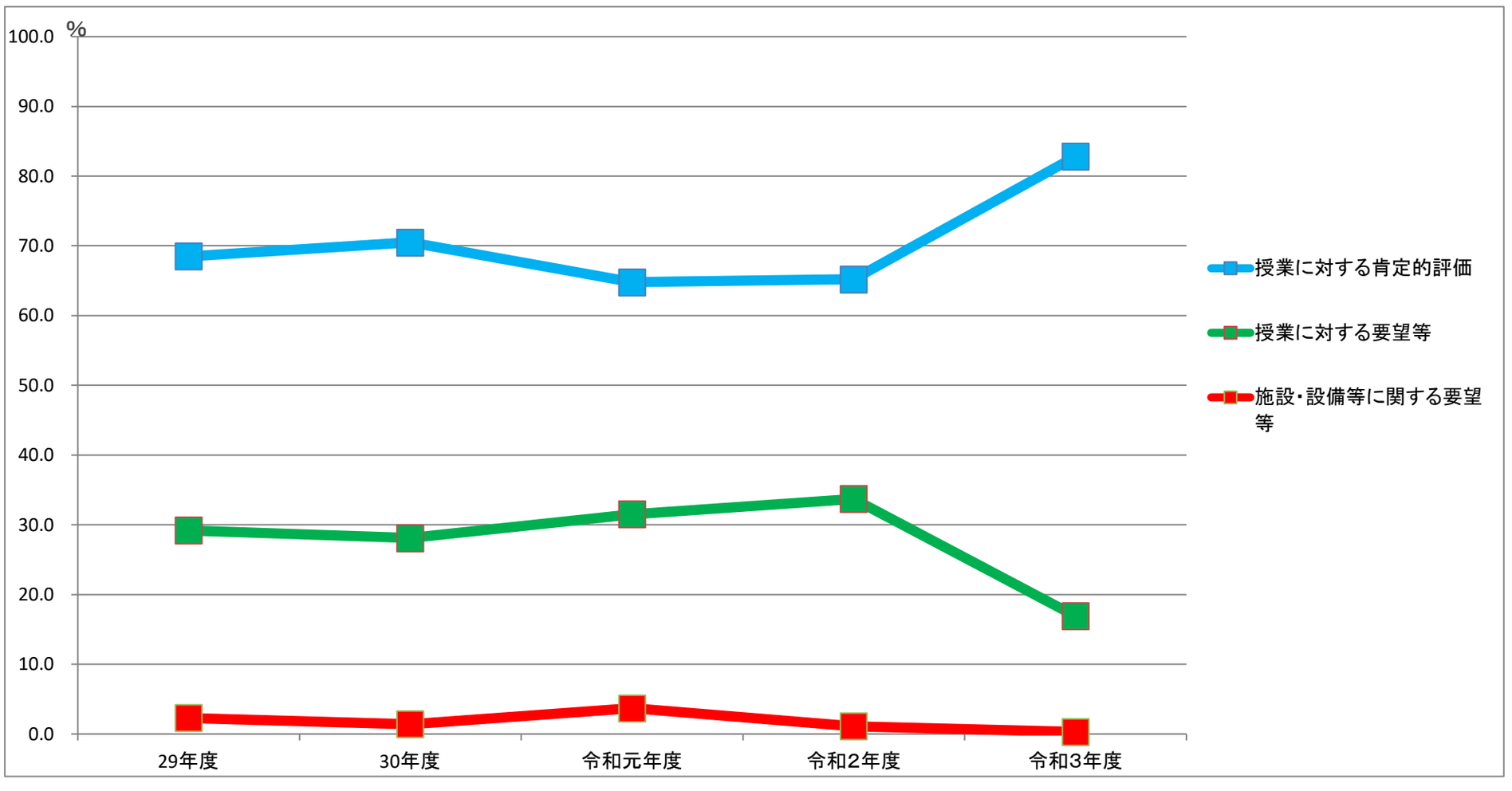


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.8	39.7	80.5	－
50.0	33.1	83.1	＋ 2.6
59.4	28.2	87.5	＋ 4.4

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(65.2%)	178	(82.8%)	475
授業に対する要望等	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(33.7%)	92	(16.9%)	97
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(1.1%)	3	(0.3%)	2
総件数	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	273	(100.0%)	574

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	475	・グループワークを通しグループの協力することや全体でまとめることができ良かった。 ・トリアージをしている場面をドラマなどでよく見ていましたが、どのような基準で判断しているかがわかり、興味を持ちました。 ・バンコマイシンや、劇薬、麻薬の表示など、何度も繰り返し聞いた事で、頭に残っているワードが沢山あります。 ・患者さんを今までより具体的に想像しながら援助を行えるようになった。 ・吸収できることが多いので、これからもたくさんのことを自分の知識として取り込めるようにしていきたい。 ・まだまだ看護問題を見つける、そこから看護計画やsoapを立てることがスムーズにできないのでこれからも事例をもとに実践を積んでいきたいです。
授業に対する要望等	97	・２つの教室に分ける場合、先生が講義しない教室の学生は自宅でのZoom講義にした方が良いと感じた。 ・記録のフィードバックをしてほしかった。記録をちゃんと書けているのか、書けてないのかが分からなかった。 ・試験のボリュームと時間が見合っていないと感じた。記述問題は試験ではなくレポート提出としてほしかった。 ・レポートの書き方がちゃんとわかっていなかったので、どう書けばいいか分からなかった ・仕方のないことだとは思いますが、やはりグループワークで関連図などを作成する場合は、直接会って話しながら進める方が捗ると感じました。
施設・設備等に関する要望等	2	・登校日の授業になるとパワーポイントが動かなかったり、マイクが聞こえにくかったりしてシステムトラブルが起きることなどをもう少し見直してほしい。 ・片方の教室はZoomでつなげられていたけど、Zoomのほうの教室は先生の声が聞こえにくかったり、画面がよく止まったりしていて、授業に集中しづらい環境だった。
計	574	

令和３年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○講義・演習科目数　122科目　　○調査対象者数　9,248人（延人数）
○総回答数　　8,012 件（回答率86.6%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(44.6) 55.9	(40.0) 32.8	(12.0) 8.9	(2.4) 1.9	(0.9) 0.5	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(64.7) 70.3	(26.7) 22.5	(6.9) 5.7	(1.1) 1.1	(0.5) 0.4	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(52.0) 60.8	(36.2) 30.0	(9.4) 7.2	(1.8) 1.6	(0.5) 0.4	0.0	(100) 100
計	(53.8) 62.3	(34.3) 28.4	(9.5) 7.3	(1.8) 1.5	(0.7) 0.4	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(38.3) 50.8	(44.7) 36.1	(12.4) 9.7	(3.2) 2.6	(1.3) 0.8	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(51.3) 61.0	(36.0) 29.5	(9.6) 6.9	(2.0) 1.9	(1.1) 0.7	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(48.4) 57.7	(36.7) 29.6	(11.5) 9.5	(2.2) 2.3	(1.2) 0.9	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(52.5) 61.1	(34.8) 27.8	(9.8) 8.1	(2.0) 2.3	(0.9) 0.7	0.0	(100) 100
計	(47.6) 57.7	(38.1) 30.7	(10.8) 8.6	(2.3) 2.3	(1.1) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(33.4) 46.9	(28.3) 27.6	(27.9) 19.1	(6.1) 4.2	(4.3) 2.2	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(51.6) 61.5	(32.7) 28.8	(11.7) 6.9	(2.6) 2.2	(1.5) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(51.1) 61.0	(32.0) 26.7	(12.3) 8.3	(2.9) 2.8	(1.8) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(51.9) 53.0	(20.8) 25.4	(19.5) 14.7	(4.0) 4.2	(3.8) 2.7	0.0 0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(54.8) 60.2	(28.5) 27.6	(11.5) 8.2	(3.7) 2.8	(1.6) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(41.3) 51.4	(32.8) 30.2	(17.7) 13.0	(4.2) 3.6	(3.9) 1.8	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(49.1) 59.2	(32.8) 28.1	(12.5) 8.9	(3.3) 2.5	(2.3) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(55.8) 65.0	(30.5) 26.6	(10.1) 6.4	(2.1) 1.4	(1.5) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(40.7) 51.0	(33.0) 30.2	(17.9) 12.5	(4.8) 4.4	(3.7) 1.8	0.0 0.0	(100) 100
計	(47.8) 56.6	(30.2) 27.9	(15.7) 10.9	(3.7) 3.1	(2.7) 1.5	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(42.8) 54.7	(29.6) 26.6	(17.9) 11.5	(5.9) 4.6	(3.8) 2.6	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(42.0) 54.9	(37.9) 32.2	(14.1) 8.8	(3.8) 2.8	(2.3) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(42.4) 54.8	(33.8) 29.4	(16.0) 10.2	(4.8) 3.7	(3.0) 2.0	0.0 0.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(47.9) 57.8	(34.1) 29.1	(13.0) 9.2	(3.2) 2.7	(1.9) 1.2	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

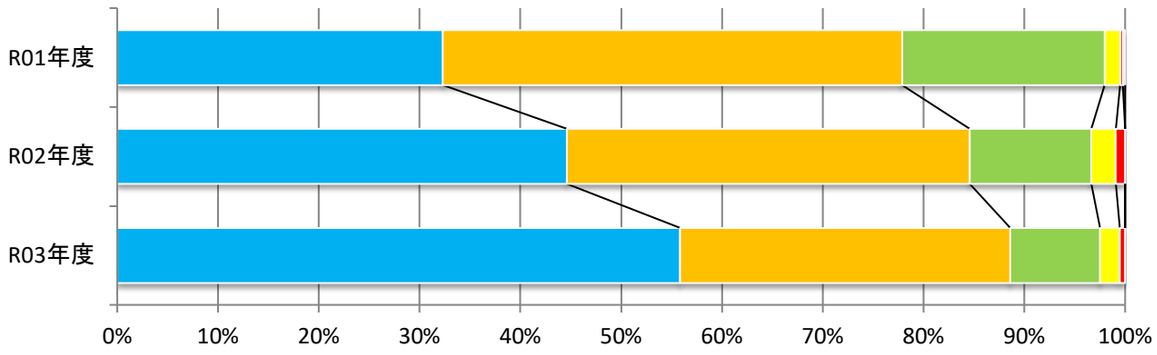
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	165科目	70科目	122科目
調査対象者数	15.492人	7,001人	9,248人
総回答数（回答率）	15,092枚（97.4%）	5,664件（80.9%）	8,012件（86.6%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

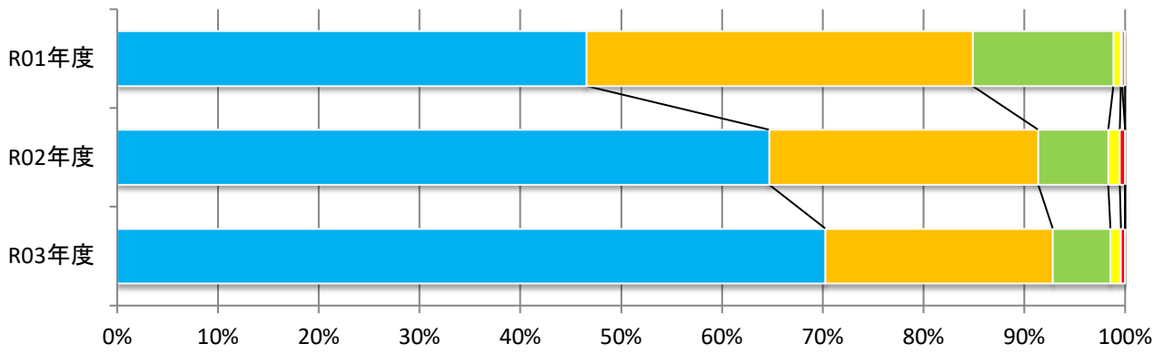
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



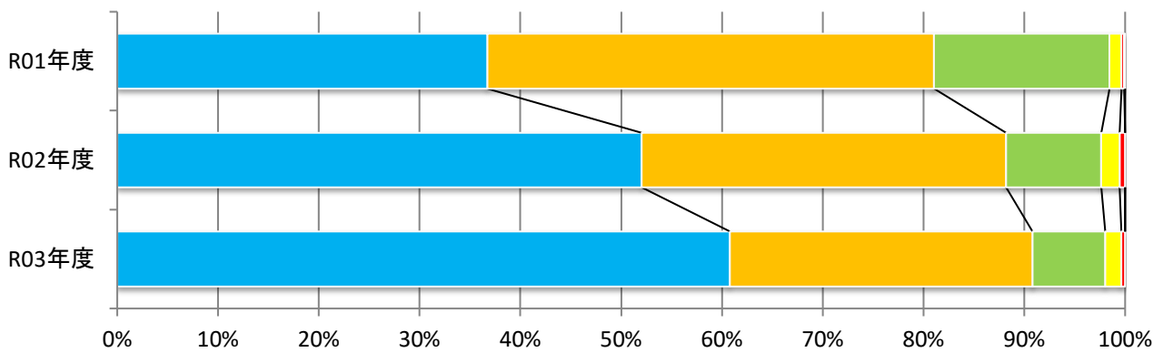
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	45.6	77.9	—
44.6	40.0	84.6	＋ 6.7
55.9	32.8	88.6	＋ 4.0

2. 積極的に出席したと思うか。



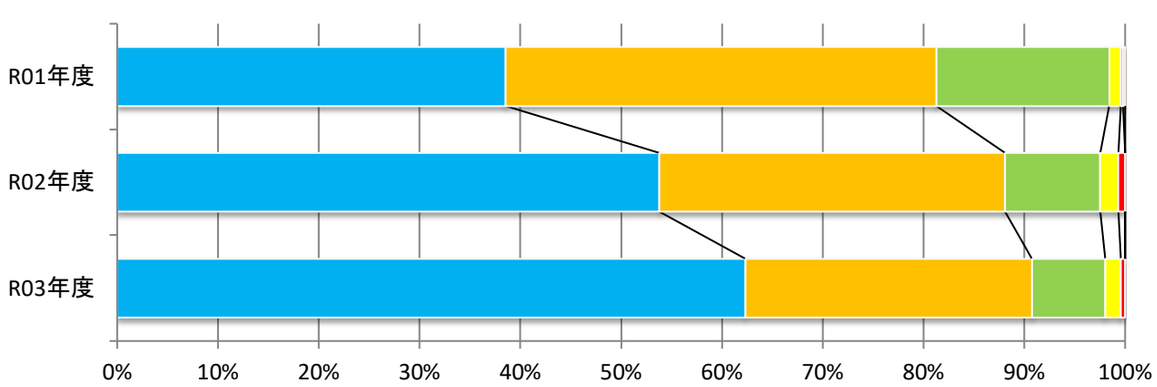
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.6	38.3	85.0	—
64.7	26.7	91.4	＋ 6.4
70.3	22.5	92.8	＋ 1.4

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.7	44.3	80.9	—
52.0	36.2	88.2	＋ 7.3
60.8	30.0	90.8	＋ 2.6

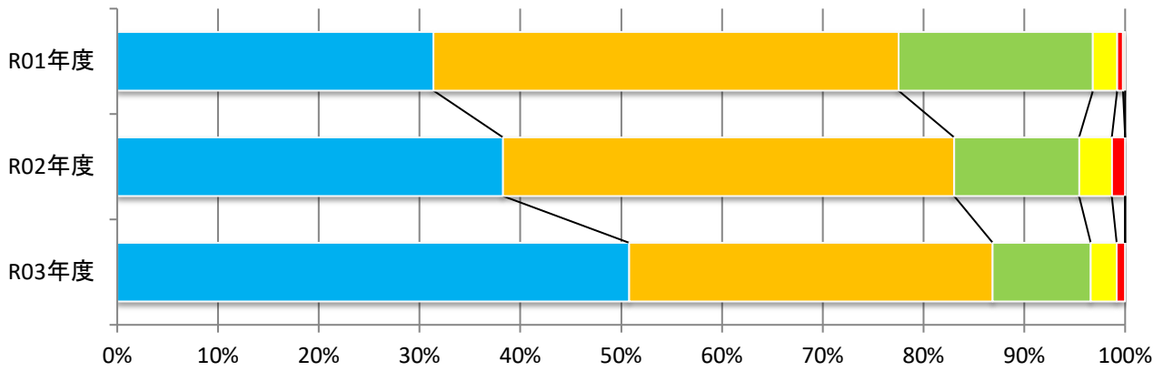
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.5	42.7	81.3	—
53.8	34.3	88.1	＋ 6.8
62.3	28.4	90.7	＋ 2.7

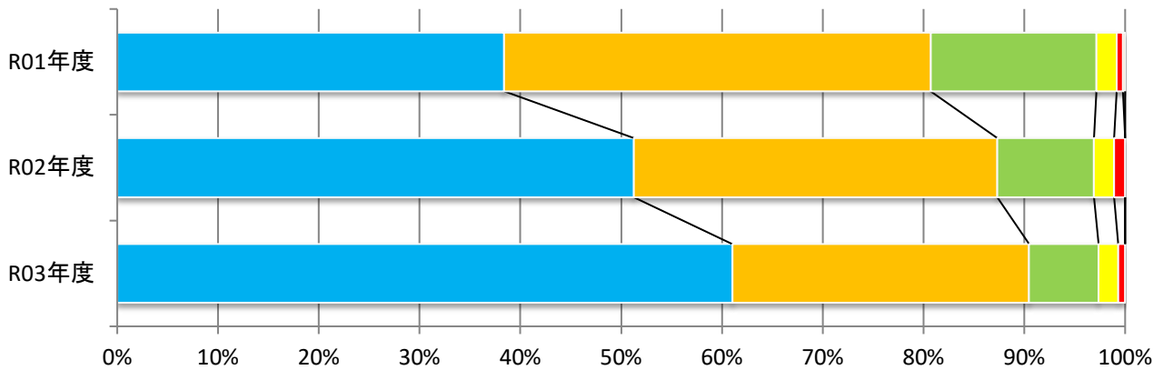
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



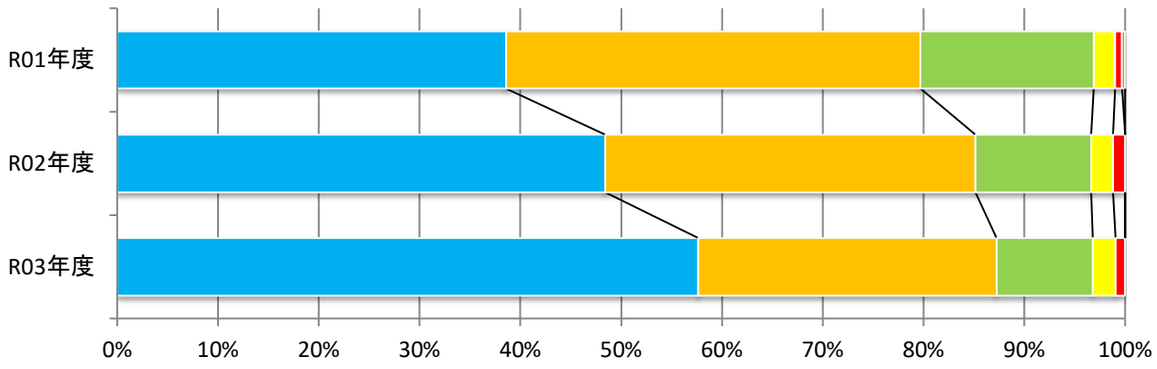
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.4	46.1	77.5	—
38.3	44.7	83.0	＋ 5.6
50.8	36.1	86.9	＋ 3.8

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



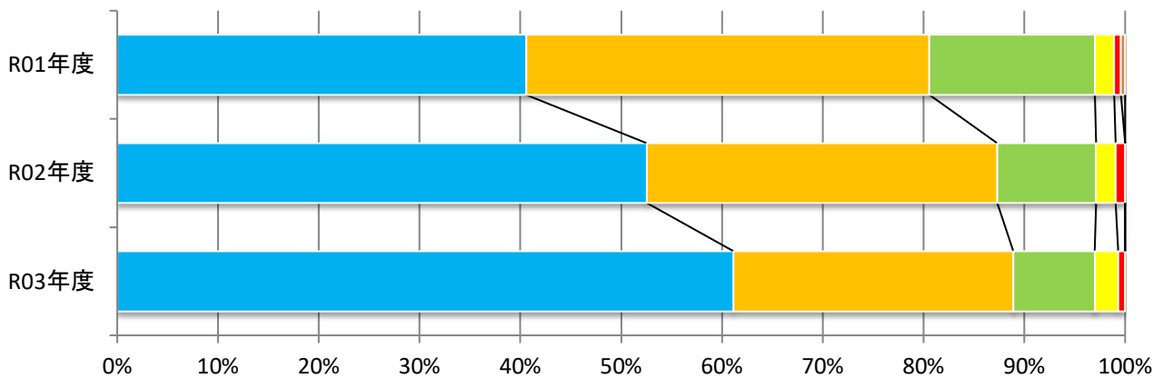
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.4	42.3	80.8	—
51.3	36.0	87.3	＋ 6.5
61.0	29.5	90.5	＋ 3.2

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



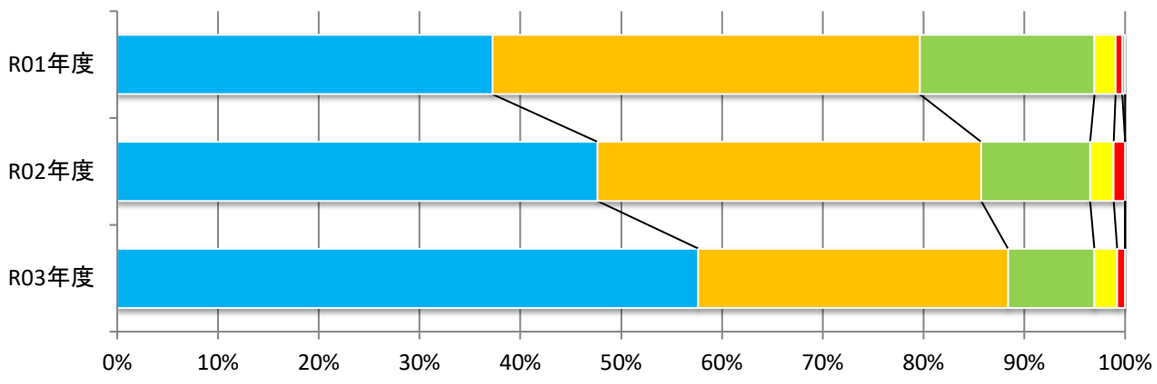
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.6	41.1	79.8	—
48.4	36.7	85.2	＋ 5.4
57.7	29.6	87.2	＋ 2.1

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.6	40.0	80.6	—
52.5	34.8	87.3	＋ 6.7
61.1	27.8	88.9	＋ 1.6

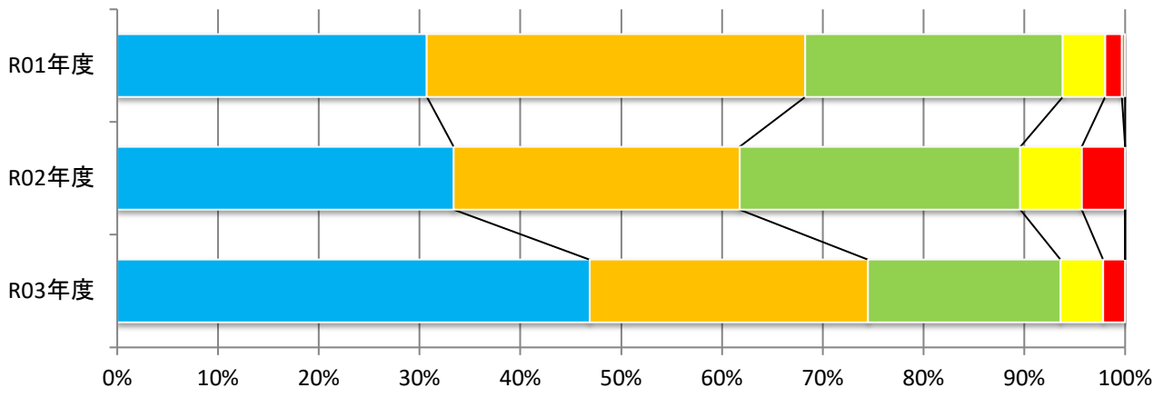
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.3	42.4	79.7	—
47.6	38.1	85.7	＋ 6.0
57.7	30.7	88.4	＋ 2.7

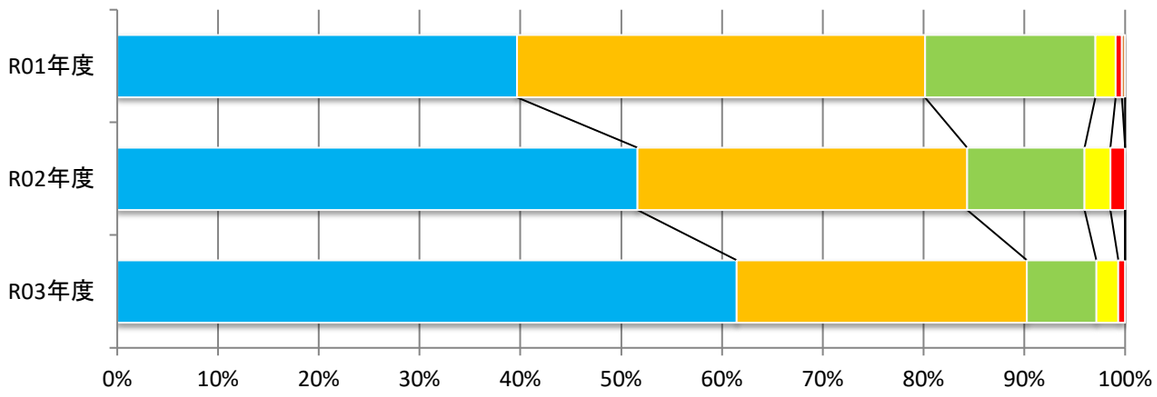
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



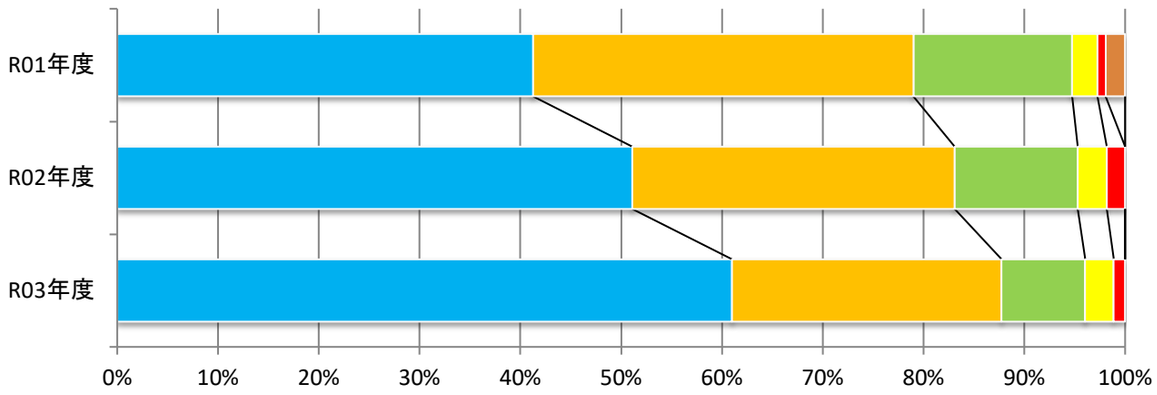
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	37.5	68.2	—
33.4	28.3	61.7	△ 6.4
46.9	27.6	74.5	＋ 12.8

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



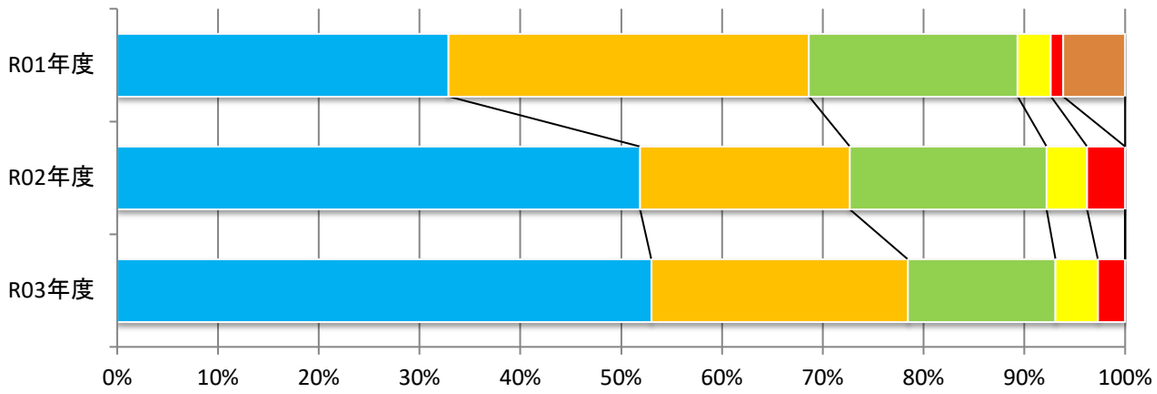
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.7	40.5	80.2	—
51.6	32.7	84.3	＋ 4.1
61.5	28.8	90.3	＋ 5.9

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



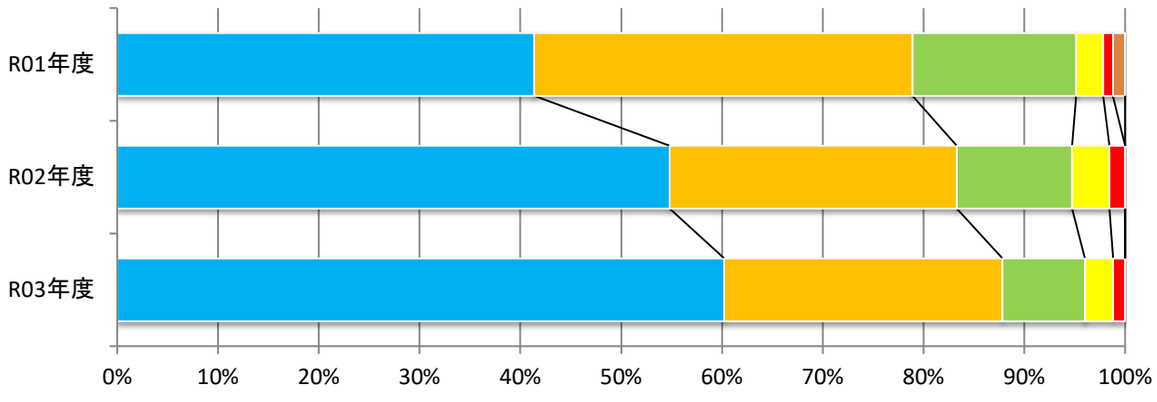
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.3	37.7	79.0	—
51.1	32.0	83.1	＋ 4.1
61.0	26.7	87.7	＋ 4.7

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい −1　板書であったと思うか。



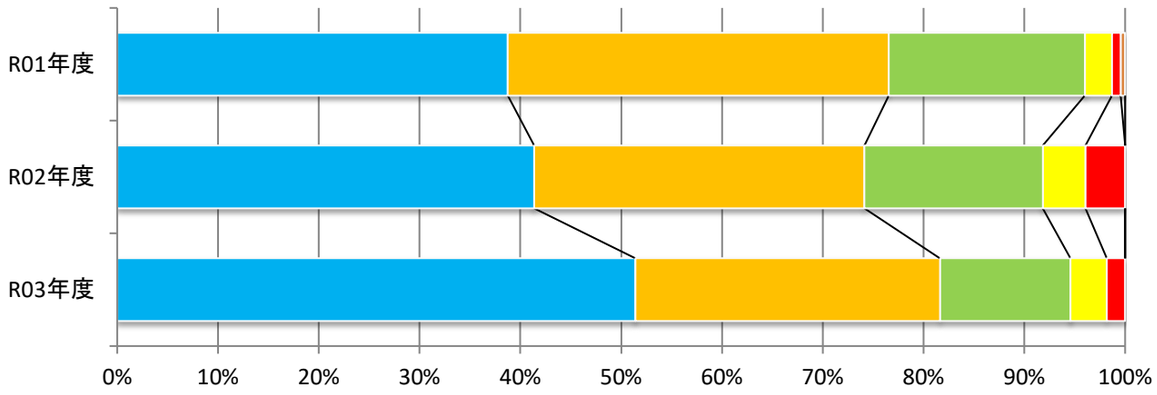
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.8	35.8	68.6	—
51.9	20.8	72.7	＋ 4.1
53.0	25.4	78.4	＋ 5.7

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は −2　わかりやすかったと思うか。



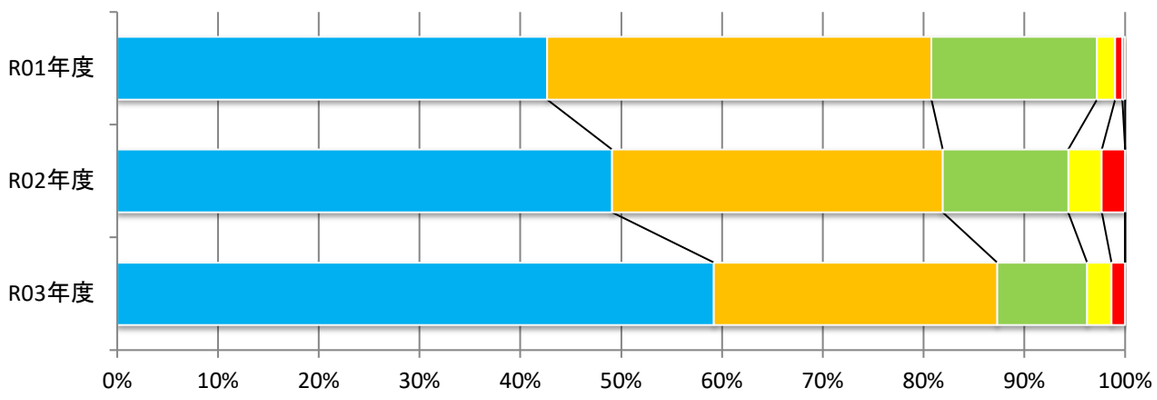
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	37.5	78.9	—
54.8	28.5	83.3	＋ 4.4
60.2	27.6	87.8	＋ 4.6

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



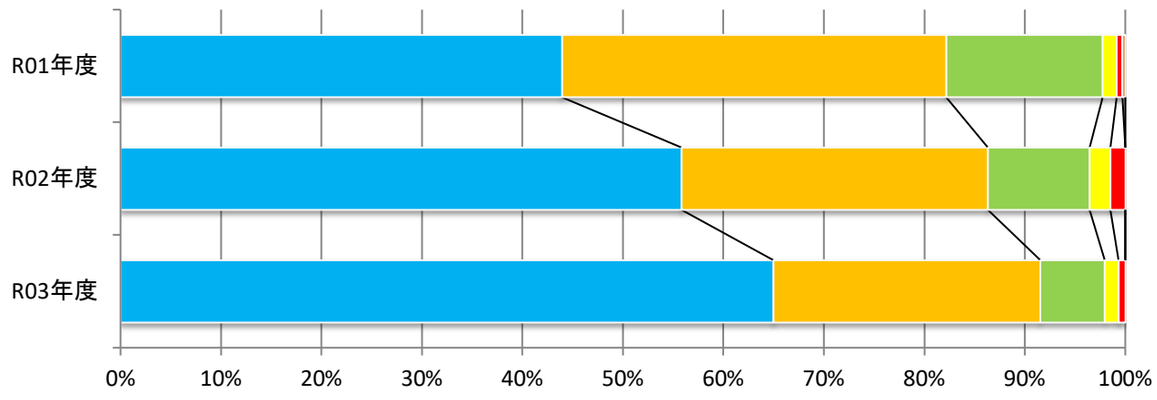
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	37.8	76.6	—
41.3	32.8	74.1	△ 2.5
51.4	30.2	81.6	＋ 7.5

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



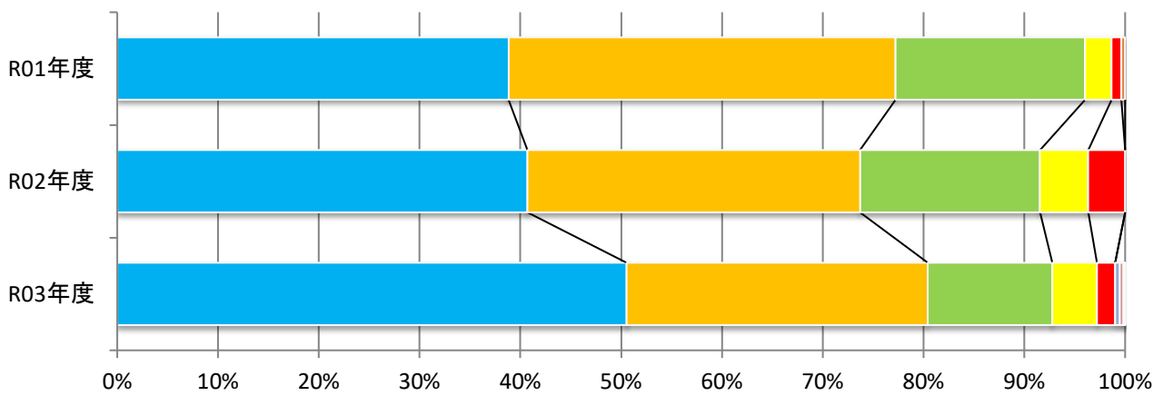
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.7	38.1	80.8	—
49.1	32.8	81.9	＋ 1.1
59.2	28.1	87.3	＋ 5.4

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



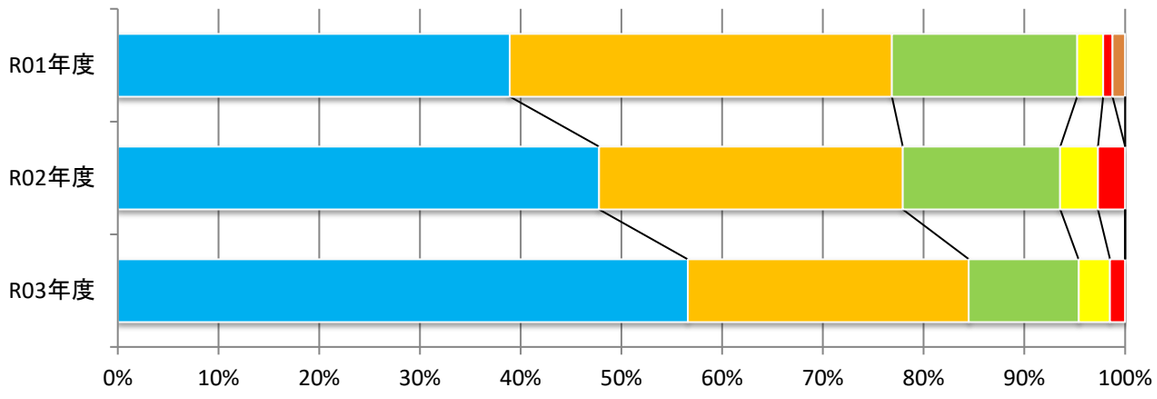
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.9	38.2	82.1	—
55.8	30.5	86.3	＋ 4.3
65.0	26.6	91.5	＋ 5.2

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	38.4	77.2	—
40.7	33.0	73.7	△ 3.5
51.0	30.2	81.2	＋ 7.5

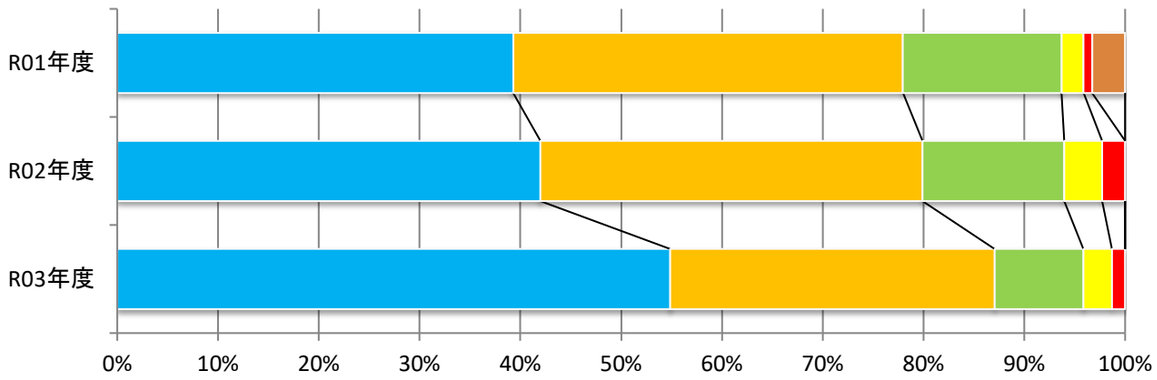
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.9	37.9	76.8	—
47.8	30.2	77.9	＋ 1.1
56.6	27.9	84.5	＋ 6.6

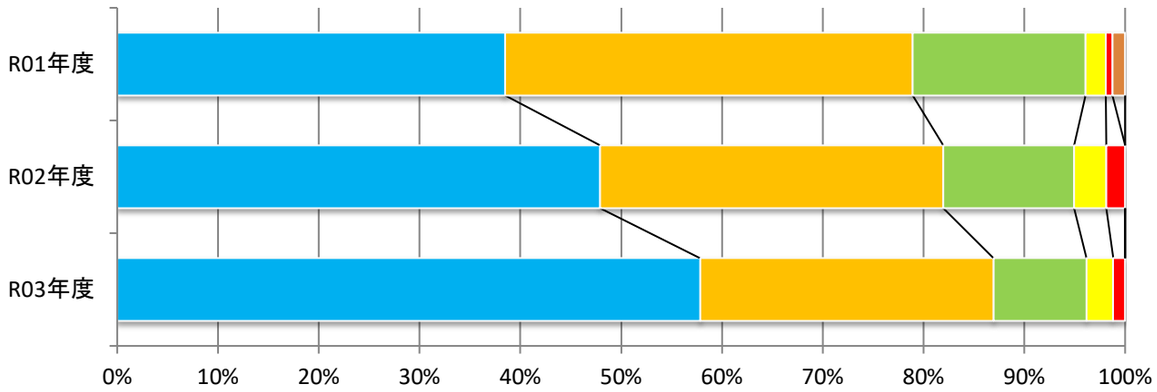
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



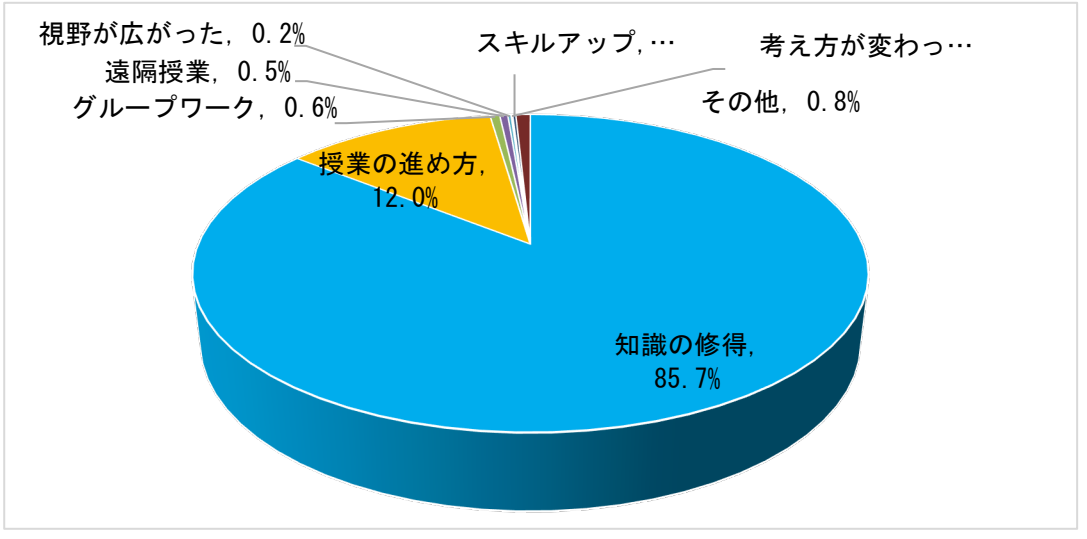
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.3	38.7	78.1	—
42.0	37.9	79.9	＋ 1.8
54.9	32.2	87.1	＋ 7.2

全質問項目の平均



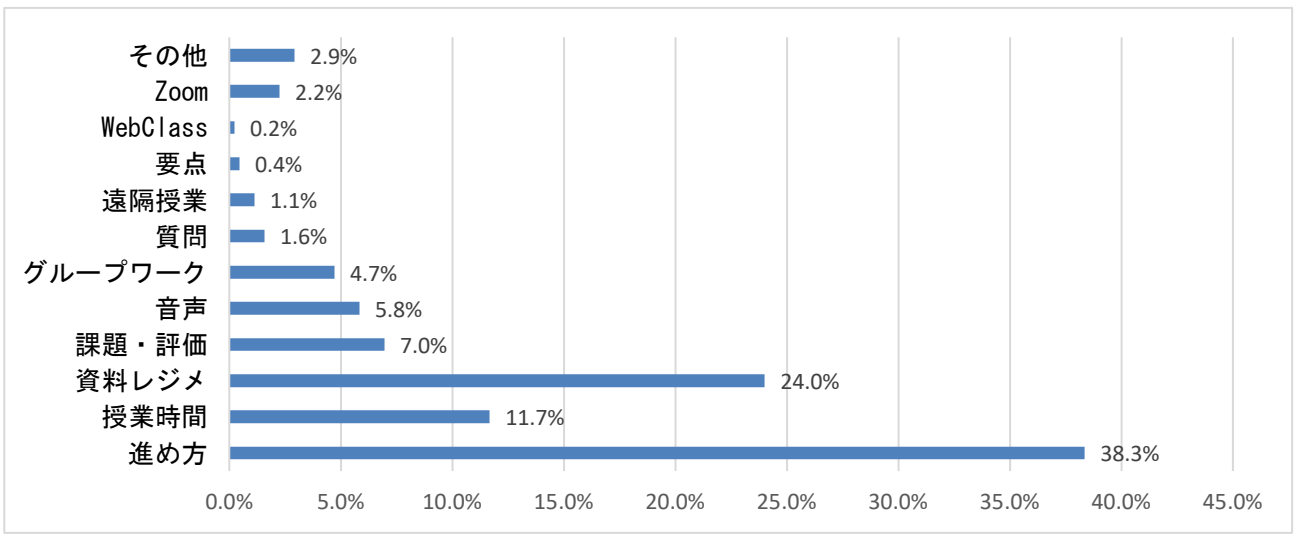
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.5	40.4	79.0	—
47.9	34.1	82.0	＋ 3.0
57.8	29.1	86.9	＋ 5.0

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　1,089】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	ヘルスアセスメント	35	アセスメントに関する注意点など技術でなく、コミュニケーションをとるうえで大切なことを学んだ。
			看護をしていく上で重要なアセスメントについて、例題をもとに取り組んだり解いてみたりなどがあって、とても体感、実感することができてよかったです。
	人間関係論	34	同じ意見だというのもありましたが、自分が考えたことのない考え方や全く違った考え方を知るということは自分のためになるのでとても助かりました。様々な意見を聞くことで納得したり、注意しなければいけない部分に気付かされたりするので良かったと思いました。
			将来看護師として患者や家族、同僚と良好な人間関係を築くために重要な技術や心構えなどを知ることができてほんとによかったなと思いました。
	医学概論	30	実際に病院で医師として働く先生の貴重なお話を聞くことができてよかったです。
			医学概論という名称でこの講義を受けさせてもらったが、将来目指している看護師にとって覚えておかなければならない症例や看護師のニーズというものを知ることが出来てよかった。
	解剖生理学Ⅰ	29	看護師になる上で必要な身体の仕組みなど、多くのことを学ぶことができて良かった。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　446】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	解剖生理学Ⅰ	18	もう少し、９０分以内に動画を収めてもらってもいいかなと思いました。
			例を挙げるとき、違う表現で何度も同じことを言うため辛い。
	微生物学	18	音声が聞こえないことが多いです。 授業で使うプリントをしっかり配布していただきたいです。
			レジメが配られないのに進むスピードが速すぎてメモを取れない。レジメが無いならもう少しスピードを遅くしてほしい。
	臨床薬理学演習	17	講義内スライドはレジュメとして配ってほしい。
			レジュメを配布するか、教科書に沿って行うか改善してほしい。教科書を読んで講義に参加しても教科書に全て書かれているわけでもないので、授業内でなにかを引用するのであれば、参考程度に資料の配布をしてほしい。
	地域看護学概論	11	課題の説明が分かりにくく、課題の意図が分からないものがあった。もっと課題の目的や考えることを明確にして欲しい。
			学内の対面授業の時に、先生がいない教室の方にZoomがなかなかつながらず授業が始まらないということが何度かあったため、授業が円滑に始められるように準備してほしかった。

令和３年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○実習・実験科目数　15科目　　○調査対象者数　1,521人（延人数）
○総回答数　　1,360 件 （回答89.4％）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	(52.0)	(41.2)	(5.6)	(1.0)	(0.3)	0.0	(100)
	63.2	31.3	3.8	1.5	0.4	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(83.6)	(14.3)	(1.9)	(0.2)	(0.1)	0.0	(100)
	81.1	16.3	2.4	0.3	0.0	0.0	100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	(74.2)	(22.2)	(3.1)	(0.5)	0.0	0.0	(100)
	76.9	20.1	2.6	0.2	0.1	0.0	100
計	(69.9)	(25.9)	(3.5)	(0.6)	(0.1)	0.0	(100)
	73.7	22.5	2.9	0.7	0.1	0.0	100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	(59.0)	(36.4)	(3.9)	(0.4)	(0.4)	0.0	(100)
	69.0	27.3	3.2	0.4	0.1	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(65.7)	(29.3)	(4.0)	(0.6)	(0.4)	0.0	(100)
	75.3	21.2	2.9	0.5	0.1	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(70.3)	(24.4)	(4.5)	(0.7)	(0.1)	0.0	(100)
	76.0	20.3	3.2	0.3	0.1	0.0	100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(71.1)	(23.2)	(4.2)	(1.4)	(0.1)	0.0	(100)
	77.1	18.8	3.2	0.8	0.1	0.0	100
計	(66.5)	(28.3)	(4.2)	(0.8)	(0.2)	0.0	(100)
	74.4	21.9	3.1	0.5	0.1	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(36.0)	(24.2)	(26.5)	(7.4)	(5.9)	0.0	(100)
	50.4	22.9	17.3	4.6	4.9	0.0	100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(63.3)	(26.3)	(7.2)	(2.4)	(0.8)	0.0	(100)
	68.8	24.0	4.7	1.0	1.5	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(67.1)	(25.5)	(5.7)	(1.1)	(0.7)	0.0	(100)
	71.5	21.9	4.6	1.2	0.9	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(72.1)	(20.8)	(4.8)	(1.4)	(0.9)	0.0	(100)
	73.2	19.9	4.6	1.0	1.3	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(68.4)	(22.9)	(6.6)	(1.3)	(0.7)	0.0	(100)
	72.6	20.7	4.2	1.3	1.2	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(73.2)	(20.6)	(4.8)	(0.8)	(0.5)	0.0	(100)
	75.4	18.8	2.9	1.5	1.3	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	(68.1)	(24.3)	(5.8)	(1.0)	(0.7)	0.0	(100)
	70.2	22.6	4.6	1.3	1.3	0.0	100
計	(64.0)	(23.5)	(8.8)	(2.2)	(1.5)	0.0	(100)
	68.9	21.6	6.1	1.7	1.7	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(43.7)	(23.4)	(17.6)	(8.2)	(7.1)	0.0	(100)
	46.5	20.0	15.2	6.8	11.4	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(59.2)	(28.6)	(8.6)	(2.4)	(1.1)	0.0	(100)
	66.3	25.3	5.4	1.8	1.3	0.0	100
計	(51.5)	(26.0)	(13.1)	(5.3)	(4.1)	0.0	(100)
	56.4	22.6	10.3	4.3	6.4	0.0	100
全質問項目の平均	(63.0)	(25.9)	(7.4)	(2.2)	(1.5)	0.0	(100)
	68.3	22.2	5.6	1.8	2.1	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

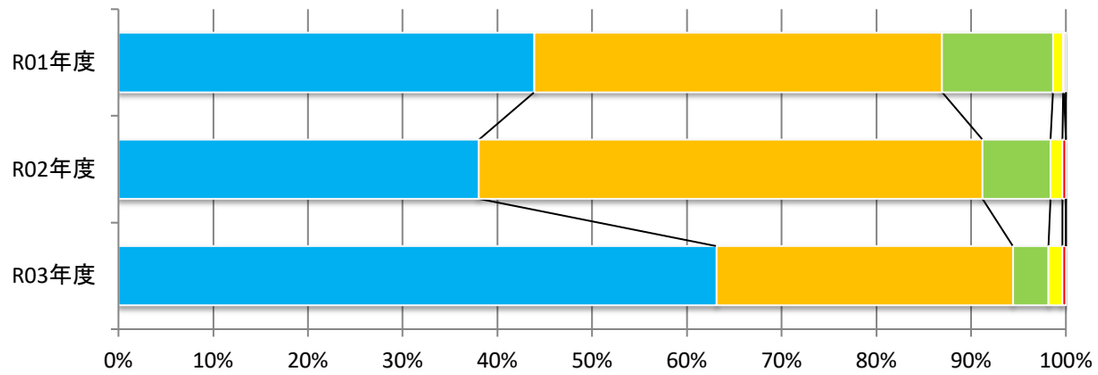
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	27科目	13科目	15科目
調査対象者数	2.719人	1,331人	1,521人
総回答数（回答率）	2,418枚（ 88.9%）	1,114件（83.7%）	1,360件（89.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

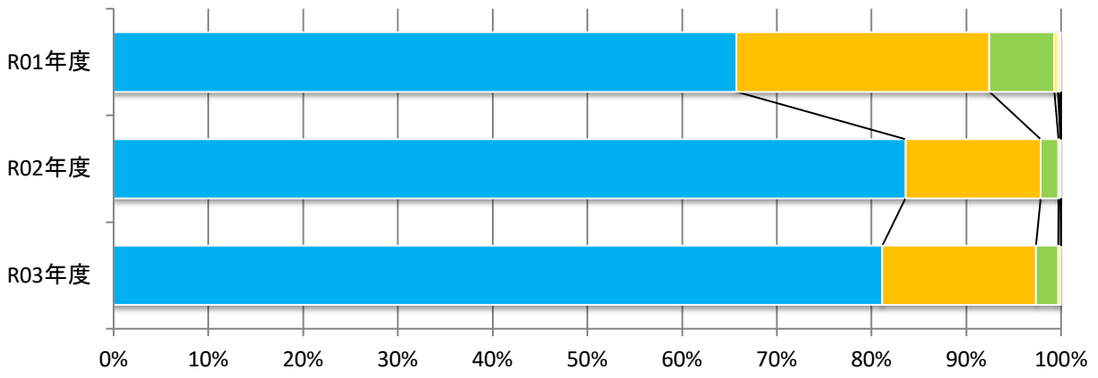
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



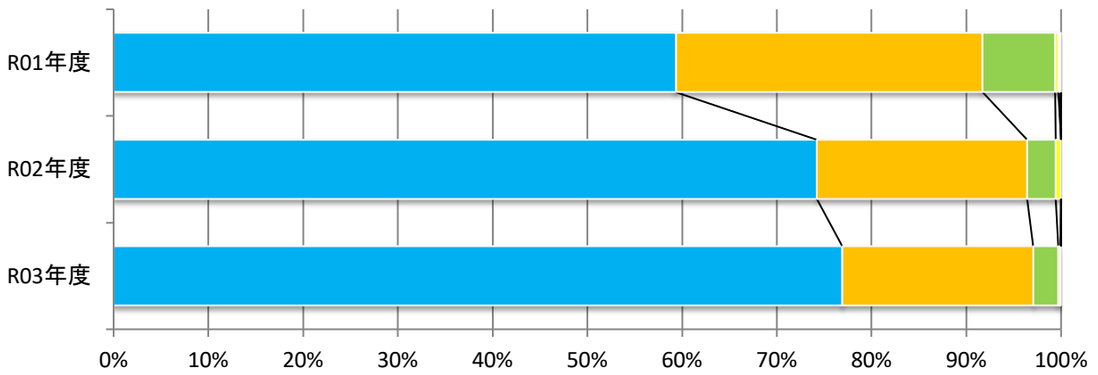
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.9	43.0	86.9	—
29.5	41.2	70.7	△ 16.2
63.2	31.3	94.4	＋ 23.7

2. 積極的に出席したと思うか。



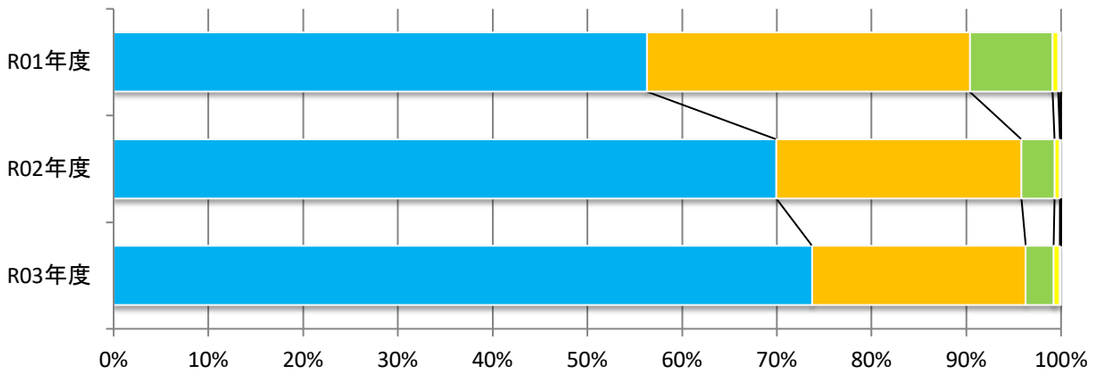
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.7	26.7	92.4	—
83.6	14.3	97.8	＋ 5.4
81.1	16.3	97.4	△ 0.5

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.3	32.4	91.7	—
74.2	22.2	96.4	＋ 4.7
76.9	20.1	97.1	＋ 0.6

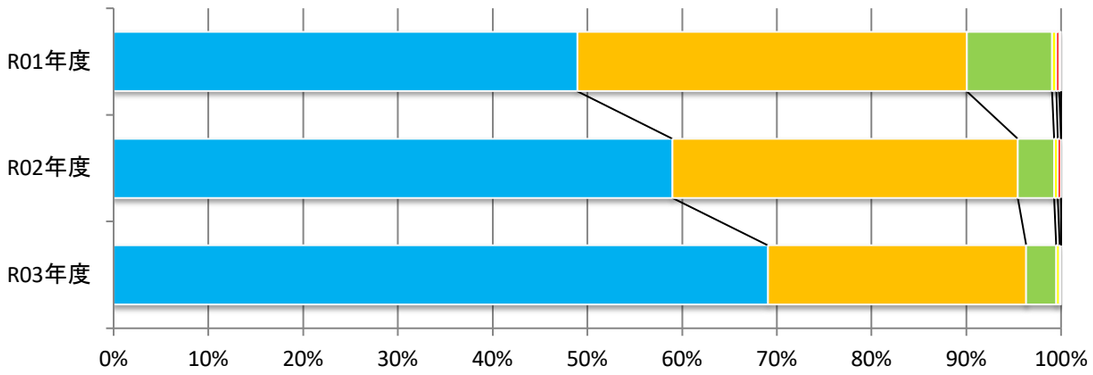
「計」（質問項目 １ ～ ３ ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.3	34.0	90.4	—
69.9	25.9	95.8	＋ 5.4
73.7	22.5	96.3	＋ 0.5

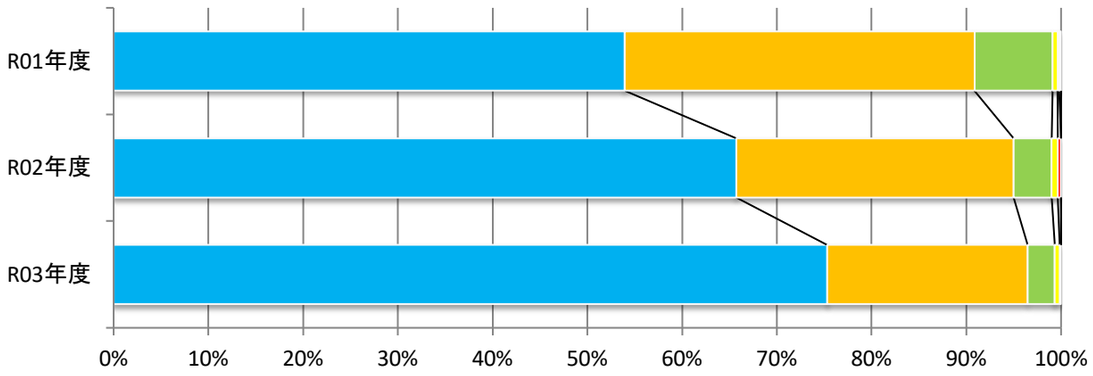
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



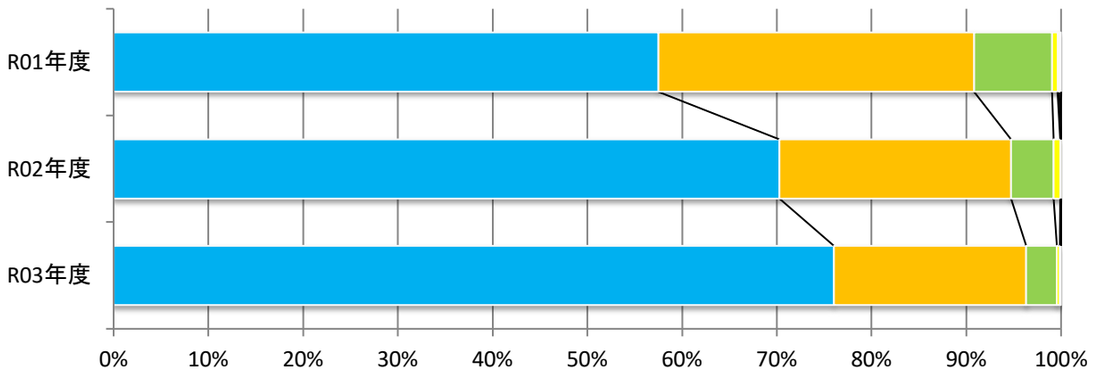
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.9	41.1	90.0	—
59.0	36.4	95.4	＋ 5.5
69.0	27.3	96.3	＋ 0.9

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



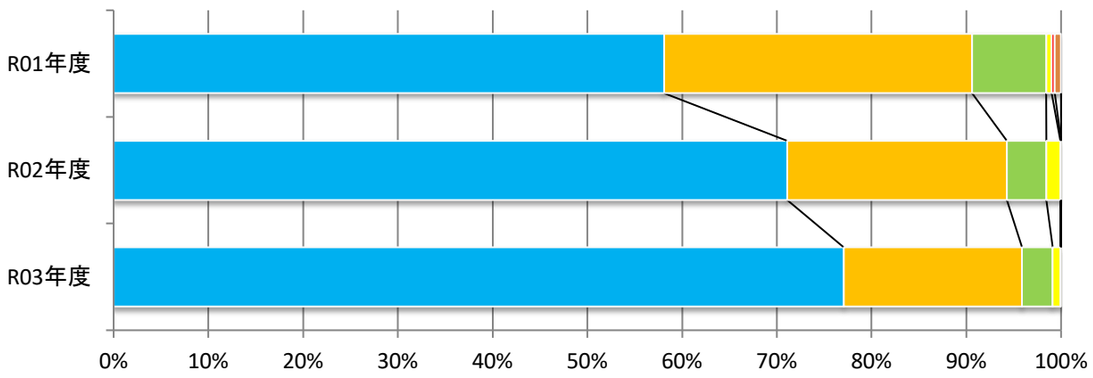
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	36.9	90.9	—
65.7	29.3	95.0	＋ 4.1
75.3	21.2	96.5	＋ 1.5

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



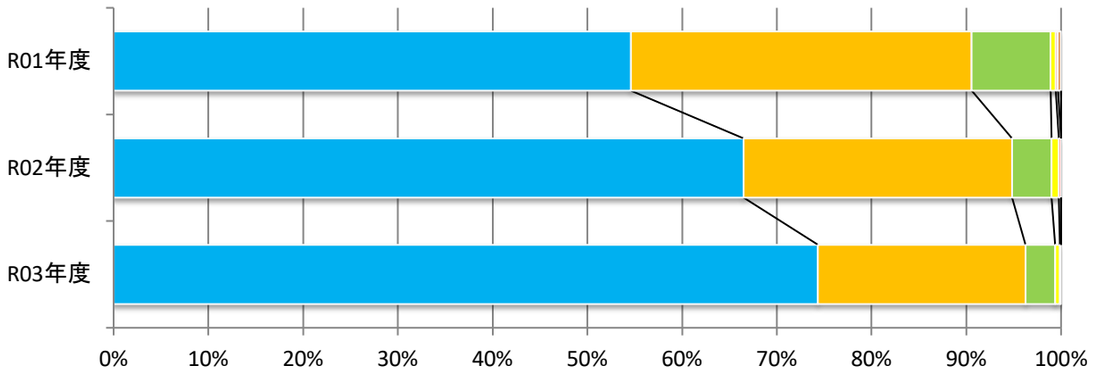
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.5	33.3	90.8	—
70.3	24.4	94.7	＋ 3.9
76.0	20.3	96.3	＋ 1.6

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.1	32.5	90.6	—
71.1	23.2	94.3	＋ 3.6
77.1	18.8	95.9	＋ 1.6

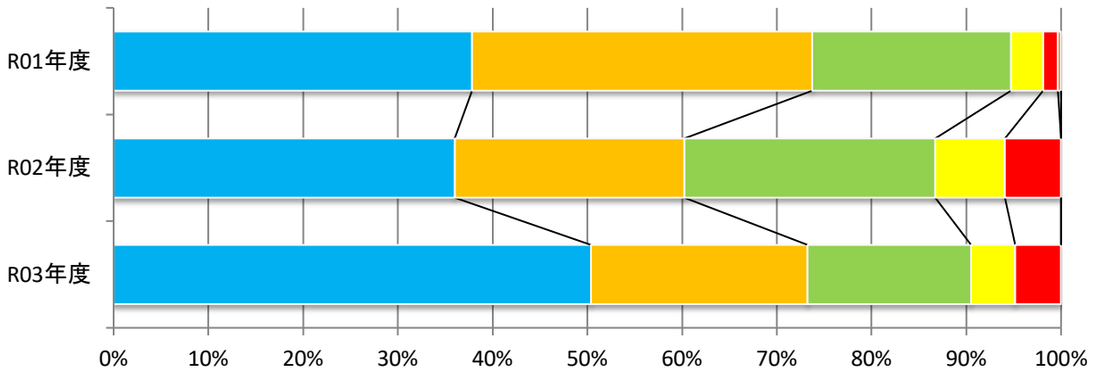
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.6	35.9	90.6	—
66.5	28.3	94.8	＋ 4.3
74.4	21.9	96.3	＋ 1.4

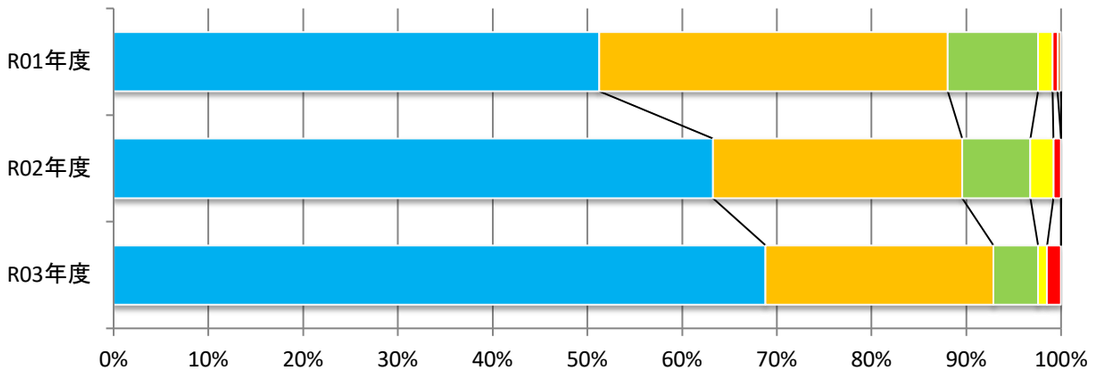
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



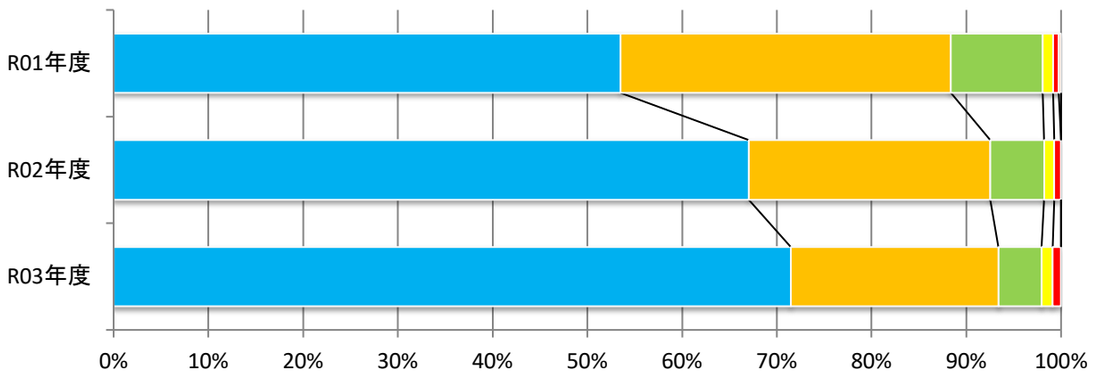
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	35.9	73.7	—
36.0	24.2	60.2	△ 13.4
50.4	22.9	73.2	＋ 13.0

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



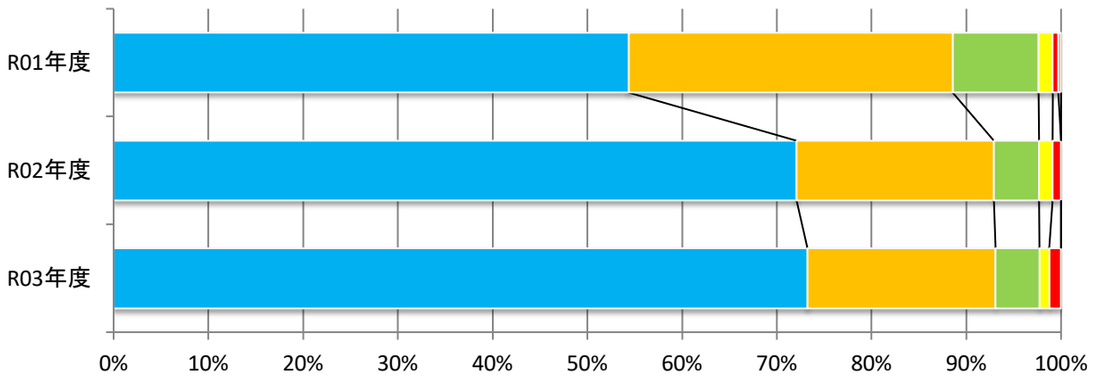
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.3	36.8	88.0	—
63.3	26.3	89.6	＋ 1.5
68.8	24.0	92.9	＋ 3.3

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



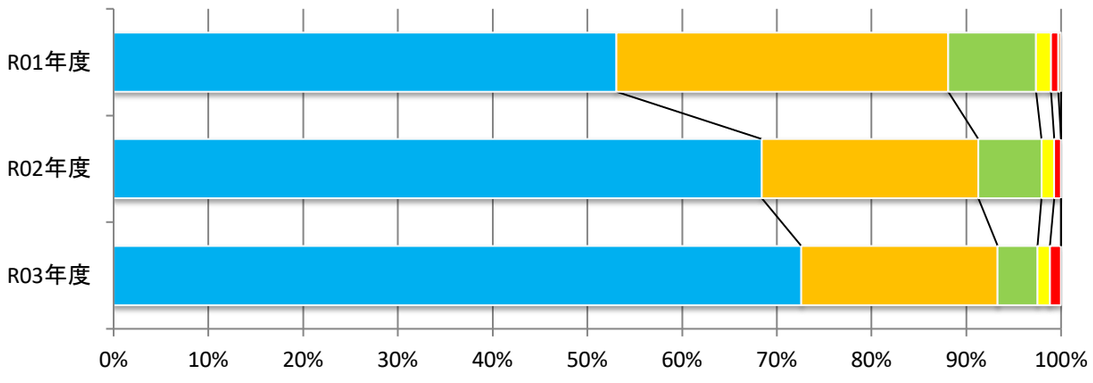
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.5	34.9	88.4	—
67.1	25.5	92.5	＋ 4.2
71.5	21.9	93.4	＋ 0.8

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



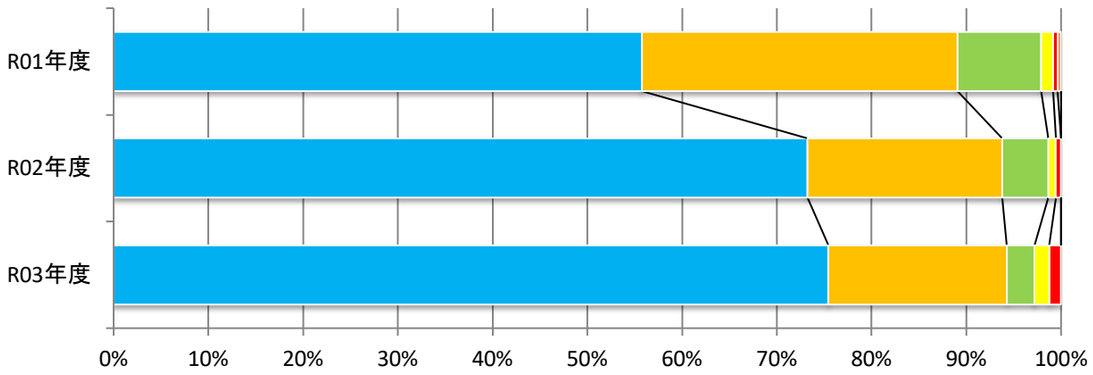
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.3	34.2	88.5	—
72.1	20.8	92.9	＋ 4.4
73.2	19.9	93.1	＋ 0.2

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



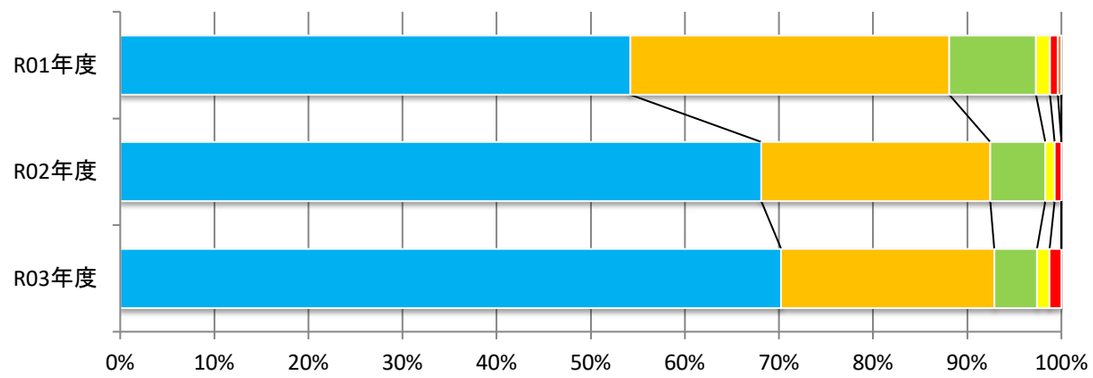
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.1	35.0	88.0	—
68.4	22.9	91.3	＋ 3.2
72.6	20.7	93.3	＋ 2.0

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



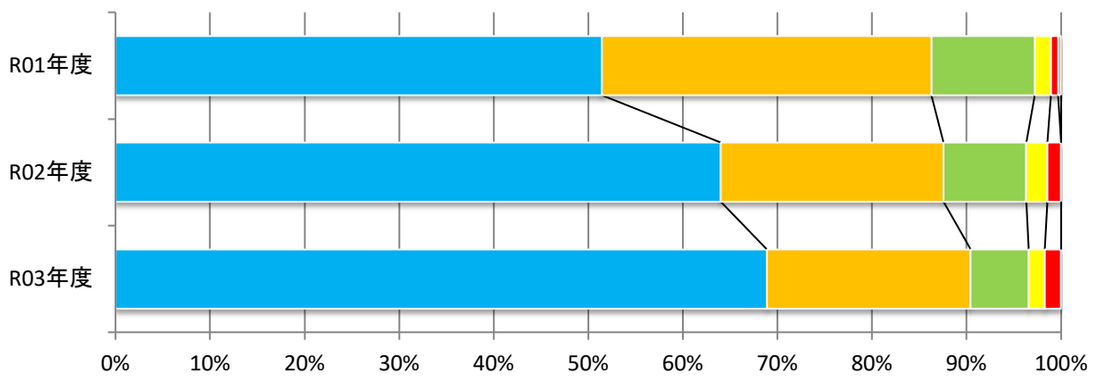
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.7	33.3	89.0	—
73.2	20.6	93.8	＋ 4.8
75.4	18.8	94.3	＋ 0.5

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.2	33.9	88.1	—
68.1	24.3	92.5	＋ 4.3
70.2	22.6	92.9	＋ 0.4

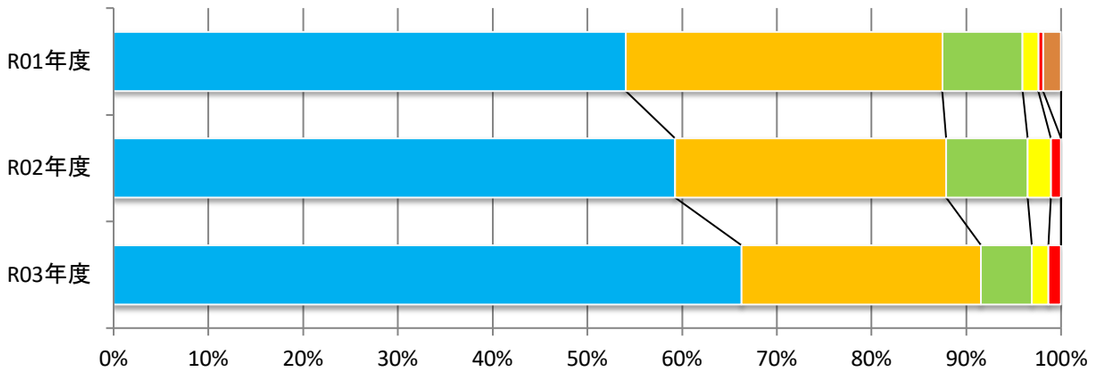
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.4	34.8	86.3	—
64.0	23.5	87.5	＋ 1.3
68.9	21.6	90.4	＋ 2.9

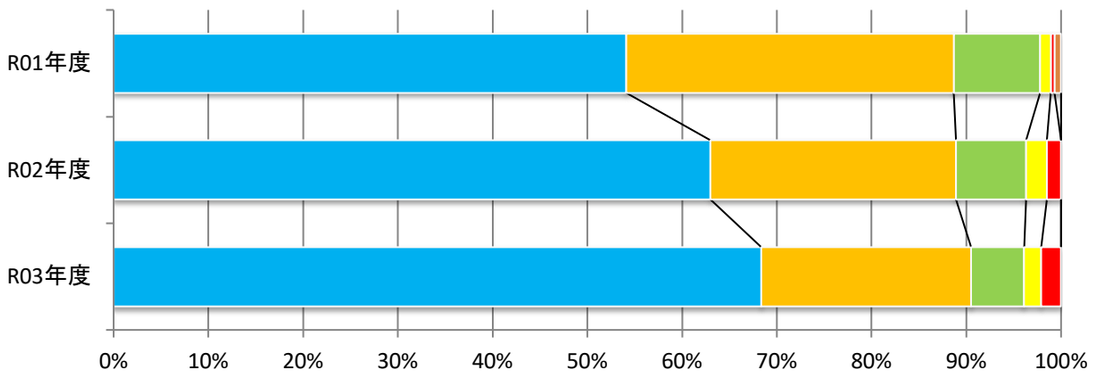
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



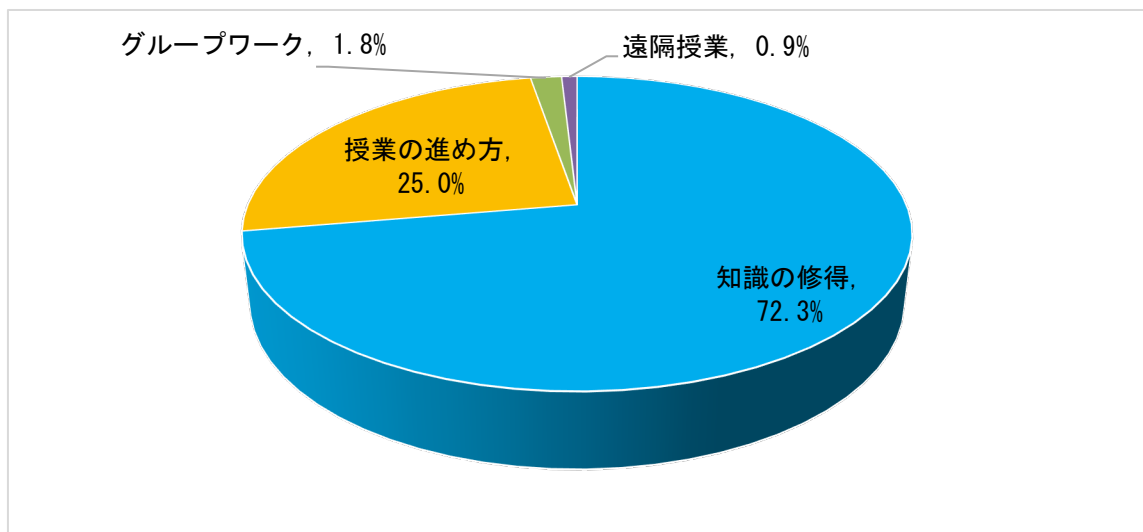
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	33.4	87.4	—
59.2	28.6	87.9	＋ 0.5
66.3	25.3	91.5	＋ 3.7

全質問項目の平均



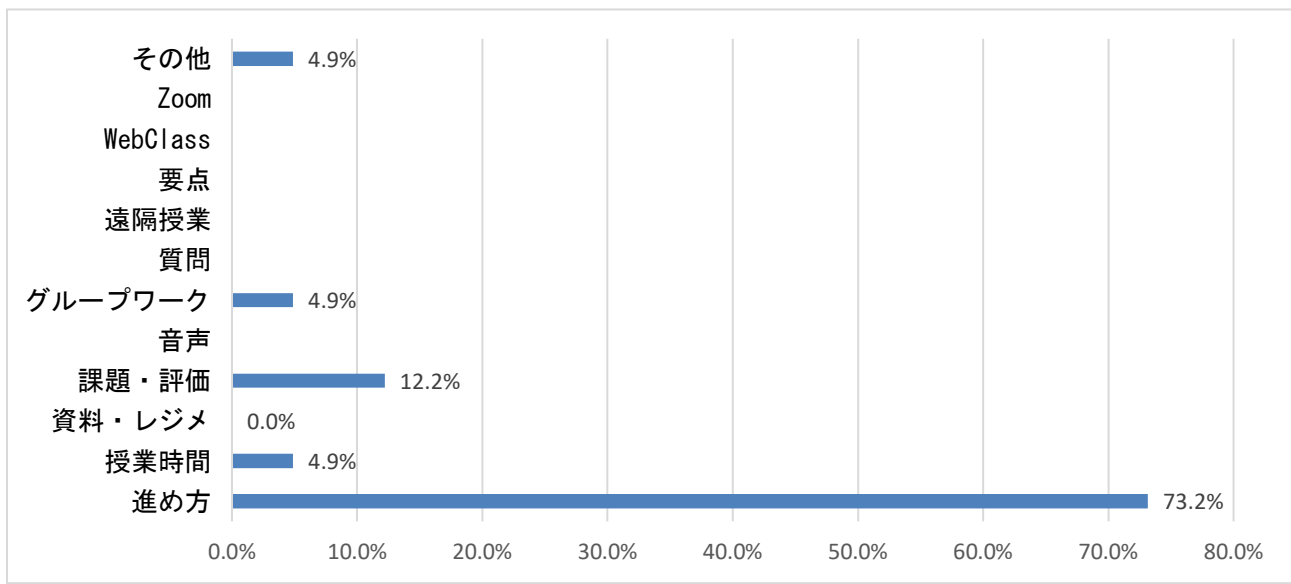
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.1	34.5	88.6	—
63.0	25.9	88.9	＋ 0.3
68.3	22.2	90.5	＋ 1.6

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　112】



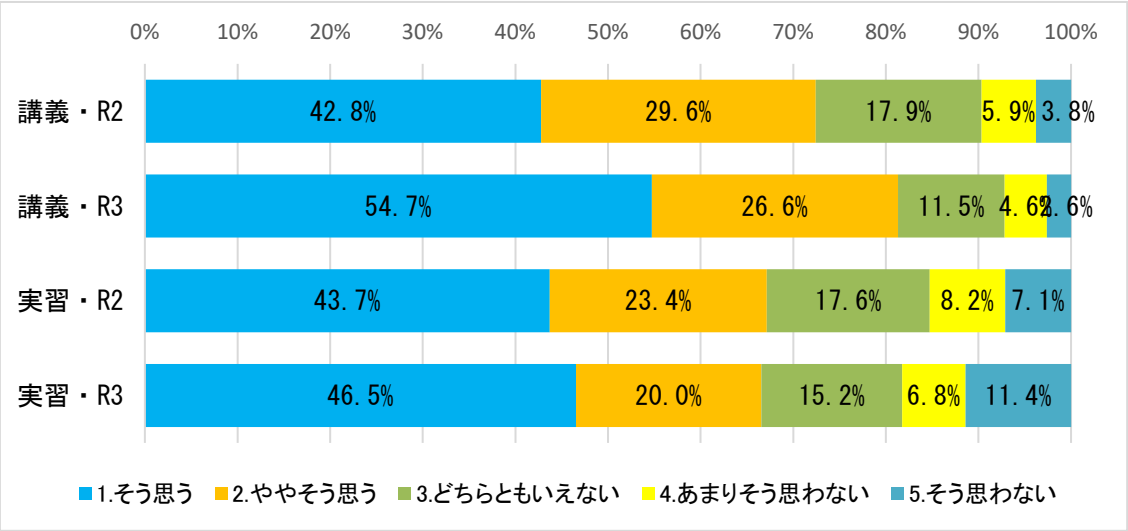
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	26	最終日の発表に向けて、グループメンバーとカンファレンスを重ねて原稿やパワーポイントを作成する過程では、自分から積極的に意見や案を出す自主性が以前より増したと思う。
			村山医療センターと災害医療センターどちらとも説明を聞くことができて良かったです。病棟の特徴をいろいろ学ぶことができました。
	日常生活援助展開実習	23	病院実習とはならなかったが、似た環境を整えていただき、学ぶことができたのはとてもよかった。
			とにかく生徒の主体性を大事にしてるようすが終わってみて感じ取ることができ、校内実習ではあったが、学びが深まりとても良い経験となった。
			コミュニケーション、情報収集、看護問題の発見、問題への援助の計画、実施した援助の評価・修正は単独のものだと思っていましたが、看護をする上ではすべて一続きのものだと学ぶことができた。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数 41】

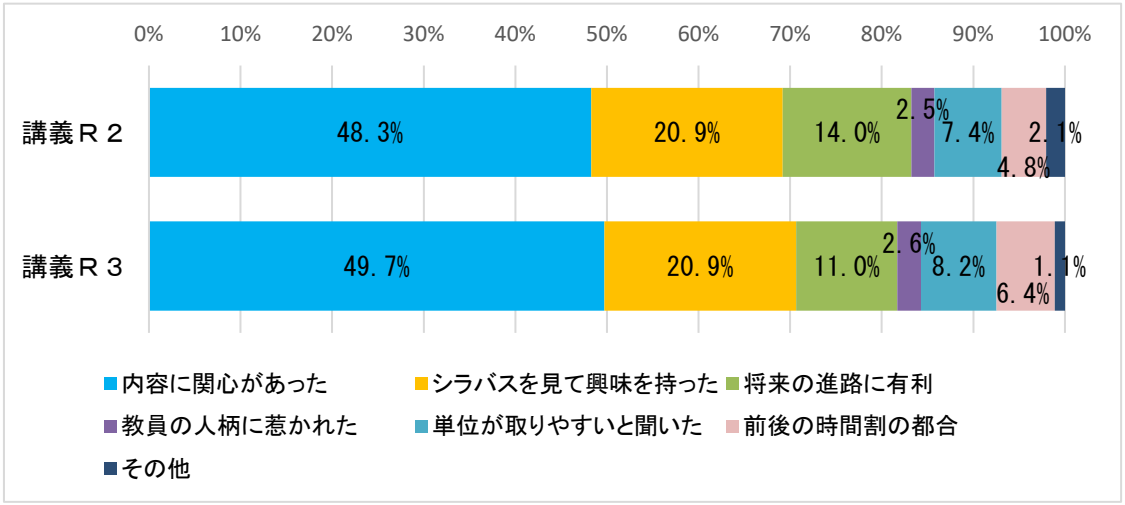


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	日常生活援助展開実習	7	学内実習を行ったが、時間が細かく定められていなかったため何をしていいかわからない生徒が多かった。
	老年看護学実習Ⅰ	7	コロナ禍で施設内の見学などが制限されている中受け入れてくださったことはありがたいが、大学からもかなり距離のある遠い施設に行っても、高齢者と関わることは一切できず、レクリエーションの見学もできず、施設長の話を聞く2日だったため、あまり学びを深めることができなかった。学内実習で、パソコンから高齢者のレクリエーションに参加する方が学びに繋がったと思った。
			何回も現地に行ける人、一度もいけない人等、差が大きすぎるように感じた。
	母性看護学実習	5	実践を踏まえた新生児に対しての看護診断の立て方を実習中にもう少し具体的に学びたかった。

この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目の講義を履修した理由は何か



令和 3 年度 千葉看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学部長
宮本　千津子

１．授業評価の結果について

○ 講義・演習科目についての総合評価“この授業は総合的に満足できたと思うか”をみると、必修科目については 1 年生では 3.81 であった 1 科目を除いて 4.25～4.95、2 年生では 3.62 であった 1 科目を除いて 4.16～4.88、3 年生では 4.29～4.65、4 年生では 3.11 であった 1 科目を除いて 4.19～4.35 の範囲となっていました。また選択科目では全学年を通して 4.08～5.00 でした。これらを割合でみると、必修科目では全科目の 66%が、選択科目では 86%が 4.5 以上となっていました。

○ このように多くの科目がややそう思う(4)からそう思う(5)の間の上方に位置しており、評価としては良好といえます。3 点代の科目についても、令和 2 年度が 8 科目であったのに対し減少しており、授業改善の成果が表れていると考えます。

○ 最高点をみると学年進行につれ下がる傾向がありました。これは上位学年になると、授業内容が専門的で難易度の高いものになることを反映していると思われます。カリキュラムが優しいものから難しいものへと適切に積み上げられているといってよいと考えます。

○ 一方、3 点代であった科目についてみると、“パワーポイント等の資料がわかりやすかったか”および“教員は学生の理解を確認しながら授業を行ったか”の評価が低くなっていることがみてとれました。一部の科目においては遠隔授業でありながらも ICT を活用して双方向の授業を行うことに課題があると思われます。

○ しかし、今年度の評価については、回答した学生数が少ない科目では全体の２／３となっており、授業に対する評価が低い学生は回答しなかった可能性もあります。結果の解釈において留意が必要です。

○ 授業形態については、総合評価のうち、“遠隔授業でも学びやすかったと思うか”への回答について、講義を中心とした科目で総合評価とほぼ類似した点数となっていました。一方、演習やグループワークを中心とした科目においては平均点が 1 点近く低く遠隔授業では学びやすいとはいえないと評価されており、授業の形態による違いがはっきりと見られました。

○ しかし、総合得点については、講義科目と演習科目とで差はみられず、これは令和 2 年度で演習科目の得点が高かったこととは異なる傾向でした。自由記載においても、講義科目について“重要な学びを得ることができた”“一つ一つ深く考えることができた”“看護・医学の基礎知識をわかりやすく講義されたため難しい内容だったが理解することができた”等の感想が多くなっていました。令和 2 年度は遠隔で講義を行うことへの対応が必ずしも十分ではなかったのに対し、3 年度では、ICT を活用した効果的な講義が行われ、対面

での演習授業と同様に、成果を上げることができたと考えます。

○ 必修／選択の違いをみると、必修科目に比べ選択科目の評価が高くなっており、令和 2 年度と同様の結果でした。関心のある科目を選択することで主体的な学びが促進され、教員もこれに応えて双方向的な授業を展開した成果であると考えます。

○ 評価を質問内容別にみると、学生自身についての項目では、“授業に積極的に出席したと思う”が前期で平均 4.75、後期で 4.71、授業内容についての項目では、“基本的な専門知識が得られたと思うか”および“この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか”が前期で同じく 4.62、後期でそれぞれ 4.64、4.69、教員の教え方・姿勢についての項目では、“教員が授業に熱意をもって取り組んでいたか”が前期で平均 4.76、後期で 4.75 と高くなっていました。これらの傾向は昨年度と同様の結果でした。
○ これらの結果から、学生・教員ともに前向きで真剣に授業に取り組み、それにより専門知識を発展につながるよう学ぶことができたといえると思います。
○ 評価得点が最も低かった質問項目は、“シラバスが学修の役に立ったか”でした。平均は前期が 4.32、後期で 4.45 であり、昨年度とほぼ同様で、一昨年度の 3 点代に比較し高くなっていました。引き続きシラバスを活用するような工夫がされたと考えます。

○ 自由記載をみると、いくつかの科目では、“オンラインでも顔を出しながら授業を進めたので一体感を感じることができた”“講義資料が詳しくわかりやすかった”“オンデマンドの動画が丁寧で理解できた”といった意見とともに、“ビデオオフだったため意見が言いづらかった”“講義資料が多くついていけなかった”“長い動画は負担になるのでやめて欲しい”という意見がありました。準備や習熟状況、大学における学修方法に関する理解の違いが示されていると思われます。
○ その他、初年度開講の科目や複数領域が協働して担当している科目について、教員による出席確認方法や、評価視点の違いについて指摘がありました。違いがあることには理由がありますが、その説明が十分ではなかったと思われます。
○ Covid-19 感染対策に関する意見は多くなく、学生が医療系大学としての感染対策の重要性を理解し、取り組んだためと思われます。しかし、演習科目について“もっと多くの演習がしたかった”という意見がある一方で、“密着することもあり不安だった”という意見もありました。より安全な授業運営の工夫が求められていると考えます。

○ 実習科目についてみると、全科目が 4 点以上となっており、中でも開講が 2 回目以降の科目はすべて 4.5 以上となっていました。前年度までの評価を活かし、Covid-19 感染拡大への対策をさらに改善して、効果的な実習が実施されたことが示されました。
○ しかし、自由記載をみると、“臨地での実習指導をより適切なものとしてほ

しい”という意見もあり、Covid-19 感染拡大状況における実習の運営や、教員同士での相談体制が確立されていない科目があることも示唆されました。また、実習施設や時期によって臨地での実習状況に違いがあったことに対する不公平感を指摘するものもありました。

○ 感染下における医療等施設の状況を説明することにより、学生もよく理解し学修に参加していましたが、不安・不満が除去されたわけではないことが現れていると考えます。

２．授業において工夫した点について

○ いずれの科目についても、前年度の評価を活かし、授業の内容と方法が改善されていました。

○ 特に、COVID-19 感染拡大から 1 年が経過し、学生も教員も遠隔授業に習熟してきたこと、加えて、前年度の試行錯誤を経て留意するとよい点がわかってきたことにより、ICT の利点を活かした授業の工夫が行われ、特に、昨年度に課題とした、学生の能動的な取り組みを促進し、授業の双方向性を強化することに関する努力が実施されました。

○ 学生の評価に対する教員コメントにも、“これまで通り学生の反応を得て能力の獲得に導けた”“学生からのレスポンスが非常によく、授業に活かすことができた”といったものが寄せられ、遠隔授業であっても双方向の授業が展開されたことがわかりました。

○ また、昨年が初回開講であり、令和 3 年度が 2 年目となる科目については、課題の量や内容の調整、学生の希望する内容を採用、前後の科目との連関をより意識した授業展開、等の改善努力がされていました。

○ 次に、具体的な工夫の例を示します。

○ <u>オンラインでの学生-学生／学生-教員間の相互作用促進の工夫</u>
- ブレイクアウトルームを活用した学生同士のペアワークやディスカッション、質疑応答の機会を増加
- ウエブクラスへの感想提示に対するフィードバックから議論を開始
- 授業における具体例提示を増加
- 学生同士の情報交換が限定されていることに配慮したガイダンスの充実

○ <u>ICT 活用のさらなる促進</u>
- 映像資料の提示
- 聞き取りやすい話し方の工夫
- オフィスアワーを活用した学生への個別支援
- 複数の動画教材から任意の１つを選んで学修を行うアラカルト制の採用

○ <u>ハイブリッド授業により登校機会が減少することへの対応</u>
- 学生の学修状況や成果を適切に把握できるレポート課題や小テストの工夫
- これまでの板書内容を事前に盛り込んだ授業教材の工夫
- 授業資料や課題を早期に提示
- 予習教材の提示

○ <u>演習・実習における臨地での体験に代わる授業方法の開発</u>
- 臨地の看護職者やその他の医療職者、患者等の当事者をゲストとして招聘
- フィールドワークを自宅や学内演習で体験可能なワークに変更

○ Covid-19 感染拡大に伴う臨地実習制限に対する工夫
- 前年度の実習科目において臨地での実習ができなかった学生に対するガイダンスや実習展開の工夫
- 臨地との協議による実習日数の調整
- 前提となる前学期の科目と有機的に連動させ、また臨地前後の代替となる学内実習を、他科目や他大学の事例を参考にしながら、充実したものとなるよう工夫

○ Covid-19 感染拡大予防に資する授業での配慮
- 感染対策としての環境設定や学生への指導
- 体調不良や出席停止時における連絡や対処方法の丁寧なガイダンスと不利益を回避する補習等の実施

３．今後の授業への生かし方について

○ 授業評価を確認し、整理された課題を活かし、次のように取り組んでいきたいと思います。

○ 今後も ICT 活用と DX が促進されていきます。ICT を活かしたハイブリッド授業の効果を高めるため、授業評価を活かし、対面授業を行う科目・単元と遠隔授業およびオンデマンド授業を行うものとを精選していきます。

○ 遠隔授業における学生との双方向性の強化に引き続き取り組みます。
- 自ら手を挙げて意見や質問を述べることに躊躇する学生の価値観に配慮しながらも、専門職としてチーム医療の一員になるための学修として、学生がチームにおける役割を果たす姿勢を学修していけるよう工夫します。
- 授業を効果的に受けるための準備学習を含んだ授業への取り組み方について、より丁寧なガイダンスと早期の準備を行います。資料が多くてついていけない、事前の録画視聴の課題が多い、といった意見がみられたことについては、見通しをもって学修に取り組めるよう、シラバスや Web Class を活用し事前学修内容について周知するとともに、資料や事前課題を早期に配信することに努めたいと思います。
- ICT の活用方法やレポート作成等のラーニングスキルを解説した動画を配信していますが、必ずしもアクセス数が多いわけではありません。よりアクセスしやすくする工夫を検討したいと思います。
- 自らの成長が確認できるような評価方法の工夫を継続します。小テストやレポート課題の出し方と内容を共有するとともに、ポートフォリオやディプロマサプリメントの活かし方について検討します。

○ 遠隔授業において対面授業と異なる手続きやスキルを要することに対しては、マニュアルを整備するとともに、教員の ICT 活用能力の育成、また主として非常勤講師に対する授業支援を継続していきます。

○ 特に低学年にみられる意見ですが、重要点をピンポイントで示唆して欲しい、もっと事前に説明してほしかった、等の意見があったことについては、真摯に対応するとともに、高等教育の場として学生の主体性と創造力を育成するため、

高校までの授業とは異なり、単語の暗記ではなく理論の理解を求められているということや、試行錯誤に取り組む意義について理解が得られるよう、ガイダンスや授業での説明を行っていきます。

○ 実習については、With コロナを前提とし、臨地での実習受け入れ状況が Covid-19 感染の波に対応して変更されることに対応できる効果的な実習方法を探索していきます。
- 状況に応じた複数の実習パターンを準備し、どのパターンでも学修目標が達成できるような方法を探索します。
- 臨地前後の学内での実習を、他科目や他大学の事例を参考にしながら追求します。
- 臨地と協働し遠隔での実習の質を高めます。
- 前提となる前学期の科目との連動をより充実させ、短期間にならざるを得ない臨地での学修がより有効なものとなるよう工夫します。
- 実習全体を見通し、既習の実習科目において臨地での実習ができなかった学生に対する実習展開の工夫を行います。
- これらを実現するために、基本となる教員間での連携と相談体制を充実させます。

○ 大学におけるすべての活動において、引き続き Covid-19 感染への対応が必要です。医療専門職の育成を行う大学として、With コロナが当然のこととして実施していけるよう、感染管理に関するガイダンスを充実させていくとともに、授業内容にも取りこむことを検討します。加えて、授業運営方法と学修環境を点検し、改善をはかります。

○ 授業評価への回答者数が少ないことについては、すでに授業終了時に授業評価を行うよう声掛けをするという対策をとり、授業評価が確かな改善につながるよう努力をしています。加えて、授業評価の意義を伝え、授業と学ぶ環境は教職員と学生とが共に創っていくものであるという文化の醸成に活かしていきます。

４．その他

○ 千葉看護学部では令和 3 年度に初めて 1～4 年生がそろい、全学年を通した授業評価を得ることができました。
○ Covid-19 感染状況の波を見越した授業形態の調整もスムーズに進むようになり、医療系大学としての感染対策の徹底についても、教職員、学生共に真摯に取り組めていると考えます。
○ 加えて、特に非常勤の先生方からは、事務職員からのサポートに対する感謝の意見が多く聞かれていました。
○ 一方で Covid-19 感染に伴う準備作業の増加、当日の対応教員が複数必要なこと、出席停止学生への緊急対応の必要性等が生じています。引き続き、ガイダンスの充実に努めマニュアル整備を行っていきたいと考えます。加えて、学生の皆さんにも、このような配慮があるからこそ、有意義な授業が展開されてい

るということを知っていて欲しいと思います。

○ With コロナの時代にあっても萎縮せず、学生の関心や努力に応じて、のびのびと学びあい新たな知見を創り出していく環境を、学生・教職員で協力し追求していきたいと考えます。

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○全科目数　141科目　　○調査対象者数　8,619人（延人数）
○総回答数　　6,992 件（回答率 81.1％）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果

〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	(52.0)	(38.6)	(7.4)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	60.3	32.7	5.4	1.5	0.1	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(66.9)	(27.6)	(4.5)	(0.7)	(0.3)	0.0	(100)
	75.9	20.2	3.1	0.6	0.2	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(59.8)	(33.2)	(5.5)	(1.2)	(0.2)	0.0	(100)
	66.0	28.5	4.5	0.9	0.1	0.0	100
計	(59.6)	(33.1)	(5.8)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	67.4	27.1	4.4	1.0	0.1	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(45.9)	(42.7)	(8.3)	(2.5)	(0.6)	0.0	(100)
	52.8	38.7	6.4	1.7	0.3	0.0	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(58.7)	(33.6)	(5.7)	(1.5)	(0.6)	0.0	(100)
	67.2	27.7	4.1	0.8	0.2	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(57.3)	(33.5)	(7.1)	(1.5)	(0.5)	0.0	(100)
	65.7	28.0	5.0	1.0	0.3	0.0	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(60.9)	(31.4)	(6.0)	(1.2)	(0.5)	0.0	(100)
	69.5	25.7	4.0	0.6	0.2	0.0	100
計	(55.7)	(35.3)	(6.8)	(1.7)	(0.6)	0.0	(100)
	63.8	30.0	4.9	1.1	0.2	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(43.4)	(36.1)	(16.0)	(3.0)	(1.5)	0.0	(100)
	55.0	30.5	11.6	2.0	0.8	0.0	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(59.8)	(29.1)	(9.2)	(1.2)	(0.6)	0.0	(100)
	69.9	25.0	4.2	0.7	0.2	0.0	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(55.6)	(29.5)	(10.4)	(2.9)	(1.5)	0.0	(100)
	69.9	24.0	4.6	1.2	0.3	0.0	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(49.7)	(32.7)	(13.1)	(3.0)	(1.5)	0.0	(100)
	62.0	27.7	8.1	1.7	0.5	0.0	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(56.5)	(31.6)	(8.5)	(2.5)	(1.0)	0.0	(100)
	67.6	25.5	4.9	1.5	0.5	0.0	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(64.0)	(27.1)	(6.8)	(1.5)	(0.6)	0.0	(100)
	75.2	21.2	3.0	0.4	0.1	0.0	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(48.6)	(32.8)	(14.0)	(3.2)	(1.3)	0.0	(100)
	60.7	28.1	8.1	2.4	0.6	0.0	100
計	(54.0)	(31.3)	(11.2)	(2.5)	(1.1)	0.0	(100)
	65.8	26.0	6.3	1.4	0.4	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(47.5)	(30.8)	(12.6)	(6.2)	(2.9)	0.0	(100)
	59.7	22.8	9.9	4.3	3.3	0.0	100
17(16) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(51.8)	(36.1)	(8.7)	(2.5)	(0.8)	0.0	(100)
	63.7	29.4	5.3	1.3	0.3	0.0	100
計	(49.6)	(33.5)	(10.6)	(4.4)	(1.9)	0.0	(100)
	61.7	26.1	7.6	2.8	1.8	0.0	100
全質問項目の平均	(54.7)	(33.3)	(8.6)	(2.4)	(1.0)	0.0	(100)
	64.7	27.3	5.8	1.6	0.7	0.0	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

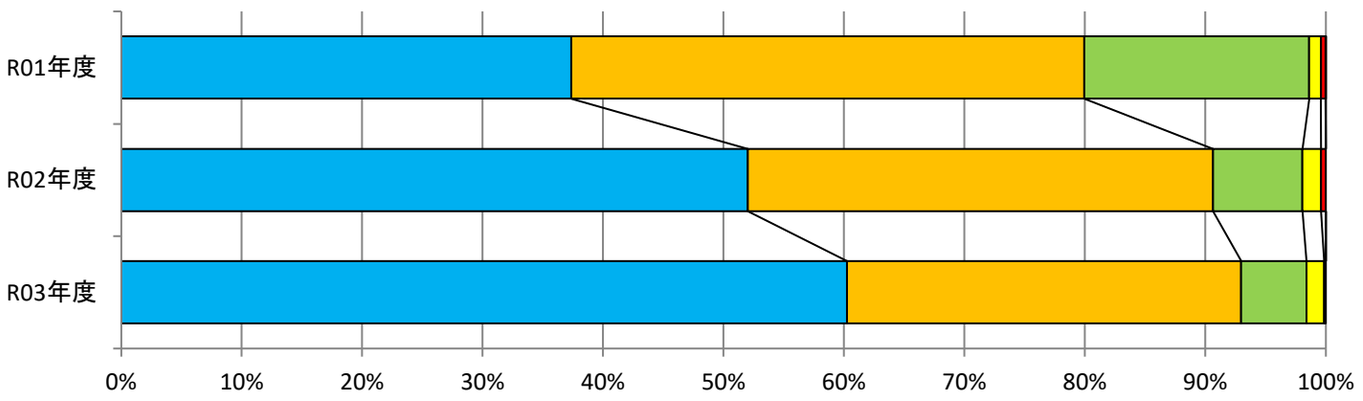
	30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	44科目	80科目	101科目	141科目
調査対象者数	3134人	6093人	7,626人	8,619人
総回答数（回答率）	3038枚（96.9%）	5,955枚（97.7%）	7,424件（97.4%）	6,992件（81.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

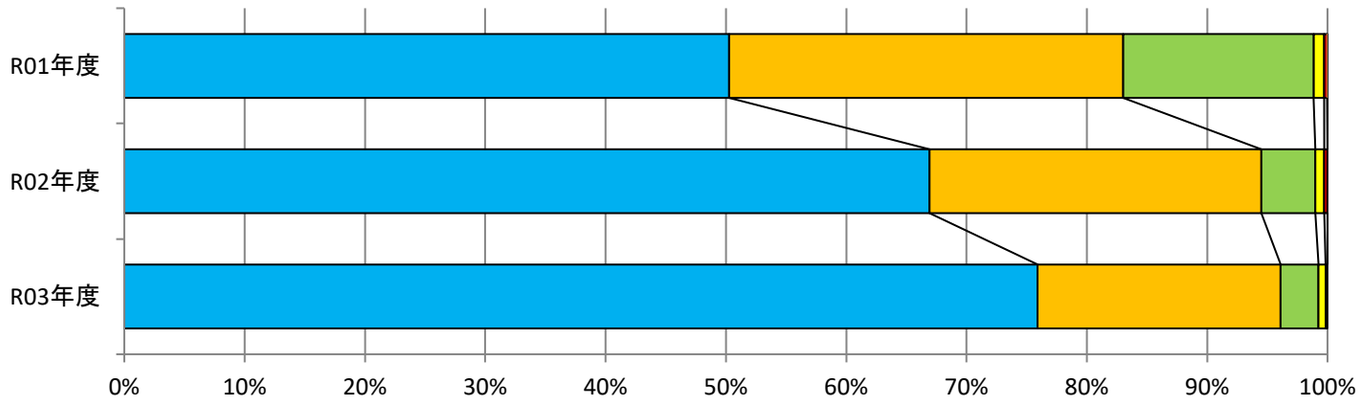
Ⅰ　あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



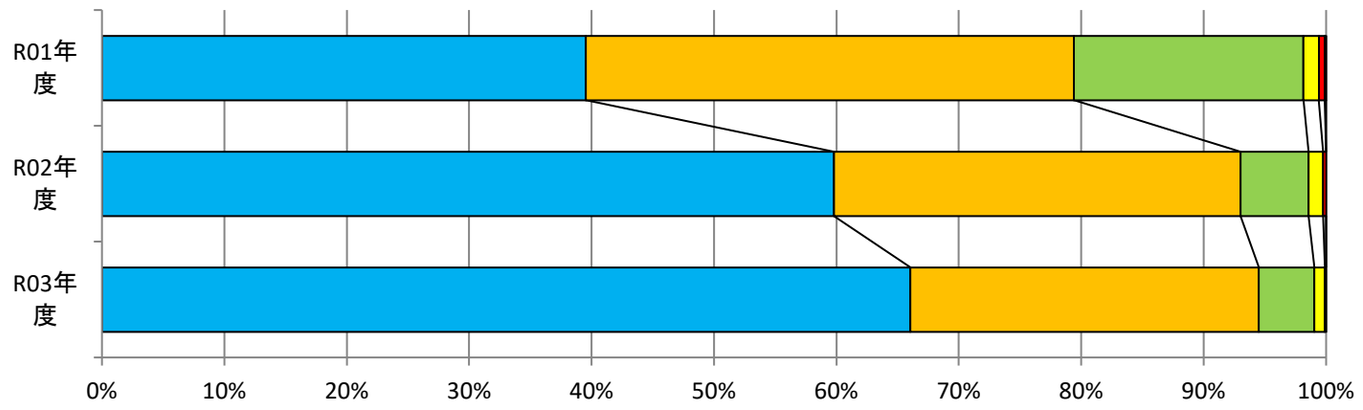
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.3	42.6	79.9	－
52.0	38.6	90.6	＋ 10.7
60.3	32.7	93.0	＋ 2.4

2(2) 積極的に出席したと思うか。



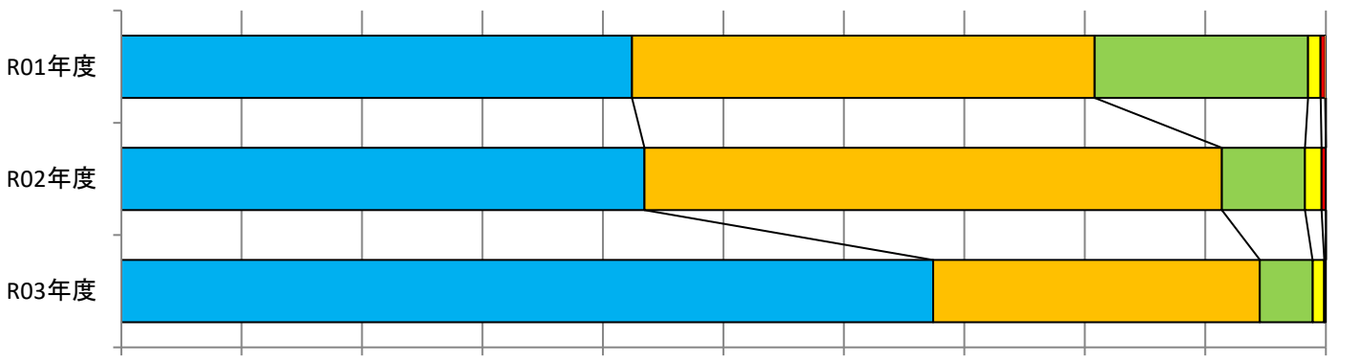
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.3	32.8	83.1	－
66.9	27.6	94.5	＋ 11.5
75.9	20.2	96.1	＋ 1.6

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.5	39.9	79.4	－
59.8	33.2	93.0	＋ 13.6
66.0	28.5	94.5	＋ 1.5

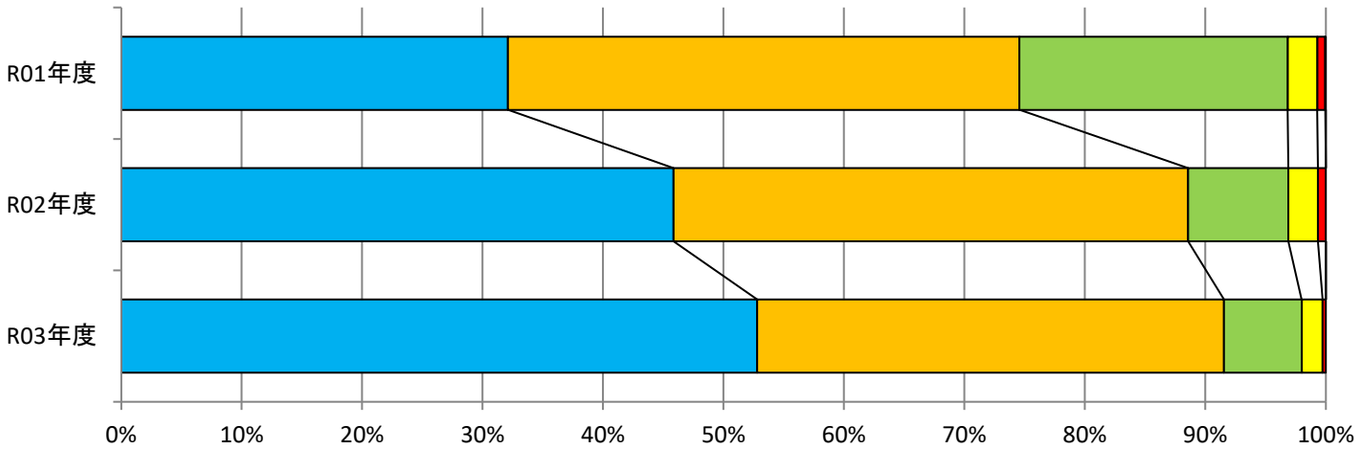
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.4	38.4	80.8	－
36.6	40.4	77.0	△ 3.8
67.4	27.1	94.5	＋ 17.5

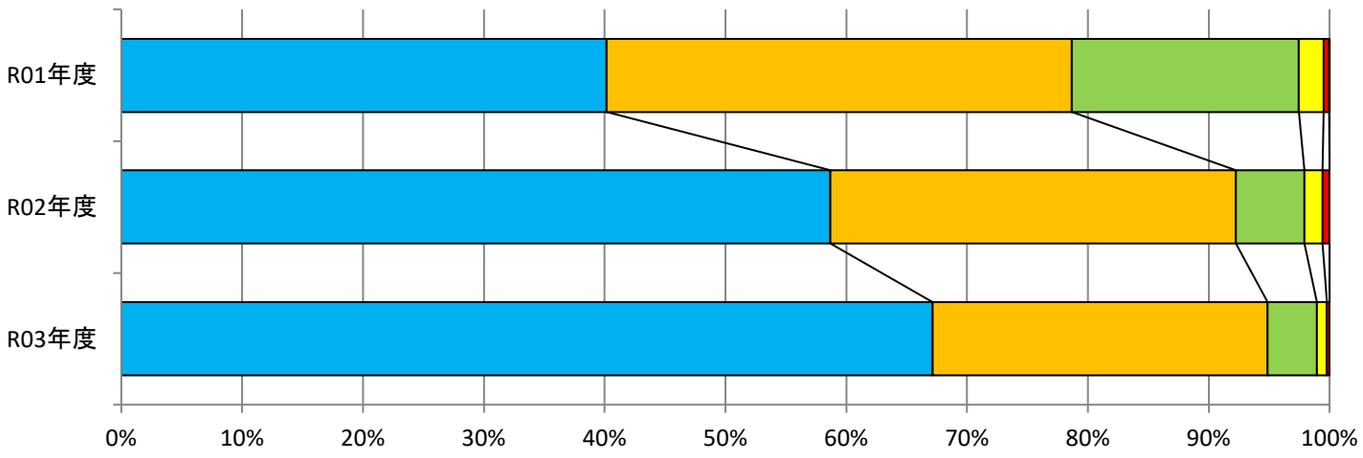
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



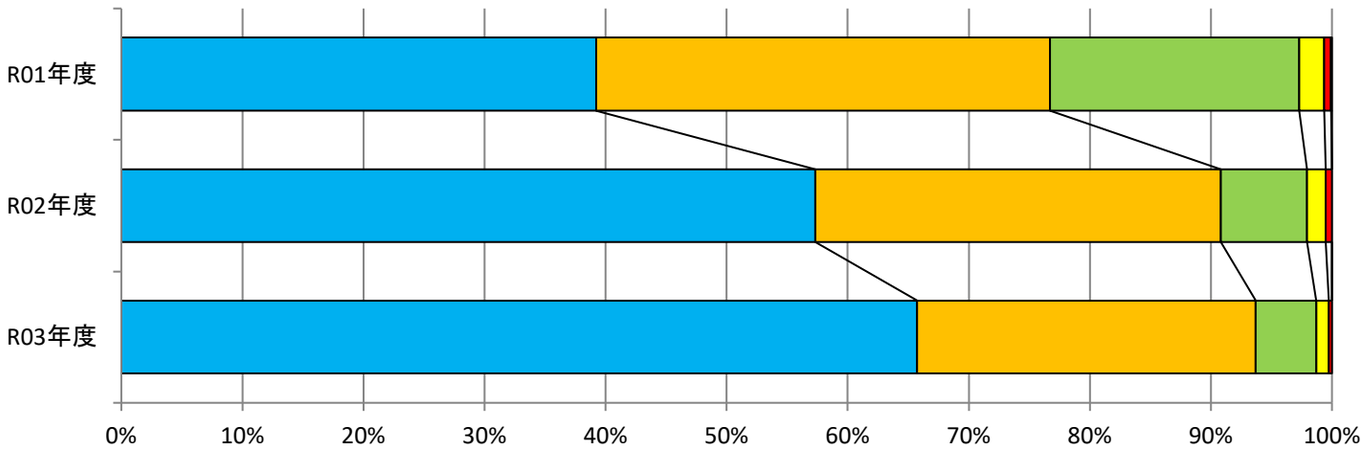
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.1	42.4	74.5	－
45.9	42.7	88.6	＋ 14.1
52.8	38.7	91.5	＋ 3.0

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



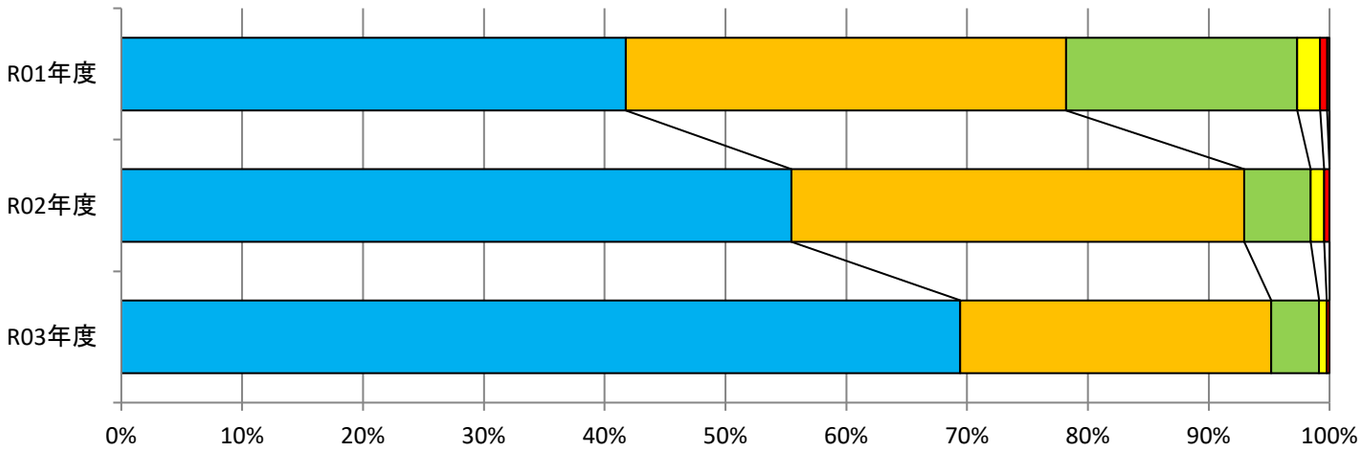
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.2	38.5	78.7	－
58.7	33.6	92.3	＋ 13.6
67.2	27.7	94.9	＋ 2.6

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



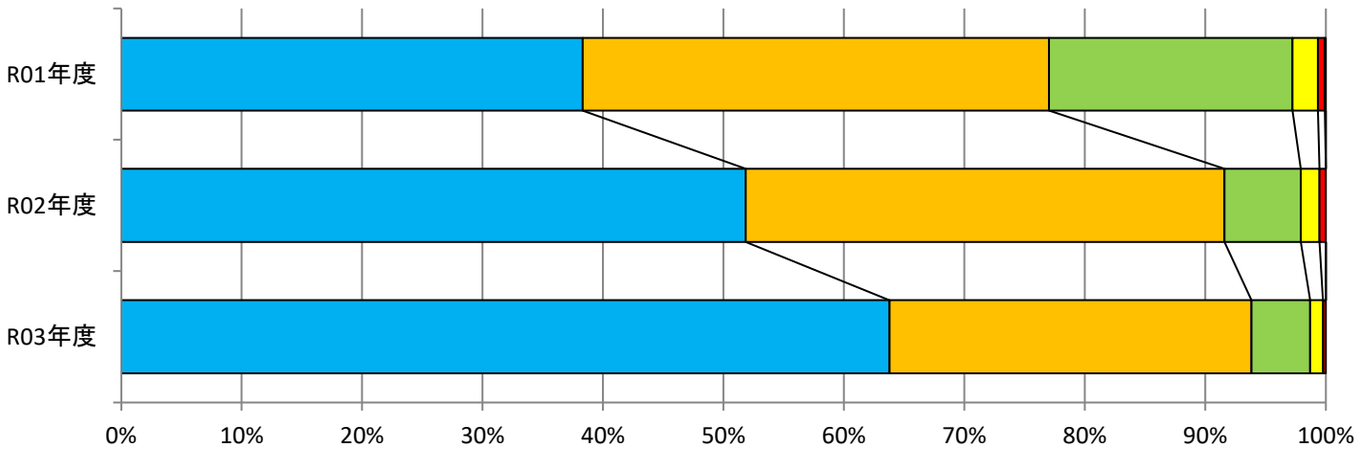
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.2	37.5	76.7	－
57.3	33.5	90.8	＋ 14.1
65.7	28.0	93.7	＋ 2.9

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.8	36.4	78.2	－
60.9	41.1	102.0	＋ 23.8
69.5	25.7	95.2	△ 6.8

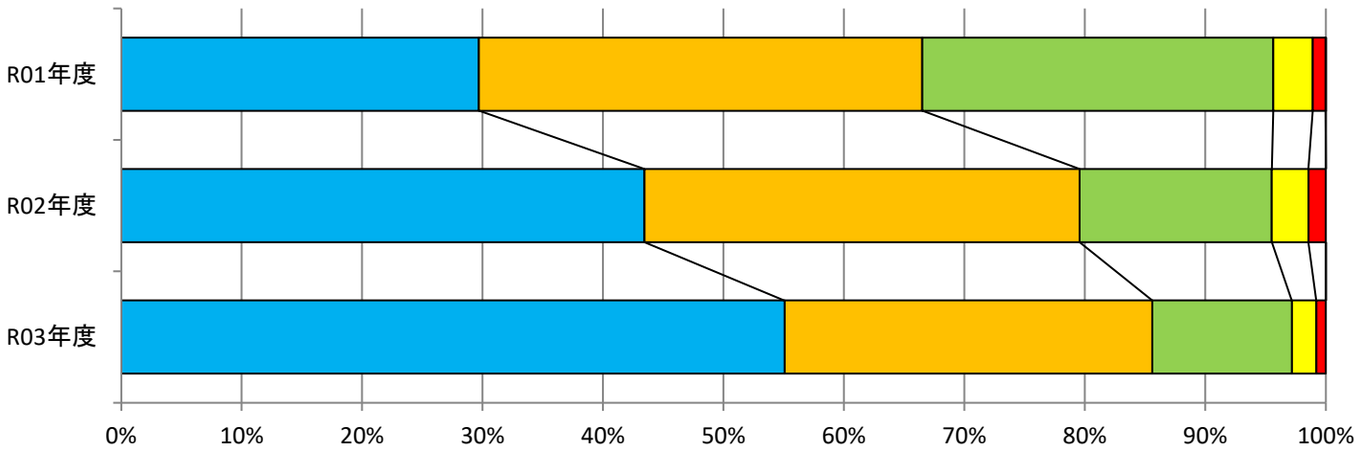
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	38.7	77.0	－
55.7	42.7	98.4	＋ 21.4
63.8	30.0	93.8	△ 4.6

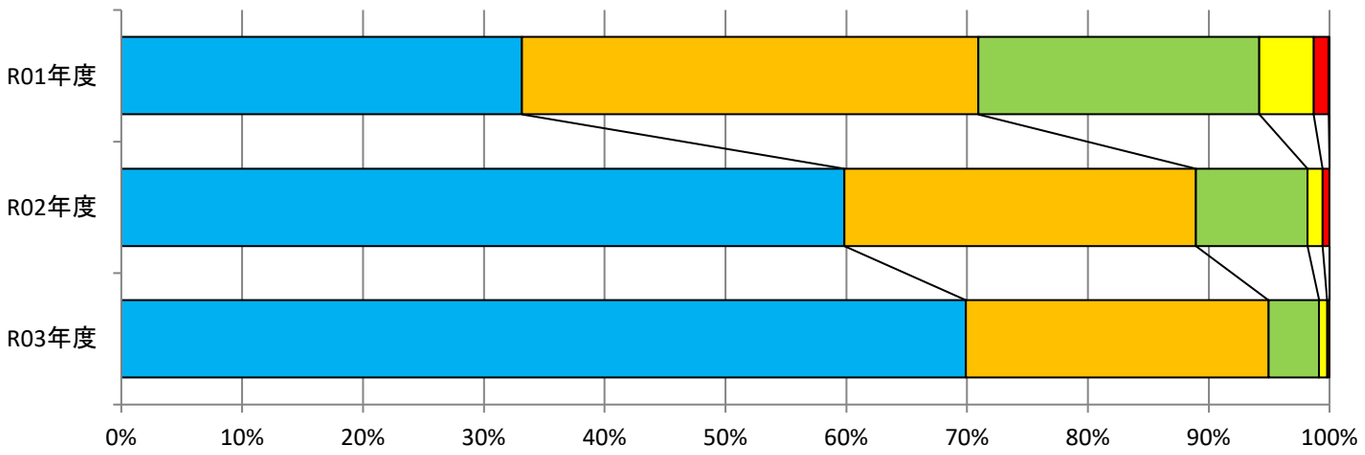
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



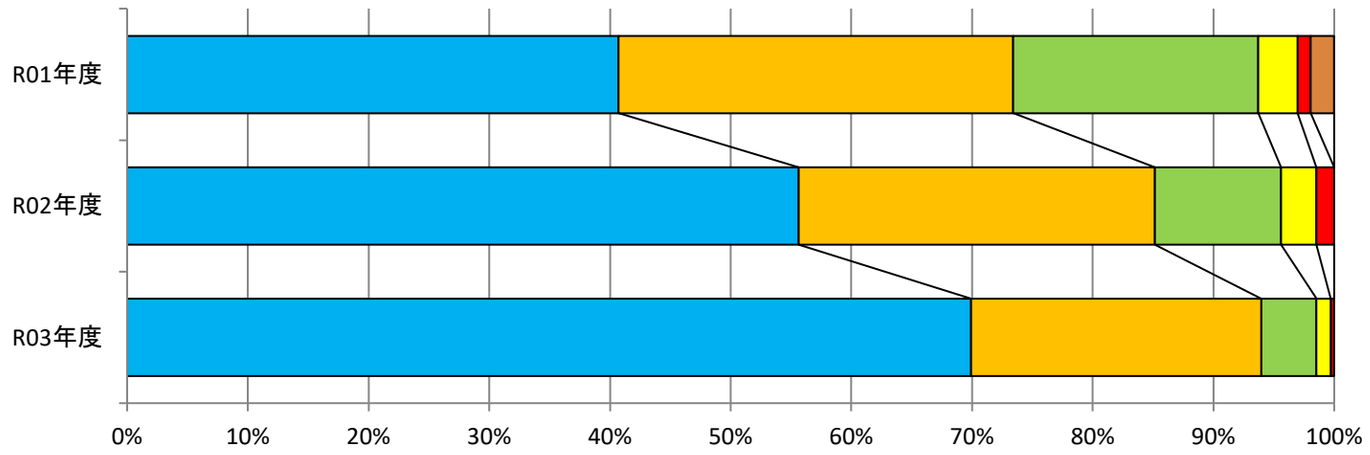
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.7	36.8	66.5	－
43.4	36.1	79.5	＋ 13.0
55.0	30.5	85.6	＋ 6.1

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



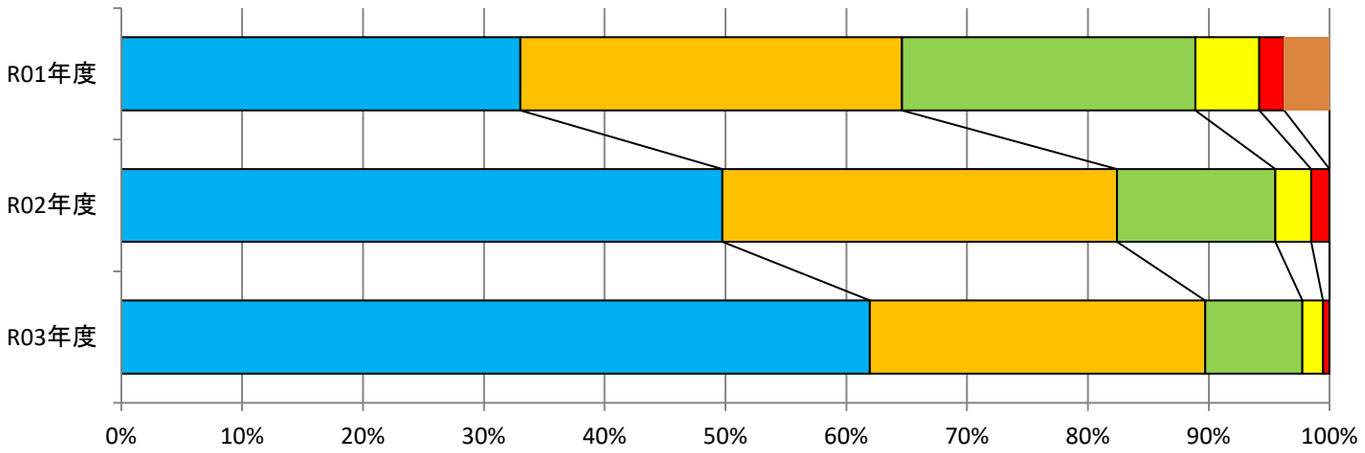
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.2	37.7	70.9	－
59.8	29.1	89.0	＋ 18.0
69.9	25.0	94.9	＋ 6.0

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



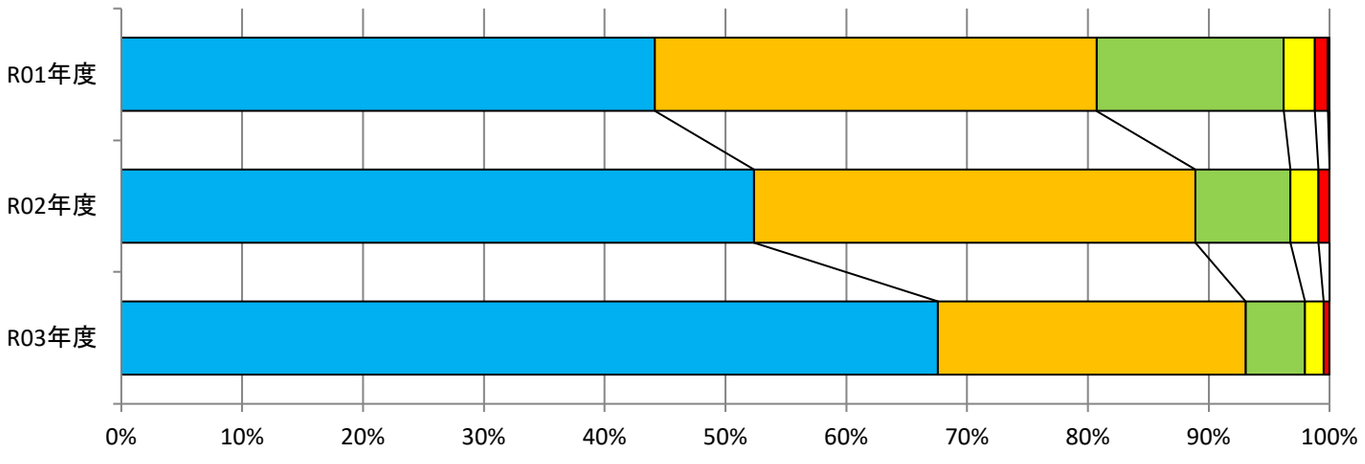
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.7	32.7	73.4	－
55.6	29.5	85.2	＋ 11.7
69.9	24.0	94.0	＋ 8.8

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



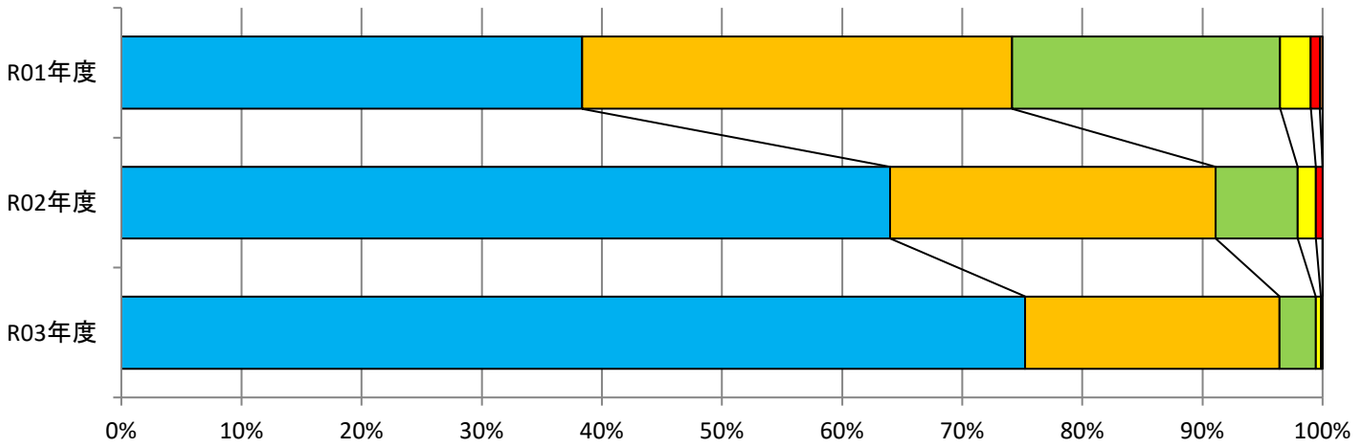
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.0	31.5	64.5	－
49.7	32.7	82.4	＋ 17.9
62.0	27.7	89.7	＋ 7.3

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



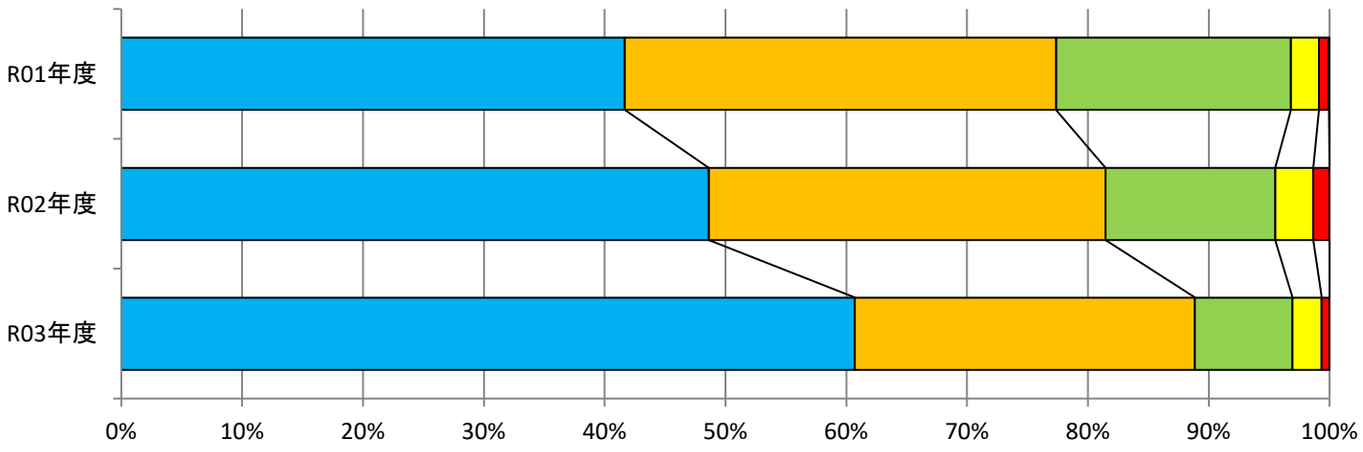
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.2	36.5	80.7	－
56.5	39.4	95.9	＋ 15.2
67.6	25.5	93.0	△ 2.8

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



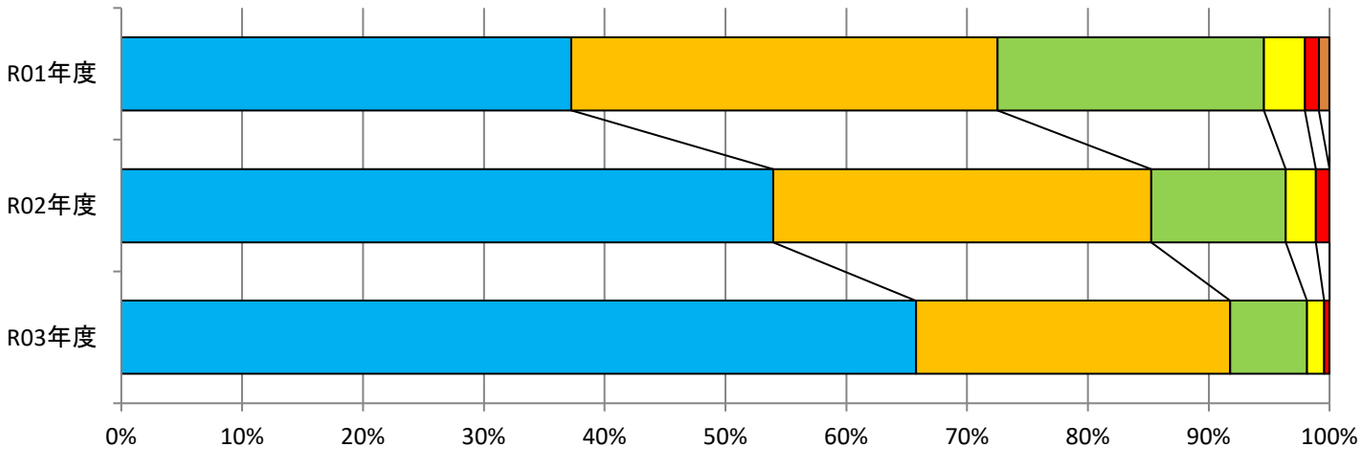
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.4	35.8	74.2	-
64.0	27.1	91.1	＋ 16.9
75.2	21.2	96.4	＋ 5.3

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.7	35.7	77.3	-
48.6	32.8	81.5	＋ 4.2
60.7	28.1	88.9	＋ 7.4

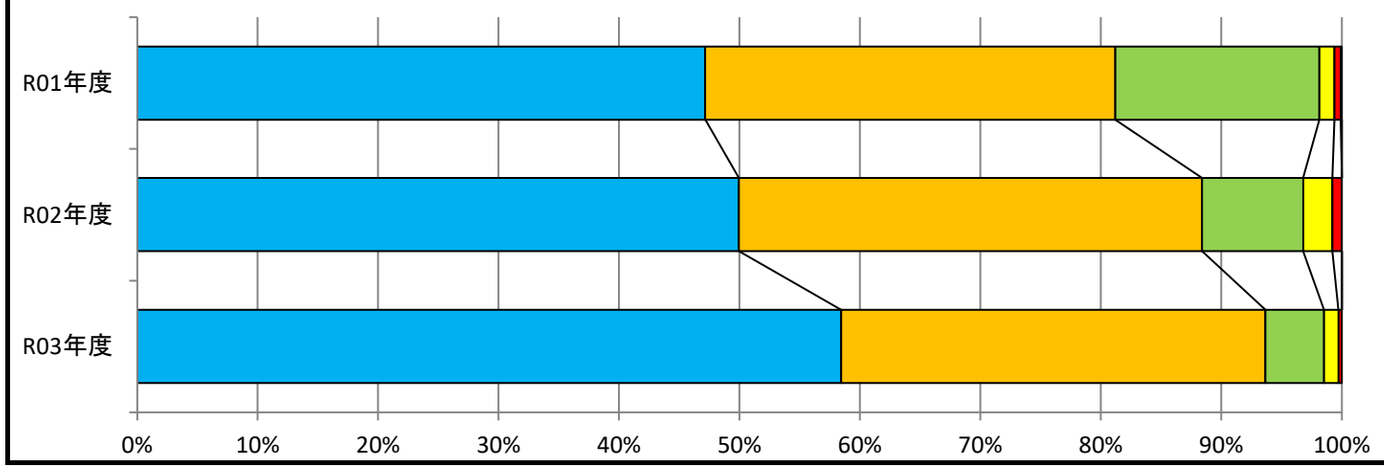
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.2	35.3	72.5	-
54.0	31.3	85.2	＋ 12.7
65.8	26.0	91.8	＋ 6.6

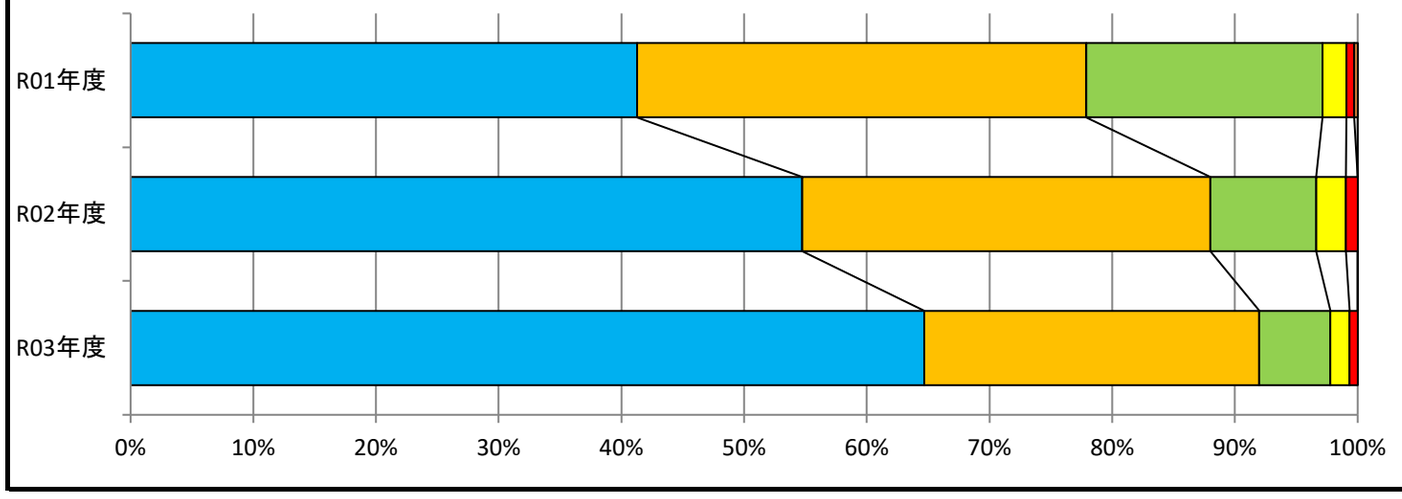
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
47.2	34.0	81.2	-
51.8	39.9	91.7	＋ 10.5
63.7	38.4	102.1	＋ 10.4

全質問項目の平均

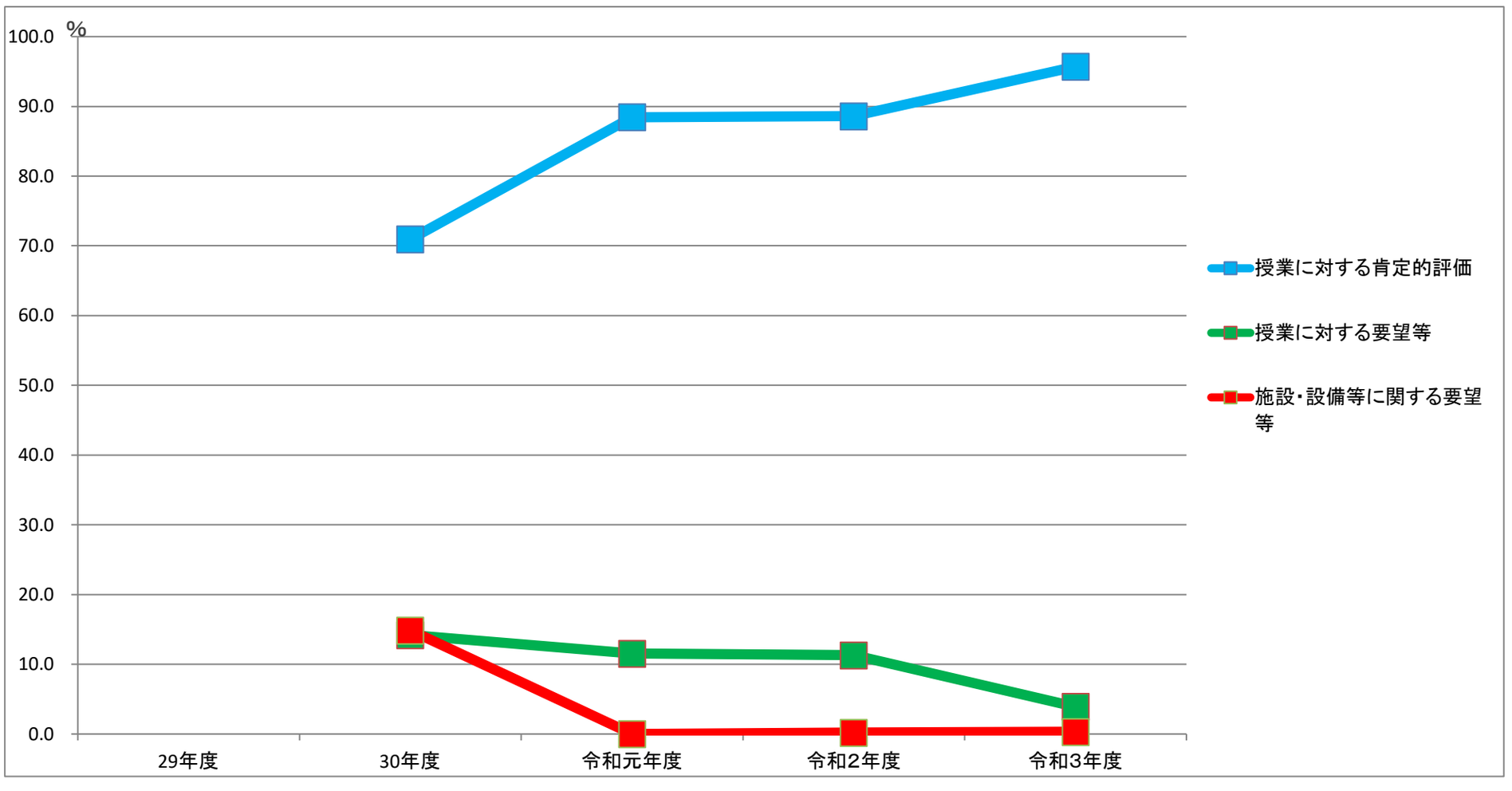


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.3	36.6	77.9	-
54.7	33.3	88.0	＋ 10.1
64.7	27.3	92.0	＋ 4.0

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(88.6%)	480	(95.7%)	1,146
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(11.3%)	61	(3.9%)	47
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.2%)	1	(0.3%)	4
総件数	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	542	(100.0%)	1,197

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	1,146	・ICTリテラシーは主にパソコンを扱う授業なので、あまりパソコンに触れてこなかった私にとって、とても不安な講義でした。しかし講義を受けてみると、内容は分かりやすく、先生方の説明も丁寧で、困った時にはすぐに先生が駆けつけてくれるなど、とてもやりやすかったです。 ・グループワークや発表があって、自分なりに知識をつけることができてとても良かったです。 ・グループ学修で患者のセルフケア支援について患者視点で考えることができました。 ・この科目で自分の意見をきちんと他人に伝えるということができるようになりました。 ・この授業を踏まえ、今後も学んだことをいかしていけるように復習や動画を確認するなどして知識を蓄えておきたい。 ・チャットで回答を送るというのが今までの授業でなかったのでとても新鮮でした。 ・なぜ高齢者が健康問題が多いのかを様々な分野に分けて学ぶことができました。
授業に対する要望等	47	・グループワークでの時間が少なかったと思いました。 ・シラバスに、LGBTについての授業の記述があったので、履修したが変更されてその授業がなかったのは、残念だった。 ・リアルタイムの授業が終わった後に国際看護論の対面授業がある日があり、自宅が遠方なため、1コマ分の授業で大学に来ることはとても効率が悪かったので、時間割の配慮をお願いしたいです。 ・研究を進め始める時期が遅かったので11月、12月に慌ててやることになってしまったのが改善点だと感じました。 ・授業内容と前期試験の間に非常に乖離があってとても困惑しました。
施設・設備等に関する要望等	4	Zoomでの講義の際に音声が聞き取りづらいことが何度かあったのでもっと学校側(講義をされている側の)ネット環境を整えていただければと思います。
計	1,197	

令和３年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○講義・演習科目数　131科目　　○調査対象者数　7,851人（延人数）
○総回答数　　6,322 件（回答率 80.5％）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(52.0) 60.2	(38.5) 32.6	(7.5) 5.5	(1.6) 1.5	(0.4) 0.1	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(66.3) 75.1	(28.1) 20.8	(4.6) 3.3	(0.8) 0.6	(0.3) 0.2	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(59.0) 64.8	(33.8) 29.4	(5.7) 4.7	(1.3) 0.9	(0.3) 0.1	0.0	(100) 100
計	(59.1) 66.7	(33.5) 27.6	(5.9) 4.5	(1.2) 1.0	(0.3) 0.1	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(45.3) 51.6	(42.9) 39.4	(8.5) 6.8	(2.6) 1.9	(0.7) 0.3	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(58.0) 66.3	(34.0) 28.4	(5.8) 4.2	(1.6) 0.9	(0.6) 0.2	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(56.4) 64.7	(34.1) 28.6	(7.3) 5.2	(1.6) 1.1	(0.5) 0.3	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(60.2) 68.8	(31.8) 26.1	(6.1) 4.2	(1.3) 0.7	(0.5) 0.2	0.0	(100) 100
計	(55.0) 62.8	(35.7) 30.6	(7.0) 5.1	(1.8) 1.2	(0.6) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(43.3) 55.6	(36.2) 30.1	(15.9) 11.5	(3.1) 2.0	(1.5) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(59.6) 70.1	(29.2) 24.8	(9.5) 4.1	(1.2) 0.6	(0.6) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(54.8) 69.8	(29.8) 23.9	(10.8) 4.7	(3.1) 1.2	(1.5) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(56.1) 64.4	(25.2) 22.6	(12.7) 9.8	(4.5) 2.4	(1.6) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(62.0) 69.4	(27.1) 23.3	(7.2) 5.2	(2.7) 1.7	(0.9) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(48.4) 61.1	(33.4) 28.2	(13.5) 8.4	(3.0) 1.7	(1.6) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(55.8) 67.4	(32.1) 25.6	(8.6) 4.9	(2.5) 1.5	(1.0) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(63.3) 74.9	(27.6) 21.5	(7.0) 3.1	(1.6) 0.4	(0.6) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(47.4) 59.8	(33.3) 28.4	(14.6) 8.5	(3.2) 2.6	(1.4) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(54.5) 65.8	(30.4) 25.4	(11.1) 6.7	(2.8) 1.6	(1.2) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(47.8) 61.6	(31.2) 22.5	(12.3) 9.3	(6.0) 3.9	(2.8) 2.6	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(51.3) 63.7	(36.4) 29.2	(8.8) 5.4	(2.6) 1.3	(0.9) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(49.5) 62.7	(33.8) 25.9	(10.5) 7.4	(4.3) 2.6	(1.8) 1.5	0.0 0.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(54.5) 64.5	(33.4) 27.4	(8.6) 5.9	(2.5) 1.6	(1.0) 0.6	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

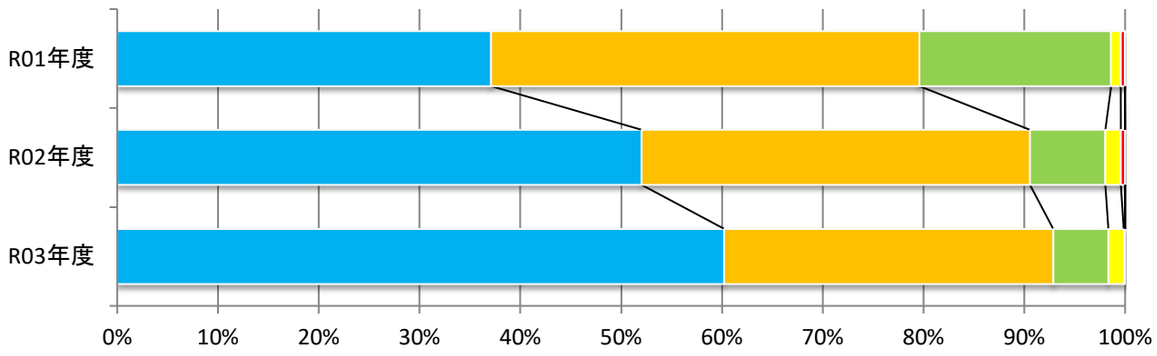
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	78科目	97科目	131科目
調査対象者数	5,880人	7,197人	7,851人
総回答数（回答率）	5,746枚（97.7%）	7,026件（97.6%）	6,322件（80.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

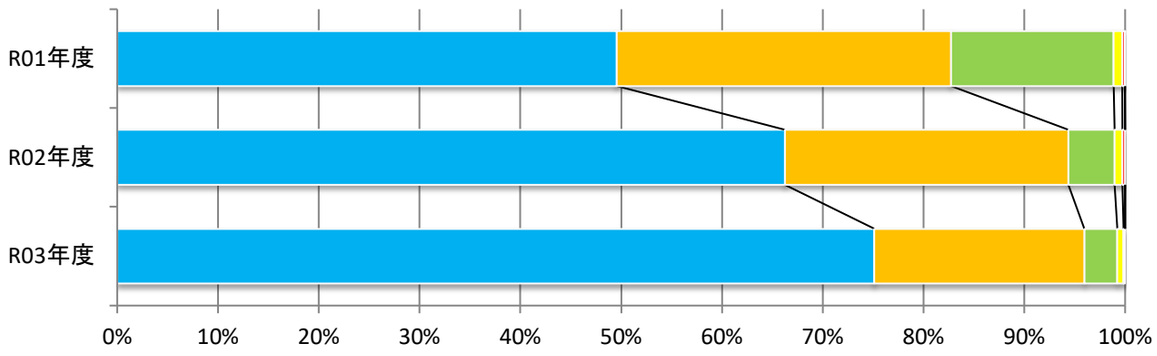
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



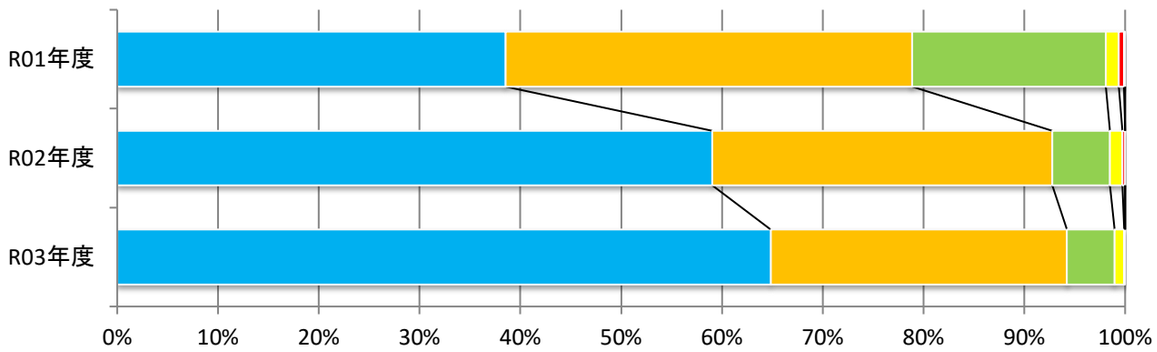
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.1	42.5	79.6	—
52.0	38.5	90.5	＋ 11.0
60.2	32.6	92.9	＋ 2.3

2. 積極的に出席したと思うか。



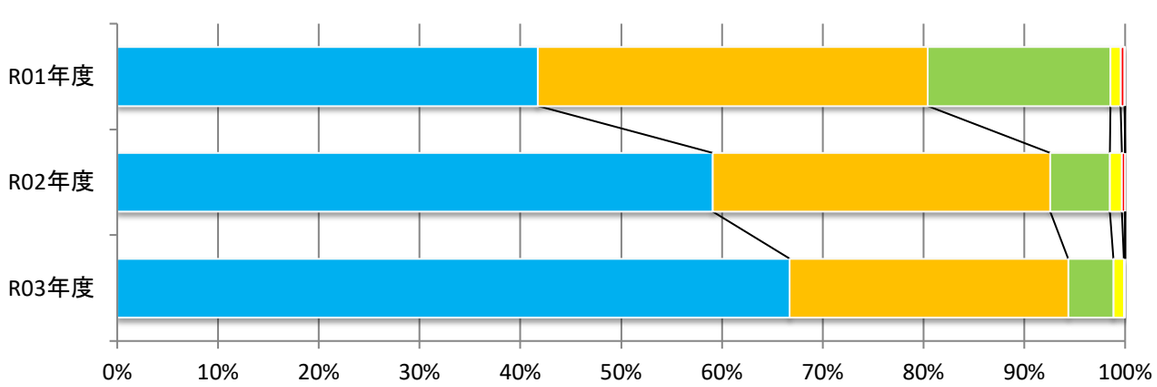
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.5	33.2	82.7	—
66.3	28.1	94.4	＋ 11.7
75.1	20.8	96.0	＋ 1.6

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.6	40.3	78.9	—
59.0	33.8	92.8	＋ 13.9
64.8	29.4	94.2	＋ 1.4

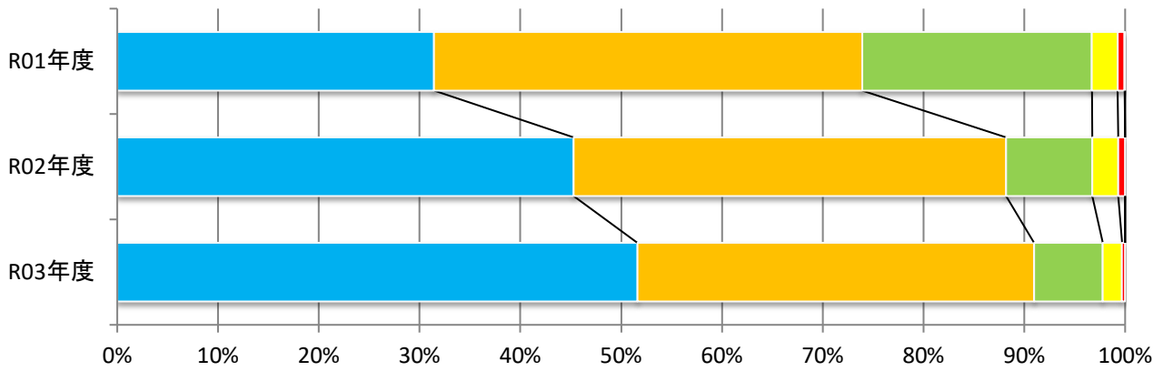
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.7	38.7	80.4	—
59.1	33.5	92.6	＋ 12.2
66.7	27.6	94.3	＋ 1.8

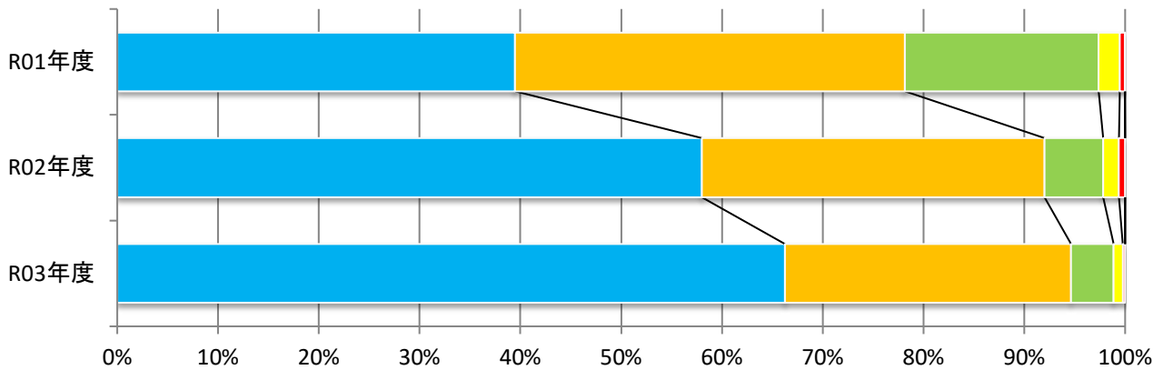
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



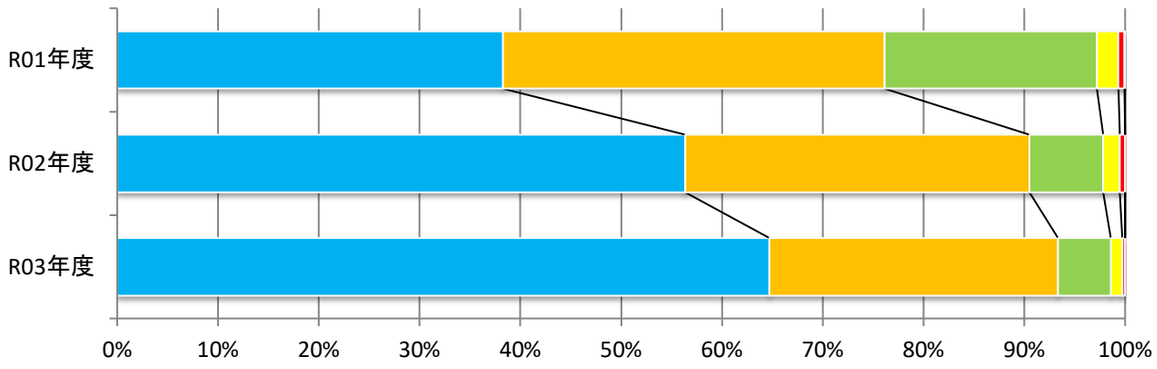
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.4	42.5	73.9	―
45.3	42.9	88.2	＋ 14.3
51.6	39.4	91.0	＋ 2.8

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



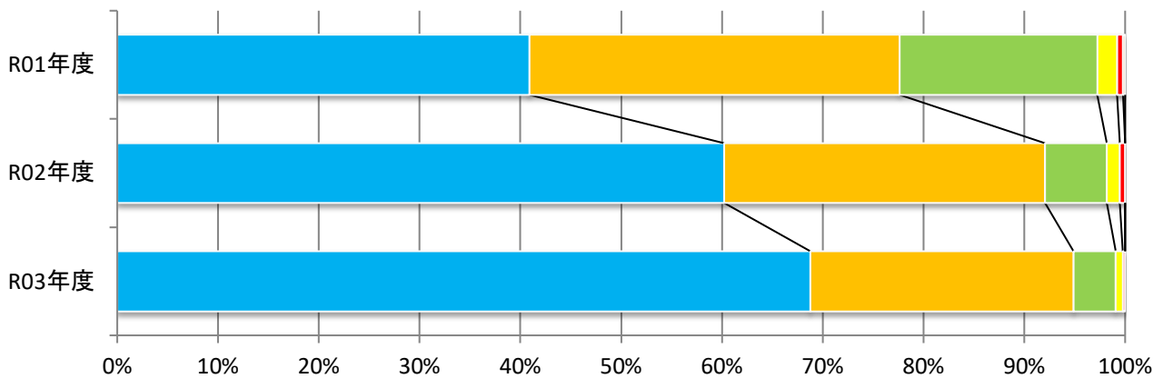
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.5	38.7	78.2	―
58.0	34.0	92.0	＋ 13.8
66.3	28.4	94.6	＋ 2.6

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



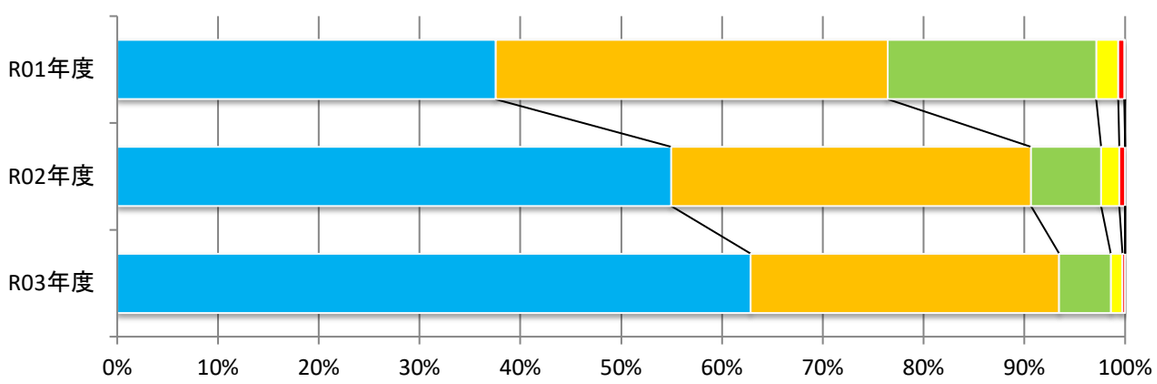
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	37.9	76.1	―
56.4	34.1	90.5	＋ 14.4
64.7	28.6	93.3	＋ 2.8

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.9	36.8	77.7	―
60.2	31.8	92.0	＋ 14.4
68.8	26.1	94.9	＋ 2.8

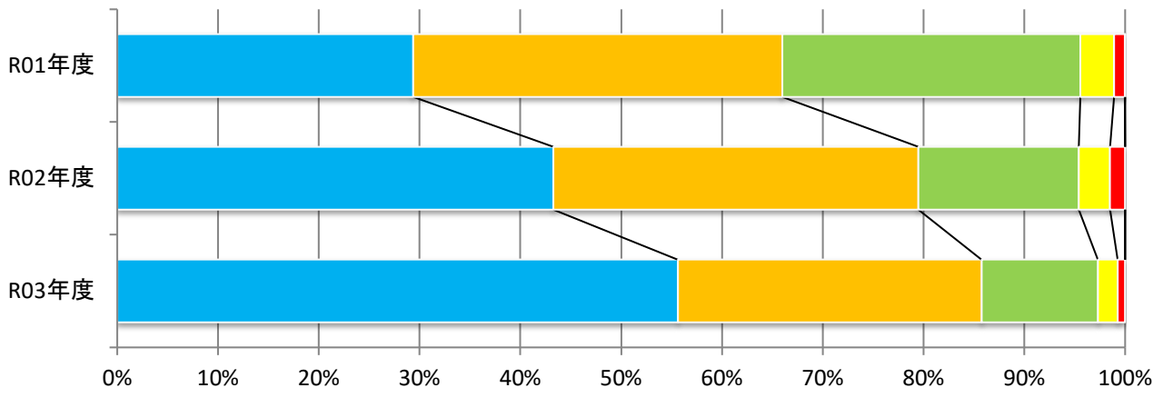
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.5	38.9	76.5	―
55.0	35.7	90.7	＋ 14.2
62.8	30.6	93.5	＋ 2.8

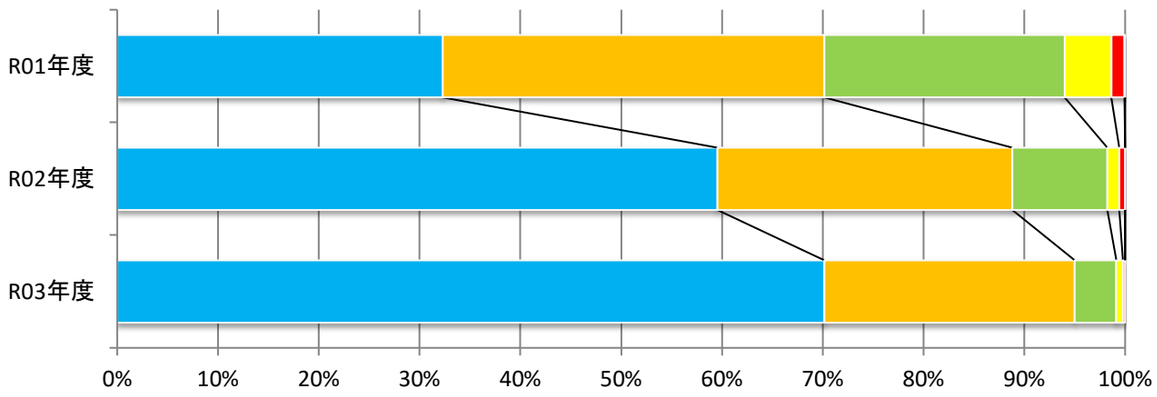
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



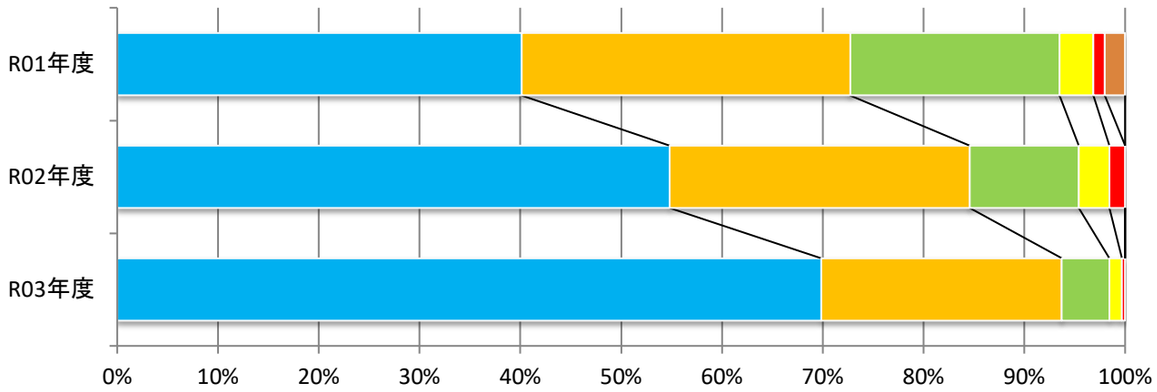
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.4	36.6	66.0	—
43.3	36.2	79.5	＋ 13.5
55.6	30.1	85.8	＋ 6.3

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



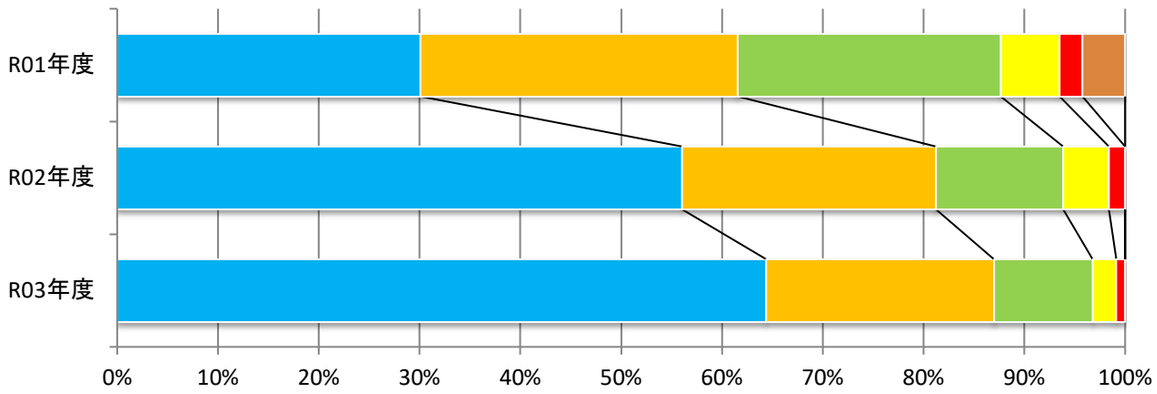
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	37.9	70.2	—
59.6	29.2	88.8	＋ 18.6
70.1	24.8	95.0	＋ 6.2

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



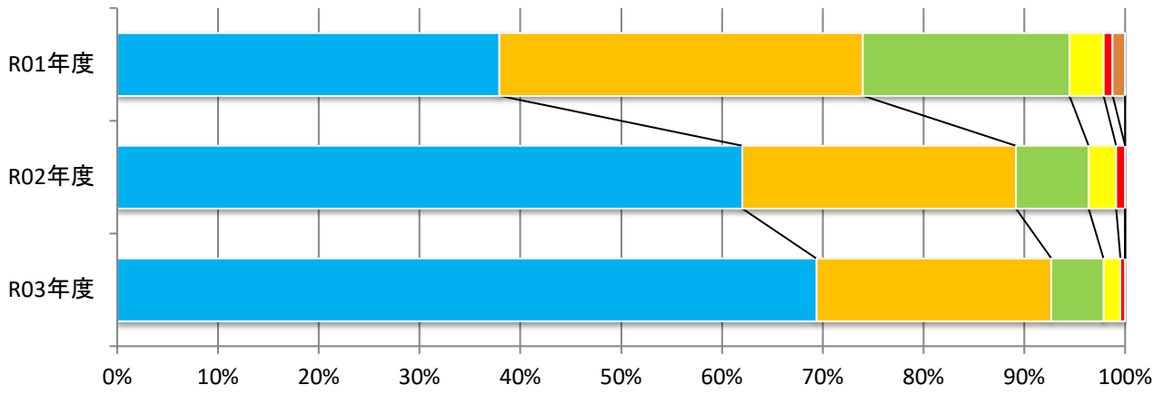
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.1	32.6	72.7	—
54.8	29.8	84.6	＋ 11.9
69.8	23.9	93.7	＋ 9.1

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1　板書であったと思うか。



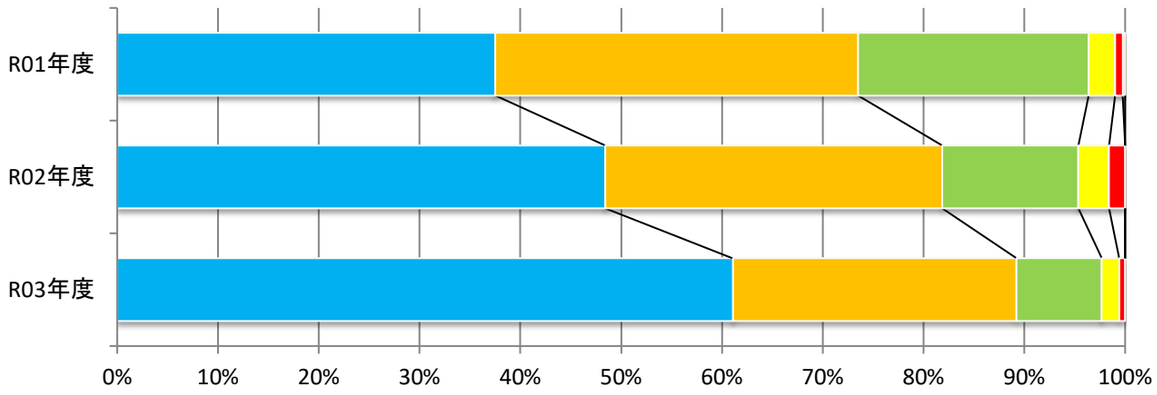
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.1	31.5	61.6	—
56.1	25.2	81.2	＋ 19.6
64.4	22.6	87.0	＋ 5.8

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は -2　わかりやすかったと思うか。



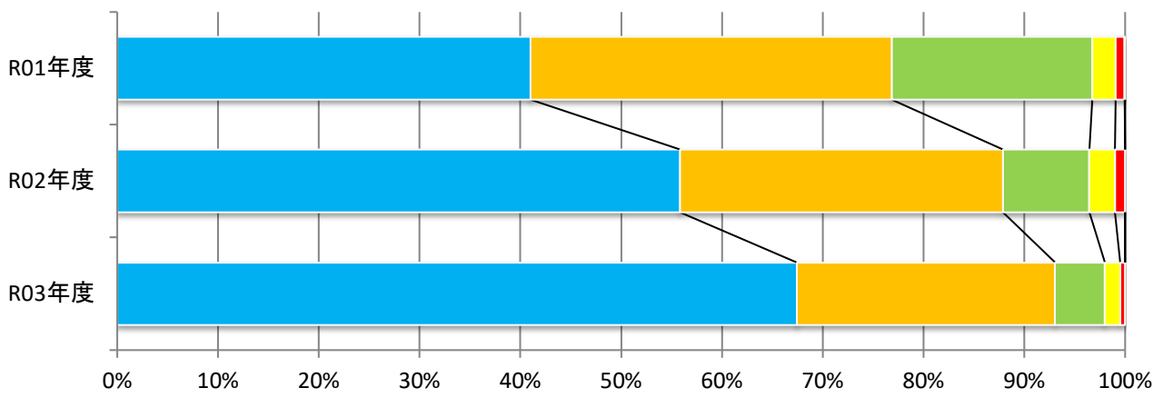
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.9	36.1	74.0	—
62.0	27.1	89.2	＋ 15.2
69.4	23.3	92.7	＋ 3.5

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



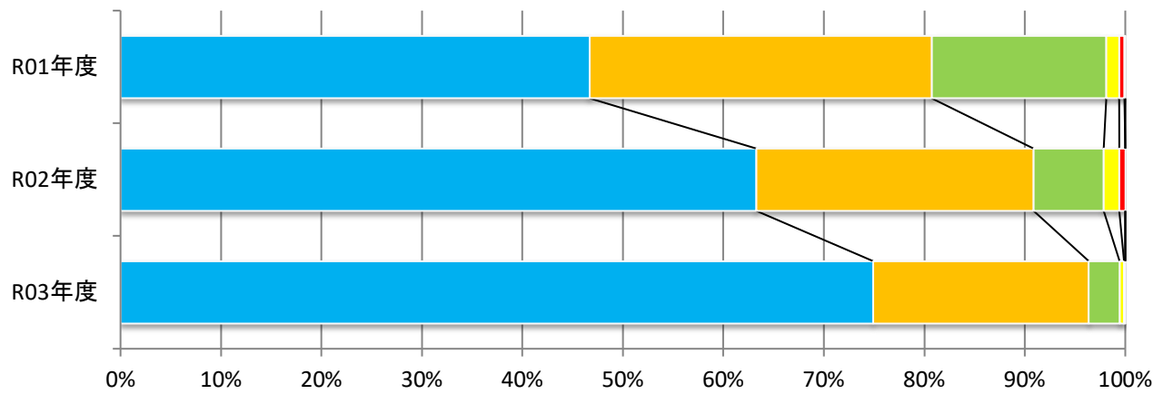
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.5	36.0	73.5	—
48.4	33.4	81.9	＋ 8.3
61.1	28.2	89.2	＋ 7.4

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



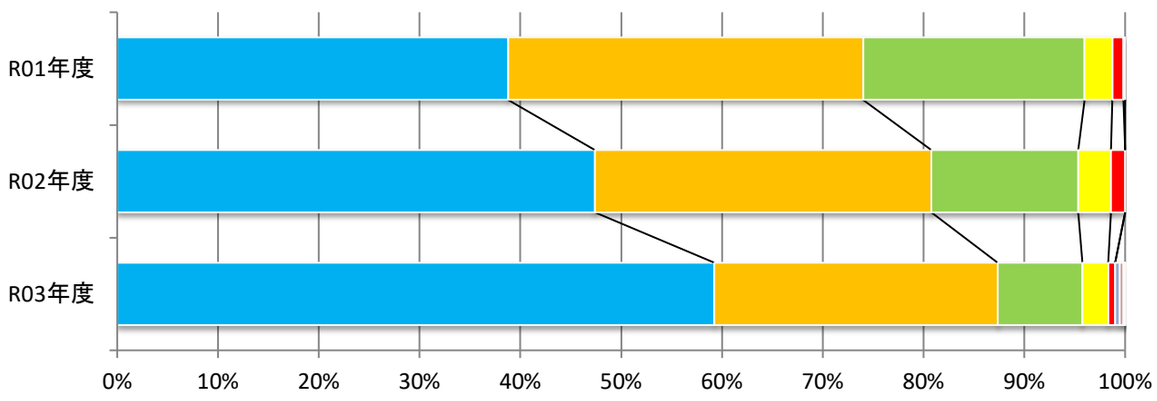
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	35.8	76.8	—
55.8	32.1	87.9	＋ 11.1
67.4	25.6	93.1	＋ 5.2

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



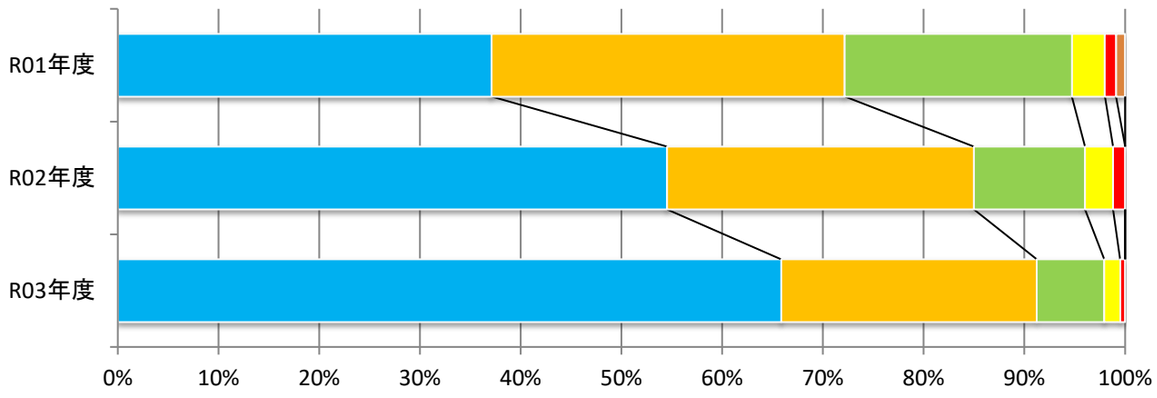
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.7	34.0	80.7	—
63.3	27.6	90.9	＋ 10.1
74.9	21.5	96.4	＋ 5.5

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	35.2	74.0	—
47.4	33.3	80.8	＋ 6.8
59.8	28.4	88.2	＋ 7.5

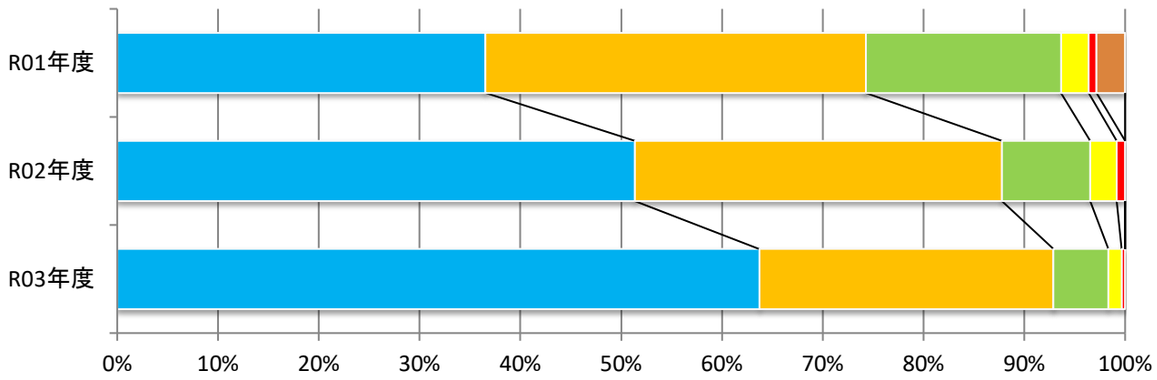
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.1	35.1	72.2	—
54.5	30.4	85.0	＋ 12.8
65.8	25.4	91.2	＋ 6.3

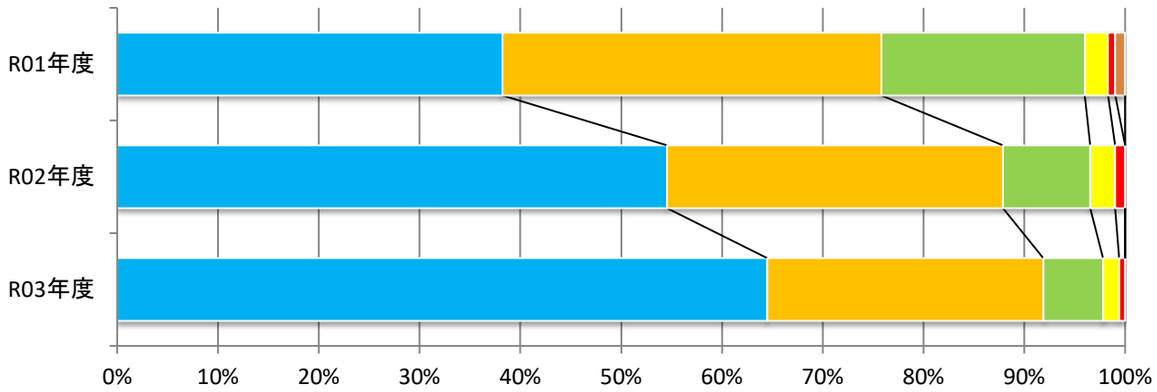
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



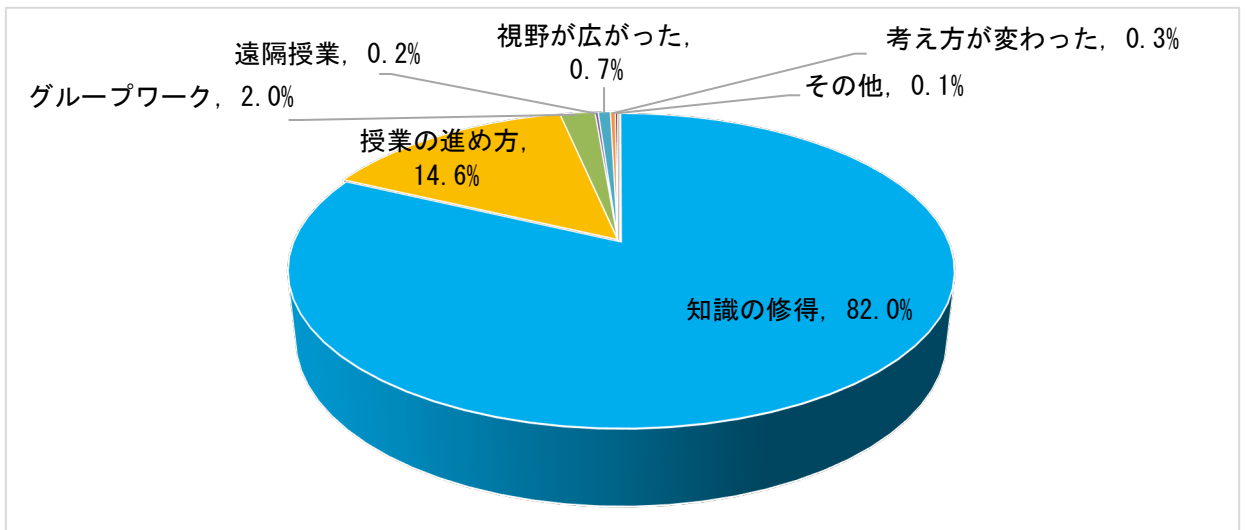
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.6	37.7	74.3	—
51.3	36.4	87.8	＋ 13.5
63.7	29.2	92.9	＋ 5.1

全質問項目の平均



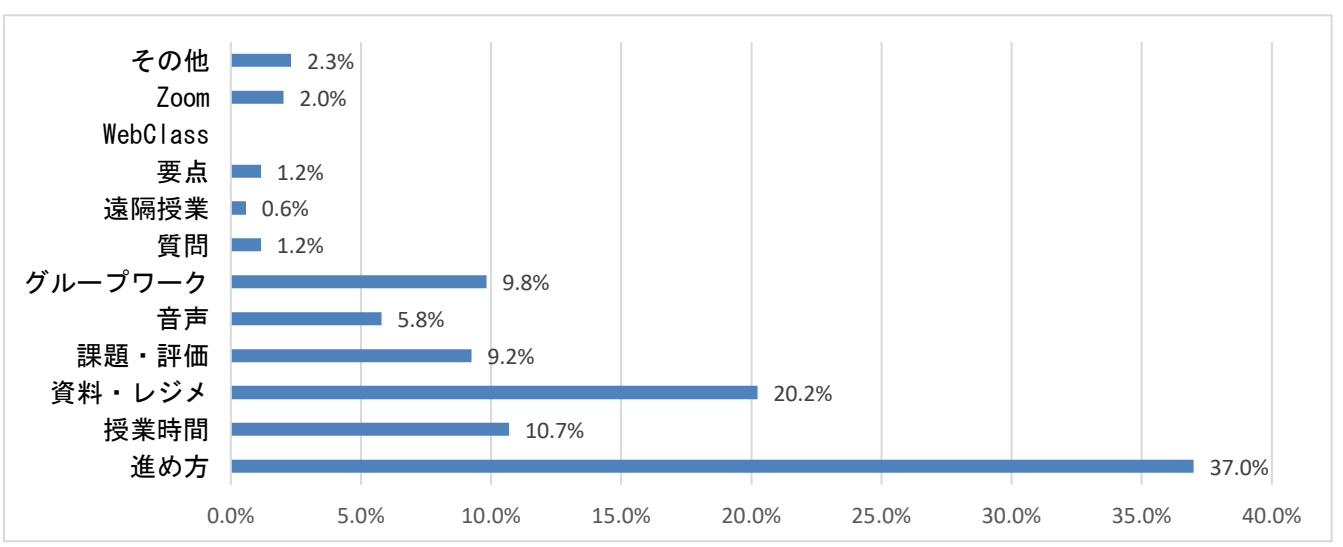
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.2	37.6	75.8	—
54.5	33.4	87.9	＋ 12.1
64.5	27.4	91.9	＋ 4.0

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　2,124】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	治療学総論	49	実際に現役で病院で勤務している医療関係者の話を聞くことができ、臨場感のある授業だと感じた。
			医療のあらゆる分野の内容を学べたことは、難しかったが、これからに活かせる内容だった。
	臨床看護援助論Ⅱ	49	グループワークで一つの疾患について深く学ぶことができたので良かった。
			発展的な学びにつながり、グループ学修を通して疾患の理解が深まり、また患者さんのセルフケアのためにどんな説明や情報提供が必要か学ぶことができてよかったです。
	公衆衛生学	48	看護師だけでなく保健師にも活かすことのできる学びができたこと。過去の国家試験の問題を考えるようにして下さり、試験の重要なポイントを知ることができたこと。
			公衆衛生に関する知識や公衆衛生看護援助論の学習につながるような制度や仕組みを学ぶことができたこと。
	医療における質の保証Ⅰ	44	これから看護を提供する立場になる上で大切なことを学べて良かったです。緊急時の情報伝達のまとめ方を学べて良かったです。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　346】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	ボランティア論	19	スライドを送るスピードが速すぎて、メモが途中になってしまった箇所がたくさんあった。
			配布資料に載っているスライドが少なく、スライドのメモと先生の発言のメモを取っている時間がないので、配布資料に載せるスライドをもう少し増やしてほしいです。
	クリティカルシンキングⅠ	19	教室が大きかったからか、教員の声が後方の席の生徒には聞こえないといった不都合が生じていたため、もっとマイクを効果的に使用する必要があると感じた。
			ホワイトボードで説明をしてくださったことがあったのですが、後ろの方の席では見づらかったので、パワーポイントなどを使って後ろのテレビ画面にも写せるようしてほしかったです
	機能看護学Ⅱ	14	どうしても遠隔で行うことが難しい、やりづらいと感じることが多く、グループワークなどは特に学内受講の方がやりやすかった。
			資料を作る時間があまり足りなかったように感じます。短い時間でやるのは少し難しかったように感じました。
	地域保健・医療の推進	14	EZRの説明などをリアルタイムで行ったため、理解しにくい部分が多かった。対面授業で、みんな共通のデータを用いながら実践形式で行うことができたらさらに理解が深まったのではないかと感じた。
			感染対策で教室を分けるのは仕方ないと思うが、EZRの使い方や発表用資料の作り方など説明内容が教員ごとに異なり統一されていなかったと感じる。

令和３年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○実習・実験科目数　10科目　　○調査対象者数　768人（延人数）
○総回答数　670 件（回答率87.2%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	(51.8)	(40.2)	(6.5)	(1.5)	0.0	0.0	(100)
	60.4	33.6	4.9	0.9	0.1	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(78.4)	(18.8)	(2.8)	0.0	0.0	0.0	(100)
	83.4	14.2	1.9	0.3	0.1	0.0	100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	(73.6)	(23.4)	(2.8)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	77.5	19.7	2.7	0.0	0.1	0.0	100
計	(67.9)	(27.5)	(4.0)	(0.6)	0.0	0.0	(100)
	73.8	22.5	3.2	0.4	0.1	0.0	100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	(56.5)	(38.7)	(4.5)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	64.0	33.0	2.8	0.1	0.0	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(70.6)	(25.9)	(3.5)	0.0	0.0	0.0	(100)
	75.7	21.5	2.7	0.1	0.0	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(73.9)	(22.6)	(3.5)	0.0	0.0	0.0	(100)
	75.5	21.6	2.7	0.1	0.0	0.0	100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(72.4)	(23.6)	(4.0)	0.0	0.0	0.0	(100)
	76.0	22.1	1.8	0.0	0.1	0.0	100
計	(68.3)	(27.7)	(3.9)	(0.1)	0.0	0.0	(100)
	72.8	24.6	2.5	0.1	0.0	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(46.0)	(34.2)	(17.3)	(1.8)	(0.8)	0.0	(100)
	49.6	34.5	11.9	2.7	1.3	0.0	100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(64.6)	(27.4)	(5.3)	(2.8)	0.0	0.0	(100)
	67.6	26.9	4.8	0.7	0.0	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(70.6)	(24.4)	(3.8)	(1.0)	(0.3)	0.0	(100)
	70.9	25.4	3.3	0.4	0.0	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(72.9)	(19.3)	(6.0)	(1.8)	0.0	0.0	(100)
	70.4	23.6	4.3	1.5	0.1	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(67.8)	(22.9)	(6.5)	(2.3)	(0.5)	0.0	(100)
	69.1	23.9	4.8	1.8	0.4	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(76.6)	(18.6)	(4.0)	(0.8)	0.0	0.0	(100)
	78.5	18.5	2.4	0.3	0.3	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	(70.1)	(23.6)	(4.5)	(1.8)	0.0	0.0	(100)
	69.3	25.8	4.0	0.7	0.1	0.0	100
計	(66.9)	(24.3)	(6.8)	(1.7)	(0.2)	0.0	(100)
	67.9	25.5	5.1	1.2	0.3	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(42.7)	(23.9)	(18.3)	(10.3)	(4.8)	0.0	(100)
	41.8	25.1	15.4	8.1	9.7	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(60.3)	(31.2)	(7.5)	(0.8)	(0.3)	0.0	(100)
	63.9	31.0	3.9	1.2	0.0	0.0	100
計	(51.5)	(27.5)	(12.9)	(5.5)	(2.5)	0.0	(100)
	52.8	28.1	9.6	4.6	4.9	0.0	100
全質問項目の平均	(63.7)	(26.8)	(6.9)	(2.0)	(0.7)	0.0	(100)
	66.8	25.2	5.1	1.6	1.3	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

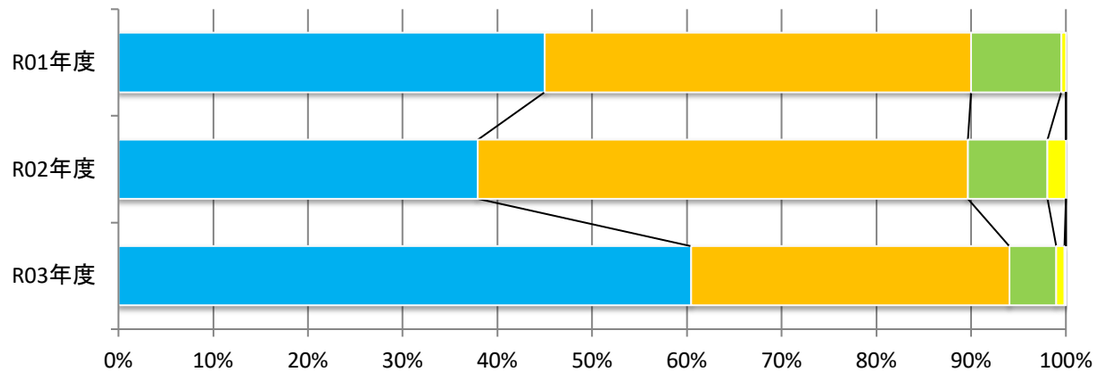
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	2科目	4科目	10科目
調査対象者数	213人	429人	768人
総回答数（回答率）	209枚（98.1%）	398件（92.8%）	670件（87.2%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

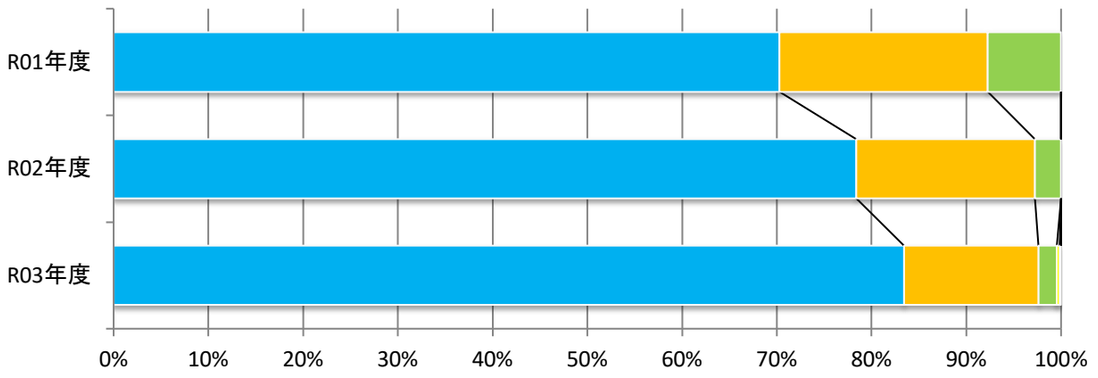
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



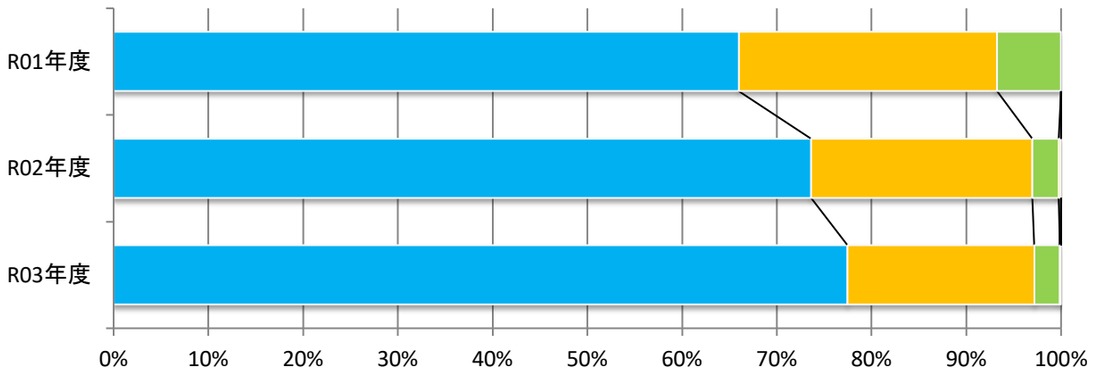
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.0	45.0	90.0	—
29.5	40.2	69.7	△ 20.3
60.4	33.6	94.0	＋ 24.3

2. 積極的に出席したと思うか。



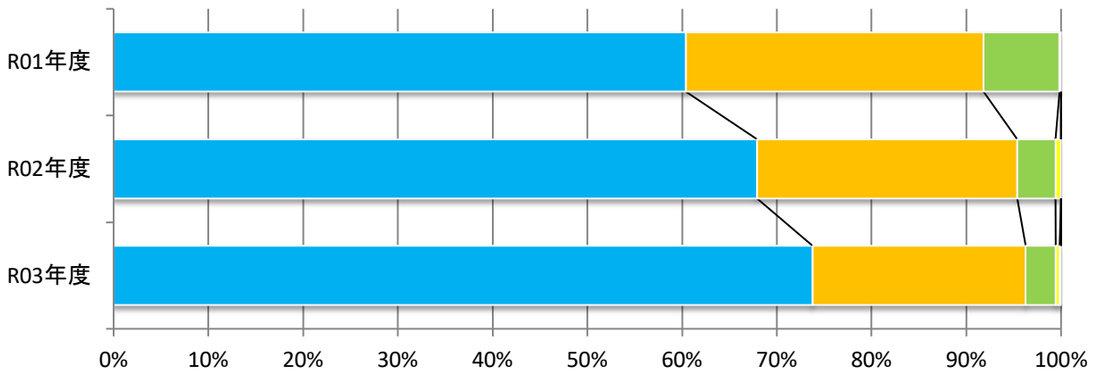
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
70.3	22.0	92.3	—
78.4	18.8	97.2	＋ 4.9
83.4	14.2	97.6	＋ 0.4

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.0	27.3	93.3	—
73.6	23.4	97.0	＋ 3.7
77.5	19.7	97.2	＋ 0.2

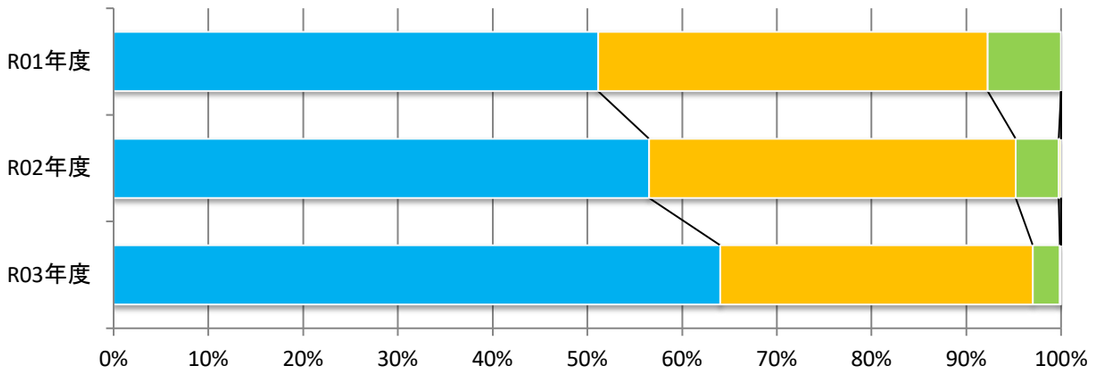
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.4	31.4	91.9	—
67.9	27.5	95.4	＋ 3.5
73.8	22.5	96.3	＋ 0.9

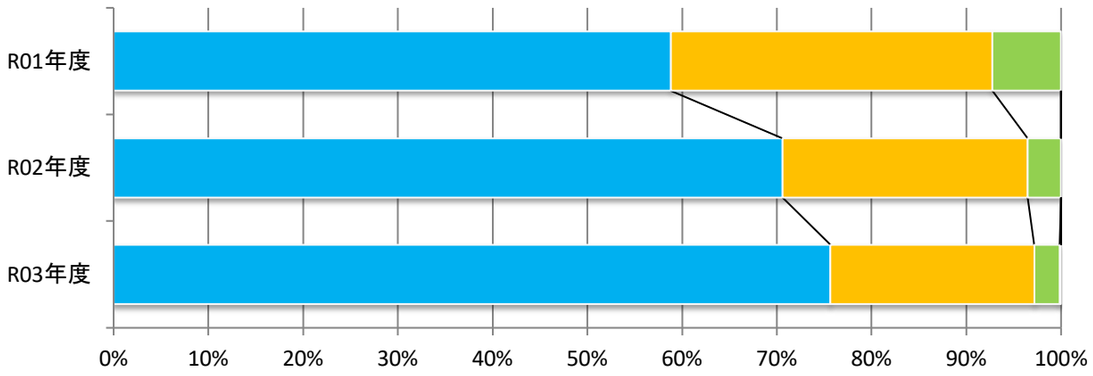
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



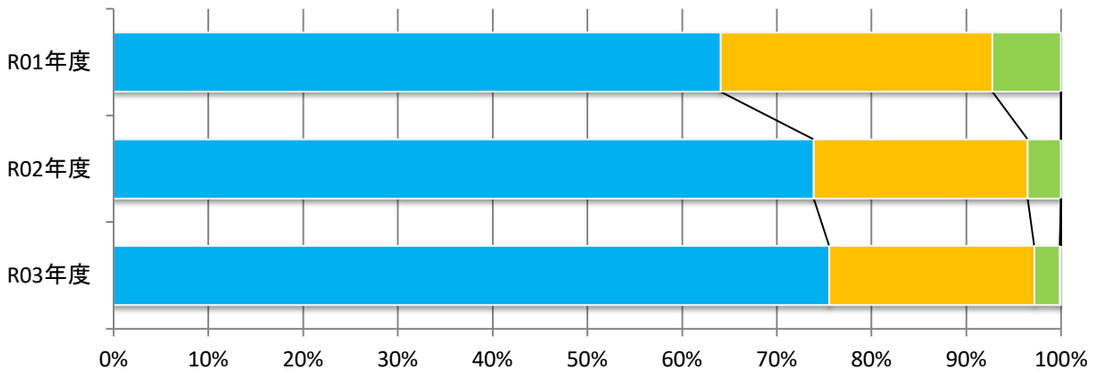
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.2	41.1	92.3	—
56.5	38.7	95.2	＋ 2.9
64.0	33.0	97.0	＋ 1.8

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



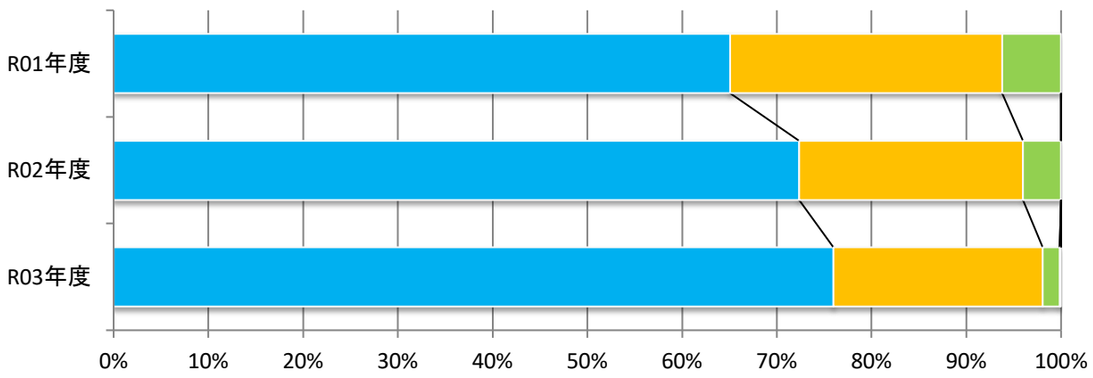
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.8	34.0	92.8	—
70.6	25.9	96.5	＋ 3.7
75.7	21.5	97.2	＋ 0.7

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



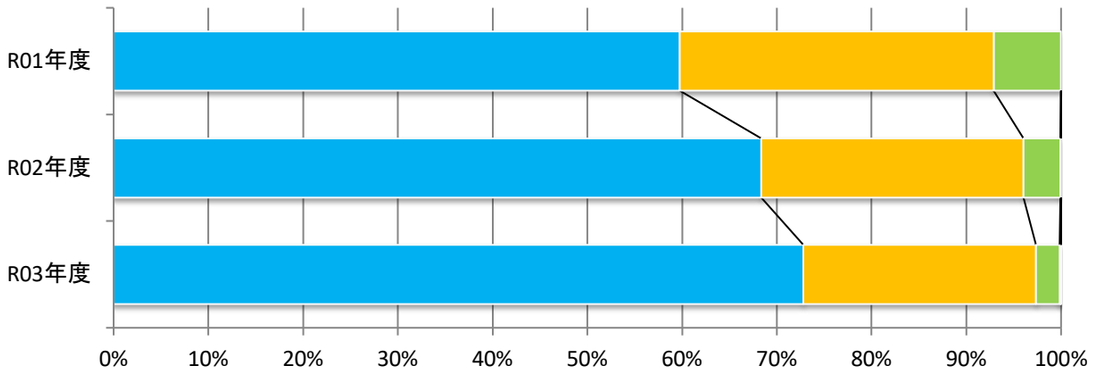
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.1	28.7	92.8	—
73.9	22.6	96.5	＋ 3.7
75.5	21.6	97.2	＋ 0.7

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.1	28.7	93.8	—
72.4	23.6	96.0	＋ 2.2
76.0	22.1	98.1	＋ 2.1

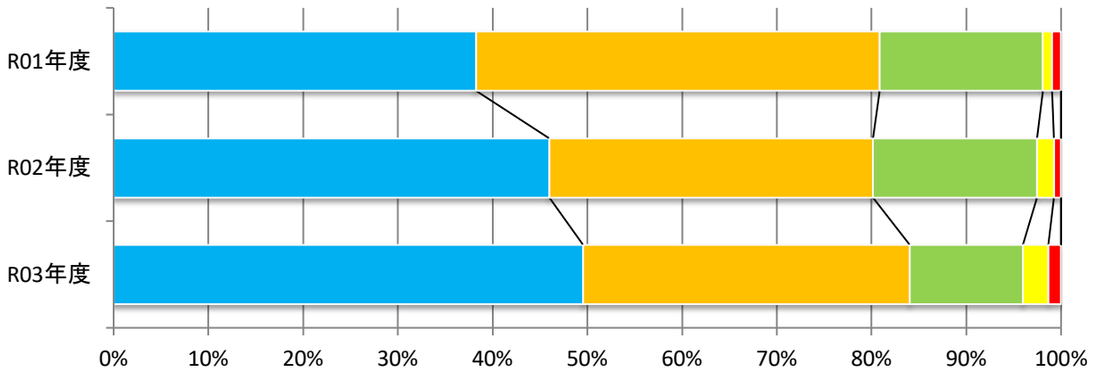
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.8	33.1	92.9	—
68.3	27.7	96.0	＋ 3.1
72.8	24.6	97.4	＋ 1.3

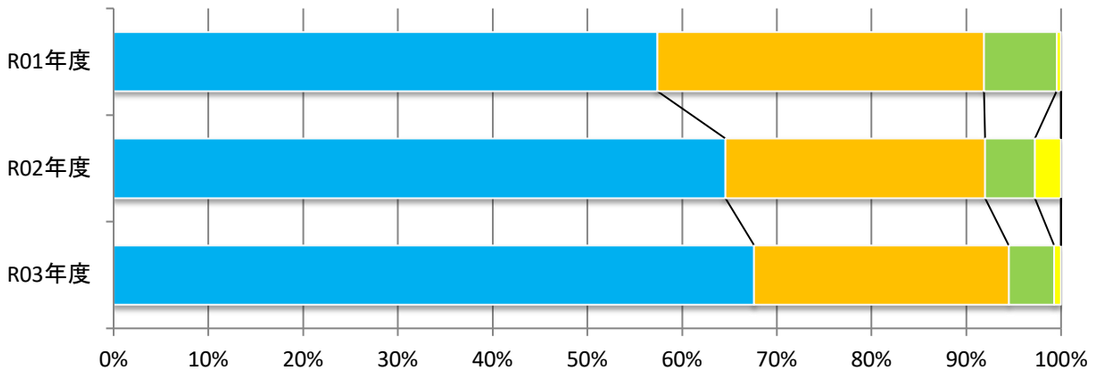
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



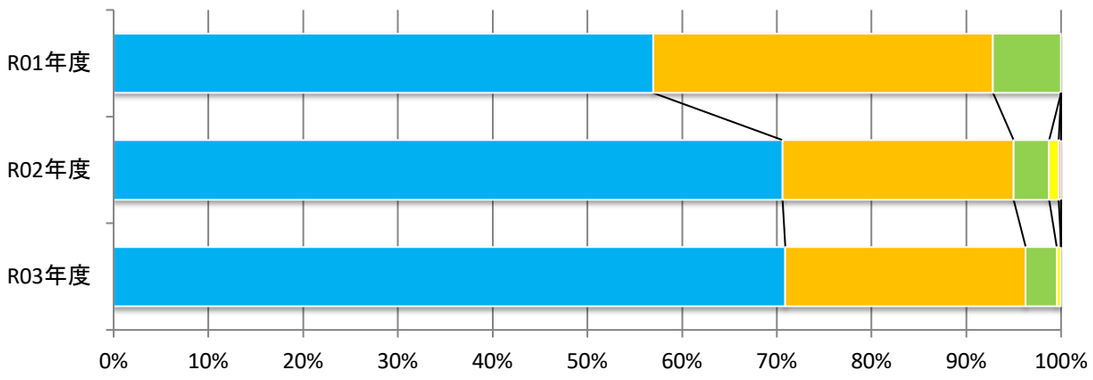
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.2	42.6	80.8	—
46.0	34.2	80.2	△ 0.7
49.6	34.5	84.0	＋ 3.9

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



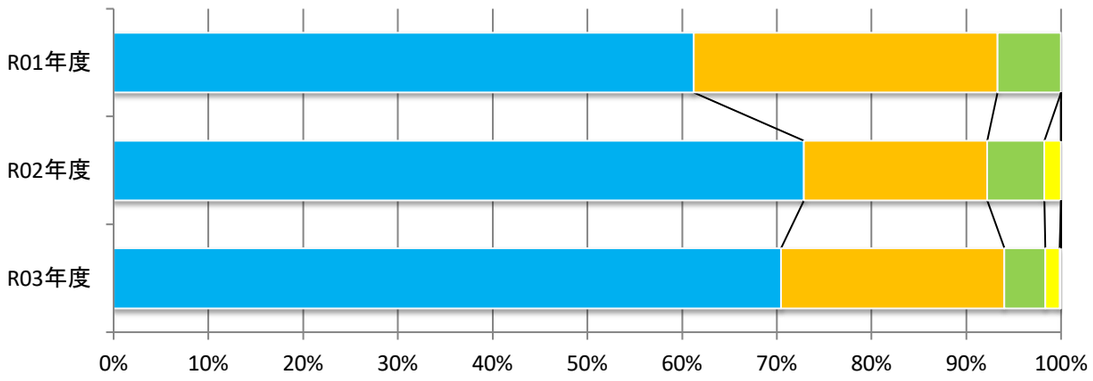
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.4	34.4	91.9	—
64.6	27.4	92.0	＋ 0.1
67.6	26.9	94.5	＋ 2.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



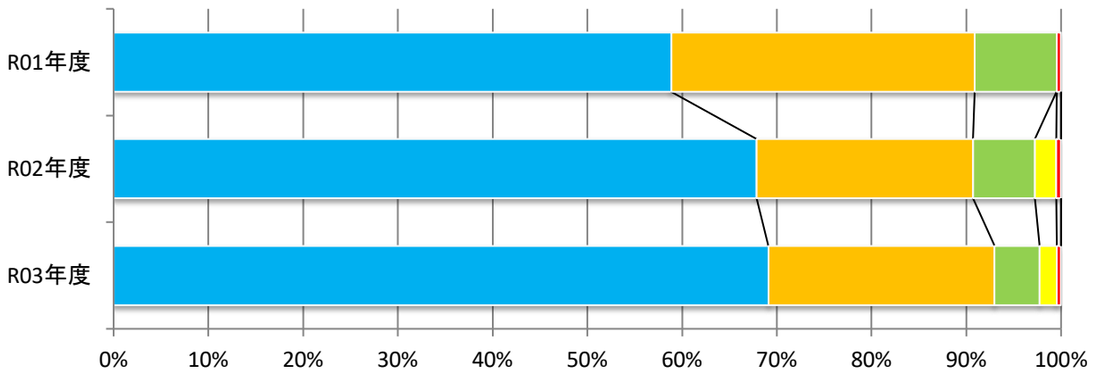
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.9	35.9	92.8	—
70.6	24.4	95.0	＋ 2.2
70.9	25.4	96.3	＋ 1.3

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



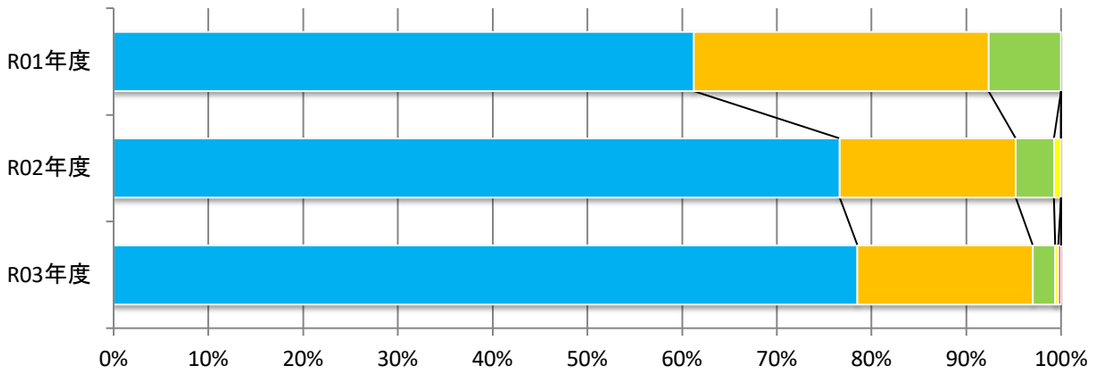
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.2	32.1	93.3	—
72.9	19.3	92.2	△ 1.1
70.4	23.6	94.0	＋ 1.8

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



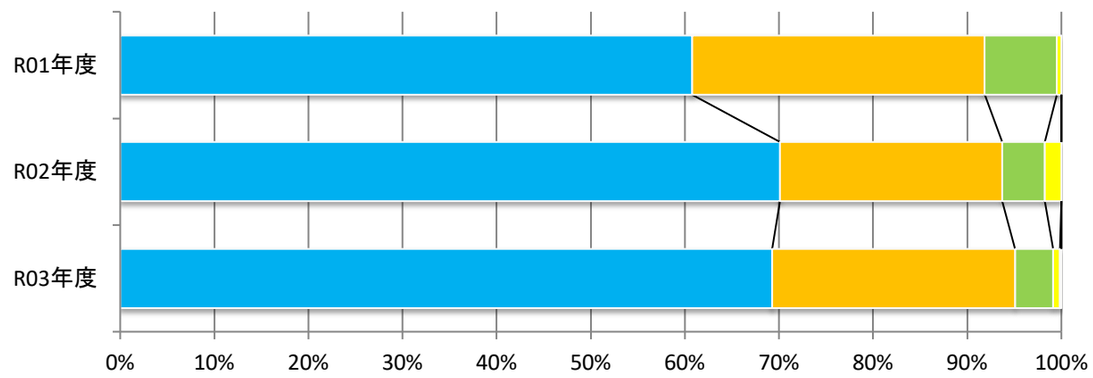
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.8	32.1	90.9	—
67.8	22.9	90.7	△ 0.2
69.1	23.9	93.0	＋ 2.3

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



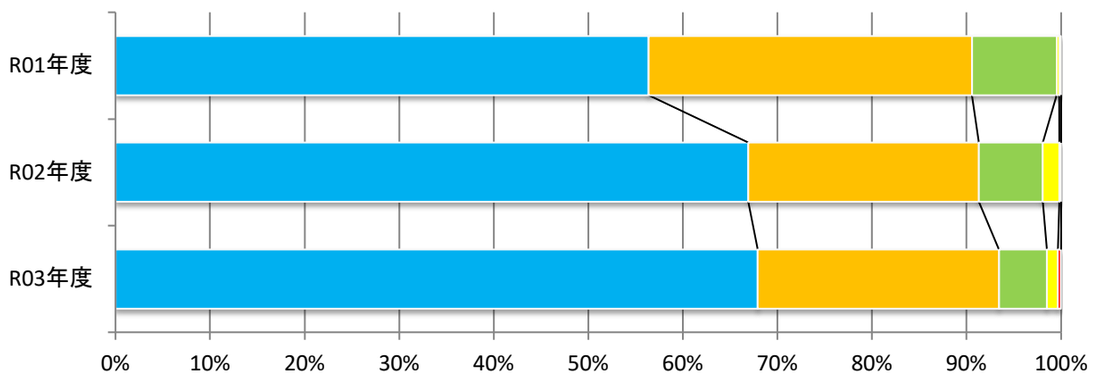
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.2	31.1	92.3	—
76.6	18.6	95.2	＋ 2.9
78.5	18.5	97.0	＋ 1.8

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.7	31.1	91.8	—
70.1	23.6	93.7	＋ 1.9
69.3	25.8	95.1	＋ 1.4

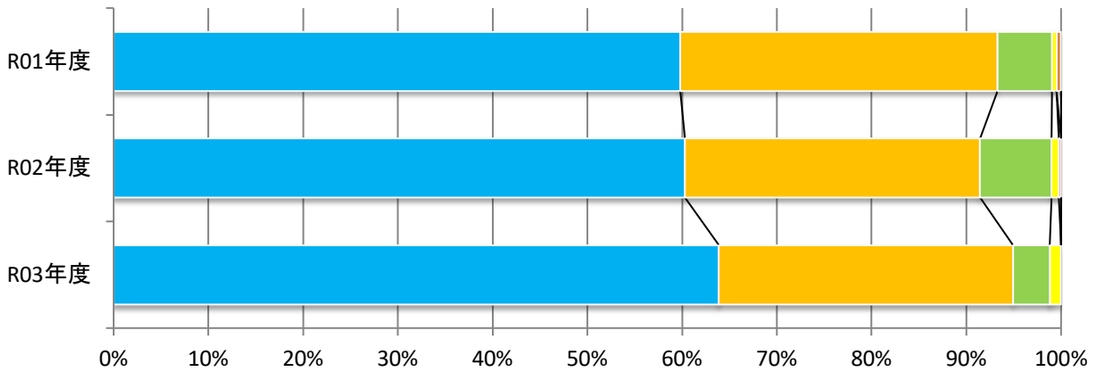
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.4	34.2	90.6	—
66.9	24.3	91.3	＋ 0.7
67.9	25.5	93.4	＋ 2.1

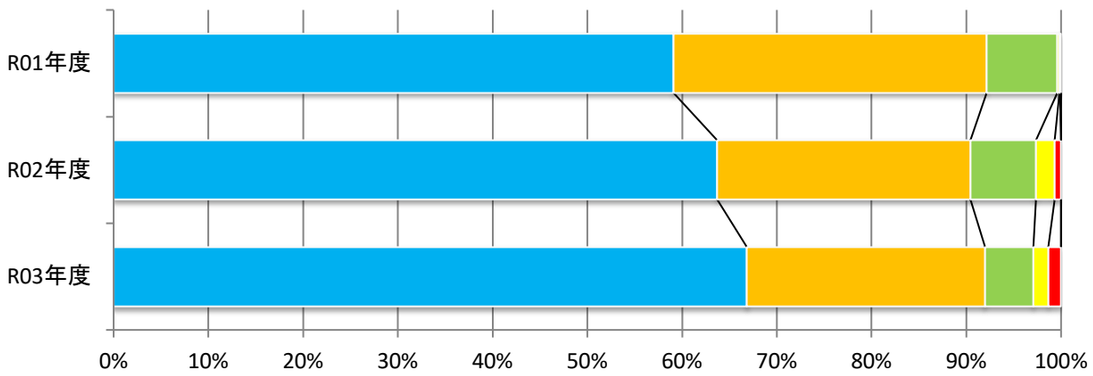
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



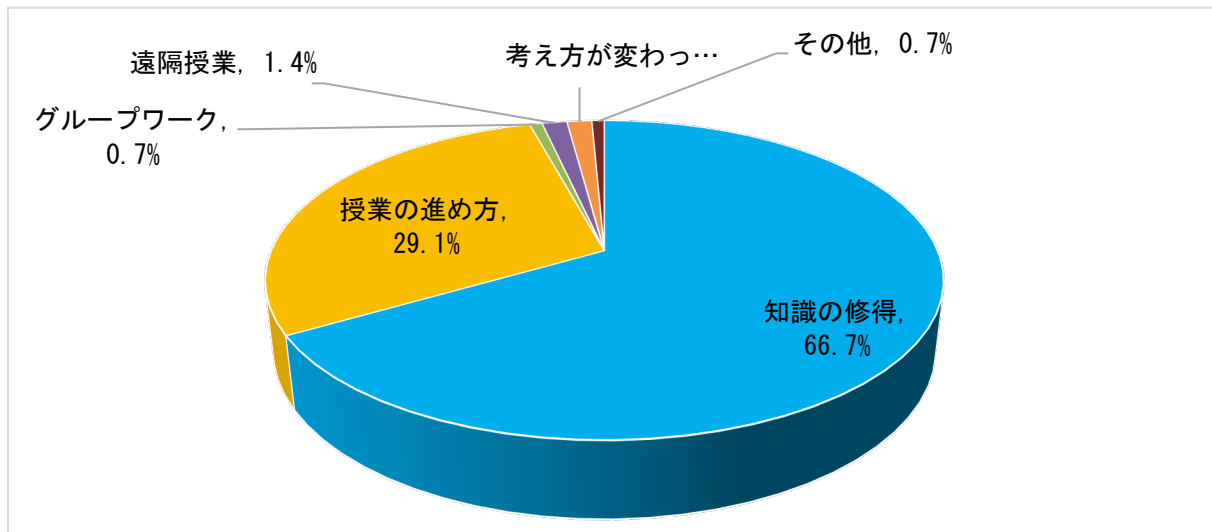
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.8	33.5	93.3	—
60.3	31.2	91.5	△ 1.8
63.9	31.0	94.9	＋ 3.5

全質問項目の平均



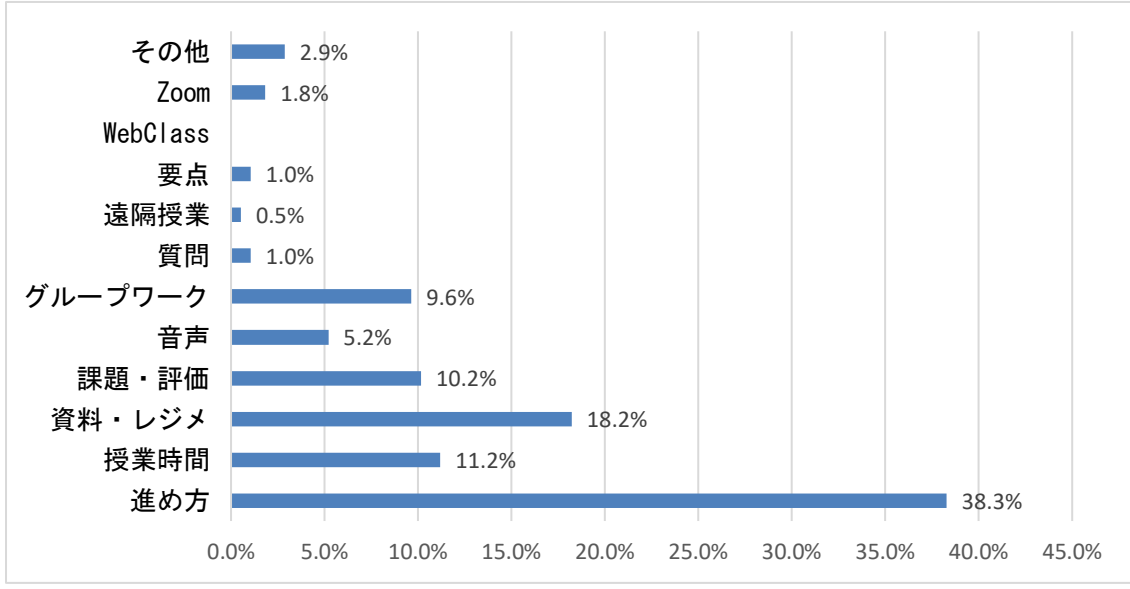
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.1	33.1	92.2	—
63.7	26.8	90.4	△ 1.7
66.8	25.2	92.0	＋ 1.5

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　141】



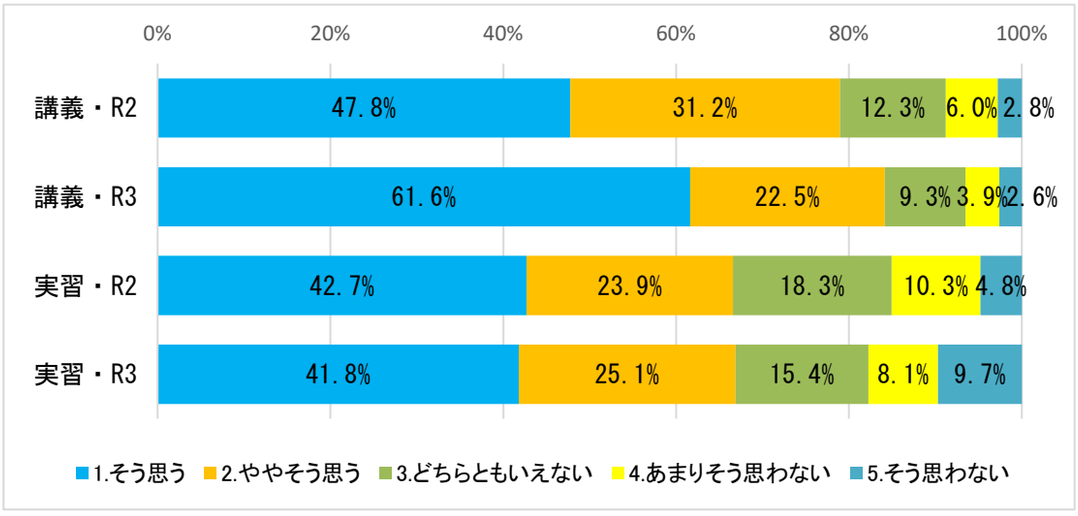
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅱ	42	実際に患者さんとコミュニケーションを通して情報収集の仕方などを学べました。また、実際に個別援助計画の立案、実施をして、自分が何ができていないか振り返り、課題をみつけることが出来ました。
			患者の情報を十分に得ることにより患者への理解を含め、個別性のあるアセスメントにより優先度を考えた看護介入の重要性を学ぶことが出来た。
	基礎看護援助実習Ⅰ	62	学生同士で援助を行っており、患者さんに援助をする機会がなかった。今回の実習を通して患者さんと実際にお話しすることができ、コミュニケーションを通じて援助活かすことができたのが良かった。
			バイタルサイン測定や清潔ケアを患者の特性に応じてできるようにアセスメントする力や実施できるような力を身に着けることができたと思うので良かった。それだけでなく、患者や指導者とのコミュニケーションといった基本的なことも身に付けることができたので良かった。
			実際に実施することで、患者さんを相手にしたことの難しさや、自分に何が足りていないのかを明確に学べる授業だったこと。病院実習が少なくなっても学内実習という機会を設けてくださったこと。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数 38】

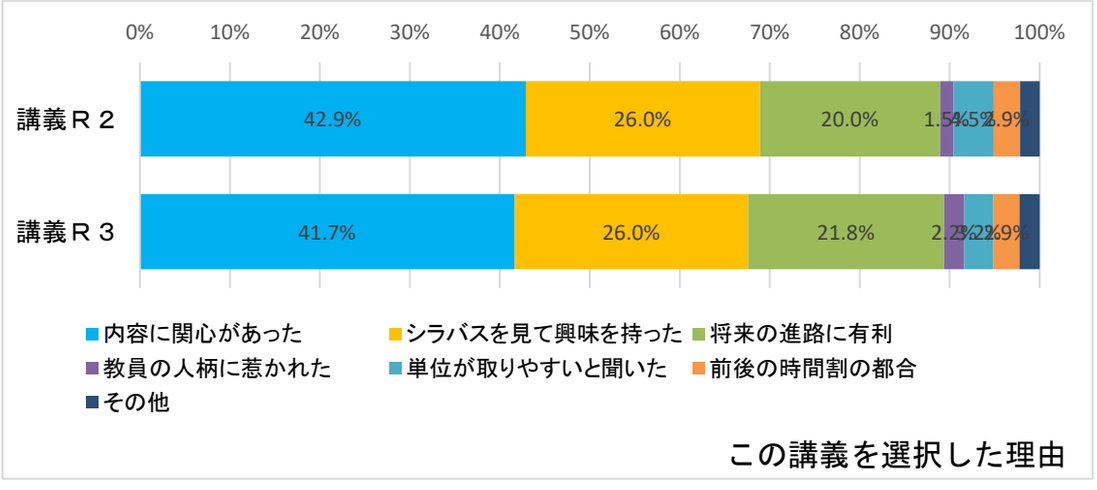


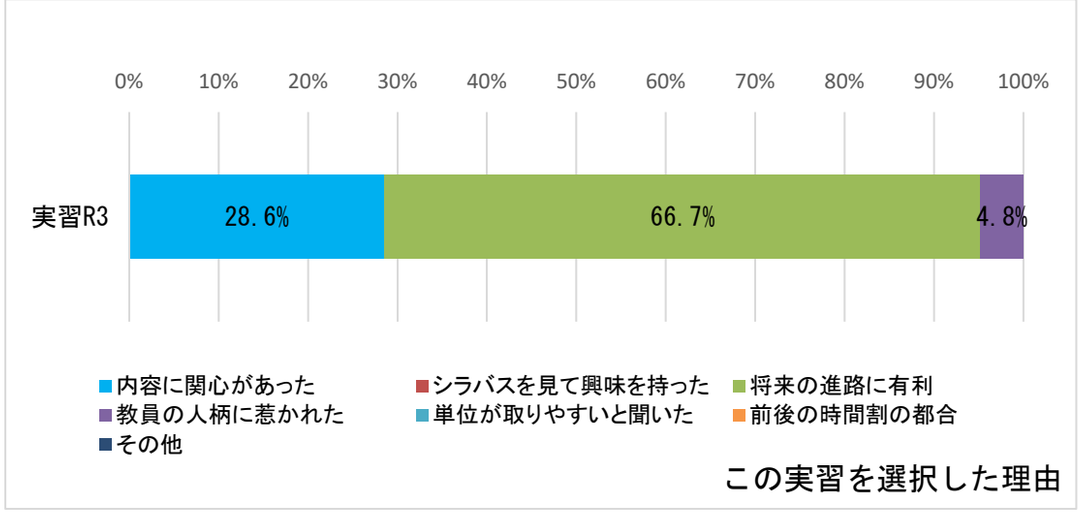
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	老年・在宅看護学実習	8	最終カンファレンスの議題をもっと詳細に書いていただきたいです。
	精神看護学実習	7	病院実習とオンラインでの実習では、得るものに差が生じると思いました。実際に病院に行かなければわからないことは沢山あると感じました。
			臨床の実習などの患者を想像するより精神疾患を有する人の想像をすることが難しかったため、あまりオンライン実習は向いていない領域ではないかと思った。
	基礎看護援助実習Ⅱ	6	実習最終日から記録の提出までの期限が短く、やりきれなかった。前半に終わった人と後半に終わった人で同じ期限というのは不公平であると思った。

この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か





令和 3 年度 和歌山看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学部長
八島　妙子

1．授業評価の結果について

○　全質問項目の平均を年度毎でみたところ、肯定的な評価の増加していることがわかりました（図 1）。総合評価では講義・演習は「学びやすさ」「満足度」が 4.45～4.68 で全学部の平均を上回っていましたが、実習は「学びやすさ」3.88 と 3.53「満足度」4.49 と 4.51 で全学平均より低い結果でした。「学びやすさ」について前年度と比較したところ、講義では上昇していますが、実習では低下していることがわかり（図 2）、実習の「学びやすさ」については改善が必要とわかりました。「ハイブリッドでの授業展開に順応し、講義では学びやすくなってきています。しかし、実習環境は感染状況の変化に教員はタイムリーな対応をしていましたが、学生にとって変更への切り替え困難、他のグループとの比較、臨地での実習ができない、学生個々の出席停止なども影響したと思われます。

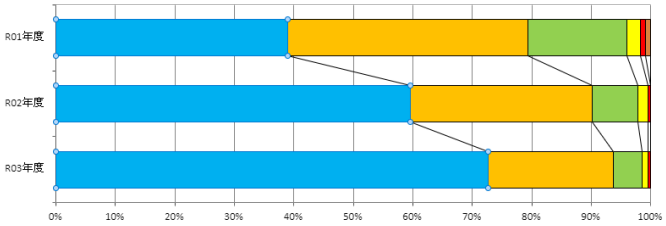


図 1　3 年間の全質問項目の平均

そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	40.3	79.3	-
59.6	30.5	90.1	＋ 10.8
72.7	21.1	93.7	＋ 3.6

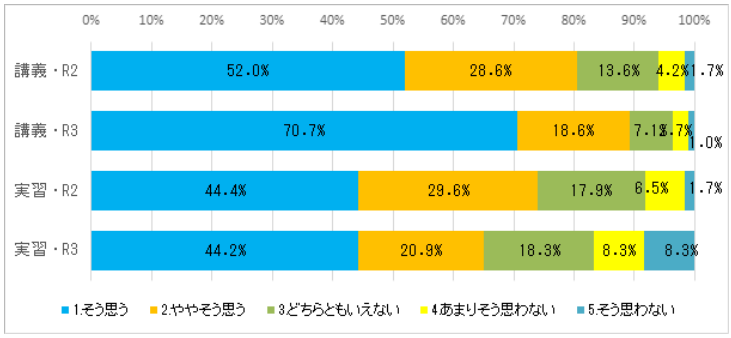


図 2　2 年間の講義・実習の遠隔授業での学びやすさの平均

○　3 年間の自由記述総数を分類すると肯定的な記述が多くなっていることがわかりました。学生の理解度など状況に応じて教員自身が教育内容・方法を工夫してきたこと、教員・学生共にハイブリッドでの準備や進行に慣れ、トラブル対応に時間をとられることが減少し、学びに集中できるようになってきたと考えられます。教員の体験からの学び、グループワークでの学び、教員に相談にのってもらい前向きに取り組めた、知識を今後役立てるなど意欲的に学んでいることが伺えました。授業への要望では、資料の情報量が多い、リアクションペーパーへの回

答が返って来ない、教員間の情報共有ができていない、感染拡大により演習内容が学生により異なったことなどがあげられました。教員はこれらを受け、今後の具体的取り組みを考えていました。特に実習においては、実践力につながるように学生個々の学びの環境を整え、確認して進めていくような取り組みがあげられていました。環境では、zoom ではグループワークでのでの資料作成がやりにくい、声が聞きとりにくい、インターネット環境が整わない、など課題がありさらに改善を考えていく必要があります（表 1）。

表１　3 年間の自由記述総数

分類項目／年度	30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和３年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(92.6%)	525	(93.3%)	490
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(7.4%)	42	(5.9%)	31
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.0%)	0	(0.8%)	4
総件数	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	567	(100.0%)	525

２．授業において工夫した点について

○　対面授業でない場合、基本的に Zoom でのリアルタイムの授業をしています。一方的な講義でなく学生同士が学びあえる工夫、授業資料を 1 冊にして配布し予習復習できる配慮、外部講師・対象者の招聘により効果的な学習、学生のリアクションペーパーでの理解度の把握や回答、リモート授業での休憩をとるなど疲労軽減、質問しやすい環境、Webclass や Teams の活用など各科目で工夫をしていました。

○　実習では、急に臨地での実習ができなくなるなどの変化に対応し、それぞれの実習の特徴に応じて、動画の作成、電子カルテの活用、ロールプレイ、実習指導者の参加などさまざまな工夫をし、できるだけ臨地での実習体験に近づけるような努力がみられました。

３．今後の授業への生かし方について

○　Dx が充実してきているので、教員が理解して効果的な教育への活用を推進したいと思います。

○　学生が授業に積極的・意欲的に取り組み、教員が熱意をもって授業に臨んでいるのが 100%近い結果から、今後もこの関係性を維持していくことで学習効果も向上できると考えます。

４．その他

○　リモート授業での学生の参加度を確認でき、学習意欲を向上できる工夫が必要になっています。

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○全科目数　116科目　　○調査対象者数　8,470 人（延人数）
○総回答数　　5,122 件 （回答率 60.5％）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果

〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	(54.0)	(38.0)	(6.8)	(1.1)	(0.2)	0.0	(100)
	66.6	27.2	5.5	0.6	0.1	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(79.5)	(17.7)	(2.4)	(0.3)	(0.1)	0.0	(100)
	84.9	13.1	1.8	0.2	0.0	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(68.0)	(27.7)	(3.7)	(0.5)	(0.1)	0.0	(100)
	79.0	18.2	2.4	0.3	0.1	0.0	100
計	(67.1)	(27.8)	(4.3)	(0.6)	(0.1)	0.0	(100)
	76.8	19.5	3.2	0.4	0.1	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(47.6)	(43.0)	(7.9)	(1.5)	(0.1)	0.0	(100)
	63.6	31.2	4.2	0.8	0.1	0.0	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(62.4)	(32.5)	(4.3)	(0.7)	(0.1)	0.0	(100)
	74.1	22.1	3.3	0.4	0.1	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(59.4)	(33.0)	(6.4)	(1.0)	(0.2)	0.0	(100)
	72.4	23.0	3.9	0.5	0.2	0.0	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(65.2)	(29.4)	(4.4)	(0.8)	(0.2)	0.0	(100)
	76.3	19.9	3.2	0.4	0.1	0.0	100
計	(58.7)	(34.5)	(5.7)	(1.0)	(0.1)	0.0	(100)
	71.6	24.0	3.7	0.5	0.1	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(38.1)	(31.4)	(24.3)	(3.6)	(2.6)	0.0	(100)
	56.0	25.4	15.2	1.9	1.6	0.0	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(67.3)	(25.3)	(6.1)	(1.1)	(0.2)	0.0	(100)
	78.9	17.1	3.2	0.6	0.2	0.0	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(63.6)	(26.8)	(7.4)	(2.0)	(0.2)	0.0	(100)
	76.4	17.9	4.0	1.2	0.4	0.0	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(56.1)	(30.0)	(10.5)	(2.7)	(0.7)	0.0	(100)
	70.0	22.1	6.4	1.2	0.4	0.0	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(65.2)	(25.3)	(6.9)	(2.0)	(0.6)	0.0	(100)
	77.5	17.7	3.7	0.9	0.3	0.0	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(73.4)	(21.0)	(4.6)	(0.7)	(0.2)	0.0	(100)
	82.8	14.1	2.7	0.3	0.2	0.0	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(53.4)	(32.1)	(11.0)	(2.7)	(0.8)	0.0	(100)
	67.4	23.7	6.8	1.6	0.5	0.0	100
計	(59.6)	(27.4)	(10.1)	(2.1)	(0.7)	0.0	(100)
	72.7	19.7	6.0	1.1	0.5	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(51.2)	(28.7)	(14.0)	(4.4)	(1.7)	0.0	(100)
	67.0	18.9	8.7	3.5	2.0	0.0	100
17(16) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(55.1)	(35.6)	(7.4)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	72.1	23.1	3.8	0.8	0.2	0.0	100
計	(53.2)	(32.1)	(10.7)	(3.0)	(1.0)	0.0	(100)
	69.6	21.0	6.2	2.1	1.1	0.0	100
全質問項目の平均	(59.6)	(30.5)	(7.7)	(1.7)	(0.5)	0.0	(100.0)
	72.7	21.1	4.8	1.0	0.5	0.0	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

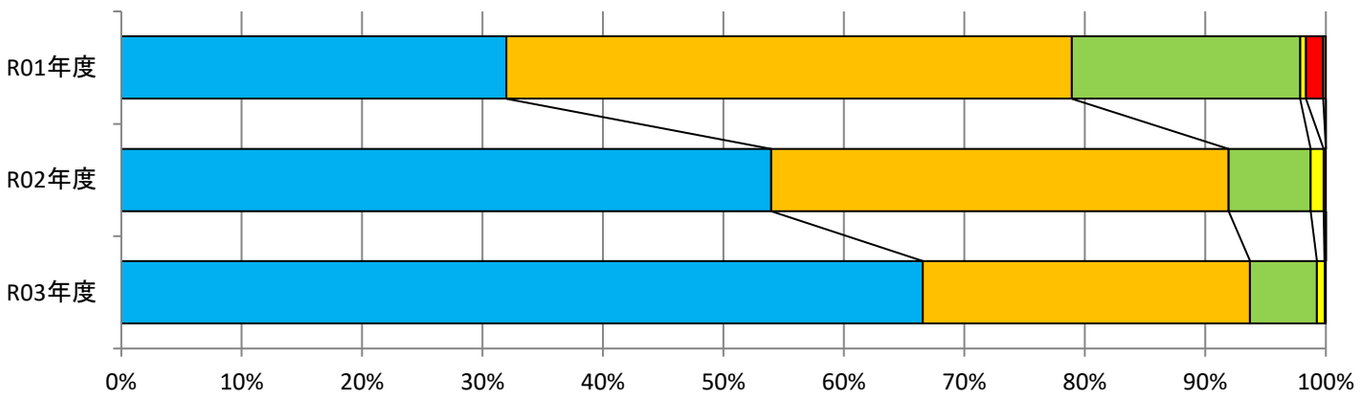
	30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	51科目	85科目	108科目	116科目
調査対象者数	3,511人	6,323人	8,145人	8,470人
総回答数（回答率）	3,256枚（92.7%）	5,807枚（91.8%）	6,420件（78.8%）	5,122件（60.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

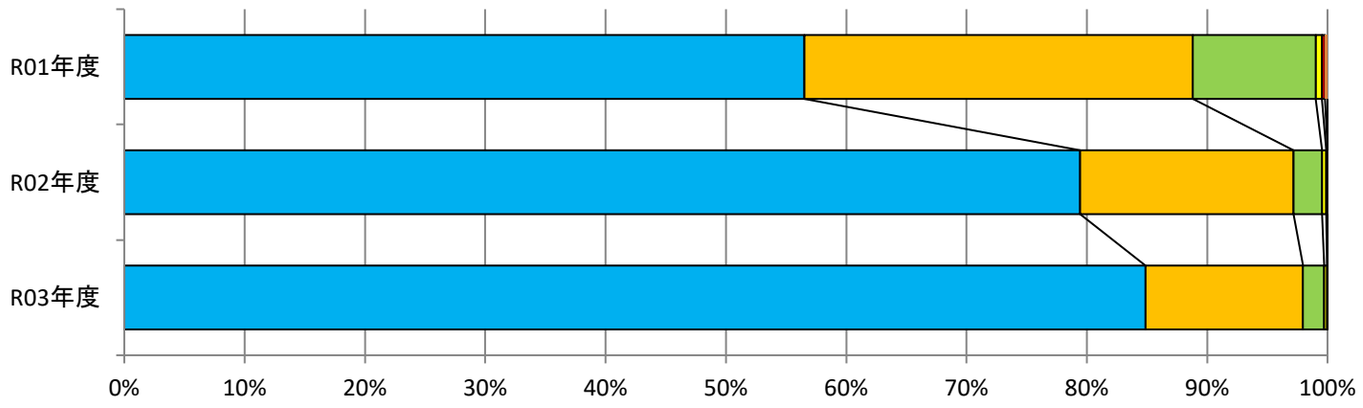
Ⅰ　あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



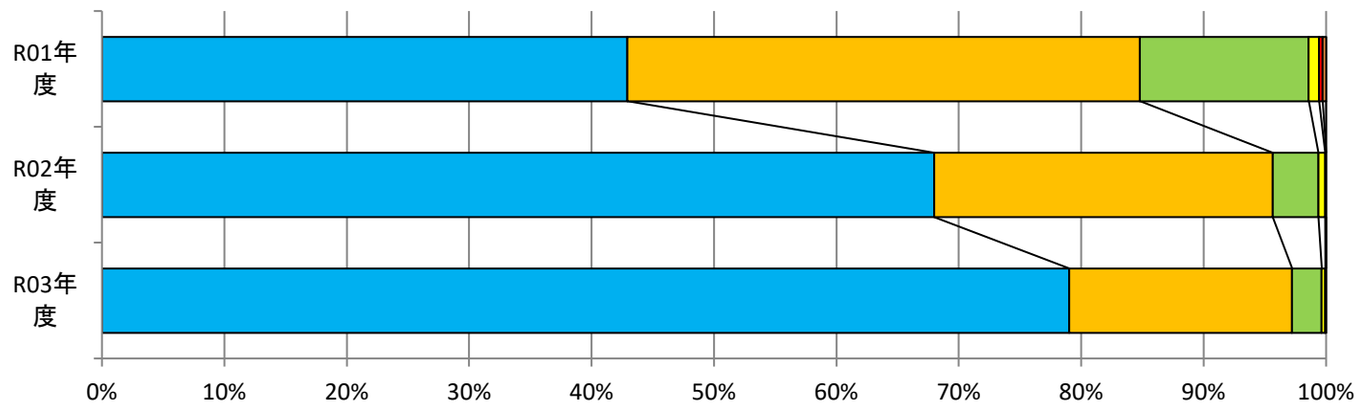
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.9	46.9	78.8	－
54.0	38.0	91.9	＋ 13.1
66.6	27.2	93.7	＋ 1.8

2(2) 積極的に出席したと思うか。



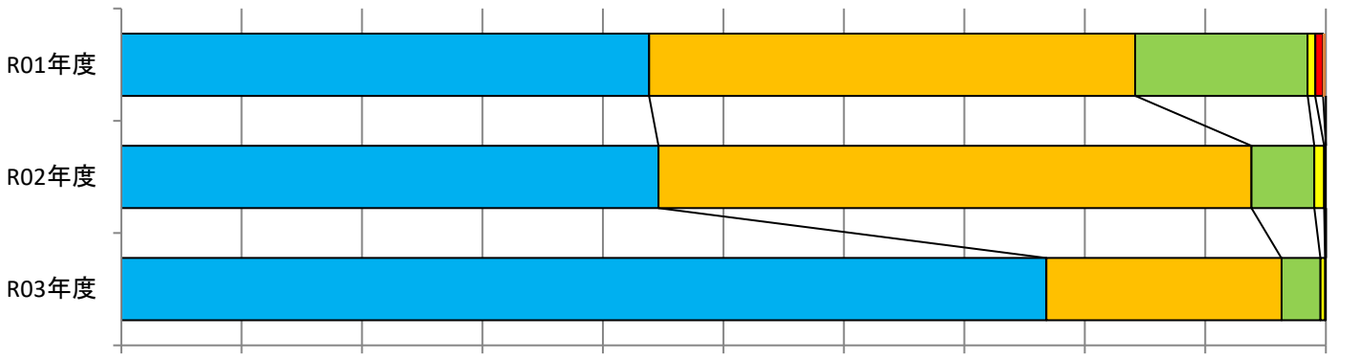
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.5	32.3	88.8	－
79.5	17.7	97.2	＋ 8.4
84.9	13.1	98.0	＋ 0.8

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.9	41.9	84.8	－
68.0	27.7	95.7	＋ 10.9
79.0	18.2	97.2	＋ 1.6

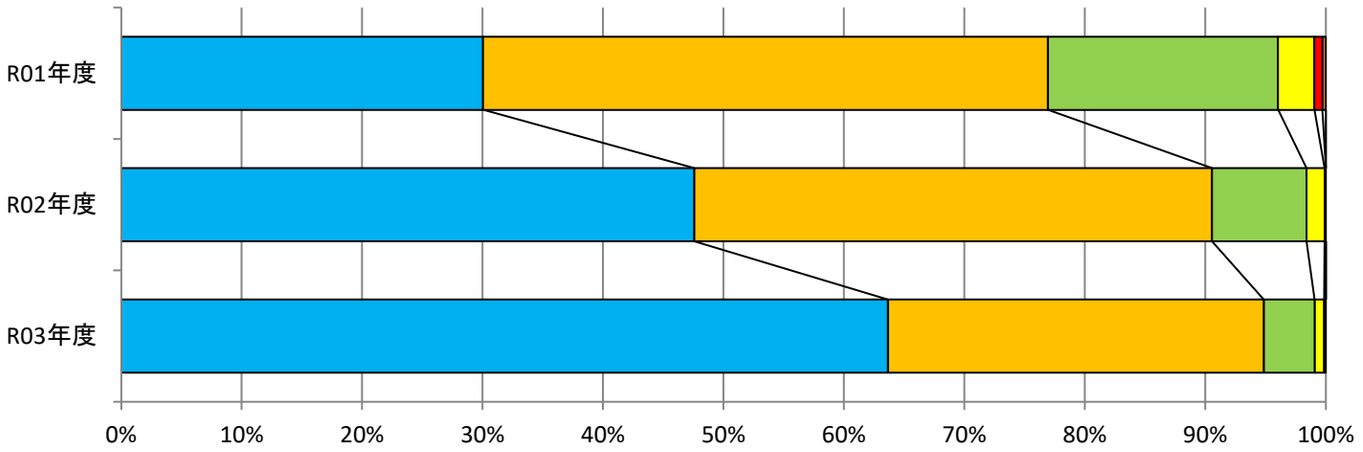
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3)）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.8	40.4	84.2	－
36.6	40.4	77.0	△ 7.2
76.8	19.5	96.3	＋ 19.3

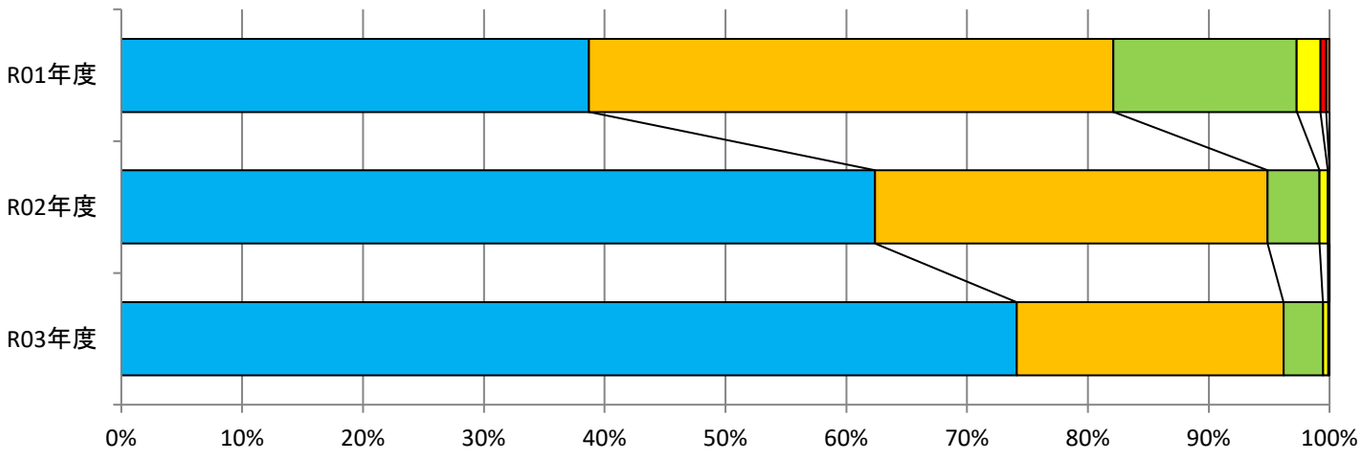
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



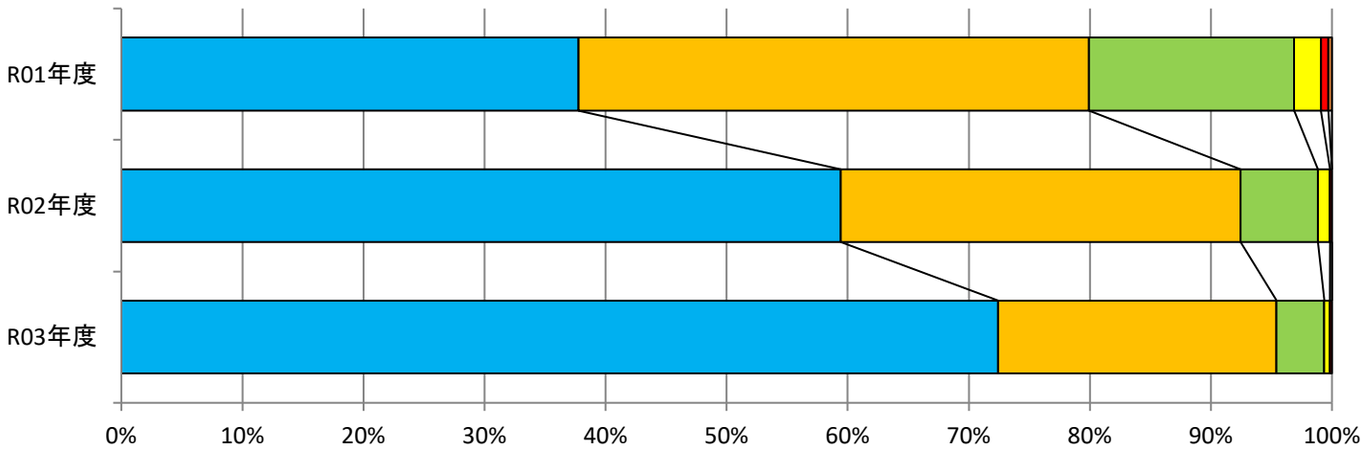
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.0	46.9	76.9	－
47.6	43.0	90.5	＋ 13.6
63.6	31.2	94.8	＋ 4.3

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



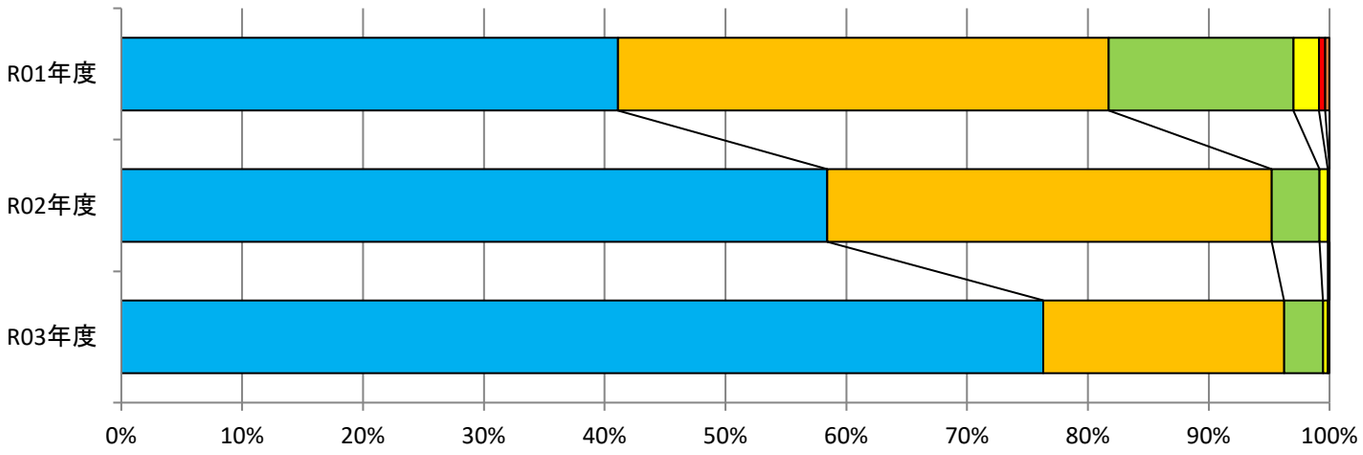
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.7	43.4	82.1	－
62.4	32.5	94.9	＋ 12.8
74.1	22.1	96.2	＋ 1.3

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



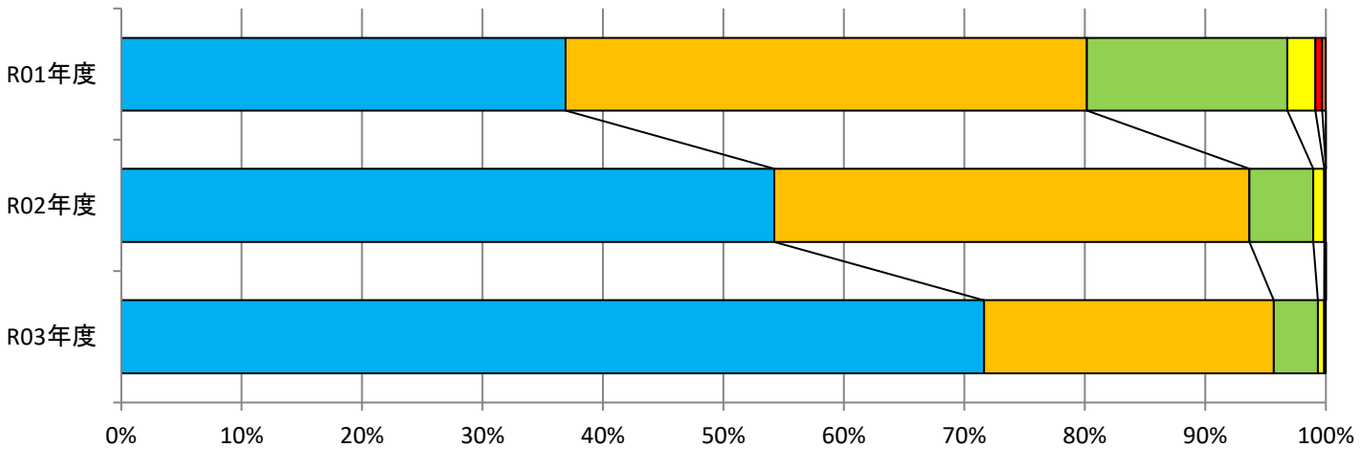
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	42.2	80.0	－
59.4	33.0	92.4	＋ 12.5
72.4	23.0	95.4	＋ 3.0

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.1	40.6	81.7	－
65.2	41.1	106.3	＋ 24.6
76.3	19.9	96.2	△ 10.1

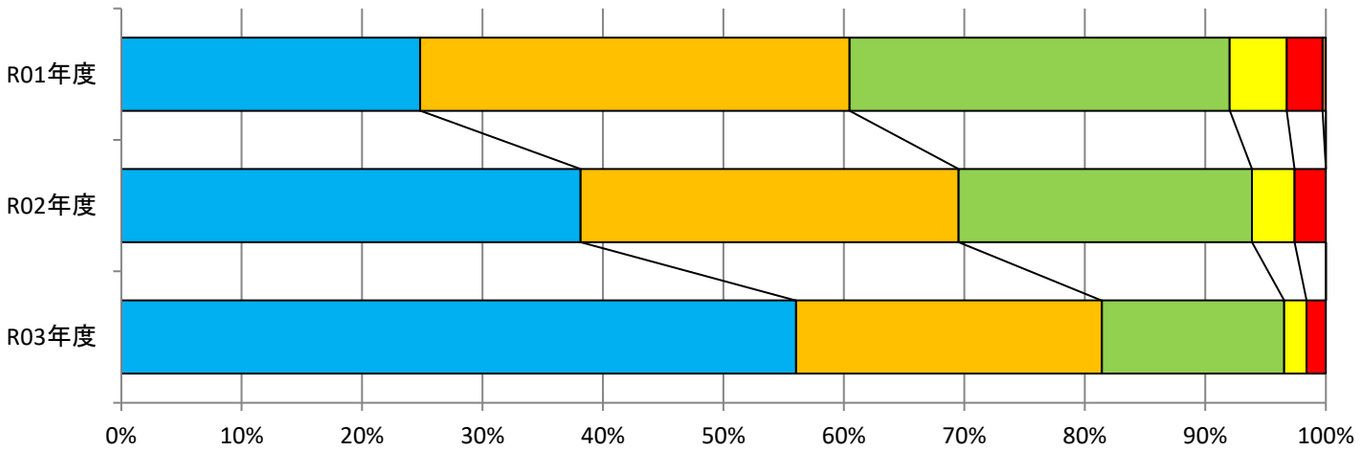
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.9	43.3	80.2	－
58.7	42.7	101.4	＋ 21.2
71.6	24.0	95.7	△ 5.7

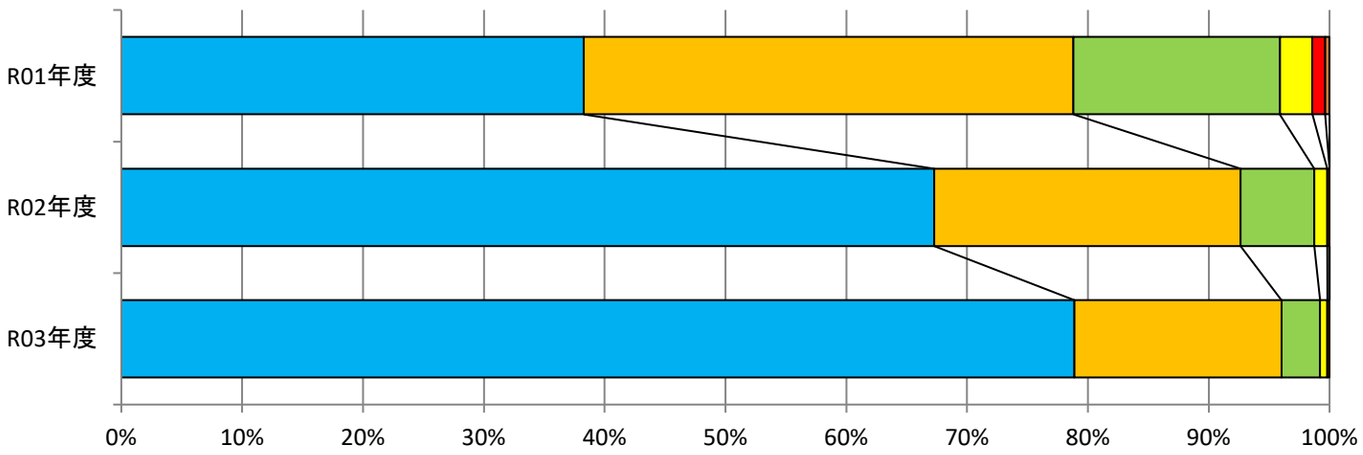
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



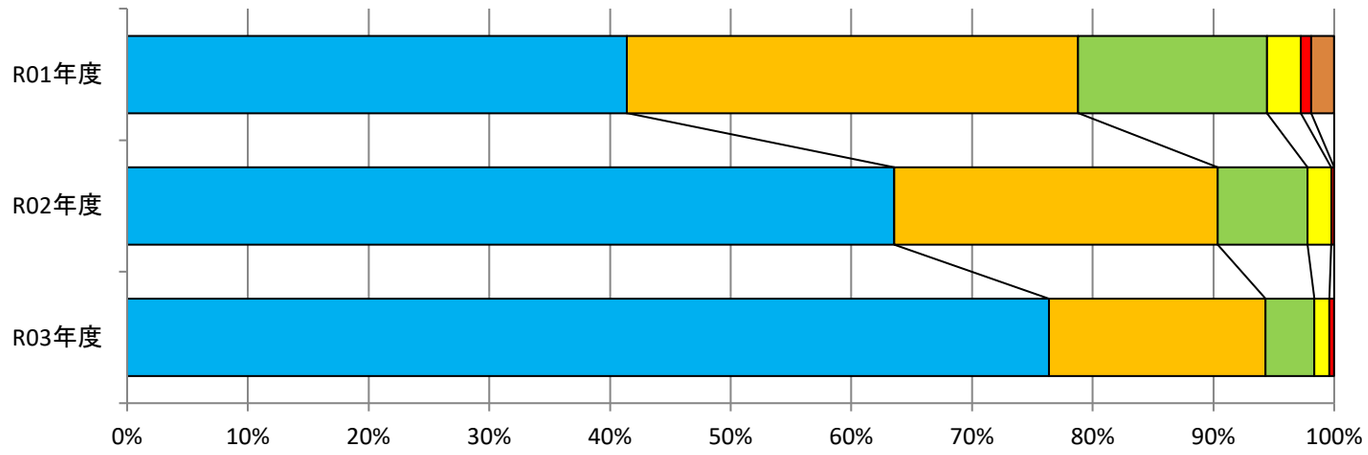
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
24.8	35.6	60.4	－
38.1	31.4	69.5	＋ 9.1
56.0	25.4	81.4	＋ 11.9

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



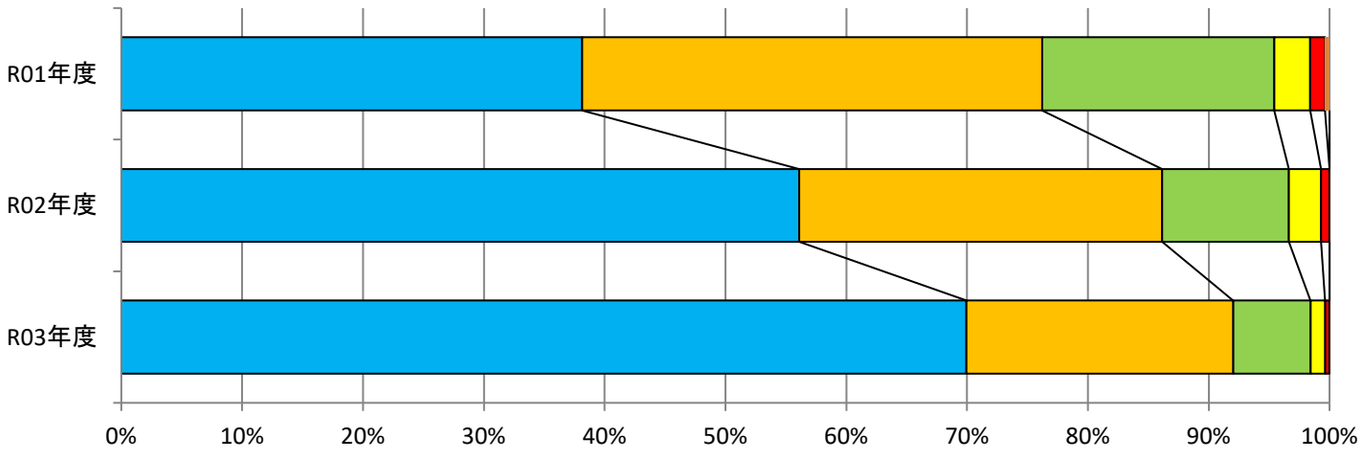
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	40.5	78.8	－
67.3	25.3	92.6	＋ 13.8
78.9	17.1	96.0	＋ 3.4

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



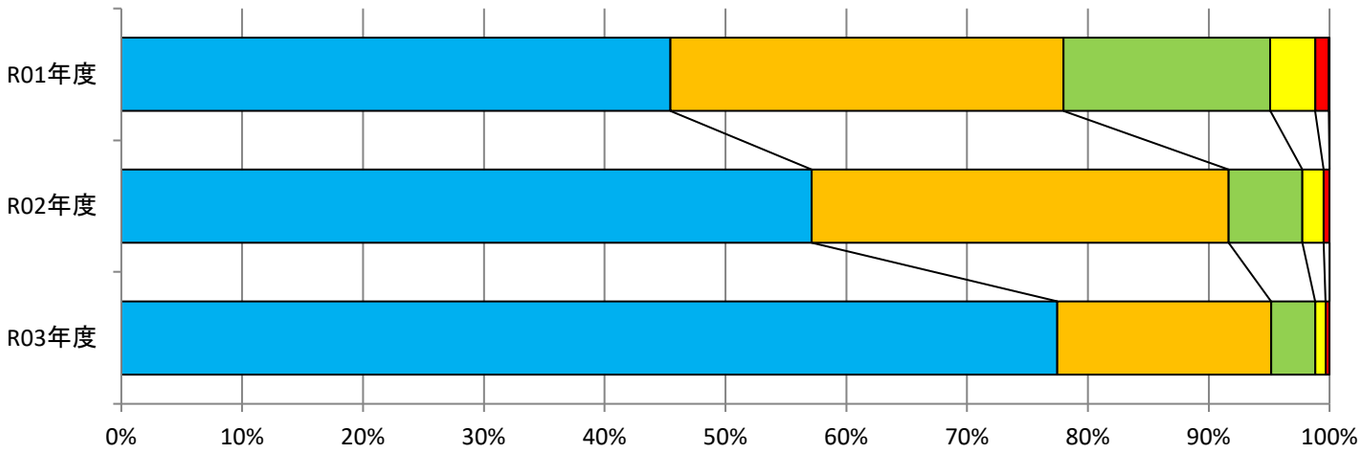
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	37.4	78.8	－
63.6	26.8	90.4	＋ 11.6
76.4	17.9	94.3	＋ 4.0

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



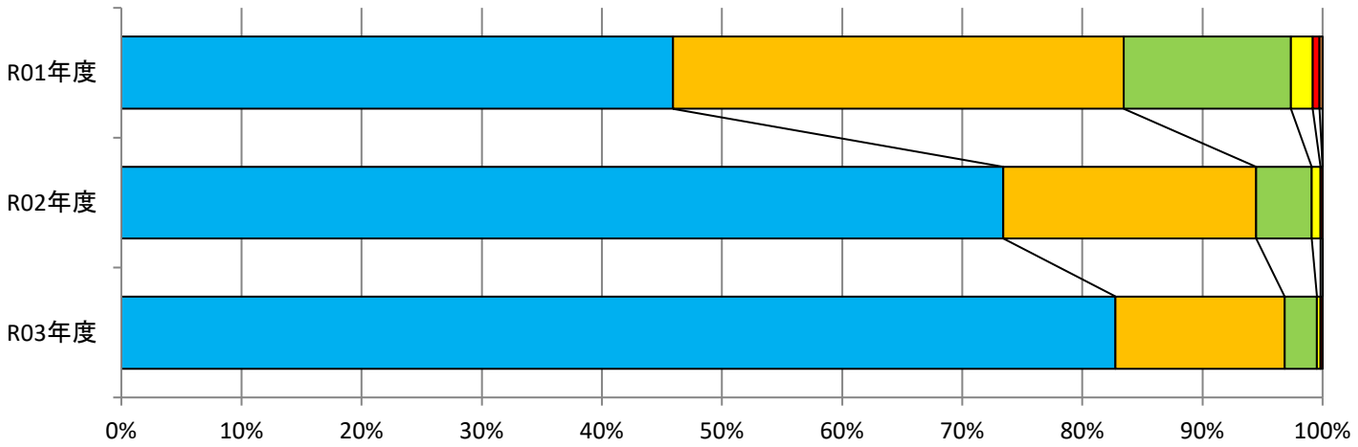
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	38.1	76.2	－
56.1	30.0	86.1	＋ 9.9
70.0	22.1	92.0	＋ 5.9

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



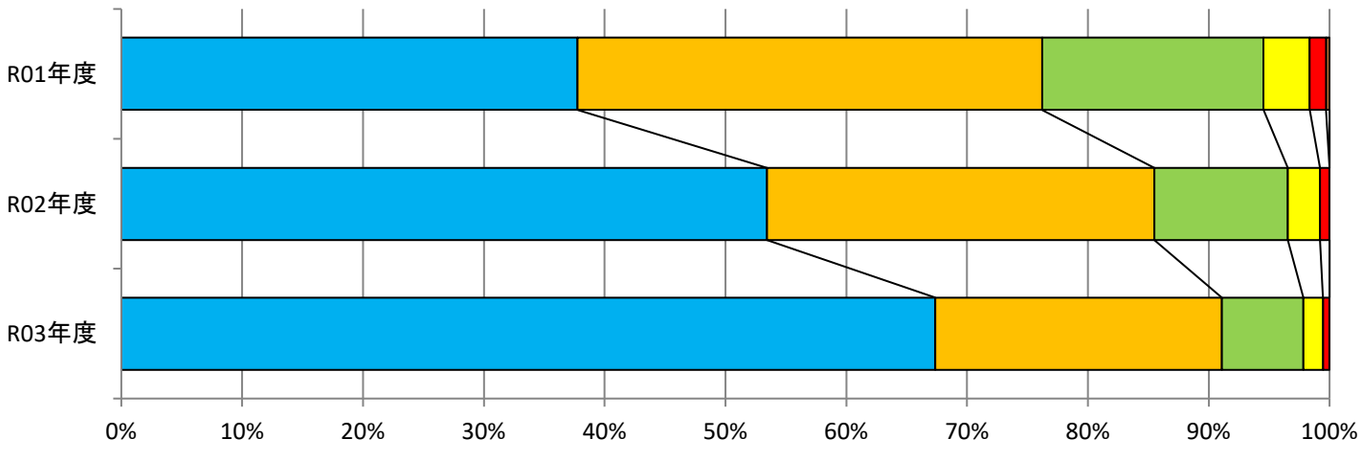
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.5	32.5	78.0	－
65.2	39.4	104.6	＋ 26.6
77.5	17.7	95.2	△ 9.4

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



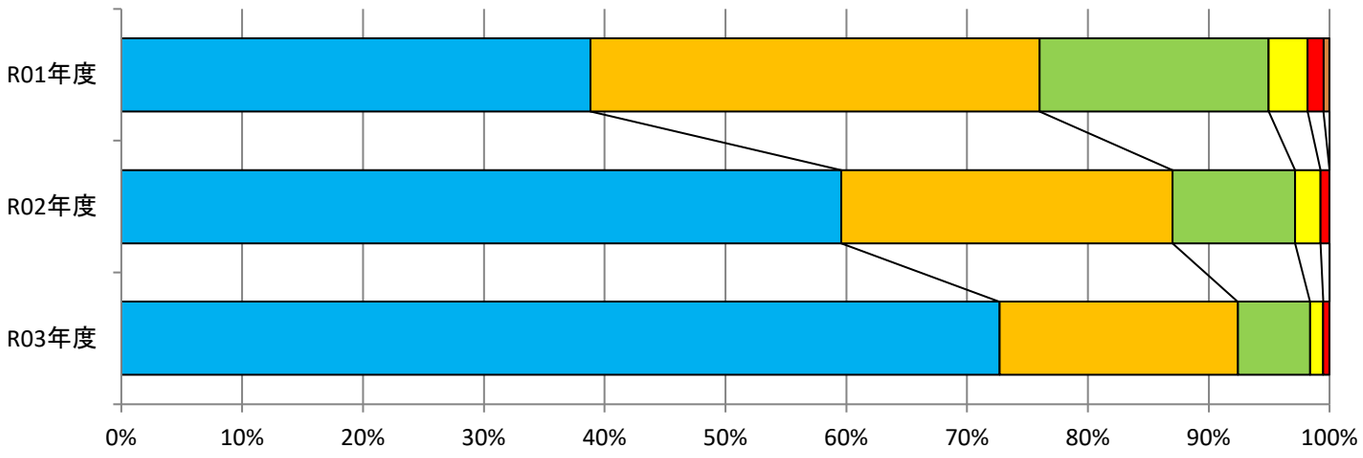
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.9	37.5	83.4	-
73.4	21.0	94.5	＋ 11.0
82.8	14.1	96.8	＋ 2.4

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	38.4	76.2	-
53.4	32.1	85.5	＋ 9.3
67.4	23.7	91.1	＋ 5.6

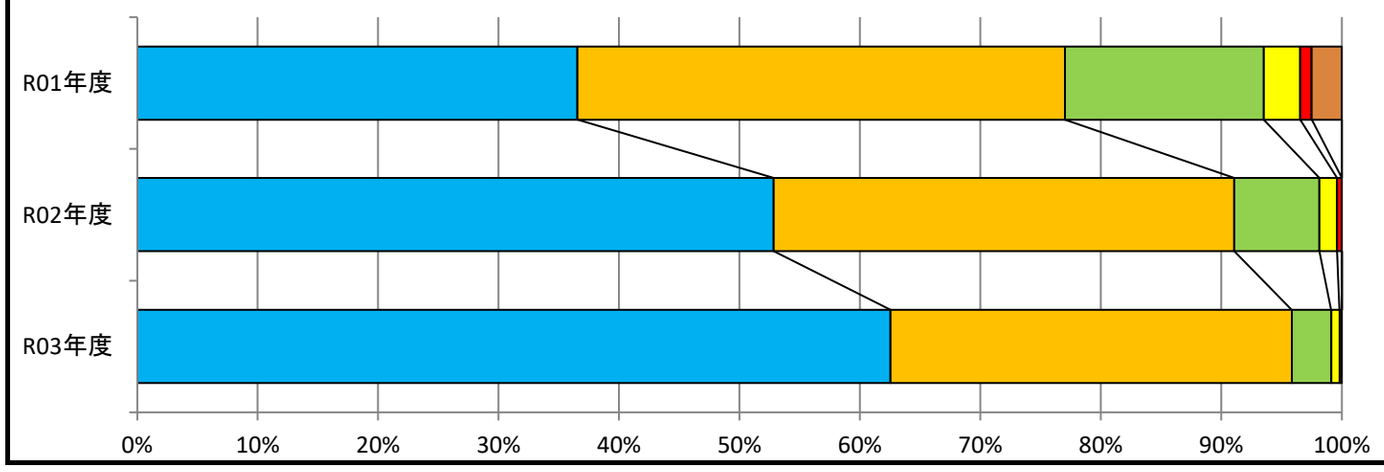
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.8	37.2	76.0	-
59.6	27.4	87.0	＋ 11.0
72.7	19.7	92.4	＋ 5.4

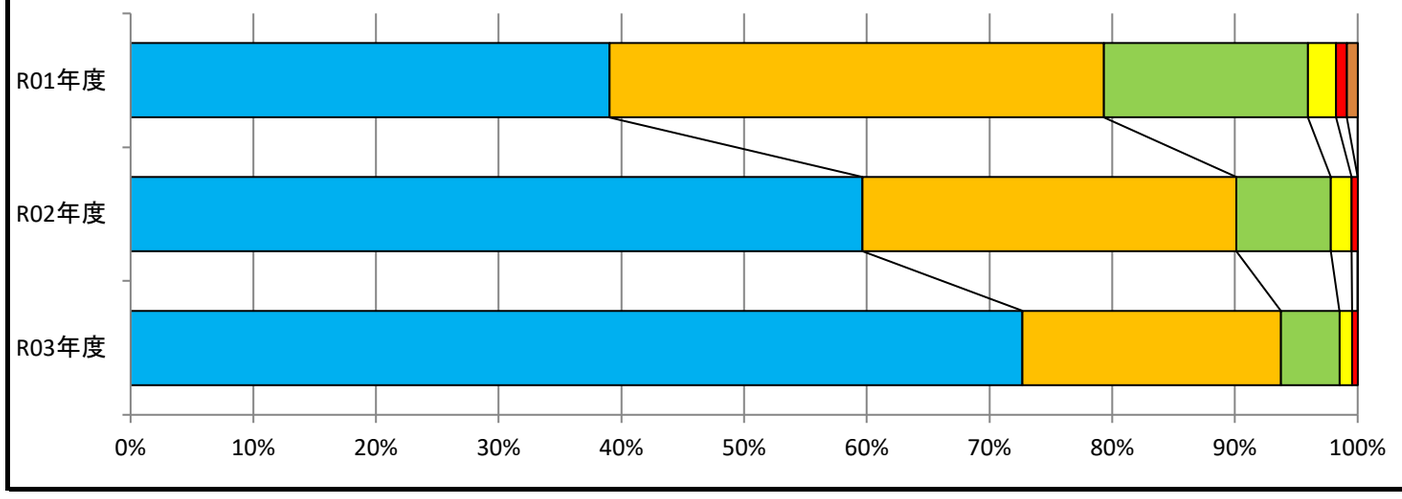
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.5	40.5	77.0	-
55.1	39.9	95.0	＋ 18.0
72.1	38.4	110.5	＋ 15.5

全質問項目の平均

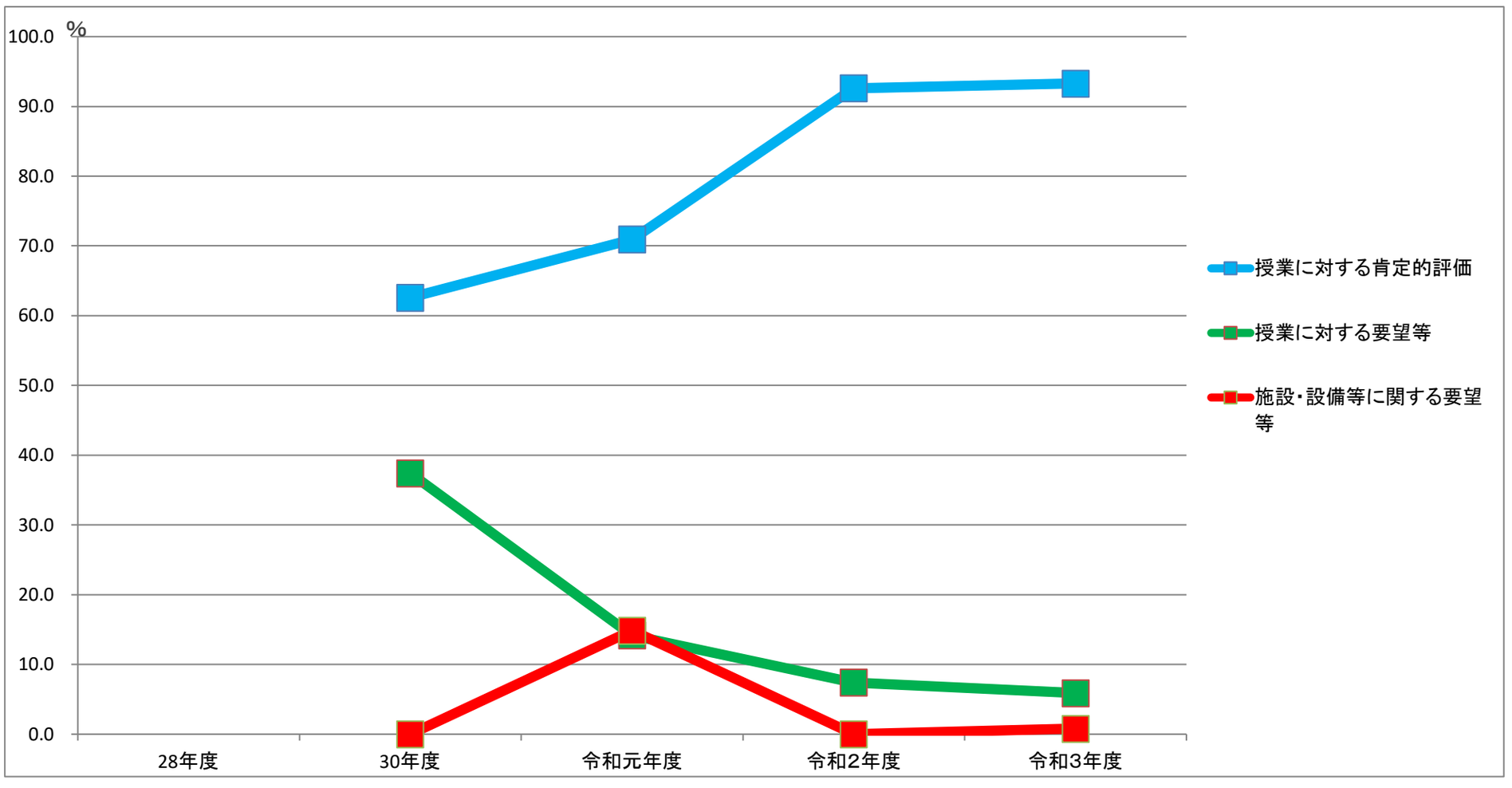


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	40.3	79.3	-
59.6	30.5	90.1	＋ 10.8
72.7	21.1	93.7	＋ 3.6

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和３年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(92.6%)	525	(93.3%)	490
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(7.4%)	42	(5.9%)	31
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.0%)	0	(0.8%)	4
総件数	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	567	(100.0%)	525

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	490	・バイタルサインは、看護にとって基盤であるので、2年生になっても復習していきたいと思う。 ・医療に関する単語や表現を多く学習したので、いつでも使えるように練習しておきたいです。 ・実習中に悩んだことや不安なことは担当教員に相談に乗ってもらえたので前向きに実習を続けて無事に終えることができました。 ・手指消毒のタイミングや個人防護服など将来自分の身を守るための方法を知ることができました。 ・授業前に音楽をかけてもらえることで、授業を頑張ろうと思えるので、続けてほしいです。 ・将来目分も子供を育てる立場にたてばこの授業で得た知識がいるので日々の復習が大切だと思った。 ・先生の体験した話を聞けて面白かったり、驚いたりしたけれど、とても楽しかったです。 ・この講義から、自分の性格や役割を見つめなおし、どのようにすればより良いグループワークとなるのかを詳しく学ぶことができました。
授業に対する要望等	31	・いろんな気持ちをもって実習をする学生がいるのは自由だが、人のやる気をそぐような発言ばかりする学生がいて精神的に本当にしんどい部分もあった。 ・リアクションペーパーで質問させて頂いたことが何度かあったのですが、回答が返ってこなかったので返して頂きたかったです。 ・行きたい領域を学生同士で決めさせ、その結果あみだくじで決まってしまったのがとても不服だっ次年度からは学生の意見を聞き入れ、先生方が決めたり、もしくは成績順にしたりするなど、不満が少ない決め方をした方がいいと思う。 ・コロナの影響で仕方なかったが、血糖値の測定の演習を前半だけ行い、後半が行えなかったのは残念だった。
施設・設備等に関する要望等	4	・インターネット環境だけどうにかしてほしかったです。
計	525	

令和３年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○講義・演習科目数　95科目　　○調査対象者数　7,180人（延人数）
○総回答数　4,410 件（回答率 61.4%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(53.8) 66.9	(37.9) 26.5	(7.1) 5.8	(1.0) 0.7	(0.2) 0.1	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(78.5) 84.5	(18.5) 13.3	(2.5) 1.9	(0.3) 0.2	(0.1) 0.0	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(67.1) 78.8	(28.3) 18.2	(3.9) 2.6	(0.6) 0.3	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
計	(66.5) 76.7	(28.2) 19.3	(4.5) 3.5	(0.6) 0.4	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(46.2) 63.5	(43.6) 31.0	(8.4) 4.5	(1.6) 0.9	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(61.8) 74.9	(32.8) 21.2	(4.5) 3.3	(0.7) 0.5	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(58.3) 72.4	(33.7) 23.0	(6.8) 3.9	(1.0) 0.5	(0.2) 0.2	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(64.8) 76.7	(29.8) 19.5	(4.4) 3.3	(0.8) 0.3	(0.2) 0.1	0.0	(100) 100
計	(57.8) 71.9	(35.0) 23.7	(6.0) 3.8	(1.1) 0.5	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(38.6) 57.6	(31.2) 25.4	(24.5) 14.1	(3.2) 1.6	(2.5) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(68.3) 80.4	(24.6) 16.1	(6.0) 3.0	(0.9) 0.4	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(63.2) 77.1	(26.9) 17.4	(7.7) 3.9	(2.0) 1.2	(0.3) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(48.4) 71.4	(27.9) 19.3	(19.3) 7.3	(3.6) 1.4	(0.8) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(61.4) 75.5	(28.0) 18.6	(8.0) 4.4	(2.1) 1.3	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(54.4) 69.9	(30.9) 21.9	(11.1) 6.7	(2.8) 1.2	(0.8) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(66.0) 78.6	(24.7) 17.0	(6.8) 3.4	(1.9) 0.8	(0.5) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(73.3) 83.8	(21.0) 13.3	(4.8) 2.5	(0.7) 0.2	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(52.1) 67.4	(32.7) 23.6	(11.7) 7.0	(2.7) 1.6	(0.8) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
計	(58.4) 73.5	(27.5) 19.2	(11.1) 5.8	(2.2) 1.1	(0.7) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(52.0) 70.7	(28.6) 18.6	(13.6) 7.1	(4.2) 2.7	(1.7) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(55.4) 73.2	(35.2) 22.1	(7.5) 3.8	(1.5) 0.8	(0.5) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(53.7) 71.9	(31.9) 20.3	(10.6) 5.5	(2.8) 1.7	(1.1) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(59.1) 73.5	(30.7) 20.6	(8.1) 4.6	(1.7) 0.9	(0.5) 0.3	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

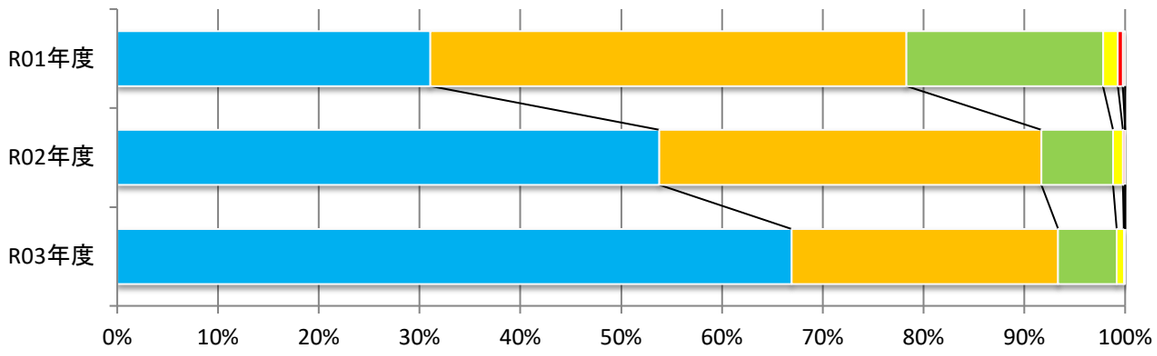
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	82科目	97科目	95科目
調査対象者数	5,969人	7,056人	7,180人
総回答数（回答率）	5,549枚（93.0%）	5,816件（82.4%）	4,410件（61.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

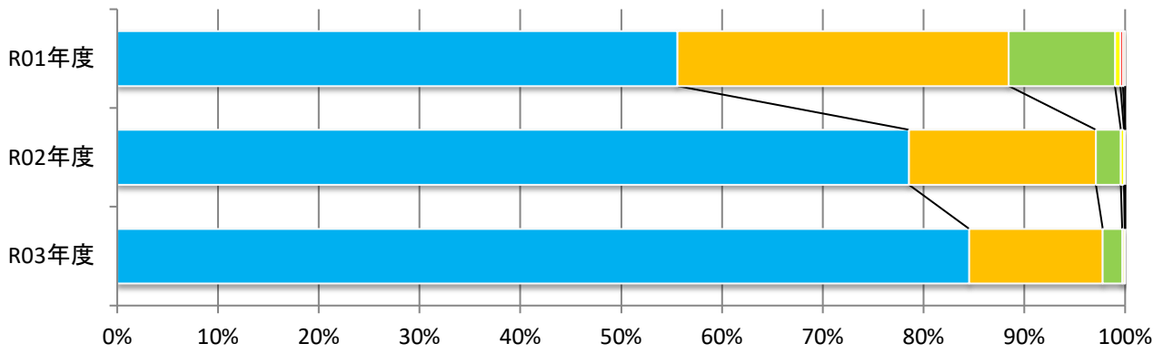
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



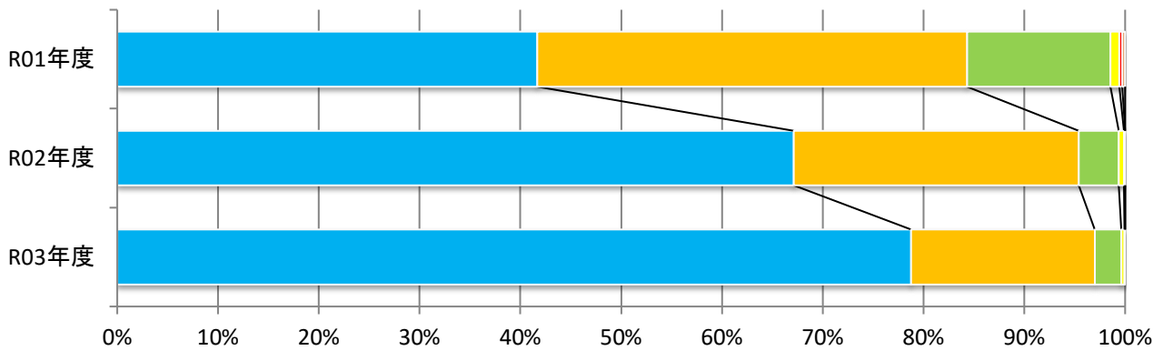
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.1	47.2	78.3	—
53.8	37.9	91.7	＋ 13.4
66.9	26.5	93.4	＋ 1.6

2. 積極的に出席したと思うか。



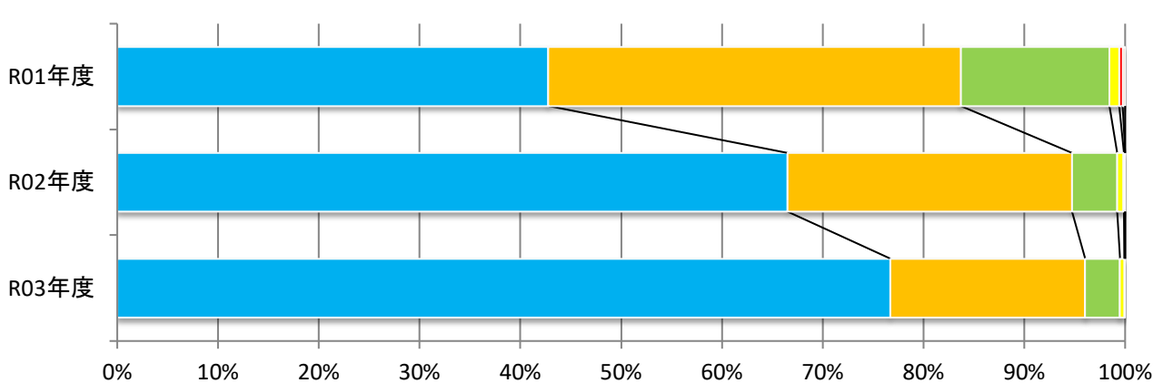
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.6	32.9	88.5	—
78.5	18.5	97.1	＋ 8.6
84.5	13.3	97.8	＋ 0.7

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.7	42.6	84.3	—
67.1	28.3	95.4	＋ 11.1
78.8	18.2	97.0	＋ 1.6

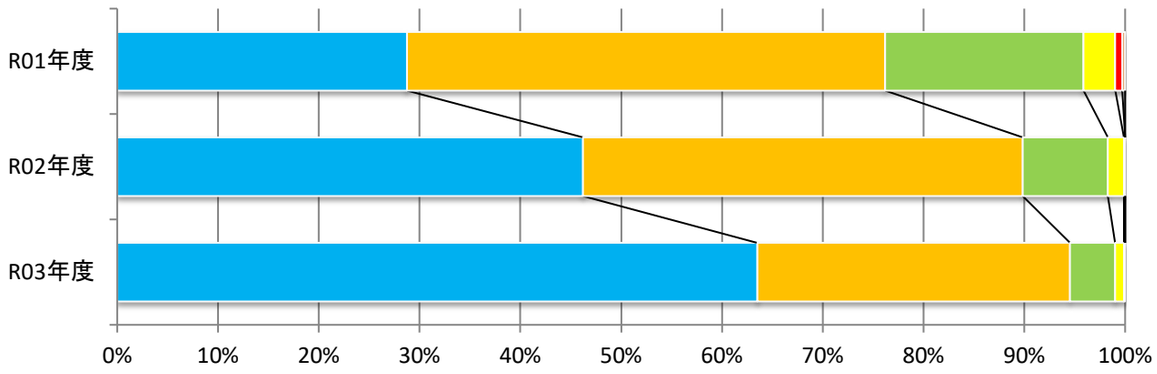
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.8	40.9	83.7	—
66.5	28.2	94.7	＋ 11.0
76.7	19.3	96.0	＋ 1.3

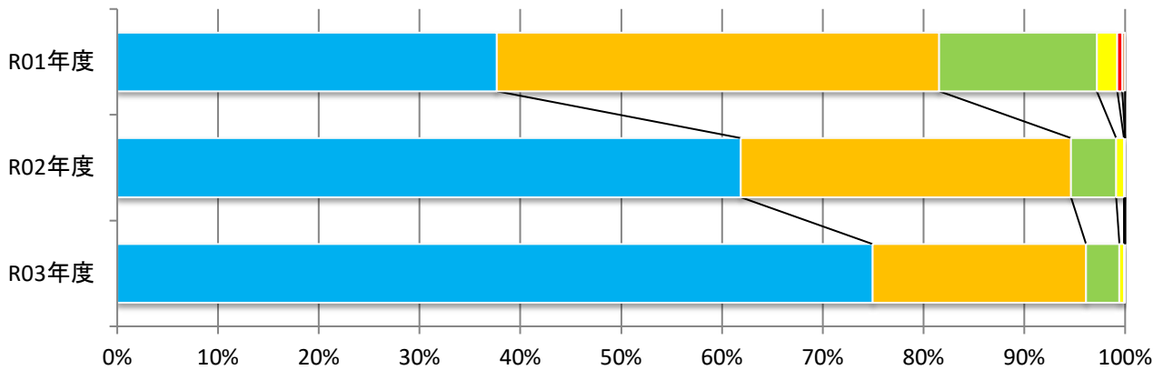
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



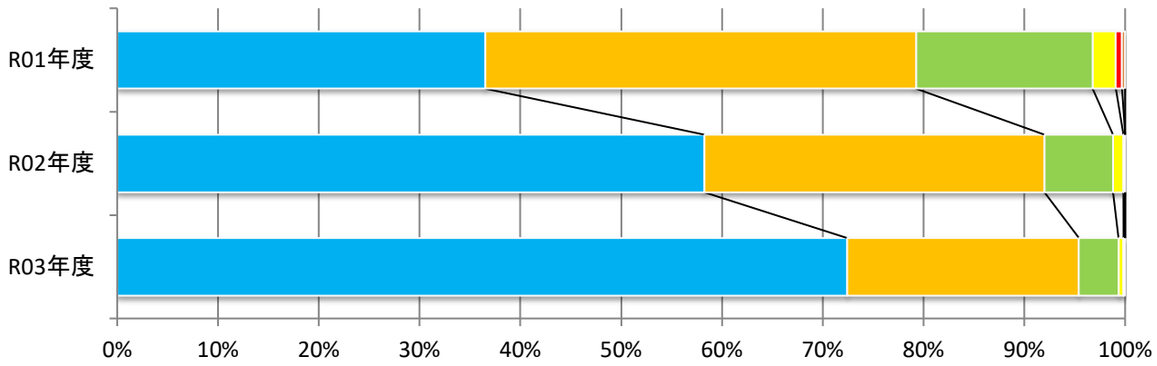
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
28.8	47.4	76.2	―
46.2	43.6	89.9	＋ 13.7
63.5	31.0	94.5	＋ 4.7

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



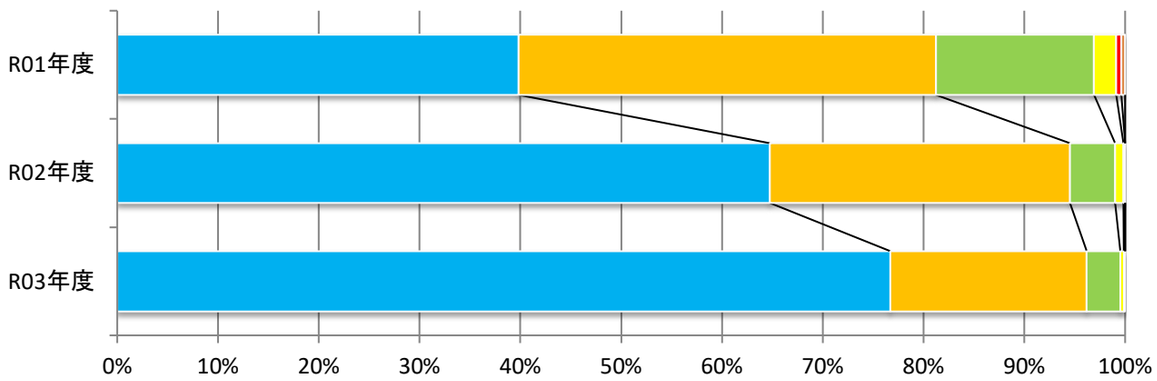
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.7	43.9	81.6	―
61.8	32.8	94.6	＋ 13.1
74.9	21.2	96.1	＋ 1.5

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



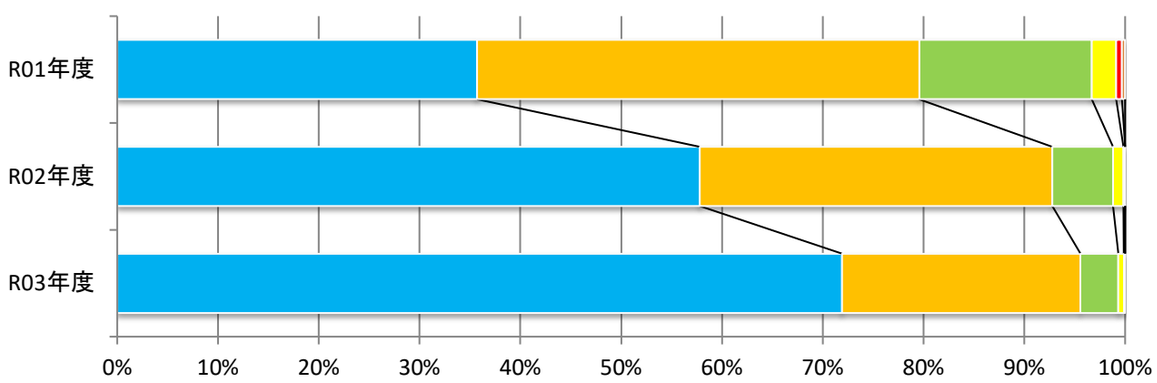
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.5	42.8	79.3	―
58.3	33.7	92.0	＋ 12.7
72.4	23.0	95.4	＋ 3.4

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.8	41.4	81.2	―
64.8	29.8	94.5	＋ 13.3
76.7	19.5	96.2	＋ 1.6

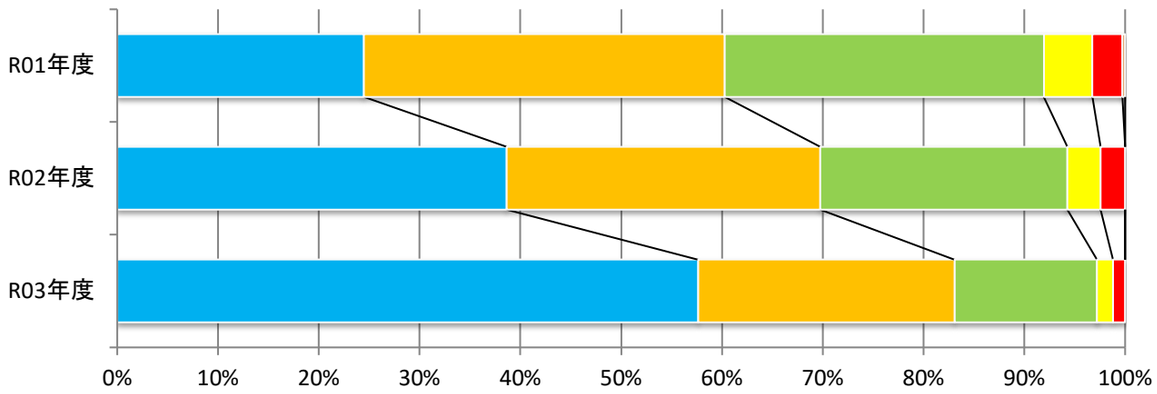
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.7	43.9	79.6	―
57.8	35.0	92.8	＋ 13.2
71.9	23.7	95.6	＋ 2.8

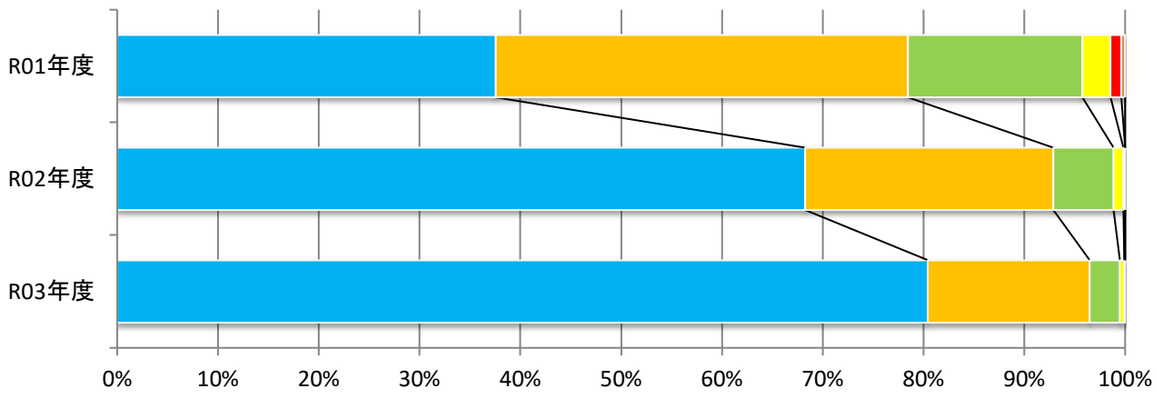
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



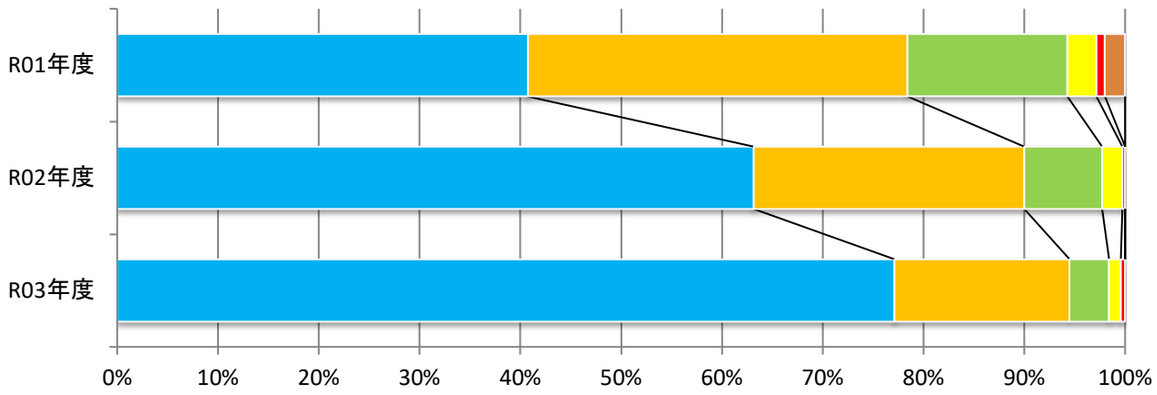
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
24.5	35.8	60.3	—
38.6	31.2	69.8	＋ 9.5
57.6	25.4	83.1	＋ 13.3

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



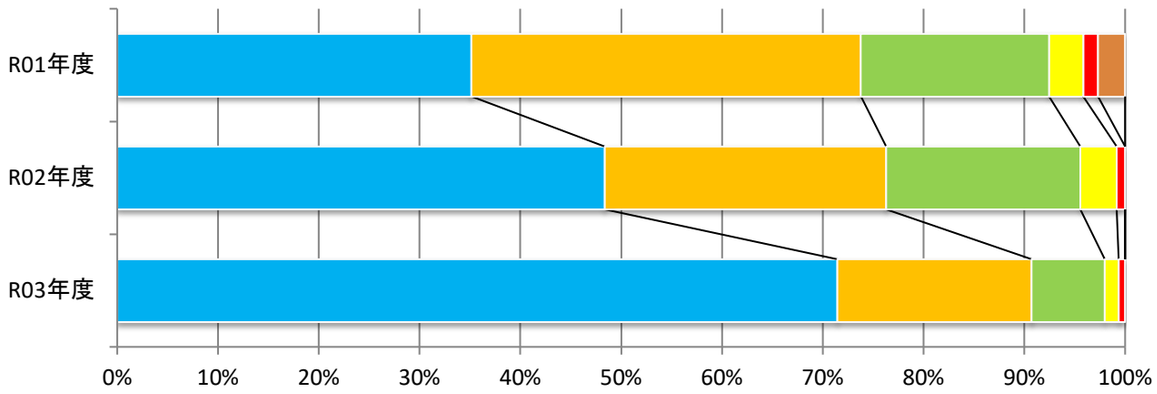
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.6	40.9	78.5	—
68.3	24.6	92.9	＋ 14.4
80.4	16.1	96.5	＋ 3.6

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



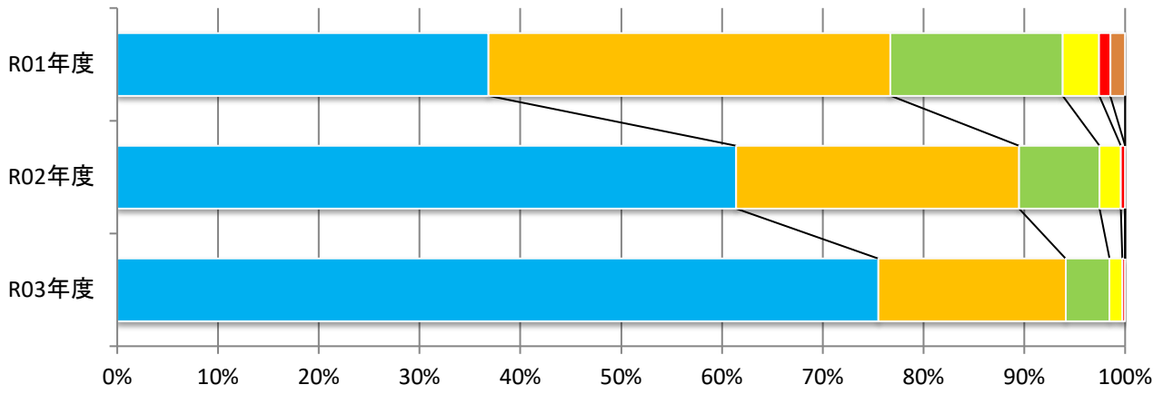
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.7	37.7	78.4	—
63.2	26.9	90.0	＋ 11.6
77.1	17.4	94.5	＋ 4.5

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1　板書であったと思うか。



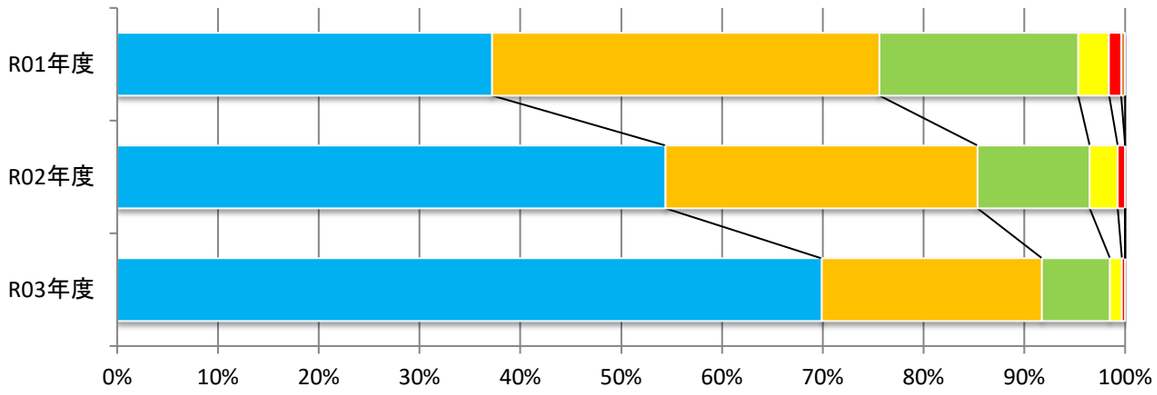
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.1	38.6	73.8	—
48.4	27.9	76.3	＋ 2.5
71.4	19.3	90.7	＋ 14.4

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は -2　わかりやすかったと思うか。



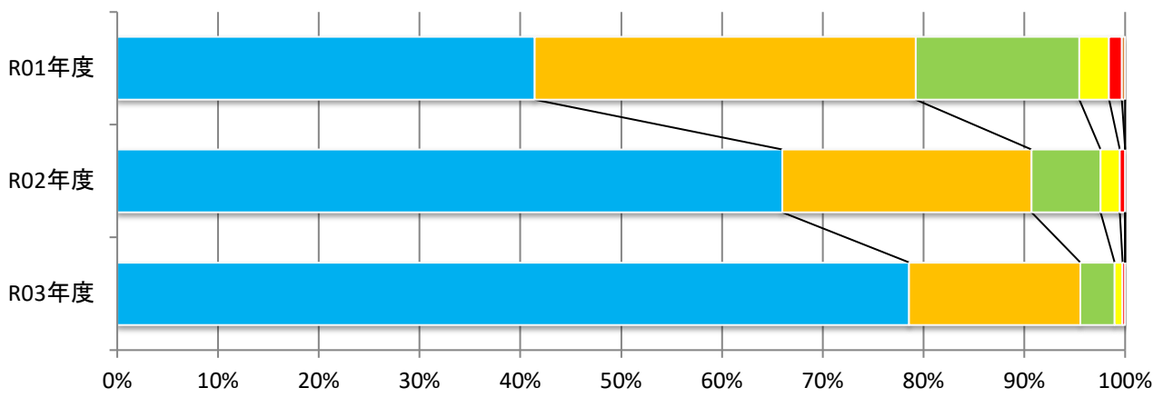
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.8	39.9	76.7	—
61.4	28.0	89.5	＋ 12.7
75.5	18.6	94.1	＋ 4.6

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



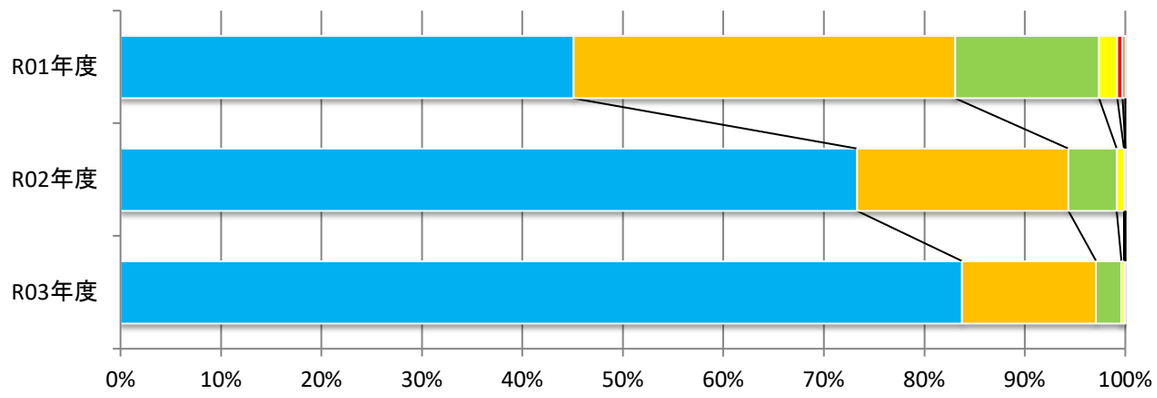
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.2	38.4	75.6	—
54.4	30.9	85.4	＋ 9.7
69.9	21.9	91.8	＋ 6.4

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



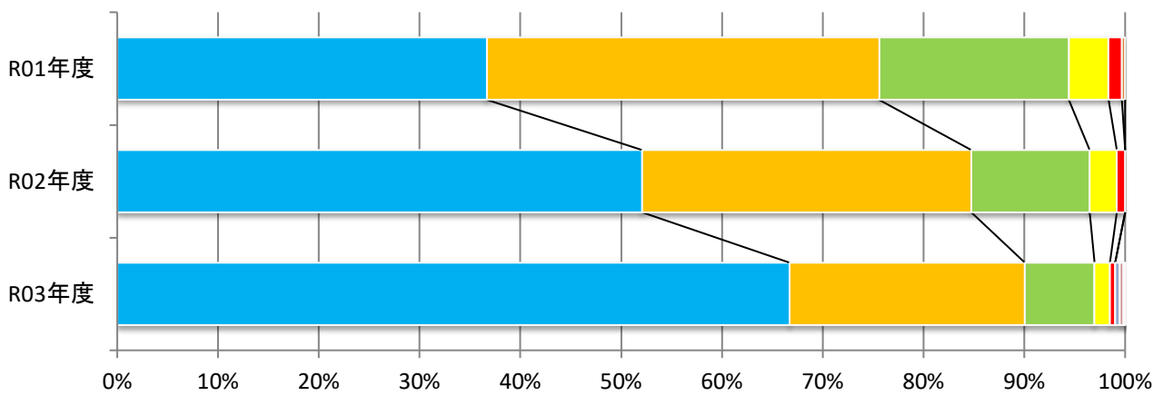
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	37.8	79.2	—
66.0	24.7	90.7	＋ 11.5
78.6	17.0	95.6	＋ 4.8

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



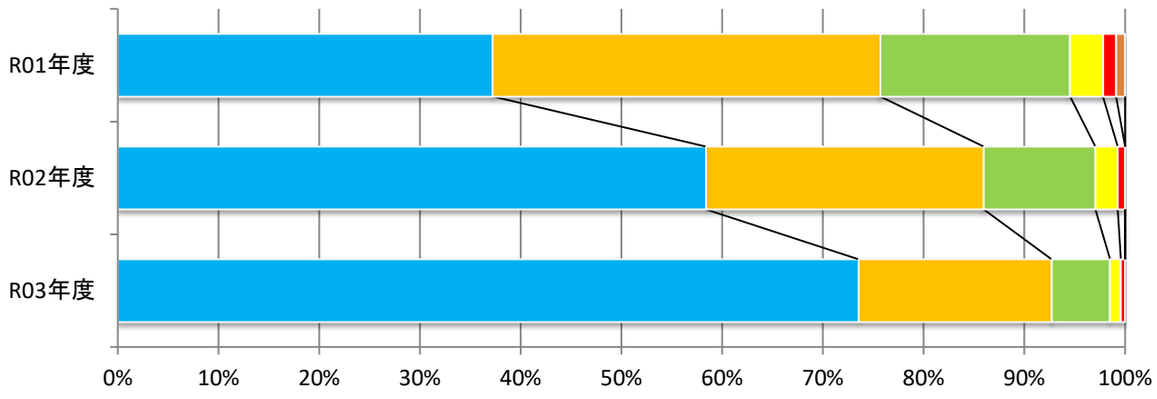
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.1	38.0	83.1	—
73.3	21.0	94.3	＋ 11.2
83.8	13.3	97.1	＋ 2.8

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.7	38.9	75.7	—
52.1	32.7	84.7	＋ 9.1
67.4	23.6	91.0	＋ 6.2

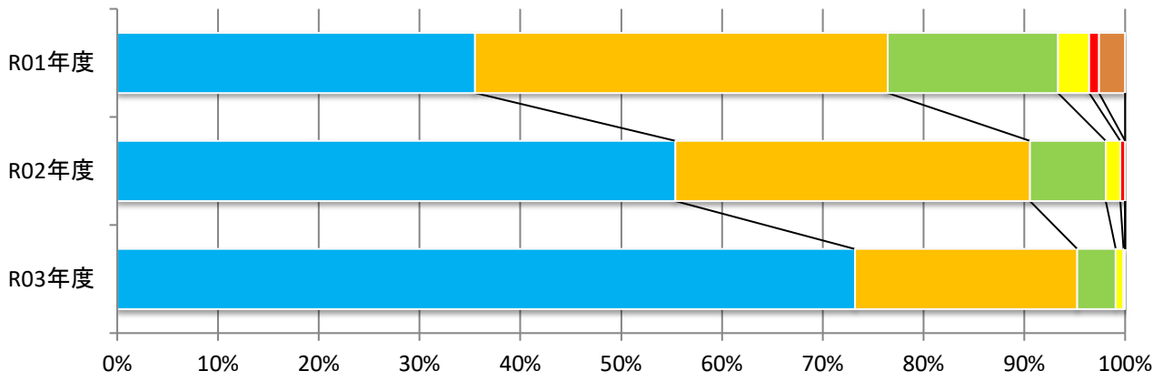
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.2	38.5	75.7	—
58.4	27.5	85.9	＋ 10.3
73.5	19.2	92.7	＋ 6.7

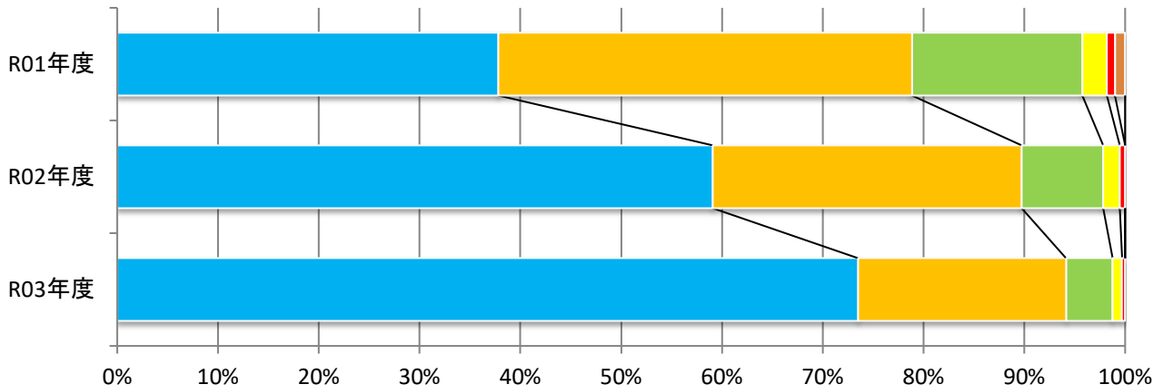
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



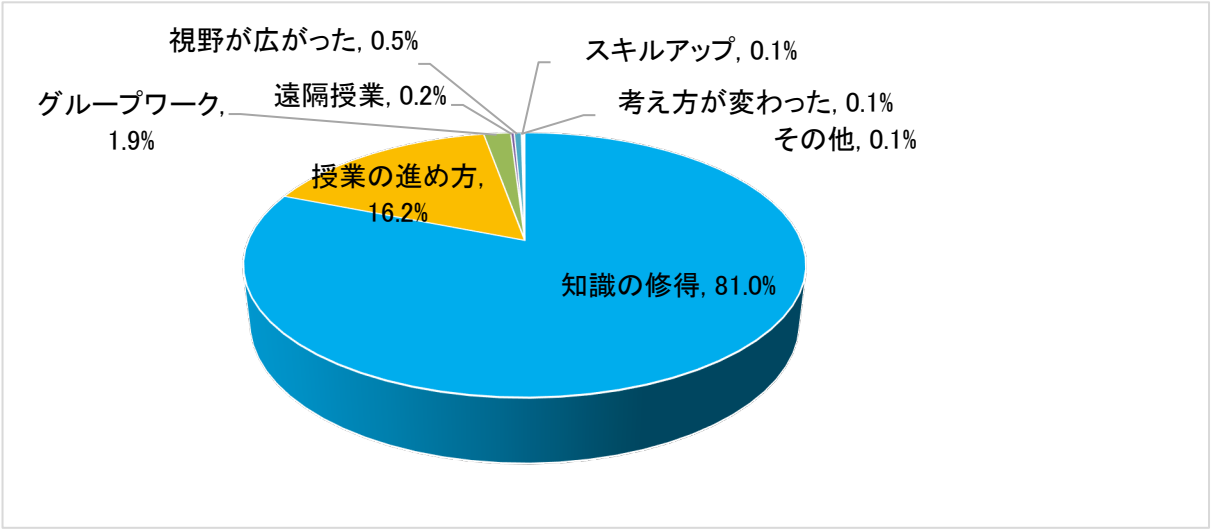
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.5	40.9	76.4	—
55.4	35.2	90.5	＋ 14.1
73.2	22.1	95.3	＋ 4.7

全質問項目の平均



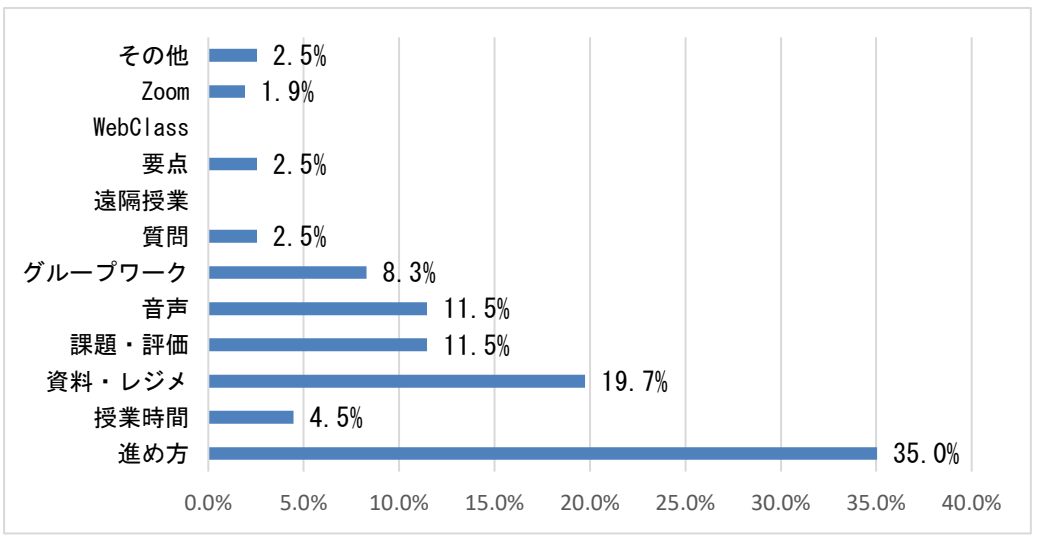
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	41.0	78.8	—
59.1	30.7	89.7	＋ 10.9
73.5	20.6	94.1	＋ 4.4

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　1,243】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	スタディ・スキル	45	グループワークの進め方が今まで授業で学んだことがなかったからこの授業で理解できた。 レポートや論文を作る時に参考になる。
			これから社会にでていくために身に付けなければいけないスキルを学び理解することができて良かった。
	わかやま学	40	講演を通して、和歌山の素晴らしさをより詳しく知ることができました。 発表でも、各グループの様々な考えを聞くことができて面白かったです。
			和歌山にずっと住んでいたけど、知らなかったことを学ぶことができたところが良かったと思います。
	クリティカル・シンキングⅠ	35	最初は慣れない文章の書き方に戸惑いましたが、先生が色んな人の参考文を見せてくれて説明してくれるのでとても分かりやすかったです。論理的思考をどう表現するのか何となくですが分かりました。
			記事など文章を読むことで読解力が身につき、それに加えて自分の考えを表現する力や思考力がとても身につけることができたこと。
	医学・医療概論	34	実際の医療の現場などの話を聞くことができて、本当に良かったです。ある状態になった場合、するべきことや気を付けることを知ることも出来ました。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　157】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	生活健康科学	8	先生のWi-Fiの環境が悪く大事なところが聞き取れない部分があった。
			音が途切れて聞き取りづらかったので改善されたら良いなと思う点でした。
	病態生理学	7	声が聞き取りにくく、何を言っているのかが分からないことがありました。また、教科書のどの部分を言っているのか、何がポイントなのかをもう少しはっきりさせてほしかったです。
			大事なところ、そうではないところのメリハリをつけた講義形態に改善すべきだと思います。、本当に大事なところはどこなのか、この講義でどういうところを大事に聞くべきなのか分からなかったため、授業の初めにどこを大事に聞くべきなのか言うべきだと思いました。
	看護学概論	7	時間内に終わらないことが多く、次の講義との間に休憩が取れないことが何回かありました。
			説明する際、教科書の該当するページについても述べてほしかった。教科主体の授業で、大事なところをもう少しわかりやすく教えてほしかった。
	クリティカル・シンキングⅠ	7	毎週の課題で自分が提出したものが、どのように評価されているのか知りたかったです。 特に、足らなかったところや、間違っているところが分からなければ、次の課題で生かすことができません。
			良い例を挙げるだけではなく、皆が間違えやすい表現であったり悪い例を挙げて、どう改善するべきなのかを知りたかったです。

令和３年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○実習・実験科目数　21科目　　○調査対象者数　1,290人（延人数）
○総回答数　712 件（回答率 55.2%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	(55.6)	(38.2)	(4.3)	(1.8)	0.0	0.0	(100)
	64.5	31.5	3.9	0.1	0.0	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(88.2)	(10.1)	(1.0)	(0.5)	(0.2)	0.0	(100)
	87.1	12.1	0.7	0.1	0.0	0.0	100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	(76.0)	(22.0)	(1.5)	(0.5)	0.0	0.0	(100)
	80.5	18.3	1.1	0.1	0.0	0.0	100
計	(73.3)	(23.5)	(2.3)	(0.9)	(0.1)	0.0	(100)
	77.3	20.6	1.9	0.1	0.0	0.0	100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	(60.6)	(36.4)	(2.6)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	64.6	32.2	2.7	0.4	0.1	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(67.7)	(29.8)	(2.2)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	69.0	27.7	2.9	0.3	0.1	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(70.5)	(26.3)	(2.6)	(0.5)	0.0	0.0	(100)
	72.5	23.0	4.1	0.3	0.1	0.0	100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(69.9)	(26.0)	(3.8)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	73.9	22.6	2.5	0.8	0.1	0.0	100
計	(67.2)	(29.6)	(2.8)	(0.4)	0.0	0.0	(100)
	70.0	26.4	3.1	0.5	0.1	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(33.3)	(33.8)	(22.5)	(6.6)	(3.8)	0.0	(100)
	45.9	25.0	21.5	3.5	4.1	0.0	100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(57.8)	(32.6)	(7.0)	(2.3)	(0.3)	0.0	(100)
	69.2	23.9	4.5	1.7	0.7	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(67.4)	(26.3)	(4.6)	(1.7)	0.0	0.0	(100)
	71.8	21.5	4.8	1.5	0.4	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(72.4)	(21.4)	(4.1)	(2.2)	0.0	0.0	(100)
	70.4	23.2	4.4	1.4	0.7	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(57.1)	(31.1)	(7.9)	(3.0)	(0.8)	0.0	(100)
	70.6	22.1	5.2	1.3	0.8	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(74.3)	(21.4)	(3.0)	(1.0)	(0.3)	0.0	(100)
	76.5	18.7	3.8	0.6	0.4	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	(66.6)	(26.2)	(4.5)	(2.3)	(0.5)	0.0	(100)
	67.3	24.6	5.3	2.0	0.8	0.0	100
計	(61.3)	(27.5)	(7.7)	(2.7)	(0.8)	0.0	(100)
	67.4	22.7	7.1	1.7	1.1	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(44.4)	(29.6)	(17.9)	(6.5)	(1.7)	0.0	(100)
	44.2	20.9	18.3	8.3	8.3	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(52.6)	(39.4)	(5.8)	(2.2)	0.0	0.0	(100)
	65.6	29.2	3.5	1.0	0.7	0.0	100
計	(48.5)	(34.5)	(11.8)	(4.3)	(0.8)	0.0	(100)
	54.9	25.1	10.9	4.6	4.5	0.0	100
全質問項目の平均	(62.6)	(28.8)	(6.1)	(2.1)	(0.4)	0.0	(100)
	67.4	23.7	5.7	1.7	1.4	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

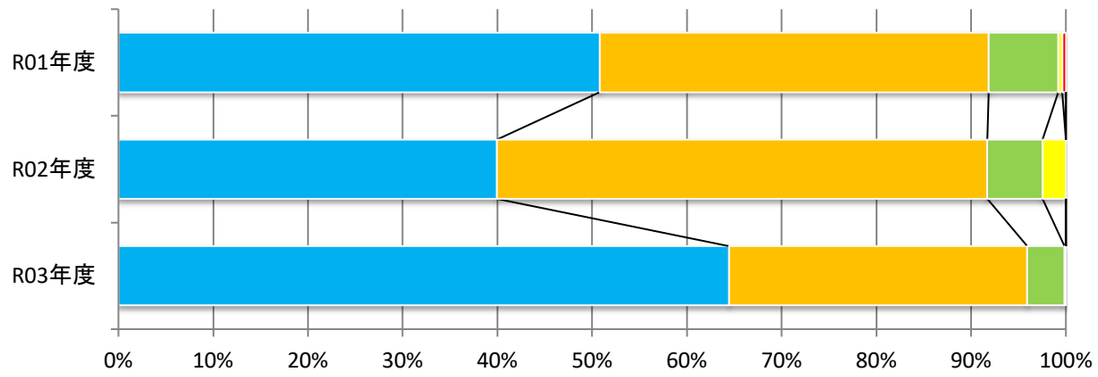
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	3科目	11科目	21科目
調査対象者数	278人	1,089人	1,290人
総回答数（回答率）	258枚（92.8%）	604件（55.5%）	712件（55.2%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

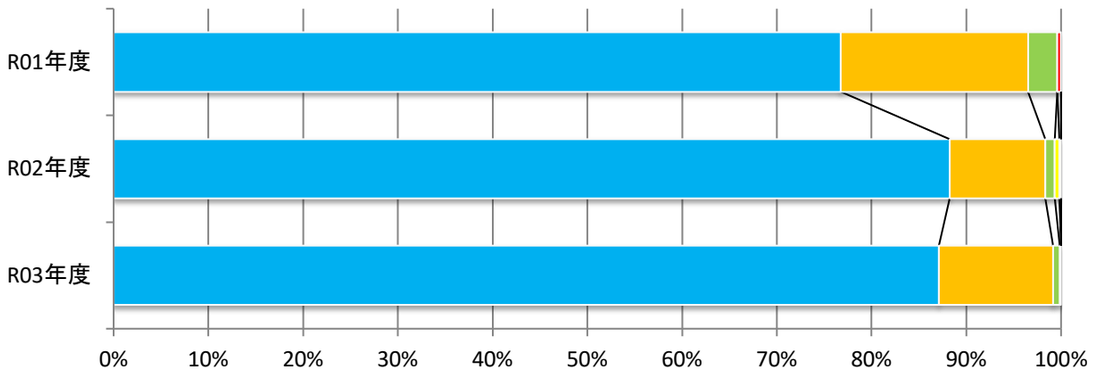
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



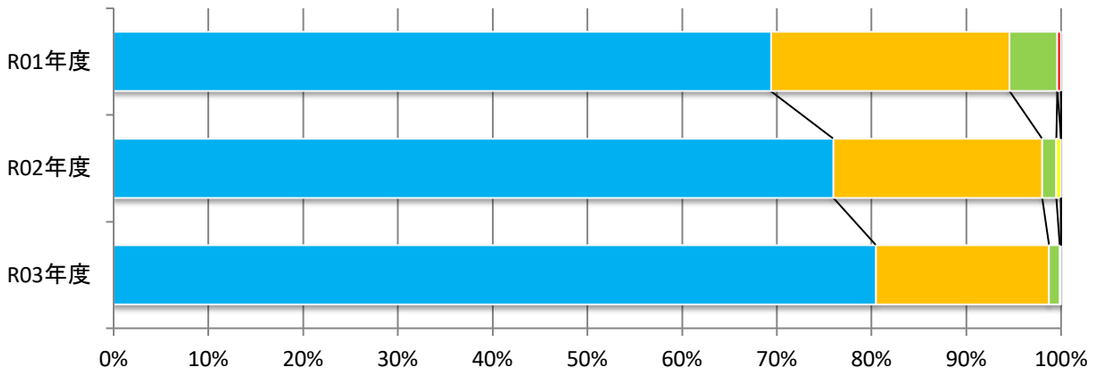
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.8	41.1	91.9	—
29.5	38.2	67.7	△ 24.1
64.5	31.5	95.9	＋ 28.2

2. 積極的に出席したと思うか。



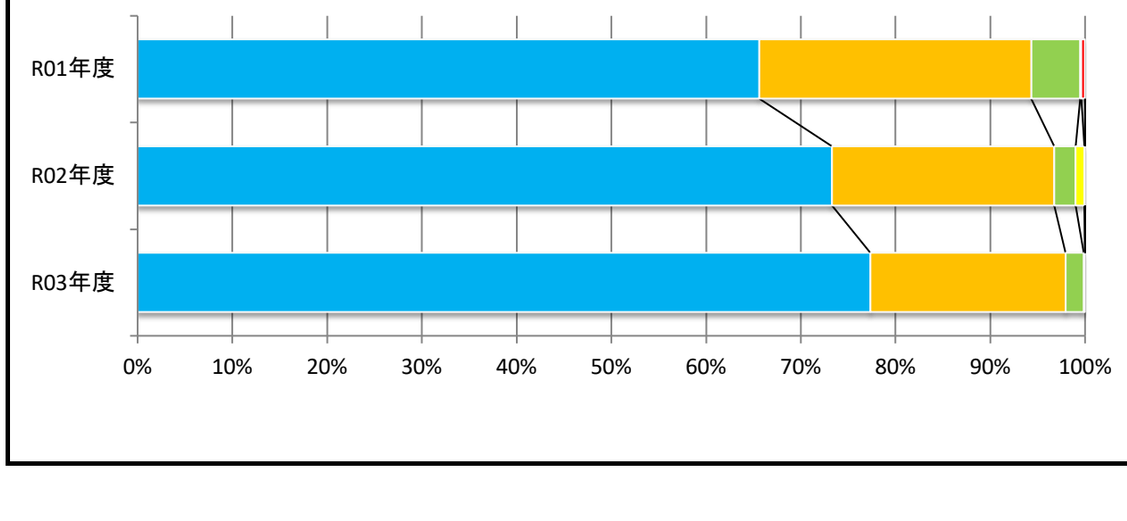
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
76.7	19.8	96.5	—
88.2	10.1	98.3	＋ 1.8
87.1	12.1	99.2	＋ 0.8

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
69.4	25.2	94.6	—
76.0	22.0	98.0	＋ 3.4
80.5	18.3	98.7	＋ 0.7

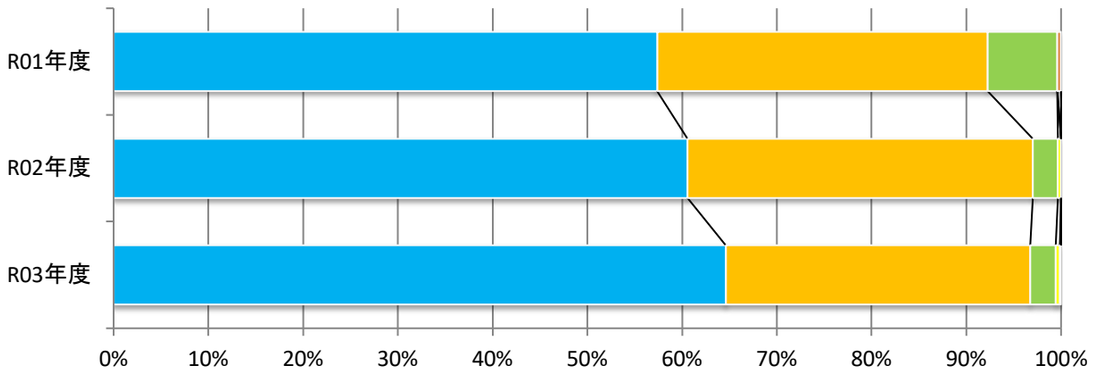
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.6	28.7	94.3	—
73.3	23.5	96.7	＋ 2.4
77.3	20.6	97.9	＋ 1.2

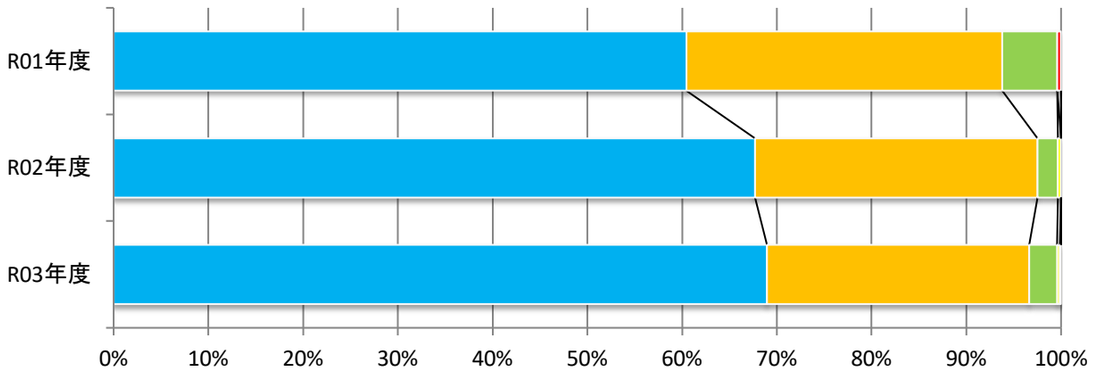
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



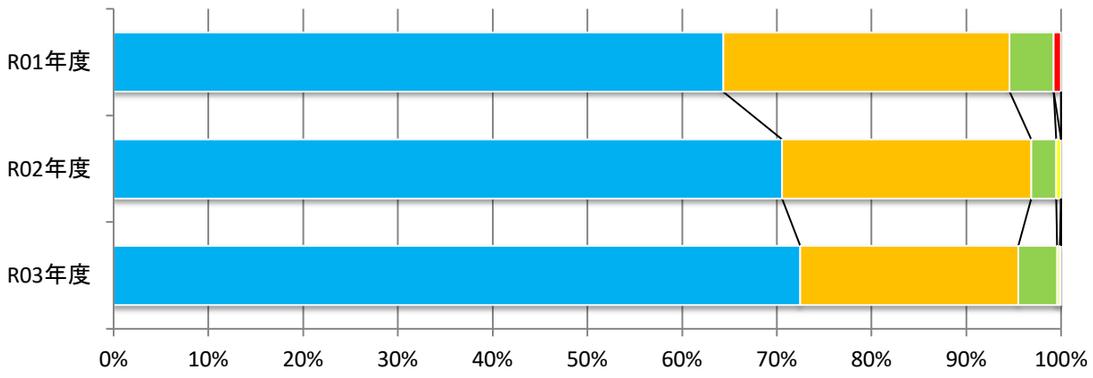
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.4	34.9	92.2	―
60.6	36.4	97.0	＋ 4.8
64.6	32.2	96.8	△ 0.3

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



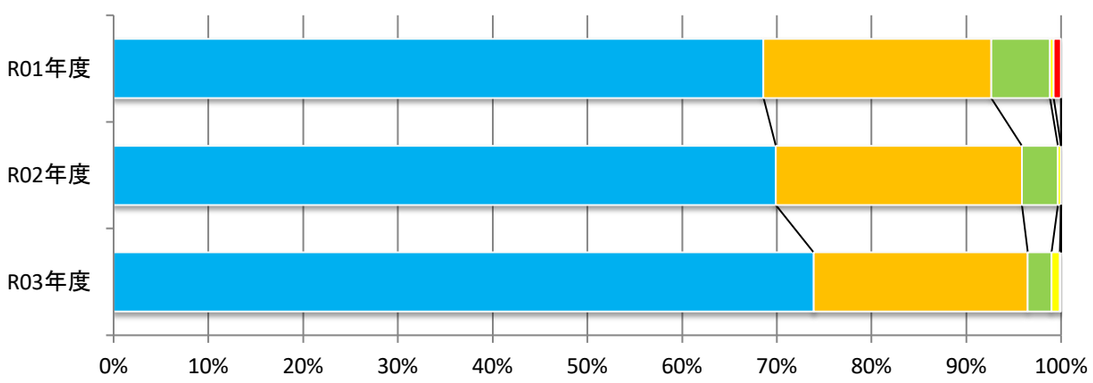
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.5	33.3	93.8	―
67.7	29.8	97.5	＋ 3.7
69.0	27.7	96.6	△ 0.9

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



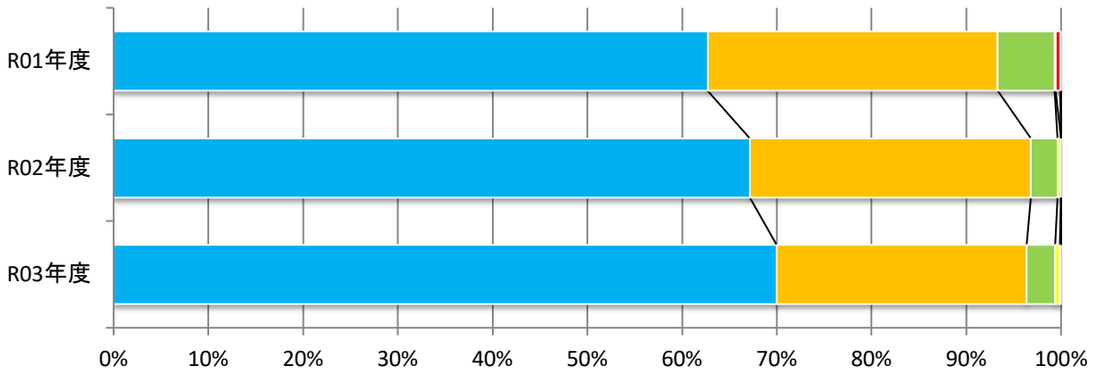
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.3	30.2	94.6	―
70.5	26.3	96.9	＋ 2.3
72.5	23.0	95.5	△ 1.3

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.6	24.0	92.6	―
69.9	26.0	95.9	＋ 3.2
73.9	22.6	96.5	＋ 0.6

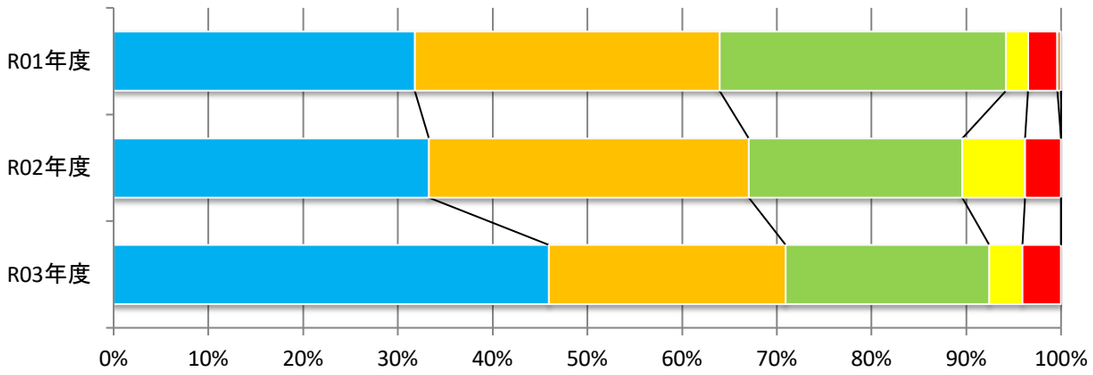
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
62.7	30.6	93.3	―
67.2	29.6	96.8	＋ 3.5
70.0	26.4	96.3	△ 0.5

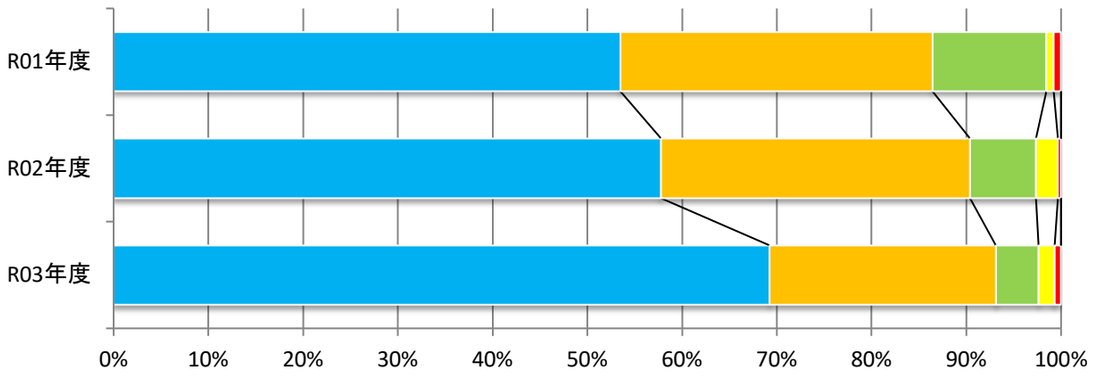
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



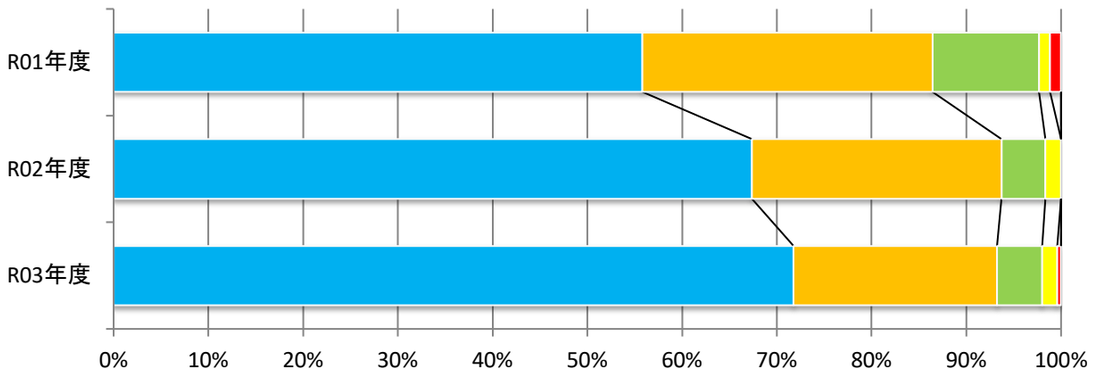
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.8	32.2	64.0	—
33.3	33.8	67.1	＋ 3.1
45.9	25.0	70.9	＋ 3.9

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



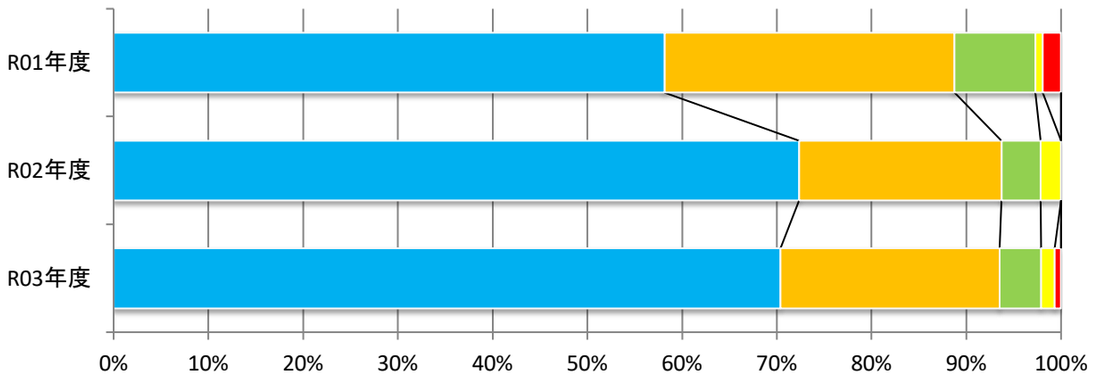
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.5	32.9	86.4	—
57.8	32.6	90.4	＋ 4.0
69.2	23.9	93.1	＋ 2.7

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



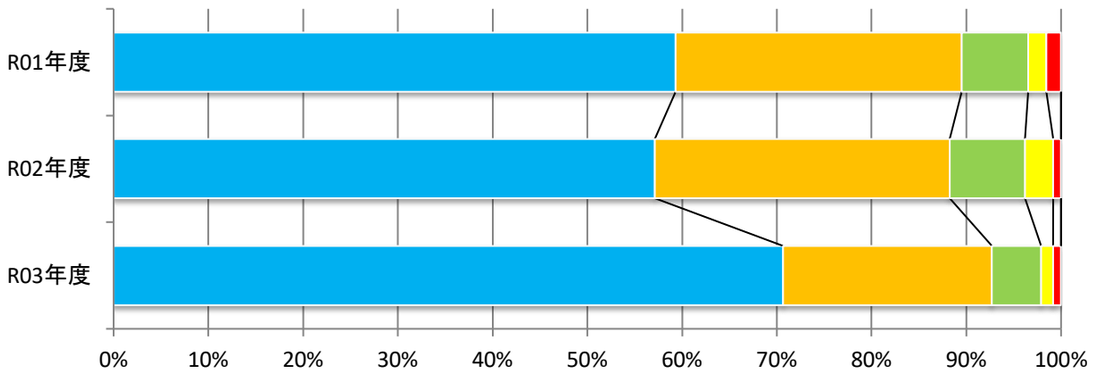
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.8	30.6	86.4	—
67.4	26.3	93.7	＋ 7.3
71.8	21.5	93.3	△ 0.5

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



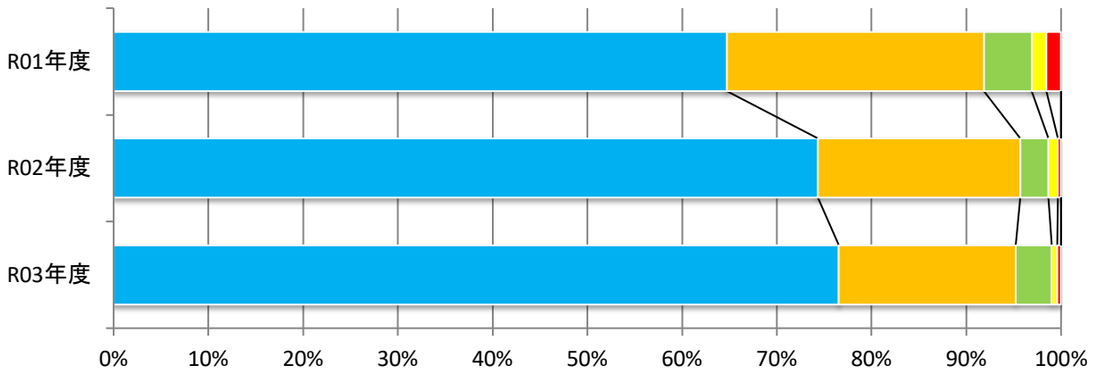
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.1	30.6	88.8	—
72.4	21.4	93.7	＋ 4.9
70.4	23.2	93.5	△ 0.2

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



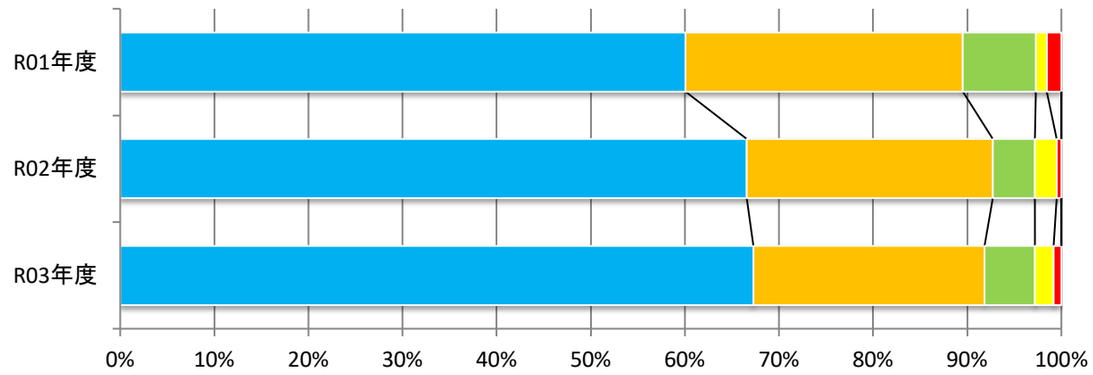
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.3	30.2	89.5	—
57.1	31.1	88.2	△ 1.3
70.6	22.1	92.7	＋ 4.5

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



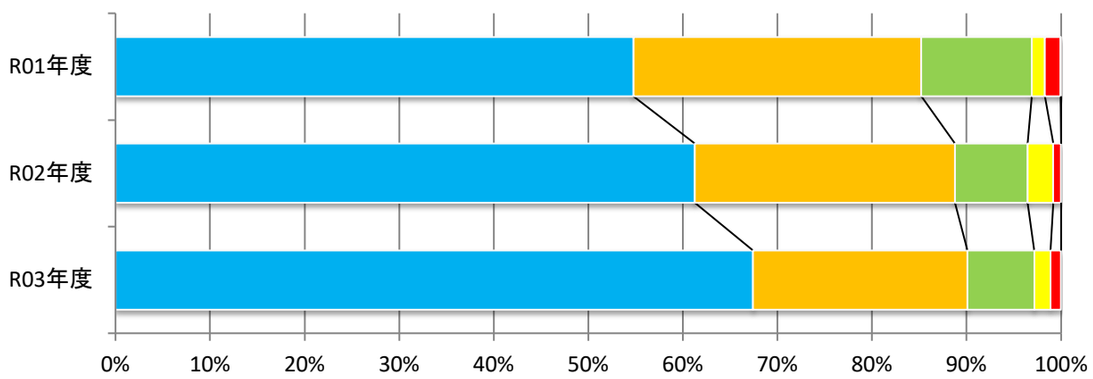
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.7	27.1	91.9	—
74.3	21.4	95.7	＋ 3.8
76.5	18.7	95.2	△ 0.5

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.1	29.5	89.5	—
66.6	26.2	92.7	＋ 3.2
67.3	24.6	91.9	△ 0.9

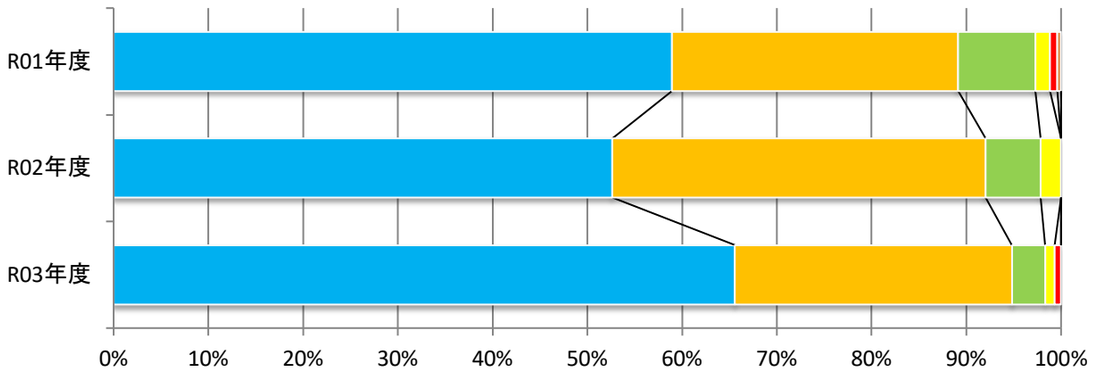
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.8	30.5	85.2	—
61.3	27.5	88.8	＋ 3.6
67.4	22.7	90.1	＋ 1.3

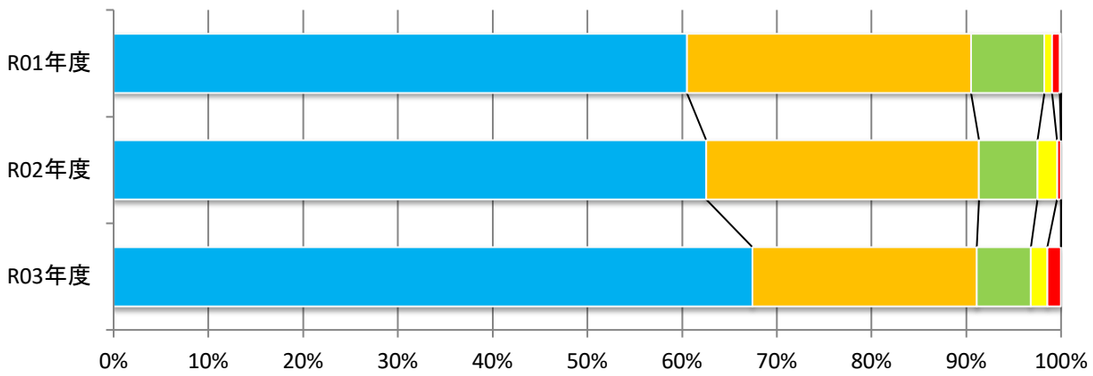
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



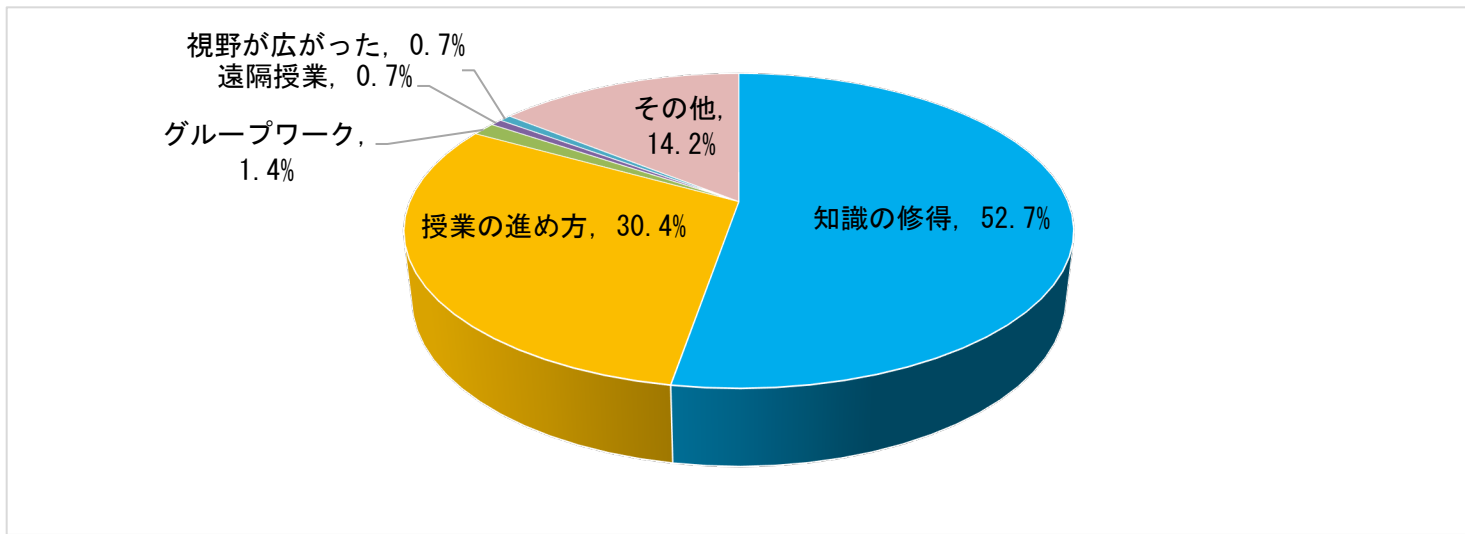
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.9	30.2	89.1	—
52.6	39.4	92.1	＋ 2.9
65.6	29.2	94.8	＋ 2.8

全質問項目の平均



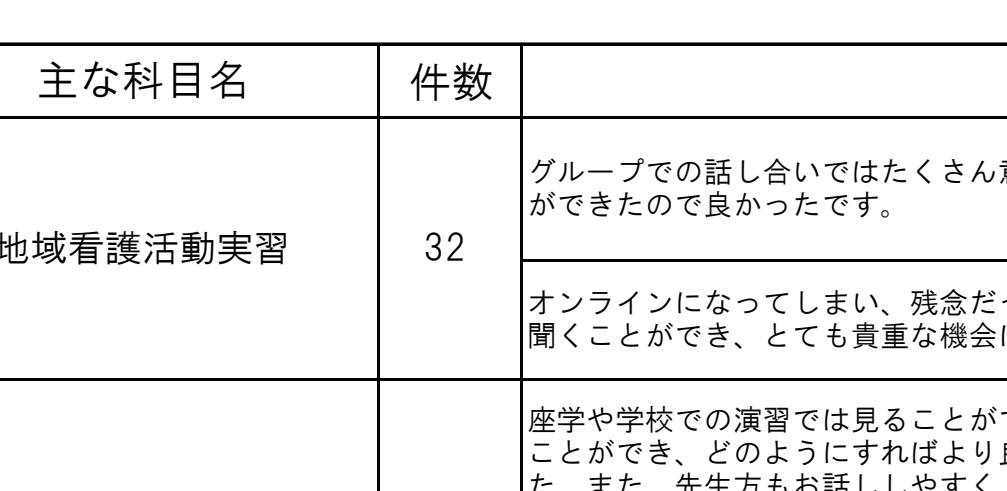
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.5	30.0	90.5	—
62.6	28.8	91.3	＋ 0.8
67.4	23.7	91.1	△ 0.3

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　148】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	地域看護活動実習	32	グループでの話し合いではたくさん意見を聞くことができ、自分は何ができていないのかをしっかり理解することができたので良かったです。
			オンラインになってしまい、残念だったが、実際に活動をしている地域の人や地域包括支援センターの人から話を聞くことができ、とても貴重な機会になった。
	基礎看護援助実習Ⅰ	28	座学や学校での演習では見ることができない、患者さんの実際の様子や実際の看護師さんの働いている様子を見ることができ、どのようにすればより良い看護を行うことができるのか深く考えるきっかけとなることができました。また、先生方もお話ししやすく、相談や質問しやすい環境であったので、とてもよかったです。
			事前に何度もアセスメントがあり、実習に行く心の準備を整えてもらえてよかった。
			見学実習では、実際に病院での看護の様子を知ることができ、よい経験になりました。学びをグループで共有したことも新たな視点を持つことができて良かったと思います。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数 27】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	公衆衛生看護学実習	6	教員同士での情報共有ができておらず、異なる情報を伝えらえることがあったため、学生が困惑する場面があった。
	看護統合実習	5	2週間しかないのでレポートを提出する際にうまくまとめることができなかったためもう少し期間を延ばしてほしかったです。
			領域内、領域間での実習内容に差がありすぎる。臨地出席日数が領域間で違ったのは不服である。
	基礎看護援助実習Ⅰ	3	出来れば実際に現地に行き臨地実習を行いたかったです。

令和３年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学研究科長
坂本　すが

多様性と協働が求められる時代、社会人としてリーダーシップをとっている大学院生たちが、さらに、キャリアアップして、地域のリーダーとしてのびのびと活躍していく、それが本研究科のめざすところです。

１．授業評価の結果について

評価は、概ね肯定的評価を頂き、授業評価の評点も高い評価を頂いたと思います。コロナ禍において、ICT 教育も落ち着いてきた感じとなっていると思われます。大学院教育において、想定以上に初めて学ぶことがあり、学修に対する満足感や学びを楽しんで頂けているご意見がとてもうれしく思いました。また、大学院生ならではという感じですが、学びを自分で見いだす姿勢を身に着けた院生が多くみられました。主体的問題解決への探求力をさらに育成していくために、アクティブラーニングの導入を進め、院生自身が自己評価を適切に実施できるような体制を作ってきておりますが、今後も教員一同、頑張っていきたいと思います。

２．授業において工夫した点について

入学時のガイダンスやスケジュールなど、また、ICT 教育上での授業の工夫などをしてきましたが、課題とする意見もいただき、さらに工夫していきたいと思います。しかしながら、新カリキュラムを導入して、研究方法論など、共通科目の充実や担当教授の授業内容が興味深い学習内容となるように研究科が一丸となって工夫してきたことが実って、授業評価が高評価であったという効果がみられてきたと考えられます。継続して取り組んで参ります。

３．今後の授業への生かし方について

英語教育等のコミュニケーションを学修に活かす授業は、「授業をせめてオンラインにしてほしかった」「リアルタイムで質問できる環境が欲しい内容であった」。また、「オンデマンド講義では課題に対する回答などがいただけると、自分の復習となり、修正ができた」といった声を頂きました。オンラインでの授業は軌道に乗ってきましたが、さらに、今後の課題としたいと思います。

４．その他

教員は、ハイブリッドな新しい授業形態の活用のために FD（Faculty Development）活動などを通じて、教員同士が互いに教育力を高め合っていけるよう、努めております。教員も頑張りますが、院生の皆さまも一緒に頑張ってよい学びをしていきましょう。

令和３年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 医療保健学研究科　修士課程

○講義・演習科目数　46科目　　○調査対象者数　425人（延人数）
○総回答数　368件（回答率 86.6%）

◆ 質問項目別集計結果　〈上段( )は令和２年度アンケート結果〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(58.1) 76.4	(34.7) 21.2	(6.3) 1.6	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
2. この授業に興味、関心が持てたと思いますか。	0 79.9	0 17.7	0 1.9	0 0.5	0 0.0	 100
3. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(19.5) 41.0	(47.2) 36.1	(26.1) 19.6	(6.6) 2.7	(0.7) 0.5	(100) 100
4. 積極的に出席したと思うか。	(59.1) 72.0	(34.3) 21.7	(6.6) 6.0	0.0 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(45.5) 67.3	(38.7) 24.2	(13.0) 7.3	(3.8) 1.1	(0.3) 0.5	(101) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(30.7) 46.7	(54.1) 42.4	(11.2) 8.2	(3.3) 2.4	(0.7) 0.3	(100) 100
6. この授業内容は将来役立つと思いますか。	0 81.8	0 16.0	0 2.2	0 0.0	0 0.0	 100
7. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	0 66.6	0 24.7	0 7.1	0 1.4	0 0.3	 100
8. この授業をほかの人にも勧めたいと思いますか。	0 69.3	0 21.7	0 7.3	0 1.4	0 0.3	 100
9. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(60.7) 72.6	(34.0) 23.6	(4.6) 3.3	(0.7) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
10. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(68.3) 78.5	(27.4) 19.3	(3.3) 1.6	(1.0) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
11. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(73.6) 80.4	(21.8) 15.8	(4.0) 3.5	(0.7) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(58.3) 70.8	(34.3) 23.4	(5.8) 4.7	(1.4) 1.1	(0.7) 0.3	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
12. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(52.8) 62.8	(24.1) 28.3	(18.8) 6.5	(4.0) 2.2	(0.3) 0.3	(100) 100
13. シラバスに沿って行われたと思いますか。	0 71.2	0 22.3	0 6.0	0 0.5	0 0.0	 100
14. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	0 73.1	0 73.1	0 73.1	0 73.1	0 73.1	 100
15. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(63.0) 83.7	(26.1) 13.0	(9.6) 2.4	(1.0) 0.5	(0.3) 0.3	(100) 100
16. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(71.9) 80.4	(18.5) 13.9	(9.2) 5.4	(0.3) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
17. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1　板書であったと思うか。	(49.2) 79.2	(13.6) 9.7	(33.9) 9.7	(3.4) 0.0	0.0 1.4	(100) 100
17. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施 -2　内容はわかりやすかったと思うか。	(79.6) 80.4	(16.2) 17.4	(4.2) 1.2	0.0 0.6	0.0 0.3	(100) 100
17-3. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	0 79.2	0 15.8	0 3.4	0 1.2	0 0.3	 100
18. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(65.0) 74.5	(20.5) 19.8	(10.9) 4.1	(2.3) 1.6	(1.3) 0.0	(100) 100
19. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか。	0 79.9	0 14.4	0 4.1	0 1.4	0 0.3	 100
20. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(65.0) 79.3	(25.4) 16.8	(9.2) 3.0	0.0 0.3	(0.3) 0.5	(100) 100
21. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(71.6) 82.3	(21.8) 14.1	(5.9) 3.3	(0.3) 0.3	(0.3) 0.0	(100) 100
22. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(58.4) 72.0	(24.4) 16.3	(13.5) 8.7	(2.6) 2.4	(1.0) 0.5	(100) 100
計	(64.1) 76.8	(21.2) 17.1	(12.8) 4.8	(2.0) 1.1	(0.6) 0.5	(101) 100

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	計
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
23. この講義は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(54.8) 73.6	(26.1) 16.3	(13.5) 7.6	(4.0) 1.9	(1.7) 0.5	(100) 100
24. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(62.0) 73.4	(29.4) 21.2	(6.3) 3.8	(2.0) 1.4	(0.3) 0.3	(100) 100
計	(58.4) 73.5	(27.7) 18.8	(9.9) 5.7	(3.0) 1.6	(1.0) 0.4	(100) 100
全質問項目の平均	(56.6) 72.1	(30.5) 20.8	(10.4) 5.6	(2.5) 1.2	(0.6) 0.4	(100) 100

授業評価集計結果　年度別比較

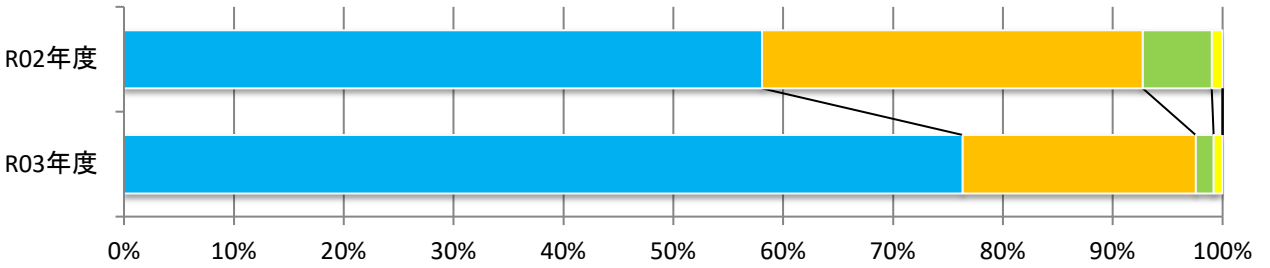
	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全科目数	48科目	46科目	46科目
調査対象者数（延人数）	418人	380人	425人
総回答数（回答率）	335枚（80%）	303件（79.7%）	368件（86.6%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

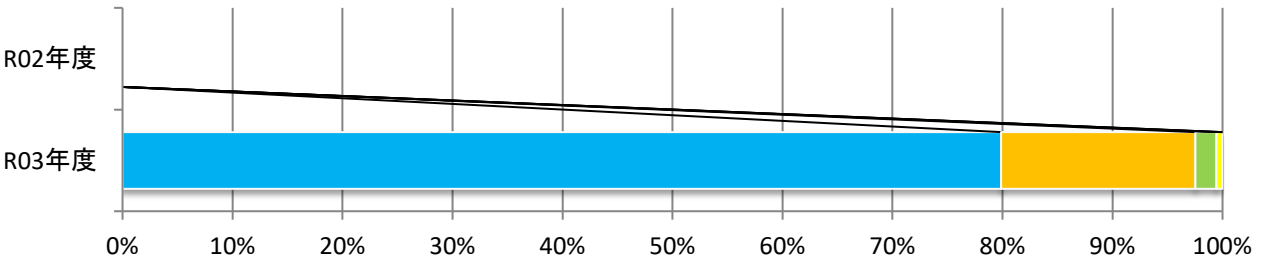
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



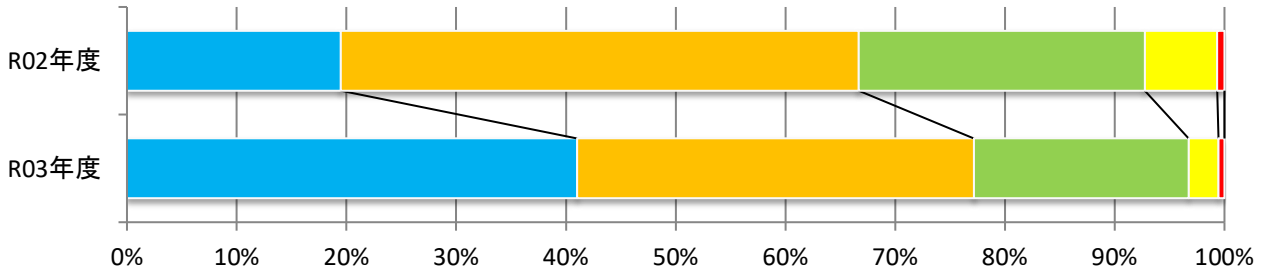
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.1%	34.7%	92.7%	－
76.4%	21.2%	97.6%	4.8%

2. この授業に興味、関心が持てたと思いますか。



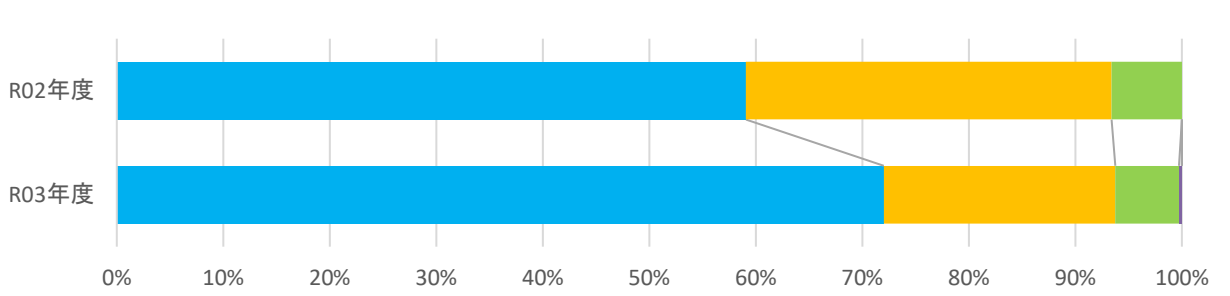
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
79.9%	17.7%	97.6%	

3. 授業に対して十分な準備ができていたか。



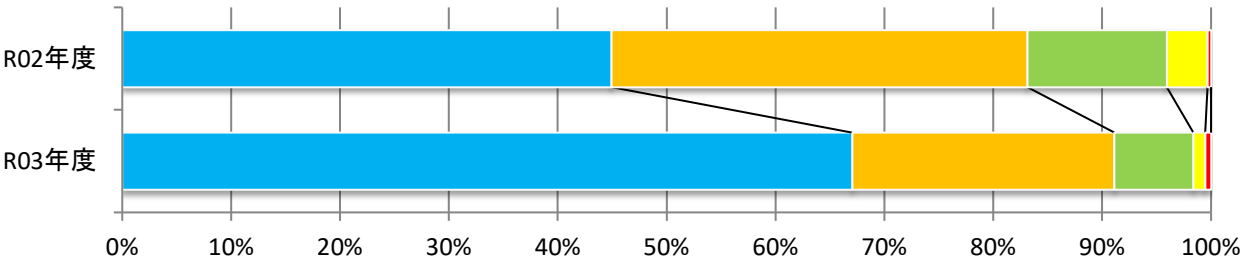
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
19.5%	47.2%	66.7%	－
41.0%	36.1%	77.2%	10.5%

4. 積極的に出席したと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.1%	34.3%	93.4%	－
72.0%	21.7%	93.8%	0.4%

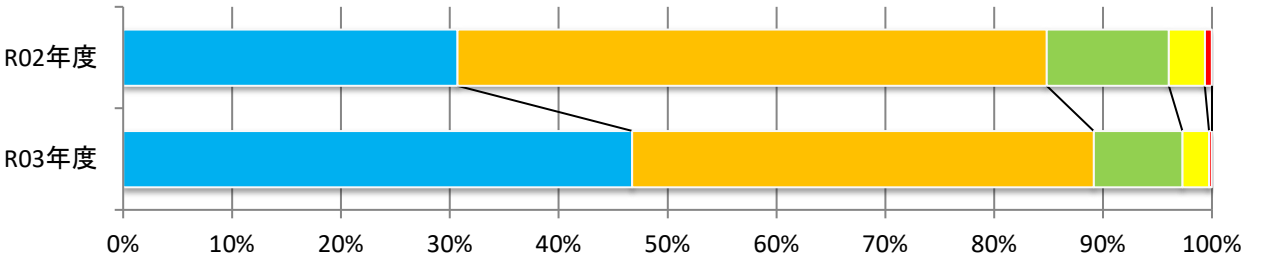
「計」（質問項目 １ ～ ４ ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.5%	38.7%	84.3%	－
67.3%	24.2%	91.5%	7.2%

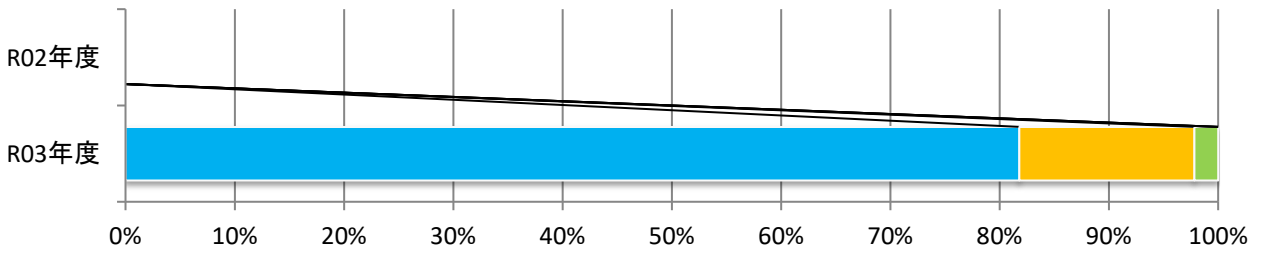
Ⅱ　授業内容について

5. 授業内容をよく理解できたと思うか。



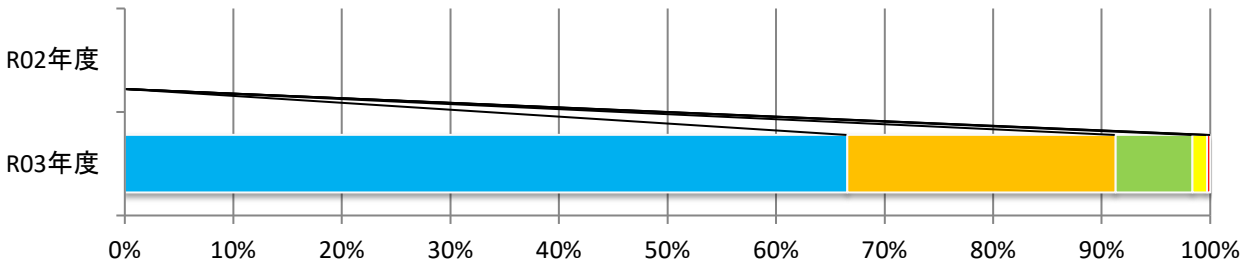
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7%	54.1%	84.8%	－
46.7%	42.4%	89.1%	4.3%

6. この授業内容は将来役立つと思いますか。



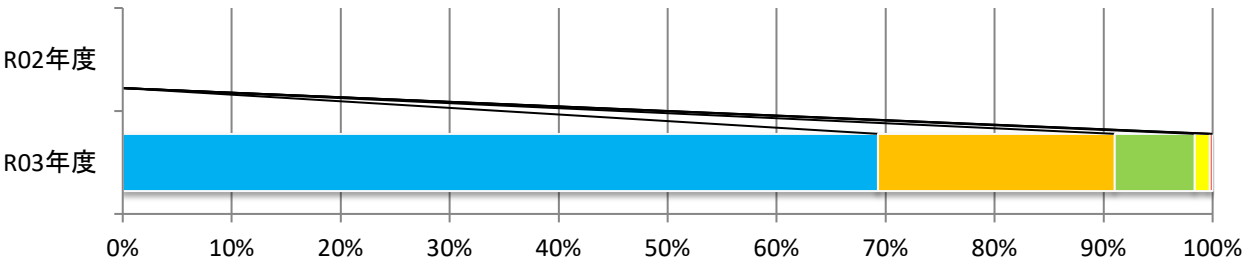
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
81.8%	16.0%	97.8%	

7. この授業は期待していた通りの内容でしたか。



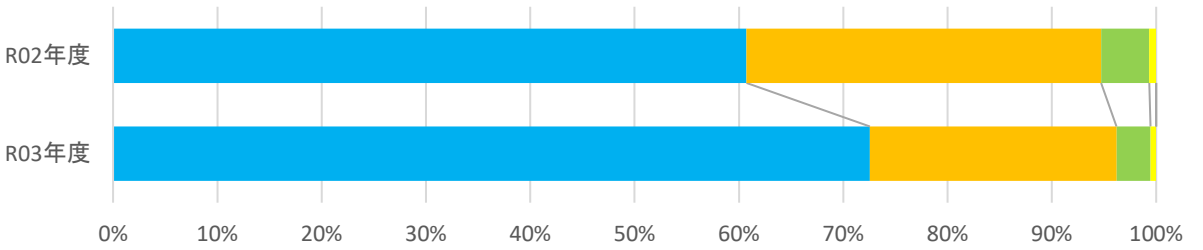
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
66.6%	24.7%	91.3%	

8. この授業をほかの人にも勧めたいと思いますか。



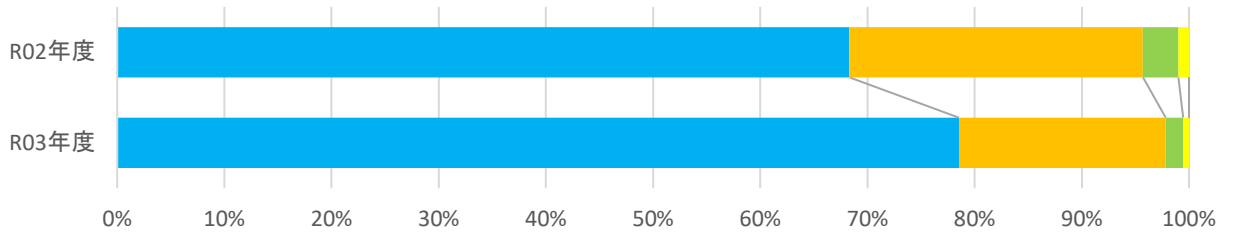
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
69.3%	21.7%	91.0%	

9. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



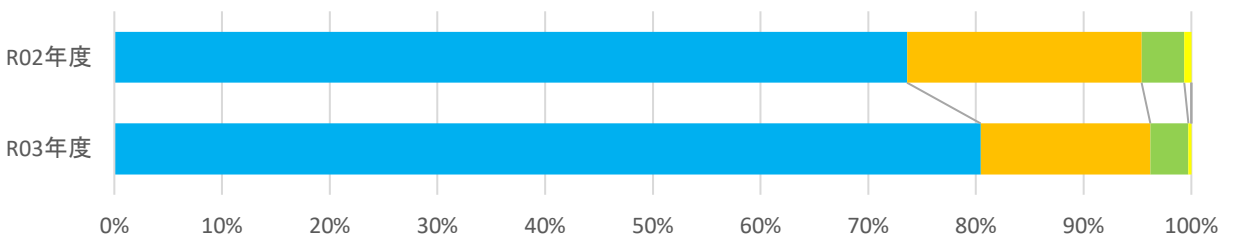
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.7%	34.0%	94.7%	－
72.6%	23.6%	96.2%	1.5%

10. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



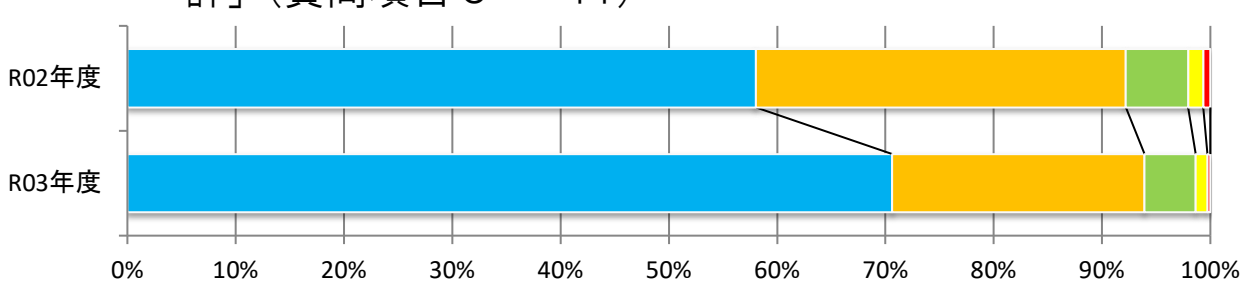
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.3%	27.4%	95.7%	－
78.5%	19.3%	97.8%	2.1%

11. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.6%	21.8%	95.4%	－
80.4%	15.8%	96.2%	0.8%

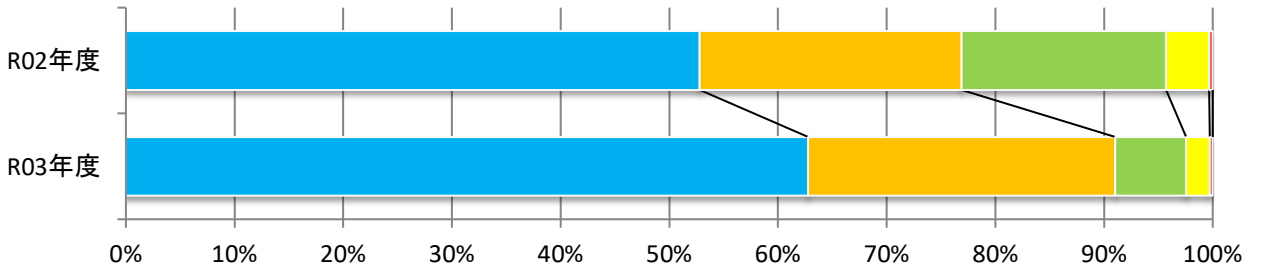
「計」（質問項目５ ～ 11）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.3%	34.3%	92.7%	－
70.8%	23.4%	94.2%	1.6%

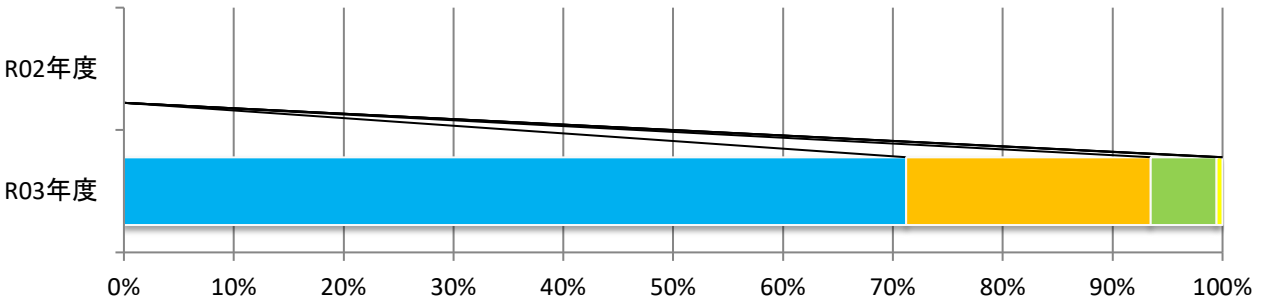
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

12. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



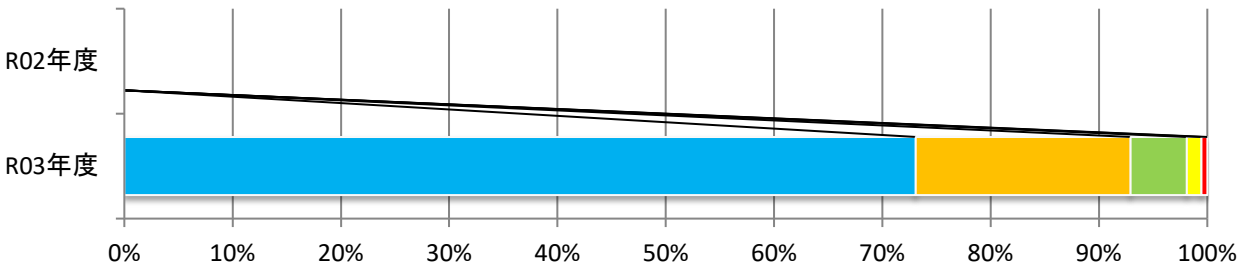
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.8%	24.1%	76.9%	－
62.8%	28.3%	91.0%	14.1%

13. シラバスに沿って行われたと思いますか。



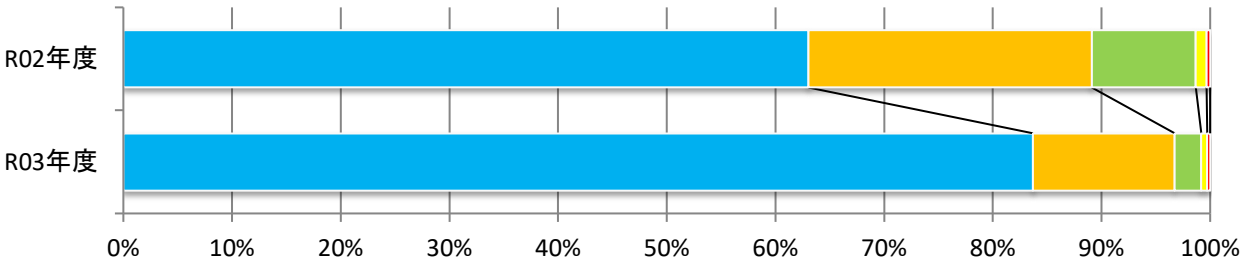
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
71.2%	22.3%	93.5%	

14. この授業の進め方は適切だったと思いますか。



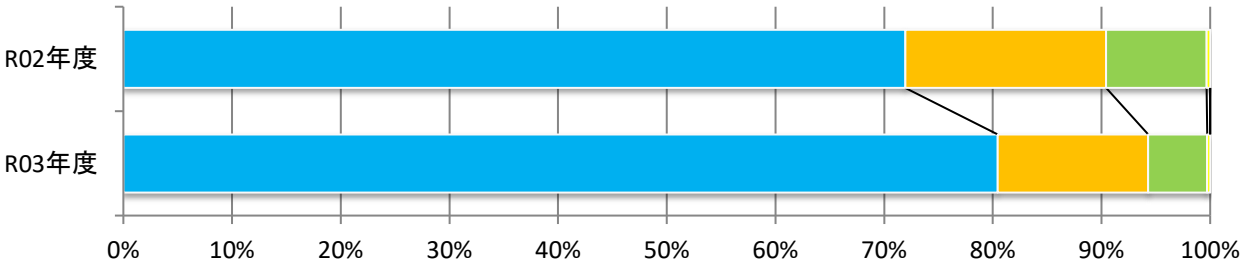
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
73.1%	19.8%	92.9%	

15. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



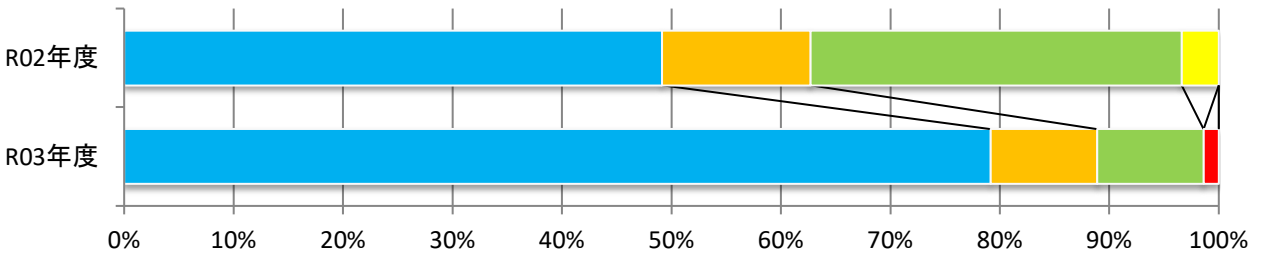
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
63.0%	26.1%	89.1%	－
83.7%	13.0%	96.7%	7.6%

16. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



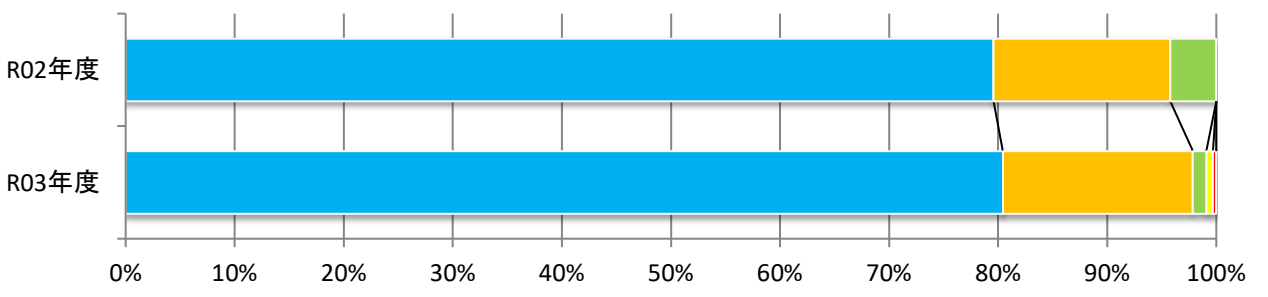
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.9%	18.5%	90.4%	－
80.4%	13.9%	94.3%	3.9%

17. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい －1　板書であったと思うか。



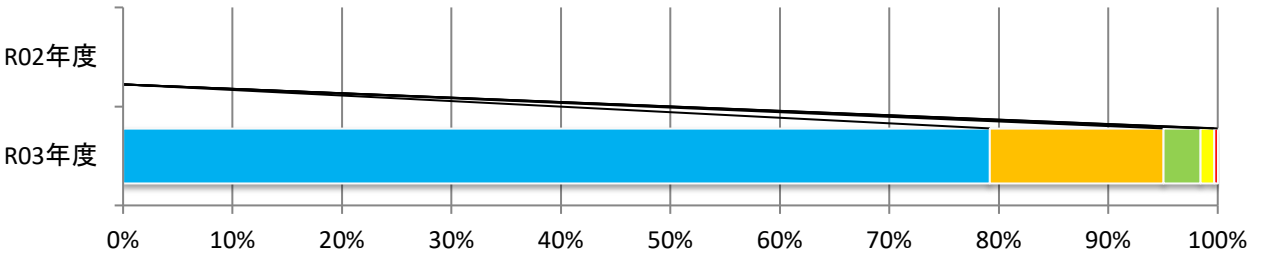
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.2%	13.6%	62.7%	－
79.2%	9.7%	88.9%	26.2%

17. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施 －2　内容はわかりやすかったと思うか。



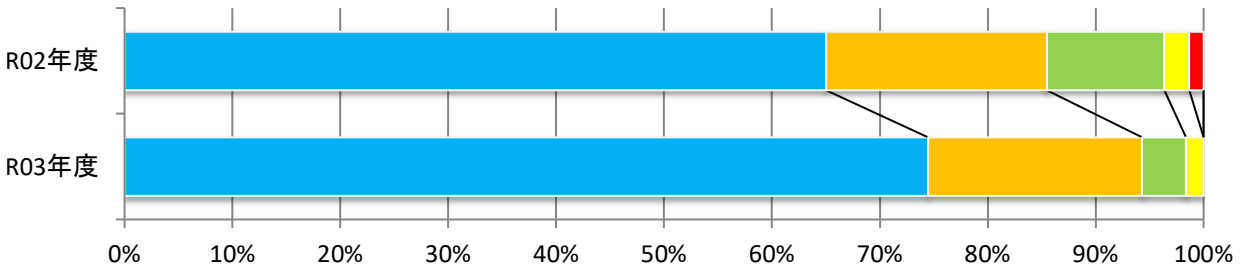
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
79.6%	16.2%	95.8%	－
80.4%	17.4%	97.9%	2.1%

17-3. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



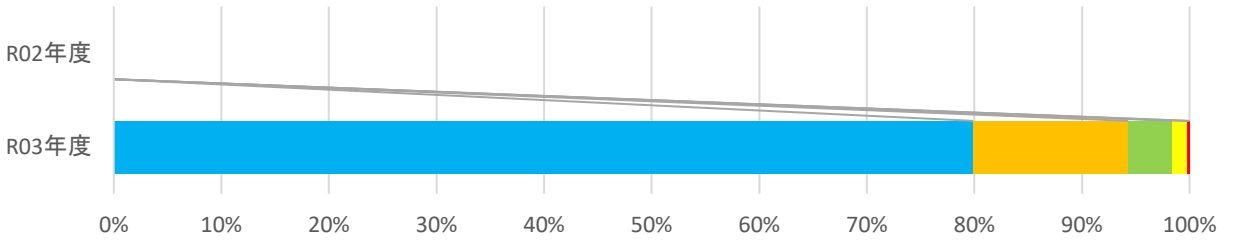
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
79.2%	15.8%	95.0%	

18. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



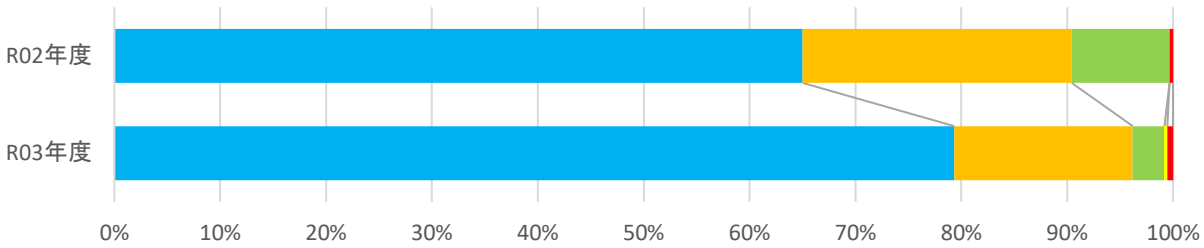
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.0%	20.5%	85.5%	－
74.5%	19.8%	94.3%	8.8%

19. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか。



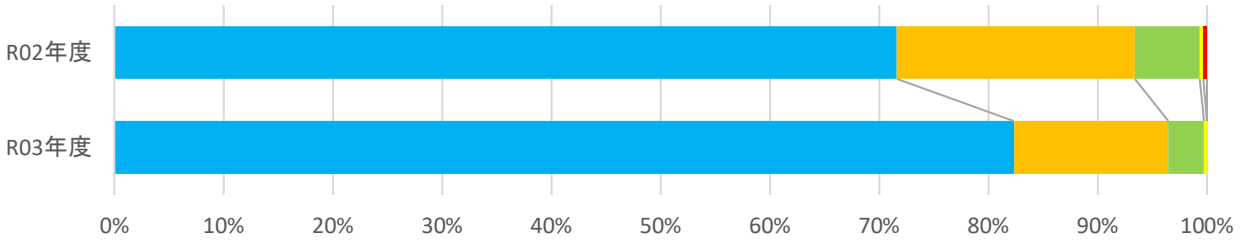
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
－	－	－	
79.9%	14.4%	94.3%	

20. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



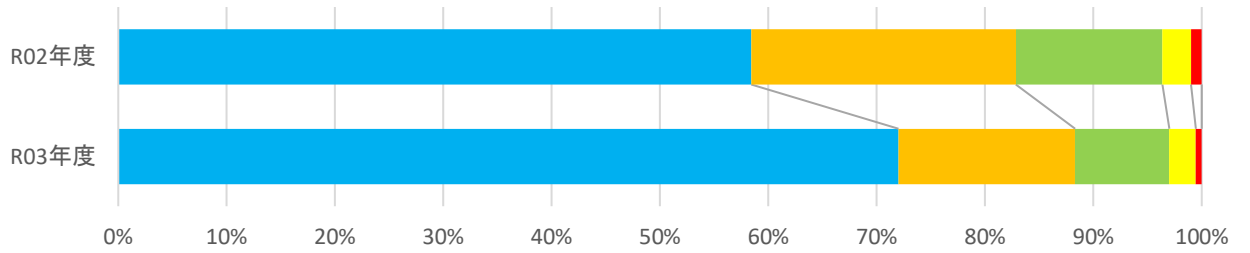
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.0%	25.4%	90.4%	－
79.3%	16.8%	96.2%	5.8%

21. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



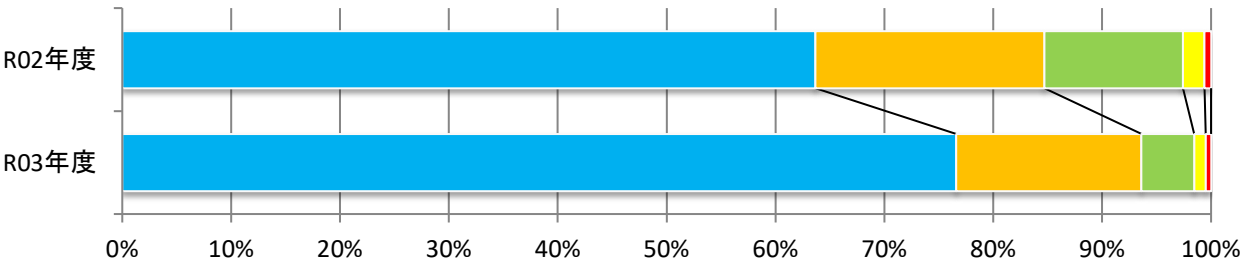
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.6%	21.8%	93.4%	－
82.3%	14.1%	96.5%	3.1%

22. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.4%	24.4%	82.8%	－
72.0%	16.3%	88.3%	5.5%

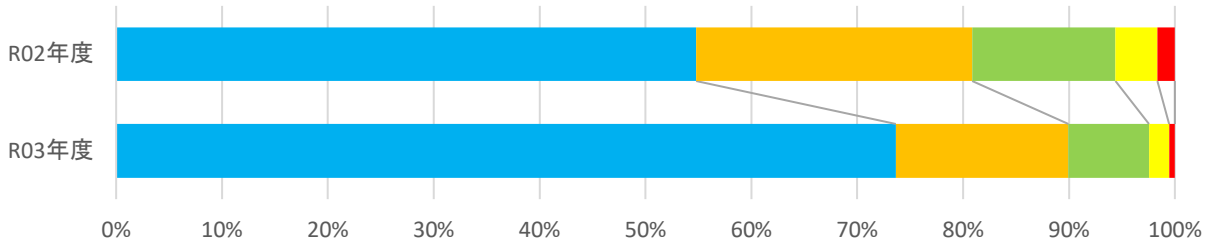
「計」（質問項目12 ～ 22 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.1%	21.2%	85.2%	－
76.8%	17.1%	93.8%	8.6%

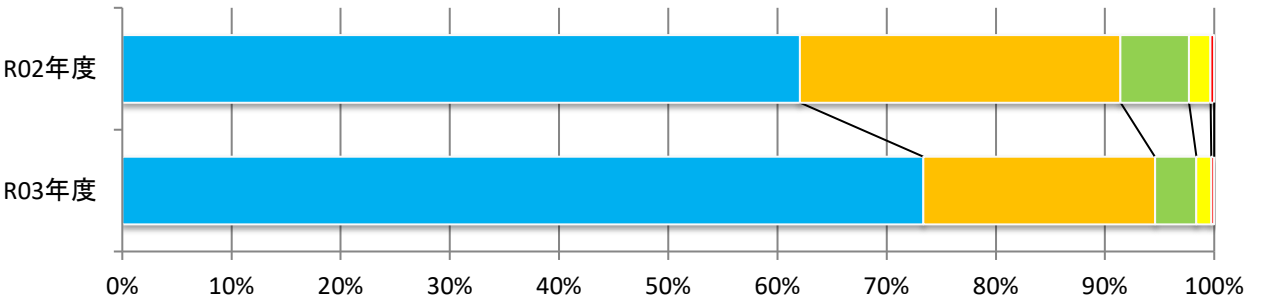
Ⅳ 総合評価

23. この講義は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



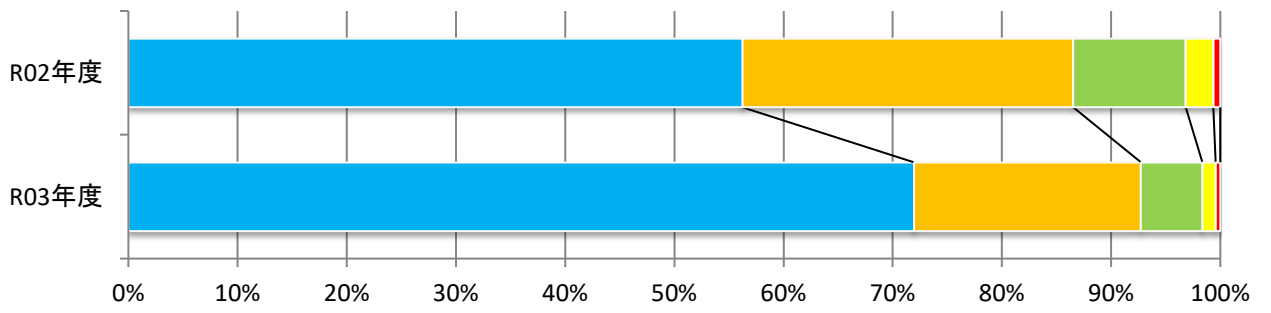
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.8%	26.1%	80.9%	−
73.6%	16.3%	89.9%	9.1%

24. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
62.0%	29.4%	91.4%	−
73.4%	21.2%	94.6%	3.1%

全質問項目の平均

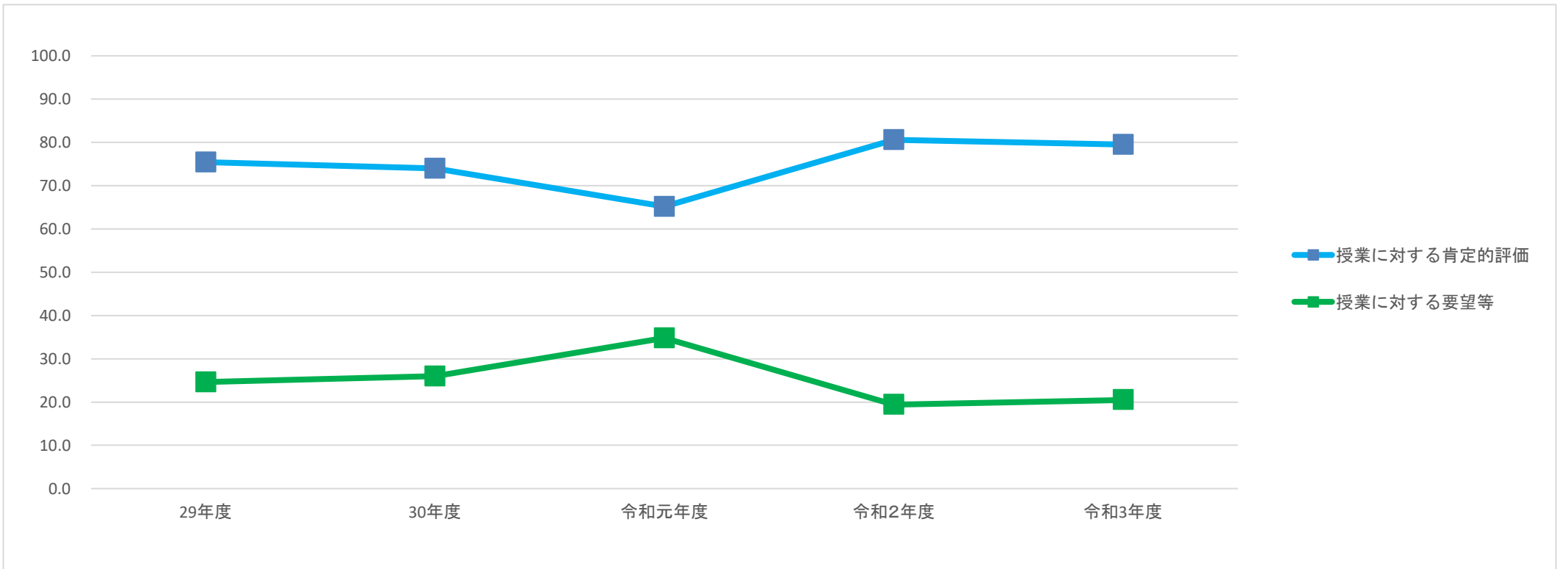


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.6%	30.5%	87.1%	−
72.1%	20.8%	93.0%	5.9%

◆ 年度別　自由記述集計結果

分類項目／年度	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(75.4%)	49	(74.0%)	108	(65.2%)	88	(80.6%)	54	(79.5%)	175
授業に対する要望等	(24.6%)	16	(26.0%)	38	(34.8%)	47	(19.4%)	13	(20.5%)	45
総件数	(100.0%)	65	(100.0%)	146	(100.0%)	135	(100.0%)	67	(100.0%)	220

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	175	・オンデマンドのため、仕事との両立がしやすかった。何度も見返すことができ、理解が深まった。 質問できるオフィスアワーを設けてくれているのも良かった。 ・繰り返し動画視聴やテストを受ける事ができ、理解が深まった。 ・これまであまり知らなかった知識が得られたので、良かった。色々な講師を呼んで頂いており、 大変勉強になった。 ・素晴らしい先生方が、色々な視点や角度でご意見・ご助言を下さりとても刺激的でした。 特に、学生自らが気付けるようヒントとなるような言葉がけがとても印象的でした。 自然に学生が考えて学べるように導いてくれているんだなと、とても感動しました。 ・知識を修得したことで、今後に活かすことができると思います。 ・たくさんの知らなかったことを学ぶことができた。教員の方々の看護についての考え方、向き合う 姿勢、そして人生の生き方を知ることができ、とても感動し有意義な授業であった。
授業に対する要望等	45	・出来ればリアルタイムか対面がよいと感じた。 ・文献検索について、自分が行った方法が適切であったのかフィードバックをして頂けるとより良かった。 ・オフィスアワーの時間が、授業と重なっているときは残念でした。 ・具体的な事前課題については、もう少し早い時期にお知らせ頂けると、少し余裕を持って計画的に 準備ができたと思う。 ・テキストが難しいものだったので、何冊か 分かりやすいものを紹介してほしかった。 ・自宅で資料印刷をする為、可能なら背景白地、文字は黒だとインク代が節約できて助かります。 ・可能であれば、担当先生からのPPTの資料は先に提示していただければと思います。 ・オンデマンド講義では課題に対する回答などが頂けると、自分の復習となり、修正ができたと思う。
計	220	

令和３年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・看護学研究科長　　大島　久二

１．　授業評価の結果について：授業評価の対象科目数は、それぞれ高度実践看護コース 22 科目、高度実践助産コース 28 科目、高度実践公衆衛生看護コース 35 科目、看護科学コース１科目であり、授業評価に回答した大学院生は、各コース延べ 430 名（回答率：99.1%）、171 名（71.9%）、128 名（97.7%）、１名（100%）であった。高度実践助産コースの回答率が若干低かったが、授業評価の結果はカリキュラム編成、シラバス、教育方法等の改善に活用しており、今後も安定した高い回答率が得られるように学生に働きかけをしていく必要がある。

高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護、看護科学コースの全授業評価対象科目についての総合的な満足度は、「非常にそう思う」「そう思う」の回答は、それぞれ 82.8%、84.6%、99.7%、100%であり、各コースとも前年度を上回っており、過去の平均より高かった。このことは、コロナ禍において対面授業が半分程度に制限されていたにもかかわらず遠隔授業の質向上がなされ、演習・実習の対面形式の確保がなされてきたことによると思われる。遠隔授業は、今後さらに成熟させていく必要もあると思われる。また、自由記載からみると、半数が肯定的評価であり、担当教員への感謝の気持ちと今後の学びへの方向性を確認できた。一方、要望等もあり、早期の課題提示と授業時間の遵守などがあり、今後の検討・改善点と考えられた。また、昨年度見られた他施設での実習期日に関しては、コロナ禍の影響を踏まえて早期から準備がなされており、直前での調整は必要最低限で済み、全体的に順調な実習を行えたと思われる。

学生自身の授業態度に対する自己評価では、「授業に意欲的に取り組めたか」の質問に対して、高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護、看護科学コースの学生はそれぞれ 90.8%、96.7%、100%、100%が「非常にそう思う」または「そう思う」と肯定的な回答であり、昨年度より高率であった。「よく自己学習をしたか」の質問に関しても、それぞれ 75.5%、78.9%、99.2%、100%が肯定的な回答をしている。これらは、学生が満足する授業の展開をすることが学生の学修意欲を高めることにつながることを示していると考えられた。

大学院教育はより専門性が高いため、教育内容に合致した優れた外部の非常勤講師や臨床教授による授業及び実習指導を行っているが、これら教員が大変協力的であり教育熱心であることも、より高い評価につながっているものと推察される。

２．　授業に於いて工夫した点について：令和３年度は、依然として COVID-19 の影響を全面的に受けた年度であり、遠隔授業は約半分で取り入れられていた。全学及び国立病院機構キャンパスの教務委員会等での検討を基にした遠隔授業の開拓と実践が順調に稼働し、さらに個々の工夫も充実してきており、その中でも、学生の理解度を測り学習意欲を増進させる内容となることを目指してきた。また、可能な限り対面授業と演習・実習の時間を確保し、学外実習施設との調整に力を注ぐとともに、COVID-19 に対する感染予防策の徹底、ワクチン接種の推進、PCR 検査の実施を行ってきた。

高度実践看護コースでは、コロナ禍の中で年 2 回臨床教授会を開催しており、我が国の NP の最新動向を共有するとともに、実習・授業に関する詳細な打ち合わせを行ってきた。

３．　今後の授業への活かし方について：遠隔授業が当初から導入されており、対面授業の機会も未だ制限されていた。この状況で、自由意見のなかでは教員及び学生同士のコミュニケーションの不足に関する指摘は昨年度より減少していた。このことは遠隔授業での工夫が生かされてきたためと思われるが、今後はさらなる個人的なフィードバックの充実とともに教員及び学生間のコミュニケーションを促進する手法を拡充していく必要性があると考えられた。

また、引き続き外部講師・臨床教授へのフィードバックと密な連携を重ね、さらなる教育の質向上を図っていきたい。

４．　その他：大学院課程におけるアウトカム評価と社会への発信は大変重要である。アウトカム評価の一つとして、「高度実践看護コース」の学生に対しては日本 NP 教育大学院協議会の実施する「NP 資格試験」、「高度実践助産コース」に対しては「助産師国家試験」の合格率、「高度実践公衆衛生看護コース」では「保健師国家試験」の合格率が挙げられるが、いずれも 100%であり、本大学院の到達目標を達成している。毎年 20 名以上の NP 資格試験合格者を輩出していること、助産師教育が大学院教育、学部教育、専攻科教育等多様化している現状の中で本学が大学院教育で助産師を育成しているメリット、並びに保健師の大学院教育のメリットを社会にアピールしていく必要があると考えている。

令和3年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

○全科目数 86科目　　**○調査対象者数　730人（延人数）**
○総回答数　　675枚（回答率92.5%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（）は令和2年度集計結果】　　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(40.0)	(47.9)	(9.3)	(1.9)	(0.9)	(100.0)
		50.7	43.0	5.6	0.7	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(26.4)	(52.4)	(16.3)	(3.6)	(1.3)	(100.0)
		38.5	46.5	12.3	2.5	0.1	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(35.0)	(43.4)	(18.0)	(3.0)	(0.6)	(100.0)
		39.4	41.2	17.2	1.9	0.3	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(46.1)	(39.0)	(10.3)	(3.4)	(1.1)	(100.0)
		59.3	32.1	7.1	1.5	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(27.7)	(42.2)	(22.6)	(4.7)	(2.8)	(100.0)
		44.0	39.3	13.3	2.2	1.2	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(26.0)	(46.2)	(19.7)	(5.2)	(2.8)	(100.0)
		42.5	41.2	12.7	3.3	0.3	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(26.7)	(46.3)	(19.4)	(5.4)	(2.2)	(100.0)
		42.8	42.5	11.1	3.1	0.4	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(27.6)	(49.3)	(16.2)	(4.9)	(2.0)	(100.0)
		44.5	42.7	10.1	1.9	0.7	100.0
全質問項目の平均	令和2年度	(32.0)	(45.8)	(16.5)	(4.0)	(1.7)	(100.0)
	令和3年度	45.2	41.1	11.2	2.1	0.4	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

◆ 年度別　授業評価集計結果

【平成29～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

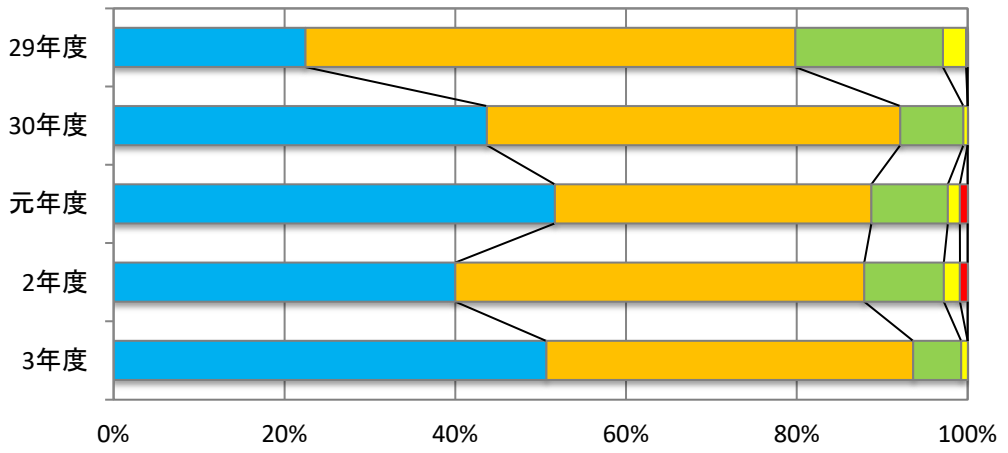
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全科目数	59科目	64科目	91科目	100科目	86科目
調査対象者数（延人数）	632人	462人	667人	697人	730人
総回答数（回答率）	557枚（88.1%）	382枚（82.7%）	612枚（91.8%）	639枚(91.7%)	675枚(92.5%)

◆ 年度別・質問項目別　集計結果

【平成27～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

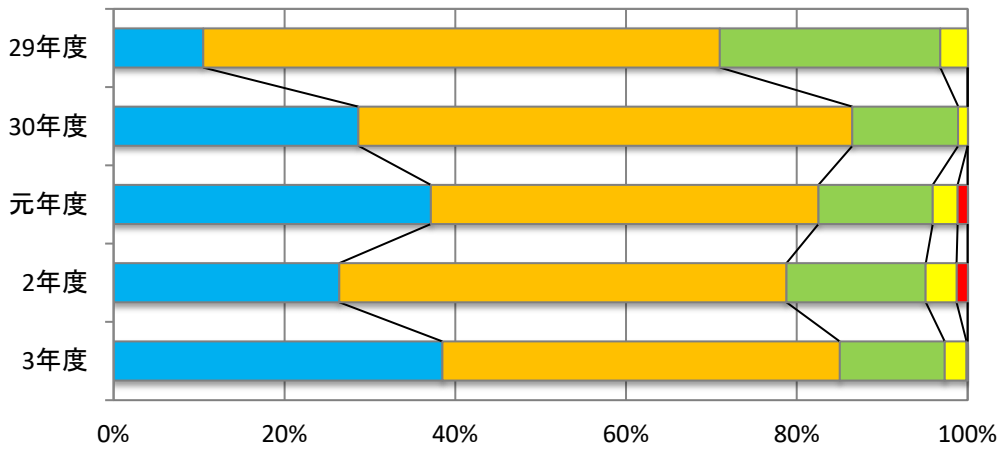
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	22.5	57.4	79.9	―
平成30年度	43.7	48.4	92.1	＋12.2
令和元年度	51.7	37.1	88.8	△ 3.3
令和2年度	40.0	47.9	87.9	△ 0.9
令和3年度	50.7	43.0	93.6	＋5.7

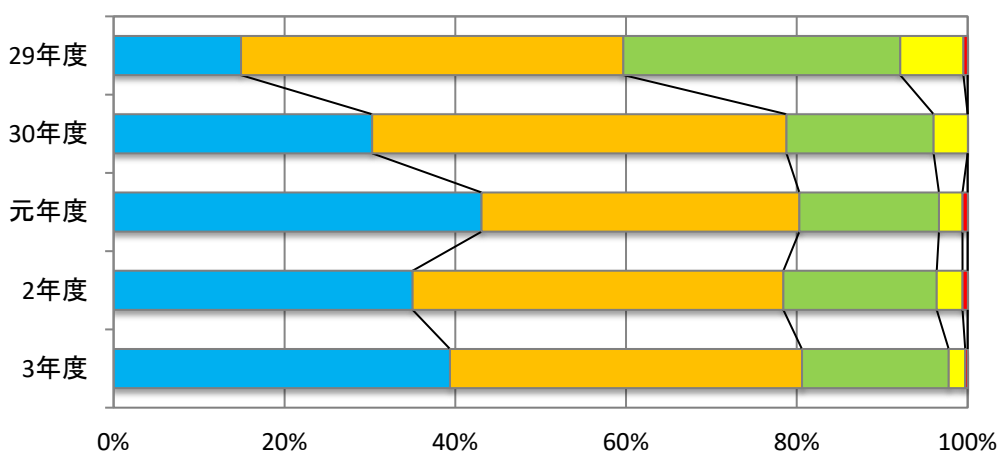
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	10.5	60.5	71.0	―
平成30年度	28.7	57.9	86.6	＋15.6
令和元年度	37.2	45.4	82.6	△ 4.0
令和2年度	26.4	52.4	78.9	△ 3.7
令和3年度	38.5	46.5	85.0	＋6.1

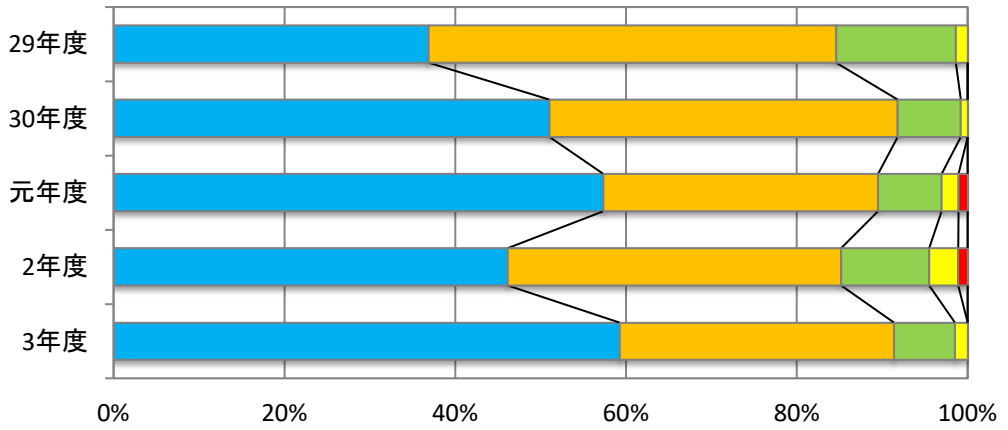
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.9	44.8	59.7	―
平成30年度	30.3	48.5	78.8	＋19.1
令和元年度	43.1	37.2	80.3	＋1.5
令和2年度	35.0	43.4	78.4	△ 1.9
令和3年度	39.4	41.2	80.6	＋2.2

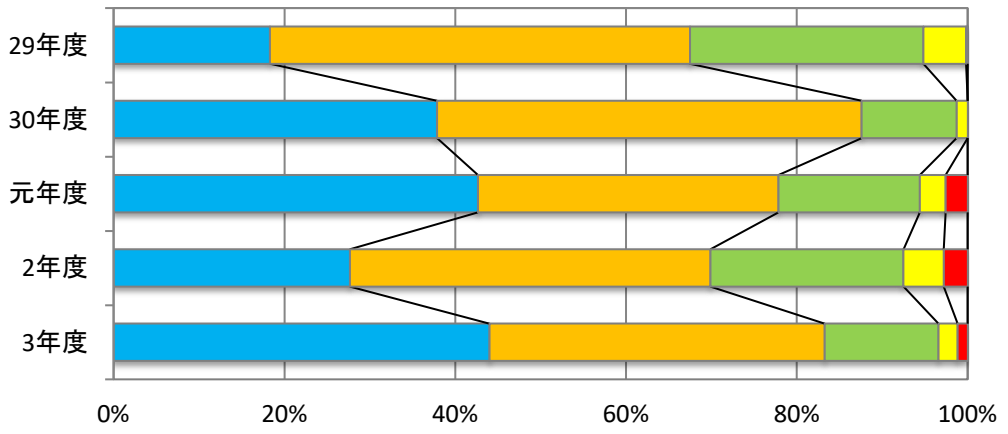
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	36.9	47.7	84.6	―
平成30年度	51.1	40.8	91.9	＋7.3
令和元年度	57.4	32.2	89.5	△ 2.4
令和2年度	46.1	39.0	85.1	△ 4.4
令和3年度	59.3	32.1	91.4	＋6.3

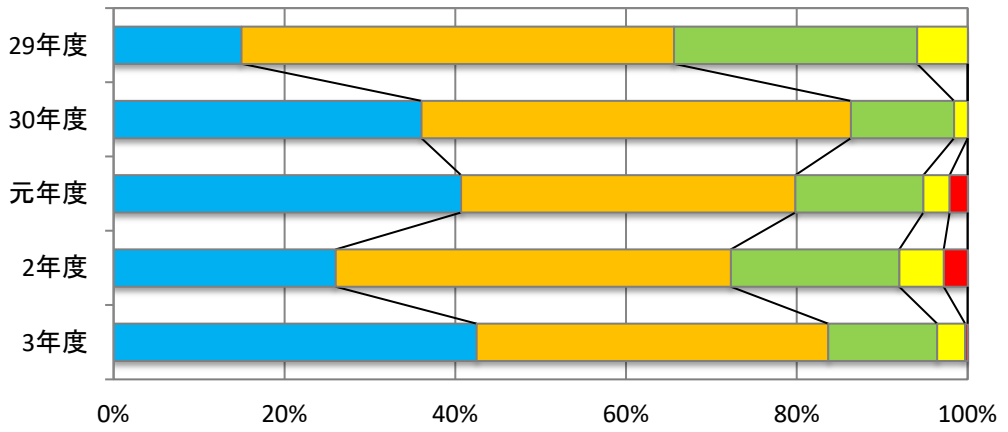
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	18.3	49.1	67.4	―
平成30年度	37.9	49.7	87.6	＋20.2
令和元年度	42.6	35.2	77.8	△ 9.8
令和2年度	27.7	42.2	69.9	△ 7.9
令和3年度	44.0	39.3	83.3	＋13.4

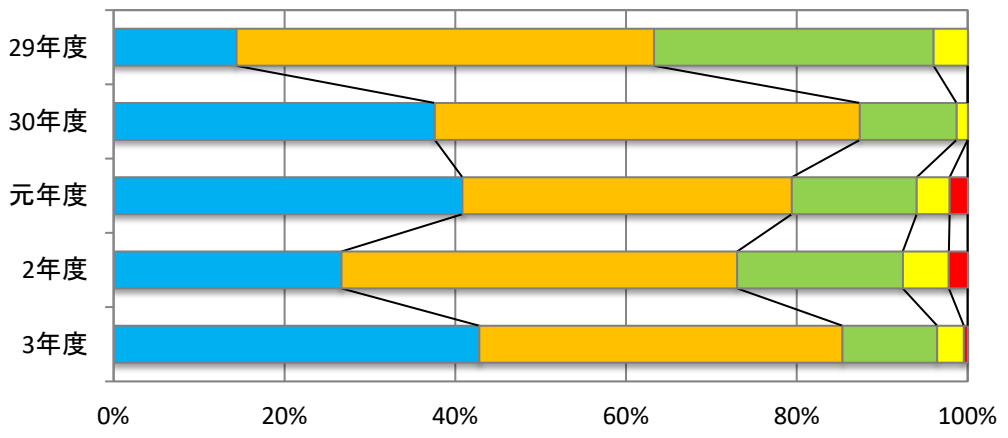
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	15.0	50.6	65.6	―
平成30年度	36.1	50.3	86.4	＋20.8
令和元年度	40.7	39.2	79.8	△ 6.6
令和2年度	26.0	46.2	72.2	△ 7.6
令和3年度	42.5	41.2	83.7	＋11.5

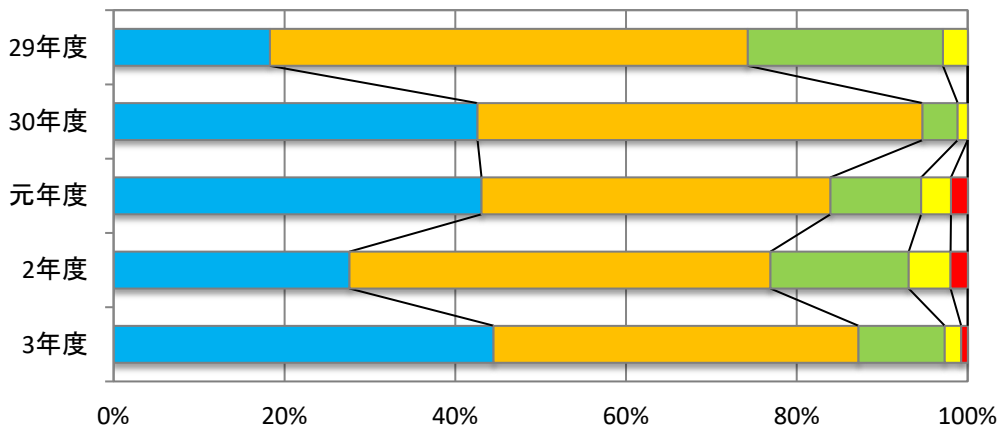
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.4	48.9	63.3	―
平成30年度	37.6	49.7	87.3	＋24.0
令和元年度	40.9	38.6	79.4	△ 7.9
令和2年度	26.7	46.3	73.0	△ 6.4
令和3年度	42.8	42.5	85.3	＋12.3

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	18.3	55.9	74.2	―
平成30年度	40.5	49.5	90.0	＋15.8
令和元年度	43.1	40.8	83.9	△ 6.1
令和2年度	27.6	49.3	76.9	△ 7.0
令和3年度	44.5	42.7	87.2	＋10.3

◆ 年度別　自由記述集計結果

【平成29～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

高度実践看護コース

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(59.2%)	184	(75.5%)	123	(61.0%)	105	(49.3%)	132	(50.0%)	79
授業に対する要望等	(40.8%)	127	(24.5%)	40	(39.0%)	67	(50.7%)	136	(50.0%)	79
計	(100.0%)	311	(100.0%)	163	(100.0%)	172	(100.0%)	268	(100.0%)	158

高度実践助産コース

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(42.0%)	21	(48.6%)	18	(64.9%)	24	(61.8%)	55	(50.0%)	10
授業に対する要望等	(58.0%)	29	(51.4%)	19	(35.1%)	13	(38.2%)	34	(50.0%)	10
計	(100.0%)	50	(100.0%)	37	(100.0%)	37	(100.0%)	89	(100.0%)	20

高度実践公衆衛生看護コース

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	-	-	-	-	(83.3%)	10	(0.0%)	0	(0.0%)	0
授業に対する要望等	-	-	-	-	(16.7%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)	0
計	-	-	-	-	(100.0%)	12	(0.0%)	0	(0.0%)	0

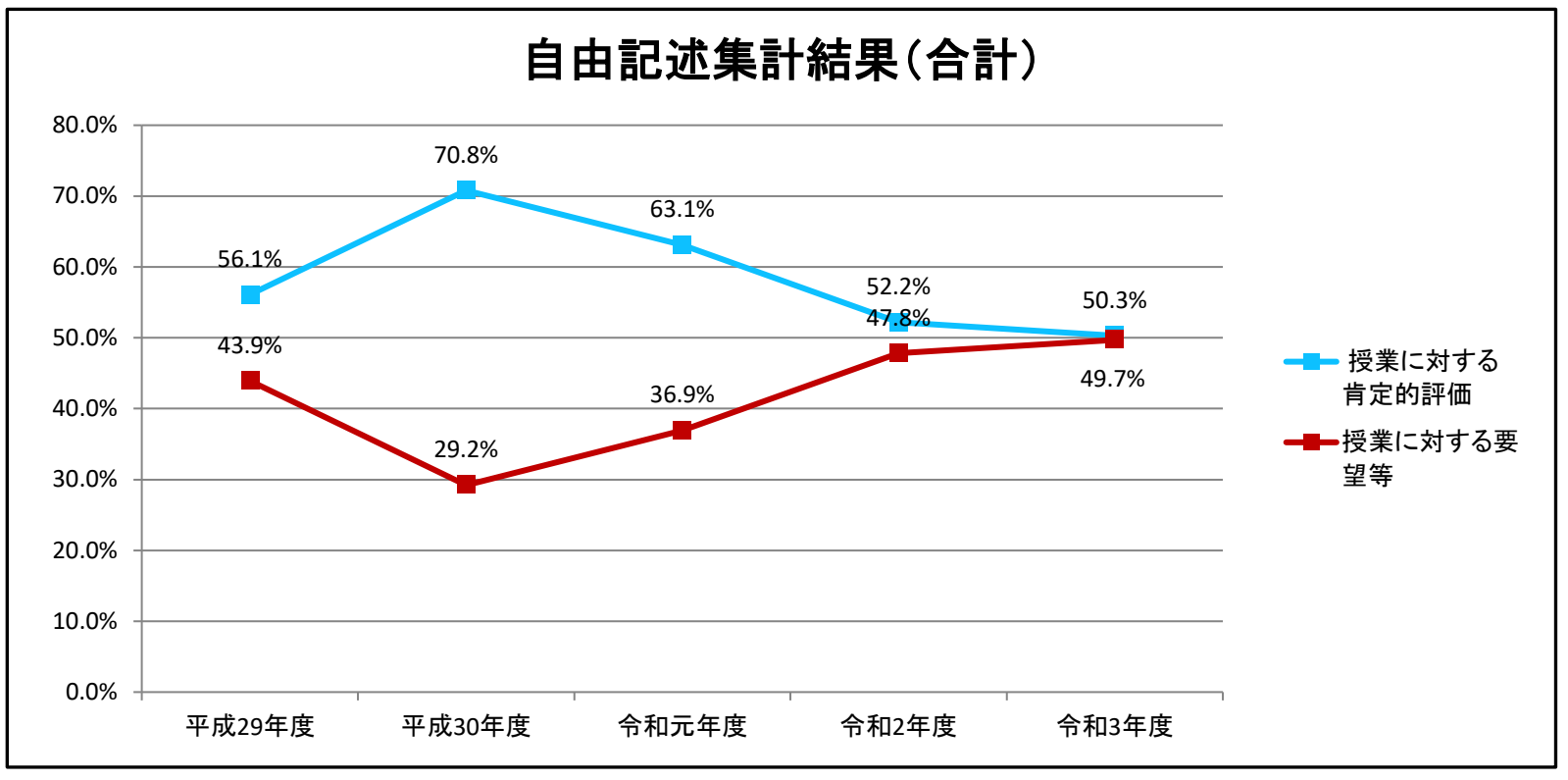
看護科学コース

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(38.5%)	5	(77.8%)	7	(100.0%)	1	(40.0%)	2	(100.0%)	1
授業に対する要望等	(61.5%)	8	(22.2%)	2	(0.0%)	0	(60.0%)	3	(0.0%)	0
計	(100.0%)	13	(100.0%)	9	(100.0%)	1	(100.0%)	5	(100.0%)	1

4コースの合計

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
授業に対する肯定的評価	(56.1%)	210	(70.8%)	148	(63.1%)	140	(52.2%)	189	(50.3%)	90
授業に対する要望等	(43.9%)	164	(29.2%)	61	(36.9%)	82	(47.8%)	173	(49.7%)	89
合計	(100.0%)	374	(100.0%)	209	(100.0%)	222	(100.0%)	362	(100.0%)	179

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容（令和３年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	79	演習は、実際の方法や実施を通じて疑問点が明らかになり勉強になった。
		現場で働くときにどのように知識を使用するか、わかりやすい内容でした。
		色々な分野の専門の先生の話を聞くことができよかった。
		グループワークが多いと感じました。NPは特に色々な職種、人と関わる機会があると思うので、コミュニケーションの取り方を学ぶ良い練習になったと思います。
授業に対する 要望等	79	グループワークの課題がもう少し事前に提示していただけたらありがたかった。
		医療安全の分析モデルをもう少し勉強したかったです。
		一部の内容と、先生方の意見の偏りがあった。
計	158	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	10	医師からの臨床の実際を聞きながら学ぶことができて、とても学びになりました。
		実習病院のご指導がとてもよく、自分の助産に少し自信が持てました。
		研究に向けて大事な考え方を学べたと思います。
授業に対する 要望等	10	時間をオーバーすることが多かったため、授業時間内で終わるようにしていただきたい。
		まさか課題が出るとは思わず、少し大変でした。
計	20	

高度実践公衆衛生看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	0	―
授業に対する 要望等	0	―
計	0	

看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	1	様々な論文を読んでプレゼンをする機会をたくさんいただき、自分のプレゼンや質疑応答で課題としているところに力をつけることができたと思います。
計	1	

令和3年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

○全科目数 22科目　　**○調査対象者数　430人（延人数）**
○総回答数　　426枚（回答率99.1%）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は令和2年度集計結果】　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(38.1)	(44.6)	(13.4)	(2.3)	(1.5)	(100.0)
		34.0	56.8	8.0	1.2	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(22.4)	(51.7)	(19.5)	(4.4)	(2.1)	(100.0)
		24.4	56.3	15.7	3.3	0.2	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(32.6)	(40.9)	(21.1)	(4.4)	(1.0)	(100.0)
		24.6	50.9	21.8	2.1	0.5	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(47.6)	(36.2)	(11.1)	(3.3)	(1.8)	(100.0)
		50.2	39.7	8.7	1.4	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(24.7)	(40.9)	(25.7)	(4.9)	(3.9)	(100.0)
		29.6	50.0	16.9	2.1	1.4	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(21.1)	(47.6)	(23.1)	(5.1)	(3.1)	(100.0)
		27.9	51.9	16.4	3.5	0.2	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(21.8)	(45.9)	(22.8)	(6.5)	(3.1)	(100.0)
		27.9	53.5	14.3	3.8	0.5	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(23.4)	(51.7)	(16.5)	(5.7)	(2.8)	(100.0)
		29.8	54.5	13.1	1.6	0.9	100.0
全質問項目の平均	令和2年度	(29.0)	(44.9)	(19.1)	(4.6)	(2.4)	(100.0)
	令和3年度	31.1	51.7	14.4	2.4	0.5	100.0

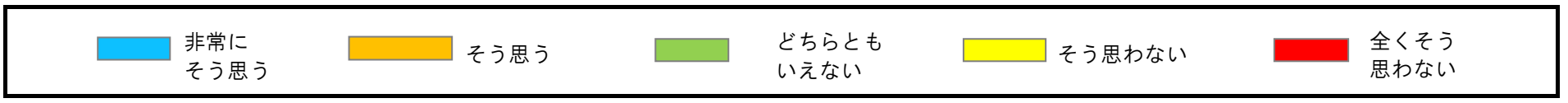
授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

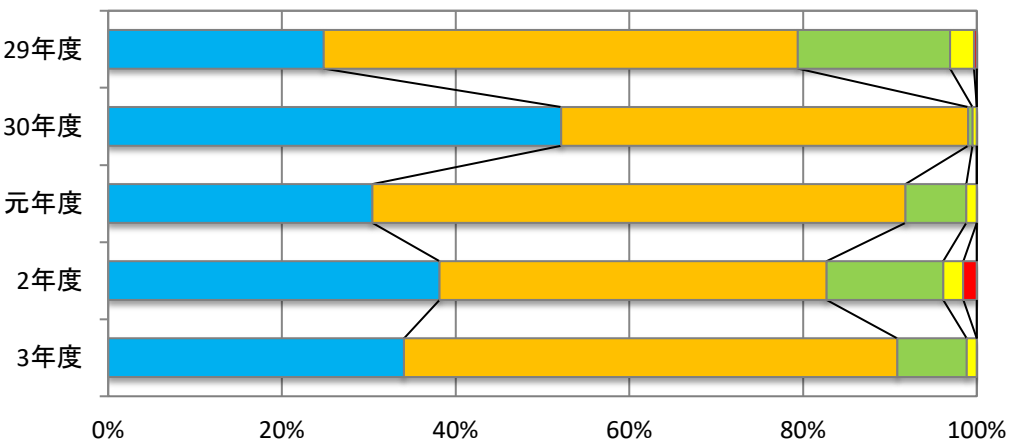
◆ 年度別 授業評価集計結果

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全科目数	22科目	20科目	21科目	22科目	22科目
調査対象者数（延人数）	371人	233人	372人	443人	430人
総回答数（回答率）	326枚（87.9%）	210枚（90.1%）	342枚（91.9%）	389枚（87.8%）	426枚（99.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



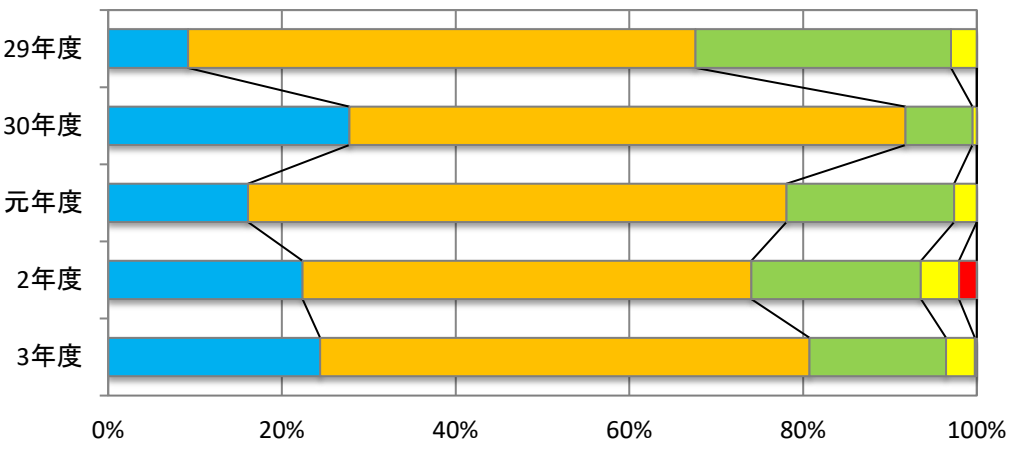
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	24.8	54.6	79.4	―
平成30年度	52.2	46.9	99.1	＋19.7
令和元年度	30.4	61.4	91.8	△ 7.3
令和2年度	38.1	44.6	82.7	△ 9.1
令和3年度	34.0	56.8	90.8	＋8.1

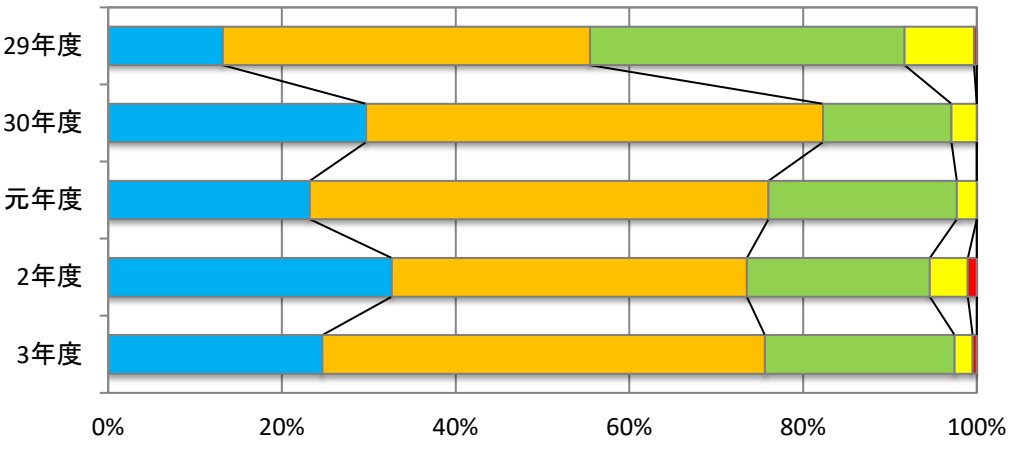
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	9.5	60.5	70.0	-
平成30年度	27.8	64.1	91.9	＋21.9
令和元年度	16.1	62.0	78.1	△ 13.8
令和2年度	22.4	51.7	74.0	△ 4.1
令和3年度	24.4	56.3	80.8	＋6.7

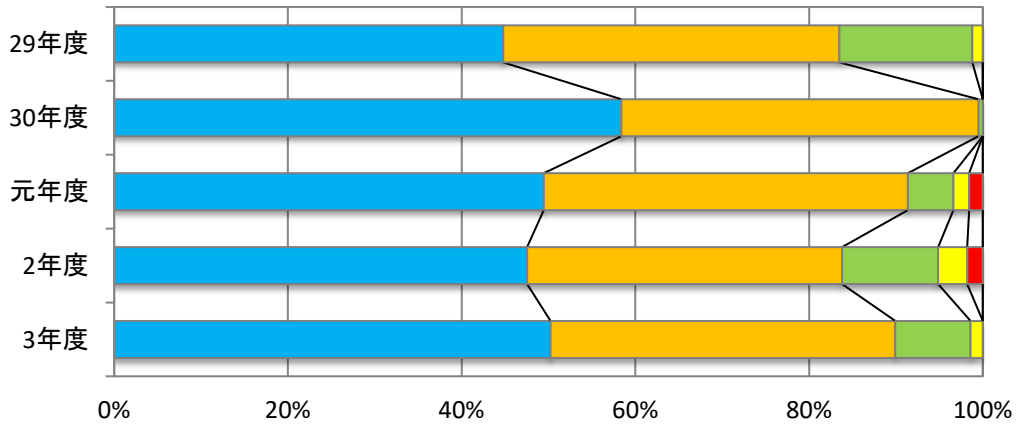
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	13.2	42.3	55.5	―
平成30年度	29.7	52.6	82.3	＋26.8
令和元年度	23.2	52.8	76.0	△ 6.3
令和2年度	32.6	40.9	73.5	△ 2.5
令和3年度	24.6	50.9	75.6	＋2.1

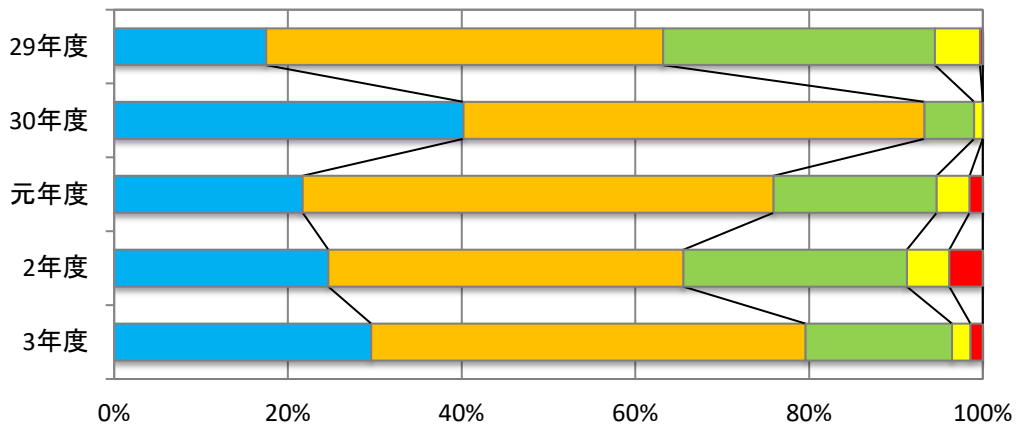
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	44.8	38.7	83.5	―
平成30年度	58.4	41.1	99.5	＋16.0
令和元年度	50.0	42.4	92.4	△ 7.1
令和2年度	47.6	36.2	83.8	△ 8.6
令和3年度	50.2	39.7	89.9	＋6.1

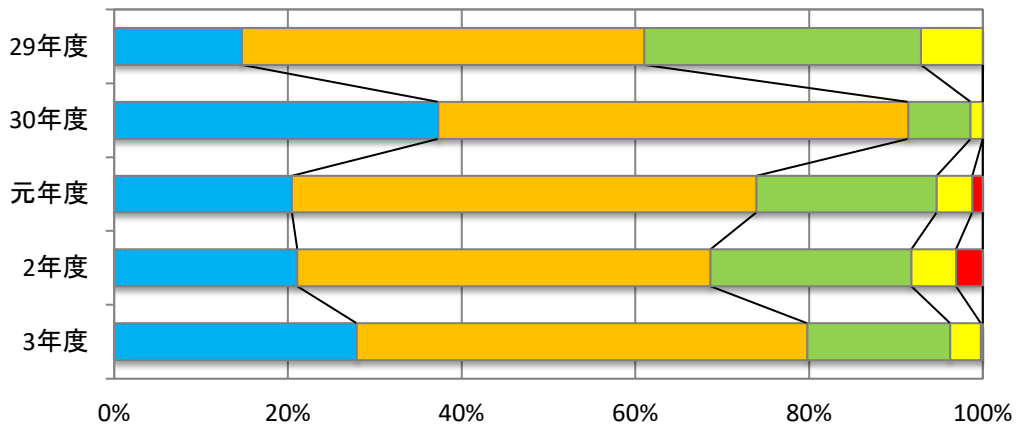
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	17.5	45.7	63.2	―
平成30年度	40.2	53.1	93.3	＋30.1
令和元年度	21.7	54.3	76.0	△ 17.3
令和2年度	24.7	40.9	65.6	△ 10.4
令和3年度	29.6	50.0	79.6	＋14.0

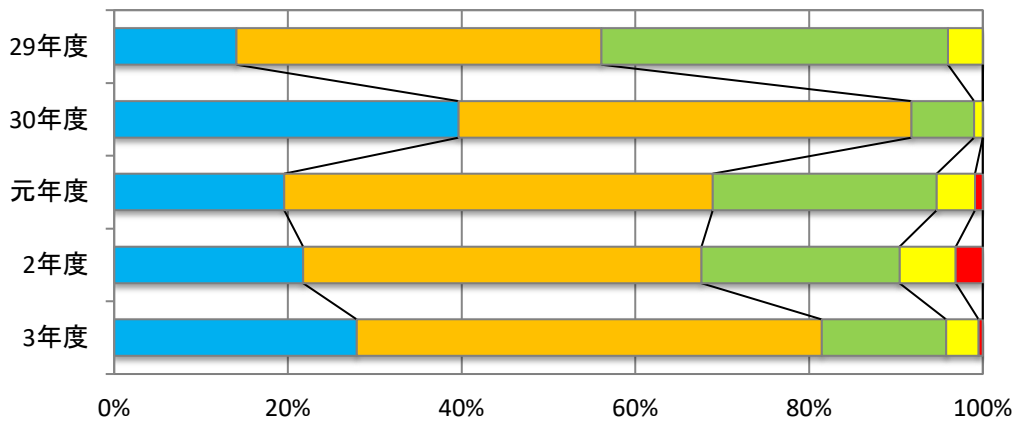
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.7	46.3	61.0	―
平成30年度	37.3	54.1	91.4	＋30.4
令和元年度	20.5	53.5	74.0	△ 17.4
令和2年度	21.1	47.6	68.6	△ 5.4
令和3年度	27.9	51.9	79.8	＋11.2

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

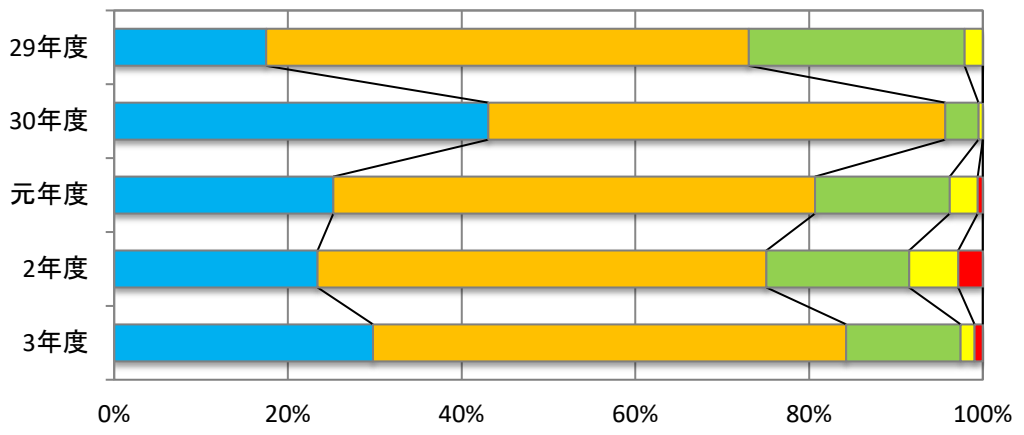


（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.1	42.0	56.1	―
平成30年度	39.7	52.2	91.9	＋35.8
令和元年度	19.6	49.3	68.9	△ 23.0
令和2年度	21.8	45.9	67.6	△ 1.3
令和3年度	27.9	53.5	81.5	＋13.8

,

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	17.5	55.5	73.0	―
平成30年度	43.1	52.6	95.7	＋22.7
令和元年度	25.2	55.4	80.6	△ 15.1
令和2年度	23.4	51.7	75.1	△ 5.5
令和3年度	29.8	54.5	84.3	＋9.2

令和3年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

○全科目数 28科目　　**○調査対象者数　171人（延人数）**
○総回答数　123枚（回答率71.9%）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は令和2年度集計結果】　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(47.0)	(48.0)	(3.5)	(1.5)	(0.0)	(100.0)
		59.3	37.4	3.3	0.0	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(38.0)	(46.0)	(13.0)	(3.0)	(0.0)	(100.0)
		39.0	45.5	13.0	2.4	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(44.2)	(39.2)	(15.6)	(1.0)	(0.0)	(100.0)
		40.7	38.2	17.9	3.3	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(48.2)	(35.7)	(11.6)	(4.5)	(0.0)	(100.0)
		52.8	35.0	8.9	3.3	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(35.2)	(36.2)	(21.6)	(5.5)	(1.5)	(100.0)
		40.7	39.0	13.8	4.9	1.6	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(36.2)	(36.2)	(18.1)	(6.5)	(3.0)	(100.0)
		39.8	41.5	12.2	5.7	0.8	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(37.1)	(39.6)	(17.8)	(4.6)	(1.0)	(100.0)
		40.7	43.1	11.4	4.1	0.8	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(36.9)	(37.9)	(19.7)	(4.5)	(1.0)	(100.0)
		42.3	42.3	9.8	4.9	0.8	100.0
全質問項目の平均	令和2年度	(40.3)	(39.8)	(15.1)	(3.9)	(0.8)	(100.0)
	令和3年度	44.4	40.2	11.3	3.6	0.5	100.0

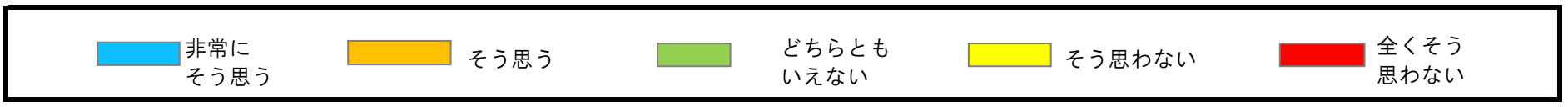
授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

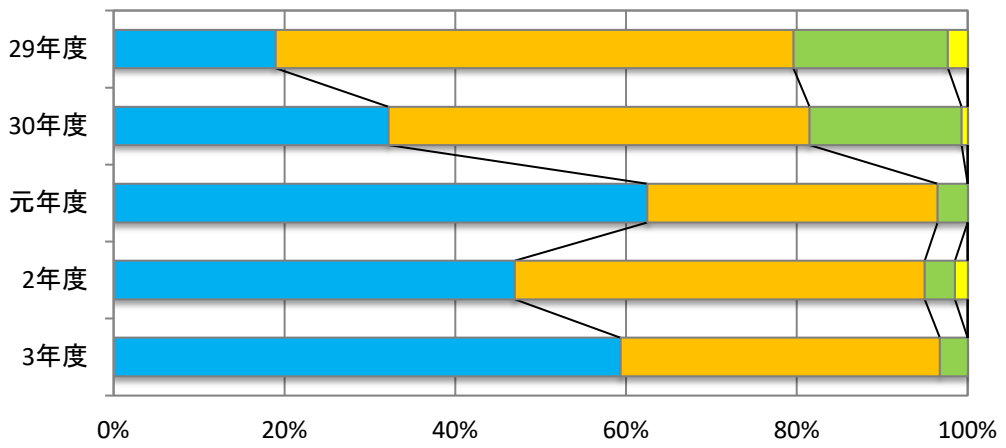
◆ 年度別 授業評価集計結果

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全科目数	30科目	28科目	31科目	31科目	28科目
調査対象者数（延人数）	242人	210人	225人	204人	171人
総回答数（回答率）	217枚（89.7%）	152枚（72.4%）	200枚（88.9%）	200枚（98.0%）	123枚（71.9%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



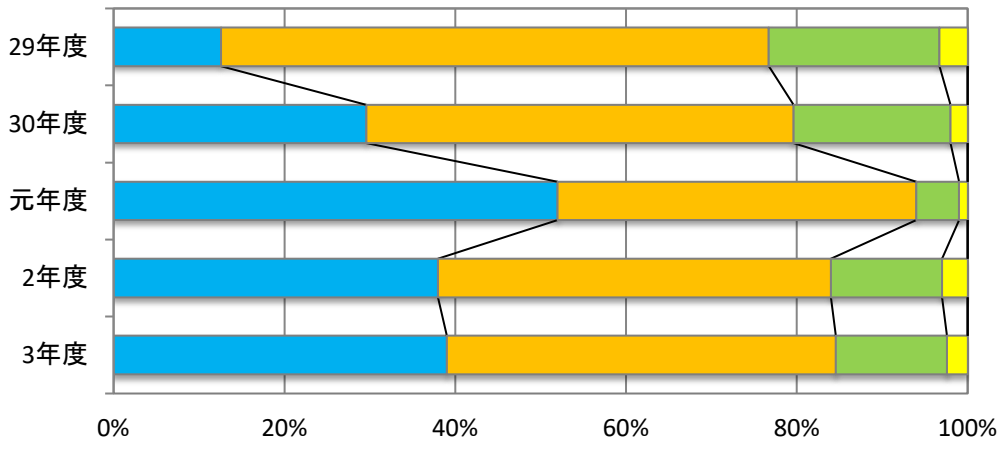
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	19.0	60.6	79.6	―
平成30年度	32.2	49.3	81.5	＋1.9
令和元年度	62.5	34.0	96.5	＋15.0
令和2年度	47.0	48.0	95.0	△ 1.5
令和3年度	59.3	37.4	96.7	＋1.7

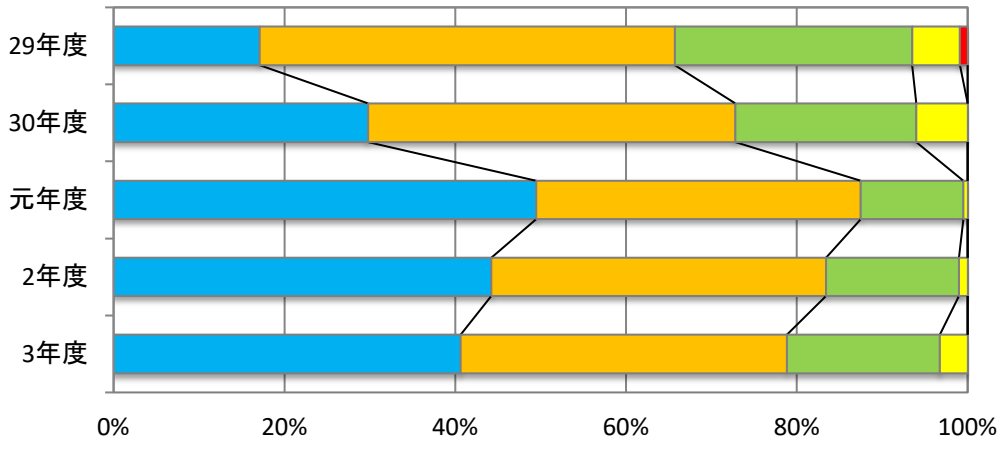
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	12.6	64.2	76.8	―
平成30年度	29.6	50.0	79.6	＋2.8
令和元年度	52.0	42.0	94.0	＋14.4
令和2年度	38.0	46.0	84.0	△ 10.0
令和3年度	39.0	45.5	84.6	＋0.6

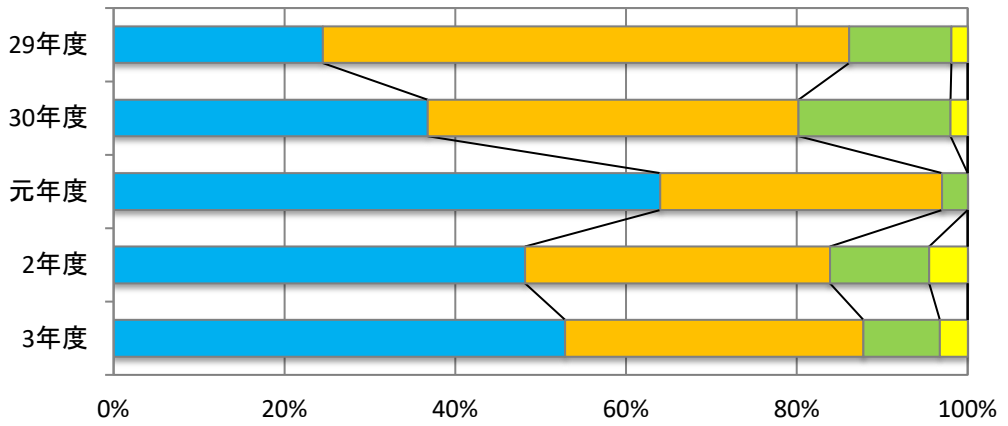
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	17.1	48.6	65.7	―
平成30年度	29.8	43.0	72.8	＋7.1
令和元年度	49.5	38.0	87.5	＋14.7
令和2年度	44.2	39.2	83.4	△ 4.1
令和3年度	40.7	38.2	78.9	△ 4.6

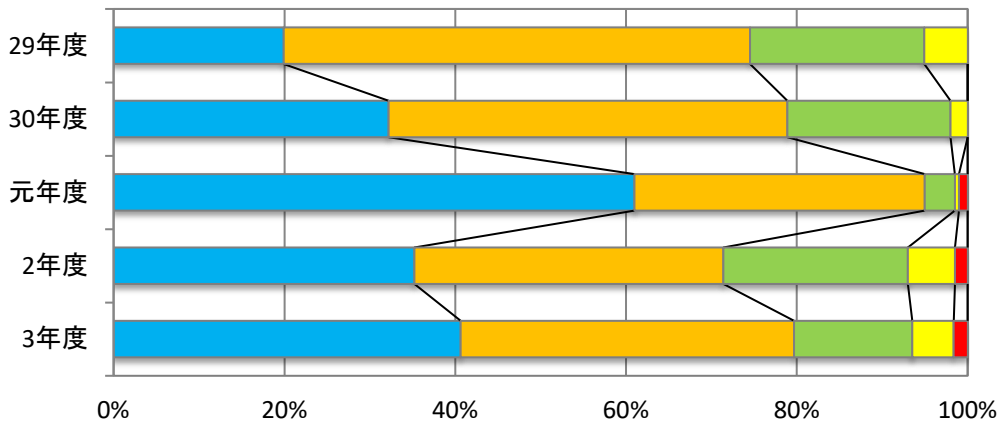
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	24.5	61.6	86.1	―
平成30年度	36.8	43.4	80.2	△ 5.9
令和元年度	64.0	33.0	97.0	＋16.8
令和2年度	48.2	35.7	83.9	△ 13.1
令和3年度	52.8	35.0	87.8	＋3.9

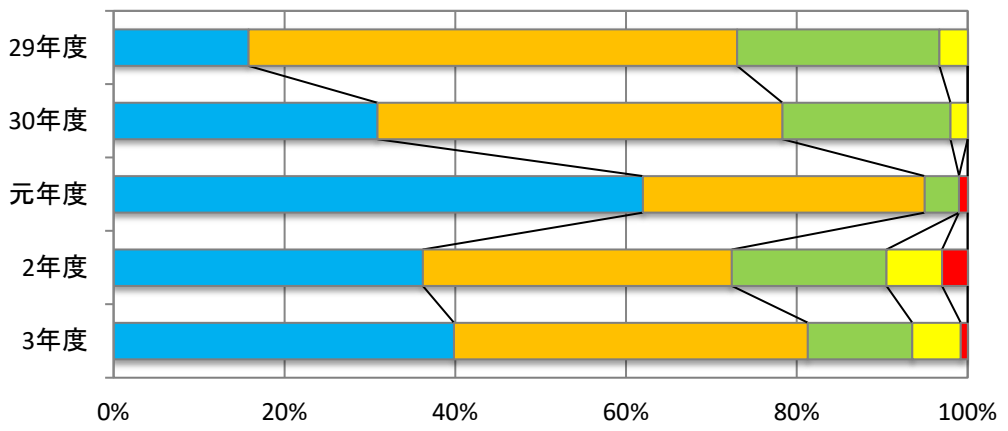
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	19.9	54.6	74.5	―
平成30年度	32.2	46.7	78.9	＋4.4
令和元年度	61.0	34.0	95.0	＋16.1
令和2年度	35.2	36.2	71.4	△ 23.6
令和3年度	40.7	39.0	79.7	＋8.3

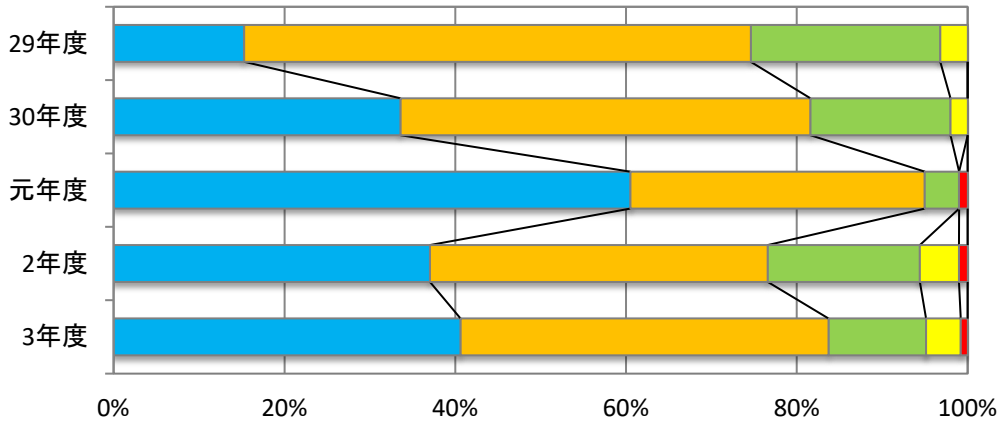
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	15.8	57.2	73.0	―
平成30年度	30.9	47.4	78.3	＋5.3
令和元年度	62.0	33.0	95.0	＋16.7
令和2年度	36.2	36.2	72.4	△ 22.6
令和3年度	39.8	41.5	81.3	＋8.9

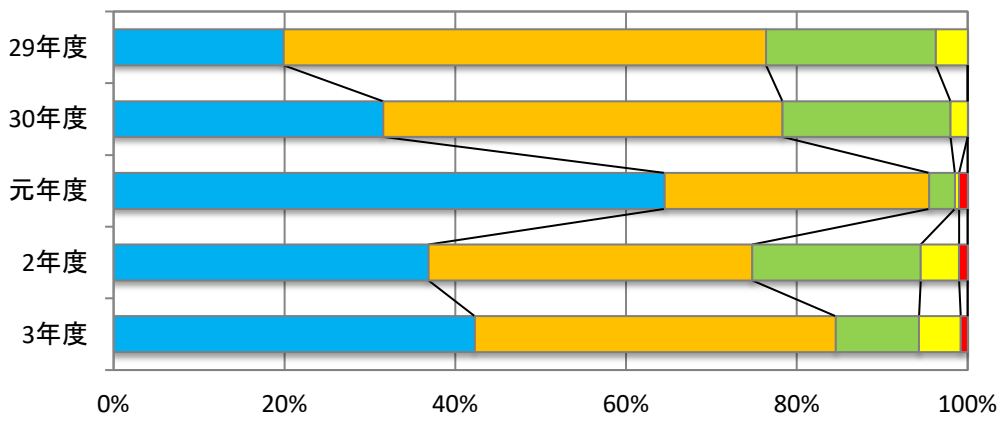
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	15.3	59.3	74.6	―
平成30年度	33.6	48.0	81.6	＋7.0
令和元年度	60.5	34.5	95.0	＋13.4
令和2年度	37.1	39.6	76.7	△ 18.3
令和3年度	40.7	43.1	83.7	＋7.0

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	19.9	56.5	76.4	―
平成30年度	31.6	46.7	78.3	＋1.9
令和元年度	64.5	31.0	95.5	＋17.2
令和2年度	36.9	37.9	74.8	△ 20.7
令和3年度	42.3	42.3	84.6	＋9.8

令和3年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践公衆衛生看護コース

※令和元年度設置

○全科目数 35科目　　**○調査対象者数　128人（延人数）**
○総回答数　　125枚（回答率97.7%）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は令和2年度集計結果】　（%）

質　問　項　目	非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(15.4)	(84.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	98.4	1.6	0.0	0.0	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。	(10.0)	(90.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	85.6	14.4	0.0	0.0	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(10.0)	(90.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	88.0	11.2	0.8	0.0	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(15.0)	(85.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	96.0	4.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(15.0)	(85.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	96.0	3.2	0.8	0.0	0.0	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(15.0)	(85.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	94.4	4.8	0.8	0.0	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(15.0)	(85.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	95.2	4.8	0.0	0.0	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(15.0)	(85.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	96.8	3.2	0.0	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均　令和2年度	(13.8)	(86.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
全質問項目の平均　令和3年度	93.8	5.9	0.3	0.0	0.0	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践公衆衛生看護コース
※令和元年度設置

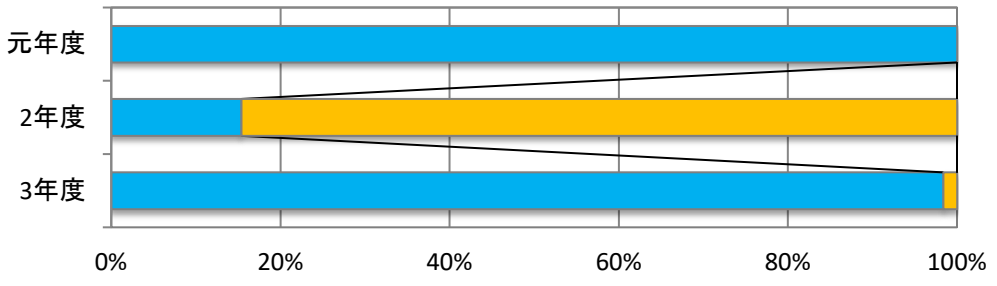
◆ 年度別 授業評価集計結果

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全科目数	30科目	36科目	35科目
調査対象者数（延人数）	60人	40人	128人
総回答数（回答率）	60枚（100.0%）	40枚（100%）	125枚（97.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

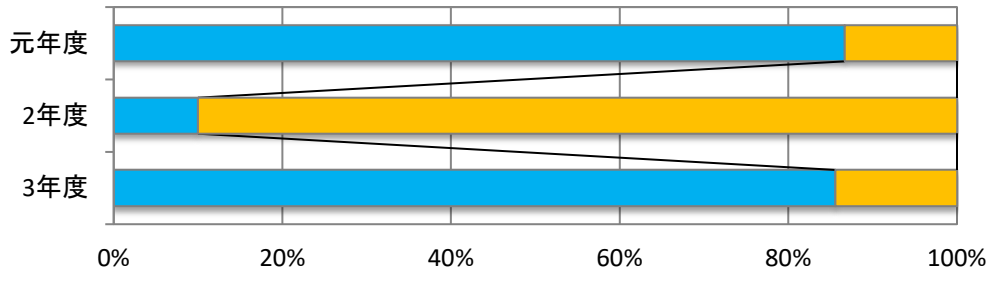
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	100.0	0.0	100.0	―
令和2年度	15.4	84.6	100.0	＋0.0
令和3年度	98.4	1.6	100.0	＋0.0

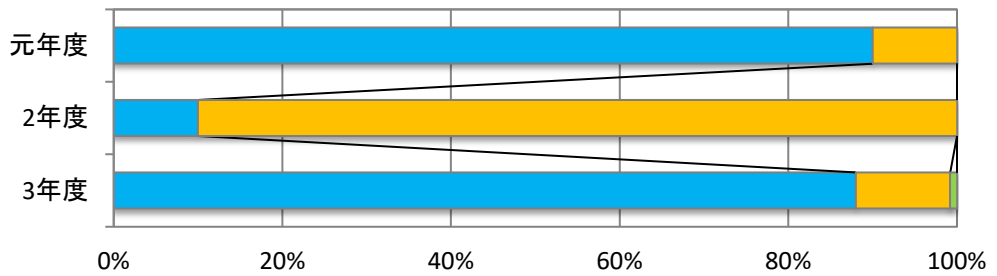
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	86.7	13.3	100.0	―
令和2年度	10.0	90.0	100.0	＋0.0
令和3年度	85.6	14.4	100.0	＋0.0

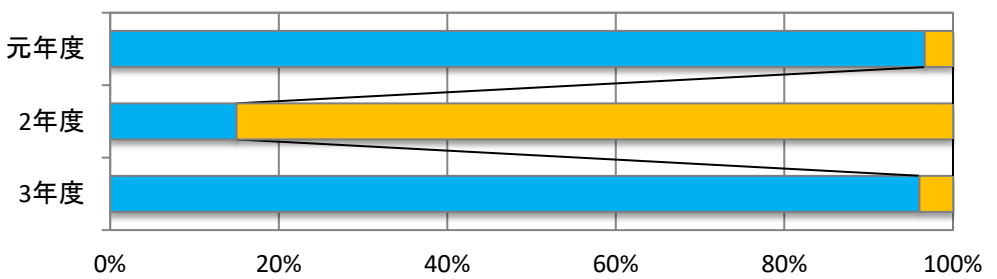
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	90.0	10.0	100.0	―
令和2年度	10.0	90.0	100.0	＋0.0
令和3年度	88.0	11.2	99.2	△ 0.8

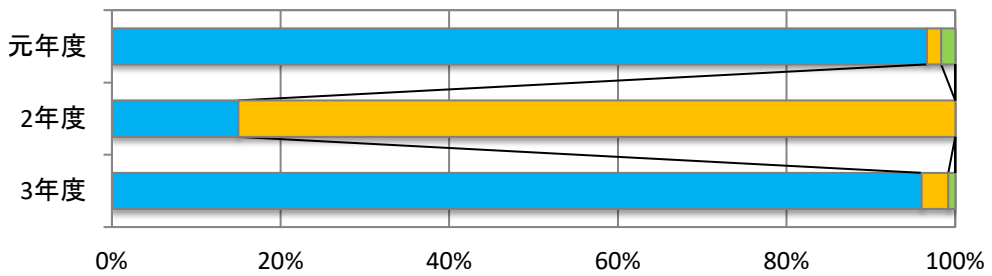
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	―
令和2年度	15.0	85.0	100.0	＋0.0
令和3年度	96.0	4.0	100.0	＋0.0

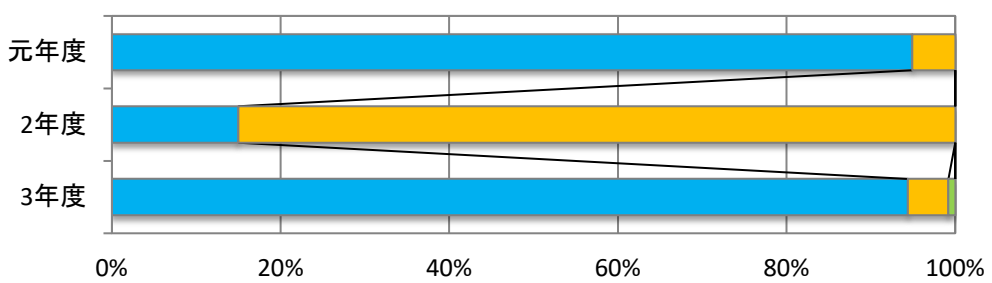
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	1.7	98.3	―
令和2年度	15.0	85.0	100.0	＋1.7
令和3年度	96.0	3.2	99.2	△ 0.8

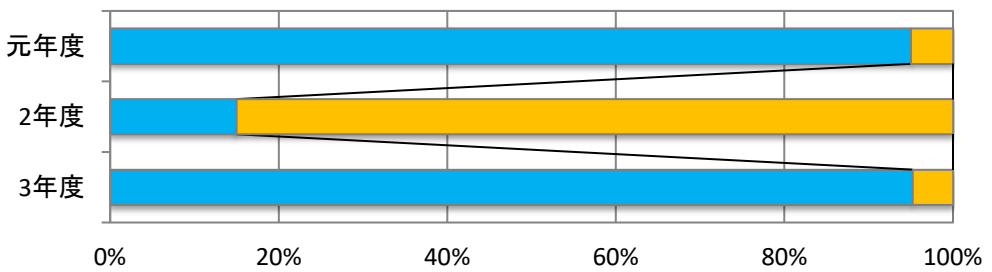
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	93.3	5.0	98.3	―
令和2年度	15.0	85.0	100.0	＋1.7
令和3年度	94.4	4.8	99.2	△ 0.8

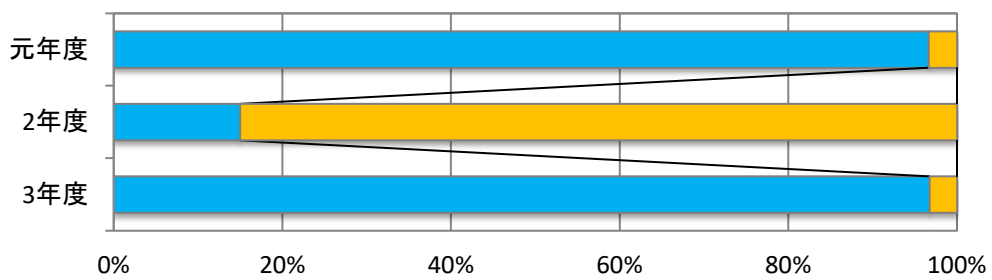
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	95.0	5.0	100.0	―
令和2年度	15.0	85.0	100.0	＋0.0
令和3年度	95.2	4.8	100.0	＋0.0

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	―
令和2年度	15.0	85.0	100.0	＋0.0
令和3年度	96.8	3.2	100.0	＋0.0

令和3年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース

○全科目数 1科目　　**○調査対象者数**　**1人（延人数）**
○総回答数　**1枚（回答率100.0%）**

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は令和2年度集計結果】　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(70.0)	(30.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(20.0)	(60.0)	(20.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(40.0)	(40.0)	(20.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(70.0)	(30.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(50.0)	(40.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(60.0)	(40.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(60.0)	(40.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(60.0)	(40.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	令和２年度	(53.8)	(40.0)	(6.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	令和３年度	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース

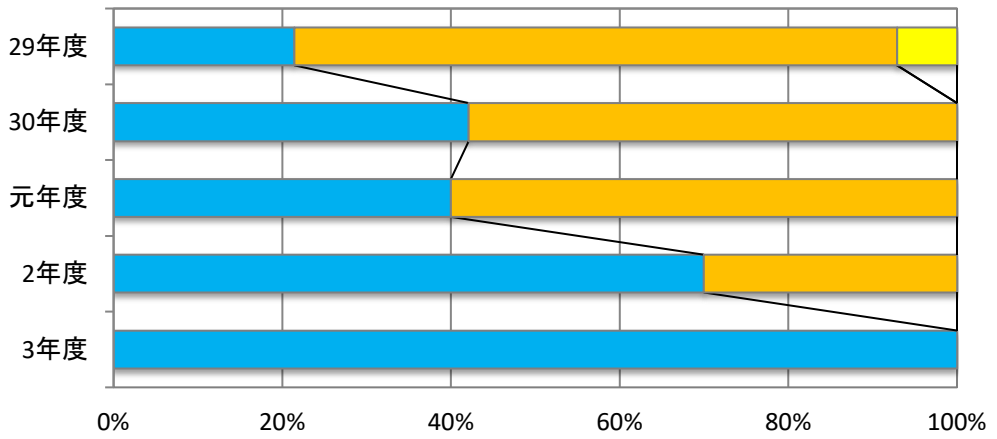
◆ 年度別 授業評価集計結果

	平成29年度	平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度
全科目数	7科目	16科目	9科目	10科目	1科目
調査対象者数（延人数）	19人	19人	10人	10人	1人
総回答数（回答率）	14枚（73.7%）	14枚（73.7%）	10枚（100.0%）	10枚（100.0%）	1枚（100.0%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

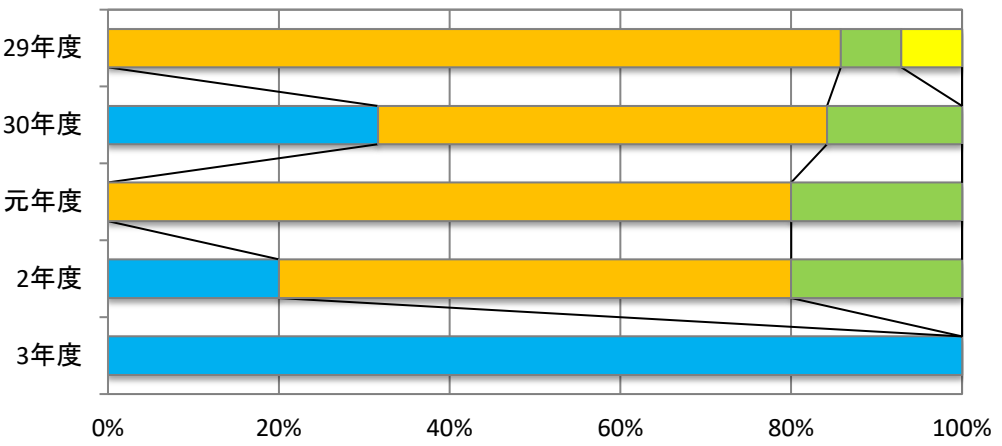
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	21.4	71.4	92.8	―
平成30年度	42.1	57.9	100.0	＋7.2
令和元年度	40.0	60.0	100.0	＋0.0
令和2年度	70.0	30.0	100.0	＋0.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋0.0

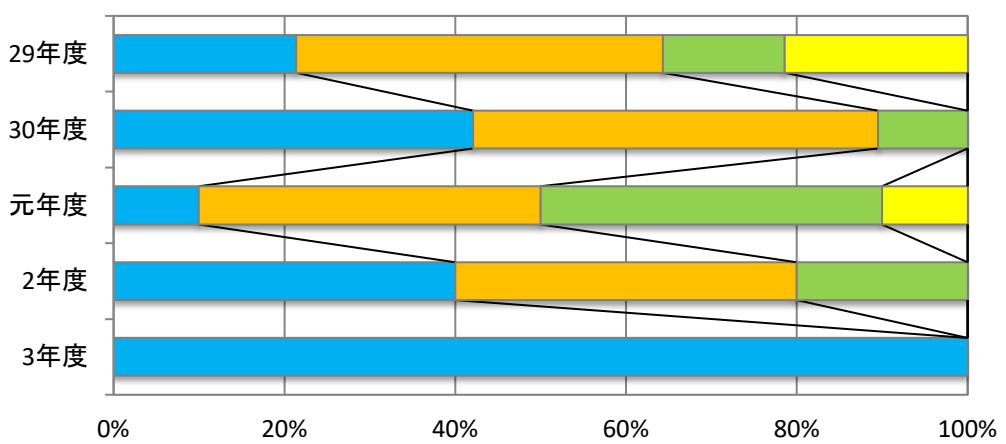
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	0.0	85.7	85.7	―
平成30年度	31.6	52.6	84.2	△ 1.5
令和元年度	0.0	80.0	80.0	△ 4.2
令和2年度	20.0	60.0	80.0	＋0.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋20.0

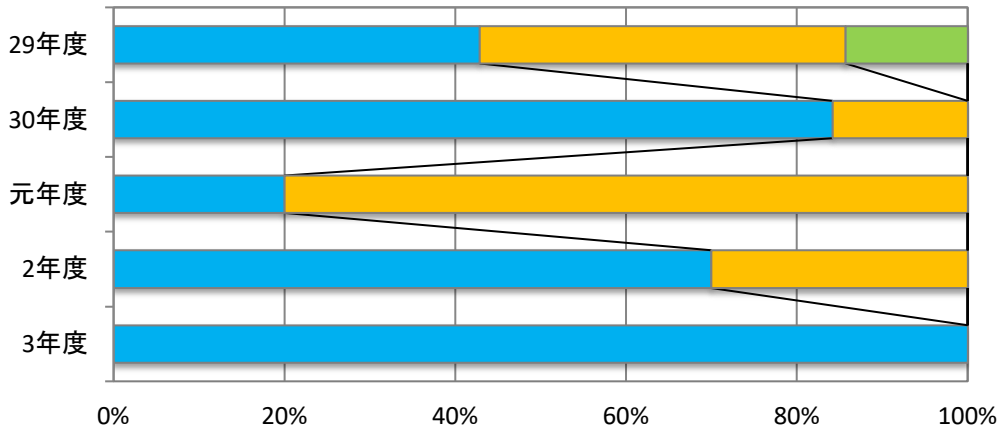
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	21.4	42.9	64.3	―
平成30年度	42.1	47.4	89.5	＋25.2
令和元年度	10.0	40.0	50.0	△ 39.5
令和2年度	40.0	40.0	80.0	＋30.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋20.0

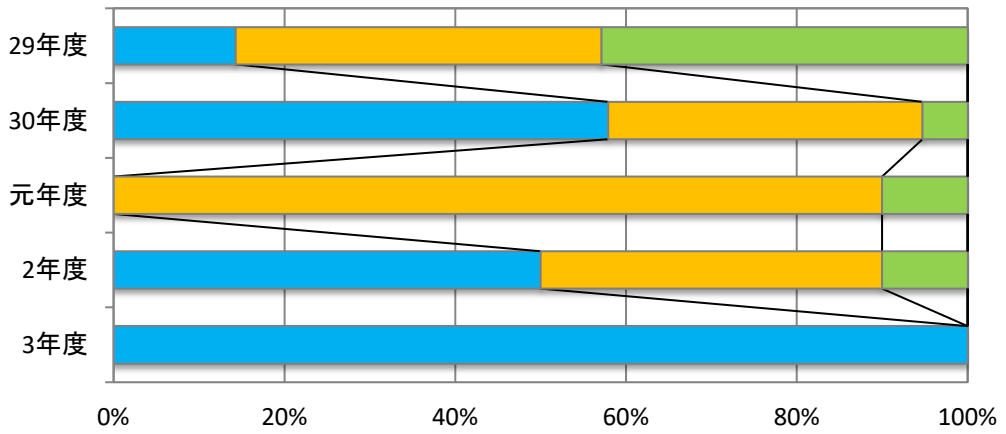
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	42.9	42.9	85.8	―
平成30年度	84.2	15.8	100.0	＋14.2
令和元年度	20.0	80.0	100.0	＋0.0
令和2年度	70.0	30.0	100.0	＋0.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋0.0

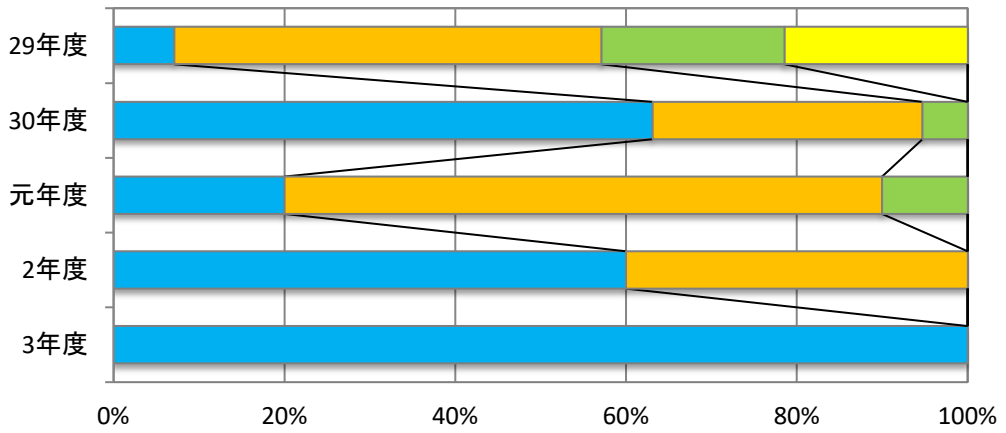
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.3	42.9	57.2	―
平成30年度	57.9	36.8	94.7	＋37.5
令和元年度	0.0	90.0	90.0	△ 4.7
令和2年度	50.0	40.0	90.0	＋0.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋10.0

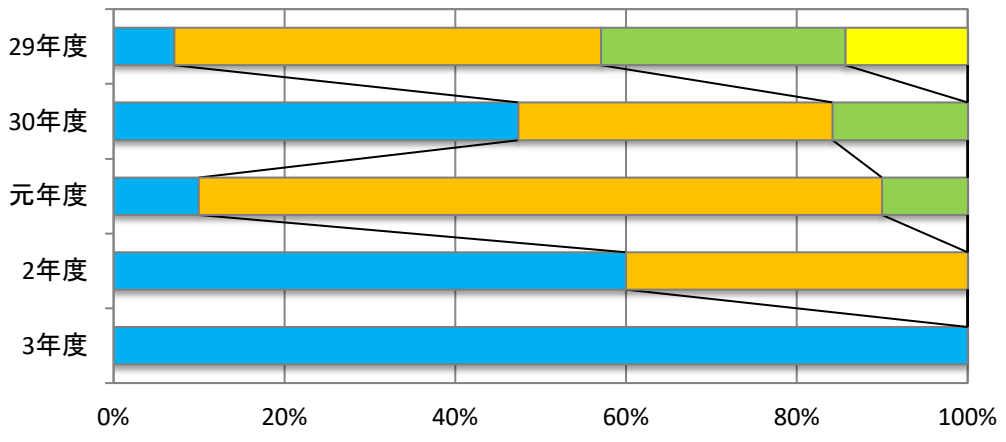
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	7.1	50.0	57.1	―
平成30年度	63.2	31.6	94.8	＋37.7
令和元年度	20.0	70.0	90.0	△ 4.8
令和2年度	60.0	40.0	100.0	＋10.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋0.0

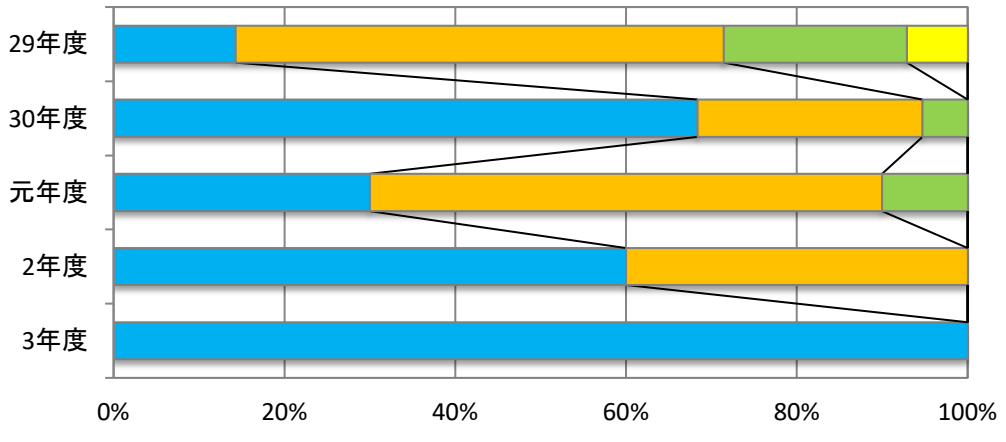
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	7.1	50.0	57.1	―
平成30年度	47.4	36.8	84.2	＋27.1
令和元年度	10.0	80.0	90.0	＋5.8
令和2年度	60.0	40.0	100.0	＋0.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋0.0

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
平成29年度	14.3	57.1	71.4	―
平成30年度	68.4	26.3	94.7	＋23.3
令和元年度	30.0	60.0	90.0	△ 4.7
令和2年度	60.0	40.0	100.0	＋10.0
令和3年度	100.0	0.0	100.0	＋0.0

令和３年度 大学院和歌山看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学研究科長
八島　妙子

１．授業評価の結果について

総合評価として、「学びやすさ」「満足度」が前期平均 4.58、4.88、後期平均 4.41、4.72 と高い評価でした。Zoom と対面参加を、感染状況や業務の都合に応じて選択できたため、仕事との両立も無理なくできたことが学びやすさを感じ、教員の学生のニーズに応じた教育内容・手法が満足につながったのではないかと思われました。しかし、自身の準備に関しては、前期・後期平均が 3.74・3.77 であり、シラバスの役立ち度も前期・後期平均が 4.35・3.98 で他の項目より低いことから、主体的に学習する習慣が身についてないことに加え、シラバスから予習するというところに至らなかったことが伺えます。教員の教え方・姿勢には 5 点あるいは 5 点に近い平均点数であったこと、社会人である学生の問題意識を引き出し、理論的背景をもとに解説し、学生同士のディスカッションにより、実践での疑問や迷いが自分で整理できたことを実感できたのではないかと考えます。中には授業評価の回収率の低い科目もありましたので、さらに学生からの意見が聞けるような工夫が必要と思いました。

２．授業において工夫した点について

学生の発表に対して十分な時間をとってのディスカッションを行い、学生と教員が学びあう場として意識して学生の発言を促しました。学生の興味関心に合わせた文献を準備したり、遠隔授業においても今ある機能を駆使して双方向で授業が進むようにするなど学生が参加できる工夫をしました。学生の体験をもとに意味づけるなどして、実践につながるように授業を進めました。実践している外部講師の招聘により、より理解が深まったと思われます。

３．今後の授業への生かし方について

ハイブリッド講義が続くと思いますので、双方向のディスカッションができるよう工夫していきたいと思います。課題にかかる時間と準備期間を考慮して学生に無理なく、授業に臨めるように学生の意見も取り入れて進めていきたいと思います。シラバス内容の記載を学生の理解しやすいように工夫をし、シラバスの意図を学生に十分説明、学生自身が取り組めるようにしたいと思います。

４．その他

Ⅲ質問項目の「板書」に関する項目は使う機会が少ないが回答していたため、例えば「該当しない」あるいは、「回答しない」という選択もいいかもしれません。

ハイブリッド授業環境を改善するための環境整備を進めていけるといいかと思います。

社会人学生の受け入れにあたっては、入学後の学習にスムーズに入れるよう、入学前教育は有効と思われますので、学生のニーズに対応して継続していきます。

令和３年度 授業評価集計結果

保健大学 大学院 和歌山看護学研究科　修士課程

○講義・演習科目数　17科目　　○調査対象者数　119人（延人数）
○総回答数　89件（回答率74.8％）

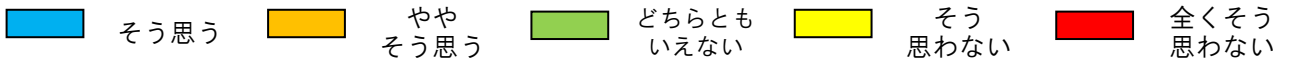
◆ 質問項目別集計結果

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(45.6) 10.1	(45.6) 60.7	(8.8) 25.8	3.4	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(70.2) 39.3	(24.6) 43.8	(3.5) 16.9	(1.8) 0.0	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(68.4) 28.1	(26.3) 60.7	(5.3) 11.2	0.0	0.0	(100) 100
計	(61.4) 25.8	(32.2) 55.1	(5.8) 18.0	(0.6) 1.1	0.0	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(38.6) 25.8	(49.1) 55.1	(10.5) 19.1	(1.8) 0.0	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(59.6) 50.6	(35.1) 42.7	(5.3) 6.7	0.0	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(73.7) 69.7	(21.1) 22.5	(3.5) 7.9	(1.8) 0.0	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(73.7) 70.8	(24.6) 20.2	(1.8) 9.0	0.0	0.0	(100) 100
計	(61.4) 54.2	(32.5) 35.1	(5.3) 10.7	(0.9) 0.0	0.0	(100) 100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(71.9) 39.3	(22.8) 41.6	(5.3) 13.5	5.6	0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(93.0) 82.0	(7.0) 18.0	0.0	0.0	0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(87.7) 82.0	(12.3) 16.9	0.0 1.1	0.0	0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	(82.1) 57.7	(7.1) 38.5	(10.7) 3.8	0.0	0.0	(100) 100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(96.2) 78.8	(3.8) 17.6	0.0 3.5	0.0	0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(87.7) 78.7	(8.8) 18.0	(3.5) 3.4	0.0	0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(89.5) 74.2	(8.8) 19.1	(1.8) 5.6	1.1	0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(91.2) 89.9	(7.0) 7.9	(1.8) 2.2	0.0	0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(80.7) 73.0	(14.0) 23.6	(3.5) 3.4	(1.8) 0.0	0.0	(100) 100
計	(78.9) 72.8	(15.8) 22.3	(5.3) 4.1	0.7	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(84.2) 53.9	(12.3) 33.7	(1.8) 10.1	(1.8) 2.2	0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(78.9) 75.3	(15.8) 20.2	(5.3) 4.5	0.0	0.0	(100) 100
計	(78.9) 64.6	(15.8) 27.0	(5.3) 7.3	1.1	0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(72.1) 54.4	(22.6) 34.9	(4.8) 10.0	(0.4) 0.7	0.0	(100) 100

授業評価集計結果　年度別比較

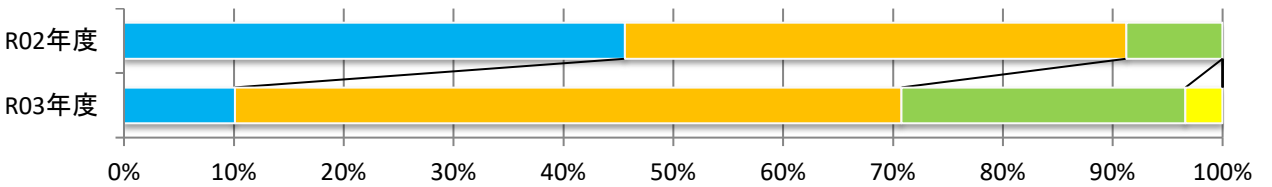
	令和２年度	令和３年度
全科目数	17科目	17科目
調査対象者数（延人数）	124人	119人
総回答数（回答率）	57枚（46.0%）	89枚（74.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



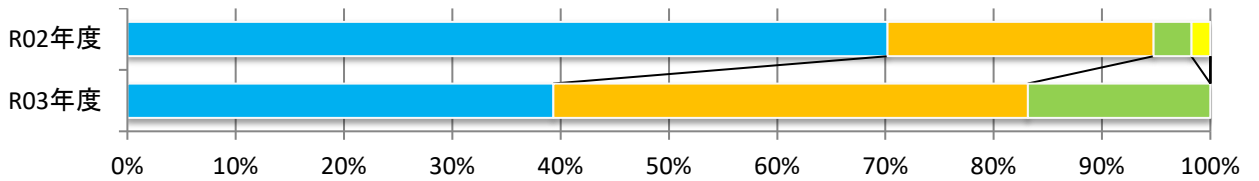
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



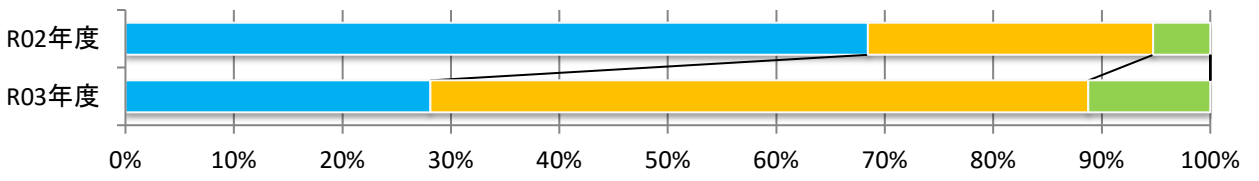
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.6	45.6	91.2	—
10.1	60.7	70.8	△ 20.4

2. 積極的に出席したと思うか。



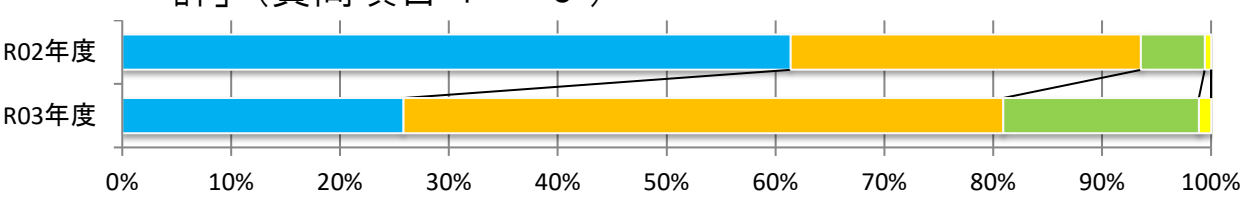
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
70.2	24.6	94.7	—
39.3	43.8	83.1	△ 11.6

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.4	26.3	94.7	—
28.1	60.7	88.8	△ 6.0

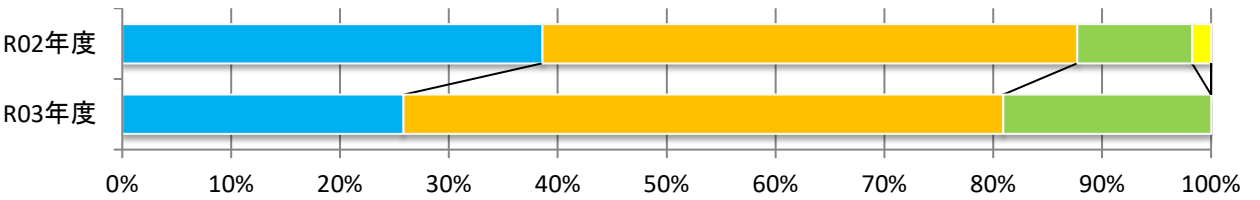
「計」（質問項目 １ ～ ３ ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.4	32.2	93.6	—
25.8	55.1	80.9	△ 12.7

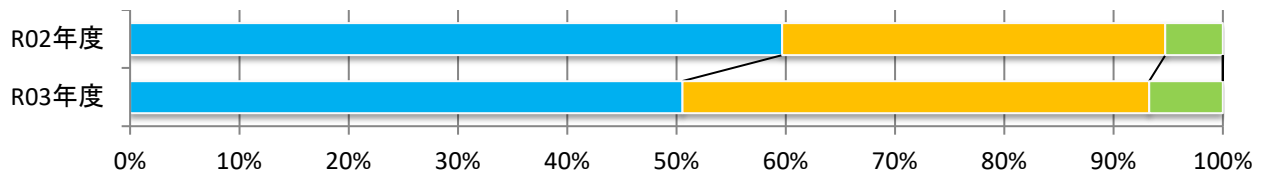
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



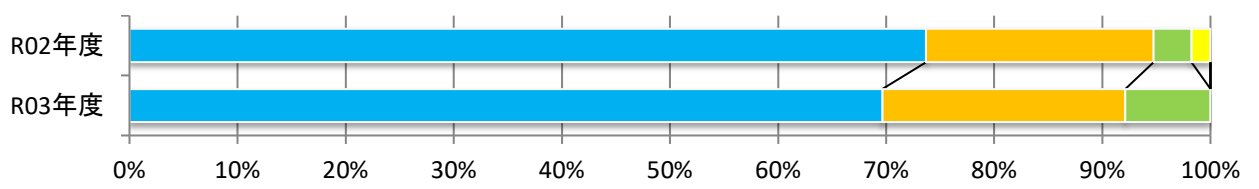
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.6	49.1	87.7	—
25.8	55.1	80.9	△ 6.8

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



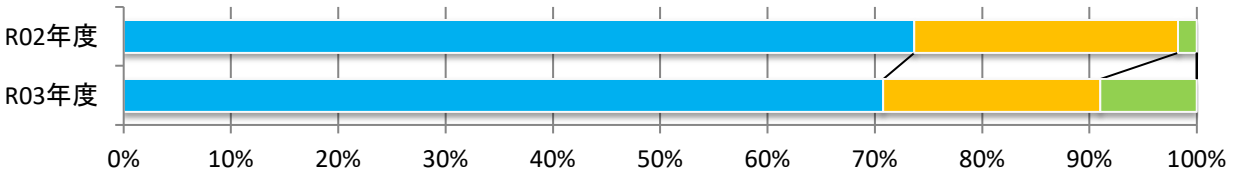
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.6	35.1	94.7	—
50.6	42.7	93.3	△ 1.5

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



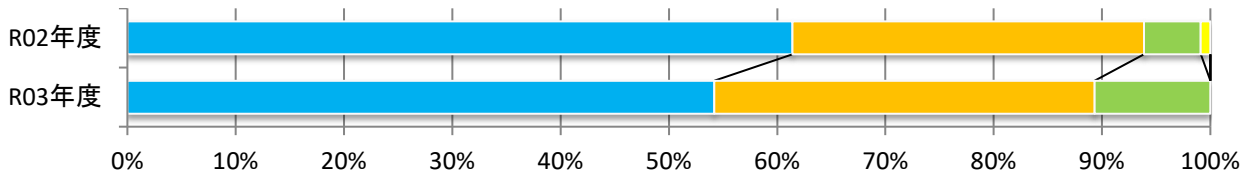
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.7	21.1	94.7	—
69.7	22.5	92.1	△ 2.6

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.7	24.6	98.2	―
70.8	20.2	91.0	△ 7.2

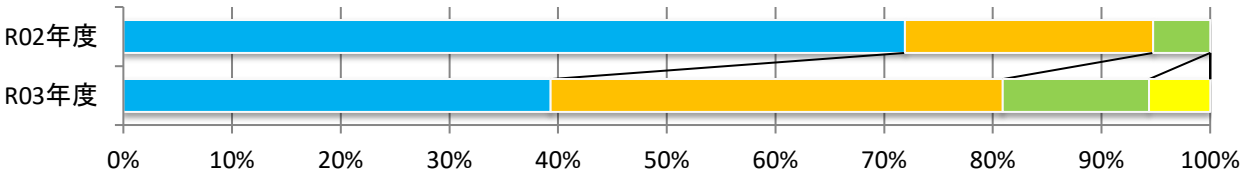
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.4	32.5	93.9	―
54.2	35.1	89.3	△ 4.5

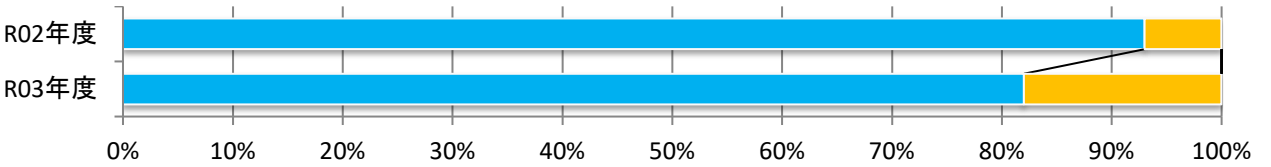
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



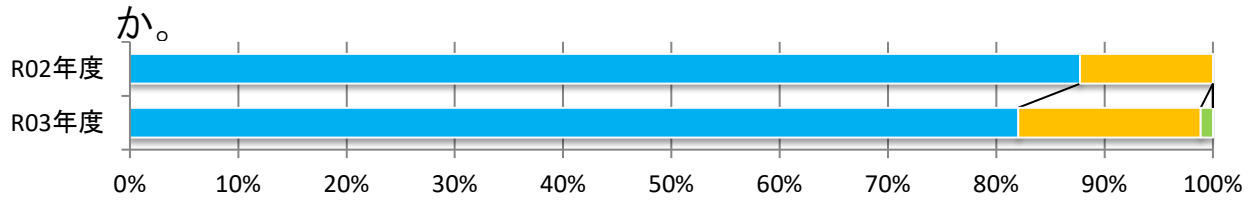
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.9	22.8	94.7	―
39.3	41.6	80.9	△ 13.8

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



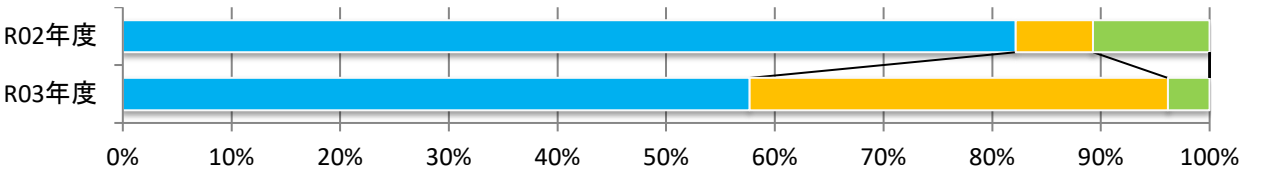
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
93.0	7.0	100.0	―
82.0	18.0	100.0	0

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



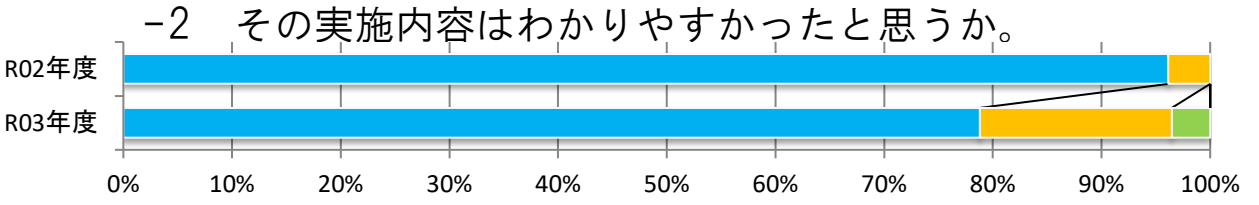
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
87.7	12.3	100.0	―
82.0	16.9	98.9	△ 1.1

11. 主として板書による授業が行われた場合には、
-1　わかりやすい板書であったと思うか。



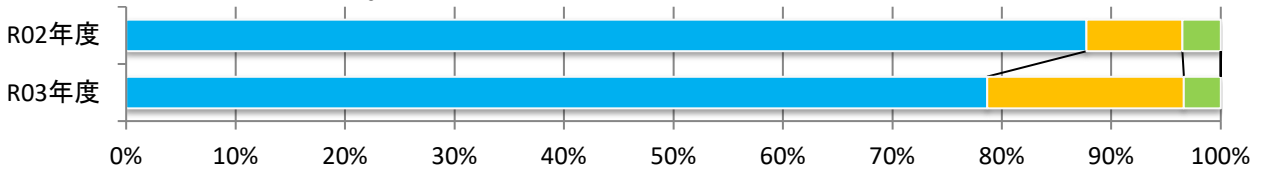
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
82.1	7.1	89.3	―
57.7	38.5	96.2	＋ 6.9

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、
-2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。



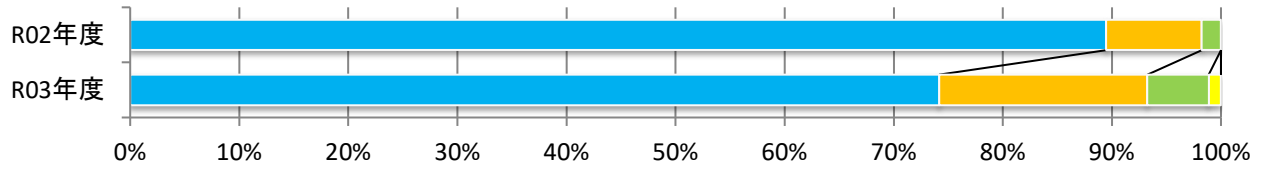
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
96.2	3.8	100.0	―
78.8	17.6	96.5	△ 3.5

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



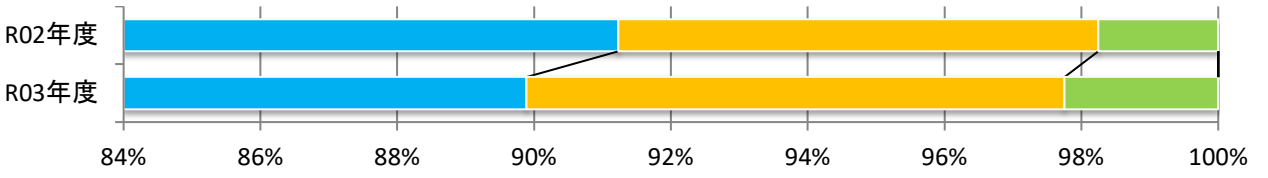
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
87.7	8.8	96.5	―
78.7	18.0	96.6	＋ 0.1

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



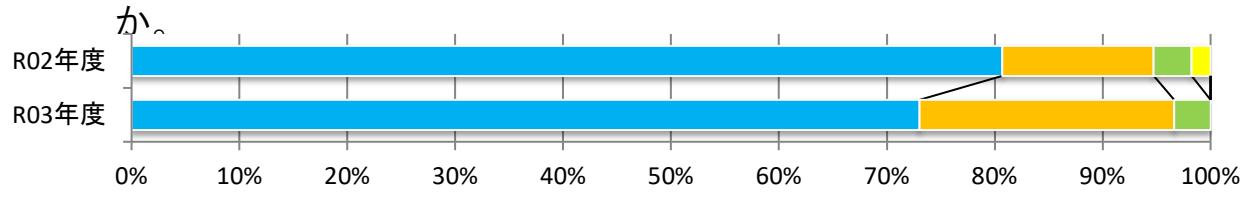
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
89.5	8.8	98.2	―
74.2	19.1	93.3	△ 5.0

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



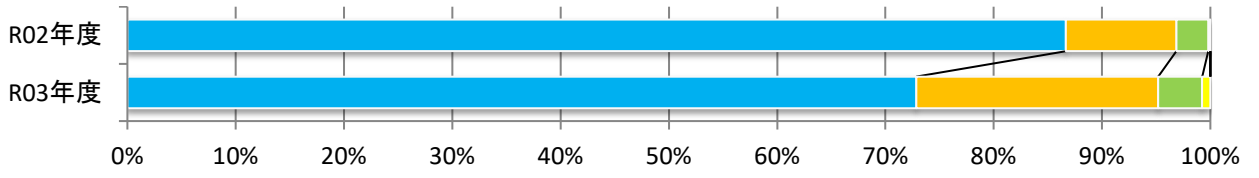
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
91.2	7.0	98.2	—
89.9	7.9	97.8	△ 0.5

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
80.7	14.0	94.7	—
73.0	23.6	96.6	＋ 1.9

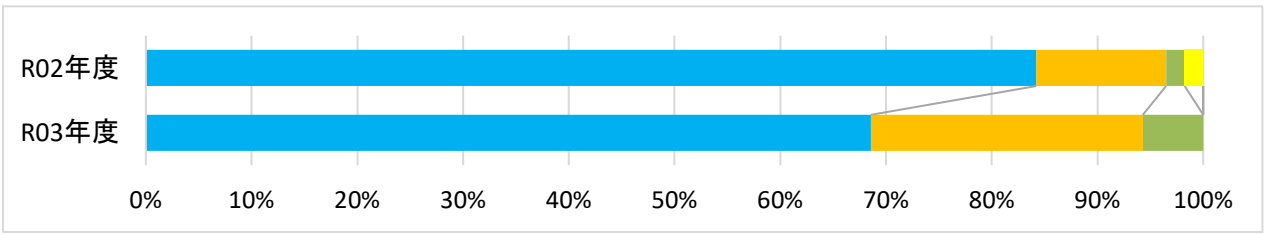
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
86.7	10.2	96.9	—
72.8	22.3	95.2	△ 1.7

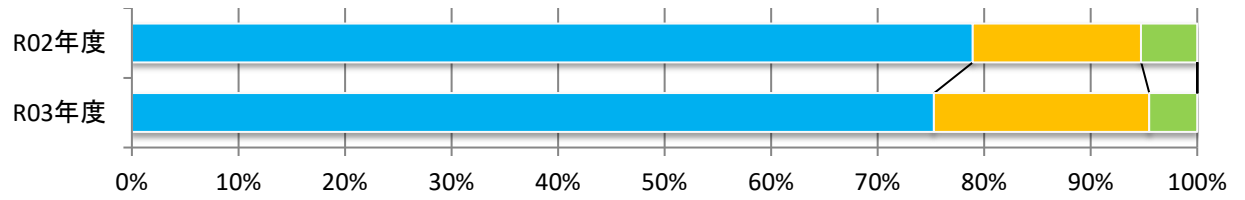
Ⅳ 総合評価

16. この授業は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



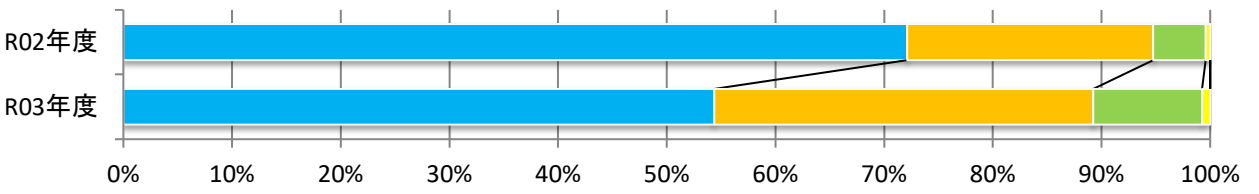
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
84.2	12.3	96.5	—
53.9	20.2	74.2	△ 22.3

17. この授業は総合的に満足できたと思うか。



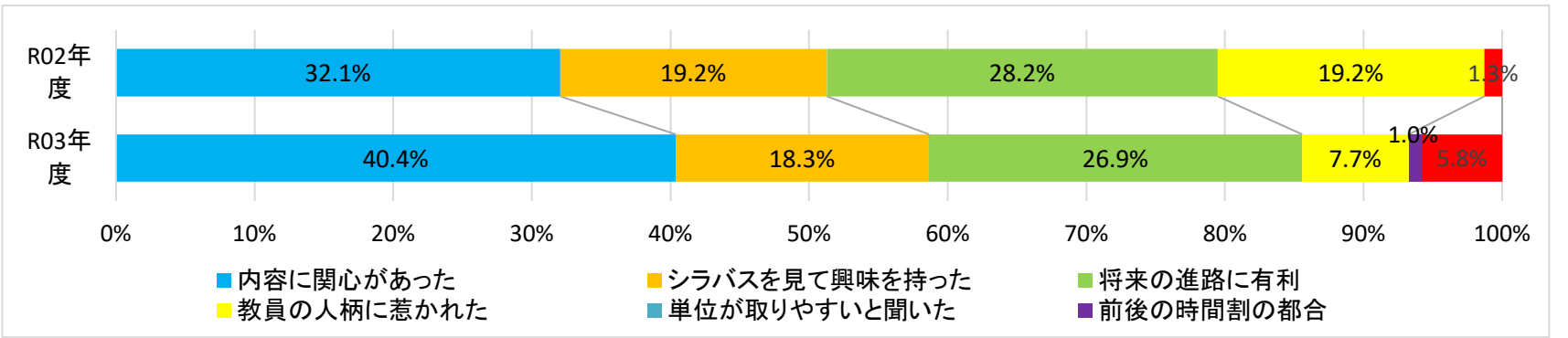
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
78.9	15.8	94.7	—
75.3	20.2	95.5	＋ 0.8

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
72.1	22.6	94.8	—
54.4	34.9	89.2	△ 5.5

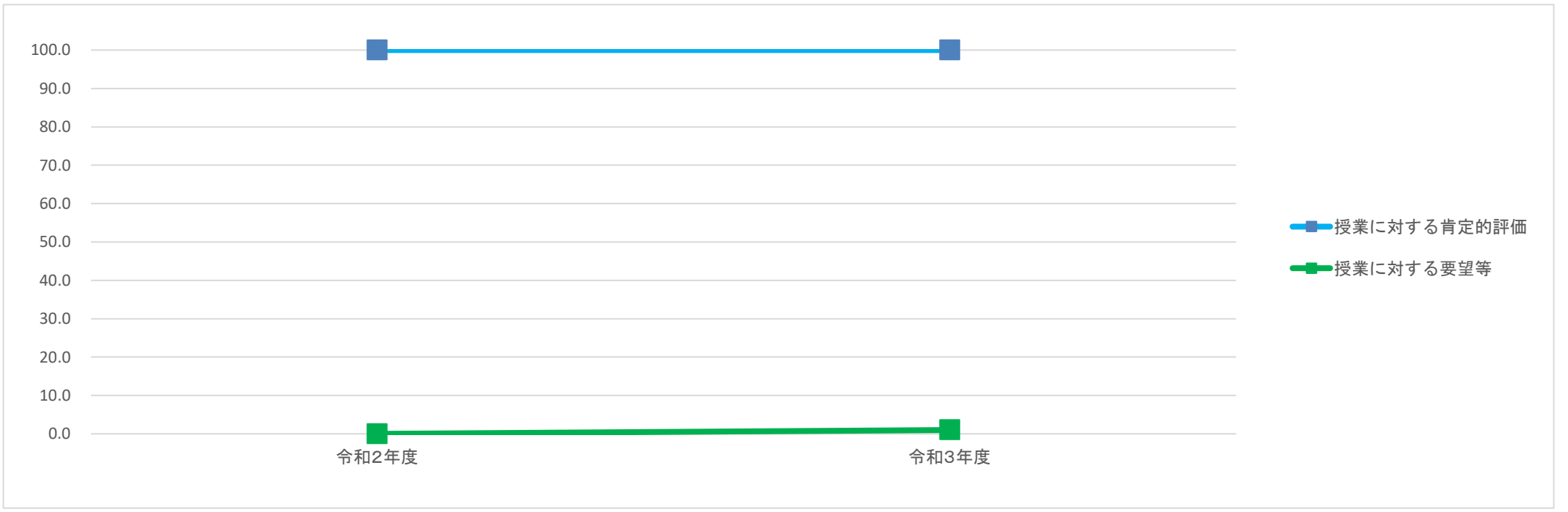
○選択科目を履修した理由は何か



◆ 年度別　自由記述集計結果

%	令和２年度		令和３年度	
授業に対する肯定的評価	(0.0%)	24	(100.0%)	26
授業に対する要望等	(0.0%)	0	(0.0%)	1
総件数	(100.0%)	24	(100.0%)	27

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	26	三名の先生による３つの理論の講義の後に個人ワークに入ったことで自分自身が何を調べ、どのように発表するかの流れが理解しやすくプレゼンテーションの課題に取り組みやすかったです。また、１５回の講義を通し理論の大切さを改めて見直すことができ、苦手意識がなくなり、実践に活かすために理論を学び深めていきたいと思います。 看護理論の活用が、看護実践を行う上での近道であることを再認識できた。多くの理論家が看護について概念をつくられていたが、すべての患者にあてはまるものではなく、多くの理論を知ることで対応できるような看護師になりたいと思いました。　ありがとうございました。 倫理の授業を受け、自分自身が考えていた研究テーマが見えた部分もありました。自身の実務経験上、常に何か問題を感じていましたが、その一つが精神科看護の倫理的な問題なのだと気付けたことは大きな学びの1つです。今後は自施設でも倫理的な問題に向き合う際には講義で得た知識をもとに対策していければと思いますし、自己完結するのではなくスタッフにも提議したり得た知識について話していければと思います。 知っていたつもりだった看護研究ですが、深みを知りまだまだ学んでいく必要があると知ることが出来ました。また、文献検索の大切さや、文献を読んでいく際にクリティークすることの大切さを知ることも出来、これからの自分の視野の拡がりにも繋がっていくなと思います。そして、まだまだ知識不足な部分が多く、学び続けていくことの大切さも知ることができました。 毎回、たくさんの論文を準備してくださってありがとうございました。文献レビューは先生方のクリティークの視点を身近に感じ学習させていただきました。今後の自己の課題に活かしていきたいと思います。 看護の実践をマネジメントできるように、看護研究をするために大学院に入学したが簡単には行かないと言う事がよくわかりました。 マネジメントに興味がありつつも、実際の現場では用いる機会など立場上出来ずにいました。しかし、授業を受けていくことでスタッフの立場からであってもマネジメント能力は必要であり、今の自分の学びとして、また、今の立場からのマネジメントの介入方法を知る機会となりました。ありがとうございました。 今振り返ると大変だったなと思う部分もありますが、自身の引き出しを増やす機会ともなり、とても意義のある授業になったと思います。資料の作成や発表方法、また自分自身が知らなかったことを調べたり聞く機会が多く、学ぶことが多いだけでなく、学生間での関係構築にも繋がったと思います。 いつも先生方が院生のディスカッションを見守ってくださり、適宜助言やご指導をくださるといった環境にとても安心しながら取り組めています。また、対面での授業は質問しやすかったり、発言しやすいと感じますので、先生方と院生のコミュニケーションが図れ、そのようなことも学習への取り組みにつながっていると思います。
授業に対する要望等	1	グループ討議は気づきもあり、楽しかった。最終日時間がなかったので、発表時間と質疑応答時間を増やしてほしい。
計	27	

令和 3 年度 千葉看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学研究科長
宮本　千津子

１．授業評価の結果について

○ 千葉看護学研究科は令和 3 年度が初年度となり、“つかむ力”“つなぐ力”“示す力”を育成するという学位授与方針（DP）のもと、9 名の学生とともに学んできました。最新の知見をお示ししながらも、同時に手探りを繰り返し、学生と教職員とが協働して看護の新たな価値を見出そうと挑戦した初年度でした。

○ 令和 3 年度全 20 科目についてオンラインで開講しましたが、総合評価の“この授業は総合的に満足できたか”では平均 4.94 と高い評価を得ることができほっとしています。ただしその得点範囲は 3.67～5.00 となっており、中には満足度の低い科目があることもわかりました。

○ 評価を項目別にみると、学生自身についての評価が平均 3.78～4.69、授業内容についてが 4.02～5.00、教員の教え方・姿勢についてが 4.63～5.00 でした。

○ 学生の自己評価については、“授業に対して十分な準備ができていたか”において 2.50、2.57 という科目がありました。また授業内容評価のなかでも“授業内容をよく理解できたか”で平均 4.02 となっており、この結果からは、学生の自己評価が相対的に低いことがみてとれ、これが総合的な満足度が低かった科目の背景にあると考えます。授業評価を確認した教員の感想にも、授業の際の手応えより学生の自己評価が低いと感じた、というものがありました。

○ 一方、授業内容のなかには、“この授業は発展的な学びに繋がる内容と思うか”が平均 4.88、“自分にとって新しい考え方や発想が得られたか”が 4.84 でした。自由記載にも、貴重なディスカッションができた、新しい知識に触れ刺激的であった、（演習）学生より教員の数が多く緊張した、課題に取り組み達成感があった、等が記されており、大学院での学修により多くのものを得ることができたと評価してよいと考えます。

○ しかし、評価を科目別でみると、職場での実践に直結しない科目の評価が相対的に低くなっているようでした。看護の新し価値を産み出し、現場を牽引していくことに不可欠な広い視野を養う意図で配置している科目ですが、こういった研究科ならではの学修が必ずしも学生のニーズに一致していないことが示唆されました。

２．授業において工夫した点について

○ 初年度であった令和 3 年度は DP で示した能力育成をめざしながら、学生個々

のニーズに応えるべく、各科目が授業内容と方法とを工夫しました。また、学生と調整し対面授業を行った１科目を除いて、授業がオンラインで行われたことについては、学生が現役の看護職者であり、入学当初は ICT 活用に苦慮する様子がみられましたが、すぐに慣れ、中身の濃い充実した授業を展開することができたと評価しています。

○ 各科目が行った授業運営や教材選定に関する工夫は次のようです。
- オンラインのため、双方向的な授業となるよう心掛けた。
- 学生の反応やニーズを聞き出し、次回の授業内容に反映させた。
- 教材の重複を避け、社会人である学生の時間を有効に活用できるようにした。
- できる限り早めに課題を出した。
- 学生の職場での実践を教材とした。
- ディスカッションテーマを単純なものから徐々に複合的なものへと展開した。
- 複数教員担当の科目において、それぞれの教員の専門が活かされるよう分担した。
- 複数教員担当科目であったが、完全なオムニバスではなく、リレー形式でつないでいった。

3. 今後の授業への生かし方について

○ 上記の評価と課題を踏まえ、学生の多様なレディネスと就業状況にも配慮し、より効果的な授業展開がなされるよう次のような改善と工夫を行っていきたいと考えます。
- 授業に対する準備がしやすいよう準備学修の内容と方法を精選しシラバスおよびガイダンスにおいて提示し、授業資料の早期配信を行います。
- 授業は基本的知識から開始し、学生のレディネスや関心を把握しながら、これを反映させ、ディスカッションテーマを選定し、また、プレゼンテーション学修や演習へと発展させます。
- 授業に対する学生の反応を確認し、フィードバックをすることで適正な自己評価が可能となるよう支援します。
- 学生、教員ともに一部、対面（スクーリング）を導入する希望があることについて検討します。
- 演習や研究においてフィールドワークが制限されていることに対し、With コロナを前提として、目標を達成できる新たな方法を探索します。

4. その他

○ 開設 2 年目となる令和 4 年度は、特別研究が本格的に実施されます。授業だけでなく、研究実施においても ICT を適切に活用し、有意義な結果を“示す”能力をともに培っていきたいと考えます。

令和３年度 授業評価集計結果

廖保健大学 大学院 千葉看護学研究科　修士課程

○講義・演習科目数　18科目　　○調査対象者数　109人（延人数）
○総回答数　79件（回答率 72.5%）

◆ 質問項目別集計結果

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	3.8	55.7	26.6	7.6	6.3	100
2. 積極的に出席したと思うか。	46.8	49.4	3.8	0.0	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	43.0	51.9	5.1	0.0	0.0	100
計	31.2	52.3	11.8	2.5	2.1	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	16.5	72.2	8.9	2.5	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	31.6	60.8	7.6	0.0	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	77.2	21.5	1.3	0.0	0.0	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	81.0	19.0	0.0	0.0	0.0	100
計	51.6	43.4	4.4	0.6	0.0	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	68.4	30.4	1.3	0.0	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	84.8	7.6	7.6	0.0	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	91.1	7.6	1.3	0.0	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、-1 わかりやすい板書であったと思うか。	80.0	13.3	6.7	0.0	0.0	100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、-2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	92.2	6.5	1.3	0.0	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	89.9	10.1	0.0	0.0	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	88.6	10.1	1.3	0.0	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	93.7	6.3	0.0	0.0	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	82.3	17.7	0.0	0.0	0.0	100
計	85.7	12.2	2.2	0.0	0.0	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	96.2	2.5	1.3	0.0	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	91.1	6.3	1.3	0.0	1.3	100
計	93.7	4.4	1.3	0.0	0.6	100
全質問項目の平均	65.5	28.1	4.9	0.8	0.7	100

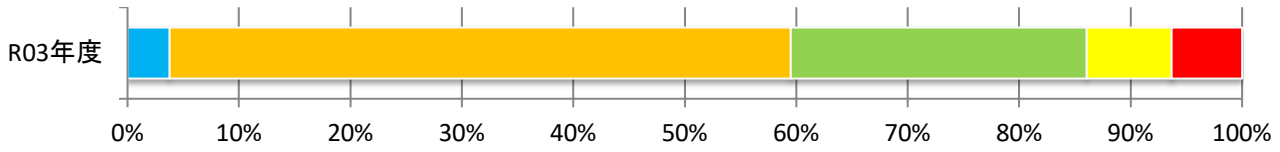
授業評価集計結果　年度別比較

	令和３年度
全科目数	18科目
調査対象者数（延人数）	109人
総回答数（回答率）	79件（72.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

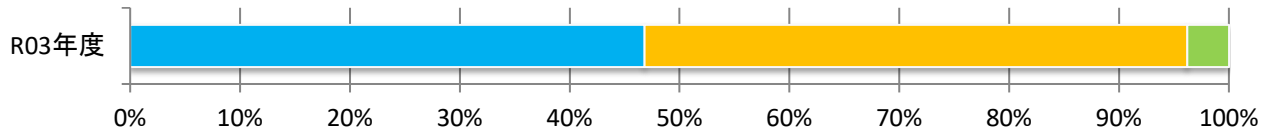
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



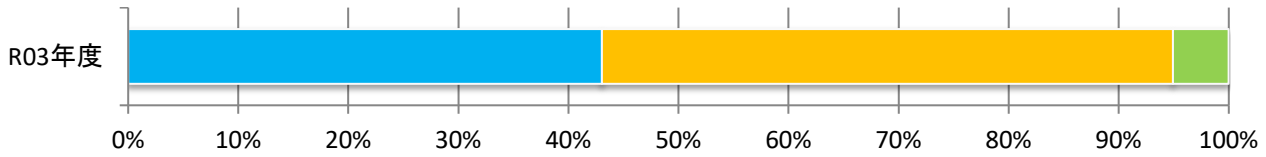
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
3.8	55.7	59.5	

2. 積極的に出席したと思うか。



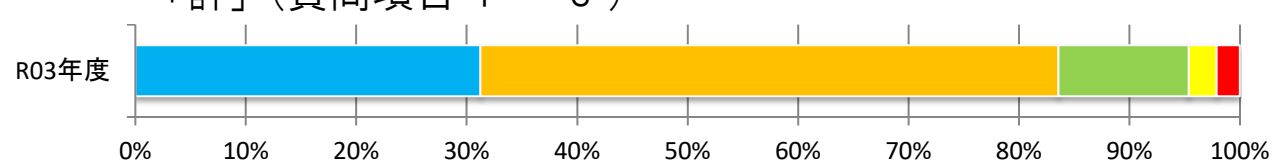
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.8	49.4	96.2	

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.0	51.9	94.9	

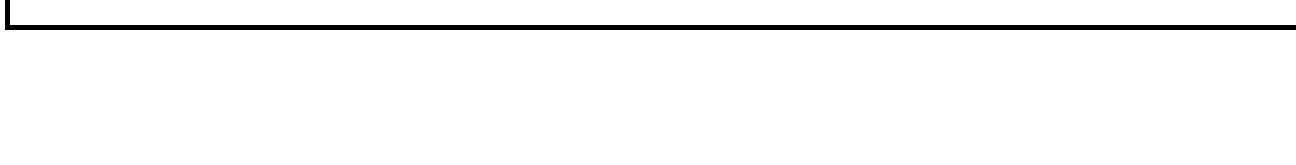
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.2	52.3	83.5	

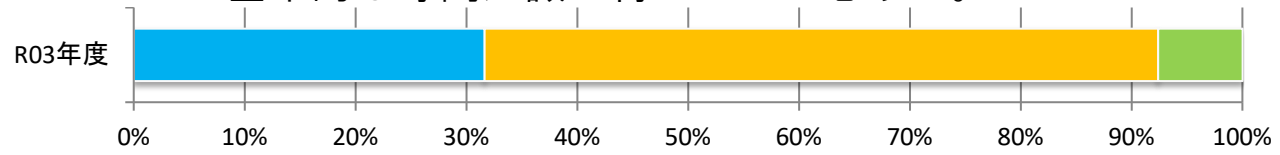
Ⅱ　授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



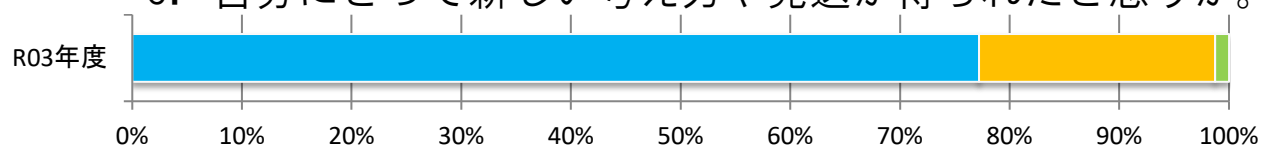
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
16.5	72.2	88.6	

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



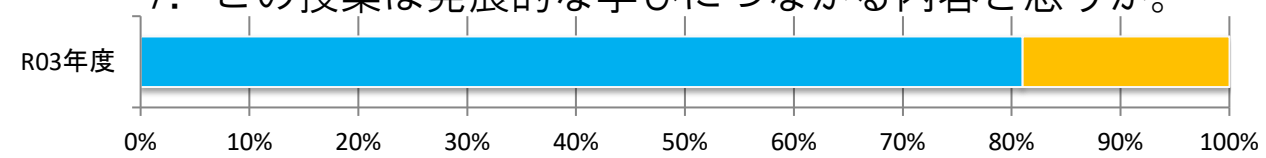
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.6	60.8	92.4	

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



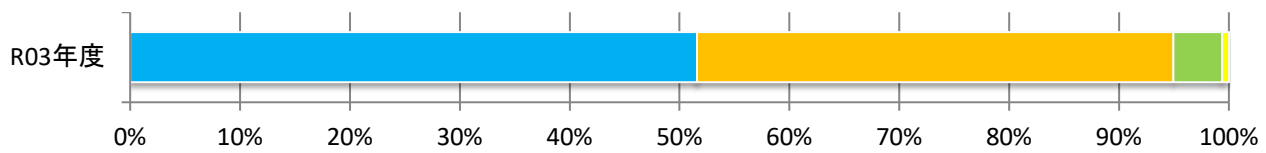
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
77.2	21.5	98.7	

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
81.0	19.0	100.0	

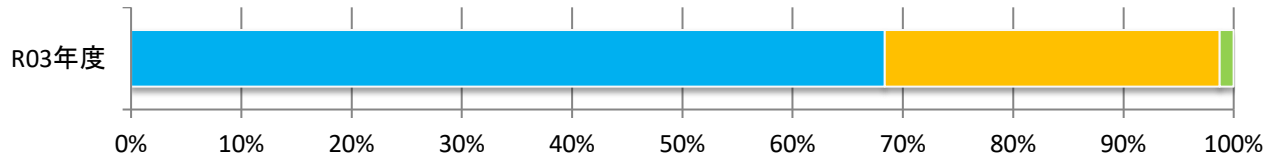
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.6	43.4	94.9	

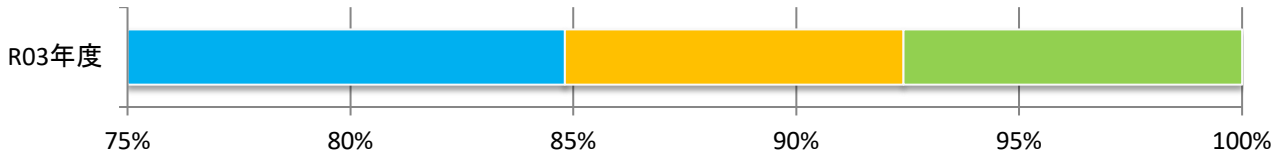
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



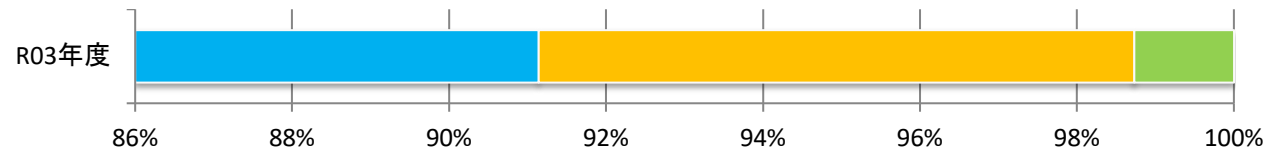
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.4	30.4	98.7	

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



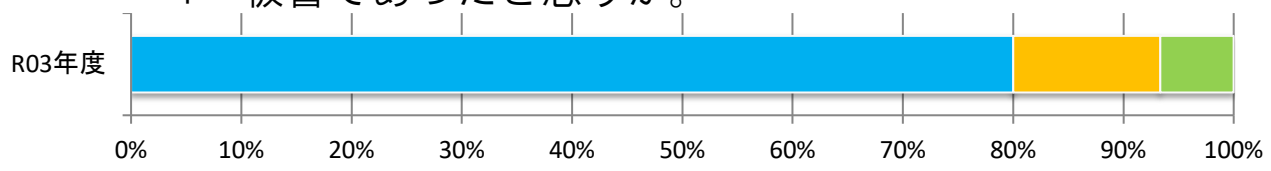
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
84.8	7.6	92.4	

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



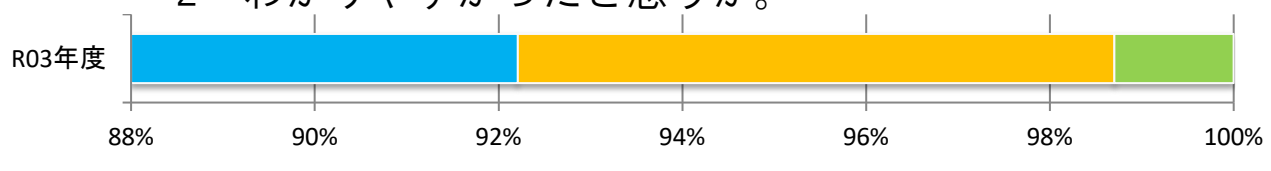
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
91.1	7.6	98.7	

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1　板書であったと思うか。



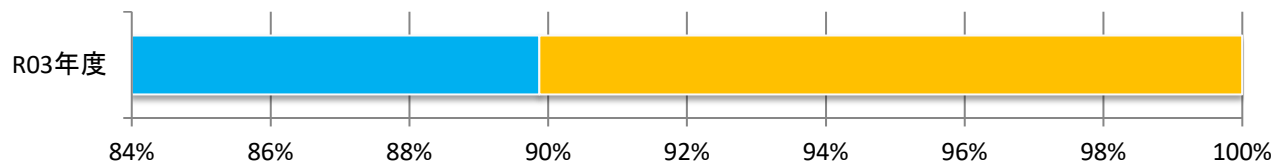
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
80.0	13.3	93.3	

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2　わかりやすかったと思うか。



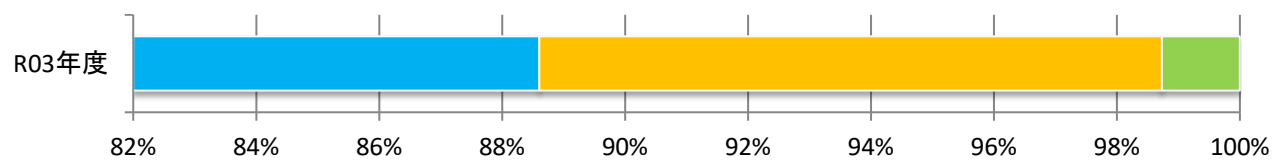
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
92.2	6.5	98.7	

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



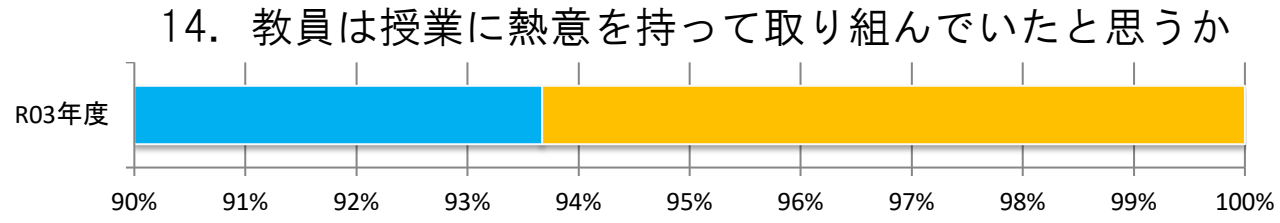
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
89.9	10.1	100.0	

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



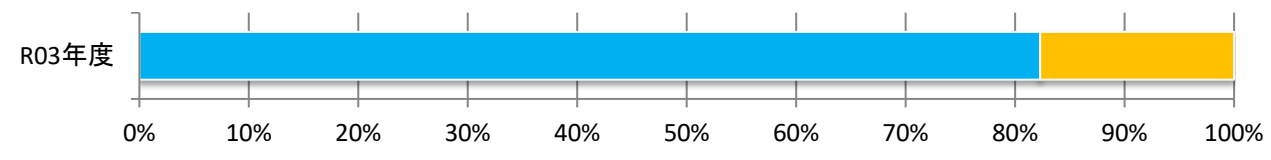
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
88.6	10.1	98.7	

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



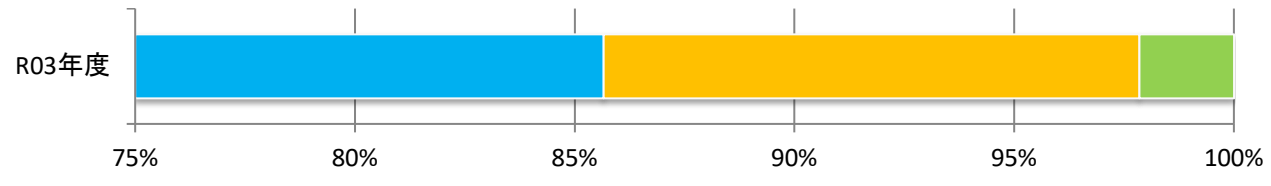
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
93.7	6.3	100.0	

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
82.3	17.7	100.0	

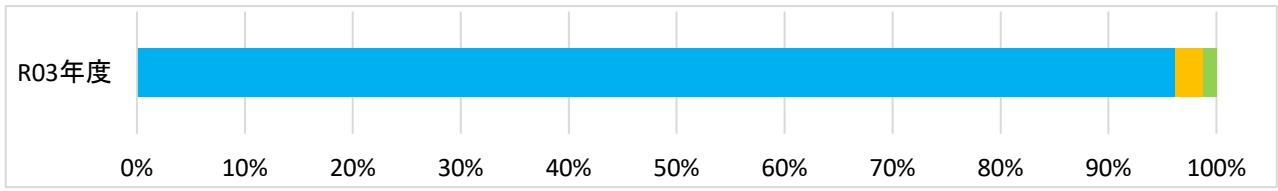
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
85.7	12.2	97.8	

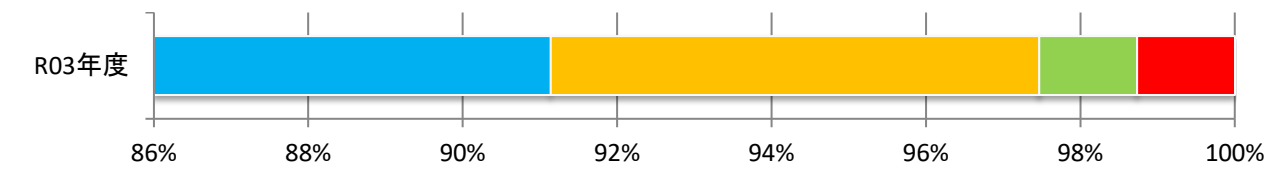
Ⅳ 総合評価

16. この授業は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



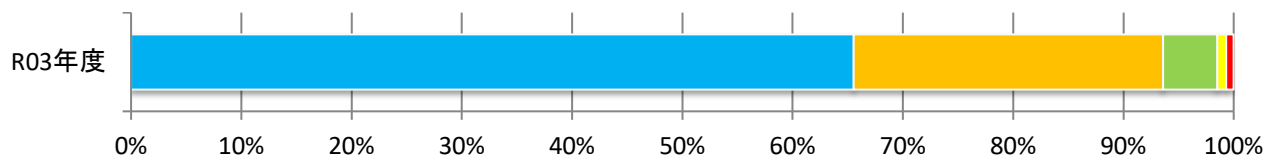
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
96.2	2.5	98.7	

17. この授業は総合的に満足できたと思うか。



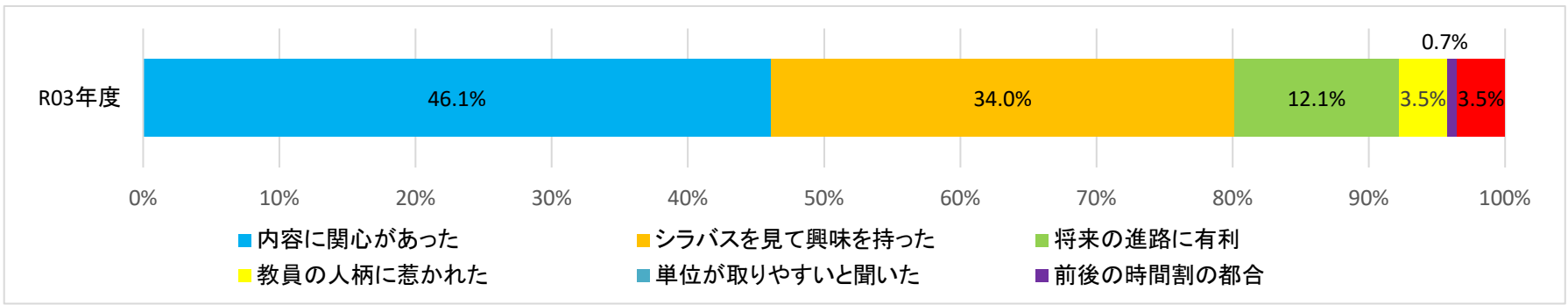
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
91.1	6.3	97.5	

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.5	28.1	93.6	

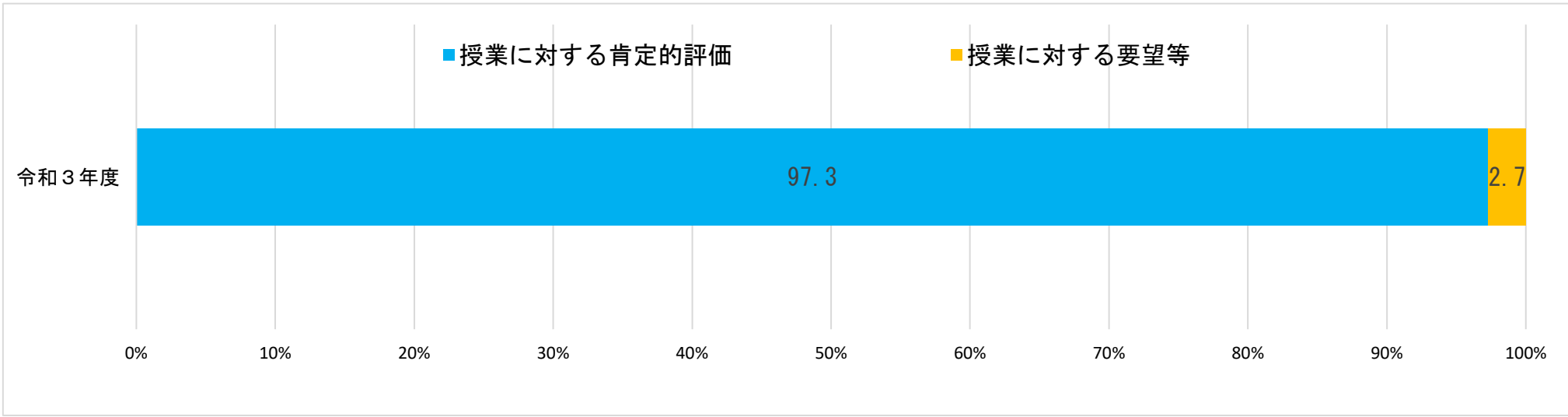
○選択科目を履修した理由は何か



◆ 年度別　自由記述集計結果

%	令和３年度
授業に対する肯定的評価	(97.3%)　110
授業に対する要望等	(2.7%)　3
総件数	(100.0%)　113

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	110	地域医療に強い人材を育成するには、多角的な視点で物事を捉える学びが必要であることがわかりました。また、様々な専門分野の先生方から学ばせていただけるのはとても有意義だと思いました。 Teamsを活用して、グループメンバーでディスカッションしたり、資料を同時に修正する方法等を学び新しい会議ツールが活用できました。これなくして遠隔のワークはできなかったと思います。 地域包括ケアシステムにおいて保健医療を必要とする人々へのサービス活動に参加観察し、整理しデータとし、看護独自の機能を分析、考察し、改善計画を立案する、という壮大なテーマに不安になりましたが、先生方のご指導やメンバーとの協力により、まとめることができました。そして、みんなで協働したこの過程が大きな学びとなったと感じています。 演習が多く楽しく学ぶことができました。特に「インフルエンザにうがいは効果があるか」の演習では、ガイドラインや文献、ネット検索まで、様々な情報を入手し評価し活用するという過程を通しヘルスリテラシーを具体的に学ぶことができました。 毎週行われるこの授業を受けることが楽しみでした。いつも使っている日本語を深く考える良い機会となりました。そういう意味で肩の力を抜いて、履修できた授業だったと思います。またぜひ先生の授業を履修したいです。 章を書き、表現をすることに対し、正しい学びができていなかった自己の振り返りができた。講義後は文章を書いたり、プレゼンの資料を作成する時にも必ず講義の内容が頭に出てくるので、多くの学びができた講義であり非常に良かった。 文献検索の方法を具体的に教えて下さり、すぐに活用できる知識をたくさん教えて頂きました。また、各自で要旨を作成し、グループで検討し合うやり方がとても面白く、楽しみながら学ぶことができました。 コミュニティケアを学ぶことでリプロダクティブヘルスや医療的ケア児、精神障害のある方などコミュニティケアの対象はこんなにも幅広いことがわかり、視野を広げることができた。また、自殺予防や介護予防など看護の視点も広げることができた。 講師の先生、講義内容、すべてに満足できる授業でした。新しい知識を得ることができたり、臨床の場で実践につなげることができる内容であるなど受けてよかったと思っております。
授業に対する要望等	3	最初に基礎的なことを学び、8月末の口頭発表会というのが、テーマも絞れず、発表形態のデモでしたが本格的でかなり苦労しました。発表までに段階を踏めたり、決まったテーマがあった方が進めやすかったと今は思います。 看護研究を全く始めていない状況で、「看護研究とは」というところから始まった講習だったため、理解ができない言葉や分析方法などがあり、戸惑うことがありました。
計	113	